平成２３年度

市　政　年　報

栃　木　市

ご あ い さ つ

平成２３年度市政年報を発行するにあたりまして一言ごあいさつを申し上げます。

平成２３年度は、本市にとりまして、１市３町が合併した新生「栃木市」の２年目の年であり、平成２３年１０月１日には新たに旧西方町が加わった年でありました。

また、市民の皆様の生活にも大きな影響を与えました、平成２３年３月１１日発生の東日本大震災が本市行政にも大きく影響を与えた年でありました。本市では、災害対策本部及び支援対策本部を設置し、被災した市民の方への対応のほか、原発事故等による他県からの避難者約１００人を避難所開設により数か月間受け入れるなどの支援を全庁的に実施いたしました。

このような状況の中、市政の運営にあたりましては、合併の際に策定しました新市まちづくり計画（合併市町村基本計画）及び市長としての私のマニフェスト「栃木クリエイト宣言」に基づき、公平公正で活力ある新生「栃木市」を目指して市政運営に努めました。

主な事務事業といたしましては、市民自治の実現を目指し、新市のまちづくりや市政運営の基本理念、基本原則等を定める市の最高規範としての自治基本条例制定のため、自治基本条例市民会議において、市民の方々に条例の検討を重ねていただき、条例素案の提言をしていただきました。

また、新市といたしまして、「環境都市宣言」や「非核平和都市宣言」を行い施策の推進に努めました。

その他、老朽化等の理由による栃木中央小学校の新築、地域医療確保の観点から下都賀総合病院等３基幹病院の統合再編事業への支援、市民の移動手段確保の観点から‘ふれあいバス’や‘蔵タク’の試行運転を実施するなど、市民の福祉の向上に努めました。

なお、平成２６年４月５日を目途とする岩舟町との合併を目指しました栃木市・岩舟町合併協議会の運営にも努めました。

以上、この年報の主要な部分を申し上げましたが、この年報が新生「栃木市」市政運営の記録としてご活用いただければ幸いです。

また、今後の市政運営におきましても、市議会をはじめ、関係各位のご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

平成２４年８月

栃木市長　鈴 木 俊 美

栃木市・西方町合併記念式典

栃木市・岩舟町合併協議会

自治基本条例素案提言書手交式

オクトーバーフェスト２０１１

うずま冬ほたるキラフェス２０１１

中根企業用地造成事業

栃木中央小学校新築

歌麿まつり

コミュニティーバス試行運転開始

なつこい

ＪＲ大平下駅前土地区画整理

光と音のページェント

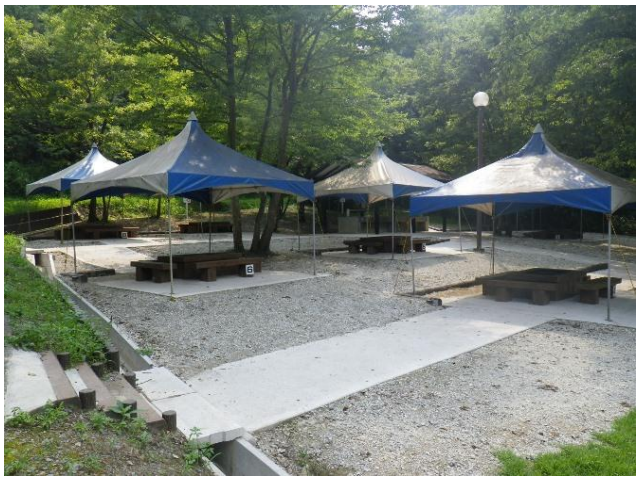
Ｅボートレース２０１１渡良瀬大会

ふじおか産業祭２０１１

栃木市藤岡保健福祉センター

まるまるまるごとつがまつり

栃木市立合戦場小学校屋内運動場改築



つがの里バーベキュー場整備

道の駅にしかた２周年感謝際

市道Ｎ３２１５号線道路改良工事

農業体験交流（西方）

目　　次

組織機構図
第１章　総合政策部
　第１節　総合政策課……　１
　第２節　地域まちづくり課……　１３
　第３節　合併調整管理室……　２４
　第４節　秘書広報課……　２７
　第５節　財政課……　３４
　第６節　人権推進課……　４１
　第７節　地域医療対策室……　４８
第２章　総務部
　第１節　総務課……　５１
　第２節　職員課……　７０
　第３節　情報推進課……　７９
　第４節　契約検査課……　８３
　第５節　消防防災課……　８７
第３章　理財部
　第１節　管財課……　９７
　第２節　施設管理課……　９９
　第３節　市民税課……１０６
　第４節　資産税課……１１５
　第５節　収税課……１１９
第４章　生活環境部
　第１節　市民生活課……１２７
　第２節　交通防犯課……１４２
　第３節　保険医療課……１５１
　第４節　環境課……１６１
　第５節　女性青少年課……１７０
第５章　保健福祉部
　第１節　社会福祉課……１８５
　第２節　生活福祉課……２０１
　第３節　こども課……２０５
　第４節　高齢福祉課……２２１
　第５節　介護保険課……２３７
　第６節　健康増進課……２４０
第６章　産業振興部
　第１節　商工観光課……２５７
　第２節　農林課……２７５
　第３節　産業基盤整備課……２９１
第７章　都市建設部
　第１節　都市整備課……２９５
　第２節　都市計画課……２９９
　第３節　維持管理課……３０４
　第４節　建築指導課……３１７
第８章　上下水道部
　第１節　水道課（公営企業事務部局）……３２３
　第２節　下水道課……３３４

第９章　大平総合支所
　第１節　地域まちづくり課……３５１
　第２節　税　　務　　課……３６７
　第３節　生 活 環 境 課……３７４
　第４節　人 権 推 進 課……３９３
　第５節　健 康 福 祉 課……４０１
　第６節　産 業 振 興 課……４３７
　第７節　都 市 整 備 課……４４９
　第８節　都 市 建 設 課……４５３
第10章　藤岡総合支所
　第１節　地域まちづくり課……４６１
　第２節　税　　務　　課……４７４
　第３節　生 活 環 境 課……４８１
　第４節　健 康 福 祉 課……４９８
　第５節　産 業 振 興 課……５２６
　第６節　都 市 建 設 課……５３７
第11章　都賀総合支所
　第１節　地域まちづくり課……５４３
　第２節　税　　務　　課……５５５
　第３節　生 活 環 境 課……５６２
　第４節　健 康 福 祉 課……５７３
　第５節　産 業 振 興 課……５９８
　第６節　都 市 建 設 課……６０８
第12章　西方総合支所
　第１節　地域まちづくり課……６１３
　第２節　生 活 環 境 課……６３１
　第３節　健 康 福 祉 課……６４２
　第４節　産 業 建 設 課……６６５
第13章　会　　計　　課……６７５
第14章　議会事務局
　第１節　議　　事　　課……６８９
第15章　教育委員会
　第１節　教 育 総 務 課……７０９
　第２節　学 校 教 育 課……７１６
　第３節　生 涯 学 習 課……７４１
　第４節　スポーツ振興課……７６８
　第５節　文　　化　　課……７８２
　第６節　伝 建 推 進 室……８０３
　第７節　大平教育支所……８０５
　第８節　藤岡教育支所……８２０
　第９節　都賀教育支所……８３４
　第10節　西方教育支所……８４８
第16章　選挙管理委員会事務局……８５９
第17章　監査委員事務局……８６９
第18章　公 平 委 員 会……８７３
第19章　農業委員会事務局……８７５
第20章　固定資産評価審査委員会……８８７
第21章　消　防　本　部
　第１節　総　　務　　課……８８９
　第２節　予　　防　　課……８９４
　第３節　警　　防　　課……８９９
　第４節　通 信 指 令 課……９０４
　第５節　消　　防　　署……９０７

- 市長
  - 副市長
    - 総合政策部
      - 総合政策課
        - 政策総務担当
        - 政策調整担当
        - 統計担当
      - 地域まちづくり課
        - まちづくり担当
        - 市民協働推進担当
      - 合併調整管理室
        - 合併調整管理担当
      - 秘書広報課
        - 秘書担当
        - 広報広聴担当
      - 財政課
        - 財政担当
      - 人権推進課
        - 人権推進担当
      - 地域医療対策室
        - 地域医療対策担当
    - 総務部
      - 総務課
        - 行政管理担当
        - 文書法規担当
      - 職員課
        - 人事担当
      - 情報推進課
        - 情報推進担当
      - 契約検査課
        - 契約担当
        - 検査担当
      - 消防防災課
        - 危機管理担当
        - 消防担当
    - 理財部
      - 管財課
        - 管財担当
      - 施設管理課
        - 庁舎管理担当
        - 営繕担当
        - 住宅担当
      - 市民税課
        - 税政担当
        - 市民税担当
      - 資産税課
        - 資産税担当
      - 収税課
        - 収税担当
        - 債権管理指導担当
    - 生活環境部
      - 市民生活課
        - 市民生活担当
        - 住民情報担当
      - 交通防犯課
        - 交通防犯担当
        - 公共交通対策担当
      - 保険医療課
        - 保険担当
        - 医療給付担当
      - 環境課
        - 環境政策担当
        - 環境保全担当
      - 女性青少年課
        - 男女共同参画推進担当
        - 青少年担当
    - 保健福祉部
      - 社会福祉課
        - 福祉政策担当
        - 障がい福祉担当
        - 発達支援担当
      - 生活福祉課
        - 生活福祉担当
      - こども課
        - こども担当
      - 高齢福祉課
        - 高齢福祉担当
        - 地域支援担当
      - 介護保険課
        - 介護保険担当
        - 介護認定担当
      - 健康増進課
        - 保健予防担当
        - 健康づくり担当
    - 産業振興部
      - 商工観光課
        - 商工振興担当
        - 観光振興担当
      - 農林課
        - 農業振興担当
        - 農林整備担当
      - 産業基盤整備課
        - 企業立地担当
        - 基盤整備担当
    - 都市建設部
      - 都市整備課
        - 監理担当
        - 道路整備担当
        - 河川整備担当
      - 都市計画課
        - 計画景観担当
        - 市街地整備担当
      - 維持管理課
        - 道路河川管理担当
        - 公園緑地担当
      - 建築指導課
        - 建築指導担当
        - 建築審査担当
        - 開発指導担当
    - 上下水道部
      - 水道課
        - 業務担当
        - 工務担当
        - 北部水道事務所担当
        - 南部水道事務所担当
      - 下水道課
        - 下水道管理担当
        - 下水道整備担当
  - 会計管理者
    - 会計課
      - 審査担当
      - 出納担当
  - 議会
    - 議会事務局
      - 議事課
        - 議会総務担当
        - 議事調査担当
  - 教育委員会
    - 教育委員会事務局
      - 教育総務課
        - 教育総務担当
        - 教育政策担当
      - 学校教育課
        - 学校教育担当
        - 保健給食担当
      - 生涯学習課
        - 生涯学習担当
        - 社会教育担当
        - 公民館担当
      - スポーツ振興課
        - スポーツ振興担当
        - 全国スポレク担当
      - 文化課
        - 文化振興担当
        - 学芸推進担当
      - 伝建推進室
        - 伝建推進担当
      - 大平教育支所
        - 教育総務担当
        - 生涯学習担当
      - 藤岡教育支所
        - 教育総務担当
        - 生涯学習担当
      - 都賀教育支所
        - 教育総務担当
        - 生涯学習担当
      - 西方教育支所
        - 教育総務担当
        - 生涯学習担当
  - 選挙管理委員会
    - 選挙管理委員会事務局
      - 選挙担当
  - 監査委員
    - 監査委員事務局
      - 監査担当
  - 公平委員会
  - 農業委員会
    - 農業委員会事務局
      - 農地振興担当
  - 固定資産評価審査委員会
  - 消防長
    - 消防本部
      - 総務課
        - 庶務係
        - 企画係
      - 予防課
        - 予防係
        - 指導係
        - 危険物係
      - 警防課
        - 警防係
        - 救急管理係
      - 通信指令課
        - 指令係
      - 消防署
        - 消防係
        - 予防係
        - 救急係
  - 大平総合支所
    - 地域まちづくり課
      - 地域自治担当
      - 総務担当
      - 理財担当
    - 税務課
      - 市民税担当
      - 資産税担当
      - 収税担当
    - 生活環境課
      - 住民担当
      - 管理担当
      - 保険医療担当
      - 生活環境交通担当
      - 女性青少年担当
    - 人権推進課
      - 人権推進担当
    - 健康福祉課
      - 福祉担当
      - 介護高齢担当
      - 健康増進担当
      - こども担当
    - 産業振興課
      - 農林振興担当
      - 商工観光担当
    - 都市整備課
      - 道路管理担当
      - 道路整備担当
    - 都市建設課
      - 都市管理担当
      - 都市建設担当
  - 藤岡総合支所
    - 地域まちづくり課
      - 地域自治担当
      - 総務担当
      - 理財担当
    - 税務課
      - 市民税担当
      - 資産税担当
      - 収税担当
    - 生活環境課
      - 住民担当
      - 保険医療担当
      - 生活環境交通担当
      - 人権推進担当
    - 健康福祉課
      - 福祉担当
      - 介護高齢担当
      - 健康増進担当
      - こども担当
    - 産業振興課
      - 農林振興担当
      - 商工観光担当
    - 都市建設課
      - 管理担当
      - 都市建設担当
  - 都賀総合支所
    - 地域まちづくり課
      - 地域自治担当
      - 総務担当
      - 理財担当
    - 税務課
      - 市民税担当
      - 資産税担当
      - 収税担当
    - 生活環境課
      - 住民担当
      - 保険医療担当
      - 生活環境交通担当
    - 健康福祉課
      - 福祉担当
      - 介護高齢担当
      - 健康増進担当
      - こども担当
    - 産業振興課
      - 農林振興担当
      - 商工観光担当
    - 都市建設課
      - 管理担当
      - 都市建設担当
  - 西方総合支所
    - 地域まちづくり課
      - 地域自治担当
      - 総務担当
      - 理財担当
      - 市民税担当
      - 資産税担当
    - 生活環境課
      - 住民担当
      - 保険医療担当
      - 生活環境交通担当
    - 健康福祉課
      - 福祉担当
      - 介護高齢担当
      - 健康増進担当
      - こども担当
    - 産業建設課
      - 産業振興担当
      - 都市建設担当

第１章　総合政策部

第１節　総合政策課

〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的企画及び調整関係、広域行政関係、土地利用・水資源及びエネルギー対策等の調整関係、国際国内交流事業関係及び各種の統計関係である。

総合計画については、市民アンケート調査などを行うとともに、各界各層の代表者や公募員などで組織する栃木市総合計画策定懇談会を設置し、総合計画の基本構想の策定を行った。

ラムサール条約については、渡良瀬遊水地がラムサール条約登録の候補地となったことから、住民説明会やアンケート調査を実施し地元の意見の確認を行うとともに、市議会や関係自治体、関係機関の意見などを踏まえ、条約登録について検討を行った。

福田屋百貨店栃木店関係については、閉店に伴い本市に対し建物について無償譲渡の申し入れがあったことから、当該建物の利活用についての検討を行った結果、市庁舎として利活用することとした。

庁議、部長会議、政策会議等については、栃木市の施策の方向性の決定、重要案件の審議、全庁的な意見調整・協議が必要な事案の審議を行う場として、定例的に会議を開催した。

国際交流事業については、平成２３年３月１１日発生した東日本大震災の影響により、金華市からの小学生訪問団及びエバンズビル市からの南インディアナ大学訪問団の来日が中止となったが、エバンズビル市関係では、南インディアナ日本人補習校の２０１１年度姉妹都市留学プログラムにより４人が訪米した。

また、合併後初めて、市内中学２年生を対象とした中学生海外派遣事業を実施した。

国内交流は、新生栃木市として友好親善都市盟約の確認を行うため、北海道滝川市を訪問するとともに、東京都中央区及び東京都墨田区との交流を推進した。

統計関係では、平成２４年経済センサス活動調査及び学校基本調査の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口統計調査を実施した。また、平成２４年版県民手帳の予約受付及び配付を行った。

政策総務担当

1　地下水揚水施設届出

栃木県地下水揚水施設に係る指導等に関する要綱に基づき、各種届出を本市経由で県へ提出した。

区　分	件数（件）
揚水機設置届出書	－
揚水機工事完了届出書・揚水機変更工事完了届出書	－
氏名等変更届出書・揚水施設承継届出書	6
揚水施設廃止届出書	7
地下水採取量報告書	34
計	47

2　栃木県南部水資源開発促進協議会（３市４町：小山市、栃木市、下野市、西方町、壬生町、野木町、岩舟町）

栃木県における水資源の総合的調査検討と思川開発事業促進を図ることを目的として、栃木県南部水資源開発促進協議会（会長：小山市長）は県への要望活動等の事業を実施した。

栃木県水資源開発促進協議会活動内容

開催日	内　　容	場　　所
5月19日（木）	幹事会	小山市水道庁舎
7月 6日（水）	総会	道の駅思川
9月 6日（火）	幹事会	文書により開催
10月 6日（木）	要望活動	国土交通本省、ほか

3　国際交流関係

(1)　友好・姉妹都市との交流

ア　金華市関係

・小学生訪問団　東日本大震災の影響により訪日中止

イ　エバンズビル市関係

・南インディアナ大学訪問団　東日本大震災の影響により訪日中止

・東日本大震災の被災に対し、エバンズビル市職員が義援金及びエバンズビル市市民の激励メッセージを持参

・南インディアナ日本人補習校の２０１１年度姉妹都市留学プログラムにより４人が訪米

(2)　ふるさと雇用再生・在住外国人支援事業費

県のふるさと雇用再生特別事業「在住外国人支援業務」を活用し、栃木市国際交流協会に外国人生活相談窓口を開設した。

相談内容内訳

相談内容	件数(件)
福祉・医療費・生活費	127
医療・病院・心理	101
税金・年金・保険	114
学校教育	96
雇用・契約・労災	31
その他	510
合計	979

4　中学生海外派遣事業

本市の次代を担う中学生を海外に派遣することにより、外国の自然、文化及び社会に接し、人々との交流を通して、国際理解及び国際感覚の基礎を培い、コミュニケーション能力を高めるなど中学生の資質向上を図ることを目的として、中学生海外派遣事業を実施した。

・派 遣 先　　オーストラリア　ニューサウスウェールズ州　シドニー市

・派遣期間　　８月１８日(木)～２５日(木)

・派遣人数　　中学２年生　２５人

栃木地域１１人、大平地域６人、藤岡地域４人、都賀地域４人

（応募状況
栃木地域１１人、大平地域１１人、藤岡地域１３人、都賀地域６人
１次選考（面接）：６月２６日（日）実施
２次選考（抽選）：７月２日（土）実施）

引率者　２人

(1)　事業概要

ア　事前研修

日　時	場　所	内　　容	講師等
7 月 2 日(土) 抽選会後	市役所正庁	事前研修日程説明 負担金の納入・旅券申請説明	市職員
7 月 24 日(日) 午前 10 時～ 11 時 30 分	市役所正庁	海外研修日程説明（保険の内容説明)、携行品、心構え、マナー等現地での注意事項、レンタルスーツケースの申し込みについて、シドニーについて	旅行会社
		自己紹介、コミュニケーションゲーム、班編成（ホームステイ）について	市職員
8 月 2 日(火) 午前 10 時～ 11 時 30 分	栃木文化会館 リハーサル室	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員

8月9日(火) 午前10時～ 11時30分	市民会館 3階講習室	英会話研修 ホームステイ及び学校での自己紹介・栃木の紹介ができるようにする。	市職員
8月11日(木) 午後1時15分 ～3時	栃木保健福祉センター 2階大会議室	壮行会（終了後記念写真撮影） ・時　間　午後1時15分～　30分程度 ・出席者　市長、教育長、総合政策部長 教育次長、派遣生徒、保護者 ・内　容　市長等挨拶、代表者挨拶	市職員
		最終確認 出入国手続、服装、持参物、外貨の使い方	旅行会社

イ 海外研修

日　時	内　容
8月18日(木)	栃木市を出発
8月19日(金)	オーストラリア　シドニーへ到着 ブルーマウンテンズを見学 ホストファミリーと対面
8月20日(土)	ホストファミリーと1日行動
8月21日(日)	ホストファミリーと1日行動
8月22日(月)	ホームステイ先から公立 キラニー・ハイツ・ハイ・スクールへ ウェルカムセレモニー、英語レッスン、現地授業参加 授業終了後、ホームステイ先へ
8月23日(火)	ホームステイ先から公立 キラニー・ハイツ・ハイ・スクールへ 英語レッスン、現地授業参加、フェアウェルパーティ 授業終了後、ホームステイ先へ
8月24日(水)	ホストファミリーとお別れ シドニー市内見学 オペラハウス、ハーバーブリッジ、セントメアリーズ大聖堂、マッコリー通りなど シドニー市内ホテル宿泊
8月25日(木)	オーストラリア　シドニーを出発 栃木市へ到着

ウ 事後研修

日　時	場　所	内　容
9月26日(月) 午後6時～7時	市民会館 2階大会議室	帰国報告会練習
10月7日(金) 午後6時～ 7時30分	市役所正庁	生徒達による帰国報告会 ・出席者　総合政策部長、教育次長、総合政策課長、 学校教育課長、訪問団員、保護者 ・内　容　グループ単位による訪問時の感想等の発表

5　国内交流関係

(1)　北海道滝川市

友好親善都市である北海道滝川市と交流を行った。

ア　友好親善都市提携盟約の確認

・実 施日　７月２１日（木）、２２日（金）

・会　場　滝川市議会議場

・訪 問者　栃木市長、栃木市議会議長、議会事務局長、秘書広報課長

イ　栃木市・西方町合併記念式典

・実 施日　１０月１４日（金）、１５日（土）

・会　場　栃木市栃木文化会館

・訪 問者　滝川市長、滝川市議会議長、滝川市職員２人

ウ　第３４回栃木市の産業と物産展

・実 施日　１１月５日（土）、６日（日）

・会　場　栃木市蔵の街第一駐車場

・訪 問者　滝川市職員１人　外　参加事業所　１社

・内　容　物産販売、観光PR

(2)　東京都中央区

本市の山車が名橋日本橋創架400年記念パレードへ参加したことがきっかけとなり、東京都中央区との交流が始まった。

第２２回大江戸まつり盆おどり大会

・実 施日　８月２６日（金）、２７日（土）

・会　場　中央区立浜町公園

・参 加 者　ひめ倶楽部、日向野商店、みそ工房蔵、栃木市観光協会
産業振興部長、商工観光課・農林課・総合政策課より職員延１６人

・内　容　物産販売、観光PR

※２６日については、準備をしたが突然の豪雨により中止。

6　両毛線整備促進期成同盟会（９市１町　高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市、岩舟町）

両毛線整備促進及び列車増発を図るため、両毛線整備促進期成同盟会による活動に参加した。

活動内容

開催日	内　　容	場　　所
5月20日（金）	平成21年度決算監査	栃木市役所
5月31日（火）	幹事会	桐生市役所
7月 6日（水）	総会	桐生地域地場産業振興センター
1月23日（月）	ＪＲ両毛線整備促進要望活動	ＪＲ東日本高崎支社

7　東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会（３市２町　栃木市、鹿沼市、日光市、西方町、岩舟町）

東武日光・鬼怒川線沿線自治体の連携と交流を深め、東武鉄道を利用した沿線自治体の振興を図る東武日光・鬼怒川線沿線活性化連絡協議会の活動に参加した。

(1)　活動内容

開催日	内　　容	場　　所
5月25日（水）	幹事会	鹿沼市役所
7月8日（金）	総会	鹿沼市役所
9月22日（木）	幹事会	鹿沼市役所
2月21日（月）	東武鉄道との意見交換会	鹿沼市役所

(2)　「沿線情報誌」の発行

県事業の「わがまち自慢」推進事業を導入し、「沿線情報誌」を作成後、東武日光線、鬼怒川線沿線の各駅等で配布を行った。

8　東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会（８市　結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向上を図る東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会の活動に参加した。

活動内容

開催日	内　　容	場　　所
6月 9日（木）	総会（文書総会）	―
7月12日（火）	要望活動	ＪＲ東日本本社

政策調整担当

1　栃木市総合計画策定

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」により、総合計画を策定し議会に付議することが求められており、議会の議決を経て、市の最上位計画として位置付け、総合的な行政運営を行っていくこととした。

総合計画の策定にあたっては、合併後の新市のまちづくりの基本方針等を明らかにした「新市まちづくり計画」を踏まえ、将来目指すべき都市像を設定し、それに向けて地域の特性を生かしつつ、早期に市民の一体感を醸成するよう策定することとした。

平成２３年度においては、市民代表による栃木市総合計画策定懇談会をはじめとする策定体制を整え、市民アンケートや小中学生の作文・絵画の募集等を実施し、総合計画の基本構想の策定を行った。

(1)　栃木市総合計画策定懇談会

・設 置 日　８月９日

・委嘱委員　４８人

（関係団体選出３２、公募１０、学識経験者１、市議会議員選出５）

・開催回数　３回

(2)　市民アンケート調査の実施

・実 施 期 間　平成２３年８月１９日～平成２３年９月５日

・調査対象者　5,000人

平成２３年６月末日現在で調査地区に居住する者で、満１８歳以上の者を無作為抽出により、男女2,500人ずつとした。

・回 収 状 況　1,842人（３６．８％）

(3)　栃木市総合計画書に掲載する絵画・作文の募集・選考

・対　　象　市内に在住する小・中学校の児童及び生徒

・応 募 数　絵画９１点、作文８６点

・選考結果（掲載作品）　絵画１０点、作文５点

(4)　地域の姿の策定

総合計画に地域の声を反映させるため、各地域協議会及び栃木地域「地域の姿」策定検討会にて、５地域の「地域の姿」を策定した。

２　広域行政事務組合（１市２町　栃木市、西方町、岩舟町）

※合併に伴い１０月１日からは（１市１町　栃木市、岩舟町）

栃木地区広域行政事務事業推進のため、各種会議等に参加した。

・各種会議

会　　議	回数（回）
正副管理者会議	4
行財政対策委員会	1
企画・財政・衛生担当部課長合同会議	1
企画・財政・衛生・担当者合同会議	1

・主な業務及び負担割合（４月１日～９月３０日）

主な業務	本市負担割合(%)
総務　栃木市、西方町、岩舟町	80.11
消防　栃木市、西方町	92.73
ごみ　栃木市、西方町、岩舟町	87.04
し尿　栃木市、西方町	94.70

・主な業務及び負担割合（１０月１日～３月３１日）

主な業務	本市負担割合(%)
総務　栃木市、岩舟町	86.38
ごみ　栃木市、岩舟町	90.23
し尿　栃木市	100

３　栃木県南部地方拠点都市地域整備推進協議会（５市２町　足利市、栃木市、佐野市、小山市、下野市、野木町、岩舟町）

地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律に基づく地域

整備のための基本計画及び整備事業の推進に資することを目的として、次の事業を実施した。

開催日	内　　容	場　　所
6月23日（木）	幹事会	小山市役所
8月 2日（火）	総　会（文書総会）	―

4　栃木駅南部地域整備推進協議会

栃木駅南部地域は、栃木県南部地方拠点都市地域における開発拠点地区として定められているが、市内３病院の統合再編を柱とした地域医療再生計画による新病院（高次医療・緊急医療施設）の立地方針が栃木駅南部地域に明確に示されたことから、新病院を核施設とした計画的な土地利用の検討が必要となった。

このようなことから、本年度協議会を再活動したところである。

開催日	内　　容	場　　所
11月 8日（火）	幹事会（文書幹事会）	―
11月21日（月）	総　会（文書総会）	―

5　庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

・開催回数　１８回（うち、臨時庁議６回、定例庁議１２回）

・内　　容　審議事項　　９２件
　　報告事項　　２１件
　　連絡事項　　３件

6　部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

・開催回数　１１回

・内　　容　審議事項　８４件
　　報告事項　　７件
　　連絡事項　　１件

7　幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

・開催回数　４回

・内　　容　審議事項　　６件
　　連絡事項　　１件

8　政策会議

市長が主宰し、総合計画、施策評価、予算編成方針等の審議または協議を行った。

・開催回数　１４回

・内　　容　審議事項　　２４件
　　報告事項　　１０件

9　政策調整会議

総合政策部長が主宰し、政策会議附議事項のうち調整を必要とする事項等の審議または協議を行った。

・開催回数　９回
・内　　容　審議事項　　１５件
　　報告事項　　３件

10　土地利用対策

本市の総合的かつ計画的な土地利用を図るため、次の事務処理を行った。なお、平成２３年度は、栃木市土地利用対策委員会は開催されなかった。

・意見照会

採取計画認可申請に係る意見	12件
廃棄物処理施設設置等事前協議書に係る意見	3件
大規模小売店舗立地法に基づく届出書に係る意見	3件
公有地の拡大の推進に関する法律第４条第１項の規定に基づく土地有償譲渡の届出書に係る意見	3件
建築基準法第５１条ただし書許可事前協議書に係る意見	1件
計	22件

11　行政評価

政策評価、施策評価を含めた行政評価については、総合計画の策定を踏まえて検討を行っている。本年度は、前年同様予算編成と一体化した事務事業評価を行った。

実施日	内　　容
10月4日（火）～6日（木）	事務事業評価等説明会
11月10日（木）	政策会議付議（平成24年度予算要求状況及び基準外要求について）
11月10日（木）～15日（火）	事務事業評価・予算編成作業部会ヒアリング
11月28日（月）	政策会議付議（平成24年度予算要求状況及び基準外要求について）
12月12日（月）～16日（金）	評価部会・作業班合同会議
12月19日（月）～26日（月）	二役・評価部会合同会議
12月27日（火）	政策会議付議（平成24年度当初予算査定状況について）
	経常・義務的事業内示
1月10日（火）	二役・評価部会合同会議
1月12日（木）	政策会議付議（平成24年度当初予算査定状況について）
1月13日（金）	政策的事業一次内示、経常・義務的事業最終内示
1月23日（月）	政策会議付議（平成24年度当初予算最終内示について）
	政策的事業最終内示

2月27日（月）	政策会議付議（平成23年度事務事業評価（平成24・25年度実施計画）の内示について）
2月28日（火）	H25部分事務事業評価一次内示
3月23日（金）	政策会議付議（平成23年度事務事業評価（平成24・25年度実施計画）最終内示について）
3月28日（水）	H25部分事務事業評価最終内示

12　ラムサール条約

本市の渡良瀬遊水地が、全国１７２箇所のラムサール条約登録の潜在候補地に選定され、ラムサール条約登録への機運が高まっていた。しかし一方では、渡良瀬遊水地周辺は歴史的に水害に悩まされてきた地域であり、登録での治水事業への影響を懸念する声も強くあった。

そのようなことから、地域住民に対し環境省・国土交通省による地域住民説明会の開催や地元住民アンケート調査を行うとともに市民との意見交換会を実施するなど広く意見を聴取し、市としての渡良瀬遊水地のラムサール条約登録について地元の意見の確認を行った。

市としては、渡良瀬遊水地のラムサール条約登録について、地域住民説明会や地元住民アンケートの状況、１２月定例市議会において「渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情書」が採択となった栃木市議会の意見、隣接する関係自治体をはじめとする関係機関との意見交換などを踏まえ総合的に判断し、渡良瀬遊水地のラムサール条約登録に賛成するが、治水に関する事業を阻害しないことなど５つの条件をつけて回答する方針とした。

(1)　渡良瀬遊水地のラムサール条約登録に関する住民説明会

・実施期間　９月２日（金）～９月１６日（金）　（全５回）

・参加者数　約５００人

(2)　市民アンケート調査の実施

・実施期間　平成２３年１０月３日～平成２３年１０月１２日

・調査対象者　3,000人

藤岡地域住民で、平成２３年９月２７日現在、満１８歳以上の14,886人から3,000人を住民基本台帳から無作為抽出した。

・回収状況　1,069人（３５．６％）

(3)　渡良瀬遊水地のラムサール条約登録に関する意見交換会

・実施期間　１２月３日（土）、４日（日）

・参加者数　約２６０人

13　土地開発基金に関すること

(1)　基金の額　（単位：円）

平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
60,089,721	11,884	60,101,605

(2)　運用の状況　　（単位：円）

区　分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸付金	―	―	―
現　金	60,089,721	11,884	60,101,605
計	60,089,721	11,884	60,101,605

14　栃木市土地開発公社に関すること

公有地拡大の推進に関する法律第１９条に基づき、オリン晃電社工場跡地購入問題に伴う対応について、元理事長と土地の売主に対し損害賠償請求を行うよう栃木市土地開発公社に業務命令を発した。

これを受け土地開発公社は、両者に損害賠償請求を求めていたが期日までに応じなかったため、平成２４年１月３１日、宇都宮地方裁判所に両者を提訴した。

15　福田屋百貨店栃木店跡地利用について

福田屋百貨店栃木店の閉店に伴い、株式会社福田屋百貨店より本市に対し、福田屋百貨店栃木店の建物について無償譲渡の申し入れがあったことから、当該建物の利活用についての検討を行った結果、福田屋百貨店栃木店については、市庁舎として利活用することとした。

(1)　検討委員会

・栃木市福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会の開催　　４回

・栃木市福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会検討部会の開催　８回

(2)　住民説明会

・開催回数　１１回

(3)　パブリックコメント

・実施期間　２月１日（水）～２９日（水）

・意　見　数　２６３件

統計担当

1　基幹統計調査

(1)　学校基本調査（文部科学省）

学校に関する基本的な事項（学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等）について調査を行った。

・調査期日　平成２３年５月１日現在

・調査校

区　分	対象数
小学校	25校
中学校	13校
幼稚園	16園

専修学校	4校
各種学校	4校

(2)　平成24年経済センサス-活動調査（総務省及び経済産業省）

統計法に基づく基幹統計調査で、すべての産業分野における事業所及び企業の経済活動の状態を同一時点で調査し、我が国の包括的な産業構造を明らかにするとともに、各種統計調査実施のための事業所及び企業の母集団名簿を得ることを目的として調査を行った。

・調査期日　平成２４年２月１日現在
・調査区数　２０９調査区
・調 査 員　９１人
・指 導 員　７人

2　県単統計調査

栃木県毎月人口調査

県内に常住する人を毎月１日現在で推計するもので(年齢別人口は10月1日現在で推計)、本市における毎月の出生・死亡・転入・転出の状況を市民生活課の資料により作成し、本市における人口・世帯の増減を報告した。

3　その他の事業

(1)　平成２４年版県民手帳の予約受付及び配付

県統計協会からの依頼を受け、県民手帳の予約受付について広報とちぎで周知し、希望者に配付した。

・大型版　　２１８冊
・ポケット版　２０６冊

(2)　統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査協力員を確保し、統計調査協力員の資質向上を図るため統計調査員による研修会への参加及び栃木県統計大会への参加等を行った。

・統計調査協力員登録者数　　１２２人

第２節　地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域自治区の連絡及び調整、自治会との連絡調整、地域のまちづくり、市民活動の推進などである。

地域自治区の連絡及び調整関係については、栃木市地域自治区地域協議会連絡会を設置し、地域協議会の活動等に関する連絡調整を行った。また、西方町との合併に伴い、西方町地域協議会委員及び西方町区長の選任事務等を行った。

地域のまちづくり関係については、栃木市総合計画における地域の姿（地域別構想）を策定するため、栃木地域「地域の姿」策定検討会を設置した。また、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するため、栃木地域まちづくり検討委員会を設置した。

自治会については、栃木市自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図るとともに、栃木、大平、藤岡、都賀及び西方地域における自治会連合組織の全市的組織である栃木市自治会連絡協議会に参画し、自治会組織の強化を図った。

市民活動の推進については、市民活動推進の拠点施設である市民活動推進センター「くらら」において、指定管理者制度により特定非営利活動法人ハイジに業務を委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を行うとともに、庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置し、研修会等を開催した。

また、市民団体の主体的、公益的な市民活動を支援するため、市民協働まちづくりファンド(基金)により助成を行うとともに、市民協働まちづくりファンド助成を見直し、ＮＰＯ団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、「栃木市市民活動支援制度検討委員会」を設置して新たな支援制度を検討した。

さらに、市民自らが毎年テーマを掲げ、企画運営する「とちぎ協働まつり」を、実行委員会との共催により開催した。

また、ＮＰＯ等、企業及び行政が協働し、地域課題の解決に取り組む地域版プラットフォーム事業を平成２４年度から実施するため、３事業のプラットフォーム検討委員会を設置し、協働事業について検討した。

まちづくり担当

1　地域自治区の連絡及び調整

(1)　栃木市地域自治区地域協議会連絡会

地域協議会の活動等に関する調整及び連絡を行うため、各地域協議会の正副会長及び地域自治区長を構成員とする栃木市地域自治区地域協議会連絡会を設置した。

会　長	柴田　保男（大平町地域協議会会長）
副会長	田中　久己（藤岡町地域協議会会長）
副会長	安生　孝章（都賀町地域協議会会長）
副会長	和賀井政雄（西方町地域協議会会長）

(2)　平成２３年度地域協議会交流会

地域協議会間の情報共有化と地域間の交流を促進し、地域協議会活動の活性化を図るため、栃木市地域自治区地域協議会連絡会主催の地域協議会交流会を実施した。

・期　日　７月２８日（木）

・会　場　栃木保健福祉センター大会議室

・参加者　地域協議会委員３７人

(3)　平成２３年度地域協議会役員等先進地視察研修

地域自治制度の充実を図るため、栃木市地域自治区地域協議会連絡会主催の先進地視察研修を実施した。

・期　日　１１月１日（火）、２日（水）

・視察地　岐阜県恵那市・長野県飯田市

・テーマ　地域自治区制度を活用したまちづくり事例について

・参加者　地域協議会正副会長、地域自治区長及び事務局　計１６人

(4)　西方町地域協議会の開催

西方町との合併に伴い、西方総合支所と連携しながら、西方町地域協議会委員を選任し、第１回西方町地域協議会を開催した。なお、第２回以降の地域協議会については、西方総合支所地域まちづくり課が事務局となり、開催している。

ア　委員公募

・実施期間　１０月３日（月）～１４日（金）

・応募総数　５件

イ　地域協議会公募委員選考会議

３人の委員を選定した。

・実施日　１０月２８日（金）

ウ　西方町地域協議会委員選任

・委員数　１５人

・任　期　平成２３年１１月９日～平成２５年３月３１日

エ　第１回西方町地域協議会

・期　日　１１月９日（水）

・会　場　西方総合文化体育館

(5)　区長関係

ア　西方町区長（第１期）の選任

西方町地域協議会の意見を尊重し、１２月１日付で西方町区長を選任した。

・西方町区長　大塚　芳夫

・任　期　平成２３年１２月１日～平成２４年３月３１日

イ　地域自治区の区長（第２期）の選任

大平町区長、藤岡町区長、都賀町区長及び西方町区長の任期が、平成２４年３月３１日で満了することに伴い､各地域協議会から区長選任についての意見を聴取し、その意見に基づき区長を選任した。

大平町区長	堤　　正美（再任）
藤岡町区長	桜井　　均（再任）
都賀町区長	小田部　弘（新任）
西方町区長	大塚　芳夫（再任）

・任　期　平成２４年４月１日～平成２６年３月３１日

２　平成２３年度地域まちづくりシンポジウム

地域の自発的な取り組みを支援し、地域の魅力をより輝かせるまちづくりを推進するため、有識者による講演と地域づくり実践者によるパネルディスカッションを行った。

・期　日　３月１８日（日）

・会　場　栃木保健福祉センター大会議室

・参加者　６９人

・内　容

第１部　基調講演

講　師　　白鷗大学　教育学部教授　結城　史隆　氏

演　題　　市民協働による元気なまちづくり

第２部　パネルディスカッション

パネリスト

大平町地域協議会会長　柴田　保男　氏

吹上地区まちづくり協議会会長　酒巻　幸夫　氏

NPO法人ふるさと代表理事　田中　洋一　氏

とちぎ市民活動推進センターくらら　副センター長　中村　絹江　氏

コーディネーター

白鷗大学　教育学部教授　結城　史隆　氏

３　栃木地域「地域の姿」策定検討会

栃木地域内の各種団体からの推薦者を構成員とする栃木地域「地域の姿」策定検討会を設置し、栃木市総合計画における栃木地域の「地域の姿」を検討した。

・任　　期 平成２３年９月１５日から栃木地域「地域の姿」策定の日まで

・委員数 ２５人

・座　　長 赤羽根正夫（栃木市総合政策部長）
・会議開催状況　第１回　　９月１５日（木）
　　第２回　１０月１２日（水）
　　第３回　１０月２８日（金）

4　栃木地域まちづくり検討委員会

栃木地域のまちづくりの課題について調査研究し、市に対して意見を述べることにより、栃木地域の資源や特性を活かしたまちづくりを推進するため、栃木地域「地域の姿」策定検討会を母体とする栃木地域まちづくり検討委員会を設置した。

・任　　期　平成２３年１１月１８日から平成２４年３月３１日まで
・委 員 数　２４人
・委 員 長　臼井義雄
・副委員長　伴　乃昶
・会議開催状況　第１回　１１月１８日（金）
　　第２回　１１月２８日（月）
　　第３回　　１月３１日（火）
　　第４回　　３月２２日（木）
・意見書の提出
　栃木インターチェンジ周辺の開発促進について
　栃木地区中心市街地活性化の推進について
　栃木地域における観光の推進について
　鉄道を利用した栃木地域へのアクセスの改善について
　栃木地域東部から栃木地区中心部へのアクセスの改善について

5　自治会関係

住みよい環境をつくり、住民の福祉増進に寄与することを目的とした栃木市自治会連合会の各種活動を助成し、市政への協力を得るための連絡を行うとともに、同連合会主催のまちづくり懇談会を支援した。

また、市全域の自治会相互の連絡調整を図り、地域間の情報を交換するとともに、自治会組織を強化し、もって地域住民の福祉の向上に寄与することを目的とする栃木市自治会連絡協議会に参画した。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会役員名簿

次年度役員名簿の取りまとめ

・受付期間　平成２４年２月～５月
・対　　象　　１７３自治会

(ｲ)　班長名簿

今年度班長及び班世帯数等の変更受付　随時（主に広報紙配布に使用）

次年度班長名簿の取りまとめ

・受付期間　平成２４年２月～５月

・対　　象　　１７３自治会

イ　自治会功労者表彰式

栃木市自治会連合会と共催事業（当連合会の事業欄を参照）

ウ　自治会長等報償金の支出

・各単位自治会の世帯数調査（基準日　１０月１日現在）

・報償金の支出

３月１４日　支払い　３５３件（栃木、大平、藤岡、都賀地域）

(2)　栃木市自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

・組織

単位自治会　１７３自治会

・役員等

会長１人、副会長３人、監事３人（総会で選出、任期２年）

理事９人（地区自治会連合会長）うち会計２人を会長が任命

イ　会議等

(ｱ)　総会

・開催日　５月２４日（火）

・場　所　栃木文化会館小ホール

・出席者　１０２人

(ｲ)　役員会

第１回	4月25日（月）	通常総会について 自治会報償金について 自治会長等視察研修及び役員視察研修について
第２回	6月29日（水）	まちづくり懇談会について 自治会功労者表彰について 自治会長等視察研修及び役員視察研修について
第３回	9月26日（月）	自治会功労者表彰式及び連合会研修会について 役員視察研修報告及び会長視察研修について
第４回	2月9日　（木）	栃木市自治会連絡協議会の報告について
第５回	3月26日（月）	平成２４年度通常総会について

ウ　主な事業

(ｱ)　まちづくり懇談会

8月3日（水）	第６地区コミュニティセンター（第６・７地区全自治会）
8月4日（木）	第４地区コミュニティセンター（第２・３・４地区全自治会）
8月9日（火）	吹上公民館（吹上地区・寺尾地区全自治会）
8月10日（水）	第５地区コミュニティセンター（第１・５地区全自治会）
8月23日（火）	皆川公民館（皆川地区全自治会）
8月24日（水）	国府公民館（大宮地区・国府地区全自治会）

(ｲ)　視察研修等

a　自治会長等視察研修

・期　間　１０月２５日（火）、２６日（水）

・場　所　神奈川県茅ヶ崎市

・内　容　茅ヶ崎市松風台自治会「自主防災活動について」

・出席者　自治会長等６４人

b　役員視察研修

・期　間　１０月１３日（木）、１４日（金）

・場　所　福島県郡山市

・内　容　全国自治会連合会福島県郡山大会への参加

・出席者　自治会連合会役員９人

(ｳ)　自治会功労者表彰式（市と共催事業）

・実施日　１１月７日（月）

・場　所　栃木文化会館

・内　容　一般表彰１４人、感謝状４人

(ｴ)　自治会連合会研修会（第１回）

・実施日　５月２４日（火）

・場　所　栃木文化会館

・出席者　自治会長等１０２人

・内　容　講演　「“当たり前”のまちづくりを考える」

－安全安心から始まる地域づくり－

講師　為国孝敏　氏

(ｵ)　自治会連合会研修会（第２回）

・実施日　１１月７日（月）

・場　所　栃木文化会館

・出席者　自治会長等１１１人

・内　容　講演　「地域の将来を自分たちで考えられるということ」

－自立する市民の目指すべき姿－

講師　橋立達夫　氏

(3)　栃木市自治会連絡協議会（事務局）

ア　組織構成

・組織

地域連合会（栃木市自治会連合会、大平町自治会長連合会、藤岡町自治会連合会、都賀町自治会長会及び西方町自治会長会）をもって組織

・役員等

地域連合会から理事を各４人ずつ選出（任期１年）

会長１人、副会長４人（理事のうちから互選で定める）

監事２人（理事のうちから会長が指名する）

イ　会議等

(ｱ)　理事会

第１回	6月6日（月）	栃木市自治会連絡協議会の役割について
第２回	7月29日(金)	栃木市自治会連絡協議会の今後の動きについて 各地域自治会連合組織の活動状況について
第３回	9月7日（水）	栃木市自治会連絡協議会の規約改正について 栃木市自治会連絡協議会補正予算について 臨時総会について 平成２４年度運営推進費予算について
第４回	1月23日(月)	新自治会連合組織の検討について
第５回	3月30日(木)	新自治会連合組織規約（案）について 平成２４年度地域連合会運営推進費（案）について

(ｲ)　臨時総会

・開催日　１０月４日（火）

・場　所　大平総合支所別館３階　大会議室

・内　容　規約改正に伴う副会長の選任について

今後検討すべき事項について

ウ　主な事業等

(ｱ)　全国自治会連合会全国大会

・期　間　１０月１３日（木）、１４日（金）

・場　所　福島県郡山市

・内　容　全国自治会連合会会長表彰

・出席者　自治会連絡協議会長

(ｲ)　県自治会連合会先進都市視察研修

・期　間　１１月１０日（木）、１１日（金）

・場　所　熱海市

・内　容　熱海市町内会長連合会

自治会の活動形態と運営上の課題について

自主防災組織のなりたちや活動内容・防災対策について

・出席者　自治会連絡協議会副会長３人

(ｳ)　県自治会連合会会長研修大会

・実施日　１月２７日（金）

・場　所　小山市立文化センター

・内　容　栃木県自治会活動功労者知事表彰、自治振興功労者表彰

・出席者　受賞者及び自治会連絡協議会役員１５人

(ｴ)　県自治会連合会県南ブロック会議

・実施日　２月１７日（金）

・場　所　小山グランドホテル

・内　容　自治会運営上の取り組みについて

エ　その他

(ｱ) 新春賀詞交歓会

・実 施 日　１月５日（木）

・場　　所　サンプラザ

・主催団体　当連絡協議会、市、市議会、商工会議所、下野農業協同組合
ほか５団体

市民協働推進担当

1　市民活動の推進

市民による営利を目的としない社会貢献活動を支援するため、市民活動推進センター「くらら」の管理運営を、指定管理者制度により特定非営利活動法人ハイジに委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を実施するとともに、特定非営利活動法人の認証等の事務を行った。

また、行政と市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、更なる意識の向上のための研修会等を開催した。

(1) 市民活動推進センター

ア　登録数

・団体　２０１団体

・個人　２０人

イ　運営委員会の開催

実施日	場所	出席者（人）
7月26日（火）	本庁舎　正庁	7
2月23日（木）	本庁舎　正庁	12

ウ　利用状況

来館者(人)	会議室使用		作業室使用(人)	相談件数(件)	印刷回数(回)
	団体数	人数			
19,384	537	5,599	1,542	218	692

エ　ホームページ閲覧　9,994件

オ　情報紙発行　毎月　2,000部発行

カ　広報とちぎ（２月号）へ情報紙折込み　全戸配布

(2) 特定非営利活動法人の認証等

栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、権限移譲を受け、平成１９年度から特定非営利活動促進法及び県の特定非営利活動促進法施行条例に基づく特定非営利活動法人の設立、解散または合併の認証等の事務を行った。

取扱件数　（単位：件）

設立	解散	定款変更	役員変更受付	事業報告書等受付
1	1	6	26	30

(3) 市民協働推進員の設置及び研修会等の開催

庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとと

もに、行政と市民との協働に関する意識の更なる向上を目指し、研修会等を開催した。

協働推進研修会

対象者	実施日	場所	出席者（人）
職員	5月17日（火）	本庁舎　正庁	45
職員	5月18日（水）	大平総合支所　第１・第２会議室	22
市民・職員	2月22日（水）	とちぎ市民活動推進センター	79

(4)　市民協働まちづくりファンド助成事業

主体的・公益的な市民活動を支援するため、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、公益的な活動を行う市民団体に活動経費の一部を助成した。

・助成団体数　１７団体

・助 成 総 額　2,398,000 円

・寄 附 件 数　４件

ファンド（基金）への積立て

種　別	金　額（円）
市民・企業からの寄附金	1,046,179
積立金利子	4,449
市の積立金	300,000
合　計	1,350,628

(5)　市民活動支援事業

市民協働まちづくりファンド助成を見直し、ＮＰＯ団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化をさらに促進するため、栃木市市民活動支援制度検討委員会及び内部の検討組織を設置して新たな支援制度を検討した。

ア　栃木市市民活動支援制度検討委員会

実施日	場所	出席者（人）
8月10日（水）	本庁舎　第５会議室	13
9月1日　（木）	本庁舎　正庁	13
10月5日（水）	本庁舎　正庁	13
12月1日（木）	本庁舎　第５会議室	10
1月19日（木）	本庁舎　第２会議室	11

イ　新たな市民活動支援制度検討プロジェクトチーム会議

実施日	場所	出席者（人）
6月16日　（木）	本庁舎　正庁	14
7月11日　（月）	本庁舎　正庁	15
8月22日　（月）	大平総合支所　第１・第２会議室	14
9月16日　（金）	本庁舎　第５会議室	13
10月19日（水）	本庁舎　第５会議室	15
11月22日（火）	本庁舎　第５会議室	14
1月6日　（金）	本庁舎　第２会議室	15

(6)　とちぎ協働まつり

市民自らが毎年テーマを掲げ、企画運営する「とちぎ協働まつり２０１１」を、実行委員会との共催により開催した。

・期　　日　１０月２３日（日）
・会　　場　栃木市総合運動公園
・テ ー マ　思い
・来 場 者　26,000人

2　市民総合賠償補償保険制度の実施

市民総合賠償補償保険制度とは、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を総合的に補てんする賠償責任保険並びに市が主催する行事等に参加している住民の急激かつ偶然な外来の事故について、法律上の損害賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金（見舞金）を補てんする補償保険により構成されている制度であり、全国市長会が損害保険会社と加入市を被保険者とする団体保険契約を締結して実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額（円）
損害賠償請求	2	521,119
補償金	3	205,000

3　市民活動補償制度の実施

市民活動補償制度とは、市民により自主的に構成された市民団体やその指導者が行う地域住民活動、青少年育成活動、社会福祉・社会奉仕活動、社会教育活動等で、本来の職場を離れて無報酬で行う継続的、計画的な実践活動中の事故について、指導者が賠償責任を負う場合の損害を補てんする賠償責任保険並びに指導者等や参加者が活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故について補償するために、市が保険会社と傷害保険を締結し実施する制度で、平成２２年度から実施した。

保険の種類	支払件数(件)	支払金額（円）
損害賠償請求	―	―
補償金	1	110,000

4　地域版プラットフォーム事業

ＮＰＯ等（ＮＰＯ法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、学校法人、地縁組織、協同組合等）、企業、行政を含むメンバーでプラットフォームを構成して２４年度実施に向けての協働事業を計画するため、３事業のプラットフォーム検討委員会を設置し検討した。

(1)　新市一体感醸成事業

合併後の新市において、それぞれの地域の特徴や資源を各地域市民が知るために各地域の資源を再発見できる事業を検討した。

・プラットフォーム検討委員会

実施日	場所	出席者（人）
10月18日（火）	とちぎ市民活動推進センター	13
11月24日（木）	とちぎ市民活動推進センター	12
12月22日（木）	プラッツおおひら	13
1月25日　（水）	大柿コミュニティセンター	13
3月2日　（金）	藤岡公民館	12
3月16日　（金）	真名子夢ホール	11

(2)　市民協働被災者支援事業

震災等の災害発生時の支援活動、避難者の市への受入れ支援や生活支援等のため、東日本大震災避難者のニーズを調査し、支援体制を作る事業を検討した。

ア　プラットフォーム検討委員会

実施日	場所	出席者（人）
12月26日（月）	とちぎ市民活動推進センター	13
1月30日　（月）	とちぎ市民活動推進センター	7
2月27日　（月）	とちぎ市民活動推進センター	11
3月26日　（月）	とちぎ市民活動推進センター	9

イ　ヒアリングニーズ調査

実施日	場所	参加者（人）
12月17日（土）	栃木公民館	19
2月26日　（日）	とちぎ市民活動推進センター	26

(3)　災害時市民協働ネットワーク構築事業

震災等の災害が起きた場合の市民活動の情報収集、地域での支援活動、ボランティア活動の受け皿となる仕組みづくりのため、先進地を視察し、事業を検討した。

ア　プラットフォーム検討委員会

実施日	場所	出席者（人）
1月16日（月）	とちぎ市民活動推進センター	12
2月28日（火）	とちぎ市民活動推進センター	12
3月22日（木）	とちぎ市民活動推進センター	13

イ　地域版プラットフォーム委員先進地視察

・視察日　　２月２０日(月)

・視察場所　　静岡県富士市社会福祉協議会　フィランセ東会館

・参加団体数　プラットフォーム検討委員会４団体

第３節　合併調整管理室

〔総括概要〕

合併調整管理室に合併調整管理担当を設置し､栃木市･大平町･藤岡町･都賀町合併協議会及び栃木市・西方町合併協議会において「合併後」に再編等とされた事務事業の調整状況の把握、事後処理に関すること及びその他合併に関することが分掌事務である。

「合併後」に再編等としている事務事業の調整状況を照会し､その結果について、庁議、議員研究会及び地域協議会において報告後、市ホームページ等を活用し、市民周知を図った。

市町村合併については、平成２３年９月３０日をもって栃木市・西方町合併協議会は解散し、１０月１日に栃木市と西方町が合併し、新市が誕生した。

一方、岩舟町において、栃木市を合併対象とする合併協議会設置の賛否を問う住民投票が平成２３年１月２３日に実施され、賛成票が多数となったことから、平成２３年４月８日付けで栃木市・岩舟町合併協議会が設置された。また８月には、岩舟町において、合併の相手先を決める住民投票が実施され、栃木市が多数を占めたことから、１０月に佐野市・岩舟町合併協議会が解散し、１１月には佐野との合併を進めてきた岩舟町長が辞職した。翌１２月に新たな町長が誕生したことで、ようやく栃木市との合併協議が本格的に開始され、平成２４年２月の合併協議会では、基本４項目の内、合併の期日を除く、３項目について確認された。

合併調整担当

１　合併調整管理事業

(1)　「合併後」再編等とされた事務事業数の内、平成２３年度以降の調整状況（単位：事業）

区　　分	Ａランク	Ｂランク	Ｃランク	計
事務事業総数	185	77	114	376
２３年度中に調整予定	38	34	73	145
２４年度中に調整予定	73	25	12	110
２５年度中に調整予定	30	5	4	39
２６年度中に調整予定	44	13	25	82

(2)　広報紙への合併関連記事掲載

・掲載回数　２回（９月号、２月号掲載）

(3)　ホームページでの広報（新市で進めている主な事務調整の経過のお知らせ）

・掲載回数　１回(７月掲載)

２　栃木市・西方町合併協議会

栃木市・西方町合併協議会の事務局として行った主な事務は、次のとおりである。

(1)　協議会開催状況

第５回合併協議会

・開 催 日　６月２７日（月）

・場　　所　栃木保健福祉センター

・報告事項　合併協定項目の具体的な調整結果

合併協定項目以外の主な調整方針

合併後の組織機構

例規整備の進捗状況

平成２３年度一般会計補正予算編成方針

・審議事項　議会歳入歳出決算

平成２３年度合併協議会補正予算（第１号）

栃木市・西方町合併協議会の廃止

(2)　協議会廃止の経過

9月2日（金）	廃止議案可決
9月16日（金）	廃止協議書に調印
9月20日（火）	合併協議会廃止の告示 県知事に廃止の届出
9月30日（金）	栃木市・西方町合併協議会廃止

(3)　広報関係

ア　広報とちぎ記事掲載

７月号～９月号まで「にしかた巡行記」

イ　ＣＡＴＶ生活文字情報提供

第５回栃木市・西方町合併協議会開催のお知らせ

ウ　新聞広告

下野新聞へ新「栃木市」誕生広告の掲載

3　栃木市・岩舟町合併協議会

栃木市・岩舟町合併協議会の事務局として行った主な事務は、次のとおりである。

(1)　栃木市・岩舟町合併協議会設立の経過

4月8日（金）	設置協議書調印 合併協議会設置を告示 栃木市・岩舟町合併協議会設置
4月15日（金）	県知事に設置届出

(2)　広報関係

ア　広報とちぎ記事掲載

６月号「栃木市・岩舟町合併協議会を設置」

イ　ホームページ記事掲載

「栃木市・岩舟町合併協議会」

ウ　ＣＡＴＶ生活文字情報提供

第２回栃木市・岩舟町合併協議会開催のお知らせ

(3)　協議会開催状況

ア　第１回合併協議会

・開 催 日　５月１３日（金）
・場　　所　栃木保健福祉センター
・報告事項　合併協議会設立までの経過
　　合併協議会規約
　　合併協議会の諸規程について
　　合併協議会委員の身分等の取扱い
・審議事項　合併協議会会議運営規程
　　合併協議会委員等の報酬及び費用弁償する規程
　　平成２３年度合併協議会事業計画
　　平成２３年度合併協議会予算
・協議事項　合併協定項目及び合併協定項目の調整方針

イ　第２回合併協議会

・開 催 日　７月７日（木）
・場　　所　岩舟町健康福祉センター「遊楽々館」
・審議事項　合併協議スケジュール・・【取り下げ】
　　合併協議会の延期
・協議事項　合併の方式　　・・・・・【取り下げ】
　　合併の期日　　・・・・・【取り下げ】
　　新市の名称　　・・・・・【取り下げ】
　　新市の事務所の位置・・・【取り下げ】

ウ　第３回合併協議会

・開 催 日　１０月２１日（金）
・場　　所　岩舟町商会館大会議室
・報告事項　岩舟町住民投票結果及びその後の経過
　　合併協議会専門部会規程の変更
　　合併協議会分科会規程の変更
・審議事項　平成２３年度合併協議会補正予算（第１号）

エ　第４回合併協議会

・開 催 日　２月１７日（金）
・場　　所　栃木市藤岡遊水池会館 大会議室
・審議事項　合併協議スケジュールについて
　　平成２４年度合併協議会予算の専決処分
・協議事項　合併協定項目１　合併の方式
　　合併協定項目２　合併の期日
　　合併協定項目３　新市の名称
　　合併協定項目４　新市の事務所の位置
　　合併市町村基本計画の策定方針（案）

第４節　秘書広報課

〔総括概要〕

秘書広報課の主な分掌事務は、秘書関係及び広報広聴関係業務である。

秘書関係業務については、市長のトップマネジメントが十分発揮できるよう秘書機能の充実に努めたほか、合併後初めてとなる市政功労者等の表彰や市内各団体等との円滑な交流推進を図るための新春賀詞交歓会などを、関係団体等の協力の下実施した。また、西方町との合併を記念し、市民と一緒に本市の新しい門出を祝い、新生「栃木市」の一体感を醸成するため、１０月１４日に栃木文化会館において合併記念式典を挙行した。

広報業務については、市民に市政への理解と関心を高めてもらうため、広報紙の定期発行をはじめ、報道機関等への情報提供、公式ホームページの活用等、きめ細やかな広報活動を展開した。広報紙については、毎月１回発行し、内容の充実を図り、市政のＰＲと情報伝達の円滑化に努めた。

広聴業務については、市政に対する理解と協力を得るため、市長へのアイデア直通便、パブリックコメント制度、まちづくり懇談会ふれあいトークを実施するなど市民との対話の機会を設け、市民の自治意識高揚と市政参加の推進に努めた。

秘書担当

１　市長のホームページの管理

・市長のメッセージの更新　　年４回（春夏秋冬）
・市長の主な動きの更新　　月１回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
・市長の交際費支出状況の更新　月１回（各月ごとにその翌月１５日頃）

２　下野新聞社への市長日程の提供

毎週水曜日に次週の市長日程の抜粋を報告した。

３　表彰

市政功労者、徳行者及び市民栄誉賞受賞者の表彰式を開催した。

・開催日　　３月２８日（水）
・場　所　市役所　正庁
・市政功労者表彰（敬称略）

表彰条例第３条第１項による表彰（各種委員等における永年在職者）

自治会長	在職２０年	岸　　貞　吉
人権擁護委員	在職１２年	柏　崎　惠美子
人権擁護委員	在職１５年	齋　藤　美代子
人権擁護委員	在職１８年	増　山　文　男
消防団員	在職４１年　２か月	大　塚　政　和

消防団員	在職２１年１０か月	岡　本　　治
消防団員	在職３２年１０か月	越　沼　　稔
消防団員	在職３２年　９か月	寺　内　　貢
消防団員	在職３０年１０か月	長　尾　芳　昭
消防団員	在職２２年１０か月	茂　呂　晃　男
消防団員	在職２２年１０か月	味　村　勝　弘
寺尾財産区議員	在職１２年	白　沢　栄　幸
少年補導員	在職２０年　９か月	牧　野　千賀子
母子保健推進員	在職２３年　９か月	青　木　悦　子
母子保健推進員	在職２９年　９か月	志　鳥　桂　子
母子保健推進員	在職２０年　９か月	関　口　光　子
母子保健推進員	在職２０年　９か月	野　村　春　美
母子保健推進員	在職２３年　９か月	橋　本　洋　子
民生委員児童委員	在職２２年　１か月	繁　岡　哲　哉
都市計画審議会委員	在職１２年　６か月	増　山　正　明
西方町町議会議員	在職１５年　６か月	早乙女　照　雄
西方町町議会議員	在職１９年　６か月	和賀井　政　雄
選挙管理委員会委員	在職１５年　７か月	若　林　祐　市
学校医	在職２１年　９か月	大　塲　昭　夫
学校医	在職２１年　９か月	酒　井　俊　通
学校医	在職２１年　９か月	髙　田　一　男
学校医	在職２１年　９か月	田　中　勝之助
学校医	在職２７年　２か月	船　越　修　二
学校医	在職２７年　９か月	百　瀬　正　明
学校歯科医	在職２１年　９か月	井　本　明　基
学校歯科医	在職２１年　９か月	入　野　光　市
学校歯科医	在職２３年　９か月	庄　野　英　雄
学校歯科医	在職２１年　９か月	根　本　　進
学校薬剤師	在職２２年　３か月	荒　井　京　子
学校薬剤師	在職２２年　９か月	大豆生田　民江
学校薬剤師	在職２２年　３か月	佐　山　勝　英

・徳行者表彰（敬称略）

表彰条例第４条第１項による表彰

徳　行	板　倉　安　秀
徳　行	大　杉　清　一
徳　行	白　川　よし子
徳　行	吉　村　榮　市
徳　行	アドバンスト フィルム ディバイス インク株式会社
徳　行	株式会社センタービレッジコーポレーション

・市民栄誉賞表彰（敬称略）

表彰条例第５条による表彰

市民栄誉賞（平成２３年文部科学大臣全国高等学校囲碁選手権大会優勝）

癸生川　　聡

市民栄誉賞（平成２３年全国高等学校総合文化祭囲碁部門優勝）

塚　田　花　梨

市民栄誉賞（平成２２年全国中学校体育大会・全日本陸上競技選手権大会走り高跳び優勝）

中　島　大　輔

市民栄誉賞（平成２３年全国高等学校漫画選手権最優秀賞）

栃木女子高校美術部

市民栄誉賞（平成２３年全国小学校陸上競技交流会優勝）

下都賀ＴＯＪ女子４×１００ｍリレーチーム

4　新春賀詞交歓会

・開 催 日　１月５日（木）

・場　　所　サンプラザ

・主催団体　市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会
都賀町商工会・西方商工会・下野農業協同組合・上都賀農業協同組合
栃木市自治会連絡協議会

・参加者数　３８３人

（栃木市１７２人、市議会３１人、会議所９２人、
商工会３０人（大平１１人、藤岡６人、都賀６人、西方７人）
農協３９人（下野３８人、上都賀１人）、自治会関係１９人）

5　合併記念式典

・開 催 日　１０月１４日（水）

・場　　所　栃木文化会館

・招待者数　1,545人

・表　　彰　合併功労者総務大臣表彰　　４人
感謝状受章者（合併協議会委員）　２２人
〃　（旧西方町議会議員）　６人

広報広聴担当

1　広報関係

(1)　広報紙等による広報

市政全般を掲載する広報紙の発行を中心に、各種広報により市政を周知し、市政のＰＲに努めた。

広報とちぎ

・発行部数　５月号～１０月号　１回45,500部

１１月号～４月号　１回47,600部

・仕　　様　Ａ４判

号	ページ数		号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色		4色	2色
13	4	24	17	4	24	21	4	24
14	4	28	18	4	28	22	4	24
15	4	32	19	4	32	23	4	28
16	4	28	20	4	24	24	6	46

(2)　視聴覚障がい者等への広報

ア　広報とちぎ点字版

・発行回数　定期６回（２か月に１回）

・発行部数　１回３０部

・仕　　様　Ｂ５判点字用紙（約２５ページ）

イ　声の広報とちぎ

朗読ボランティアあかり及び朗読グループいずみの協力を得て発行

・発行回数　定期１２回

・発行時期　広報とちぎの発行後録音（カセット・ＣＤ）

(3)　ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、本市のまちづくりやイベント・観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に県内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

・アクセス件数（ページビュー数）3,334,017件

(4)　テレビ・ラジオ等による広報

ア　ＣＡＴＶコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル１１１チャンネル）で放送した。

主な番組

・自治体広報番組「栃木市からこんにちは」

１８分番組で、３月２６日（月）から３１日（土）の間放送された。

・生活文字情報

文字スクロールによる生活情報で、毎週月・水・金曜日に１０分間放送された。（１日４回）

イ　とちぎテレビ

本市政のＰＲによるイメージアップを図るため、（株）とちぎテレビに番組制作を委託し、同社で放送した。

・新春特別番組「２０１２年　わが街発！」

３０分番組のうち１０分間で、１月１日（日）、２日（月）（再放送）に放送された。

ウ　栃木放送（ＣＲＴ）

（株）栃木放送に番組製作を委託。市長が街づくりの抱負や行政運営、将来の展望について語り、市政のＰＲをおこなった。

・２０１２年新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

１０分番組で、１月１日（日）、３日（火）（再放送）に放送された。

エ　エフエム栃木

本市のイメージアップや観光への誘客を図るために、市政のＰＲ及び市内の各種行事等の情報を県内全域に発信する市の広報番組の製作を(株)エフエム栃木に委託した。

・「ＭＹ　ＣＩＴＹ　とちぎＦＭ」

生放送で毎週月曜日に５５分間放送した。

(5)　報道機関等への情報提供

ア　記者会見（中央記者クラブ）

・定例記者会見　毎月１回

・予算記者会見　年１回

・臨時記者会見　随時

※その他の報道機関へは、定例・臨時記者会見資料を随時提供

イ　市政情報の提供（ＦＡＸにより随時）

・情報提供件数　２９４件

(6)　広報活動推進員による活動

各課から１人、広報活動推進員を選任し、広報活動の円滑な事務を行う。

・広報活動推進員　７３人

・研修会実施日　６月２０日（月）

(7)　その他

資料の提供として、随時関係機関に写真の提供を行った。

2　広聴関係

(1)　市長へのアイデア直通便

市民から市政に対し、幅広くアイデアやご提案、ご意見を聴き、施策に反映させ、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

・受付通数　６９通（提案件数　１０７件）

(2)　市政メール箱（電子メール）

インターネットを利用した広聴活動を実施するため、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を開設し、投書受付を実施した。

・投書件数　９８件

(3)　投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・投書件数　３１件

(4)　市政に関する意見の郵送及びＦＡＸの受付

市民からのご意見を郵送及びＦＡＸにより投書受付をする。

・投書件数　２２件

(5)　パブリックコメント

主要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参加を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、パブリックコメント制度（市民意見提出制度）を実施した。

・実施件数　１１件

(6)　県の施設をみる「県民バス」（県民プラザ室主催）

県政への理解と協力を得るため、県主催により県民バスが実施された。

・実 施 日　１１月１０日（木）

・参 加 者　３４人

・見学施設　農業試験場、林業センター

(7)　市民討議会

無作為に抽出した市民1,000人を対象に参加を促し、（社）栃木青年会議所との共催により、とちぎ市民討議会２０１１を開催した。

・実 施日　９月１１日（日）

・場　所　市役所　正庁

・参 加者　２５人

・テ ーマ　「今、震災を経験して」

～３月１１日、あの日から考えること～

①　あの時、困ったこと、心配したことは何ですか

②　震災を経験して、取り組んでいることはありますか

③　今後、私たちはどんな備えが必要ですか

(8)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民と市のコミュニケーションの場を設け、お互いの理解を深め、住みよいまちづくりを推進するため、市内各地域において開催し、市政に対する意見・提案等を聴くことにより、行政上の課題や市民生活上の問題点を把握し、市政に反映することを目的に開催した。

・栃木地区

開催日	出席者（人）	会場
8月3日（水）	112	第6地区コミュニティセンター
8月4日（木）	82	第4地区コミュニティセンター
8月9日（水）	114	吹上公民館
8月10日（水）	90	第5地区コミュニティセンター
8月23日（火）	72	皆川公民館
8月24日（水）	91	国府公民館

・大平地区

開催日	出席者（人）	会場
10月17日（月）	76	大平西地区公民館
10月18日（火）	94	大平東地区公民館

10月19日（水）	80	大平南地区公民館

・藤岡地区

開催日	出席者（人）	会場
7月12日（火）	44	部屋地区公民館
7月13日（水）	53	藤岡遊水池会館
7月14日（木）	55	三鴨地区公民館
7月19日（火）	29	赤麻地区公民館

・都賀地区

開催日	出席者（人）	会場
10月3日（月）	55	南部コミュニティセンター
10月4日（火）	57	家中小学校体育館
10月12日（水）	43	赤津小学校体育館

・西方地区

開催日	出席者（人）	会場
11月15日(火)	45	西方総合文化体育館
11月16日(水)	42	西方公民館
11月17日(木)	34	真名子夢ホール

第５節　財政課

〔総括概要〕

平成２３年度の当初予算については、新生栃木市誕生後、実質初めての予算編成であり、新市まちづくり計画の実現及び市長マニフェストに掲げた施策の推進を図り、かつ緊急的な課題に対応したものであった。また、第４次補正予算において2,619,201千円の増額補正を行い、旧西方町合併に伴う財政需要の増加に対応した。

一方で、財政の透明性の確保や市民への説明責任を果たすため、「予算のあらまし」や「ホームページ」等を通して、わかりやすい予算・決算の公表に努めた。

平成２４年度の当初予算については、持続可能な財源の確保に主眼を置き、地域の独自性を生かしながら均衡ある発展ときめ細かな行政サービスの提供、そして、西方地域も加えた新市まちづくり計画の実現、市長マニフェストの具現化に向けた予算編成を行った。

財政担当

1　平成２３年度歳入歳出予算

(1)　一般会計　　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	52,250,000
専決処分補正第1号	平成 23 年 4 月 1 日	75,000	52,325,000
補正第 2 号	平成 23 年 4 月 27 日	36,614	52,361,614
補正第 3 号	平成 23 年 6 月 23 日	160,611	52,522,225
補正第 4 号	平成 23 年 9 月 27 日	2,619,201	55,141,426
補正第 5 号	平成 23 年 9 月 27 日	7,894	55,149,320
補正第 6 号	平成 23 年 12 月 15 日	△1,291	55,148,029
専決処分補正第7号	平成 24 年 1 月 10 日	12,952	55,160,981
補正第 8 号	平成 24 年 3 月 22 日	△350,658	54,810,323

(2)　特別会計

ア　国民健康保険　　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	15,349,000
補正第 1 号	平成 23 年 9 月 27 日	466,676	15,815,676
補正第 2 号	平成 23 年 12 月 15 日	112,883	15,928,559
補正第 3 号	平成 24 年 3 月 22 日	386,810	16,315,369

イ　後期高齢者医療　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	1,199,500
補正第 1 号	平成 23 年 9 月 27 日	34,885	1,234,385
補正第 2 号	平成 23 年 12 月 15 日	4,127	1,238,512
補正第 3 号	平成 24 年 3 月 22 日	△3,101	1,235,411

ウ　介護保険（保険事業勘定）　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	9,485,000
補正第 1 号	平成 23 年 9 月 27 日	260,804	9,745,804
補正第 2 号	平成 23 年 12 月 15 日	22,396	9,768,200
補正第 3 号	平成 24 年 3 月 22 日	△190,971	9,577,229

エ　介護保険（介護サービス事業勘定）　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	32,500
補正第 1 号	平成 23 年 9 月 27 日	1,158	33,658
補正第 2 号	平成 24 年 3 月 22 日	525	34,183

オ　下水道　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	3,945,000
補正第 1 号	平成 23 年 9 月 27 日	80,695	4,025,695
補正第 2 号	平成 23 年 12 月 15 日	△15,805	4,009,890
補正第 3 号	平成 24 年 3 月 22 日	△180,429	3,829,461
補正第 4 号	平成 24 年 3 月 22 日	－	3,829,461

カ　農業集落排水　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	255,800
補正第 1 号	平成 23 年 9 月 27 日	50,975	306,775
補正第 2 号	平成 23 年 12 月 15 日	△10,480	296,295
補正第 3 号	平成 24 年 3 月 22 日	－	296,295

キ　地域改善対策住宅新築資金等貸付　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	2,900
補正第 1 号	平成 24 年 3 月 22 日	△755	2,145

ク　JR大平下駅前土地区画整理　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	140,100
補正第 1 号	平成 24 年 3 月 22 日	△13,000	127,100

ケ　医療福祉モール　　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	27,600
補正第 1 号	平成 24 年 3 月 22 日	1,629	29,229
専決処分補正第2号	平成 24 年 3 月 23 日	－	29,229

コ　中根企業用地　　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	－	270,700
補正第 1 号	平成 24 年 3 月 22 日	－	270,700

(3)　水道事業会計　　（単 位：千 円）

区　　分	議決等年月日	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		収　入	支　出	収　入	支　出
当 初 予 算	平成 23 年 3 月 24 日	2,068,663	2,019,248	237,424	1,271,453
補正第 1 号	平成 23 年 9 月 27 日	78,290	96,999	18,344	67,597
補正第 2 号	平成 23 年 12 月 15 日	－	12,000	－	－
補正第 3 号	平成 24 年 3 月 22 日	－	－	△66,900	－
計		2,146,953	2,128,247	188,868	1,339,050

2　平成２３年度決算状況

(1)　一般会計及び特別会計　　（単 位：千 円）

区　　分	予算現額	決算額			翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
		歳　　入	歳　　出	差引額		
一 般 会 計	56,932,723	55,705,962	52,526,282	3,179,680	230,179	2,949,501
国民健康保険特別会計	16,315,369	16,093,972	15,548,915	545,057	0	545,057
後期高齢者医療特別会計	1,235,411	1,221,406	1,217,648	3,758	0	3,758
介護保険特別会計（保険事業勘定）	9,577,229	9,491,037	9,156,629	334,408	0	334,408
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	34,183	35,133	31,584	3,549	0	3,549
下水道特別会計	4,241,300	4,017,549	3,947,396	70,153	6,418	63,735
農業集落排水特別会計	296,295	302,199	259,792	42,407	0	42,407
地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計	2,145	2,053	2,053	0	0	0
ＪＲ大平下駅前土地区画整理特別会計	146,868	143,549	118,117	25,432	22,000	3,432
医療福祉モール特別会計	29,229	30,399	27,761	2,638	0	2,638
中根企業用地特別会計	270,700	96,396	96,296	100	100	0
計	89,081,452	87,139,655	82,932,473	4,207,182	258,697	3,948,485

(2) 水道事業会計　　（単 位：千 円）

区　分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収　　入	支　　出	収　　入	支　　出
予算額①	2,146,953	2,130,864	188,868	1,381,132
決算額②	2,168,991	1,901,706	160,480	1,173,497
②－①	22,038		△28,388	
繰越額		5,320		44,817
不用額		223,838		162,818

3　地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の収入額　　（単 位：千 円）

区　　分		交付月	期　　間	交　付　額
地方譲与税	地方揮発油譲与税	6月	平成23年3月～5月	45,671
		11月	平成23年6月～10月	65,992
		3月	平成23年11月～平成24年2月	48,408
		計		160,071
	自動車重量譲与税	6月	平成23年2月～4月	115,234
		11月	平成23年5月～9月	172,409
		3月	平成23年10月～平成24年1月	127,871
		計		415,514
	地方道路譲与税	6月	平成23年3月～5月	0
		11月	平成23年6月～10月	0
		3月	平成23年11月～平成24年2月	0
		計※		1
	小　　計			575,586
利子割交付金		8月	平成23年3月～7月	14,603
		12月	平成23年8月～11月	14,840
		3月	平成23年12月～平成24年2月	9,810
		計		39,253
配当割交付金		8月	平成23年3月～7月	8,345
		12月	平成23年8月～11月	1,028
		3月	平成23年12月～平成24年2月	16,805
		計		26,178
株式等譲渡所得割交付金		3月	平成23年3月～平成24年2月	6,857
地方消費税交付金		6月	平成23年2月～4月	316,895
		9月	平成23年5月～7月	419,737
		12月	平成23年8月～10月	255,596
		3月	平成23年11月～平成24年1月	361,419
		計		1,353,647

ゴルフ場利用税交付金	8月	平成23年3月～7月	112,216
	12月	平成23年8月～11月	135,478
	3月	平成23年12月～平成24年2月	96,142
	計		343,836
自動車取得税交付金	8月	平成23年4月～7月	32,343
	12月	平成23年8月～11月	46,557
	3月	平成23年12月～平成24年3月	53,429
	計		132,329
地方特例交付金	4月		107,825
	9月		88,889
	11月		23,602
	計		220,316
交通安全対策特別交付金	9月	平成23年3月～8月	10,828
	3月	平成23年9月～平成24年2月	10,836
	計		21,664
合計			2,719,666

※千円未満部分を足し合せた額を切上げ

4　地方交付税

(1)　算定額　　（単 位：千 円）

区　　分	平成23年度算定額
基準財政需要額 ①	21,022,243
基準財政収入額 ②	15,015,503
交付基準額（①－②）③	6,006,740
錯誤額・調整額 ④	26,142
普通交付税 ⑤	8,085,426
特別交付税 ⑥	1,286,487
合　　計（⑤＋⑥）	9,371,913

※①～③は一本算定による算定額、⑤は合併算定替による算定額

※⑤の算定額には、旧西方町による算定額は含まない。

(2)　収入額　　（単 位：千 円）

区　　分	交付月	交付額	区　　分	交付月	交付額
普通交付税	4月	1,967,316	特別交付税	9月※1	22,689
	6月	1,980,905		12月	239,908
	9月	2,068,005		3月	918,673
	11月	2,258,027		3月※2	105,217
小　　計		8,274,253	小　　計		1,286,487
合　　計					9,560,740

※1　特例交付　　※2　震災復興特別交付税

5　市債の状況（一般会計）

名称（予算書の起債の目的）	借入額(千円)	年利率(%)	借　入　先
農業生産基盤整備事業	56,300	1.00	財　務　省
公共施設等耐震化事業	41,400	1.00	財　務　省
まちづくり事業（道路）	14,500	1.00	財　務　省
まちづくり事業（河川）	7,000	1.00	財　務　省
まちづくり事業(土地区画整理)	12,900	1.00	財　務　省
まちづくり事業（公園）	77,300	1.00	財　務　省
まちづくり事業（体育施設）	2,500	1.00	財　務　省
河川災害復旧事業	2,000	0.60	財　務　省
公営住宅改修事業	15,500	0.60	財　務　省
小学校施設整備事業	386,100	1.40	財　務　省
	586,000	0.45	足利小山信用金庫
中学校施設整備事業	111,800	1.40	財　務　省
	55,800	0.60	財　務　省
	90,400	0.60	地方公共団体金融機構
	89,200	0.45	足利小山信用金庫
消防施設整備事業	15,600	0.30	全国市有物件災害共済会
	14,000	0.45	足利小山信用金庫
保育所施設整備事業	20,400	0.45	足利小山信用金庫
	18,400	0.60	栃木県市町村振興協会
公園整備事業	2,100	0.60	栃木県市町村振興協会
体育館整備事業	87,900	0.60	栃木県市町村振興協会
河川等整備事業	27,000	1.30	地方公共団体金融機構
橋りょう耐震化事業	52,900	0.60	地方公共団体金融機構
児童福祉施設整備事業	94,200	0.70	栃木県市町村振興協会
	3,400	0.45	足利小山信用金庫
農道整備事業	20,900	1.30	地方公共団体金融機構
	18,400	0.45	足利小山信用金庫
道路維持事業	52,900	1.30	地方公共団体金融機構
	184,900	0.45	足利小山信用金庫
道路新設改良事業	113,000	1.30	地方公共団体金融機構
	320,200	0.45	足利小山信用金庫
臨時財政対策債	1,654,000	0.90	財　務　省
	1,160,000	0.90	地方公共団体金融機構
合　計	5,408,900		

※旧西方町の事業に係る起債を含む。

6　財政状況の公表

告示番号	告示年月日	内　　容
第196号	平成 23 年 6 月 29 日	平成22年度予算執行状況等
第441号	平成 23 年 12 月 27 日	平成23年度予算執行状況及び平成22年度決算状況等

7　水道事業業務状況の公表

告示番号	告示年月日	内　　容
第197号	平成 23 年 6 月 29 日	平成22年度下半期分
第442号	平成 23 年 12 月 27 日	平成23年度上半期分

第６節　人権推進課

〔総括概要〕

人権推進課の主な事務分掌は、人権問題、人権啓発、人権擁護委員、人権関係機関及び人権関係団体に関すること、厚生センターの管理運営及び隣保館相談事業等に関することである。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

人権啓発活動については、特に人権擁護委員と連携を図り、市民の中に潜在的に存在するあらゆる差別や偏見を根絶し、一人ひとりがすべての人権問題の解決を自らの課題として受け止め、人権意識の高揚が図られるよう積極的に活動を推進し、各種啓発事業を実施した。

また、人権講演会や研修会、講座等の人権教育啓発推進事業を実施し、啓発活動の充実を図った。

厚生センターは、人権問題解決の活動拠点として、地域住民に対して生活上の各種相談事業や地域交流のための事業を実施するとともに、啓発用ビデオの貸出し等を行い、広く市民に対する人権意識の高揚に努めた。

人権推進担当

1　啓発事業

(1)　啓発活動の実施

ア　啓発記事の掲載

毎月広報とちぎに「幸せを求めて」と題して啓発記事を掲載した。

イ　人権教育啓発推進事業委託実施状況

研　修　会　等　名	開催回数(回)	延べ参加人数(人)	関係課等
特定職業従事者(消防職員)人権研修会	1	33	消防本部
人権連続講座（市職員対象）	4	208	全課
人権問題研修会並びに人権問題職場啓発推進員研修会	1	59	職員課
要保護児童対策地域協議会人権講演会	1	68	こども課
介護講演会	1	120	社会福祉協議会
高齢者教室	1	45	生涯学習課
企業啓発研修会	1	30	大平総合支所
人権教育指導者研修会	1	59	藤岡総合支所
福祉関係講演会	1	30	都賀総合支所

ウ　人権研修会各課開催状況

研　修　会　等　名	開催回数(回)	参加人数(人)	担当課
学校人権教育研修会	2	74	学校教育課
女性学級	6	219	生涯学習課
高齢者教室	5	194	生涯学習課

(2)　「栃木県人権同和対策推進県民運動強調月間」（８月）における市民啓発

「とちぎ蔵の街サマーフェスタ2011」において、人権擁護委員と街頭啓発を実施し、啓発用品の配布を行った。

・実施日　８月６日（土）

・参加者　人権擁護委員７人、職員２人

・配布物　啓発用ペーパーファン４５０枚

(3)　「人権週間」における市民啓発

１２月４日（日）～１０日（土）の「人権週間」において各種啓発活動を実施した。

ア　街頭啓発の実施

「人権週間」中、人権尊重思想の普及と高揚を図るため、街頭啓発を実施し、啓発物品の配布を行った。

・実 施 日　１２月６日(火)

・啓発場所　ヤオハンアイム店、イオン栃木店、ヨークベニマル栃木店

・参 加 者　人権擁護委員８人、運動団体３人（部落解放同盟栃木市協議会、部落解放愛する会栃木市協議会）、宇都宮地方法務局栃木支局職員１人、市職員４人

・配 布 物　啓発物品（チラシ、LEDライト、ボールペン、ミニタオル、クリアファイル、ティッシュ）　４５０セット

イ　広報車による啓発

広報車で市内を巡回し、録音テープによる啓発を行った。

・実施日　１２月５日(月)

ウ　懸垂幕、横看板の掲出

市役所本庁舎に懸垂幕、足利銀行栃木支店に横看板を掲出した。

・期　間　１２月１日（木）～１２日（月）

・看板イメージ

１２月４日～１０日　「人権週間」 育てよう　やさしい心と思いやり　栃木市

(4)　「人権講演会in栃木」の開催

・実 施 日　１月２７日(金)

・場　　所　栃木文化会館（小ホール）

・内　　容　講演　ちがいを認める時が自分を高められる時

講師　弁護士　菊地幸夫　氏

・参 加 者　約２５０人

・備　　考　県と共催、県内持ち回り

2　人権を考える市民の集い

・実 施日　１２月１０日(土)

・場　所　栃木文化会館（大ホール及びホワイエ）

・備　考　教育委員会と共催

・参 加者　約５００人

・人権問題講演会 オープニング　童謡合唱(童謡歌おう会)

講演　混迷の時代を生きる“命の重さ”～私の取材ノートから～

講師　ジャーナリスト　江川紹子　氏

・人 権 作 品 展　栃木人権擁護委員協議会主催　人権書道展2011年応募作品

栃木県子どもの人権ポスター原画コンテスト2011年応募作品

人権啓発物品の配布

3　人権擁護委員関係

(1)　人権相談所

市民生活課の総合相談において、人権相談を実施したほか、特設相談を２回実施した。

・実 施 日　毎月第２・４金曜日

・会　　場　市役所正庁、そのほか

・相 談 員　栃木地域の人権擁護委員９人（当番制）

・特設相談

人権擁護委員の日	6月1日(水)
人権週間	12月6日(火)

(2)　人権週間

街頭啓発、小中学校等における人権講演会への講師としての参加等を行い人権尊重思想の普及高揚を図った。

(3)　「人権の花」運動

人権思想の普及高揚のための啓発活動は、幼少期のころから行うことがより効果的であることから、「人権の花」運動を実施した。児童がお互いに協力して花を栽培し、その花を他人に観賞してもらうこと等により、児童の情操をより豊かにし、人権思想への理解促進を図った。

・贈呈式

実施日	実施校	参加者（人）
6月21日（火）	栃木第五小学校	599
7月 1日（金）	南小学校	344
7月 4日（月）	栃木第四小学校	193

(4)　人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い法務局から推薦の依頼を受け、候補者を選出し、議会の議決を経て推薦をした。

・推　薦　１０人（再任７人、新任３人）

4　同和対策関係事業の実施状況

(1)　民間団体との話合い

同和対策事業及び同和教育について、円滑な推進を図るため、民間２団体役員と随時協議を行った。

(2)　部落解放同盟からの要請対応

部落解放同盟栃木県連合会から提出された「2011年・2012年　部落解放・人権行政確立のための要請書」に対する回答を作成するため、人権施策推進本部幹事会を開催した。

・開催日　１月１３日(金)
・会　　場 栃木文化会館（小ホール）
・出 席 者 幹事（総合政策部長･教育次長･全課長）、関係職員及び部落解放同盟栃木県連合会役員
・内　　容 「2011年・2012年　部落解放・人権行政確立のための要請書」にかかる主旨説明、質疑応答

(3)　関係事業

事　業　名	主　管　課　名
就労・労働対策事業	商工観光課
改良住宅管理事業	施設管理課
学校人権教育推進事業	学校教育課
社会教育指導員設置事業	生涯学習課
集会所指導事業	生涯学習課
社会人権同和教育推進事業	生涯学習課

5　厚生センター事業

(1)　相談事業

項　目	件　数(件)	項　目	件　数(件)
生活相談	122	福祉相談	59
健康相談	15	医療年金相談	25
教育児童相談	2	職業相談	11
住宅相談	21	人権相談	8
市税等相談	4	環境衛生相談	10
計			277

(2)　啓発事業

ア　啓発用ビデオの貸出し

各種研修会・講演会等において、人権問題を広く啓発普及するため、啓発用ビデオの貸出しを行った。また、啓発用ビデオを１本新規購入した。

・貸出状況　１１２件（延べ視聴者4,521人）

・購入ビデオ　「えっ！これも人権？」

イ　図書及び啓発資料の貸出し

人権問題、同和問題の啓発等に関する図書及び資料の貸出しを行った。

(3)　地域交流事業

ア　夏休み交流事業「レクリェーションとビデオ上映会」

・実 施 日　８月９日（火）

・参 加 者　７２人

・内　　容　レクリェーション、昼食、啓発物品等配布、
人権啓発ビデオ上映「桃色のクレヨン」

イ　冬休み交流事業「レクリェーションとビデオ上映会」

・実 施 日　１２月２７日（火）

・参 加 者　２９人

・内　　容　レクリェーション、昼食、啓発物品等配布、
人権啓発ビデオ上映「鉢かづき姫」

ウ　読み聞かせ学習・発表会

(ｱ)　読み聞かせ体験講座　３回連続

・実 施 日　２月７日（火）、１４日（火）、２１日（火）

・参 加 者　１０人

・協　　力　読み聞かせボランティア「九輪草の会」

(ｲ)　読み聞かせ会

「映像と音楽とおはなしの会～サックスとピアノの調べにのせて～」

・実 施 日　２月１９日（日）

・場　　所　厚生センター

・参 加 者　約６０人

・内　　容　「かぐや姫」朗読とスライド映写、ピアノ演奏
「雪わたり」１６ミリフィルムアニメーション映画上映
「銀河鉄道の夜」朗読と影絵スライド映写
サックスとピアノの演奏

(4)　ボランティア団体等の活動支援

ア　登録団体への無償貸館

登録団体	貸出件数	利用人数
7団体	76件	1,133人

イ　読み聞かせ学習グループ「九輪草の会」の活動支援

朝の読み聞かせ	栃木第四小学校
保育園訪問読み聞かせ	はこのもり保育園
	ぬまわだ保育園
要請による出張朗読	吹上地区高齢者学級
	紬の会

(5)　栃木県隣保館連絡協議会並びに全国隣保館連絡協議会主催研修会等への参加

ア　栃木県隣保館連絡協議会

会長（県内持ち回り）として、各種会議や研修会を開催した。

区　分	実施日	会場等
定期総会	4月14日（木）	足利市
理事会	6月23日（木）	厚生センター
	10月 5日（水）	県外視察時車中
	12月15日（木）	大平隣保館
	2月17日（金）	厚生センター
研修会	7月21日（木）	小山市
	8月26日（金）	岩舟町
	11月30日（水）	足利市
県外研修会	10月 5日（水）、6日（木）	長野県長野市ほか
県連懇談会	5月24日（火）	厚生センター

イ　全国隣保館連絡協議会

全国隣保館連絡協議会理事（県隣協会長あて職）として、各種会議や研修会等へ参加した。

区　分	実施日	開催地
全国隣保館連絡協議会東日本ブロック理事会及び第32回通常総会	4月21日（木）、22日（金）	長野県長野市
第41回全国隣保館連絡協議会通常総会	5月19日（木）	大阪府大阪市
全国隣保館連絡協議会東日本ブロック第１回理事会及び第１回実行委員会	6月30日（木）	東京都港区
第48回全国隣保館長研修会	10月25日（火）、26日（水）	大阪府大阪市
全国隣保館連絡協議会東日本ブロック第２回理事会及び第２回実行委員会	11月14日（月）	長野県長野市
第48回全国隣保館職員東日本ブロック研修会	11月15日（火）、16日（水）	長野県長野市

6　研修会等参加状況

研　修　会　等　名	期　日	場　所	参加者(人)
栃木人権擁護委員協議会第一部会定期総会及び第1回研修会	4月22日(金)	ニューアプロニー	9
部落解放同盟栃木市協議会第2回総会	4月30日(土)	大平隣保館	10
栃木人権擁護委員協議会定時総会	5月18日(水)	厚生センター	3
部落解放同盟栃木県連合会第39回定期大会	5月28日(土)	ゆうゆうプラザ	16
部落解放愛する会栃木県連合会第36回定期大会	6月 4日(土)	小山市文化センター	15

部落解放同盟栃木県連合会女性部第33回定期大会	6月18日（土）	足利市地域福祉会館	6
第８回栃木県人権研究集会	6月25日（土）	とちぎ健康の森	18
平成23年度下都賀地区人権フォーラム	6月30日（木）	野木町エニスホール	6
部落解放第43回東日本研究集会	7月　6日（水） 7日（木）	群馬県みなかみ町	2
部落解放愛する会栃木県連合会県連役員と担当行政職員との合同視察研究会	7月　6日（水） ～　8日（金）	石川県石川市	2
栃木･真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会	7月27日（水）	宇都宮地方法務局栃木支局	1
映画と講演の集い	8月18日（木）	宇都宮市文化会館	4
部落解放第56回関東女性集会	8月27日（土） 28日（日）	群馬県みなかみ町	2
部落解放同盟栃木市協議会「2011人権セミナー」	8月28日（日）	大平文化会館	10
2011年度人権センターとちぎ連続講座①～⑥	9月～11月	人権センターとちぎ(小山市)	延べ 12
部落解放愛する会栃木県連合会女性部役員研修会	9月13日（火） 14日（水）	群馬県前橋市ほか	2
第13回栃木県ヒューマンライツセミナー	10月4日（火）	パルティ(宇都宮市)	34
部落解放同盟栃木市協議会2011年会員研修	10月17日（月） 18日（火）	群馬県高崎市ほか	5
部落解放愛する会栃木県連合会「人権講演会」	10月28日（金）	小山市文化センター	51
栃木人権擁護委員協議会第一部会視察研修	11月2日（水）	さくら市	2
部落解放研究第45回全国集会	11月9日（水） ～11日（金）	岐阜県岐阜市	2
第34回女性部解放学校	11月12日（土）	佐野市	1
部落解放愛する会栃木県連合会会員研修会	11月21日（月） 22日（火）	日光市	9
第63回全国人権･「同和」教育研究大会	11月26日（土） 27日（日）	鹿児島県鹿児島市	1
2011年度部落解放･ 人権政策確立要求第1次中央集会	11月30日（水）	東京都千代田区	2
世界人権宣言63周年記念東京集会	12月6日（火）	東京都千代田区	1
部落解放同盟栃木県連合会2012年荊冠旗びらき	1月17日（火）	益子町	8
栃木人権擁護委員協議会第一部会研修会	2月2日（木）	厚生センター	1
第26回人権啓発研究集会	2月2日（木） 3日（金）	熊本県熊本市	1
栃木人権擁護委員協議会委員事務研修会	2月10日（金）	厚生センター	1

第７節　地域医療対策室

〔総括概要〕

地域医療対策室の主な分掌事務は、地域医療再生対策に関する事務である。

下都賀総合病院運転資金貸付事業については、栃木県南医療圏において二次救急を担う中核的病院である下都賀総合病院は、建物・設備の老朽化が進行するとともに、医師不足により一部診療科の休止・縮小を余儀なくされるなど厳しい運営状況にあるため、開設者である栃木県厚生農業協同組合連合会に運転資金の貸付を行い、下都賀総合病院の運営を支援した。

また、地域医療の充実、確保に対する住民意識の向上を図るため、「医療」を貴重な社会資源ととらえ、症状に応じた救急医療機関への受診や救急車の適正利用、かかりつけ医の必要性に関するパンフレットを作成し、関係機関等へ配布した。

地域医療対策基金積立事業については、市民の保健福祉の増進、地域医療の充実及び強化を図る事業の財源に充てるための基金を設置し、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行った。

栃木地区病院統合再編事業については、栃木地区メディカルセンター第１病院（仮称）の建替え整備及び栃木地区の３病院（下都賀総合病院、下都賀郡市医師会病院、とちの木病院）の統合再編の取組みに対して、支援を行った。

地域医療対策担当

1　下都賀総合病院運転資金貸付事業

・貸付名称　栃木県厚生連運転資金貸付金
・用　　途　栃木県厚生連が開設する下都賀総合病院の運営に要する運転資金
・貸付金額　３億円
・貸付期間　４月１日～３月３１日

2　地域医療に関する啓発パンフレットの作成・配布について

・作成枚数　20,000枚
・配 布 先　病院・診療所（94か所），薬局（75か所）小学校(27校)
　　児童・教職員，中学校(13校)生徒・教職員、公共施設
　　(市役所・総合支所・保健福祉センター・公民館等)
・配布時期　３月上旬

3　地域医療対策基金積立事業

積立金額	積立金額(利子)	繰出金額	平成２３年度末現在高
500,000,000円	815,588円	△27,293,500円	473,522,088円

4　栃木地区病院統合再編事業

(1)　栃木地区病院統合再編協議会の開催支援

栃木地区病院統合再編協議会の事務局として､栃木地区の３基幹病院の統合再編と、新法人の立ち上げが円滑に進むよう支援した。

(2)　地域医療を考えるシンポジウムの開催

多くの市民に地域医療の現状と課題、３基幹病院の統合再編の取組みを理解していただくとともに、地域完結型医療提供体制の構築に対する協力が得られるよう、栃木地区病院統合再編協議会と市の共催により、「地域医療を考えるシンポジウム　地域医療の確保に向けて」を開催した。

・開催日　平成２４年１月２２日（日）

・会　場　栃木文化会館　小ホール

・来場者　２７２人

・実施内容

第１部 基調講演	演　題　「地域医療～再生への処方箋～」 講　師　城西大学教授　伊関　友伸　氏
第２部 シンポジウム	テーマ　「栃木地区の地域医療確保に向けて」 ～３病院の統合再編に向けた取組み～ 座　長　栃木地区病院統合再編協議会長　石井　重利　氏 ・「地域医療における災害医療の必要性～東日本大震災を体験して～」 シンポジスト：医療法人陽気会理事長　早乙女　勇　氏 ・「地域医療の現状と課題～２次救急医療を中心に～」 シンポジスト：下都賀総合病院長　村野　俊一　氏 ・「新たな医療・介護提供体制の構築を目指して」 シンポジスト：栃木地区病院統合再編協議会長　石井　重利　氏 （社団法人下都賀郡市医師会長）

第２章　総務部

第１節　総務課

〔総括概要〕

総務課の主な分掌事務は、組織機構、行政区域、事務合理化、行政改革、指定管理者、情報公開、個人情報保護、文書管理、条例規則の制定改廃、市議会との連絡調整等である。

平成２３年度は、重点事業として、組織機構の見直し、自治基本条例策定、非核平和事業、指定管理者の管理状況評価、情報公開及び個人情報保護制度の適切な運用、西方町の合併に伴う例規整備の実施に努めた。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

組織機構については、効率的な行財政運営を実現し、なおかつ市民ニーズに的確に対応した、市民目線の分かりやすい組織機構の確立を目指し、全部課長のヒアリングを経て、政策会議等において審議検討を行い、見直しを実施した。

行政改革については、行政改革大綱の策定について総合計画策定審議会の意向やパブリックコメントに寄せられた意見などを踏まえ、行政改革大綱の骨子を策定した。

自治基本条例については、平成２２年に設置した栃木市自治基本条例市民会議において、検討や市民説明会を経て条例素案が取りまとめられ、市長への提言が行われた。その後、庁内においての検討や、パブリックコメント等を経て条例案が取りまとめられた。

指定管理者制度については、全ての制度導入施設について管理状況評価を行い、評価結果をホームページにおいて公表した。また、１１の施設について、公募及び公募外により指定管理者の選定を行った。

非核平和事業では、新市において改めて核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現を求めることを表明するため、非核平和都市宣言策定委員会における協議及びパブリックコメント等を経て、非核平和都市宣言を公布した。

情報公開及び個人情報保護については、「栃木市情報公開条例」や「栃木市個人情報保護条例」の円滑な運用に努めた。また、情報公開・個人情報保護審査会を開催し、２件の事案を審査した。

文書管理については、文書の収受、配布、発送の迅速、的確な処理に努め、印刷等の効率化を図った。

市議会については、定例会及び臨時会を５回招集し、２１５件の議案等を提出した。

また、条例、規則及び訓令については、西方町との合併に伴う例規の制定改廃１１９件を含む、２２８件の制定改廃を行った。なお、例規集については平成２２年１１月からデータベース化し、パソコンでの検索を可能とした。

行政管理担当

1　組織機構の見直し

(1)　平成２３年度中に実施した見直しの主な内容は、次のとおりである。

ア　総務部に参事を新設した。

(2)　１０月の西方町との合併に伴い実施した見直しの主な内容は、次のとおりである。

ア　西方総合支所を新設し、地域まちづくり課、生活環境課、健康福祉課、産業建設課を設置した。

イ　消防本部を新設し、総務課、予防課、警防課、通信指令第１課、通信指令第２課、消防署を設置した。

(3)　平成２３年度に検討し、平成２４年４月に実施した見直しの主な内容は、次のとおりである。

ア　市の中心市街地の土地利用対策のため、まちなか土地利用推進室を新設した。

イ　岩舟町との合併の推進のため、合併調整管理室を合併推進室に改めた。

ウ　各総合支所の人権に関することを人権推進課に一元化した。

エ　総務部に危機管理監を新設した。

オ　大平総合支所生活環境課管理担当を住民担当と保険医療担当に再編した。

カ　生涯学習課に図書館担当を加えた。

キ　スポーツ振興課全国スポレク担当を廃止した。

2　市政年報

平成２２年度の栃木市政の大要を収録した市政年報を作成した。

配布部数

配布先	冊子版(冊)	CD版(枚)
市議会議員	31	―
市長､副市長､教育長	3	―
各地域自治区区長	3	
総務課	3	3
情報推進課	―	1
議事課	2	―
各総合支所 (地域まちづくり課)	3	―
生涯学習課	6	―
図書館	4	―
監査委員事務局	2	―
合　　計	57	4

3　地縁による団体の法人認可

地縁による団体（自治会等）が不動産等に関する権利等を保有するための法人格を付与する認可等を行った。

(1)　認可地縁団体登録

地縁による団体の法人認可登録件数

７３団体（栃木地域 43団体、大平地域 5団体、藤岡地域 22団体、都賀地域 3団体）

(2)　認可地縁団体印鑑登録

認可地縁団体の印鑑登録件数

５６団体（栃木地域 42団体、大平地域 4団体、藤岡地域 10団体 ）

(3)　各種申請状況　（単位：件）

申　請	件数	申　請	件数
認可申請	―	規約変更認可申請	―
印鑑登録申請	―	告示事項証明申請	6
告示事項変更申請	2	印鑑登録証明申請	2

4　行政区域

(1)　行政区域の変更

字の廃止並びに町及び字の区域の変更

ア　藤岡町荒立北土地区画整理事業に伴う字の区域変更

藤岡町荒立北土地区画整理事業の施行に伴い現況に符合しない字の区域が生じたことから、当該地区の字の区域の変更を実施した。

・決定書告示日　３月２８日

・効力発生日　換地処分の公告のあった日の翌日

・対象区域　藤岡町藤岡字荒立の一部、藤岡町大前字秋山の一部、藤岡町大前字水入の一部、藤岡町大前字本郷の一部を藤岡町大前字秋山向に変更
藤岡町大前字秋山向の一部を藤岡町藤岡字荒立に変更

(2)　行政界確認

他市町との行政界の確認

ア　栃木市大平町榎本地内と小山市の行政界

・用務地　大平町榎本字杣井木３５９－２田及び５３９－３田に沿う水路の中を通る行政界

・実施日　６月３０日（木）

・備考　立会いのみで協定は未締結

5　行政改革

新市の行政改革大綱は、総合計画との一体的な計画策定を進めるため、総合計画策定審議会やパブリックコメントに寄せられた意見などを踏まえ、行政改革大綱の骨子を策定した。

また、取組み項目の現況調査を行い、新市の行政改革大綱に向け、新たな取組項目等

の検討を実施した。

6　指定管理者制度

(1)　指定管理者選定委員会の開催

開催日	内　　容
8 月 25 日（木）	管理状況評価
9 月 26 日（月）	指定管理者選定
10 月 6 日（木）	指定管理者選定

(2)　選定委員会による管理状況評価（３次評価）を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称	評価
1	栃木勤労青少年ホーム	環境整備株式会社	A
2	勤労者体育センター	環境整備株式会社	A
3	とちぎ市民活動推進センター	ＮＰＯ法人ハイジ	A
4	栃木市総合運動公園	株式会社メディカルフィットネスとちの木	A
5	栃木市大平図書館	株式会社図書館流通センター	A
6	都賀老人デイサービスセンター	社会福祉法人　都賀の里	A
7	都賀在宅介護支援センター	社会福祉法人　都賀の里	A

※評価はＡ・Ｂ・Ｃの３段階評価

※上記施設以外は、指定管理者による自己評価（１次評価）及び施設所管課による評価（２次評価）を実施

(3)　公募により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	栃木市斎場	宮本工業所・五輪グループ
2	栃木市大平勤労青少年ホーム	いすゞビルメンテナンス株式会社
3	栃木市大平児童館	学校法人しずわでら学園

※栃木市斎場は指定管理者制度新規導入

(4)　公募外により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	栃木地区救患センター	栃木市医師会
2	とちぎ山車会館	社団法人栃木市観光協会
3	倭町駐車場	社団法人栃木市観光協会
4	とちぎ蔵の街観光館	社団法人栃木市観光協会
5	大平高齢者デイサービスセンターまゆみ	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
6	大平地域福祉センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会

7	大平地域活動支援センター	社会福祉法人すぎのこ会
8	栃木市西方ふれあいセンター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会

7　自治基本条例策定業務

自治の基本理念及び基本原則や行政運営のルールを定めた自治基本条例を制定するため、平成２２年１０月に設置した栃木市自治基本条例市民会議において、条例骨子案について検討を行い取りまとめた。その後、骨子案を基に１０月の市民会議主催の市民説明会を実施し、市民の意見を取り入れて条例素案を取りまとめ、１１月に市長への素案の提言が行われた。

市民会議から提言を受けた条例素案を基に、庁内検討委員会にて検討を行い、条例（案）を取りまとめ、その後、パブリックコメントを実施し、市民の意見や議会の意見を反映し、条例（最終案）を取りまとめた。

(1)　栃木市自治基本条例市民会議

ア　構成　７０人

（公募２４人、旧西方町民４人、団体推薦２９人
市議会議員５人、学識経験者１人、市職員７人）

イ　市民会議

平成２２年度に引き続き自治基本条例骨子案の検討、市民説明会での意見を受けての自治基本条例素案の検討等を行った。

・実施回数　１６回（４月１３日～３月２８日）

ウ　市民説明会

自治基本条例骨子案を取りまとめ素案を作成するにあたり、市民の意見を反映するため市民会議主催の市民説明会を開催した。

・市民説明会実施状況

実施日	会　　場	参加者数（人）
10月 3日(月)	国府公民館　大交流室	25
10月 4日(火)	藤岡公民館　大会議室	45
10月 5日(水)	大平公民館　第１，第２会議室	39
10月 6日(木)	吹上公民館　大交流室	16
10月 7日(金)	都賀保健センター　会議室	18
10月 8日(土)	市役所　正庁	16
10月11日(火)	西方公民館　大会議室	43
10月12日(水)	栃木保健福祉センター　大会議室	35
	計	237

エ　自治基本条例素案提言書手交式

条例骨子案を基に、市民説明会を経て、市民会議において取りまとめた栃木市自治基本条例素案を、市長に提言した。

・実施日　１１月９日（水）

(2)　自治基本条例庁内検討委員会

ア　構成　２７人（総務部長１人、各部幹事課長１６人、関係各課長等１０人）

イ　検討委員会

市民会議から提言された自治基本条例素案を基に自治基本条例（案）の検討、パブリックコメント、市議会からの意見等を受けての最終的な自治基本条例（最終案）の検討を行った。

・実施回数　４回（１２月～３月）

(3)　パブリックコメント

自治基本条例（最終案）取りまとめるにあたり、広く市民の意見を反映するため、庁内検討委員会において取りまとめた自治基本条例（案）に対してのパブリックコメント（意見募集）を実施した。

・募集期間　１月２０日（金）～２月２９日（水）

・周知方法　広報とちぎへのチラシ折込、各施設へのチラシ設置、市ホームページ掲載

・募集結果　６９人（３１８件）

８　非核平和事業

(1)　非核平和都市宣言

核兵器廃絶と世界の恒久平和を求める非核平和を推進することを表明するため、非核平和都市宣言策定委員会における協議及びパブリックコメントを経て、３月１日に非核平和都市宣言を公布した。

ア　非核平和都市宣言策定委員会

・会議の開催

回　数	開催日	内　容
第１回	10 月 21 日（金）	他市の事例研究等
第２回	11 月 10 日（木）	宣言案検討
第３回	11 月 24 日（木）	〃
第４回	12 月 2 日（金）	〃
第５回	2 月 1 日（水）	パブリックコメントの結果による修正検討

・委員構成　１３人

（市議会議員、各地域協議会及び関係団体等の代表者、学識経験者）

イ　パブリックコメント

・募集期間　１２月２８日(月)～１月２７日(金)

・周知方法　広報とちぎへのチラシ折込、各施設へのチラシ設置、市ホームページ掲載

・募集結果　２８人（３５件）

ウ　その他

非核平和都市宣言の周知のため、大型啓発看板の設置及び懸垂幕の作製を行った。

(2)　非核平和啓発事業

ア　原爆パネル展

・期間　８月１日（日）～１５日（日）

・会場　本庁舎　玄関ロビー

大平公民館　２階（教育委員会事務局大平教育支所生涯学習課主催）

道の駅みかも　みかも亭

都賀総合支所　受付総合待合所

・展示内容　原爆投下後の惨状を収めた写真パネル等

イ　原爆の図複製画展示

・期間　８月８日（月）～１４日（日）

・会場　栃木文化会館　展示室

・展示物　「原爆の図（第一部　幽霊、第二部　火、第三部　水)」原寸大複製画

丸木位里、丸木俊作/1950 年　原爆の図丸木美術館所蔵

・入場者数　２１６人

ウ　戦争体験を聞く会

戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識する機会として、戦地に出征した方や空襲を経験した地元の方に戦時中の貴重な体験を話していただいた。

	日時	会場	入場者数(人)
第１回	8月 5日(金)　午後 6時 30 分～	都賀文化会館会議室	37
第２回	8月 6日(土)　午後 6時 30 分～	大平公民館第一会議室	67
第３回	8月 7日(日)　午後 3時～	栃木文化会館展示室	59
第４回	8月 12 日(金)　午後 6時 30 分～	藤岡公民館大会議室	63
合　計			226

※各回とも講師２人

9　東日本大震災に伴う避難状況管理

(1)　在宅避難者登録制度（全国避難者情報システム）

東日本大震災に伴い、県外から市内の避難所以外に避難している避難者に対して各種情報提供を行うために、申出に基づき避難者情報を登録した。

ア　登録申出及び変更届出受付状況　（単位：件）

	在宅避難者登録申出	在宅避難者登録事項変更届出
総務課	54	18
大平総合支所地域まちづくり課	9	7
藤岡総合支所地域まちづくり課	7	3
都賀総合支所地域まちづくり課	16	－

西方総合支所地域まちづくり課	－	－
合計	86	28

イ　避難者一覧

・避難先別（３月２７日現在）　（単位：人）

区　分	地域小計	市営住宅	雇用促進	親戚・知人等
栃木地域	100	2	34	64
大平地域	23	－	11	12
藤岡地域	15	3	－	12
都賀地域	18	－	－	18
西方地域	－	－	－	－
合　計	156	5	45	106

※親戚・知人等には、民間アパートを含む。

・避難元別（３月２７日現在）　（単位：人）

県名	市町村名	避難者数
福島県(4市4町1村)	南相馬市	40
	双葉郡浪江町	29
	双葉郡富岡町	38
	双葉郡川内村	7
	双葉郡大熊町	9
	いわき市	10
	双葉郡双葉町	2
	郡山市	13
	田村市	1
小　計		149
宮城県（2市）	石巻市	0
	大崎市	2
	山元町	2
小　計		4
岩手県（1市）	大船渡市	3
小　計		3
合　計		156

(2)　原発避難者特例法関係

６月２７日に公布された原発避難者特例法に基づき、福島原子力発電所の事故に伴い、通常の行政サービスの提供が困難な指定市町村から非難している住民に対して、特例事務として指定市町村に代わって特定の行政サービスを提供した。

・対象者　１６０人

・指定市町村

福島県	市	いわき市、田村市、南相馬市
	町	川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
	村	川内村、葛尾村、飯舘村

・特例事務

分　野	根拠条例	事　務
医療・福祉関係	介護保険法	要介護認定等に関する事務
	介護保険法	介護予防等のための地域支援事業に関する事務
	老人福祉法	養護老人ホーム等への入所措置に関する事務
	児童福祉法	保育所入所に関する事務
	予防接種法	予防接種に関する事務
	児童扶養手当法	児童扶養手当に関する事務
	特別児童扶養手当等の支給に関する法律	特別児童扶養手当等に関する事務
	母子保健法	乳幼児、妊産婦等への健康診査、保健指導に関する事務
	障害者自立支援法	障害者、障害児への介護給付費等の支給決定に関する事務
教育関係	学校教育法、学校保健安全法	児童生徒の就学等に関する事務
	学校教育法、学校保健安全法	義務教育段階の就学援助に関する事務

文書法規担当

1　情報公開・個人情報保護関係

(1)　市政情報センター及び市政情報コーナーの設置

情報公開の総合窓口として市役所３階に設置した市政情報センターにおいて、市民の相談に応じるほか、各種行政資料を常時公開するとともに、各公民館の図書コーナーにも市政情報コーナーを設け、各種行政資料を常時公開した。

(2)　市民へのＰＲの実施

情報公開制度及び個人情報保護制度の案内について、市ホームページに掲載した。

(3)　実施状況

平成２３年度には、情報公開請求が７２件、個人情報開示請求が１２件あり、状況は次のとおりである。

・請求件数及び公開等の決定状況（単位：件）

情報公開請求件数	公開等の決定状況		
	公開	部分公開	非公開
72	22	46	4

個人情報開示請求件数	開示等の決定状況		
	開示	部分開示	非開示
12	7	2	3

(4)　審査会開催状況

情報公開・個人情報保護審査会

・開催日　平成２３年１１月１日

・議　題　部分公開決定（情報公開）に係る不服申立てについて

非公開決定（情報公開）に係る不服申立てについて

2　告示

・件数　４６３件

3　栃木市公報の発行

・年１２回発行 第１号（４月１５日）～第１２号（３月１５日）

4　文書管理関係

(1)　文書の集中管理の実施

平成２１年度の保存文書を、本庁の各課から引継ぎを受け、集中管理を実施した。

(2)　文書取扱件数　（単位：件）

区　分	郵便文書	県文書使送車による県庁からの文書	合計
収受文書	134,136	8,331	142,467
発送文書	777,604	2,249	779,853

5　文書印刷

(1)　文書印刷状況　287,658 枚（36 件）

(2)　コピー機年間利用枚数　5,188,283 枚（内　カラーコピー枚数 41,607 枚）

6　市議会関係

招　集　日	会議別	提　出　議　案　等
4 月 27 日（水）	臨時会	議案第５１号～議案第５３号
6 月 3 日（金）	定例会	議案第５４号～議案第７７号 報告第３号～報告第１１号
9 月 2 日（金）	定例会	議案第７８号～議案第１２７号 報告第１２号～報告第１９号 認定第１号～認定第１２号
11 月 25 日(金)	定例会	議案第１２８号～議案第１６１号 報告第２０号～報告第２２号
2 月 24 日（金）	定例会	議案第１号～議案第５５号 報告第１号～報告第９号 認定第１号～認定第８号

7　条例、規則等の審査、制定及び改廃

(1)　例規審査委員会

本市において制定する条例等の適正を期するため、条例等を審査し、立案を指導助言する栃木市例規審査委員会を開催した。

・委員会の開催　３１回

・審議件数　４７１件

(2)　法令の 制定・改廃等に伴い、本市の条例・規則等を整備した。(番号は暦年)

ア　条例

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
18	栃木市消防本部及び消防署の設置等に関する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
19	栃木市火災予防条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
20	栃木市手数料条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
21	栃木市役所総合支所設置条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
22	栃木市役所支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
23	栃木市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
24	栃木市保健福祉センター条例及び栃木市地域福祉センター条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
25	栃木市地域子育て支援センター条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
26	栃木市公民館条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年10月1日
27	栃木市税条例の一部を改正する条例	平成23年6月24日	平成23年6月24日
28	栃木市営金崎有料駐車場条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
29	栃木市西方地域における空き地の環境保全に関する措置を定める条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
30	栃木市西方地域における空き缶等の散乱防止に関する措置を定める条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
31	栃木市衛生センター条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
32	栃木市認定西方なかよしこども園条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
33	栃木市西方ふれあいプラザ及び西方さくらホーム条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
34	栃木市西方保健センター条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
35	栃木市西方さくら基金条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
36	栃木市中山間地域農村環境保全基金条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
37	栃木市真名子夢ホール条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
38	道の駅にしかた条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
39	都市計画法施行令第１９条第１項ただし書の規模を定める条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
40	栃木市教育委員会委員の定数を定める条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
41	栃木市立幼稚園設置条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
42	栃木市立幼稚園保育料条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
43	西方町の編入に伴う総合政策部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日

44	西方町の編入に伴う総務部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
45	西方町の編入に伴う理財部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
46	西方町の編入に伴う生活環境部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
47	西方町の編入に伴う保健福祉部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
48	西方町の編入に伴う産業振興部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
49	西方町の編入に伴う都市建設部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
50	西方町の編入に伴う上下水道部関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
51	西方町の編入に伴う教育委員会関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
52	西方町の編入に伴う農業委員会関係条例の整備に関する条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
53	栃木市議会議員定数条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
54	栃木市議会委員会条例	平成23年9月2日	平成23年10月1日
55	栃木市表彰条例	平成23年9月28日	平成23年10月1日
56	東日本大震災に対処するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の特例に関する条例	平成23年9月28日	平成23年9月28日
57	栃木市企業立地促進条例	平成23年9月28日	平成23年10月1日
58	栃木市税条例等の一部を改正する条例	平成23年9月28日	平成23年9月28日
59	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	平成23年9月28日	平成23年9月28日
60	栃木市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	平成23年11月28日	平成23年12月1日
61	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	平成23年11月28日	平成23年12月1日
62	栃木市暴力団排除条例	平成23年12月16日	平成24年1月1日
63	栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例	平成23年12月16日	平成24年1月1日
64	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例	平成23年12月16日	平成24年1月1日
65	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	平成23年12月16日	平成24年4月1日
66	栃木市斎場条例の一部を改正する条例	平成23年12月16日	平成24年4月1日
67	栃木市学童保育施設条例の一部を改正する条例	平成23年12月16日	平成24年1月1日
68	栃木市立学校設置条例の一部を改正する条例	平成23年12月16日	平成24年4月1日
69	栃木市スポーツ振興審議会に関する条例の一部を改正する条例	平成23年12月16日	平成23年12月16日
70	道の駅みかも条例の一部を改正する条例	平成23年12月16日	平成24年4月1日
1	栃木市東日本大震災復興推進基金条例	平成24年3月23日	平成24年3月23日
2	栃木市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
3	栃木市消費生活条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
4	栃木市特別会計条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
5	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
6	栃木市職員等公務災害見舞金支給条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
7	東日本大震災に対処するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年3月23日

8	栃木市営住宅条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
9	栃木市税条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年3月23日
10	栃木市印紙等購買基金条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
11	栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
12	栃木市重度心身障がい児扶養手当支給条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
13	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
14	栃木市介護保険条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
15	栃木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
16	栃木市風致地区条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
17	栃木市公園条例及び栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
18	栃木市公民館条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
19	栃木市図書館条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
20	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年7月1日
21	栃木市手数料条例の一部を改正する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
22	栃木市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び栃木市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例を廃止する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
23	後継者育成奨励金及び町内就職奨励金支給に関する条例及び大平町産業振興奨励金支給に関する条例を廃止する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
24	栃木市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例	平成24年3月23日	平成24年4月1日
25	栃木市税条例の一部を改正する条例	平成24年3月31日	平成24年4月1日
26	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	平成24年3月31日	平成24年4月1日

イ　規則

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
16	栃木市男女共同参画審議会規則	平成23年4月1日	平成23年4月1日
17	栃木市こども手当事務処理規則	平成23年4月28日	平成23年4月28日
18	特定非営利活動促進法施行条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年5月11日	平成23年5月11日
19	栃木市予防接種事故災害補償規則の一部を改正する規則	平成23年5月31日	平成23年5月31日
20	栃木市児童館条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年7月6日	平成23年7月6日
21	栃木市地域子育て支援センター条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年7月6日	平成23年10月1日
22	栃木市保健福祉センター条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年7月7日	平成23年10月1日

23	栃木市社会福祉施策推進委員会規則の一部を改正する規則	平成23年7月20日	平成23年7月20日
24	栃木市財務規則及び栃木市補助金等交付規則の一部を改正する規則	平成23年8月24日	平成23年10月1日
25	栃木市中小企業者に対する融資に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年8月30日	平成23年10月1日
26	栃木市開発登録簿閲覧規則の一部を改正する規則	平成23年9月12日	平成23年10月1日
27	栃木市税に関する文書の様式を定める規則及び栃木市過誤納返換金交付規則の一部を改正する規則	平成23年9月12日	平成23年10月1日
28	栃木市自転車等の放置防止に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月12日	平成23年10月1日
29	栃木市交通安全に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月12日	平成23年10月1日
30	栃木市福祉事務所条例施行規則等の一部を改正する規則	平成23年9月12日	平成23年10月1日
31	栃木市公園条例施行規則等の一部を改正する規則	平成23年9月13日	平成23年10月1日
32	栃木市真名子夢ホール条例施行規則	平成23年9月13日	平成23年10月1日
33	道の駅にしかた条例施行規則	平成23年9月13日	平成23年10月1日
34	栃木市大平農村婦人の家条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月13日	平成23年10月1日
35	栃木市農産物加工所条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月13日	平成23年10月1日
36	栃木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月13日	平成23年10月1日
37	特定非営利活動促進法施行条例施行規則等の一部を改正する規則	平成23年9月13日	平成23年10月1日
38	栃木市下水道条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月14日	平成23年10月1日
39	栃木市下水道事業受益者負担に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月14日	平成23年10月1日
40	栃木市農業集落排水処理施設の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月14日	平成23年10月1日
41	栃木市農業集落排水事業受益者負担金に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月14日	平成23年10月1日
42	栃木市水洗便所改造資金融資あっせん規則の一部を改正する規則	平成23年9月14日	平成23年10月1日
43	栃木市下水道排水設備指定工事店規則の一部を改正する規則	平成23年9月14日	平成23年10月1日
44	栃木市伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月14日	平成23年9月14日
45	栃木市庁舎管理規則の一部を改正する規則	平成23年9月15日	平成23年10月1日
46	栃木市国民健康保険税に関する文書の様式を定める規則等の一部を改正する規則	平成23年9月15日	平成23年10月1日
47	栃木市人事記録に関する規則等の一部を改正する規則	平成23年9月15日	平成23年10月1日
48	栃木市消防本部消防職員委員会に関する規則	平成23年9月15日	平成23年10月1日

49	栃木市消防職員の階級等に関する規則	平成23年9月15日	平成23年10月1日
50	栃木市消防職員任用規則	平成23年9月15日	平成23年10月1日
51	栃木市印鑑条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月20日	平成23年10月1日
52	栃木市自動車の臨時運行の許可に関する規則の一部を改正する規則	平成23年9月20日	平成23年10月1日
53	栃木市営金崎有料駐車場条例施行規則	平成23年9月21日	平成23年10月1日
54	栃木市水道事業給水条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月22日	平成23年10月1日
55	栃木市職員級別職務分類規則の一部を改正する規則	平成23年9月22日	平成23年10月1日
56	栃木市保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月26日	平成23年10月1日
57	栃木市保育所管理規則の一部を改正する規則	平成23年9月26日	平成23年10月1日
58	栃木市児童手当事務取扱規則の一部を改正する規則	平成23年9月26日	平成23年10月1日
59	栃木市遺児手当支給条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月26日	平成23年10月1日
60	栃木市西方ふれあいプラザ及び西方さくらホーム条例施行規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
61	栃木市在宅寝たきり老人等介護手当支給条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
62	栃木市指定介護予防支援事業所の指定等に関する規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
63	栃木市介護保険規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
64	栃木市指定地域密着型サービス事業所及び指定地域密着型介護予防サービス事業所の指定等に関する規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
65	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
66	栃木市認定西方なかよしこども園に関する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
67	栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
68	栃木市墓園条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
69	栃木市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
70	栃木市西方地域における空き地の環境保全に関する措置を定める条例施行規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
71	栃木市西方地域における空き缶等の散乱防止に関する措置を定める条例施行規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
72	栃木市衛生センター条例施行規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
73	栃木市企業立地促進条例施行規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
74	栃木市企業立地促進審査会規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日
75	栃木市行政組織規則等の一部を改正する規則	平成23年9月28日	平成23年10月1日

76	栃木市消防本部の組織に関する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
77	栃木市消防表彰規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
78	栃木市消防吏員の訓練、礼式及び服制に関する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
79	栃木市消防吏員被服貸与規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
80	栃木市火災予防条例施行規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
81	栃木市危険物の規制に関する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
82	栃木市消防団の組織等に関する規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
83	栃木市賞じゅつ金等審査委員会規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
84	栃木市個人住民税特別返還金支払規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
85	栃木市税条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
86	栃木市建設工事等執行規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
87	栃木市コミュニティセンター条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
88	栃木市表彰条例施行規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
89	栃木市予防接種委員会規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
90	栃木市予防接種事故災害補償規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
91	生活保護法施行細則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
92	栃木市行旅病人及び行旅死亡人取扱規則の一部を改正する規則	平成23年9月30日	平成23年10月1日
93	栃木市過誤納返還金交付規則の一部を改正する規則	平成23年10月31日	平成23年11月1日
94	栃木市障害者自立支援法施行細則の一部を改正する規則	平成23年11月2日	平成23年11月2日
95	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	平成23年11月2日	平成23年11月2日
96	栃木市技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則	平成23年11月30日	平成23年12月1日
97	平成２３年１２月に支給する期末手当の特例措置に関する規則	平成23年11月30日	平成23年12月1日
98	栃木市職員の給料等の支給に関する規則の一部を改正する規則	平成23年11月30日	平成23年12月1日
99	栃木市子ども手当事務処理規則	平成23年12月5日	平成23年12月5日
100	栃木市中小企業者に関する融資に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年12月19日	平成23年12月19日
101	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成23年12月26日	平成24年1月1日
102	栃木市暴力団排除条例第６条に規定する密接関係者を定める規則	平成23年12月27日	平成24年1月1日
103	東日本大震災に対処するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の特例に関する規則	平成23年12月27日	平成23年12月27日

1	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	平成24年1月16日	平成24年1月16日
2	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年2月22日	平成24年4月1日
3	栃木市税条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年3月7日	平成24年4月1日
4	栃木市墓地、埋葬等に関する法律施行細則	平成24年3月7日	平成24年4月1日
5	栃木市行政組織規則等の一部を改正する規則	平成24年3月8日	平成24年4月1日
6	栃木市職員の管理職手当支給に関する規則の一部を改正する規則	平成24年3月15日	平成24年4月1日
7	栃木市職員の管理職員特別勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	平成24年3月15日	平成24年4月1日
8	栃木市風致地区条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年3月27日	平成24年4月1日
9	特定非営利活動促進法施行条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年3月28日	平成24年4月1日
10	栃木市保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年3月28日	平成24年4月1日
11	栃木市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例施行規則を廃止する規則	平成24年3月28日	平成24年4月1日
12	栃木市税等収納員設置規則及び栃木市予防接種嘱託医設置規則の一部を改正する規則	平成24年3月28日	平成24年4月1日
13	栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年3月28日	平成24年4月1日
14	栃木市技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則	平成24年3月28日	平成24年4月1日
15	栃木市職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則	平成24年3月28日	平成24年4月1日
16	東日本大震災に対処するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の特例に関する規則の一部を改正する規則	平成24年3月29日	平成24年4月1日
17	栃木市消費生活条例施行規則	平成24年3月29日	平成24年4月1日
18	栃木市税に関する文書の様式を定める規則及び栃木市介護保険規則の一部を改正する規則	平成24年3月29日	平成24年4月1日
19	栃木市消防本部の組織に関する規則の一部を改正する規則	平成24年3月29日	平成24年4月1日
20	栃木市重度心身障がい児扶養手当支給条例施行規則の一部を改正する規則	平成24年3月29日	平成24年4月1日
21	障害者自立支援法に基づく指定特定相談支援事業者の指定及び児童福祉法に基づく指定障がい児相談支援事業者の指定等に関する規則	平成24年3月29日	平成24年4月1日

22	後継者育成奨励金及び町内就職奨励金支給規則及び大平町産業振興奨励金支給に関する条例施行規則を廃止する規則	平成24年3月30日	平成24年4月1日
23	栃木市廃棄物・土砂等埋立監視員設置規則を廃止する規則	平成24年3月30日	平成24年4月1日

ウ　訓令

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
14	栃木市男女共同参画推進本部設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年4月1日	平成23年4月1日
15	栃木市地域医療確保対策本部設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年8月26日	平成23年10月1日
16	栃木市職員服務規程の一部を改正する規定	平成23年9月12日	平成23年10月1日
17	栃木市交通教育指導員及び交通指導員の服制等に関する規定の一部を改正する規程	平成23年9月12日	平成23年10月1日
18	栃木市地域自治区の区長の取扱いに関する要綱の一部を改正する要綱	平成23年9月13日	平成23年10月1日
19	栃木市浄化槽指導要綱の一部を改正する要綱	平成23年9月14日	平成23年10月1日
20	栃木市嘱託員取扱要綱等の一部を改正する要綱	平成23年9月15日	平成23年10月1日
21	栃木市庁議等規程の一部を改正する規程	平成23年9月20日	平成23年10月1日
22	栃木市土地利用対策委員会設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年9月20日	平成23年10月1日
23	栃木市戸籍事務取扱規程の一部を改正する規程	平成23年9月20日	平成23年10月1日
24	栃木市情報セキュリティ対策に関する規程の一部を改正する規程	平成23年9月22日	平成23年10月1日
25	栃木市庁内情報化推進委員会設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年9月23日	平成23年10月1日
26	栃木市西方地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程	平成23年9月28日	平成23年10月1日
27	栃木市人権施策推進本部設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年9月28日	平成23年10月1日
28	栃木市保育所広域入所実施要綱の一部を改正する要綱	平成23年9月28日	平成23年10月1日
29	栃木市事務決裁規程等の一部を改正する規程	平成23年9月28日	平成23年10月1日
30	栃木市災害対策本部に関する規程の一部を改正する規程	平成23年9月28日	平成23年10月1日
31	栃木市防災対策推進委員会規程の一部を改正する規程	平成23年9月28日	平成23年10月1日
32	栃木市消防用無線局管理運用規程の一部を改正する規程	平成23年9月30日	平成23年10月1日
33	栃木市消防団員等表彰規程の一部を改正する規程	平成23年9月30日	平成23年10月1日
34	栃木市物品購入等契約事務取扱規程の一部を改正する規程	平成23年9月30日	平成23年10月1日
35	栃木市建設工事等請負者選考委員会規程の一部を改正する規程	平成23年9月30日	平成23年10月1日
36	栃木市男女共同参画推進本部設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年10月1日	平成23年10月1日
37	栃木市新型インフルエンザ対策本部設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年10月1日	平成23年10月1日
38	栃木市新型インフルエンザ健康危機管理対策委員会設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年10月1日	平成23年10月1日
39	栃木市技能労務職員の任用替に関する規程	平成23年10月19日	平成23年11月1日

40	栃木市男女共同参画推進本部設置要綱の一部を改正する要綱	平成23年12月15日	平成23年12月15日
1	都賀町外出支援サービス事業実施要綱を廃止する要綱	平成24年1月30日	平成24年4月1日
2	都賀町高齢者ふれあい相談員設置要綱を廃止する要綱	平成24年3月6日	平成24年4月1日
3	栃木市事後審査型条件付き一般競争入札実施要領の一部を改正する要領	平成24年3月7日	平成24年4月1日
4	栃木市庁議等規程等の一部を改正する規程	平成24年3月8日	平成24年4月1日
5	藤岡町緊急通報装置給付・貸与事業実施要綱を廃止する要綱	平成24年3月14日	平成24年4月1日
6	栃木市交通教育指導員及び交通指導員の服制等に関する規程の一部を改正する規程	平成24年3月23日	平成24年4月1日
7	都賀町介護保険料減免取扱要綱を廃止する要綱	平成24年3月26日	平成24年4月1日
8	栃木市陸砂利採石監視員設置要綱及び栃木市地域自治区の区長の任用等に関する要綱の一部を改正する要綱	平成24年3月28日	平成24年4月1日
9	栃木市嘱託員取扱要綱及び非常勤職員等の取扱いに関する要綱の一部を改正する要綱	平成24年3月30日	平成24年4月1日
10	都賀町環境保全監視員設置運営要綱等を廃止する要綱	平成24年3月30日	平成24年4月1日
11	都賀町産学連携共同研究開発事業奨励補助要綱を廃止する要綱	平成24年3月30日	平成24年4月1日

8　顧問弁護士

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について顧問弁護士（１人）から意見、助言等を受けた。

・相談件数　　１７回

9　特定任期付職員（弁護士）

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について庁内弁護士から意見、助言等を受けた。

・相談件数　　５１件

第２節　職員課

〔総括概要〕

職員課の主たる分掌事務は、人事関係、職員研修関係及び職員厚生関係業務である。

職員の人事については、新市まちづくり計画の推進に向け、新栃木市の職員としての一体感の醸成を図りながら、個々の職員が意欲をもって、その能力を最大限発揮できるよう、「適材適所の配置」、「女性・若手職員の登用」、「人材育成」の視点から、本庁・総合支所間、また、各総合支所間の人事異動を積極的に行った。

職員研修については、職員の意識改革及び資質と能力の向上を目的として、全職員を対象に各種研修を計画的に実施した。

職員厚生事業については、職員厚生会を主体として各種事業を実施した。また、職員の安全衛生管理については、栃木市安全衛生管理委員会で協議していただくとともに、各種健康診断等を実施した。

人事担当

1　職員数

(1)　部局別職員数　　（１０月１日現在　単位：人）

区　　分	職員数	男	女
市長の事務部局の職員	863	534	329
議会の事務部局の職員	9	7	2
選挙管理委員会の事務部局の職員	3	2	1
監査委員の事務部局の職員	4	2	2
公平委員会の事務部局の職員	－	－	－
教育委員会の事務部局の職員	193	123	70
農業委員会の事務部局の職員	9	7	2
企業職員	27	21	6
消防職員（※）	162	162	－
計	1,270	858	412

※消防職員の人事に関しては消防本部総務課を参照。

(2)　級別職員数　　（単位：人）

区分	教育長	８級	７級	６級	５級	４級	３級	２級	１級	小計
男	1	16	114	91	110	150	52	58	23	615
女	0	0	10	28	58	154	36	72	22	380
計	1	16	124	119	168	304	88	130	45	995

区分	労５級	労４級	労３級	労２級	労１級	小計
男	41	7	29	4	0	81
女	14	4	14	0	0	32
計	55	11	43	4	0	113

(3)　職種別職員数(教育長を除く)　　(単位：人)

区　分	事　務	技　術	技　労	消　防	計
男	525	89	81	162	857
女	339	41	32	－	412
計	864	130	113	162	1,269

2　人事

(1)　行政委員の就任

職　　名	氏　　名	就任年月日
教育委員会委員	若　林　由美子	平成23年5月19日
	荒　川　　律	平成23年11月25日
固定資産評価審査委員会委員	天　海　達　雄	平成23年11月25日
農業委員会委員	中新井　　明	平成23年10月1日
	福　田　精　機	平成23年10月1日
固定資産評価員	山　本　元　久	平成23年10月1日

(2)　職員の採用　　(単位：人)

職　　種	人　員	男	女
一　般　事　務	17	12	5
保　健　師	4	0	4
保　育　士	7	1	6
土　木	1	1	0
建　築	2	2	0
管　理　栄　養　士	1	0	1
弁護士（任期付職員）	1	0	1
計	33	16	17

(3)　職員の退職　　(単位：人)

職　　種	人　員
行　政　職	37
技　能　労　務　職	8
計	45

(4)　職員採用試験の実施状況

ア　一般行政職職員採用試験

・試験実施状況

実施日	内　容
9月18日(日)	第一次試験（筆記試験）実施
10月14日(金)	第二次試験（適性、作文）実施
10月15日(土)	第二次試験（集団面接試験）実施
11月17日(木)、18日(金)	第三次試験（個別面接試験）実施

・受験状況

区　　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
一　般　事　務	232	184	10	5	15	12.3
保　　健　　師	14	11	0	2	2	5.5
保　　育　　士	36	36	0	5	5	7.2
土　　木	10	5	2	0	2	2.5
建　　築	27	19	2	1	3	6.3
文 化 財 技 師	4	4	1	0	1	4.0
学　　芸　　員	1	1	0	1	1	1.0
臨 床 心 理 士	4	4	1	0	1	4.0

イ　身体障がい者を対象とする職員採用試験

・試験実施状況

実施日	内　容
11月13日(日)	第一次試験（筆記試験）実施
12月11日(日)	第二次試験（適性、作文、個別面接試験）実施

・受験状況

区　　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
一　般　事　務	4	3	1	－	1	3.0

3　職員研修

(1)　一般研修

ア　栃木市主催単独自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月4日(月)、5日(火)	新採用職員研修	新採用職員	32
5月9日(月)	新任課長級研修	参事・課長及び主幹に昇任した職員	22
8月17日(水)	職場研修推進員研修（OJT研修）	職場研修推進員	77
8月22日(月)	管理監督者研修（すぐやる研修）	主幹・課長補佐の職にある職員	110
11月21日(月)、22日(火)	おもてなし研修	主査	203
12月12日(月)、14日(水) 15日(木)	交通安全教室	全職員	516
12月19(月)、20(火)	コンプライアンス研修	副主幹・係長	163
2月17(金)	人権研修会並びに人権啓発職場推進員研修	人権啓発職場推進員	59
2月28日(火)	実務研修(法制執務)	主事・技師級の指名した職員	12
3月14日(水)	実務研修(財務会計事務)	主事・技師級の指名した職員及び希望者	49

イ　栃木地区職員研修協議会主催広域自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月12日(火)～14日(木) 5月30(月)、31(火)	新採用職員前期研修	新採用職員	32
5月12日(木)、13日(金)	接遇研修	主事・技師級	21
5月18日(水)～20(金)	行政法講座	主査以下	21
6月2日(木)、3日(金)	民法講座	主査以下	26
6月7日(火)、8日(水)	ディベート研修	主査・主任級	16
6月15日(水)、16日(木)	政策形成研修	主査級	23
6月22日(水)、23日(木)	経営管理研修	部長・課長級	19
6月27日(月) 9月5日(月) 11月4日(金)ほか3日	政策課題立案研修	主査級	18
6月28日(火) 9月6日(火) 11月4日(金)ほか3日			20
7月5日(火)	段取り力研修	主任以下	33
7月22日(金)	メンタルヘルスケア研修	係長級	17
7月28日(木)、29日(金)	問題解決研修	主任・主事級	20
8月31日(水)～9月1日(木)	交渉力研修	主査級	17
9月12日(月)～16日(金)	新採用職員後期研修	新採用職員	32
9月27日(火)～30日(金) 10月18日(火)～21日(金)	初級職員研修	主事・技師級	29
10月11日(火)、12日(水)	マネジメント研修	主幹・課長補佐級	24

ウ　栃木県市町村職員研修協議会主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
6月1日(水)～3日(金)	管理監督者研修 (地方公務員制度指導者養成講座)	地方公務員制度研修の 指導者候補職員	1
6月7日(火)	管理監督者研修 (自治体職員広聴広報向上講座)	全職員	1
6月21日(火)、22日(水)	管理監督者研修 (クレーム対応力講座)	係長級	2
7月14日(木)、15日(金)			2
6月23日(木)、24日(金)	管理監督者研修 (ファシリテーション講座)	係長級	2
6月28日(火)、29日(水)	管理監督者研修 (職場リーダー研修)	係長級	2
7月1日(金)	管理監督者研修 (パワーハラスメント防止講座)	課長・係長級	4
7月7日(木)、8日(金)	管理監督者研修 (メンタルヘルス講座)	係長級	2
8月25日(木)、26日(金)			2

7月26日(火)、27日(水)	一般職員研修 (接遇レベルアップ講座)	主事・技師級	25
8月2日(火)、3日(水)	管理監督者研修 (政策法務実践講座)	係長級	1
8月8日(月)、9日(火)	管理監督者研修 (トピック講座)	係長級	2
8月10日(水)、11日(木)	管理監督者研修 (民法講座)	課長・係長級	1
8月22日(月)、23日(火)			2
8月19日(金)、20日(土)	管理監督者研修 (戦略経営講座)	課長級	2
9月15日(木)、16日(金)	管理監督者研修 (プレゼンテーション講座)	係長級	2
9月29日(木)、30日(金)	一般職員研修 (法務基礎養成講座)	主査級	22
10月19日(水)、20日(木)	管理監督者研修 (組織内リスク管理講座)	課長級	1
10月21日(金)	管理監督者研修 (メンタルヘルスケア講座)	課長・係長級	2
10月25日(火)、26日(水)	管理監督者研修 (コミュニケーション・カウンセリング講座)	課長・係長級	1

エ　栃木県主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
7月13日(水)、14日(木) 8月22日(月)、23日(火)	政策形成能力向上講座	主事から係長級	1
10月17日(月)、18日(火)	県・市町村職員合同研修 (情報力研修)	主任級	1
10月24日(月)、25日(火)	県・市町村職員合同研修 (創造力研修)	主任級	2
11月19日(土)、20日(日)	県・市町村職員合同研修 (業務改革研修)	主任級	1

(2)　派遣研修

期　　日	研　修　内　容	派　遣　先	派遣者数(人)
6月7日(火)～17日(金)	専門実務研修課程 (固定資産税課税事務（土地))	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	1
11月8日(火)～18日(金)	専門実務研修課程 (人材育成と研修)	〃	1
1月18日(水)～26日(木)	専門実務研修課程 (議会事務)	〃	1

5月12日(木)、13日(金)	行政管理講座 (新任担当者のための固定資産税の評価と課税の基本)	日本経営協会 (ＮＯＭＡ)	1
6月16日(木)、17日(金)	行政管理講座 (国税徴収法・地方税総則の解説)	〃	1
7月28日(木)、29日(金)	行政管理講座 (人事・労働担当者のための労働基準法セミナー)	〃	1
9月7日(水)	行政管理講座 (プレハブ方式構造建物の評価)	〃	1
9月26日(月)、27日(火)	行政管理講座 (土地開発公社の適正な会計処理(通常時と解散時))	〃	1
10月6日(木)、7日(金)	行政管理講座 (事例演習による住民課税の実務(中級))	〃	1
11月7日(月)、8日(火)	行政管理講座 (外国人に対する住民税とその他の重点項目に関する課税実務)	〃	1
11月7日(月)、8日(火)	行政管理講座 (行政改革をどう推進するか)	〃	1
1月12日(木)、13日(金)	行政管理講座 (選挙管理事務の実務講座)	〃	1
1月16日(月)、17日(火)	行政管理講座 (地方公営企業の消費税)	〃	1
1月19日(木)、20日(金)	行政管理講座 (地方自治体における臨時・非常勤職員の任用と管理実務セミナー)	〃	1
1月26日(木)、27日(金)	行政管理講座 (自治体契約をめぐる法律上の諸問題と対策)	〃	1
2月2日(木)、3日(金)	行政管理講座 (個人情報保護制度検討講座)	〃	1
2月2日(木)、3日(金)	行政管理講座 (公共用地取得実務の基礎(折衝・実務編))	〃	1

(3)　人材育成視察研修

期　　日	研　修　内　容	派遣者数(人)
8月　25日(木)	自治体版エネルギー政策研修	1
10月14日(金)～16日(日)	日本女性会議２０１１まつえ	2
11月25日(金)、26日(土)	豊田市制６０周年記念地域自治シンポジウム	2
1月26日(木)	地方自治体における弁護士をはじめとする法曹有資格者の活用に関する意見交換会	1
2月6日(月)、７日(火)	外部（民間）委託の効率的・効果的な進め方研修	1
3月12日(月)～14日(火)	地域づくり人育成講座	1

3月15日(木)、16日(金)	京都市舞鶴市視察	2

(4)　その他派遣研修

期　　日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
4月1(金)～3月31日(土)	県派遣研修	栃木県県土整備部都市計画課	1
		栃木県地方税徴収特別対策室	1

(5)　通信教育

職員が、自主的に通信教育を受講することにより、自己の能力開発・向上を図ることを目的とし、通信教育研修を行った。

・対　象　者　全職員（希望者）
・期　　間　６か月
・修　了　者　1人

4　職員厚生

(1)　安全衛生管理関係

健康診断の実施状況

検　診　名	対　象　者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	507
胃がん検診	〃	245
肺がん検診（胸部X線撮影）	〃	431
大腸がん検診	〃	346
前立腺がん検診	50歳以上	98
乳がん検診	30歳以上	150
子宮頸がん検診	30歳以上	107
人間(脳)ドック	35歳以上	481

(2)　市職員厚生会関係

ア　厚生給付事業

区　　分	件数(件)	金額(円)
病気見舞金	11	110,000
休業給付金	－	－
弔　慰　金	34	355,000
災害見舞金	－	－
褒章祝金	2	40,000
合　　計	47	505,000

イ　各種厚生事業

旅行等助成金	397件	595,500円
イベント等参加経費補助	7件	71,233円

(3)　栃木県市町村職員共済組合関係

ア　組合員数

短　期	1,270人
長　期	1,270人
介　護	794人

イ　被扶養者数

短　期	1,283人
介　護	257人

ウ　貸付事業

普通貸付	6件	5,420,000円
特別貸付	3件	2,790,000円
計	9件	8,210,000円

エ　遺族付加年金加入状況

・加入者数　７６２人

(4)　その他

ア　全国市長会任意共済加入状況

・加入者数　　６５人

イ　全国市長会個人年金共済加入状況

・加入者数　３３５人

ウ　全国都市職員災害共済会火災共済加入状況

・加入者数　２２１人

エ　全国都市職員災害共済会自動車共済加入状況

種　　類	契約台数（台）
普通及び小型乗用車	98
軽四輪自動車	36
自動二輪車	13

オ　財形貯蓄

・加入実人員　８０９人

・加　入　率　63.7%

・積　立　額

毎　　月	12,569,000円
６　月　賞　与	26,966,000円
１２月賞与	32,319,000円

5　公務災害

(1)　公務災害認定

ア　地方公務員災害補償法対応　　5件

イ　栃木市議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例対応　　1件

（2） 通勤災害認定　　0件

6　退隠料及び扶助料

退隠料受給者	－	－
扶助料受給者	2人	1,889,600円

第３節　情報推進課

〔総括概要〕

情報推進課の主な分掌事務は、情報化施策、情報システム及びネットワークの管理運営、地域情報化等である。

平成２３年度は、重点事業として、情報システム及びネットワークの安定運営と、西方町及び栃木消防とのネットワーク統合を実施した。

主な事務事業の実施状況は以下のとおりである。

情報化施策については、市直営にて配信していた「とちぎし安心安全メール」を、ケーブルテレビ株式会社が無料で同様のサービスを開始したことから、３月末を以って終了し、ＣＣ９生活安全情報へ引き継ぐこととした。

情報システム及びネットワークの管理運営については、設計の想定を超えた利用が散見され、システム不安定化の原因となっていたことから、機器増設を行い補強することで安定運営に努めた。また、西方町及び栃木消防とネットワークを統合し、栃木市としての行政事務が行える環境を整えた。なお、組織における情報資産のセキュリティ対策として、総合的かつ具体的に運用方法を規定した情報セキュリティポリシーの策定に着手するとともに、全庁的なパソコンの管理に向け、本庁及び各総合支所のパソコンリース開始日をあわせるなど、今後の総合的な管理運用方法について検討した。

地域情報化については、国の施策である地上デジタルテレビ放送普及事業に協力する立場から、市域内の難視地区の解消に向けて積極的な情報収集に努めるとともに、地上デジタル放送に関する総合窓口として、臨時相談窓口を開設して対応に努めた。

情報推進担当

1　パソコンの整備状況

部　名	課　名	パソコン配備台数(台)
市長、副市長、教育長		3
総合政策部	総合政策課	12
	地域まちづくり課	6
	合併調整管理室	9
	秘書広報課	15
	財政課	10
	人権推進課	5
	地域医療対策室	5
総務部	総務課	15
	職員課	17

	情報推進課	37
	契約検査課	7
	消防防災課	8
理財部	管財課	12
	施設管理課	20
	市民税課	9
	資産税課	8
	収税課	11
生活環境部	市民生活課	22
	交通防犯課	11
	保険医療課	17
	環境課	15
	女性青少年課	8
保健福祉部	社会福祉課	35
	生活福祉課	17
	こども課	37
	高齢福祉課	25
	介護保険課	26
	健康増進課	29
産業振興部	商工観光課	18
	農林課	16
都市建設部	都市整備課	14
	都市計画課	9
	維持管理課	18
	建築指導課	15
上下水道部	水道課	26
	下水道課	29
会計課		15
議会事務局	議事課	15
教育委員会	教育総務課	38
	学校教育課	31
	生涯学習課	44
	スポーツ振興課	7
	文化課	10
	伝建推進室	4
選挙管理委員会事務局		7
監査委員事務局		4
農業委員会事務局		9

消防本部及び消防署	67
合計	847

2　電算処理業務の委託契約

平成２３年度の電算処理委託契約を、(株)ＴＫＣと締結した。

課　　名	業　務　名
市民税課	市民税 軽自動車税 国民健康保険税 介護保険料 申告支援 法人市民税
資産税課	固定資産税
収税課	収税消込 滞納整理
市民生活課	住民情報 外国人登録
保険医療課	国民健康保険 後期高齢者医療 国民年金 医療費助成
こども課	児童手当 こども手当 児童扶養手当 保育料
介護保険課	介護保険
健康増進課	健康管理
農業委員会事務局	農業行政
下水道課	受益者負担金
選挙管理委員会事務局	選挙管理

3　地域情報化の推進

(1)　「とちぎし安心安全メール」の配信

希望者に対して、防災・防犯等の情報を電子メールで提供する「とちぎし安心安全メール」の配信を行った。

配信件数	26件
登録者数	985名

また、ケーブルテレビ株式会社より同様のサービスが無料で提供されたことから、平成２４年３月を以って「とちぎし安心安全メール」の配信を終了し、「ＣＣ９生活

安全情報」に引き継いだ。

(2)　地上デジタルテレビ放送の推進

アナログ放送が平成２３年７月２４日に終了する旨の周知、並びに、地上デジタル放送の受信方法、各種支援制度紹介、及び問合せ先案内等を行った。

また、アナログ放送終了直前にあっては、国が地上デジタル放送推進のため委託する「総務省テレビ受信者支援センター（通称　デジサポ）」が市内に相談窓口の開設したため、設営を補助すると共に、窓口開設を広報とちぎにて一般周知した。

第４節　契約検査課

〔総括概要〕

契約業務では、本庁発注分及び各総合支所発注分の3,000万円以上の建設工事、業務委託及び物品購入について、指名業者の選考、入札、契約等に関する事務を行った。

また、入札・契約事務の透明性の向上や、公正な競争の促進を図るため、入札・契約制度の改善に取り組んだ。

検査業務では、検査規程に基づき発注工事が契約内容どおりに適正に履行されたか、また、技術的な面から工事の施工状況や施工体制・安全対策等について検査を実施した。

契約担当

1　契約件数

原則として130万円以上の建設工事（各総合支所発注分にあっては3,000万円以上）、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入、単品で50万円以上の物品購入並びに総額50万円以上の印刷物について入札を執行した。

・入札状況　（単位：件）

入　札　内　容	一般競争入札	指名競争入札	計
建　設　工　事	71	84	155
工事関連業務委託	－	93	93
物品購入(建設資材含む)	－	45	45
印　　刷　　物	－	10	10
計	71	232	303

2　見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

・件数　138件

3　建設工事等請負者選考委員会

条件付き一般競争入札により施行する予定価格１千万円以上の建設工事の入札参加資格要件の設定、予定価格１千万円以上の工事関連業務委託、建設資材購入の指名業者選考について審議した。

(1)　建設工事等請負者選考委員会（予定価格３千万円以上）

・開催回数　１４回

・審議件数　３８件

(2)　建設工事等請負者選考委員会本庁部会（予定価格１千万円以上、３千万円未満）

・開催回数　１４回

・審議件数　５４件

4　物品購入等業者選考委員会

予定価格１千万円以上の物品購入・役務提供の指名業者選考について審議した。

・開催回数　１０回

・審議件数　３３件

5　入札参加資格者登録

平成２４年度追加分として入札参加資格審査申請のあった者について、資格審査委員会に諮った上、登録を行った。

・平成２３・２４年度入札参加資格者登録数　（単位：社）

建　設　工　事	769
工事関連業務委託	456
物　品・役　務	1,334
計	2,559

6　小規模工事等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な工事の受注を希望する業者の定期登録及び追加登録を行った。

・登録業者数　４９社

・工種別登録業者数　８２社

土木	建築	大工	左官	とび土工	石	屋根	電気	管	タイル	鋼構造物	鉄筋	舗装	しゅんせつ
2	9	2	2	5	0	1	9	2	3	1	0	0	0
板金	ガラス	塗装	防水	内装仕上	機械器具設置	熱絶縁	電気通信	造園	建具	さく井	消防施設	清掃施設	その他
1	8	6	2	13	0	0	0	1	10	1	2	0	2

7　小規模物品等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な物品の納入を希望する業者の定期登録及び追加登録を行った。

・登録業者数　１５社

・業種別登録業者数　３０業種

日用品	車両	電気器具	機械器具	医療	印刷	燃料・ガス	その他サービス	建設資材等
14	3	2	1	2	2	1	2	3

8　入札・契約制度の改善

入札適正化委員会の開催

建設工事に係る入札・契約の適正化を図るため、学識経験者４人で構成する入札適正化委員会を設置し、３回開催した。

(1)　第１回

平成２３年度の入札契約制度及び現状の入札・契約制度の課題、談合情報の対応について説明し、意見を求めた。

・開催日　８月１０日(水)

(2)　第２回

入札契約制度の一部改正の報告、４月から１１月までに執行した建設工事のうち、委員が抽出した４件に関して、一般競争入札の参加資格設定の経緯、指名競争入札の指名の経緯等に係る審議を行った。

・開催日　１２月１９日(月)

(3)　第３回

入札及び契約手続の運用状況等についての報告、１１月から２月までに執行した建設工事のうち、委員が抽出した４件に関して、一般競争入札の参加資格設定の経緯、指名競争入札の指名の経緯等に係る審議を行った。

・開催日　３月１９日(月)

検査担当

1　工事検査

平成２３年度に発注した請負額500万円以上の建設工事について､次のとおり実施した。

完成検査

・主管課別検査件数

事業主管課	検査件数(件)	備考(工事担当課)
施設管理課	3	
こども課	4	施設管理課４件
商工観光課	1	施設管理課１件
農林課	6	
産業基盤整備課	2	
都市整備課	6	
維持管理課	11	施設管理課３件
水道課	34	
下水道課	56	
教育総務課	18	
文化課	2	施設管理課２件

大平教育支所	1	大平 地域まちづくり課１件
藤岡教育支所	6	藤岡 地域まちづくり課６件
都賀教育支所	6	
大平総合支所健康福祉課	1	大平 地域まちづくり課１件
〃　　都市整備課	9	
〃　　都市建設課	25	
藤岡総合支所地域まちづくり課	1	
〃　　健康福祉課	3	藤岡 地域まちづくり課３件
〃　　都市建設課	11	
都賀総合支所産業振興課	1	
〃　　都市建設課	7	
西方総合支所産業建設課	3	
計	217	

・工種別検査件数　　（単位：件）

工 種	土 木	建 築	舗 装	管	電 気	水 道	その他	計
件 数	95	32	38	12	7	27	6	217

第５節　消防防災課

〔総括概要〕

消防防災課の主な分掌事務は、地域防災計画（水防計画を含む。）及び防災対策、災害対策本部、消防団、自衛官募集事務などである。

栃木市地域防災計画・栃木市水防計画については、策定業務をプロポーザル方式により選定し、業務委託した。

防災対策については、栃木地域防災訓練を実施し、市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化を図った。東北地方太平洋沖地震に伴う対応は、栃木市東日本大震災支援対策本部を設置し、福島県などからの避難者受け入れのため避難所の設置、義援金・義援物資の募集、震災に関する情報を市民に周知する「震災に伴うお知らせ」の発行などを行った。

消防団については、栃木市・西方町の合併に伴い、西方方面隊が編成され、栃木、大平、藤岡、都賀及び西方方面隊の５方面隊からなる消防団となった。全体事業として通常点検を実施するとともに、栃木方面隊の事務局として大火防止消防訓練など各種事業を実施した。また、消防ポンプ自動車を３台購入し、栃木方面隊第５分団、第９分団第３部及び第１０分団第２部の車両を更新した。

自衛官募集事務については、防衛省自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所と協力し、自衛官募集や自衛隊父兄会に関する事務を行った。

危機管理担当

1　地域防災計画（水防計画を含む。）及び防災対策

(1)　地域防災計画（水防計画を含む。）

栃木市地域防災計画・栃木市水防計画については、策定業務をプロポーザル方式により選定し、業務委託した。

(2)　防災備蓄倉庫

設　　置	位　　置
栃木保健福祉センター倉庫	今泉町 2-1-40
栃木総合体育館（倉庫）	川原田町 760
皆川中学校体育館	皆川城内町 1856
大宮公民館	大宮町 422-1
老人福祉センター福寿園	千塚町 210
寺尾公民館	梅沢町 1183
国府公民館	惣社町 228-1
出流ふれあいの森	出流町 417

(3)　主な各種災害時用備蓄品等内訳

項　　目	備　蓄　数
非　常　食	9,700食
非常用飲料水	1,600ℓ
毛　　布	1,900枚

2　防災訓練

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、防災訓練を実施した。

・期　　日　１０月２日（日）
・会　　場　吹上小学校
・参加団体　吹上第一自治会、吹上第二自治会、細堀自治会、川原田前野自治会
川原田前原自治会、苺園自治会、川原田東自治会、川原田南自治会
川原田北自治会、川原田下原自治会、野中上自治会、野中東自治会
野中西自治会、川原田日ノ出自治会（１４自治会）
栃木市消防団栃木方面隊
陸上自衛隊第１２特科連隊
栃木市婦人防火クラブ連絡協議会
ＪＡＲＬ栃木太平山０４クラブ
イオンリテール株式会社イオン栃木店
ＮＴＴドコモ栃木支店
とちぎコープ生活協同組合　　ほか
・参加人数　４００人

3　防災無線

防災行政無線については、４月１日から運用を開始した。

また、１２月から防災行政無線が設置されている施設担当者と防災行政無線定期通信訓練を毎月実施した。

4　自主防災組織

８月に自主防災組織として箱森町中央自治会自主防災連合会が設立された。

5　土砂災害防止関係

５月に栃木土木事務所と土砂災害の危険箇所を現地調査し、６月に栃木消防署と土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の現地確認を実施した。

また、栃木県において土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を新たに指定したことに伴い、土砂災害ハザードマップを作成した。

6　り災証明書

平成２３年３月１１日の東北地方太平洋沖地震及び９月２１日の台風第１５号による被災住家などの被害認定をし、り災証明書を発行した。

(1)　東北地方太平洋沖地震によるり災証明書発行件数　（単位：件）

区分	全壊	半壊	その他（一部損壊）	計
住　家	－	2	980	982
非住家	－	2	193	195

(2)　台風第１５号によるり災証明書発行件数　（単位：件）

区分	全壊	床上浸水（半壊）	床下浸水	その他	計
住　家	－	1	－	－	1
非住家	－	－	－	1	1

7　自衛官募集事務

(1)　自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

・入隊入校者数　３人

(2)　自衛隊父兄会

栃木市自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

また、栃木市自衛隊父兄会、大平町自衛隊父兄会、藤岡町自衛隊父兄会、都賀町自衛隊父兄会、西方町自衛隊父兄会について、平成２４年度を目途に統合すべく正副会長会議を開催した。

・実施日　１２月７日(水)
・会　場　市役所　正庁
・議　題　(1)　父兄会統合、新父兄会の会則、予算等について
　　(2)　自衛隊入隊入校者激励会について

8　エリアメール・緊急速報メールの導入

地震や台風などによる災害の発生や発生のおそれのある場合に、市から災害・避難情報をより多くの方へ迅速に提供するため、メールアドレスの登録を必要としないＮＴＴドコモの緊急速報「エリアメール」、ソフトバンクの「緊急速報メール」、ＫＤＤＩ（ａｕ）の「緊急速報メール（災害・避難情報）」を導入した。

配信する内容は、避難情報、指定河川洪水警報、土砂災害警戒情報、ゲリラ・特殊部隊攻撃情報、大規模テロ情報などの緊急情報である。

速報名称	会社名	利用開始日
エリアメール	ＮＴＴドコモ	11 月 1 日(火)
緊急速報メール	ソフトバンク	1 月 30 日(月)
緊急速報メール	ＫＤＤＩ（ａｕ）	1 月 31 日(火)

9　避難者支援

(1)　避難所の開設

福島県等からの避難者受け入れのため、平成２２年度に引き続き避難所を開設した。

施設名	所在地	開設日	閉鎖日	定員(人)	最多収容人数(人)
老人福祉センター長寿園	薗部町 2-14-9	平成 23 年 3月 17 日(木)	5 月 1 日(日)	75	64
ＡＦＤinc 合戦場寮	都賀町合戦場 599-6	平成 23 年 3月 25 日(金)	8月 21 日(日)	44 室 1室6畳程度	44

※ＡＦＤinc 合戦場寮については、アドバンスト フィルム ディバイス インク株式会社が所有する独身寮であるが、使用していないことから、避難所としての活用について申し出をいただいたもの。

〔参考〕栃木県の開設による「太平少年自然の家」避難所（定員１４０人）は、平成２３年３月１６日(水)に開設され、平成２４年５月１日(日)に閉鎖された。

(2)　雇用促進住宅への入居手続の受付

福島県等から市内の雇用促進住宅（栃木日ノ出、大平）へ入居手続の受付窓口として、受付を行った。

・受付件数　１８件

(3)　日本赤十字社による生活家電寄贈の申請手続の受付

岩手、宮城及び福島県から、市内の公営住宅に避難された方に対して、日本赤十字社による生活家電寄贈の受付を行った。

・受付件数　２３件

(4)　町ごと疎開・蔵の街とちぎプロジェクト

東日本大震災の被災者を自治会などのコミュニティ単位で受け入れようと、市やＮＰＯ法人、市民団体など計１４団体で「町ごと疎開・蔵の街とちぎプロジェクト」を立ち上げた。

被災前のコミュニティを損なうことなく移住できる環境を官民一体となって整え、被災地に提案する。8月２６日(金)に本プロジェクトにより福島県相馬市、南相馬市、浪江町及び富岡町を訪問し、提案を行った。

(5)　茶話会の開催

期　日	場　所	参加者数(人)	参加機関
10月6日(木)	市民会館講堂	4	蔵の街コミュニティケア研究会、福島県災害対策本部、とちぎボランティアＮＰＯセンター、ぽ・ぽ・ら、とちぎ市民活動推進センター、ＮＰＯ法人蔵の街たんぽぽの会、ピジョン真中株式会社、（株）メディカルグリーン居宅介護支援事業所みどり、（株）日立福祉事業 あいケアステーション、市総務部消防防災課
12 月 17 日(土)	市民会館	19	蔵の街コミュニティケア研究会、とちぎ市民活動推進センター、ＮＰＯ法人蔵の街たんぽぽの会、とちぎボランティアネットワーク、家造りを考える会、市総合政策部地域まちづくり課、市総務部消防防災課

2月26日(日)	市民活動推進センターくらら	26	蔵の街コミュニティケア研究会、とちぎ市民活動推進センター、福島県災害対策本部、ＮＰＯ法人蔵の街たんぽぽの会、みたらし会、とちぎボランティアネットワーク、日本カウンセリング協会栃木県支部、国際ソロプチミスト、特定非営利活動法人ケアセンター、とみおか子ども未来ネットワーク、市総合政策部地域まちづくり課、市総務部消防防災課

10　放射線測定事業

(1)　対応方針の策定

栃木市における放射線等に関する当面の基本的な対応方針を策定した。

(2)　モニタリングポスト

設置場所	設置場所の住所	測定高さ（m）
市役所	栃木市入舟町7番26号	1
総合支所	栃木市西方町本城1番地	1

(3)　放射線測定器の配備状況

ア　シンチレーションサーベイメータ

・型番　株式会社堀場製作所　ＰＡ－１０００

部課名		台数(台)	備　考
本　　庁	環　境　課	4	一般貸出し用　3台
	こ ど も 課	11	市内の公私立の保育園・幼稚園　10台
	教育総務課	15	市内の公私立の小中学校　14台
	維持管理課	2	
	消防防災課	3	
大平総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
藤岡総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
都賀総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
西方総合支所	生活環境課	1	
	健康福祉課	1	
そ　の　他	－	2	大平総合支所都市建設課・藤岡総合支所都市建設課兼用　1台 都賀総合支所都市建設課・西方総合支所産業建設課兼用　1台

イ　エネルギー補償型シンチレーションサーベイメータ

・型番　日立アロカメディカル株式会社　ＴＣＳ－１７２Ｂ

部課名		台数(台)	備　考
本　　庁	消防防災課	1	

ウ　食品用放射能濃度測定器

・型番　ＥＭＦジャパン株式会社　ＥＭＦ２１１型ガンマ線スペクトロメータ

部課名		台数(台)	備　考
本　　庁	学校教育課	1	

消防担当

1　消防団の活動状況

(1)　栃木市・野木町合同水防演習

・実 施日　６月２６日（日）

・場　所　藤岡町藤岡東原地内堤防

(2)　栃木方面隊夏季点検

・実 施日　７月３日（日）

・場　所　栃木総合運動公園東側駐車場

(3)　通常点検

・実 施日　１０月３０日（日）

・場　所　栃木総合運動公園多目的広場

とちぎ蔵の街大通り（分列行進）

(4)　大火防止消防訓練

・実 施日　２月２６日（日）

・場　所　入舟町地内栃木市役所

(5)　正副方面隊長会議

期　　日	場　　所
6 月 15 日（水）	大平総合支所
8 月 26 日（金）	藤岡総合支所
9 月 28 日（金）	消防署
12 月 20 日（火）	都賀総合支所

(6)　栃木方面隊分団長会議

期　　日	場　　所
6 月 10 日（金）	栃木グランドホテル
10 月 3 日（月）	消防署
1 月 20 日（金）	消防署

2　各種団体の運営支援

栃木市婦人防火クラブ連絡協議会及び栃木市栃木消防協力会の事務局として、運営の支援を行った。

3　消防の現状

(1)　配置人員

ア　栃木市消防団員　　（単位：人）

方面隊名＼職名		正副団長	方面隊長	方面隊副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
栃　木	定　員	1	(1)	2	13	13	37	102	342	510
	実　員	1	(1)	2	13	13	37	102	314	482
大　平	定　員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175
	実　員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175
藤　岡	定　員	1	(1)	2	4	4	8	8	120	147
	実　員	1	(1)	2	4	4	8	8	120	147
都　賀	定　員	1	(1)	2	4	4	6	12	72	101
	実　員	1	(1)	2	4	4	6	12	72	101
西　方	定　員	1	(1)	2	5	5	8	14	88	123
	実　員	1	(1)	2	5	5	8	14	74	109
合　計	定　員	5	(5)	10	30	30	73	149	759	1,056
	実　員	5	(5)	10	30	30	73	149	717	1,014

※団長及び副団長は、方面隊長を兼任のため、()内数としてある。

イ　栃木方面隊　　（単位：人）

配置＼職名		正副団長	方面隊長	方面隊副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部分団	定　員	1	(1)	2	1	1	2	4	4	15
	実　員	1	(1)	2	1	1	2	4	2	13
第１分団	定　員	－	－	－	1	1	2	5	12	21
	実　員	－	－	－	1	1	2	5	8	17
第２分団	定　員	－	－	－	1	1	2	5	15	24
	実　員	－	－	－	1	1	2	5	12	21
第３分団	定　員	－	－	－	1	1	2	5	12	21
	実　員	－	－	－	1	1	2	5	9	18
第４分団	定　員	－	－	－	1	1	2	5	16	25
	実　員	－	－	－	1	1	2	5	9	18
第５分団	定　員	－	－	－	1	1	2	5	16	25
	実　員	－	－	－	1	1	2	5	16	25
第６分団	定　員	－	－	－	1	1	2	5	24	33
	実　員	－	－	－	1	1	2	5	24	33

第７分団	定　員	－	－	－	1	1	2	5	12	21
	実　員	－	－	－	1	1	2	5	7	16
第８分団	定　員	－	－	－	1	1	4	12	44	62
	実　員	－	－	－	1	1	4	12	42	60
第９分団	定　員	－	－	－	1	1	4	12	44	62
	実　員	－	－	－	1	1	4	12	42	60
第10分団	定　員	－	－	－	1	1	4	12	44	62
	実　員	－	－	－	1	1	4	12	44	62
第11分団	定　員	－	－	－	1	1	5	15	55	77
	実　員	－	－	－	1	1	5	15	55	77
第12分団	定　員	－	－	－	1	1	4	12	44	62
	実　員	－	－	－	1	1	4	12	44	62
合　　計	定　員	1	(1)	2	13	13	37	102	342	510
	実　員	1	(1)	2	13	13	37	102	314	482

(2)　消防車等の態勢

ア　消防団　　（単位：台）

種別 / 方面隊名	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	指揮連絡車	計
栃　木	21	7	2	30
大　平	13	0	2	15
藤　岡	4	4	1	9
都　賀	4	2	1	7
西　方	2	6	1	9
計	44	19	7	70

イ　栃木方面隊

区分 / 分団・部	種　別	車　名	年　式	備　考
消防団本部	指　揮　車	トヨタ	平成15年	
	指揮連絡車	ニッサン	平成5年	
第１分団	普通ポンプ車	いすゞ	平成14年	
第２分団	〃	トヨタ	平成16年	
第３分団	〃	いすゞ	平成13年	
第４分団	〃	トヨタ	平成22年	
第５分団	〃	日　野	平成24年	更新
第６分団	〃	ニッサン	平成5年	
第７分団	〃	いすゞ	平成8年	

第8分団	第１部	〃	日　　野	平成23年	
	第２部	〃	いすゞ	平成11年	
	第３部	〃	〃	平成13年	
	第４部	〃	〃	平成21年	
第9分団	第１部	〃	〃	平成21年	
	第２部	〃	〃	平成23年	
	第３部	〃	日　　野	平成24年	更新
	第４部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成20年	
		積　載　車	いすゞ	平成20年	
第10分団	第１部	普通ポンプ車	〃	平成20年	
	第２部	〃	日　　野	平成24年	更新
	第３部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積　載　車	いすゞ	平成14年	
	第４部	普通ポンプ車	〃	平成8年	
第11分団	第１部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積　載　車	いすゞ	平成14年	
	第２部	普通ポンプ車	〃	平成11年	
	第３部	〃	トヨタ	平成22年	
	第４部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成19年	
		積　載　車	トヨタ	平成19年	
	第５部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成17年	
		積　載　車	いすゞ	平成17年	
第12分団	第１部	普通ポンプ車	日　　野	平成19年	
	第２部	〃	ニッサン	平成5年	
	第３部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成13年	
		積　載　車	いすゞ	平成13年	
	第４部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成17年	
		積　載　車	いすゞ	平成17年	

第３章　理財部

第１節　管財課

〔総括概要〕

管財課の主な分掌事務は普通財産の調査、管理、処分に関する事務、財産区及び財産区議会に関する事務である。

普通財産の貸付については、事業用定期借地権を設定し貸付を行うなど、未利用市有地の有効活用に努め、市内及び東京都内の土地について、３６件、合計面積22,672.62㎡の有償貸付を行った。

普通財産の処分については、未利用市有地等の売却を積極的に行い、未利用市有地等４０件、合計面積8,190.49㎡を合計金額34,669,519円で売却した。

また、大澤基金、皆川地区振興基金、土地総合調整基金については、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行い、確実かつ有利な方法による基金運用に努めた。

寺尾財産区では平成２３年１１月２日、寺尾財産区議会定例会を開催し、平成２３年度寺尾財産区特別会計歳入歳出決算等を審議した。また平成２４年３月２１日、定例会にて、平成２４年度寺尾財産区特別会計歳入歳出予算等を審議した。

管財担当

1　普通財産の貸付

区　　分	件数(件)	面　積(㎡)	収入金額(円)
市内市有地（旭町　ほか）	15	19,440.70	19,470,539
都内市有地（渋谷区、大田区）	21	3,231.92	11,789,294
合　　計	36	22,672.62	31,259,833

2　普通財産の処分

区　　分	件数(件)	面　　積(㎡)	売却価格(円)
普通財産（公売・随意契約）	7	2,900.74	28,246,277
旧道水路敷（用途廃止）	33	5,289.75	6,423,242
合　　計	40	8,190.49	34,669,519

3　都内市有地(大澤財産)処分状況　　(単位：㎡)

寄附受入面積	地積更正等	平成22年度末までの処分	平成23年度中の処分	平成23年度末の保有面積
7,928.44	7,927.77	4,659.98	―	3,267.79

4　大澤基金に関すること　（単位：円）

平成22年度末在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
1,114,739,460	△197,755,948	916,983,512

5　土地総合調整基金に関すること　（単位：円）

平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
79,067,839	29,716,142	108,783,981

6　皆川地区振興基金に関すること　（単位：円）

平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
62,254,150	△32,659,486	29,594,664

7　財産区関係

(1)　財産区議会の招集

寺尾財産区議会

招集年月日	会　議　別	提　案　議　案　等
11月2日(水)	定例会	認定第１号
3月21日(水)	定例会	議案第１号～第２号

(2)　平成22年度財産区特別会計歳入歳出決算

寺尾財産区特別会計　（単位：円）

歳　　入	予　算　現　額	収　入　済　額
	30,065,000	30,370,808
歳　　出	予　算　現　額	支　出　済　額
	30,065,000	27,907,075
差　　引　　残　　額		2,463,733

(3)　寺尾財産区有山林貸付状況

貸付件数	面　積	収　入　金　額
4件	371,734㎡	26,059,912円

(4)　寺尾財産区運営基金状況　（単位：円）

平成22年度末現在高	平成23年度中増減高	平成23年度末現在高
274,635,696	25,672,000	300,307,696

第２節　施設管理課

〔総括概要〕

施設管理課の主な分掌事務は、庁舎及び附属施設等・自動車の管理、市有建築物の設計及び施工監理、住宅政策の総合調整及び推進のほか、市営住宅の全般に関することである。

庁舎等の管理については、ビル衛生管理法に基づく害虫駆除や大掃除、庁舎内の各種管理業務委託、維持補修工事等を実施し、良好な環境づくりを行った。

また、老朽化したマイクロバス、普通自動車等の市有車３台をインターネット公有財産売却システムを利用し売却するほか、市有施設に設置してある自動販売機５５台を「売上率」による入札方式で設置業者を選定し、売上率による貸付料収入の増を図るなど、自主財源の確保に努めた。

市有建築物の設計及び施工監理については、各課の依頼等により設計が、総合体育館音響設備・空調設備改修設計業務委託ほか８件、施工監理が、総合体育館耐震補強工事ほか１６件実施した。

住宅関係については、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とし、子育て世帯や高齢者等に配慮した良質な住宅の供給や良好な住環境の形成を図った。

住宅関係補助金として、定住人口の増加を促進し、市の活性化を図ることを目的とし定住希望者住宅新築等補助制度を行った。また、東北地方太平洋沖地震に伴う住宅修繕に必要な経費の一部を補助することにより、被災者の市民生活の安定及び生活再建を図ることを目的とし、東北地方太平洋沖地震に伴う住宅の修繕工事費補助制度を行った。

市営住宅管理については、昭和４３年度から平成１５年度にかけて栃木地域に建設した市営住宅８５１戸及び特定公共賃貸住宅３０戸の建物等を常に良好な状態に維持するため、各市営住宅に管理人を設置するなど、迅速・的確に対応できる体制を強化し、管理運営を行った。

市営住宅維持修繕については、川原田西市営住宅の屋根瓦替工事ほか４件の改修工事及び３４５件の小破修繕工事を実施した。

庁舎管理担当

1　施設点検報告等に基づく職員による不具合箇所修繕状況

本庁舎ロビー自動ドア修理他　８５件

2　本庁舎内の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
市庁舎宿直警備業務委託	6,778,989
市庁舎受付等業務委託	3,874,500
市庁舎清掃業務委託	3,291,750
市庁舎電話交換設備等保守業務委託	1,204,812
その他業務委託件数　11件	3,600,622

3　本庁舎内の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
本庁舎1階事務室改修工事	417,900
福祉庁舎放送設備工事	136,500
その他修繕工事件数　14件	1,818,116

4　主な備品売却状況（官公庁オークション）

品　　名　　等	金　額（円）
庁用車（日産　シーマ）	387,000
公用車（日産　マイクロバス）	366,000
公用車（日産　ホーミー）	150,000

5　庁舎の有効活用状況

(1)　庁舎貸付状況

貸　付　物　件	貸付収入（円）
自動販売機（本庁舎・別館・第２別館・福祉庁舎計７台）	3,600,797
証明写真機（本庁舎）	45,388

(2)　自動販売機入札実施状況

地　　域	入札実施台数（台）	最高貸付料率（％）
栃木	9	51.4
大平	14	52.8
都賀	20	52.5
藤岡	12	55.0

6　市有建物損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

・件　　数　３８９件

・共済責任額　9,094,645万円

・共済分担金　6,492,196円

7　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（大型バス　51人乗）	1
普通乗合（中型バス　37人乗）	1
普通乗用	3
小型乗用	3
軽乗用	4
小型貨物	17
軽貨物	6

8　市有自動車損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

・件　　数　自動車　２８６台

　　バイク　３５台

・共済分担金　4,631,504円

・契約内容(自動車等)　　対物　１事故につき　500万円

　　対人　１人につき　　無制限

9　自動車損害賠償責任保険加入状況

・保険契約台数　290台

・保険料　4,081,350円

営繕担当

1　設計・工事依頼関係

(1)　業務委託　（９件）　　24,297,000 円

・主な業務委託内容

業務箇所	業　務　名	業　務　概　要	委託金額(円)
川原田町地内	総合体育館音響設備・空調設備改修設計業務委託	改修設計業務 音響設備改修 空調設備改修	3,045,000

吹上町地内	吹上小学童保育施設新築設計業務委託	設計業務 木造1階建 延床面積　250.0㎡ 建築、電気工事等 計画通知作成業務 地質調査業務 スウェーデン式サウンディング等	3,801,000
大宮町地内	大宮北小学童保育施設新築工事監理業務委託	新築工事監理業務 大宮北小学童保育施設新築工事に係る監理業務	3,139,500
万町地内	福田屋百貨店建物調査業務委託	建物調査業務 店舗ＳＲＣ造6階建 23,320.0㎡ 立体駐車場ＳＲＣ造7階 16,283.3㎡ 計39,603.3㎡ 転用基本プラン共	4,987,500
その他業務委託件数　5件			9,324,000

(2)　建築、電気設備、機械設備工事　（１７件）　432,845,721円

・主な工事内容

工事箇所	工事名	工事概要	工事金額(円)
川原田町地内	総合体育館耐震補強工事	建築工事 主競技場棟 耐震補強及改修工事 延床面積　4,157.2㎡ サブ競技場棟 耐震補強及改修工事 延床面積　2,843.2㎡ 電気設備工事 電灯設備、拡声設備等 機械設備工事 換気設備	180,075,000
川原田町地内	硬式野球場メインスタンド雨漏り改修工事	防水工事 メインスタンド防水 (超速硬化ウレタン吹付工法・防滑仕様) 2,010.0㎡	32,235,000

大宮町地内	大宮北小学童保育施設新築工事	建築工事 鉄骨造２階建て延床面積 527.9 ㎡ 外構工事 木造校舎改修 既設物置解体等	83,506,500
大宮町地内	大宮北小学童保育施設新築機械設備工事	機械設備工事 冷暖房設備　換気設備 衛生器具設備等	21,367,500
大宮町地内	大宮北小学童保育施設新築電気設備工事	電気設備工事 電灯設備　構内交換設備 動力設備　呼出設備等	10,773,000
大塚町地内	おおつか保育園舎耐震補強等工事	建築工事 本館棟 耐震補強及び改修工事 延床面積　265.0 ㎡ 増築棟 耐震補強及び改修工事 延床面積　81.0 ㎡ 本館棟 調理室増築工事 電気設備工事 電灯コンセント設備等 機械設備工事 冷暖房設備　換気設備等	38,608,500
城内町２丁目地内	城内南市営住宅屋上防水改修工事	屋上防水改修 ２棟（1 号棟・2 号棟） 高反射率塩ビシート防水 計 917.1 ㎡ 架台部ウレタン塗膜防水 計 12.0 か所等 配管改修 ２号棟 配管支持金具取付等	14,752,500
その他工事件数　10 件			51,527,721

住宅担当

1　公営住宅管理関係

(1)　市営住宅管理戸数　　(単位:戸)

種別構造 / 団地名	木造 2階建	準耐火 平屋建	準耐火 2階建	中層耐火 3階建	中層耐火 4階建	中層耐火 5階建	高層耐火 8階建	計
本町市営住宅	－	－	－	－	－	20	－	20
薗部市営住宅	6	－	－	－	－	－	－	6
城内市営住宅	－	－	－	－	48	－	－	48
神田市営住宅	8	－	－	－	－	－	－	8
大宮市営住宅	－	－	－	42	88	－	－	130
川原田西市営住宅	－	－	－	24	－	－	－	24
川原田市営住宅	－	－	－	58	－	－	60	118
片柳市営住宅	－	84	12	－	－	－	－	96
川原田東市営住宅	－	60	－	－	－	－	－	60
城内南市営住宅	－	45	54	－	－	60	－	159
城内南第2市営住宅	－	－	－	12	88	30	－	130
平井市営住宅	－	－	－	－	16	－	－	16
平柳市営住宅	－	－	－	－	－	－	36	36
計	14	189	66	136	240	110	96	851
退去戸数	50							
入居戸数	23							

(2)　特定公共賃貸住宅管理戸数

・管理戸数　３０戸

・退去戸数　　１戸

・入居戸数　　０戸

(3)　改良住宅管理戸数

・管理戸数　　３戸

2　市営住宅維持修繕工事関係

(1)　市営住宅改修工事費等　（５件）　　34,456,500円

・工事内容

工事箇所	工事名	工事概要	工事金額(円)
川原田町地内 (川原田西市営住宅)	屋上防水改修工事	屋上防水改修 ２棟　804.0㎡	8,484,000
城内町２丁目地内 (城内南市営住宅)	屋上防水改修工事	屋上防水改修 ２棟　917.1㎡	14,752,500
城内町２丁目地内 (城内南市営住宅)	屋根瓦替工事	屋根葺替　２棟 ガルバリウム鋼板390㎡	7,875,000

大宮町地内 (大宮市営住宅)	外部梁補強工事	外部梁補強 梁受金物取付284か所	3,045,000
大宮町地内 (大宮市営住宅)	外部梁補強追加工事	外部梁補強 梁受金物取付28か所	300,000

(2) 市営住宅維持補修費 （３４６件） 24,824,022円

工事内容			
工事箇所	工事名	工事概要	工事金額(円)
城内町２丁目地内 (城内南市営住宅)	1号棟給水管改修工事	塩ビライニング鋼管 80A 27.0m、50A 33.2m	3,003,000
その他 市営住宅１３団地の小破修繕工事 345件			21,821,022

3 定住希望者住宅新築等補助制度

受付年度	取得年度	件数(件)	金額（円）
平成２３年度	平成２０年取得（大平）	80	6,615,900
	平成２１年取得（大平）	85	6,905,800
	平成２２年取得	140	10,091,600
	計	305	23,613,300

4 東日本大震災に伴う住宅の修繕工事費補助制度

受付別	件数(件)	補助申請金額（円）	うち繰越件数(件)	うち繰越金額（円）
栃木	184	17,157,000	26	2,551,000
大平	106	9,751,000	9	865,000
藤岡	152	14,445,000	10	942,000
都賀	42	3,796,000	5	500,000
西方	5	454,000	1	100,000
計	489	45,603,000	51	4,958,000

第３節　市民税課

〔総括概要〕

我が国の近況は、昨年３月に未曾有の災害である東日本大震災が発生し、それに伴う原子力発電所の事故、その後の電力不足、タイの洪水及び円高による影響等により、厳しい経済環境が続いている。

これらの要因による景気の低迷の中、震災復興需要や個人消費の回復が聞こえ始めてきたものの、景気回復への確かな兆しは見えず、また、震災復興の財源のための増税や社会保障制度改革のための増税の論議等が行われるなど、税務行政を取り巻く環境はますます厳しい状況にある。

このような状況の下、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、１０月には西方町との合併が整い、税務担当組織も拡大したが、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。

また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

税政担当

1　調定額　　（単位：千円）

区分 / 税目	本年度 ※	前年度 ※
市民税	8,224,010	7,969,365
軽自動車税	275,667	270,433
市たばこ税	968,112	809,587
鉱産税	3,187	3,280
入湯税	12,674	13,052
国民健康保険税	6,243,872	6,124,914
後期高齢者医療保険料	858,244	852,499
介護保険料	1,699,831	1,636,451

※　合併のため本年度には旧西方町収入未済額を含み、前年度には旧西方町を含まない。

2　賦課状況

(1)　軽自動車税（４月１日現在のため西方地域を除く）

車種＼区分				総台数（台）	課税外台数(台) 非課税	課税外台数(台) 減免	課税台数（台）	税額（千円）
原動機付自転車	50cc以下			6,973	57	8	6,908	6,908
	51cc～90cc			529	6	0	523	628
	91cc～125cc			379	7	0	372	595
	ミニカー			129	0	0	129	322
	小　計			8,010	70	8	7,932	8,453
軽自動車及び小型特殊自動車	軽自動車	二輪車		1,669	3	0	1,666	3,998
		三輪車		1	0	0	1	3
		四輪以上 乗用	自家用	23,898	40	210	23,648	170,266
			営業用	6	0	1	5	28
		四輪以上 貨物	自家用	11,223	53	64	11,106	44,424
			営業用	208	0	0	208	624
	小型特殊	農耕作業用		6,901	9	0	6,892	11,027
		フォークリフト等		344	2	0	342	1,608
	小　計			44,250	107	275	43,868	231,978
二輪の小型自動車				2,153	15	0	2,138	8,552
合　計				54,413	192	283	53,938	248,983

(2)　市たばこ税

区　分	課税標準数量（本）	返還控除数量（本）	差引数量（本）	申告納付額（円）
一級品	207,040,705	609,933	206,430,772	953,297,296
旧三級品	6,750,580	1,480	6,749,100	14,780,531
合　計	213,791,285	611,413	213,179,872	968,077,827

(3)　鉱産税

区　分	数量（ｔ）	価格（円）	課税標準額（千円）	税額（円）
石灰石　第1類	79,532	23,859,600	－	－
ドロマイト	238,556	95,422,400		
石灰石　第2類	687,313	171,828,250		
珪　石	55,610	27,804,935		
合　計	1,061,011	318,915,185	318,900	3,187,400

(4)　入湯税

区　分	税率（円/人）	人数（人）	税額（円）
日帰り	50	247,069	12,353,450
宿　泊	150	2,135	320,250
合　計	－	249,204	12,673,700

3　諸証明等の交付（栃木地域分）

区　分	件・冊・枚数		摘　　要
	有　料	無料(公用等)	
諸 証 明	21,237	3,778	・納税、所得及びその他の証明　1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明　1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明　１件につき1,300円
公簿閲覧	1,675	1,885	・資産台帳の閲覧　1冊につき200円 ・公図等の写し　1枚につき200円
計	22,912	5,663	

市民税担当

1　個人市民税賦課状況（７月１日現在のため西方地域を除く）

(1)　所得区分別市民税額調　　（単位：千円）

区　分		金　額	所得区分別金額				
			給　与	営　業	農　業	その他	分離譲渡
所得金額		166,908,831	141,017,858	6,569,696	993,025	16,121,110	2,207,142
所得控除額	雑　損	343	－	55	－	288	－
	医療費	1,224,143	656,950	73,433	25,195	434,373	34,192
	社会保険料	26,220,665	22,841,637	909,108	191,761	2,042,494	235,665
	小規模企業共済等掛金	371,543	195,405	119,139	5,083	34,065	17,851
	生命保険料	1,756,023	1,486,391	72,755	11,892	171,519	13,466
	地震保険料	75,086	49,876	4,739	3,507	15,749	1,215
	障害者	552,860	336,140	26,960	8,400	172,180	9,180
	寡　婦	231,200	175,900	6,040	1,040	44,720	3,500
	寡　夫	40,820	34,580	4,160	260	1,820	－
	勤労学生	1,560	1,560	－	－	－	－
	配偶者	5,190,180	3,589,530	141,750	13,980	1,404,830	40,090
	配偶者特別	320,900	256,210	12,150	1,040	50,850	650
	扶　養	11,188,590	10,141,270	547,540	115,420	297,470	86,890
	同居特別障害者	126,270	93,380	7,820	2,300	20,240	2,530
	基　礎	19,525,440	15,704,700	719,400	113,190	2,844,930	143,220
	計	66,825,623	55,563,529	2,645,049	493,068	7,535,528	588,449

課税標準額		100,147,500	85,454,329	3,924,647	499,957	8,585,582	1,682,985
税額	算出税額	6,056,403	5,125,408	235,391	29,984	514,791	150,829
	調整控除額	151,922	120,411	6,563	1,249	22,889	810
	配当控除額	2,869	1,626	45	1	1,039	158
	住宅借入金等特別税額控除	79,106	75,889	2,176	132	635	274
	寄附金税額控除	930	316	223	—	369	22
	外国税額控除	27	—	—	—	—	27
	税額調整額	190	40	24	—	126	—
	配当割額等控除額	2,840	545	50	—	738	1,507
	減免税額	—	—	—	—	—	—
	所得割額	5,818,519	4,926,581	226,310	28,602	488,995	148,031
	均等割額	198,504	155,310	8,571	1,443	33,180	—
	市民税額合計	6,017,023	5,081,891	234,881	30,045	522,175	148,031
市民税負担割合(%)		100	84.5	3.8	0.5	8.7	2.5
納税義務者数(人)		66,168	51,770	2,857	481	10,626	434
所得割人数(人)		59,168	47,590	2,180	343	8,621	434

(2)　課税標準額段階別市民税所得割額調

課税標準額の段階	納税義務者数(人)	所得金額(千円)	課税標準額(千円)	算出税額(千円)	所得割額(千円)
10万円以下	2,898	2,044,033	854,252	29,438	25,880
10万円を超え 100万円以下	22,649	32,688,836	12,933,093	765,212	689,390
100 〃 200 〃	17,709	44,570,590	25,591,364	1,528,117	1,431,646
200 〃 300 〃	7,931	30,723,572	19,426,618	1,163,862	1,121,272
300 〃 400 〃	4,135	21,146,279	14,315,913	856,477	846,626
400 〃 550 〃	2,305	14,730,057	10,588,617	633,807	629,818
550 〃 700 〃	619	5,009,320	3,852,332	229,457	228,061
700 〃 1,000 〃	422	4,276,393	3,453,087	206,852	205,788
1,000万円を超える金額	500	11,719,751	10,816,705	643,181	640,038
合　　計	59,168	166,908,831	101,831,981	6,056,403	5,818,519

※　「課税標準額の段階」には分離譲渡所得は含まれない。

(3)　課税標準額段階別控除対象配偶者、扶養控除及び事業専従者に関する調（単位：人）

課税標準額の段階	控除対象配偶者		扶養控除	扶養控除人員の内訳			事業専従者	
		うち老人配偶者	人員	老人扶養	同居老親扶養	その他の扶養	青色	白色
1万円以下の金額	37	9	60	2	17	41	18	—
1万円を超え 2万円以下	29	7	45	1	11	33	7	1
2 〃 3 〃	32	8	61	3	14	44	5	1
3 〃 4 〃	38	7	58	0	24	34	18	1

4 〃 5 〃	38	7	76	0	18	58	9	1
5 〃 6 〃	42	5	72	0	21	51	43	16
6 〃 7 〃	34	9	71	0	15	56	38	13
7 〃 8 〃	49	15	79	5	22	52	29	12
8 〃 9 〃	43	7	99	2	20	77	113	32
9 〃 10 〃	43	8	75	3	22	50	94	22
10 〃 15 〃	244	54	400	12	97	291	110	14
15 〃 20 〃	260	66	419	11	81	327	114	25
20 〃 25 〃	334	79	468	12	83	373	116	40
25 〃 30 〃	309	87	413	12	89	312	118	20
30 〃 40 〃	660	163	914	32	163	719	162	33
40 〃 60 〃	1,343	279	1,908	69	326	1,513	89	17
60 〃 80 〃	1,287	276	1,957	48	306	1,603	84	21
80 〃 120 〃	2,385	401	3,829	83	516	3,230	30	6
120 〃 160 〃	1,798	180	3,501	54	453	2,994	42	4
160 〃 200 〃	1,362	71	2,995	70	398	2,527	35	1
200万円を超える金額	5,079	122	12,445	307	1,753	10,385	17	1
合 計	15,446	1,860	29,945	726	4,449	24,770	1,291	281

2 法人市民税賦課状況

等割別納税義務者数

区分		均等割額(千円)	法人数(人)
資本金の額等	① 1千万円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	60	2,827
	② 1千万円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	144	27
	③ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	156	493
	④ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	180	51
	⑤ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	192	99
	⑥ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	480	22
	⑦ 10億円を超え、市内の従業者数が50人以下の法人	492	150
	⑧ 10億円を超え50億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	2,100	8
	⑨ 50億円を超え、市内の従業者数が50人を超える法人	3,600	25
合計			3,702

3 国民健康保険税賦課状況（7月1日現在のため西方地域を除く）

(1) 医療保険分の状況

ア 税率及び課税内訳（栃木地域分）

・賦課限度額 470,000円

・所得割 5.7/100

・資産割　29/100

・均等割　23,000円

・平等割　24,500円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	9,017	7,407	22,247	12,167
退職世帯	966	947	1,755	830
計	9,983	8,354	24,002	12,997

イ　軽減世帯及び限度額世帯（栃木地域分）　（単位：世帯）

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	2,979	638	1,455	5,072	346
退職世帯	155	44	145	344	12
計	3,134	682	1,600	5,416	358

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：栃木地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	20,878	38,848	2,618,794,477	125,433	67,411
	12,167	22,247	1,463,707,138	120,301	65,793
退職世帯	1,451	3,097	238,992,823	164,709	77,169
	830	1,755	129,436,062	155,947	73,752
医療分合計	22,329	41,945	2,857,787,300	127,985	68,132
	12,997	24,002	1,593,143,200	122,577	66,375

(2)　後期高齢者支援金分の状況

ア　税率及び課税内訳（栃木地域分）

・賦課限度額　120,000円

・所得割　2.2/100

・資産割　10/100

・均等割　5,000円

・平等割　5,500円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	9,017	7,407	22,247	12,167
退職世帯	966	947	1,755	830
計	9,983	8,354	24,002	12,997

イ　軽減世帯及び限度額世帯（栃木地域分）　（単位：世帯）

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	2,979	638	1,455	5,072	660
退職世帯	155	44	145	344	22
計	3,134	682	1,600	5,416	682

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：栃木地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	20,878	38,848	746,194,428	35,741	19,208
	12,167	22,247	431,841,787	35,493	19,411
退職世帯	1,457	3,095	70,668,472	48,503	22,833
	830	1,755	39,549,513	47,650	22,535
後期高齢者支援金分合計	22,335	41,943	816,862,900	36,573	19,475
	12,997	24,002	471,391,300	36,269	19,640

(3)　介護保険分の状況

ア　税率及び課税内訳（栃木地域分）

・賦課限度額　90,000円

・所得割　2/100

・資産割　7.2/100

・均等割　8,500円

・平等割　6,500円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	3,675	2,950	7,750	6,071
退職世帯	685	702	1,291	887
計	4,360	3,652	9,041	6,958

イ　軽減世帯及び限度額世帯（栃木地域分）　（単位：世帯）

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	1,243	346	616	2,205	502
退職世帯	154	49	149	352	46
計	1,397	395	765	2,557	548

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：栃木地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	10,703	13,576	335,500,912	31,346	24,713
	6,071	7,750	198,328,611	32,668	25,579
退職世帯	1,582	2,341	61,036,388	38,582	26,073
	887	1,291	36,279,889	40,902	28,451
介護保険分合計	12,285	15,917	396,537,300	32,278	24,913
	6,958	9,041	234,608,500	33,718	25,949

(4)　国民健康保険税調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：栃木地域分）

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	20,631	3,745,379,600
	11,961	2,103,818,000
特別徴収対象世帯	3,494	325,807,900
	2,159	195,325,000
合計	24,125	4,071,187,500
	14,120	2,299,143,000

4　後期高齢者医療保険料賦課状況（７月１日現在のため西方地域を除く）

(1)　後期高齢者医療保険料の算定料率

・賦課限度額　500,000円

・所得割　7.18/100

・均等割　37,800円

均等割低所得者軽減額（円）			
9割軽減	8.5割軽減	5割軽減	2割軽減
34,020	32,130	18,900	7,560

(2)　保険料軽減区分別被保険者数

区分	内容	被保険者数（人）	
		普通徴収	特別徴収
一般	（所得-33万円）×7.18%+37,800円	1,270	5,913
9割軽減	世帯の合計所得が33万円以下のうち、世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下。（その他所得がない場合）均等割額が9割軽減。	327	2,919
8.5割軽減	世帯の合計所得が33万円以下。 均等割額が8.5割軽減。	166	2,070
5割軽減	世帯の合計所得が33万円+{24.5万円×被保険者数(世帯主を除く)}以下。均等割額が5割軽減。	34	478
2割軽減	世帯の合計所得が33万円+(35万円×被保険者数)以下。均等割額が2割軽減。	103	1,083

被用者保険の被扶養者軽減	所得割額が免除、均等割額が9割軽減。	200	3,083
計		2,100	15,546

(3)　後期高齢者医療保険料調定額

区分	被保険者(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,100	232,030,700
特別徴収対象者	15,546	589,612,700
合計	17,646	821,643,400

5　介護保険料賦課状況（7月1日現在のため西方地域を除く）

(1)　介護保険料段階別保険料等（栃木地域分）

段階		対象者	対象者人数(人)		年間保険料(円)
			普通徴収	特別徴収	
第1段階		・老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税の方 ・生活保護の受給者	198	146	23,600
第2段階		・世帯全員が市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	258	2,878	23,600
第3段階		・世帯全員が市民税非課税で第2段階に該当しない方	54	2,028	35,100
第4段階	軽減額	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	406	4,204	45,200
	基準額	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円をこえる方	43	2,623	50,200
第5段階		・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が125万円以下の方	126	2,864	60,300
第6段階		・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が125万円をこえ200万円未満の方	98	2,208	65,300
第7段階		・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が200万円以上500万円未満の方	105	1,616	82,900
第8段階		・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が500万円以上の方	44	349	95,500
計			1,332	18,916	

(2)　介護保険料調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：栃木地域分）

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,047	103,047,640
	1,332	69,181,400
特別徴収対象者	32,160	103,047,640
	18,916	69,181,400
合計	34,207	1,612,081,440
	20,248	1,007,552,700

第４節　資産税課

〔総括概要〕

我が国の近況は、昨年３月に未曾有の災害である東日本大震災が発生し、それに伴う原子力発電所の事故、その後の電力不足、タイの洪水及び円高による影響等により、厳しい経済環境が続いている。

これらの要因による景気の低迷の中、震災復興需要や個人消費の回復が聞こえ始めてきたものの、景気回復への確かな兆しは見えず、また、震災復興の財源のための増税や社会保障制度改革のための増税の論議等が行われるなど、税務行政を取り巻く環境はますます厳しい状況にある。

このような状況の下、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、１０月には西方町との合併が整い、税務担当組織も拡大したが、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、平成24年度評価替えでは、路線価及び状況類似価格について､適正な均衡のとれた価格に見直す作業を実施した。

また、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新増築・滅失家屋や土地利用の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を継続して行った。

資産税担当

1　調定額　（単位：千円）

区分 / 税目	本年度	前年度
固定資産税	10,003,654	9,777,324
特別土地保有税	159,464	3,219
都市計画税	1,069,472	1,074,894

※合併のため本年度には旧西方町収入未済額を含み、前年度には旧西方町を含まない。

2　固定資産税評価状況（平成２３年１月１日現在）

(1)　土地（上段：栃木市、西方町合計/下段：栃木市）

地目		筆　数（筆）	地　積（㎡）	決定価格（千円）
田	一　般　田	52,378	71,337,380	8,078,686
		48,076	64,455,179	7,226,411

畑	宅地介在田等	4,632	3,202,221	37,457,293
		4,632	3,202,221	37,457,293
	一　般　畑	23,477	13,816,724	856,309
		21,634	12,786,876	798,382
	宅地介在畑等	2,987	1,404,575	18,918,779
		2,987	1,404,575	18,918,779
宅　地		118,401	32,847,472	503,033,912
		111,270	30,443,114	475,368,384
鉱　泉　地		2	4	473
		2	4	473
池　沼		262	123,135	5,156
		251	110,308	4,253
山　林		18,231	39,821,708	3,201,410
		16,471	33,621,128	3,096,676
牧　場		13	6,751	317
		13	6,751	317
原　野		2,908	678,029	11,801
		2,649	592,140	11,126
雑　種　地		22,960	18,954,723	48,451,707
		20,766	15,799,488	43,730,266
合　計		246,251	182,192,722	620,015,843
		228,751	162,421,784	586,612,360

(2)　家屋（上段：栃木市、西方町合計/下段：栃木市）

ア　木造家屋

種　類	棟　数（棟）	床　面　積（㎡）	決定価格（千円）
専　用　住　宅	49,117	4,488,015	128,249,055
	46,916	4,249,302	120,340,362
共同住宅・寄宿舎	726	146,171	5,148,617
	713	143,958	5,056,006
併　用　住　宅	3,947	415,857	6,796,181
	3,797	400,067	6,531,469

農家住宅	2,230	251,779	583,787
	2,055	231,786	556,971
旅館・料亭・ホテル	75	5,317	52,599
	75	5,317	52,599
事務所・銀行・店舗	1,541	107,057	2,669,953
	1,464	102,024	2,480,437
劇場・病院	78	11,848	401,026
	78	11,848	401,026
公衆浴場	11	1,615	59,874
	11	1,615	59,874
工場・倉庫	1,070	100,549	427,784
	982	92,775	394,057
土蔵	1,811	95,054	125,285
	1,475	84,117	109,528
付属家	23,323	922,224	3,383,735
	21,953	850,237	3,020,481
合計	83,929	6,545,486	147,897,896
	79,519	6,173,046	139,002,810

イ　非木造家屋

種類	棟数（棟）	床面積（㎡）	決定価格（千円）
事務所・店舗 百貨店・銀行	1,756	649,673	39,786,275
	1,656	619,313	37,862,352
住宅・アパート	6,795	1,108,900	45,426,832
	6,596	1,081,400	44,252,173
病院・ホテル	131	86,614	7,365,692
	124	78,348	6,664,572
工場・倉庫・市場	5,384	2,188,410	55,060,629
	4,749	1,981,984	47,516,454
その他	9,750	620,216	6,654,645
	9,404	598,803	6,357,198

合　　計	23,816	4,653,813	154,294,073
	22,529	4,359,848	142,652,749

(3)　償却資産（上段：栃木市、西方町合計/下段：栃木市）　　（単位：千円）

区　　分		決　定　価　格	課税標準額
市長が価格等を決定したもの	構　築　物	16,048,914	15,878,613
		13,922,665	13,766,689
	機械及び装置	64,896,034	64,686,372
		57,586,458	57,382,465
	船　舶	536	536
		536	536
	航　空　機	－	－
		－	－
	車両及び運搬具	672,236	672,236
		611,759	611,759
	工具・器具及び備品	11,718,301	11,710,845
		10,783,676	10,776,220
	小　　計	93,336,021	92,948,602
		82,905,094	82,537,669
総務大臣が価格等を決定し配分したもの		32,799,911	31,158,015
		30,104,189	28,667,115
県知事が価格等を決定し配分したもの		－	－
		－	－
小　　計		32,799,911	31,158,015
		30,104,189	28,667,115
合　　計		126,135,932	124,106,617
		113,009,283	111,204,784

第５節　収税課

〔総括概要〕

我が国の近況は、昨年３月に未曾有の災害である東日本大震災が発生し、それに伴う原子力発電所の事故、その後の電力不足、タイの洪水及び円高による影響等により、厳しい経済環境が続いている。

これらの要因による景気の低迷の中、震災復興需要や個人消費の回復が聞こえ始めてきたものの、景気回復への確かな兆しは見えず、また、震災復興の財源のための増税や社会保障制度改革のための増税の論議等が行われるなど、税務行政を取り巻く環境はますます厳しい状況にある。

このような状況の下、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、１０月には西方町との合併が整い、税務担当組織も拡大したが、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働で滞納整理や差押処分を行うなど､税収確保へ向けた取組を展開した。

また、昨年度までの債権管理指導室を改め、収税課内に債権管理指導担当を設置し、市の債権についてその管理徴収に関する指導を実施した。加えて同担当を事務局とした栃木市債権回収対策本部会議を開催し、市の保有する債権の適切な管理と自主財源の確保のため､未収債権の回収計画の策定や債権管理の総合調整を行った。

収税担当

1　市税徴収状況

平成23年度の市税徴収状況については【別表】市税徴収状況のとおり。

2　不納欠損

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市　　税	7,213	157,676,371
国民健康保険税	9,276	191,770,578
介護保険料	1,766	11,379,330
後期高齢者医療保険料	161	759,010
計	18,416	361,585,289

3　執行停止

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市　　税	9,402	184,193,800
国民健康保険税	9,988	221,966,727
介護保険料	1,762	11,182,410
後期高齢者医療保険料	204	960,410
計	21,356	418,303,347

4　差押（参加差押含む）（上段：栃木市全体/下段：栃木地域）　　（単位：件）

差押物件	年度当初	差　押	解　除	年度末
不動産	176	4	20	160
	150	4	18	136
自動車	6	2	3	5
	3	2	3	2
電話加入権	8	0	1	7
	8	0	1	7
債権その他	110	217	207	120
	55	156	146	65
計	300	223	231	292
	216	162	168	210

※地方税法第４８条による県からの引継ぎ件数も含む

5　交付要求（上段：栃木市全体/下段：栃木地域）　　（単位：件）

年度当初	要　　求	終　　結	年度末
140	70	86	124
90	58	69	79

6　督促状発送状況

税　　目	件　　数（件）
市　　税	44,234
国民健康保険税	37,828
介護保険料	6,392
後期高齢者医療保険料	2,678
計	91,132

7　催告書発送及び納付状況（上段：栃木市全体/下段：栃木地域）

月　　日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月15日（金）	1,825	1,265	26,126,833
	1,139	—	—
6月24日（金）	4,769	1,634	22,850,122
	2,961	—	—
10月25日（火）	5,330	2,321	43,705,337
	3,041	—	—
1月20日（金）	2,602	1,923	43,963,865
	1,424	—	—
計	14,526	7,143	136,646,157
	8,565	—	—

8　口座振替状況

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市・県民税	18,848	992,266,917
固定資産税・都市計画税	58,557	3,349,098,200
軽自動車税	11,501	55,285,600
国民健康保険税	47,004	1,506,323,500
介護保険料	3,638	24,038,080
後期高齢者医療保険料	7,916	129,488,700
計	147,464	6,056,500,997

9　休日納税相談窓口（上段：栃木市全体/下段：栃木地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実　施　期　間	納付件数(件)	納　付　額（円）
第1回	7月3日（日）	44	614,100
		22	538,400
第2回	10月30日（日）	51	982,470
		22	590,000
第3回	1月29日（日）	84	3,581,110
		41	2,502,300
計		179	5,177,680
		85	3,630,700

10　地方税徴収特別対策室との協働徴収（平成１９年度から継続）

栃木県地方税徴収特別対策室に職員１人を派遣。協働で徴収に当たった。

徴　収　実　績（累計）	
人　数	税　額
1,589人	959,386,007円

11　市税等収納員による徴収事業（上段：栃木市全体／下段：栃木地域）

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員９人による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
6,757	198,326,671	45	3,495
4,003	125,952,356	45	1,443

12　市税等徴収強化事業（上段：栃木市全体/下段：栃木地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、係長以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間　１２月５日（月）～２２日（木）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
2,133	183	3,166,260
1,370	87	1,764,500

債権管理指導担当

1　債権管理職員研修の実施

債権管理に関する人材の育成と職員のスキルアップを図るため、債権管理に関する各種職員研修（債権管理一般研修、公債権研修、私債権研修）を実施した。

(1)　債権管理一般研修

・講　　師　弁護士　須田徹氏

・実施状況

開催日	会　　場	内　　容	参加人数（人）
7月19日(火)	市役所本庁舎	自治体が有する債権の管理回収について	52

(2)　公債権研修

・講　　師　税理士　宮川昌俊氏

・実施状況

開催日	会　　場	内　　容	参加人数（人）
5月26日（木）	市役所本庁舎	滞納者との接し方について	19
6月23日（木）	市役所本庁舎	徴収法等基本①	10
8月30日（火）	藤岡総合支所	徴収法等基本②	6
9月28日（木）	大平総合支所	徴収法等総論（納税義務の承継）	14
11月29日(火)	市役所本庁舎	滞納処分について①	10

12月26日(月)	藤岡総合支所	滞納処分について②	11

(3)　私債権研修

・講　　師　弁護士　須田徹氏

・実施状況

開催日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
10月7日（金）	市役所本庁舎	私債権の滞納整理について	13

2　債権管理の実践支援

債権を所管する各課に対し、それぞれの課が保有する未収債権について、法的措置を伴う滞納処分まで実行できるようにするための実践支援を行った。

(1)　債権管理個別マニュアルの整備

債権ごとのマニュアルを昨年度までに作成したが、本年度は各課の事務に併せ内容の整備及びそれに基づく実践支援を行った。

(2)　徴収支援

債権の回収にあたり、各課との協働による訪問催告の実施及び、強制徴収実施に向けての支援を実施、保育料にて差押を1件実施した。

3　栃木市債権回収対策本部会議の開催

市の保有する債権の適切な管理と、市税をはじめとする自主財源の確保のため、副市長を本部長とし、各部長を本部員とする「栃木市債権回収対策本部」を設置し、未収債権の回収計画の策定や債権管理の総合調整を行った。

実施日	内　　容	会　　場
5月20日（金）	(1) 本市の債権管理の現状と課題について (2) 債権の意義について (3) 債権管理に関する基本方針（案）について (4) 債権の管理回収に関する支援について (5) 債権管理プランの策定について (6) 新公会計制度に伴い貸借対照表に計上する回収不能見込額等の調査について (7) 債権管理条例について (8) 今後の実施スケジュールについて	市役所 第5会議室
7月11日（月）	(1) 各課の債権管理プランと回収不能見込額について	市役所 第5会議室
11月16日(水)	(1) 議員研究会について (2) 債権管理条例について (3) 債権徴収体制について	市役所 第2委員会室
2月1日（水）	(1) 債権管理条例(案)について (2) 債権管理プラン中間報告について	市役所 第5会議室

4　弁護士法律（メール）相談の実施

自治体の債権管理に精通した弁護士に委託して、メールによる法律相談を実施した。

	実施日	件　　名	所管課
1	4月18日（月）	破産財団から放棄された不動産にかかる納税通知書の送付先について	収税課
2	4月18日（月）	下水道受益者負担金の繰上げ徴収について	収税課
3	4月18日（月）	破産手続きの開始に伴う敷金の扱いについて	収税課
4	5月18日（水）	納付者本人から返却された納付書の取扱いについて	収税課
5	5月30日（月）	相続放棄がされた不動産の課税について	収税課
6	6月1日（水）	特別土地保有税の徴収猶予について	収税課
7	7月20日（水）	民間保育所保育費負担金の債権としての性質について	収税課
8	8月15日（月）	保育料の納付義務者について	収税課
9	8月15日（月）	離婚等に伴う保育料の納付義務の継承について	収税課
10	8月15日（月）	仮登記のある土地の差押えについて	収税課
11	9月7日（水）	支払督促の取り下げについて	収税課
12	9月26日（月）	市営住宅退去に伴い補償金の取扱いについて	大平総合支所都市建設課
13	12月1日（木）	過去に欠損処理を行った水道料金の取扱いについて	収税課
14	1月27日（金）	固定資産税納期限の設定について	収税課
15	3月9日（金）	特別徴収義務者の滞納に対する未納の取扱いについて	収税課

【別表】市税徴収状況

税目				予算額(円)	調定額(円)	収入済額(円)	収入未済額(円)	不納欠損（円)	収入率（%)
普通税	市民税	個人	普通徴収	1,922,342,000	2,219,886,705	2,065,055,082	154,831,623	0	93.0
			特別徴収	3,832,051,000	3,979,101,357	3,973,492,364	5,608,993	0	99.9
			過年度随時	14,926,000	34,949,162	30,041,965	4,907,197	0	86.0
			滞納繰越分	101,101,000	675,033,810	95,878,903	538,053,688	41,101,219	14.2
			計	5,870,420,000	6,908,971,034	6,164,468,314	703,401,501	41,101,219	89.2
		法人	現年課税分	1,103,518,000	1,279,082,200	1,264,118,000	14,964,200	0	98.8
			滞納繰越分	3,821,000	35,956,476	5,462,730	27,740,836	2,752,910	15.2
			計	1,107,339,000	1,315,038,676	1,269,580,730	42,705,036	2,752,910	96.5
		合　計		6,977,759,000	8,224,009,710	7,434,049,044	746,106,537	43,854,129	90.4
	固定資産税	現年課税分		8,357,150,000	8,802,232,400	8,579,542,127	222,690,273	0	97.5
		滞納繰越分		139,944,000	959,444,593	115,608,183	741,198,369	102,638,041	12.0
		交付金		240,916,000	241,977,500	241,977,500	0	0	100.0
		計		240,916,000	241,977,500	241,977,500	0	0	100.0
		合　計		8,738,010,000	10,003,654,493	8,937,127,810	963,888,642	102,638,041	89.3
	軽自動車税	現年課税分		240,938,000	249,639,000	241,539,200	8,099,800	0	96.8
		滞納繰越分		4,329,000	26,028,332	4,356,889	18,736,343	2,935,100	16.7
		合　計		245,267,000	275,667,332	245,896,089	26,836,143	2,935,100	89.2
	たばこ税	現年課税分		973,042,000	968,077,827	968,077,827	0	0	100.0
		滞納繰越分		0	34,636	34,636	0		100.0
		合　計		973,042,000	968,112,463	968,112,463	0	0	100.0
	鉱産税	現年課税分		3,420,000	3,187,400	3,187,400	0	0	100.0
		滞納繰越分		1,000	0	0	0	0	—
		合　計		3,421,000	3,187,400	3,187,400	0	0	100.0
	保有税	滞納繰越分		156,245,000	159,463,600	156,245,100	3,218,500	0	98.0
	計	現年課税分		16,688,303,000	17,778,133,551	17,367,031,465	411,102,086	0	97.7
		滞納繰越分		405,441,000	1,855,961,447	377,586,441	1,328,947,736	149,427,270	20.3
		合　計		17,093,744,000	19,634,094,998	17,744,617,906	1,740,049,822	149,427,270	90.4
目的税	入湯税			13,000,000	12,673,700	12,673,700	0	0	100.0
	都市計画税	現年課税分		931,982,000	967,997,300	940,003,518	27,993,782	0	97.1
		滞納繰越分		13,603,000	101,475,142	15,181,223	78,044,818	8,249,101	15.0
		合　計		945,585,000	1,069,472,442	955,184,741	106,038,600	8,249,101	89.3
	計	現年課税分		944,982,000	980,671,000	952,677,218	27,993,782	0	97.1
		滞納繰越分		13,603,000	101,475,142	15,181,223	78,044,818	8,249,101	15.0
		合　計		958,585,000	1,082,146,142	967,858,441	106,038,600	8,249,101	89.4
総　計		現年課税分		17,633,285,000	18,758,804,551	18,319,708,683	439,095,868	0	97.7
		滞納繰越分		419,044,000	1,957,436,589	392,767,664	1,406,992,554	157,676,371	20.1
		合　計		18,052,329,000	20,716,241,140	18,712,476,347	1,846,088,422	157,676,371	90.3
目的税	国民健康保険税	一般	現年分(医) 特徴	2,364,252,000	255,631,488	255,751,585	-120,097		100.0
			現年分(医) 普徴		2,440,497,211	2,124,958,851	315,538,360		87.1
			過年度(医)		24,040,825	13,806,983	10,233,842		57.4
			現年分(後支) 特徴	679,310,000	74,731,500	74,750,303	-18,803		100.0
			現年分(後支) 普徴		695,944,779	605,098,108	90,846,671		86.9
			過年度（後支）		7,031,015	3,942,982	3,088,033		56.1
			現年分(介) 特徴	290,223,000	10,300	10,300	0		100.0
			現年分(介) 普徴		343,627,336	290,573,802	53,053,534		84.6
			過年度(介)		3,741,403	2,021,113	1,720,290		54.0
			滞納繰越(医)	243,366,000	1,486,004,641	236,846,954	1,084,020,927	165,136,760	15.9
			滞納繰越（後支）	43,096,000	249,013,506	42,804,640	205,152,387	1,056,479	17.2
			滞納繰越(介)	32,648,000	212,718,070	32,559,762	160,604,250	19,554,058	15.3
			合　計	3,652,895,000	5,792,992,074	3,683,125,383	1,924,119,394	185,747,297	63.6
		退職	現年分(医) 特徴	241,969,000	12	12	0		100.0
			現年分(医) 普徴		241,371,258	232,440,901	8,930,357		96.3
			過年度(医)		1,738,975	1,453,953	285,022		83.6
			現年分(後支) 特徴	71,326,000	0	0	0		—
			現年分(後支) 普徴		71,229,643	68,633,436	2,596,207		96.4
			過年度（後支）		516,285	422,033	94,252		81.7
			現年分(介) 特徴	66,698,000	0	0	0		—
			現年分(介) 普徴		67,503,472	64,934,065	2,569,407		96.2
			過年度(介)		467,397	380,336	87,061		81.4
			滞納繰越(医)	8,534,000	49,237,092	8,615,428	35,257,656	5,364,008	17.5
			滞納繰越（後支）	1,484,000	8,320,848	1,692,404	6,619,619	8,825	20.3
			滞納繰越(介)	2,245,000	10,495,007	2,039,658	7,804,901	650,448	19.4
			合　計	392,256,000	450,879,989	380,612,226	64,244,482	6,023,281	84.4
		総計	現年分(医) 特徴	2,606,221,000	255,631,500	255,751,597	-120,097		100.0
			現年分(医) 普徴		2,681,868,469	2,357,399,752	324,468,717		87.9
			現年分(後支) 特徴	750,636,000	74,731,500	74,750,303	-18,803		100.0
			現年分(後支) 普徴		767,174,422	673,731,544	93,442,878		87.8
			現年分(介) 特徴	356,921,000	10,300	10,300	0		100.0
			現年分(介) 普徴		411,130,808	355,507,867	55,622,941		86.5
			過年度(医)	0	25,779,800	15,260,936	10,518,864		59.2
			過年度（後支）	0	7,547,300	4,365,015	3,182,285		57.8
			過年度(介)	0	4,208,800	2,401,449	1,807,351		57.1
			滞納繰越(医)	251,900,000	1,535,241,733	245,462,382	1,119,278,583	170,500,768	16.0
			滞納繰越（後支）	44,580,000	257,334,354	44,497,044	211,772,006	1,065,304	17.3
			滞納繰越(介)	34,893,000	223,213,077	34,599,420	168,409,151	20,204,506	15.5
			合　計	4,045,151,000	6,243,872,063	4,063,737,609	1,988,363,876	191,770,578	65.1
後期高齢者医療保険料		現年（特徴）		685,986,000	587,627,600	588,456,900	-829,300	0	100.1
		現年（普徴）		168,561,000	261,082,100	255,841,200	5,240,900		98.0
		過年度			2,055,500	2,022,100	33,400		98.4
		滞納繰越		3,139,000	7,479,130	3,691,630	3,028,490	759,010	49.4
		合　計		857,686,000	858,244,330	850,011,830	7,473,490	759,010	99.0
介護保険料		現年（特徴）		1,510,609,000	1,509,399,500	1,510,374,780	-975,280	0	100.1
		現年（普徴）		111,230,000	146,667,700	125,254,556	21,413,144		85.4
		過年度			1,071,700	1,045,900	25,800		97.6
		滞納繰越		7,536,000	42,692,210	8,575,340	22,737,540	11,379,330	20.1
		合　計		1,629,375,000	1,699,831,110	1,645,250,576	43,201,204	11,379,330	96.8

第４章　生活環境部

第１節　市民生活課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

市民相談業務については、市民からの国、県、市への意見、要望、苦情を聴くことによって、また民事に関しては、総合相談窓口を開設するなど、市民が相談をする際の利便性の向上を図りながら、弁護士相談等によって市民生活に係る問題の解決促進を図った。消費者行政については、より豊かで安全な消費生活を送るための情報提供や、悪質商法等に対する啓発、消費者団体、高齢者、一般消費者を対象とした出前講座等を実施し、消費者問題解決の手法等を実践業務に役立てるため、消費生活相談員等の研修会を実施した。さらに、消費者の権利の尊重と自立の支援を基本理念とした栃木市消費生活条例を制定した。

戸籍、住民基本台帳関係業務として、出生、婚姻など戸籍届の受付及び記載、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

市民生活担当

1　市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県の相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

・各種相談状況

相　談	場　所	開設状況	件　数（件）
市民相談	市民相談室	常時開設	1,396
総合相談	正庁､そのほか	毎月第２、４金曜日	244（内弁護士相談　220）
行政相談	市民相談室等	常時開設	53

2　消費者行政の推進

経済社会全体の情報化､国際化､規制緩和の進展を背景に､消費者を取り巻く環境は､著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し、多面的な広がりを見せている。消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。さらに、消費者と事業者との情報の質及び量並びに交渉力等の格差にかんがみ、消費者の権利の尊重と自立の支援を基本理念とした栃木市消費生活条例を制定した。

(1)　消費生活センター事業

市民会館３階に消費生活センターを常時開設し、国民生活センター・栃木県消費生活センターと連動した情報ネットワーク化により、相談業務の拡充と迅速な情報提供を図り、消費者啓発、苦情相談等の解決に当たった。

ア　消費生活相談員による苦情生活相談

消費生活相談員５人により消費生活に関する苦情相談、生活相談を行い、問題解決に当たった。また、パンフレット配布等を行い、消費者啓発に努めた。

(ｱ)　相談件数の推移

相談内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
苦情相談	767	97.8	806	93.7	807	94.1
(内架空請求)	60		20		8	
(内不当請求)	54		65		75	
生活相談	17	2.2	54	6.3	51	5.9
計	784	100.0	860	100.0	858	100

(ｲ)　商品・役務別相談件数

相談の種別		平成23年度(件)	平成22年度(件)	前年比(%)
苦情相談	商品一般	10	22	45.4
	食料品	38	35	108.6
	住居品	32	25	128.0
	光熱水費	20	11	181.8
	被服品	21	26	80.8
	保健衛生品	19	14	135.7
	教養娯楽品	94	99	94.9
	車両、乗物	25	29	86.2
	土地、建物、設備	78	72	108.3
	他の商品	1	1	100.0
	役務一般	3	1	300.0
	金融、保険サービス	190	234	81.2
	運輸、通信サービス	161	138	166.7
	教育サービス	2	9	22.2
	教養、娯楽サービス	32	20	160.0
	保健、福祉サービス	16	16	100.0
	他の役務	32	33	97.0
	内職、副業、相場	4	8	50.0
	他の行政サービス	5	3	166.7
	他の相談	24	10	240.0
計		807	806	100.1
生活相談		51	54	94.4

合　計	858	860	99.8

(ｳ)　特殊販売別相談件数

	平成23年度（件）		平成22年度（件）		前年比（%）	
		うち苦情相談		うち苦情相談		うち苦情相談
訪問販売	152	151	141	141	107.8	107.1
通信販売	240	239	185	184	129.7	129.9
マルチ販売	9	9	11	11	81.8	81.8
その他無店舗	4	4	9	7	44.4	57.1
計	405	403	346	343	117.1	117.5
その他	453	404	514	463	88.1	87.3
合　　計	858	807	860	806	99.8	100.1

イ　消費生活講座講師派遣

市女性団体連絡協議会への出前講座や寺尾地区高齢者教室等における講座を実施した。

・延べ実施回数　２１回

・延べ参加者数　９２４人

ウ　「消費者月間」関連事業の実施

(ｱ)　啓発パネル展示

・期　間　５月１０日（火）～３１日（火）

・場　所　市役所ロビー

・観覧者　約1,000人

(ｲ)　街頭啓発

悪質商法等に関するチラシ、啓発物資を市内店舗にて配布

・実施状況

実施日	実施店舗
5月12日(木)	とりせん大平店、ベイシア大平店、ベイシア大平モール店、ヤオハンNEW大平店
5月17日(火)	イオン栃木店、ヤオハンアイム店

(2)　消費者問題研修会の開催

消費者トラブルが複雑化、高度化する中、市民が被害にあわないための消費者問題解決の手法や課題について認識を深め、相談員・市職員の実践業務に役立てるため研修会を開催した。

・対象者　各相談員、市職員、消費生活センター相談員

・実施日　１０月１７日(月)、３月２２日（木）

・場　所　市民会館

・参加者　７９人

(3)　消費者教育研修会の実施

消費生活への関心を深め、地域の消費者リーダー的役割を担う消費者を育成するため消費者教育研修会を実施した。

・実施日　７月２１日（木）

・場　所　ガトーフェスタ・ハラダ

・参加者　３２人

(4)　消費生活展の開催

「守ろうよ、みんなを！～なくそう！高齢者の消費者被害～」のテーマで「第１回栃木市消費生活展」を、とちぎ市民環境まつりと共同で開催し、暮らしに役立つ知識、消費生活に関する情報を消費者団体等が展示、発表した。

・実施日　２月１８日（土）

・場　所　市民会館

・来場者数　約1,000人

・出展協力団体等　栃木県計量協会、関東農政局宇都宮地域センター、イオンリテール(株)栃木店、栃木県金融広報委員会、日本ファイナンシャル･プランナーズ協会栃木支部、製品評価技術基盤機構北関東支所、看護協会栃木地区支部、(財)関東電気保安協会栃木事業本部、栃木市消費者友の会、栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部、栃木市（消費生活センター、下水道課）

(5)　消費生活用製品安全法及び家庭用品品質表示法に係る立入検査の実施

・立入検査実施店　６店

うち、消費生活用品安全法に基づく長期使用製品安全点検制度に係る立入検査１店

・消費生活用製品安全法に係る検査点数　５５６点

・家庭用品品質表示法に係る検査点数　９１８点

住民情報担当

1　戸籍事務

(1)　本籍数及び戸籍人口

・本籍数　65,607件

・本籍人口　163,280人

(2)　戸籍届出事件数　（単位：件）

事件の種類	総数	届出			他市町村から送付
		計	本籍人届出	非本籍人届出	
出生	1,387	989	720	269	398
国籍留保	10	1	1	－	9
認知	21	8	7	1	13
養子縁組	136	93	88	5	43
養子離縁	36	20	19	1	16
法73条の2､法69条の2	3	2	2	－	1
婚姻	1,511	572	527	45	939

離　　婚		434	267	253	14	167
法77条の2、法75条の2		134	91	87	4	43
親権、後見、後見監督、保佐		6	6	6	－	－
死　　亡		2,065	1,793	1,629	164	272
失　　踪		1	1	1	－	－
復　　氏		9	5	5	－	4
姻族関係終了		6	4	3	1	2
入　　籍		293	189	186	3	104
分　　籍		19	9	9	－	10
国籍取得		1	1	1	－	－
帰　　化		3	1	－	1	2
国籍喪失		2	1	1	－	1
国籍選択		－	－	－	－	－
氏の変更		12	12	11	1	－
名の変更		6	5	5	－	1
転　　籍		588	342	338	4	246
就　　籍		－	－	－	－	－
訂正・更正	市町村長職権	104	98	98	－	6
	法24条2項	－	－	－	－	－
	法113条等	－	－	－	－	－
	法116条	－	－	－	－	－
	続柄の記載更正	3	3	3	－	－
	計	107	101	101	－	6
追　　完		2	2	1	1	－
そ の 他		2	－	－	－	2
不受理申出		33	23	17	6	10
合　　計		6,827	4,538	4,018	520	2,289

※平成２４年９月１３日　合計欄に訂正有り。

(3)　戸籍処理件数　　（単位：件）

処　理　内　容	件　数	処　理　内　容	件　数
新戸籍編製	980	戸籍の再製・補完	－
戸籍全部消除	1,122	その他	19
違反通知	－	計	2,121

(4)　相続税法第５８条による事務処理件数

・総該当者数　1,796 件

2　身分関係事務

(1)　犯罪関係処理件数　　（単位：件）

既決犯罪通知	201	仮釈放期間満了通知	14
他市町村からの民刑事項通知	14	刑執行猶予言渡取消通知	6
自由刑執行終了通知	27	その他	－
財産刑執行終了通知	21	計	283

(2)　身上調査照会件数　　（単位：件）

警　察　署	1,747	そ　の　他	654
検　察　庁	302	計	2,703

3　人口動態事務

人口動態調査票作成件数　　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
婚　　姻	573	出　　生	998(男523、女475)
離　　婚	267	死　　亡	1,788(男945、女843)
死　　産	29	計	3,655

4　外国人登録事務

(1)　国籍別外国人登録人員　　（単位：人）

人員 / 国籍	人　員		
	１６歳未満	１６歳以上	合　　計
アフガニスタン	3	6	9
アルゼンチン	1	10	11
ボリビア	2	10	12
ブラジル	14	91	105
ミャンマー連邦	－	33	33
カンボジア	－	3	3
カナダ	－	4	4
スリランカ	－	41	41
コロンビア	2	8	10
中国	14	342	356
キューバ	－	1	1
サイプラス	－	1	1
ホンジュラス	1	2	3
インド	2	18	20
インドネシア	1	35	36
イラン	－	5	5

アイルランド	－	1	1
イタリア	－	2	2
朝鮮	－	7	7
韓国	4	89	93
マレーシア	－	5	5
メキシコ	－	2	2
モンゴル	1	10	11
ネパール	2	113	115
オランダ	1	2	3
パキスタン	17	41	58
パラグアイ	－	2	2
ペルー	98	415	513
フィリピン	38	224	262
南アフリカ	－	1	1
スペイン	－	1	1
スウェーデン	－	1	1
タイ	－	59	59
トルコ	－	1	1
英国	－	12	12
アメリカ合衆国	2	20	22
バングラディシュ	8	17	25
ベトナム	－	8	8
ドイツ	－	2	2
ロシア連邦	－	1	1
ベラルーシ	－	1	1
ウクライナ	－	1	1
計	211	1,648	1,859

(2) 各種申請書受理件数 （単位：件）

件名	件数	件名	件数
新規登録	218	居住地変更登録	554
確認申請	227	居住地以外の変更登録	1,809
再交付申請	28	計	2,874
引替交付申請	38		

(3) 報告その他の事務取扱件数 （単位：件）

件名		件数	件名	件数
閉鎖	出国	213	登録原票送付	257
	死亡	5	登録原票送付請求	304
	日本国籍取得	1	原票の開示(照会回答等)	1,417
	その他(上記以外によるもの)	－	計	2,197

5　窓口事務（本庁市民生活課）

(1)　窓口届出処理件数　　（単位：件）

処　理　事　項		件数	処　理　事　項	件数
戸籍届		3,256	死体埋火葬許可 （栃木市斎場利用なし）	6
住民異動届		7,795		
計		11,051	死胎埋火葬許可 （栃木市斎場利用なし）	1
印鑑	登　録	2,902		
	廃　止	1,222	死産届	24
計		4,124	計	31
			合　計	15,206

(2)　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額（円）	種　別		件数(件)	金額（円）
戸籍	全部事項証明	11,569	5,206,050	住民票	世帯全員	12,091	2,418,200
	個人事項証明	3,067	1,380,150		個　人	18,661	3,732,200
	除籍謄本	12,235	9,176,250		証　明	906	181,200
	除籍抄本	86	64,500		閲　覧	20	4,000
	戸籍証明	183	64,050		年金現況証明	2	－
	受理証明	201	75,600		戸籍の附票	1,748	349,600
	廃棄証明	2	－		公　用	4,107	－
	出産証明	1	－		広　域	32	6,400
	不受理証明	－	－		住基カード（有料）	219	109,500
	公　用	5,714	－		住基カード(無料)	141	－
	計	33,058	15,966,600		計	37,927	6,801,100
証明書	印鑑証明	19,830	3,966,000	その他	印鑑登録	2,902	580,400
	諸証明	1,114	222,800		印鑑登録廃止	1,222	－
	身分証明	849	169,800		臨時運行許可証	928	696,000
	住居表示証明	26	－		労基証明	1	－
	公　用	24	－		人口統計	5	－
	選挙証明	15	－		公的個人認証	233	116,500
	計	21,858	4,358,600		計	5,291	1,392,900
合　計				98,134 件		28,519,200　円	

(3)　斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種　　類	区　　分		件　数（件）		金　額（円）
斎　　場	市　内	大　人	1,620	1,645	－
		小　人	4		
		死産児	21		
	市　外	大　人	177	180	3,158,000
		小　人	0		
		死産児	3		
	エ　　ナ		0	－	－
計				1,825	3,158,000
霊きゅう車	往　　路			1,341	6,163,400
	帰　　路			1,166	1,777,200
計				2,507	7,940,600
待　合　室	市　　内			1,344	4,032,000
	市　　外			89	534,000
計				1,433	4,566,000
合　　計				5,765	15,664,600

(4)　(1)～(3)のうち昼休み及び延長窓口処理件数　　（単位：件）

種　　別	昼　休　み	延　　長
戸籍謄抄本交付	1,309	750
住民票写し交付	2,155	1,461
印鑑登録証明書交付	1,443	1,091
印鑑登録	336	351
戸籍届	192	146
住民異動届	641	392
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	58	42
臨時運行許可証交付	45	39
窓口及び電話による相談、問合わせ等	1,662	1,191
合　　計	7,841	5,463

6　支所・出張所発行件数　　（単位：件）

区　別 / 種　別	件　　数				
	国府	寺尾	大宮	皆川	吹上
戸籍謄抄本等交付	759	566	502	204	449

住民票写し等交付	1,225	649	1,263	352	939
印鑑登録証明書交付	1,232	580	1,234	404	995
印鑑登録	93	33	67	11	46
印鑑登録廃止	46	16	0	0	0
諸証明交付	34	21	16	6	20
合　　計	3,389	1,865	3,082	977	2,449

7　自動交付機発行件数

種　　別	件　　数	金　　額
住民票写し交付	1,673	334,600
印鑑登録証明書交付	3,992	798,400

8　郵便申請月別件数（戸籍謄抄本、住民票等）　　（単位：件）

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数
4月	981	7月	889	10月	1043	1月	887
5月	883	8月	986	11月	986	2月	1142
6月	1097	9月	907	12月	941	3月	1137
合　　計				11,879			

9　住民基本台帳事務（市全体）

(1)　世帯数及び人口

区　　分	人　　口（人）			世帯数（世帯）
	男	女	計	
平成２３年３月末日現在（栃木）	69,072	71,012	140,084	50,489
平成２３年３月末日現在（西方）	3,282	3,370	6,652	2,115
平成２４年３月末日現在	71,797	73,812	145,609	52,935
比　　較	△557	△570	△1,127	331

※平成２３年１０月１日　西方町と合併

ア　栃木地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
万町	459	492	951	396	今泉町2丁目	522	519	1,041	435
倭町	157	173	330	140	仲仕上町	145	136	281	90
旭町	554	596	1,150	471	藤田町	67	71	138	43
室町	146	169	315	132	久保田町	51	53	104	31

城内町1丁目	329	334	663	277	宮田町	32	32	64	23
城内町2丁目	1,980	2,033	4,013	1,586	高谷町	46	46	92	27
神田町	505	581	1,086	433	樋ノ口町	426	453	879	334
本町	574	627	1,201	514	皆川城内町	678	724	1,402	482
日ノ出町	573	610	1,183	486	柏倉町	233	234	467	132
沼和田町	1,369	1,422	2,791	1,125	小野口町	177	148	325	105
河合町	113	120	233	92	志鳥町	98	107	205	50
片柳町1丁目	818	846	1,664	671	岩出町	62	72	134	48
片柳町2丁目	778	758	1,536	621	大皆川町	158	168	326	111
片柳町3丁目	55	62	117	42	泉川町	290	299	589	223
片柳町4丁目	343	343	686	288	新井町	564	574	1,138	421
片柳町5丁目	292	293	585	235	吹上町	714	709	1,423	468
湊町	214	251	465	216	細堀町	88	91	179	52
富士見町	297	330	627	301	木野地町	241	221	462	146
境町	501	550	1,051	434	川原田町	1,945	2,052	3,997	1,546
平井町	1,164	1,192	2,356	947	野中町	764	751	1,515	549
薗部町1丁目	552	596	1,148	497	宮町	233	213	446	133
薗部町2丁目	701	726	1,427	543	千塚町	242	267	509	148
薗部町3丁目	255	247	502	184	大森町	438	444	882	298
薗部町4丁目	371	365	736	266	仲方町	113	103	216	75
入舟町	236	246	482	209	梓町	117	128	245	151
祝町	364	389	753	309	尻内町	353	361	714	234
柳橋町	799	870	1,669	666	梅沢町	377	443	820	279
箱森町	2,485	2,625	5,110	1,879	大久保町	119	121	240	86
小平町	403	413	816	309	鍋山町	529	558	1,087	381
錦町	271	306	577	236	星野町	132	130	262	89
嘉右衛門町	271	276	547	238	出流町	69	59	128	51
泉町	362	400	762	331	惣社町	694	774	1,468	563
大町	867	908	1,775	698	柳原町	45	53	98	41
昭和町	120	137	257	99	大光寺町	204	216	420	125
大宮町	3,487	3,683	7,170	2,559	田村町	248	279	527	283
平柳町1丁目	759	848	1,607	644	寄居町	183	183	366	115
平柳町2丁目	749	740	1,489	619	国府町	511	523	1,034	331
平柳町3丁目	562	600	1,162	477	大塚町	1,050	1,059	2,109	697

今泉町1丁目	1,089	1,100	2,189	825	合計	38,882	40,631	79,513	30,391

イ　大平地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
富田	3,780	3,662	7,442	2,862	下高島	151	161	312	93
西山田	594	560	1,154	361	上高島	198	223	421	163
下皆川	743	708	1,451	526	北武井	242	241	483	167
横堀	292	310	602	169	新	1,818	1,898	3,716	1,348
牛久	346	370	716	260	西野田	1,534	1,490	3,024	1,085
川連	284	277	561	200	榎本	376	402	778	261
土与	169	172	341	106	西水代	2,146	2,129	4,275	1,541
蔵井	559	638	1,197	410	伯仲	551	463	1,014	358
真弓	823	822	1,645	559	合計	14,606	14,526	29,132	10,469

ウ　藤岡地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
部屋	395	410	805	213	藤岡	3,026	3,097	6,123	2,256
新波	189	180	369	116	下宮	15	19	34	12
石川	86	86	172	55	内野	1	1	2	1
帯刀	48	46	94	31	赤麻	921	942	1,863	564
緑川	63	60	123	30	大前	964	973	1,937	640
西前原	46	34	80	26	甲	773	813	1,586	487
蛭沼	272	291	563	168	都賀	590	565	1,155	371
富吉	263	260	523	185	大田和	148	171	319	101
中根	284	323	607	209	太田	349	335	684	208
					合計	8,433	8,606	17,039	5,673

エ　都賀地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
合戦場	1,328	1,361	2,689	939	臼久保	89	75	164	69
平川	847	855	1,702	575	大橋	181	190	371	127
升塚	404	406	810	252	富張	319	336	655	189
家中	2,009	2,029	4,038	1,290	深沢	198	202	400	109
原宿	358	356	714	225	大柿	421	436	857	249
木	461	466	927	267	合計	6,615	6,712	13,327	4,291

オ　西方地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
金崎	813	897	1710	598	金井	686	627	1,313	417
本城	359	341	700	212	本郷	378	380	758	231
元	445	470	915	284	真名子	580	622	1,202	369
					合計	3,261	3,337	6,598	2,111

(2)　処理件数

ア　住民票記載等件数

種類		件数（件）	人口増（人）			人口減（人）		
			男	女	計	男	女	計
届出	転入届	2,227	1,577	1,495	3,072	－	－	－
	転居届	2,007	－	－	－	－	－	－
	転出届	2,601	－	－	－	1,685	1,676	3,361
	転出取消	9	6	5	11	－	－	－
	帰化届	1	－	1	1	－	－	－
	国籍取得	0	－	－	－	－	－	－
	変更届	18	－	－	－	－	－	－
	主変更	1,091	－	－	－	－	－	－
	世帯分離	202	－	－	－	－	－	－
	世帯合併	89	－	－	－	－	－	－
職権	出生	944	492	452	944	－	－	－
	死亡	1,766	－	－	－	937	829	1,766
	職権記載	0	－	－	－	－	－	－
	職権消除	15	－	－	－	10	5	15
	回復	21	12	16	28	－	－	－
	職権訂正	1,944	－	－	－	－	－	－
	抹消	0	－	－	－	－	－	－
	追加	0	－	－	－	－	－	
通知書	転入通知	2,445						
	記載事項の変更通知	312		－	－	－	－	－

イ　戸籍の附票記載等件数　（単位：件）

種　　類	異動届書	戸籍届書	通知書	計
記　　載	－	2,505	－	2,505
消　　除	－	3,446	－	3,446
修　　正	6,068	－	4,030	10,098
合　　計	6,068	5,951	4,030	16,049

ウ　住民票及び附票の作成、除票の作成　（単位：件）

種　　類	作　成	除　票
住　民　票	4,017	5,142
附　　票	974	1,040
合　　計	4,991	6,182

(3)　住居表示事務　（単位：件）

家屋新築届による付番	206
付番申出による付番	3
その他変更申出	9
建物廃棄による付番廃止	0
合計	218

10　年齢階層別人口統計（市全体）

年齢（歳）	男(人)	女(人)	人口（人）	比率（%）
０～４	2,771	2,622	5,393	3.7
５～９	3,147	2,991	6,138	4.2
10～14	3,439	3,301	6,740	4.6
15～19	3,474	3,365	6,839	4.7
20～24	3,558	3,466	7,024	4.8
25～29	3,772	3,534	7,306	5.0
30～34	4,371	3,948	8,319	5.7
35～39	5,370	4,700	10,070	6.9
40～44	5,003	4,679	9,682	6.6
45～49	4,279	3,997	8,276	5.7
50～54	4,461	4,431	8,892	6.1
55～59	5,495	5,306	10,801	7.4
60～64	6,797	6,714	13,511	9.3
65～69	4,879	4,817	9,696	6.7
70～74	4,095	4,351	8,446	5.8

75～79	3,083	4,013	7,096	4.9
80～84	2,245	3,601	5,846	4.0
85～89	1,180	2,545	3,725	2.6
90～94	318	1,066	1,384	1.0
95～99	54	321	375	0.3
100～	6	44	50	0.0
合　計	71,797	73,812	145,609	100.0

（小数第二位　四捨五入）

11　一般旅券申請・交付件数　（単位：件）

	本　庁		大平総合支所		藤岡総合支所		都賀総合支所		西方総合支所		計	
	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付	申請	交付
４月	113	129	28	32	23	20	6	8			170	189
５月	195	153	37	25	21	22	11	11			264	211
６月	191	213	42	46	20	23	12	7			265	289
７月	199	188	73	61	34	27	12	14			318	290
８月	259	246	77	72	42	30	28	23			406	371
９月	139	150	55	59	28	42	19	24			241	275
１０月	178	173	49	48	21	20	18	13	11	5	277	259
１１月	135	141	34	44	25	20	16	21	8	10	218	236
１２月	143	138	36	31	23	20	13	14	10	10	225	213
１月	241	210	54	50	30	30	29	17	12	9	366	316
２月	224	209	54	58	26	30	20	23	18	12	342	332
３月	186	196	56	57	22	24	17	14	8	16	289	307
計	2203	2146	595	583	315	308	201	189	67	62	3381	3288

※西方町との合併により西方総合支所については10月より参入

第２節　交通防犯課

〔総括概要〕

交通防犯課では安全・安心な暮らしの確保、快適で利便性の高い暮らしの実現のため次の事業を行った。

交通安全の推進については、四季の交通安全運動を強力に推進するとともに、交通安全市民大会を開催し、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯業務においては、防犯灯の設置、栃木駅に設置の防犯カメラの運用、防犯活動等に関する各種事務事業を実施した。

安心安全な市民生活確保のため、栃木市暴力団排除条例及び栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例を制定した。

市営バスの運行については、生活バス、循環バス及び福祉バスの３つの市営バス事業を一元管理し、各種市営バスの連携を図り利便性の向上に努めてきたが、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を図るため、平成２２年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、新たにコミュニティバス及びデマンドタクシーの試行運行を開始した。

また、老人福祉センターの利用促進及び福祉バスの廃止に伴う老人福祉センター利用者の利便性の確保のため､老人福祉センター等利用者団体送迎事業を開始した。

交通防犯担当

1　交通関係

(1)　交通安全運動等

平成２３年度中の栃木市内の交通事故発生件数は、４８５件、死者数は４人、負傷者数は５９６人である。

今後も交通事故防止のため、市民一人一人が交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上に努める必要がある。

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出、交通安全教室の開催。

・期　間　５月１１日（水）～２０日（金）

(ｱ) 交通安全ゲートボール大会

・実施日　４月２６日（火）

・場　所　総合運動公園

・参加者　１３４人

イ　高齢者交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出、交通安全教室の開催。

・期　間　５月１日（日）～３１日（火）

ウ　暴走族等根絶推進強化月間

公共施設窓口及び市ホームページによる周知。

・期　間　６月１日（水）～３０日（木）

エ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙による広報、のぼり旗、立看板掲出、交通安全教室の開催。

・期　間　９月２１日（水）～３０日（金）

オ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報、交通安全教室の開催。

・期　間　１２月１１日（日）～３１日（土）

(ｱ) 交通安全市民大会

小学生による交通安全作文、大会宣言などを行った。

・実施日　１２月１６日（金）

・場　所　栃木文化会館

・参加者　約８００人

(2)　交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であるとの考えから、交通教育指導員による交通安全教室を次のとおり開催した。

対　象　者	回数（回）	参加者数（人）
幼児(父兄含む)	10	1,109
小中学校児童･生徒（父兄含む）	7	815
高　齢　者	20	780
複　合	6	429
合　計	43	3,133

(3)　交通安全こども自転車大会

第４０回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

・開催日　６月１５日（水）

・会　場　栃木市立大平西小学校

・大会記録　国府北小学校チーム（５校６チーム参加中第２位）

(4)　その他の交通安全対策

ア　交通指導員の設置（栃木地域）

・委嘱人数　３４人

イ　栃木駅周辺、新栃木駅周辺及び野州平川駅周辺等の放置自転車の撤去を実施

撤去実績

日　付	台数(台)
5月10日	24
6月 8日	68
9月14日	54
10月18日	12

11月 8日	4
11月15日	14
1月17日	10
1月24日	7
合　　計	193

2　防犯関係

(1)　防犯灯の設置

区	分	設置灯数（台）
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	95
改修工事	移設、撤去、全器具交換	30
計		125

(2)　防犯カメラの運用

栃木駅及びその周辺における犯罪の予防等を図り、市民等の安全と安心を確保するため設置されている防犯カメラを運用した。

設置状況

設置場所	台数(台)
駅北口	2
駅南口	2
南北連絡通路	2

(3)　防犯活動

栃木警察署管内１市２町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

・会議等

・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

3　安心安全な市民生活の確保

(1)　栃木市暴力団排除条例の制定

市・市民・事業者が一体となって市民生活や社会活動の場から暴力団を排除し、市民生活の安全と平穏を確保するため、栃木市暴力団排除条例を１２月１６日に制定した。

パブリックコメント実施状況

・募集期間　８月１５日（月）～９月５日（月）

・募集結果　２件

(2)　栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例の制定

市民や来訪者が利用する駅の安全で快適な環境の実現を図るため、栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例を１２月１６日に制定した。

公共交通対策担当

1　生活バス運行事業

寺尾地区方面在住の高齢者・学生の買物、通院、通学等や観光客の移動手段確保のため、寺尾地区方面と市街地を結ぶ生活バスの運行を行った。

なお、高齢者等の交通弱者対策及び公共交通空白地域の解消を目指して１０月からコミュニティバスの試行運行を開始したことに伴い、生活バスも、１０月からコミュニティバス寺尾線に移行した。

・生活バス利用状況（４月～９月）

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数（日）	日平均（人/日）	（円）
4	2,691	30	89.7	676,460
5	2,775	31	89.5	496,050
6	2,977	30	99.2	538,000
7	2,639	31	85.1	512,040
8	2,451	31	79.1	517,480
9	2,750	30	91.7	547,970
合計	16,283	183	89.0	3,288,000
月平均	2,714			548,000

2　循環バス運行事業

高齢者等の買物、通院等の移動手段確保や観光客等来訪者の利便性向上を図るため、中心市街地において循環バスの運行を行った。

なお、高齢者等の交通弱者対策及び公共交通空白地域の解消を目指して１０月からコミュニティバスの試行運行を開始したことに伴い、循環バスも、１０月からコミュニティバス市街地循環線に移行した。

・循環バス利用状況（４月～９月）

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数（日）	日平均（人/日）	（円）
4	1,830	30	61.0	170,500
5	2,214	31	71.4	207,000
6	2,104	30	70.1	190,600
7	2,009	31	64.8	182,100
8	1,964	31	63.4	173,400
9	2,038	30	67.9	199,200
合計	12,159	183	66.4	1,122,800
月平均	2,027			187,133

3　ふるさと雇用再生・観光循環バス運行事業

国の緊急雇用対策に基づき、栃木県が創設したふるさと雇用再生特別事業を活用し、地域における雇用機会の創出と観光振興を図るため、ふるさと雇用再生・観光循環バスの運行を行った。

なお、高齢者等の交通弱者対策及び公共交通空白地域の解消を目指して１０月からコミュニティバスの試行運行を開始したことに伴い、観光循環バスも、ふるさと雇用再生特別事業を活用しつつ、１０月からコミュニティバス市街地北部循環線に移行した。

・ふるさと雇用再生・観光循環バス利用状況（４月～９月）

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数（日）	日平均（人/日）	（円）
4	2,042	30	68.1	178,900
5	2,729	31	88.0	239,400
6	2,339	30	78.0	193,300
7	2,858	31	92.2	248,800
8	2,918	31	94.1	248,900
9	2,387	30	79.6	212,000
合計	15,273	183	83.5	1,321,300
月平均	2,546			220,217

4　福祉バス運行事業

老人福祉センター利用者の送迎をはじめ、買物・通院等、市民の移動手段を確保するため、福祉バスの運行を行った。

なお、高齢者等の交通弱者対策及び公共交通空白地域の解消を目指して１０月からコミュニティバス及びデマンドタクシーの試行運行を開始したことに伴い、９月をもって廃止した。

・福祉バス利用状況（４月～９月）

(1)　大宮コース

月	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）
4	98	8	12.3
5	127	8	15.9
6	138	9	15.3
7	76	7	10.9
8	118	10	11.8
9	140	7	20.0
合計	697	49	14.2
月平均	116		

(2)　国府コース

月	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）
4	134	8	16.8
5	192	8	24.0
6	243	9	27.0
7	146	7	20.9
8	233	10	23.3
9	175	7	25.0
合計	1,123	49	22.9
月平均	187		

(3)　皆川コース

月	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）
4	197	8	24.6
5	229	8	28.6
6	267	8	33.4
7	222	9	24.7
8	221	9	24.6
9	207	8	25.9
合計	1,343	50	26.9
月平均	224		

(4)　吹上コース

月	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）
4	364	8	45.5
5	134	8	16.8
6	149	8	18.6
7	119	9	13.2
8	127	9	14.1
9	142	8	17.8
合計	1,035	50	20.7
月平均	173		

(5)　栃木第一コース

月	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）
4	42	4	10.5
5	48	3	16.0

6	46	5	9.2
7	37	4	9.3
8	43	4	10.8
9	59	5	11.8
合計	275	25	11.0
月平均	46		

(6)　栃木第二コース

月	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）
4	38	4	9.5
5	38	3	12.7
6	54	5	10.8
7	37	4	9.3
8	35	4	8.8
9	44	5	8.8
合計	246	25	9.8
月平均	41		

(7)　合計

月	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）
4	873	20	43.7
5	768	19	40.4
6	897	22	40.8
7	637	20	31.9
8	777	23	33.8
9	767	20	38.4
合計	4,719	124	38.1
月平均	787		

5　デマンドタクシー運行事業

平成２２年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消を図るため、１０月より、市内全域でデマンドタクシーの試行運行を実施した。

・デマンドタクシー利用登録者数　8,114 人

・デマンドタクシー利用状況（１０月～３月）

月	利　用　状　況			収入総額（円）
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）	
10	1,261	20	63.1	446,050

11	1,941	20	97.1	529,700
12	2,265	19	119.2	527,600
1	2,546	19	134.0	645,300
2	3,014	21	143.5	752,250
3	3,791	21	180.5	893,300
合計	14,818	120	123.5	3,794,200
月平均	2,470			632,367

6　コミュニティバス運行事業

平成２２年度に策定した栃木市地域公共交通総合連携計画に基づき、デマンドタクシーでは利用が困難な、定時性を追及する「通勤・通学・観光」の足を確保するとともに、地域間交流の促進による商業や観光の地域活性化の一翼を担い、新生栃木市の一体感の醸成に資するため、１０月より、地域間を結ぶ定時定路線運行のコミュニティバスの試行運行を実施した。

・コミュニティバス利用状況（１０月～３月）

(1)　寺尾線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）	（円）
10	3,303	31	106.5	581,310
11	3,098	30	103.3	542,400
12	2,918	31	94.1	448,160
1	2,541	31	82.0	489,460
2	2,789	29	96.2	583,960
3	3,029	31	97.7	473,550
合計	17,678	183	96.6	3,118,840
月平均	2,946			519,807

(2)　市街地循環線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）	（円）
10	2,112	31	68.1	181,000
11	1,891	30	63.0	159,450
12	1,651	31	53.3	135,200
1	1,448	31	46.7	127,050
2	1,536	29	53.0	132,600
3	1,739	31	56.1	158,300
合計	10,377	183	56.7	893,600
月平均	1,730			148,933

(3)　市街地北部循環線（ふるさと雇用再生特別事業を活用）

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）	（円）
10	2,655	31	85.6	219,800
11	2,418	30	80.6	208,000
12	2,477	31	79.9	207,150
1	2,276	31	73.4	193,750
2	2,219	29	76.5	196,600
3	2,843	31	91.7	237,450
合計	14,888	183	81.4	1,262,750
月平均	2,481			210,458

(4)　部屋線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数（人）	日数（日）	日平均（人/日）	（円）
10	2,315	31	74.7	405,320
11	2,346	30	78.2	351,280
12	2,258	31	72.8	304,600
1	2,208	31	71.2	308,920
2	2,465	29	85.0	297,050
3	2,861	31	92.3	394,730
合計	14,453	183	79.0	2,061,900
月平均	2,409			343,650

7　老人福祉センター等利用者団体送迎事業

老人福祉センターの利用促進及び福祉バスの廃止に伴う老人福祉センター利用者の利便性の確保のため、１０月より老人福祉センター等利用者団体送迎事業を開始した。

・団体送迎利用状況（１０月～３月）

月	利　用　状　況	
	利用件数（件）	利用人数（人）
10	1	15
11	4	89
12	7	114
1	9	212
2	6	94
3	7	111
合計	34	635

第３節　保険医療課

〔総括概要〕

急速な少子高齢化の進展の中、国民皆保険を堅持し、医療保険制度を将来にわたって安定的で持続可能なものとしていくため、医療費適正化事業の総合的な推進、後期高齢者医療制度、保険者に義務付けられた特定健診・保健指導等の取組が進められている。

そのような状況の下、保険医療課では、国民健康保険事業、各種医療費助成事業、後期高齢者医療事業及び国民年金事業など、地域住民の医療の確保と健康の保持・増進を目指して、「いきいきと健康に暮らし続けられるまちづくり」を推進した。

国民健康保険事業においては、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査・保健指導事業、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業、医療費の適正化対策としてのレセプト点検事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

市町合併後、不均一となっていた国民健康保険税の税率については、急激な負担増にならないよう配慮しながら、平成２４年度からの税率の均一化を図った。

また、国保財政の健全化に向けて、今後の国民健康保険税のあり方とともに、国民健康保険税収納率の向上対策や医療費適正化の推進を図るため、栃木市国民健康保険財政健全化計画を策定した。

各種医療費助成事業においては、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、こども、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。特に、こども医療については、子育て支援の観点から平成２３年４月より、市独自に対象者を中学校３年生までに拡大した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成した。

後期高齢者医療事業においては、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか生活習慣病の早期発見・早期治療につなげるための健康診査事業を実施するとともに、後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

国民年金事業においては、法定受託事務として各種届出の受理・進達等を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

保険担当

1　国民健康保険被保険者等の状況

(1)　世帯数及び被保険者数

区分	前年度末現在	本年度中増減	本年度末現在	年間平均	年度末加入率
世帯数	22,572 世帯	956 世帯	23,528 世帯	23,090 世帯	43.7 %
被保険者数	42,715 人	1,205 人	43,920 人	43,380 人	29.8 %

※年間平均　国保資格者数は毎月変動するため、毎月末数を合算し12で除したもの。

※年度末加入率　栃木市の人口と世帯数に対して国保加入者の割合。

(2)　退職被保険者等の適用状況

退職被保険者数	扶養者数	計　（A）	被保険者数（B）	退職被保険者等の割合(A)/(B)
2,038 人	874 人	2,912 人	43,920 人	6.6 %

2　国民健康保険運営協議会

(1)　国保運営協議会協議事項

年月日	協　議　事　項	協議事項の処理
5月13日（金）	1　国民健康保険税率について	
6月20日（月）	1　国民健康保険税率について	
7月25日（月）	1　平成２３年度事業計画（案）について	原案どおり承認
	2　西方町の編入に伴う生活環境部関係条例の整備に関する条例の制定について	原案どおり承認
	3　国民健康保険税率について	
8月23日（火）	1　国民健康保険税率について	
9月20日（火）	1　国民健康保険税率について	
11月18日（金）	1　栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案どおり承認
	2　（仮称）栃木市国民健康保険財政健全化計画の策定について	
2月20日（月）	1　平成２４年度栃木市国民健康保険特別会計予算（案）について	原案どおり承認
	2　（仮称）栃木市国民健康保険財政健全化計画（案）の策定について	原案どおり承認
	3　栃木市国民健康保険一部負担金の徴収猶予、減額又は免除に関する要領（案）について	原案どおり承認

(2)　国保運営協議会委員定数　　１８人

区　　分	被保険者代表	保険医･薬剤師代表	公益代表
人　　数	6　　人	6　　人	6　　人

3　保険給付状況

(1)　療養給付費

区分	件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金(円)	他法負担分(円)	
					他法優先	国保優先
一般分	578,844	11,252,022,928	8,170,181,657	2,740,406,113	−	341,435,158
退職者分	52,187	1,067,721,020	746,751,386	308,172,251	−	12,797,383
計	631,031	12,319,743,948	8,916,933,043	3,048,578,364	−	354,232,541

※平成２３年３月～平成２４年２月診療の１２か月分の療養給付費。

※入院時食事療養費、生活療養費標準負担額差額代は含まれていない。

(2)　療養費

区分	件数(件)	費用額(円)	保険者負担分(円)	一部負担金(円)	他法負担分(円)	
					他法優先	国保優先
一般分	13,488	146,471,484	106,744,936	35,982,225	−	3,744,323
退職者分	941	9,707,538	6,795,061	2,912,477	−	−
計	14,429	156,179,022	113,539,997	38,894,702	−	3,744,323

(3)　高額療養費

区分	件数(件)	支給額(円)
一般分	14,358	931,066,359
退職者分	975	104,226,821
計	15,333	1,035,293,180

(4)　高額介護合算療養費

区分	件数(件)	支給額(円)
一般分	11	227,179
退職者分	−	−
計	11	227,179

(5)　その他の給付

区　分	件数(件)	支給額(円)	備　考
出産育児一時金	205	83,749,876	平成21年10月から産科医療保障制度対象出産の場合1件当たり42万円
葬祭費	297	14,850,000	平成4年度から1件当たり5万円
計	502	98,599,876	

4　医療費総費用額（療養給付費・療養費）の状況　　（単位：円）

区　分	総件数	総費用額	１件当たり費用額	１人当たり費用額	１世帯当たり費用額
一般	592,332	11,398,494,412	19,243	283,129	526,879
退職	53,128	1,077,428,558	20,280	345,219	523,786
計	645,460	12,475,922,970	19,329	287,596	540,317

5　月別の療養給付費保険者負担分（単位：円）

年度／月	平成２２年度	平成２３年度
3	739,978,877	735,980,016
4	677,739,723	743,805,974
5	715,882,307	709,462,937
6	721,796,755	744,675,453
7	734,677,110	726,527,616
8	721,888,686	748,854,853
9	715,246,782	731,231,920
10	750,117,915	766,471,533
11	730,652,647	740,757,966
12	729,459,884	774,128,261
1	717,076,050	716,760,572
2	690,786,796	778,275,942
計	8,645,303,532	8,916,933,043

※一般被保険者分と退職被保険者分の合算分

6　老人保健拠出金の状況　（単位：円）

医療費拠出金	事務費拠出金	計
－	116,217	116,217

7　介護給付費納付金の状況

・第2号被保険者数　17,591人

・介護給付費納付金　933,886,883円

※第2号被保険者数は、40歳以上65歳未満の国保被保険者数

8　高額医療費共同事業医療費拠出金と交付金の状況　（単位：円）

拠出金(A)	交付金(B)	差引交付金の増減額(B)-(A)
298,378,762	294,711,343	-3,667,419

9　保険財政共同安定化事業拠出金と交付金の状況　（単位：円）

拠出金(A)	交付金(B)	差引交付金の増減額(B)-(A)
1,419,890,060	1,414,325,771	-5,564,289

※　１件30万以上の医療費が対象。

10　人間ドック検診状況

人間ドック受診者に対して、一人当たり費用額の1/2に相当する額を助成した。

実施区分	実施人数（人）
一般	474
脳	94
宿泊	56

11　医療費通知実施状況

回数	対象月	件数（件）		発送月
		栃木市（全地区）	栃木地区	
1回目	平成22年12月・平成23年1月診療分	19,222	11,176	6月
2回目	平成23年2月・3月診療分	19,198	11,231	8月
3回目	平成23年4月・5月診療分	19,316	11,314	10月
4回目	平成23年6月・7月診療分	18,200	10,650	12月
5回目	平成23年8月・9月診療分	19,133	10,512	2月
6回目	平成23年10月・11月診療分	19,024	10,566	3月
計		114,093	65,449	

12　国民年金適用関係

(1)　国民年金被保険者数

区　分	人数（人）
第1号被保険者	21,952
第3号被保険者	10,518
計	32,470

(2)　国民年金関係諸届の受理件数　　（単位：件）

種　別	全　体	本庁分	種　別	全　体	本庁分
新規取得届	1,011	617	転居届	752	548
新規取得申出	1	-	氏名変更届	245	196
再取得届	1,726	966	訂正･取消･不在	39	23
再取得申出	22	16	転出届	960	612
付加年金取得届	117	78	法定免除該当届	126	83
付加年金喪失届	1	-	法定免除消滅届	23	13
資格喪失届	860	534	手帳再交付届	59	27
資格喪失申出	3	-	種別変更届	455	234
死亡届	80	72	その他	30	-
転入届	726	520	計	7,236	4,539

13　国民年金保険料免除関係

(1)　免除者数

種　別	被保険者数(人)
法定免除	1,291
申請免除（全額免除）	2,069
〃　（3/4免除）	235
〃　（半額免除）	110
〃　（1/4免除）	48
若年者納付猶予	373
学生納付特例	1,892
計	6,018

(2)　免除申請受付件数　（単位：件）

種　類	全　体	本庁分
免除・納付猶予申請	2,667	1,859
学生納付特例申請	1,076	749

14　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	全　体	本庁分
老齢基礎年金	100	53
障害基礎年金	88	59
遺族基礎年金	1	0
寡婦年金	0	0
死亡一時金	43	27
未支給年金	178	25
老齢福祉年金	0	0
計	410	164

15　福祉年金関係受理件数　（単位：件）

種　類	老　齢	障　害	計
定時届	1	1,114	1,115
諸　届	－	－	－
計	1	1,114	1,115

16　年金相談窓口関係

月平均相談件数　（単位：件）

相談の内訳	全　体	本　庁
来訪相談	323	150
電話相談	124	59
文書相談	7	7
計	454	216

医療給付担当

1　重度心身障がい者医療費助成

重度心身障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳の交付を受けた１級又は２級の人、３級又は４級でＩＱ（知能指数）５０以下の人並びに療育手帳の交付を受けたＡ１又はＡ２の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表１】重度心身障がい者医療費助成支給状況参照

・障がい別登録人員　（単位：人）

障　が　い　の　程　度	登　　録　　人　　員	
	22年度末現在(23.3.31)数	23年度末現在(24.3.31)数
身体の障がいが１級の者	1,386（　775）	1,592（　891）
身体の障がいが２級の者	815（　461）	884（　509）
ＩＱが３５以下の知的障がい者	292（　13）	318（　15）
身体の障がいが3～4級でIQが50以下の重複障がい者	17（　0）	13（　0）
合　　計	2,510（1,249）	2,807（1,415）

※（　）内の数は後期高齢医療該当者

2　こども医療費助成

子どもの疾病の早期発見と治療を促し、子どもの健やかな成長と発育を図るため、出生した日から中学校３年修了時までの子どもの医療費をその保護者に助成した。

・支給状況　【別表２】こども医療費助成支給状況参照

3　妊産婦医療費助成

妊産婦の疾病の早期発見と治療を促進して母子保健の向上を図るため､妊娠の届出(母子健康手帳の交付）月の初日から出産した月の翌月の末日までの妊産婦の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表３】妊産婦医療費助成支給状況参照

4　ひとり親家庭医療費助成

ひとり親家庭の親と子の心身の健康の保持及び福祉の増進を図るため、１８歳未満の児童のいるひとり親家庭の親と子等（父母のない１８歳未満の児童を現に扶養している

配偶者のない人及び児童を含む。）で児童扶養手当法の所得制限額未満の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成し、福祉の増進を図った。

・支給状況　【別表４】ひとり親家庭医療費助成支給状況参照

5　各種医療費助成対象者数（受給資格者証交付数）　（単位：人）

種別	22年度末現在(23.3.31)数	新規（交付）	資格喪失	23年度末現在(24.3.31)数
重度心身障がい者医療費助成	2,510	526	229	2,807
こども医療費助成	14,755	5,059	1,559	18,255
妊産婦医療費助成	1,607	1,050	1,029	1,628
ひとり親家庭医療費助成	2,607	388	322	2,673
計	21,479	3,969	3,139	22,309

6　不妊治療費補助金

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準額として、その２分の１の額（１０万円を限度に通算５回）を補助した。

補助件数	治療費総額	補助金総額
66件	23,341,823円	5,004,600円

7　後期高齢者医療制度

平成２０年４月１日から老人保健制度に替わり、栃木県後期高齢者医療広域連合を運営主体とする後期高齢者医療制度が開始されており、市の窓口では資格及び給付関係の申請受付等を行った。

(1)　被保険者数　（単位：人）

被保険者数			障害認定者数（再掲）		
男	女	合計	男	女	合計
7,098	11,652	18,750	319	233	552

※障害認定者　一定の障害のある 65 歳以上 75 歳未満の方

(2)　各種申請書等受付件数

申請書種類	件　数（件）
資格関係届出	4,418
高額療養費申請	1,358
その他の療養費申請	1,421
葬祭費申請	1,225
被保険者証等再交付申請	718
合　計	9,140

(3)　健康診査受診状況

・受診者数　3,850 人

・健診委託料　28,022,547 円

【別表１】重度心身障がい者医療費助成支給状況

区分 / 保険の種別	登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	831	15,043	1,123,829,470	121,099,118	42,818,667	－	1,000	42,819,667	78,279,451
社会保険	561	8,815	559,574,953	69,736,898	20,744,201	2,192,946	3,000	22,940,147	46,796,751
後期高齢者医療	1,415	24,053	1,880,986,394	106,927,283	23,329,050	－	2,000	23,331,050	83,596,233
合　　計	2,807	47,911	3,604,390,817	297,763,299	86,891,918	2,192,946	6,000	89,090,864	208,672,435

【別表２】こども医療費助成支給状況参照

区分 / 保険の種類		登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
						高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
３歳未満	国民健康保険	3,215	11,765	100,743,420	18,826,996	－	－	－	－	18,826,996
	社会保険		52,563	482,892,570	88,897,322	155,023	194,040	－	349,063	88,548,259
	計		64,328	583,635,990	107,724,318	155,023	194,040	－	349,063	107,375,255
３歳以上	国民健康保険	15,040	22,720	164,056,843	41,182,941	1,638,199	0	14,000	1,652,199	39,530,742
	社会保険		117,888	788,349,106	197,439,276	3,379,035	948,990	66,500	4,394,525	193,044,751
	計		140,608	952,405,949	238,622,217	5,017,234	948,990	80,500	6,046,724	232,575,493
入院時食事療養費	一　般　（1食260円）				414,700					414,700
	低所得者（1食210円）				－					－
	低所得者長期該当（1食160円）				－					－
	計				414,700					414,700
合計		18,255	204,936	1,536,041,939	346,761,235	5,172,257	1,143,030	80,500	6,395,787	340,365,448

【別表３】妊産婦医療費助成支給状況参照

区分 保険の種類	登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	315	1,207	33,435,530	7,799,332	1,320,050	－	500	1,320,550	6,478,782
社会保険	1,313	5,484	150,063,250	34,237,698	5,207,944	3,229,855	3,500	8,441,299	25,796,399
合　　計	1,628	6,691	183,498,780	42,037,030	6,527,994	3,229,855	4,000	9,761,849	32,275,181

【別表４】ひとり親家庭医療費助成支給状況参照

保険の種類	登録人員	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
					高額療養費給付額	附加給付金額	自己負担金額	計	
国民健康保険	594世帯 1,340人	10,279	92,275,876	27,284,792	2,286,291	－	2,500	2,288,791	24,996,001
社会保険 その他	607世帯 1,333人	10,595	96,259,879	26,017,121	683,458	360,040	2,500	1,045,998	24,971,123
合　　計	1,201世帯 2,673人	20,874	188,535,755	53,301,913	2,969,749	360,040	5,000	3,334,789	49,967,124

第４節　環境課

〔総括概要〕

今日の環境問題は、ごみの不法投棄・野外焼却、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の減少など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。

これらの課題等に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図るため、環境課においては、２担当３チームの体制により事務を推進している。

具体的な取組として、環境政策担当では、市民、団体、事業者及び市がそれぞれの責務を自覚し、行動し、相互に協力し、一体となって「環境都市とちぎ」を目指して取り組みを進めていくことを表明するため「環境都市宣言」を行った。

併せて、地球温暖化防止対策の一環として住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を実施するとともに、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、主に地球温暖化問題やごみ減量・リサイクル等の啓発や、出前講座をはじめとする環境学習の推進に努めた。

環境保全担当では、栃木市斎場について平成２３年１２月２２日公募型プロポーザル方式により指定管理者を選定し、平成２４年度から平成２８年度まで５年間指定管理者制度を導入することとした。また、大気、水、騒音、悪臭等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図るとともに、斎場や聖地公園、市有墓地の管理・運営業務の円滑な推進に努めた。

また、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、廃棄物・土砂等埋立て監視員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のため、保健委員連合会の協力を得て市民意識の啓発推進に努めた。

環境政策担当

1　栃木市役所エコオフィス推進実行計画

地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画として策定した栃木市役所エコオフィス推進実行計画の庁内周知のため、エコ推進員を指定し、研修会を実施した。

・計画期間　平成２３年度～平成２７年度

・計画目標　平成２２年度と比較し、温室効果ガス排出量や燃料使用量等を５％以上削減する。

・研修実施状況

実施日	場　　所
6月22日（水）	都賀総合支所
	大平総合支所
6月23日（木）	本庁
6月27日（月）	藤岡総合支所

2　住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

地球温暖化防止対策の一環として、住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を実施した。

・補助基本額　　１ｋｗ当たり　25,000円

・限　度　額　　４ｋｗ　100,000円

・補 助 件 数　　３７４件

・補 助 総 額　　33,520,000円

3　環境基礎調査事業

(1)　河川等水質調査

市内を流れる河川等について、次のとおり水質調査を実施した。

・調査河川　瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、巴波川、荒川、杢冷川、県庁堀川、市内下水

・調査期間　通年

・調査項目　ｐＨ、ＢＯＤ、ＳＳ、ＤＯ、大腸菌群数、全窒素、全リン、全クロム

(2)　巴波川流入支川水質調査

巴波川に流入する支川について、次のとおり水質調査を実施した。

・調査地点　１５地点

（巴波川上流、旧巴波川、荒川、旧赤津川、嘉右衛門橋上側溝
常盤橋上側溝、県庁掘北、県庁掘南、清水川、清水川分流
開明橋下側溝、新橋上側溝、杢冷川（新橋上流）
県営城内町住宅南東、愛宕橋南右岸）

・調査月日　１０月１２日（水）～１２月１６日（金）

・調査回数　１日４回（午前９時、午後１時、午後４時、午後７時）

・調査項目　ＢＯＤ、ＳＳ、ｐＨ、流量

(3)　地下水水質調査

市内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

・調査地点　市内２９か所

・調査月日　３月１３日（火）

・調査項目　全２６項目

（カドミウム,全シアン､鉛､六価クロム､ひ素､総水銀､アルキル水銀
ＰＣＢ､ジクロロメタン､四塩化炭素､1,2-ジクロロエタン、
1,1-ジクロロエチレン､シス-1,2-ジクロロエチレン、
1,1,1-トリクロロエタン､1,1,2-トリクロロエタン
トリクロロエチレン､テトラクロロエチレン
1,3-ジクロロプロペン､チウラム､シマジン､チオベンカルブ
ベンゼン､セレン、ほう素、ふっ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素）

4　環境学習・啓発活動事業

(1)　とちぎ市民環境まつりの開催

市における環境の現状と、環境に関する市民の先進的な取組を知らせることで、環境問題に対し、市民、事業者及び市が一体となって取り組み、市民一人一人の意識の高揚を図るため、とちぎ市民環境まつりを開催した。

・開催日時　２月１８日（土）午前１０時～午後２時３０分

・会　　場　栃木市民会館

・主　　催　栃木市、栃木市女性団体連絡協議会

・開催内容　市民、企業、学生、行政機関による各種展示

・来 場 者　約1,000人

(2)　親と子の水辺教室の開催

市内の自然環境、特に河川の水質を守ることについての意識、関心を高めるとともに、親と子が協力し、ふれあいながら学べる体験学習の場を提供するため、親と子の水辺教室を開催した。

・開催日時　７月２９日(金)、３０日(土)　午前９時～

・会　　場　永野川緑地公園パークセンター

・対　　象　市内小学校４年生から６年生までの児童及びその保護者

・講　　師　環境省登録環境カウンセラー

・参加人数　５０人（７月２９日の部　１７人、７月３０日の部　３３人）

(3)　環境講座

市民団体、グループ、小中学校などの要請により、環境課職員が講師としてその会場に出向き、地球温暖化防止、ごみ減量・リサイクル、水質、廃油石けん作りなどの講義や説明等を行った。

・実施回数　　１７回

・参加者数　５２３人

5　ごみ減量化対策事業

(1)　コンポスト容器の普及

生ごみの減量化を目的として、コンポスト容器の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

・申込基数　　１６基

・補助金交付額　55,400円

(2)　機械式生ごみ処理機の普及

生ごみの減量化を目的として、機械式生ごみ処理機の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

・申込件数　　１５件

・補助金交付額　300,000円

(3)　堆肥化促進剤専用容器の普及

生ごみの減量化を目的として、堆肥化促進剤専用容器の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

・申込件数　　１件

・補助金交付額　1,300円

(4)　バイオ式生ごみ処理機

ごみの減量化事業の一つとして、生ごみを堆肥化するバイオ式生ごみ処理機を、栃木第三小学校、栃木第四小学校、栃木第五小学校、千塚小学校に導入している。

処理後にできた堆肥については、学校の花壇等で肥料として活用している。

また、余剰分については環境課で引き取り、市民への無料配布、協働まつり及びとちぎ市民環境まつりにおいて来場者への無料配布を行った。

6　レジ袋削減の取組

地球温暖化防止対策の一環として、レジ袋削減の推進を図るため、商工団体、消費者団代、事業者及び行政で構成する栃木市レジ袋削減推進協議会を組織し、協議会会議を開催した。

第１回栃木市レジ袋削減推進協議会

・実施日　３月１９日（月）

・場　所　栃木市民会館

7　狂犬病予防業務（栃木地域）

(1)　犬の登録

新規登録数	登録抹消数	登録総数
289頭	330頭	4,850頭

(2)　狂犬病予防注射

ア　第１次集合注射

・実施期間　４月１１日（月）～２１日（木）

・実施会場　地域内３０会場

・実施数　　1,374頭

イ　第２次集合注射

・実施期間　１０月２９日（土）、３０日（日）

・実施会場　地域内１０会場

・実施数　　234頭

ウ　個別注射

・実施方法　各動物病院等において個別に実施

・実施数　　1,678頭

環境保全担当

1　斎場・霊きゅう車使用状況　（単位：件）

区　分	斎場				霊きゅう車
	大　人	小　人	死産児	計	
市　内	1,494	2	18	1,514	1,245
市　外	237	1	3	241	194
計	1,731	3	21	1,755	1,439

2　改葬許可件数

・９５件

3　動力噴霧機・草刈機貸出状況

自治会に対し、衛生害虫駆除のための動力噴霧機の貸出しを行った。また、市民及び自治会に対し病害虫発生の源となる雑草を刈るための草刈機の貸出しを行った。

・動力噴霧機　　貸出台数　延べ　２３台

・草　刈　機　　貸出台数　延べ　１２９台

刈払面積　延べ　43,471㎡

4　聖地公園墓所使用許可状況　（単位：区画）

種別及び面積	造　成　数	許　可　数
第1種（芝生墓所）5㎡	177	177
第2種（芝生墓所）6㎡	168	167
第3種（芝生墓所）5㎡	344	342
第4種（一般墓所）5㎡	152	151
第5種（芝生墓所）5㎡	555	553
第6種（芝生墓所）5㎡	198	193
第7種（芝生墓所）5㎡	600	526
第8種（一般墓所）5㎡	88	85
計	2,282	2,194

5　公害関係

(1)　大気関係

ア　光化学スモッグ注意報発令状況　（単位：回）

発令月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発令回数	－	2	1	2	3	1	9

イ　大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	3	5	5	2
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	1	－	－

(2)　水質関係

ア　地下水汚染地区の定期モニタリング調査

過去の地下水の汚染状況の推移を監視するため、城内町２丁目周辺のテトラクロロエチレン汚染地区で１か所、木野地町、川原田町周辺のトリクロロエチレン汚染地区で２か所の井戸を選定し、地下水の水質調査を継続的に実施した。

・調査回数　年４回

・調査実施月　８、１０、１２、２月

イ　水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	3	12	2	3
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(3)　騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	－	4	－	－	8
栃木県環境保全条例に基づく届出	3	7	－	－	2

(4)　振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	－	1	－	－	6
栃木県環境保全条例に基づく届出	2	6	－	－	2

(5)　その他

ア　公害苦情受付件数　　（単位：件）

大　気	水　質	騒　音	振　動	悪　臭	土　壌	その他	合　計
37	14	15	0	7	1	2	76

イ　栃木市ゴルフ場環境保全対策連絡協議会

総会において農薬の使用状況結果報告等を実施。例会においては水質調査結果(全て基準値内)を報告し、環境保全に関する研修会を行う予定だったが、東日本大震災により中止となった。

区　分	開催日	開催場所
総　　会	8月5日（金）	栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部
例会・研修会	3月27日（火）	ゴールド栃木プレジデントクラブ

ウ　鍋山地区環境整備懇談会

鍋山地区の粉塵公害問題解決のため、９月１６日（金）に地元自治会代表と石灰企業各社立会いのもと現地調査を実施し、石灰企業各社に対して改善を要望した。また、１１月４日（金）に懇談会を開催し、地元要望事項について石灰企業各社と協議した。

エ　土壌汚染等の防止

土砂等の埋立て等による土砂汚染や無秩序な埋立て等に伴う災害の発生を未然に防止し、市民生活の安全と生活環境の保全を図った。

・土砂等の埋立て等事業許可件数　　５件

6　保健委員事業

保健委員連合会の協力を得て、衛生害虫の駆除や、美化キャンペーン等を実施した。

・委嘱状況　保健委員　１７２人
　　保健班長　４２６人

7　一般廃棄物の収集

５種１３分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週２回、もやさないごみは月２回、資源物のうち、紙類は月１回、空カン・空ビン、ペットボトル、食品用トレイは月２回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1)　ごみ収集搬入量　　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合　計
		紙　類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
23,327.07	1,822.13	2,372.28	992.63	308.15	380.00	29,202.26

(2)　もやすごみの収集搬入状況　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	合　計
500.43	15,134.56	7,692.08	23,327.07

(3)　もやさないごみの収集搬入状況　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	合　計
43.69	1,448.67	329.77	1,822.13

(4)　資源物の収集搬入状況　（単位：ｔ）

種　類	直　営	委　託	直接搬入	合　計
紙　類	13.28	2,359.00	－	2,372.28
空カン・空ビン	0.24	983.63	8.76	992.63
ペットボトル・トレイ	－	307.18	0.97	308.15
合　計	13.52	3,649.81	9.73	3,673.06

(5)　粗大ごみの収集搬入状況　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	減　免	合　計
14.62	26.67	328.16	10.55	380.00

(6)　休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況　（単位：頭）

犬	猫	その他	合　計
5	46	29	80

(7)　し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量　（単位：kl）

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合　計
4,528.42	10,893.18	15,421.60

8　環境美化対策事業

(1)　環境美化推進員の委嘱

地域における環境美化を推進するため、環境美化推進員を委嘱した。

・環境美化推進員　１７１人

(2)　環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

・実施日時　６月１８日（土）　午前９時～

・場　　所　つがスポーツ公園周辺

・内　　容　ごみ拾い、草むしり

・参加人数　約１５０人

(3)　市役所周辺清掃活動

市役所周辺の環境美化及び職員の美化活動の拡大を図るため、毎月初めに市職員のボランティアによる清掃活動を行った。

9　不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、廃棄物・土砂等埋立監視員を設置し、市内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1)　地区別不法投棄物回収件数　（単位：件）

区分／地区	生活系廃棄物	家電4品目	電化製品	粗大ごみ	産業廃棄物	その他	計
栃木	50	16	7	67	1	6	147
大宮	33	23	8	40	1	6	111
皆川	43	11	3	21	2	16	96
吹上	27	12	4	13	－	2	58
寺尾	9	9	1	7	－	6	32
国府	50	30	10	16	2	19	127
計	212	101	33	164	6	55	571

※生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計

(2)　不法投棄調査件数

・１２件（うち不法投棄者等指導　５件）

第５節　女性青少年課

〔総括概要〕

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国の社会を決定する最重要課題と位置づけられており、今日の少子・高齢化の進展や国内経済の成熟化などの社会経済情勢の急速な変化に対応する上でも緊要な課題となっている。

このような状況の中、本市では平成２２年６月に、男女共同参画に関する施策の推進について総合的かつ計画的に取り組むための庁内推進体制の整備を図るため、市長を本部長とする「栃木市男女共同参画推進本部」を設置し、男女共同参画社会基本法の理念に基づき、市や市民、事業者及び教育関係者が一体となって男女共同参画の推進に取り組む法的整備を図るため、平成２３年３月「栃木市男女共同参画推進条例」を制定した。そして、条例第８条に基づく行動計画として「男女共同参画基本計画」を策定するため、男女共同参画推進本部、女性団体等への説明会、男女共同参画審議会等を開催し、策定の過程で様々な分野の意見が反映されるよう努めた。

また、男女共同参画社会の実現の意識づくりを図るために、男女共同参画のつどいの開催、男女共同参画週間啓発のための街頭啓発、ミニ市民のつどいの開催、出前講座の実施、男女共生大学の開設、女性団体等の育成支援などを行った。

働く婦人の家については、女性団体や講座ＯＢ自主グループに活動場所の提供を行った。また、市内に居住または市内事業所に勤務する女性等を対象に、エコ手芸講座、レカンフラワー講座、暮らしの金融講座を開講して福祉の増進に努めた。

青少年行政については、青少年の健全育成と社会参加の促進を目的として、青年団体等の育成･指導や青少年健全育成講演会、非行防止懇談会、家庭の日推進事業、模範児童・生徒の表彰などを行った。

青少年育成センターについては、街頭補導活動、少年相談業務、環境浄化活動などを重点事業として、学校、警察、青少年問題協議会、教育委員会などの関係機関・団体と連携しながら青少年の健全育成に努めた。

栃木勤労青少年ホームについては、平成１８年度から指定管理者制度により管理を民間委託し、市内に居住または市内事業所に勤務する青少年を対象に、英会話・書道等の教養講座、テニス・バドミントン・エアロビクス等のスポーツ講座を開催した。また、各種サークルの育成を図るとともに、ホーム行事の開催及び相談事業の実施により、勤労青少年相互の交流並びに資質の向上、勤労青少年の福祉の増進に努めた。

勤労者体育センターについても、勤労青少年ホーム同様に民間委託し、勤労者をはじめとした一般市民の健康の保持増進とスポーツの振興を図るための施設として、その有効利用に努めた。

男女共同参画推進担当

1　各種委員会等への女性・若者（３５歳未満）委員構成状況調査の実施

男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性と若者の審議会等への参画状況の調査を実施し、参画の拡大を図った。

・女性登用率　２６．５％（４月１日現在）

2　男女共同参画基本計画の策定

(1)　男女共同参画推進本部会議の開催（庁議と兼ねる）

・実 施 日　　９月１６日（金）
・会　　場　　市役所正庁
・内　　容　　男女共同参画基本計画策定について
　　男女共同参画基本計画の策定スケジュールについて

(2)　男女共同参画推進本部検討部会の開催

・実 施 日　　１１月１８日（金）
・会　　場　　市民会館　講堂
・内　　容　　男女共同参画基本計画策定の基本方針について
　　男女共同参画プラン(素案)概要について
・出席者数　　５９人

(3)　男女共同参画推進本部幹事会・検討部会からの意見聴取

・内　　容　　男女共同参画プラン（素案）について
・意見聴取状況

	募　集　期　間	意見提出者数（人）	意見提出件数（件）
第1回	11月18日（金）～12月9日（金）	21	76
第2回	1月30日（月）～2月10日（金）	7	26

(4)　女性団体連絡協議会・男女共同参画自主グループ等への男女共同参画基本計画説明会の開催

・実 施 日　　１月１２日（木）
・会　　場　　市民会館　児童室
・内　　容　　男女共同参画基本計画策定の基本方針について
　　男女共同参画プラン(素案)概要について
・出席者数　　２９人

(5)　女性団体連絡協議会・男女共同参画自主グループ等からの意見聴取

・内　　容　　男女共同参画プラン（素案）について
・募 集 期 間　　１月１２日（木）～１月３１日（火）
・意見提出者　　４団体（４５件）

(6)　男女共同参画審議会の開催

・実 施 日　　３月１日（木）
・会　　場　　市民会館
・内　　容　　男女共同参画基本計画策定の基本方針について

男女共同参画プラン（素案）の概要について

・出席者数　　１３人

3　男女共同参画推進本部検討部会部会員研修会の実施

男女共同参画に関する意識啓発と理解を深めるため研修会を実施した。

(1)　第１回研修会

・実 施 日　　５月２５日（水）（男女共生大学第１回講座と兼ねる）

・会　　場　　市民会館

・内　　容　　講演　「なりたい自分になるために～男女共同参画のすすめ～」

講師　宇都宮大学生涯学習教育研究センター教授　廣瀬隆人氏

・出席者数　　４８人（出席率６７．６％）

(2)　第２回研修会

・実 施 日　　１月３１日（火）

・会　　場　　市民会館

・内　　容　　講演　「ＤＶの正しい理解」

講師　認定NPO法人ウイメンズハウスとちぎ理事長　中村明美氏

こども課　婦人相談員　綾川佐代子氏

・出席者数　　５７人（出席率７４．０％）

4　男女共同参画啓発事業

(1)　男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、パネル展、広報紙に記事の掲載等を行った。

・実施日　6月２３日（木）～２９日（水）

・会　場　市役所ロビー、市民会館ロビー

・内　容　男女共同参画週間パネル展示

リーフレット配布

(2)　男女共同参画地域推進員の活動

ア　「ミニ市民のつどい」の開催

実施日	会　　場	内　　容	参加人員(人)
1月21日(土)	苺園公民館	苺園自治会ミニ市民のつどい 蔵の町子ファミリーによる紙芝居「向こう三軒両隣」	63
2月1日(水)	とちぎ蔵の街観光館	万町一丁目・万町一丁目東自治会ミニ市民のつどい 蔵の町子ファミリーによる紙芝居「向こう三軒両隣」	42

イ　自主研修会の開催

・実 施 日　　６月２６日（日）

・会　　場　　視察研修に向かう車中

・内　　容　　ビデオフォーラム「日常の人権Ⅰ」

・参加人数　　９人

ウ　男女共同参画週間の街頭啓発

・啓発物資の配布　　参加人員　２０人

実施日	会　　場	参加人員(人)
6月23日(木)	イオン栃木店	13
	フジマート都賀店	3
6月26日(日)	とりせん藤岡店	4

エ　視察研修の開催

県内他団体における取組を参考として今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、栃木県女性団体連絡協議会、栃木県、財団法人とちぎ男女共同参画財団主催のとちぎ県民のつどいに参加した。

・実 施 日　６月２６日（日）

・会　　場　とちぎ男女共同参画センター

・内　　容　地域推進員グループ・団体等の発表

記念式典

講演　「人間みんな同じじゃないか」

講談師　田辺鶴瑛氏

・参加人員　１３人

(3)　男女共同参画のつどい開催

男女共同参画社会づくりを目指し、男女共同参画のつどいを開催した。

・実 施 日　６月２５日（土）

・会　　場　大平文化会館

・内　　容　第１部　記念式典、男女共同参画標語・写真コンテスト表彰

第２部　テーマ　「知ってますか　デートＤＶ」

寸劇とおしゃべりティータイム

講師　認定NPO法人「サバイバルネット・ライフ」

代表　仲村久代氏

・参加人員　１３０人

(4)　男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

「男女共同参画」に関する標語と写真の募集を行い、記念式典にて表彰した。

区　分		応募数（点）	入　賞
標語	小学生の部	634	最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞10点、佳作6点
	一般の部	8	佳作3点
写真		11	最優秀賞1点、優秀賞2点

(5)　男女共同参画推進事業の広報

市広報紙、市ホームページ、ケーブルテレビでの広報を行った。

5　北関東男女共同参画会議の開催

男女共同参画社会の実現を目指すため、群馬県・茨城県・栃木県の有志が一堂に会して学習し、共に連携して行動することを目的に、栃木市・北関東男女共同参画会議inと

ちぎ実行委員会・男女共同参画社会の実現を目指すうつのみや市民会議の共催により、「北関東男女共同参画会議inとちぎ」を開催した。

・実 施 日　７月１０日（日）

・会　　場　市民会館

・内　　容

区　分		参加人員（人）
座談会「地域・ひと・男女共同参画」		153
分科会	第１分科会「共に考える防災」	62
	第２分科会「あなたにとって、男女共同参画って何ですか？」	36
	第３分科会「とも生き、とも生みを求める」	50
現地見学会「とちぎの街並み散策」		50

6　東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業の周知

内閣府では「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」として、長引く避難生活や原子力発電所の事故に伴う不安や悩み、配偶者等からの暴力（DV）などの相談を受けるため、『女性のための電話相談・ふくしま』を開設し、その窓口について３月から市ホームページにおいて周知した。

7　栃木県次世代人材づくり事業への派遣

県民一人ひとりが地域や社会の担い手となり、力を発揮することができる「人づくり」を推進するため、人間性豊かで、地域に貢献する青年リーダー及び女性リーダーの育成を県と市町が共同で実施する次世代人材づくり事業への参加について、３人を派遣した。

・研修日程　　８月２０日（土）～２月４日（金）

・内　　容

区　分	実施形態	実施日
基礎研修	青年・女性リーダー合同実施	8月20日(土)、9月4日(日)
応用研修	青年リーダー	9月24日(土)、10月15日(土)～10月16日(日)、10月下旬～12月上旬、12月10日（土）、1月21日(土)
	女性リーダー	9月18日(日)、10月2日(日)、10月13日(木)～10月15日(土)、11月6日（日）、12月11日(日)、12月25日(日)、1月21日(土)
研修成果発表会	青年・女性リーダー合同実施	2月4日(土)

8　日本女性会議への参加

市内の各女性団体等において活動している市民が、女性団体及びリーダーとしての役割や活動の現状を学ぶとともに、協調と連帯意識を持って、男女共同参画社会の実現に向けた活動を展開していくために、日本女性会議へ参加した。

・期　　間　１０月１４日（金）～１６日（日）（３日間）

・開 催 地　島根県松江市
・参加者数　７人

9　男女共同参画広報紙の発行

男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画広報紙「きらら とちぎ（第２号）」を、男女共同参画地域推進員の協力により編集し、３月に発行し、市内全世帯に配付した。

10　男女共生大学の開設

男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

・受講者数　６２人

(1)　学習プログラム

ア　第１回

・日　　時　５月２５日（水）　午後６時３０分～８時１０分
・学習テーマ　開講式
講話　「なりたい自分になるために～男女共同参画のすすめ～」
講師　宇都宮大学生涯学習教育研究センター教授　廣瀬　隆人　氏
・会　　場　市民会館
・参 加 者 数　４１人

イ　第2回

・日　　時　６月２５日（土）　午後１時～３時３０分
・学習テーマ　公開講座「とちぎ男女共同参画のつどい」
第１部　男女共同参画標語・写真コンテスト表彰
第２部　デート DV に関する寸劇＆おしゃべりティータイム
・共　　催　おおひら男女共同参画を進める会、栃木市男女共同参画地域推進員
・会　　場　大平文化会館
・参 加 者 数　１８人

ウ　第３回

・日　　時　７月１６日（土）　午後２時～午後３時３０分
・学習テーマ　家庭教育学級との共催による公開講座
講話　「感情はコントロールできる！～自信を育てる心理学入門」
講師　親学カウンセラー&インストラクター・アドラー心理学カウンセラー
論理療法士補　鈴木　稔　氏
・会　　場　市民会館
・参 加 者 数　２４人

エ　第４回

・日　　時　７月２１日（木）　午後６時３０分～８時
・学習テーマ　はつらつ健康教室　「スローフィットネスで心も体も笑顔で元気」

講師　健康運動指導士　原　美穂子　氏

・会　　場　市民会館

・参 加 者 数　２６人

オ　第５回

・日　　時　８月４日（木）　午後２時～４時、６時～８時

・学習テーマ　体験学習　ソバ打ち「楽しく作ってみよう！手打ちソバ」

講師　手打ち蕎麦道場講師　黒須　祐子　氏

助手　古口　和子　氏、山中　悦子　氏

・会　　場　市民会館

・参 加 者 数　２５人

カ　第６回

・日　　時　８月１８日（木）　午後６時３０分～８時

・学習テーマ　とちぎ県政出前講座（Ｈ２２年県次世代人材づくり事業研修成果発表を含む）

しゃべり場

講師　県民生活部青少年男女共同参画課職員

Ｈ２２県次世代人材づくり事業参加者　富田恵加氏、森田信子氏

・会　　場　市民会館

・参 加 者 数　２４人

キ　第７回

・日　　時　９月３日（土）　午前１０時～１１時３０分

・学習テーマ　講話　「共に老いを生きる～介護の現場から～」

講師　心理カウンセラー　南條　珠江　氏

・会　　場　市民会館

・参 加 者 数　２３人

ク　第８回

・日　　時　９月１５日（木）　午後６時３０分～８時１０分

・学習テーマ　講話　「男女共同参画はまず家庭から」

講師　野木町教育委員会教育長　中野　晴永　氏

閉講式

・会　　場　市民会館

・参 加 者 数　２９人

(2)　運営ボランティアの活動

男女共生大学の受講生自らが大学の運営に主体的に携わることにより、男女共同参画社会の実現に向けた人材育成を図った。

・運営ボランティア　　８人

・活動の内容　当日の運営、記録集・広報紙の編集、学習プログラムの作成

その他

・運営委員会の開催　年３回　運営ボランティア活動内容の検討ほか

11　出前講座の実施

実施日	会　場	内　容	講　師	参加人員（人）
7月29日（金）	寺尾公民館	寺尾地区女性学級研修会 「新しい自分との出会い」 ～男女共同参画社会の実現を目指して～	市男女共同参画推進指導員	33
8月2日（火）	大平南中学校	職員研修「男女共同参画とは」 「新しい自分との出会い」 ～男女共同参画社会の実現を目指して～	市男女共同参画推進指導員	23

12　女性団体活動支援

(1)　栃木市女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会　場	事　業　名	参加人員(人)
5月25日(水)	市民会館	定期総会 研修会「リラックス体操」	77
6月8日（水）	足利市	視察研修会 ココ・ファーム・ワイナリーほか	38
7月26日(火)	藤岡福祉センター	第３回栃木市各地域女性団体連絡協議会正副会長会議	11
8月23日(火)	栃木文化会館	研修会　「サマーコンサート　パートⅢ」	248
8月30日(火)	都賀の里 ふるさとセンター	栃木市各地域女性団体連絡協議会交流会 「各地域事業発表と昼食交流」	26
2月18日(土)	市民会館	２０１２とちぎ市民環境まつり 栃木市消費生活展	延べ1,000
2月22日(水)	市民会館	第４回栃木市各地域女性団体連絡協議会正副会長会議	9

(2)　自主学習グループへの活動支援

自主学習グループに対して、会議室の提供、男女共同参画に関する情報提供、グループの活動に対する指導・助言等を行った。

・支援対象グループ

ういめんず・栃木、蔵の町子ファミリー、栃木市女性史研究会「あいの会」、
栃木市高齢社会を考える「パールの会」、きらきらの会（旧とちぎつばさの会栃木支部）

13　働く婦人の家活動状況

(1)　活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
主催事業	26	0.2
自主グループ	7,211	61.1
他　団　体	4,560	38.7
計	11,797	100.0

(2)　活動区分

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
勤労婦人	4,546	38.5
勤労者家庭婦人	6,003	50.9
そ　の　他	1,248	10.6
計	11,797	100.0

(3)　月別活動状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	1,034	1,042	1,046	928	825	980	1,008	988	954	922	1,073	997

(4)　曜日別活動状況　（単位：人）

曜　日	月　曜	火　曜	水　曜	木　曜	金　曜	土　曜	日　曜
人　数	1,820	5,136	552	1,231	2,181	877	－

(5)　年齢別活動状況　（単位：人）

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
人数	331	208	107	3,161	7,990

(6)　事業実施状況

ア　主催講座

講座名	エコ手芸講座	レカンフラワー講座	暮らしの金融	計
回数(回)	1	1	1	3
延べ人数(人)	12	5	9	26

イ　相談事業

平成１９年度より市民相談（ＤＶ関係についてはＤＶ担当相談員）に統合。

・実施日　月曜日～金曜日（午前９時～午後４時）

ウ　自主グループ等

区　分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備　考
書　道	49	367	2ｸﾞﾙｰﾌﾟ
太　極　拳	36	522	
ヨ　ー　ガ	40	216	
卓球（ラージ）	147	1,808	3ｸﾞﾙｰﾌﾟ
押　し　花	24	103	
茶　道	48	335	
フ　ラ　ダ　ン　ス	24	250	
リ　ズ　ム　体　操	36	3,460	
老人介護（１）	30	150	特別養護老人ホームで活動
計	434	7,211	

エ　その他

区　　分	人数(人)	備　　考
団　体　利　用	4,560	消費生活センター利用等
図　書　利　用	8	
計	4,568	

青少年担当

1　青少年行政関係

(1)　青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

ア　とちぎユースネットワークの活動

実施日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
通年	栃木勤労青少年ホーム	月１回　定例会開催	－
6月23日(金)	かかしの里	大平クリーンアップ作戦	8
6月27日(月)	栃木勤労青少年ホーム	平成２３年度総会	10
8月28日(日)	あゆみ学園	あゆみ学園納涼祭	14
12月23日(金)	栃木地域内の家庭	サンタの宅配便	10
3月4日(日)	市民会館	国際交流協会ふれあいの集い	14

(2)　青少年問題協議会

・理事・幹事会、総会の開催
・青少年健全育成講演会及び非行防止懇談会の開催(各中学校及び子ども会育成会)
・「家庭の日」推進事業
・青少年対策（とちぎ心のルネッサンス運動の一環として、青少年の非行・被害防止全国強調月間、子ども・若者育成支援強調月間の推進）
・児童生徒対策（模範児童・生徒の表彰）
・啓発活動（広報とちぎの７月・１１月・３月における啓発記事の掲載及び７月に大型店舗前における街頭啓発キャンペーン）

2　青少年育成センター

青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、環境浄化活動等事業の推進に努めた。

(1)　街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画にしたがい、年間３００回、延べ９０４人の少年補導員が街頭補導に従事し、４０５人（内女子２２５人）の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

街頭補導実施状況(栃木市全体)

区　分	補導実施状況	
	回数（回）	少年補導員（人）
昼　間	153	406
夜　間	147	498
計	300	904

(2)　少年相談

毎月第２、第４金曜日は、市民生活課で実施している総合相談の一部として実施した。また、青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、２２件の相談を受理し問題解決を図った。

平成１９年２月１９日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、平成２３年度の相談件数は２件であった。

少年相談状況（いじめ相談２件を含む）

・相談者別内訳　（単位：件）

区　分 / 内　容	相談者						
	少年本人	保護者	その他親族	教師	雇主	その他	計
教育相談	6(6)	17(16)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	24(23)
児童福祉相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
補導相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
計	6(6)	17(16)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	24(23)
上記のうち電話	4(2)	16(16)	1(1)	-(-)	-(-)	-(-)	21(21)

※（　）内は、相談者のうち女性の数。

・相談対象者別内訳　（単位：件）

内　訳 / 内　容	対象少年								
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	計
教育相談	1(-)	7(3)	7(4)	2(-)	-(-)	-(-)	-(-)	7(6)	24(13)
児童福祉相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
補導相談	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
計	1(-)	7(3)	7(4)	2(-)	-(-)	-(-)	-(-)	7(6)	24(13)
上記のうち電話	1(-)	7(3)	7(4)	1(-)	-(-)	-(-)	-(-)	5(5)	21(12)

※（　）内は、相談対象者のうち女性の数。

(3)　有害環境浄化活動

ア　カラオケボックス、レンタルビデオ店、ポルノ雑誌販売店等の立入調査を実施し、指導を行った。

栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査（単位：箇所）

実施施設	調査数
自販機	2
ビデオ、ＤＶＤ販売・レンタル	－
カラオケ、ボウリング場	－
コンビニ	－
複合カフェ	2
ゲームセンター	－
書店、古本店	3
合計	7

イ　立入調査に合わせて携帯電話販売事業者に対し、契約者及び使用者の年齢確認の徹底や、インターネットが利用できる端末に対してのフィルタリングサービスの情報提供について協力を依頼した。

ウ　少年補導員が市内公衆電話ボックス等の有害広告物(６３枚)､違反広告物　（１８枚）の排除を行った。

(4)　広報、啓発等

７月に「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、１１月に「子ども・若者育成支援強調月間」の広報啓発のため､立看板を市役所等１２か所に掲出し､周知を図った。

また、広報とちぎへの掲載、ポスターの掲示、啓発用品・チラシ等の配布による広報啓発を行った。チラシは市内小中学校の児童生徒を通じ家庭に配布した。

(5)　少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

少年補導員研修会

実施日	会　　場	内　　容
5月11日（水）	市民会館	講話　「栃木市少年補導員として」 講師　栃木市少年補導員会（現栃木市とちぎ少年補導員会）会長　野原佑介　氏
7月7日（木）	市民会館	講話　「管内の少年犯罪発生状況と少年補導活動について」 講師　栃木警察署生活安全課課長　松原浩志　氏
8月23日（火）	野田市青少年センター（千葉県野田市）	先進地視察研修及び情報交換会
11月17日（木）	皆川公民館	講話　「育ち」 講師　国立鬼怒川学院調査課課長　板垣辰彦　氏

(6)　青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

・実 施 日　２月２１日（火）

・内　　容　平成２３年度青少年育成センター運営報告

平成２４年度青少年育成センター運営計画

・参加人員　６人

3　栃木勤労青少年ホーム利用状況

(1)　概要　（単位：人）

区分	男	女	合計
ホーム利用登録者数	115	286	401
ホーム利用者総数	6,163	10,867	17,030

(2)　月別利用状況　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	464	565	650	608	461	531	574	495	428	422	481	484
女	781	897	1,025	883	853	976	972	841	777	929	1,013	920
合計	1,245	1,462	1,675	1,491	1,314	1,507	1,546	1,336	1,205	1,351	1,494	1,404

(3)　年齢層別利用状況　（単位：人）

年齢	15～19歳	20～24歳	25歳～
男	3	6	6,154
女	1	445	10,421
合計	4	451	16,575

(4)　曜日別利用状況　（単位：人）

曜　日	日　曜	月　曜	火　曜	水　曜	木　曜	金　曜	土　曜
男	798	1,041	711	1,018	1,010	603	982
女	842	1,406	1,803	1,744	2,357	1,585	1,130
合計	1,640	2,447	2,514	2,762	3,367	2,188	2,112

(5)　講座開講、ホーム行事、クラブ活動状況

ア　定期講座

講　座　名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
みんなの英会話	20	24	274	月
バドミントン	20	24	310	火
書道	20	9	27	火
エアロビクス	30	24	428	火
たのしい料理	12	20	184	水
リラックスヨガ	20	27	496	水
木曜エアロビクス	25	26	535	木
ピラティス	25	15	281	木
ビギナーズテニス	20	19	258	木
レッツコーラス(合唱)	20	27	357	金
金曜エアロビクス	25	24	331	金
フラダンス	20	24	273	土
ソフトバレーボール	20	19	344	日
合　　計	277	282	4,098	

イ　就職出張相談

就職等相談

・実　施　回　数　４３回

・相　談　者　数　９人

・述べ相談者数　１６６人

・内　　容　日常の悩みや社会生活に関する相談・助言

ウ　交流事業等

行　事　概　要	実施日	参加人数(人)	実　施　場　所
３ｒｄサマーイベント	8月6日(土)	59	栃木勤労青少年ホーム
設立４５周年記念交流まつり(栃木・古河青少年ホーム共催)	11月19日(土)	82	

エ　クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数（回）	活動延べ人数（人）
バレーボール遊人会	月	51	765
スポーツパラダイス	水	50	750
とちぎユースネット	木	75	484
バドミントン	火・日	68	680
ＪＣバンド	木	71	1,065
ベリーダンス	不定期	116	1,030
着付けクラブ	金	39	310
ブレイクダンス	土	46	244
ＳＳＯ	土	42	615
街角セッション	土	11	165
うぃすてりあ	日	43	880
インド古典舞踊	不定期	287	289
フラダンスクラブ	土	30	224
合　　計		929	7,501

4　勤労者体育センター利用状況

(1)　利用者総数（単位：人）

市内居住者	40,902
市外居住者	41
合　計	40,943

(2)　月別利用状況　　（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市内	3,617	3,614	3,603	3,186	2,616	3,320	3,427	3,518	3,436	3,433	3,647	3,485
市外	6	7	4	7	3	1	4	－	5	1	1	2
合計	3,623	3,621	3,607	3,193	2,619	3,321	3,431	3,518	3,441	3,434	3,648	3,487

(3)　曜日別利用状況　　（単位：人）

曜　日	日　曜	月　曜	火　曜	水　曜	木　曜	金　曜	土　曜
利用者数	3,974	6,071	7,623	6,243	4,789	5,789	6,454

(4)　種目別利用状況（団体利用のみ）　　（単位：人）

種　目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓　球	その他
利用者数	3,939	1,667	9,461	13,493	11,716

第５章　保健福祉部

第１節　社会福祉課

〔総括概要〕

社会福祉課における主な事務分掌は､高齢者福祉を除く法定･任意の福祉計画の策定、栃木市社会福祉協議会に関すること、福祉制度の見直しに関すること、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関すること、災害救助や災害見舞等に関すること、福祉関係団体の育成指導に関すること、発達障がいを含む障がい児（者）の相談及び支援、理解のための普及及び啓発、関係機関との連絡調整に関することなどである。

福祉政策担当では、社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を開催し、栃木市障がい者福祉計画の策定や、次世代育成支援対策行動計画を新市の計画として再編した。

栃木特別支援学校の生徒が、職場体験を通して、働く際に必要な態度、技能、知識を身につけるために行う就業体験学習の受入れを実施した。

社会福祉法人栃木市社会福祉協議会の組織基盤や財政基盤の健全化を図り、市民から信頼される組織運営を推進するため、経営改善への取組みを行った。

発達支援担当では、複数の関係機関との連携を必要とする当事者に対し、総合的かつ長期的視野に立った相談支援活動を行った。

複数の関係機関職員が出席する支援協力ケース会議を開催して、関係課の共通理解を図り、支援方針や対応等の決定などを組織的に行うこと等により、当事者の課題に寄り添い、解決に向けた総合的な取組を行った。

特にライフステージが頻繁に変化し、多くの機関の連携による支援が必要な乳幼児期から学齢期の対応に重点を置き、発達支援担当の専門職が、保育園・幼稚園、小中学校への巡回相談を実施し、具体的な支援の方法についての提案を行った。また、作業療法士を配置して、障がい児等に対する作業療法面からの支援を行った。

健康増進課所管の乳幼児健康診査や５歳児発達相談等に職員を派遣し、発達障がいを含む障がい児等を早期に療育の場につなげるなど、子どもの特性に応じた環境整備を図った。

平成２１年度から、ことばの発達の遅れている幼児等にことばの指導等を行うため、未就学児ことばの教室を開始した。

保育園・幼稚園、小中学校等を始めとした、相談の入り口であり直接支援を行う関係者に対し研修を実施し、的確な対応の図れる体制作りのための人材育成に努めた。

福祉政策担当

1　社会福祉施策推進委員会の開催

社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を設置し、２１人の委員を委嘱した。また、専門的な事項について調査研究及び検討するため、委員会に、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、就労支援の４つの専門部会を置いた。

会議名	実施日	内　容
第2回 児童部会	5月12日(木)	・栃木市次世代育成支援対策行動計画　前回からの修正点について ・パブリックコメント募集の結果について ・今後のスケジュールについて ・栃木市赤ちゃんの駅事業の概要（案）
第2回 委員会	6月2日(木)	・栃木市次世代育成支援対策行動計画（後期計画）について ・（仮称）第６期高齢者保健福祉計画について
第3回 委員会	8月9日(火)	・（仮）栃木市障がい者福祉計画の策定について ・栃木市社会福祉施策推進委員会特別委員について
第1回 障がい者福祉部会	8月9日(火)	・（仮）栃木市障がい者福祉計画の策定について ・アンケート調査について ・今後のスケジュールについて
第1回 高齢者福祉専門部会	10月11日(火)	・アンケート調査結果について ・計画策定の概要について
第2回 障がい者福祉部会	10月28日(金)	・障がい者計画基本施策（案）について ・アンケート調査集計中間報告について ・障がい福祉計画サービス見込み量と市内事業所の状況について
第2回 高齢者福祉専門部会	11月25日(金)	・計画策定（素案）について ・アンケート調査結果について
第3回 障がい者福祉部会	11月29日(火)	・障がい者計画（案）について ・アンケート調査集計報告について ・発達障がい児支援基本計画について
第4回 委員会	12月7日(火)	・障がい者計画（案）について ・発達障がい児支援基本計画（案）について ・高齢者保健福祉計画（案）及び介護保険事業計画（案）について ・栃木市保育所整備基本方針（案）について

第3回 高齢者福祉専門部会	12月20日(火)	・高齢者保健福祉計画（案）及び介護保険事業計画（案）について
第4回 障がい者福祉部会	1月20日(金)	・障がい者計画（案）について
第5回 委員会	3月23日(木)	・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（案）について ・障がい者福祉計画（案）について ・次世代育成支援対策行動計画（案）について ・精神障害者地域移行・地域定着支援事業について

2　法定・任意計画の策定

すべての人がいきいきと地域で生活できる社会づくりを実現しようとする「地域福祉計画」の理念を念頭に、障害者基本法に規定する「市町村障害者計画」であり、かつ、障害者自立支援法に規定する「市町村障害者福祉計画」に位置づけられる「栃木市障がい者福祉計画」の策定を行った。

また、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成され、親が子育ての喜びと責任を感じることのできるような環境をつくるため、次世代育成支援対策推進法に基づき策定した「次世代育成支援対策行動計画（後期計画）」を新市の計画として再編した。

3　障がい者就労支援

栃木特別支援学校の生徒に対し、実際の職場における就業体験を通して、卒業後の就労に向けての訓練に協力した。

また、就労支援施設、企業、関係機関等のメンバーにより、障がい者の就労支援に関する座談会を２回、研修会を1回開催し、就労支援の推進について意見交換等を行った。

4　実務研修生の受入れ

社会福祉援助技術の現場実習として、福祉大学の学生を受入れ、福祉庁舎内での各種講義や社会福祉施設での現場実習を行った。

5　身体障がい者福祉関係

(1)　障がい者体力増進事業関係

ア　体力回復トレーニング

・実施日　９月４日(日)

・場　所　群馬まいたけセンターほか

・参加者　８７人

イ　第７回栃木県障害者スポーツ大会

・開催日　９月２５日(日)

・主会場　栃木県総合運動公園陸上競技場

・出場者　１１人、１団体

ウ　第６回障がい者軽スポーツ大会

・開催日　３月４日(土)

・会　場　栃木勤労者体育センター

・参加者　４７人

(2)　身体障がい者相談員の活動状況

身体障がい者の自立更生について、１４人の相談員が相談指導に当たった。

6　知的障がい者（児）福祉関係

知的障がい者の自立更生について、１２人の相談員が相談指導に当たった。

7　地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために実施した。

運営状況　（単位：人）

施　設　名	所　在　地	月平均通所者数	通所延べ人員
オープンハウスたんぽぽ	栃木市小平町6-11	173.5	2,082
さざなみの家	栃木市平柳町1-2-7	124.1	1,489
大平地域活動支援センター	栃木市大平町真弓1396	105.3	1,264
藤岡地域活動支援センター	栃木市藤岡町都賀390-13	177.8	2,134
都賀地域活動支援センター	栃木市都賀町家中2357-15	56.6	679

8　民生委員児童委員関係

民生委員児童委員１９０人により､関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員２４人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
798	67	38	115	4	87
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
13	153	89	1,368	2,732	14.4

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
6,161	240	4,143	15,245	23,663	49,452	260

9　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1)　日赤募金（栃木地域）

目　標　額	実　績　額	達　成　率
9,032,000円	8,261,459円	91.5%

(2)　災害による救援品配布状況（栃木地域）

区　分	世帯数	人　数	毛　布	布　団	日用品
火　災	2世帯	7人	6枚	6組	2個

(3)　講習会等

・健康生活支援講習　　1回

10　災害見舞金給付状況　　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	全壊件数	部分損壊	入院	火災死亡
10	－	－	1	1	1	2

11　ふるさと雇用再生特別事業

「ふるさと雇用再生特別事業」制度を活用し、地域求職者を雇用して地域福祉に貢献する４事業を委託した。

委託内容	委託先
地域福祉ホームの運営を支援する事業	特定非営利活動法人　結
障がい者の相談等支援事業	特定非営利活動法人　海がめ 社会福祉法人　なすびの里 社会福祉法人　あゆみ園

障がい福祉担当

1　身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）　　（単位：人）

障　が　い　区　分	手帳所持者数	平成２３年度中交付者数
視　覚　障　が　い	325	20
聴覚・平衡障がい	682	55
音声・言語・そしゃく障がい	59	8
肢体不自由障がい	2,729	132
内　部　障　が　い	1,516	139
複　合　障　が　い	240	5
合　　計	5,551	359

2　知的障がい者(児）の現況(療育手帳交付者数）　　（単位：人）

区　　分	障がい児（１８歳未満）		障がい者		合　計
	男	女	男	女	
重度(A1･A2)	52	32	194	175	453
中度(　B1　)	37	19	172	124	352
軽度(　B2　)	43	29	115	52	239
合　　計	132	80	481	351	1,044

3　身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1)　身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

ア　件数　　（単位：件）

区　　分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義　手	1	2	3	－	－	－
	義　足	7	9	16	－	－	－
装具	下　肢	34	19	53	8	－	8
	靴　型	10	1	11	4	－	4
	体　幹	－	－	－	－	－	－
	上　肢	－	－	－	1	－	1
座位保持装置		4	4	8	2	4	6
盲人安全つえ		6	－	6	－	－	－
義眼		－	－	－	1	－	1
眼鏡	矯正眼鏡	－	－	－	－	－	－
	遮光眼鏡	1	－	1	－	－	－
	弱視眼鏡	－	－	－	－	－	－
補聴器	高度難聴用ポケット型	2	2	4	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	66	21	87	5	8	13
	重度難聴用ポケット型	－	4	4	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	33	45	78	4	13	17
車いす	普通型	6	44	50	3	2	5
	その他	4	8	12	1	－	1
電動車いす		1	4	5	－	－	－
起立保持具		－	－	－	－	－	－
座位保持いす		－	－	－	－	－	－
歩行器		－	1	1	－	－	－
歩行補助つえ		3	－	3	－	－	－
重度障がい者用意思伝達装置		－	－	－	－	－	－
特例補装具		－	－	－	－	1	1
合　　計		178	164	342	29	28	57

イ　費用　　（単位：円）

区分	総額	公費分	自費分
身体障がい者	21,297,738	20,694,790	602,948
身体障がい児	3,963,345	3,684,543	278,802

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても全額助成を行った。

(2)　障がい者（児）等の日常生活用具の給付

ア　件数　　（単位：件）

区分	障がい者	障がい児	難病患者	小児慢性特定疾患児
特殊寝台	3	－	－	－
特殊マット	2	1	－	－
特殊尿器	－	－	－	－
移動用リフト	－	－	－	－
訓練いす	－	1	－	－
入浴補助用具	3	2	－	－
体位変換器	－	－	－	－
便器	－	－	－	－
T字状・棒状のつえ	1	－	－	－
移動・移乗支援用具	4	1	－	－
頭部保護帽	4	－	－	－
特殊便器	－	－	－	－
火災警報器	1	－	－	－
自動消火器	1	－	－	－
聴覚障がい者用屋内信号装置	1	－	－	－
透析液加温器	3	－	－	－
ネブライザー	2	－	1	－
電気式たん吸引器	8	－	2	2
点字タイプライター	－	－	－	－
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	－	－	－
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	1	0	－	－
視覚障がい者用拡大読書器	2	0	－	－
盲人用時計	7	0	－	－
盲人用体温計	3	0	－	－

盲人用体重計	4	0	－	－
点字ディスプレイ	0	0	－	－
聴覚障がい者用通信装置	3	0	－	－
聴覚障がい者用情報受信装置	1	0	－	－
人工喉頭	4	0	－	－
携帯用会話補助装置	1	0	－	－
情報・通信支援用具	3	1	－	－
点字図書	1	0	－	－
ストマ用装具	2,738	0	－	－
紙おむつ	416	154	－	－
収尿器	2	－	－	－
居宅生活動作補助用具	3	－	－	－
パルスオキシメーター	－	－	－	－
車いす	－	－	－	－
クールベスト	－	－	－	－
紫外線カットクリーム	－	－	－	－
合計	3,223	160	3	2

イ　費用

区分	総額
障がい者	35,079,830
障がい児	2,365,632
難病患者	148,800
小児慢性特定疾患児	50,760

4　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

(1)　件数

区分	給付決定者数(件)
視覚障がい	0
聴覚・平衡機能障がい	2
音声・言語・そしゃく機能障がい	6
免疫機能障がい	13
肢体不自由	7
心臓機能障がい	66
腎臓機能障がい	402
計	496

(2)　費用　　（単位：円）

総　額	国県負担金対象分	市単独助成分
168,375,757	166,964,466	1,411,291

5　各種手当の状況

障がいに関係する手当

種　　別		受給者数（人）	支給額（円）
特定疾患者介護手当		850	29,463,000
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	115	32,865,460
	障がい児福祉手当	54	9,563,560
	福祉手当(経過的)	5	989,370
重度心身障がい児扶養手当		125	4,494,000
特別児童扶養手当		179	県で支給

6　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区　　分		実施状況
交付者数		3,887人
	うち障がい者	895人
	高齢者	2,992人
交付枚数		192,004枚
利用枚数		79,971枚
利用率　（利用枚数/交付枚数）		41.7%
助成額		39,993,430円

7　障がい者福祉関係

(1)　障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

平成１８年４月から障害者自立支援法が施行されたことに伴い、障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい者の状況は次のとおりである。

ア　障害者自立支援給付費（介護給付費・訓練等給付費）

サービスの種類		支給決定障がい者数（人）				給付費額（円）	備考
		身体	知的	精神	計		
介護給付費	居宅介護	69	61	45	175	73,013,462	
	行動援護	0	4	0	4	656,450	
	同行援護	2	0	0	2	14,094	
	短期入所	19	35	5	59	46,044,652	
	重度訪問介護	1	0	0	1	1,671,210	
	療養介護	1	0	0	1	3,076,860	
	生活介護	105	196	9	310	623,210,470	
	重度障害者等包括支援	2	1	0	3	5,252,320	
	共同生活介護	7	48	12	67	80,854,120	
	施設入所支援	65	97	2	164	185,529,142	
	サービス利用計画作成費	0	2	0	2	172,000	
	身体障害者更生施設(入所)	0	0	0	0	0	
	身体障害者更生施設(通所)	0	0	0	0	0	
	身体障害者療護施設(入所)	3	0	0	3	14,069,010	
	身体障害者療護施設(通所)	2	0	0	2	269,420	
	身体障害者授産施設(入所)	0	0	0	0	0	
	身体障害者授産施設(通所)	0	0	0	0	0	
	知的障害者更生施設(入所)	0	21	0	21	49,725,810	
	知的障害者更生施設(通所)	0	0	0	0	0	
	知的障害者授産施設(入所)	0	6	0	6	16,345,360	
	知的障害者授産施設(通所)	0	25	0	25	43,674,560	
	知的障害者通勤寮	0	4	0	4	4,031,530	
	特定障害者特別給付費	－	－	－	－	32,525,571	
	計	276	500	73	849	1,180,136,041	
訓練等給付費	共同生活援助	0	23	12	35	15,793,477	
	自立訓練	0	34	1	35	50,807,354	
	就労移行支援	5	34	15	54	66,687,026	
	就労継続支援	26	133	90	249	235,601,933	
	計	31	224	118	373	368,889,790	
合計		307	724	191	1,222	1,549,025,831	

イ　地域生活支援事業

サービスの種類	利用決定障がい者数(人)				支出額(円)
	身体	知的	精神	計	
成年後見制度利用支援事業	0	1	0	1	260,000
コミュニケーション支援事業	19	0	0	19	736,410
移動支援事業	90	111	26	227	20,049,089
訪問入浴サービス事業	3	0	0	3	1,975,000
更生訓練費及び就職支度金給付事業	8	1	3	12	515,830
日中一時支援事業	47	144	51	242	70,035,134
自動車改造費助成事業	4	0	0	4	400,000
自動車運転免許取得助成事業	1	0	0	1	180,000
計	172	257	80	509	94,151,463

(2)　障がい程度区分審査会実施状況

障害者自立支援法に定める、介護給付費の支給に関する障がい程度区分の審査・判定及び、市の障がい福祉サービス支給要否決定に当たって審査会委員が意見を述べることを目的として設置された審査会で平成23年度は22回開催された。実施状況は次のとおりである。

障がい程度区分	身体		知的		精神		身体・知的		身体・精神		知的・精神		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1	2	4.9	6	6.3	1	2.8	0	0	0	0	0	0	9	4.6
2	11	26.8	18	19.0	24	66.6	1	5.6	0	0	1	50.0	55	27.9
3	4	9.8	16	16.8	10	27.8	3	16.6	2	40.0	0	0	35	17.8
4	6	14.6	22	23.2	1	2.8	1	5.6	0	0	0	0	30	15.2
5	7	17.1	16	16.8	0	0	5	27.8	1	20.0	0	0	29	14.7
6	11	26.8	17	17.9	0	0	8	44.4	2	40.0	1	50.0	39	19.8
計	41	100.0	95	100.0	36	100.0	18	100.0	5	100.0	2	100.0	197	100.0
平均区分	3.93		3.79		2.31		4.89		4.60		4.00		3.67	

8　障がい児福祉関係

(1)　障害者自立支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

平成１８年４月から障害者自立支援法が施行されたことに伴い、障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい児の状況は次のとおりである。

ア　障害者自立支援給付費（介護給付費）

サービスの種類		支給決定障がい児数(人)	給付費額(円)	備考
介護給付費	居宅介護	4	3,092,146	
	行動援護	0	0	
	デイサービス	152	48,946,705	
	短期入所	10	6,502,887	
	計	166	58,541,738	

イ　地域生活支援事業

サービスの種類	利用決定障がい児数(人)	支出額(円)	備考
コミュニケーション支援事業	0	0	
移動支援事業	2	148,320	
訪問入浴サービス事業	1	1,046,250	
日中一時支援事業	155	49,379,704	
計	158	50,574,274	

9　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区　　分	交付者数（人）	比　率（%）
1　　級	99	18.2
2　　級	339	62.3
3　　級	106	19.5
合　計	544	100.0

(2)　自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成２３年度は1,224人が受給した。

発達支援担当

1　支援協力ケース会議

支援協力ケース会議は隔週火曜日に開催した。

実施年度	開催数(回)	検討ケース数(件)
平成２２年度	23	72
平成２３年度	19	78

2　発達支援担当相談支援等業務状況

関係機関との横断的な連携を図り、乳幼児期・学齢期・青年期とそれぞれのライフス

テージに合わせた支援を継続的に実施した。心理関係の専門職及び言語聴覚士を配置し、保育園・幼稚園、小中学校への巡回相談を行い、対応に配慮が必要なお子さんに対して具体的な支援の方法について提案することで、園や学校生活の安定を図った。

また、作業療法士を配置して作業療法面からの支援を行った。

(1) 家庭訪問等 （単位：回）

	平成２２年度	平成２３年度
家庭訪問	18	51
電話相談	242	215
来所相談	162	399
合　　計	422	665

(2) 機関別巡回相談回数及び対象人数

	訪問回数(回)	対象者延べ人数（人）	対象者実人数（人）
幼稚園・保育園（民間）	91	284	255
市立保育園	52	120	97
小学校	332	500	161
中学校	34	49	28
特別支援学校等	1	1	1
療育機関等	35	71	64
合計	545	1,025	606

3　健康診査等職員派遣状況

健康増進課所管の１歳６か月児健診、３歳児健康診査、５歳児発達相談等に発達支援担当の職員（心理職、言語聴覚士等）を派遣し、発達障がいを含む障がい児等を早期に療育の場につなげる等、子どもの特性に応じた環境整備を図った。

(1) １歳６か月児健康診査実施状況（面接、行動観察）

・派遣回数　２０回

・心理職等派遣延べ人数　４０人

(2) ３歳児健康診査実施状況（面接、行動観察）

・派遣回数　１９回

・心理職等派遣延べ人数　２０人

(3) ５歳児発達相談実施状況（面接、行動観察）

・派遣回数　３８回

・観察人数　２９９人

・心理職等派遣延べ人数　６９人

(4) 乳幼児発達相談実施状況（保護者面接、受診者のアセスメント）

・派遣回数　１８回

・対象延べ人数　９８人

・心理職等派遣延べ人数　９３人

4　啓発活動及び研修状況

保育園・幼稚園、小中学校を始めとした関係機関等に対し発達障がいの基本的な理解や支援に対する研修を実施した。

支援協力者研修は､障がいや虐待等何らかの支援ニーズを抱える児童や家庭に対して、関係課が協力して支援を行うために、支援者の資質向上を図ることを目的に研修を実施した。

また、平成２３年度には地域福祉について市民の理解を促進し、お互いを理解する心を育てる観点から障がい児者アートセミナーを開催した。

(1)　啓発活動（講演会等）参加

実施日	演　題　等	主　　催
6月9日(木)	下都賀地区特別支援教育研修会 「通常学級における特別支援教育」	下都賀教育事務所
6月10日(金)	出前講座（ボーイスカウト栃木第１団） No.26「自閉症等発達障がいについて」	生涯学習課
6月15日(水) 7月6日(水) 10月12日(水) 11月9日(水)	ゆっくり学習会 「特別な教育的支援を必要とする児童生徒の理解と支援」 ①特性の理解　②支援の手立て	学校教育課
6月20日(水)	「ことばの教室のお友達」	栃木市ことばを育てる会 （栃木中央小ことばの教室）
6月21日(火) 10月25日(火) 2月21日(火)	プチなかよしタイム	こども課 地域子育て支援センター
6月24日(金)	被災者支援研修	社会福祉課　福祉政策担当
7月22日(金)	校内研修会 「通常学級における特別支援教育」	栃木市立藤岡小学校
8月3日(水)	校内研修会 「通常学級における特別支援教育」	栃木市立国府南小学校
8月4日(木)	支援を必要とする児童の具体的対応について	栃木市立栃木第五小学校
8月9日(火)	平成23年度特別支援学校地域センター的機能充実事業研修会 特別支援教育研修 「WISC検査の実施について」	栃木県立栃木特別支援学校
10月21日(金) 11月25日(金)	栃木市家庭教育学級 「ペアレントトレーニングを活かした子育て」	生涯学習課
10月26日(水)	学校保健委員会　「発達障害を学ぶ」	栃木市立大宮北小学校
1月24日(火)	栃木市養護教諭部会研修会 「社会福祉課（発達支援担当）と学校との連携について」	栃木市学校保健会
1月26日(木)	摂取嚥下機能とその障害・介入方法	医療法人親仁会　佐藤病院

2月15日(水)	発達障害について	生涯学習課
6月1日(水) 7月20日(水) 9月6日(火) 12月14日(水) 2月8日(水)	すくすく教室（子育て支援教室） 「子育てアドバイス」	健康増進課
6月18日(土) 10月8日(土) 2月18日(土)	両親教室講話 「家族のふれあいの大切さ」	大平・藤岡総合支所 健康福祉課

(2)　発達障がい研修会

実施日	演　題　等	参加人数(人)	講　師
8月5日(金)	発達障がい研修会 「理解から支援につなげるステップ ～特別な支援を必要とする子どもとのかかわり方～」	62	目白大学　人間学部 心理カウンセリング学科 准教授　高橋　稔氏
8月26日(金) 9月16日(金) 10月21日(金) 11月25日(金) 1月27日(金)	スキルアップ研修（全5回）	延べ35	学校教育課　指主事 発達支援担当職員導 トータルサポート専門員

(3)　支援協力者研修

実施日	演　題　等	講　師
4月26日(火)	栃木県の特別支援教育における課題と展望	前宇都宮市教育センター副所長 現宇都宮市昭和小学校校長 戸崎　克己氏
6月7日(火)	保護者への対応が困難な事例に対する支援	目白大学　心理カウンセリング学科 准教授　高橋　稔氏
7月28日(木)	子どもの心のケア ～小児精神科医の立場から～	自治医科大学　とちぎ子ども医療センター 医師　星野　美幸氏
9月27日(火)	家族支援について ～多重に問題を抱えた家族を支援するために～	前県南健康福祉センター 横山　ユキ氏
10月18日(火)	思春期の問題行動への対応とは	学校教育課　指導主事 三谷　誠氏
11月15日(火)	不登校支援の現状と課題	学校教育課　学校教育支援専門員 五十畑 覚氏
12月8日(木)	子どもの課題に家庭でどう取り組むか ～発達障がい児の生活・余暇を支援する～	明星大学　人文学部心理学科講師 竹内　康二氏
2月6日(月)	様々なケースの理解と対応	社会福祉課　トータルサポート専門員 佐藤　直昭

(4)　障がい児者アートセミナー

・実 施 日　１０月３０日（日）　午後１時３０分～午後４時

・会　　場　栃木市西方総合文化体育館

・来 場 者　５２０人

・実施内容　第一部：金澤翔子氏による席上揮毫「希望光」

翔子氏・栃木女子高等学校書道部による演技

第二部：金澤泰子氏による講演

「母と子の絆　～その愛の軌跡～」

5　未就学児ことばの教室

栃木市に住所を有する、就学前でことばやコミュニケーションに課題のある幼児等を対象に、ことばの指導を行い社会への適応能力の育成を図った。

	実人数(人)	延べ人数(人)	実施場所
栃木教室	38	548	栃木保健福祉センター、市民会館
大平教室	38	988	各幼稚園・保育園、ゆうゆうプラザ
藤岡教室	14	271	藤岡公民館、藤岡スポーツふれあいセンター
都賀教室	9	180	都賀保健センター
計	99	1,987	

6　いろどり教室（放課後等巡回指導教室）

集団生活で課題を持つ幼児・児童・生徒を対象に、社会性の獲得を目指したプログラムを実施して集団への適応力を育むとともに、その経過を保護者、支援者と共有することで子どもの特徴に合わせた支援方法についての理解と啓発を図り、その後の継続的支援を行った。

対象	実人数(人)	実施延べ回数(回)
未就学児	2	22
学齢児	15	97

第２節　生活福祉課

〔総括概要〕

昨今の世界的な経済不況や大震災等の影響で、経済・雇用環境が悪化するとともに、急速な高齢化の進展や核家族化の進行により、生活保護受給者が急増している状況の中、生活保護法、実施要領等関係法令を順守し生活困窮者に対して公平かつ適切な保護を心がけ、最低生活の保障と自立助長を図るとともに生活保護業務の組織的管理を推進し、生活保護の適正実施を行うことを生活保護の運営方針として取り組みを進めている。

平成２２年度までは、福祉サービス課で取り組んできたところであるが、平成２３年度からは生活福祉課を設置し、生活困窮者に対し最低限度の生活を保障するとともに就労支援等により積極的に自立の助長を図り、適切かつきめ細やかな処遇の充実に努めた。

生活福祉担当

1　生活保護及び支援給付関係

(1)　被保護世帯数

ア　地区別状況

区　　分	総 数	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方
世 帯 数	920	626	145	79	50	20
比 率 %	100	68.0	15.8	8.6	5.4	2.2

イ　世帯類型別状況

区　　分	総 数	高齢者	障がい者	傷病者	母　子	その他
世 帯 数	920	419	77	270	33	121
比 率 %	100	45.5	8.4	29.3	3.6	13.2

ウ　労働力類型別状況

区　　分	総 数	世 帯 主 常用勤労者	世 帯 主 日雇労働者	世 帯 主 内 職 者	その他の 就 労 者	世帯員が 稼　働	稼 働 者 な　し
世 帯 数	920	14	45	3	7	19	832
比 率 %	100	1.5	4.9	0.3	0.8	2.1	90.4

(2)　生活保護新規相談及び開始・廃止ケースの状況

	新　規　ケ　ー　ス　の　処　理　状　況					
	相談件数	申請件数	開 始 数	取 下 数	却 下 数	廃止件数
４月	59	11	14	0	1	10
５月	59	15	13	2	1	7
６月	47	15	14	1	1	16

7月	54	16	12	0	3	7
8月	65	10	10	1	0	15
9月	43	14	12	1	1	11
10月	40	9	7	0	1	5
11月	55	9	8	1	0	7
12月	68	16	12	2	1	10
1月	67	12	13	0	0	11
2月	56	9	7	1	0	6
3月	62	11	10	1	1	12
合　　計	675	147	132	10	10	117
月 平 均	56	12	11	1	1	10

(3)　保護施設入所者状況

生活保護法による保護施設の入所状況は次のとおりである。

・施設名　共生の杜（救護施設）

・入所者数　８４人（年間延べ）

(4)　生活保護費等の支出状況

・支出状況　【別表１】生活保護費等の支出状況

(5)　中国残留邦人支援給付費の支出状況

・支出状況　【別表２】中国残留邦人支援給付費の支出状況

2　行旅死病人等取扱状況

取扱件数及び扶助費の支出額は次のとおりである。

区　　分	件数(人)	支出額（円）
行旅死亡人	2	367,303
行 旅 病 人	2	294,366
行　旅　人	23	11,640
合　　計	27	673,309

【別表１】 生活保護費等の支出状況 （単位：円）

月別	被保護		生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	出産扶助費	生業扶助費	葬祭扶助費	保護施設事務費	合計
	世帯数	人員										
4月	884	1,233	47,946,389	18,148,209	893,264	3,562,166	58,263,691	－	912,100	－	884,156	130,609,975
5月	887	1,229	48,287,914	18,321,848	907,390	4,894,770	63,611,932	244,500	457,390	552,192	868,136	138,146,072
6月	894	1,241	47,486,238	17,782,162	1,551,300	4,429,037	62,324,618	－	365,490	225,058	869,003	135,032,906
7月	890	1,243	48,521,370	18,155,132	926,430	4,546,920	60,762,084	－	335,960	－	869,003	134,116,899
8月	893	1,240	47,517,033	17,231,168	561,220	5,011,673	81,783,084	370,630	309,180	710,514	869,003	154,363,505
9月	890	1,237	48,871,181	18,304,585	868,320	4,756,776	64,420,875	－	334,360	626,500	869,003	139,051,600
10月	909	1,256	48,630,214	17,859,461	802,230	4,628,030	84,844,744	－	318,190	329,610	844,943	158,257,422
11月	912	1,258	53,724,827	18,341,511	848,080	4,491,102	74,118,825	－	349,640	10,500	850,975	152,735,460
12月	917	1,262	67,689,169	19,258,756	783,800	4,478,608	74,961,777	－	590,149	－	856,045	168,618,304
1月	920	1,265	54,948,152	18,437,636	812,820	4,590,069	84,648,085	－	294,409	191,000	850,975	164,773,146
2月	916	1,255	53,274,603	17,929,840	803,017	4,275,251	90,423,321	－	305,170	463,246	850,975	168,325,423
3月	920	1,258	52,600,146	18,114,715	742,080	4,182,234	72,398,532	704,690	416,290	667,495	850,975	150,677,157
合計	10,832	14,977	619,497,236	217,885,023	10,499,951	53,846,636	872,561,568	1,319,820	4,988,328	3,776,115	10,333,192	1,794,707,869
月平均	903	1,248	51,624,770	18,157,085	874,996	4,487,220	72,713,464	109,985	415,694	314,676	861,099	149,558,989
扶助別構成比			34.5%	12.1%	0.6%	3.0%	48.6%	0.1%	0.3%	0.2%	0.6%	100.0%

※ 保護率 8.73‰

前年度比保護費 5.3%増

前年比保護世帯数 8.4%増

前年比保護人員 6.5%増

【別表２】中国残留邦人支援給付費の支出状況　　（単位：円）

月別	支援給付		生活	住宅	医療	介護	出産	生業	葬祭	合計
	世帯数	人員	支援給付費	支援給付費	支援給付費	支援給付費	支援給付費	支援給付費	支援給付費	
4月	1	1	57,244	22,400	256,370	－	－	－	－	336,014
5月	1	1	57,244	22,400	68,000	－	－	－	－	147,644
6月	1	1	57,244	22,400	16,550	－	－	－	－	96,194
7月	1	1	57,650	22,400	26,820	－	－	－	－	106,870
8月	1	1	64,889	22,400	21,580	－	－	－	－	108,869
9月	1	1	61,161	22,400	36,070	－	－	－	－	119,631
10月	1	1	59,211	22,400	22,030	－	－	－	－	103,641
11月	1	1	64,251	22,400	－	－	－	－	－	86,651
12月	1	1	75,881	22,400	－	－	－	－	－	98,281
1月	1	1	64,251	22,400	19,470	－	－	－	－	106,121
2月	1	1	64,251	22,400	28,570	－	－	－	－	115,221
3月	1	1	64,251	22,400	13,140	－	－	－	－	99,791
合計	12	12	747,528	268,800	508,600	－	－	－	－	1,524,928
月平均	1	1	62,294	22,400	42,383	－	－	－	－	127,077
支援給付別構成比			49.0%	17.6%	33.4%	－	－	－	－	100.0%

第３節　こども課

〔総括概要〕

こども担当では、昼間仕事をしている保護者が、子どもを保育園へ預けるための入園手続きの受理や子育てに関する相談業務を行った。

学童保育事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。

幼稚園就園奨励費補助事業では、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金を交付した。

ファミリー・サポート・センターでは、仕事と育児の両立を図り、安心して働ける環境づくりを進めるため、地域における子育て支援機能の強化に努めた。

地域子育て支援センターでは、子育て家庭への育児支援を図るため、子育てに関する情報提供や育児不安等に関する相談支援を行った。また、保護者間の交流を図るとともに、親子･子ども同士が楽しく触れ合うことのできる事業を企画実施した。

児童館では､地域における子育て支援の拠点として､児童の健全育成を図るため、地域社会と連携しながら、子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行った。

児童に関する手当等については、子ども手当・児童扶養手当・遺児手当の支給を行うとともに、市単独事業として、第2子以降の児童の出生に対し、赤ちゃん誕生祝金の支給を行った。

保育園では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、一時預かり事業、特別支援保育事業、休日保育事業等の特別保育を実施し、児童の福祉の向上を図った。

家庭児童相談室では、児童の家族関係の健全化や児童養育の適正化に努めた。

ひとり親家庭の福祉については、相談業務等を通してひとり親家庭の抱えている問題を把握し、関係機関と連携し問題解決に努めたほか、経済的支援として母子寡婦福祉資金貸付の申請の受付等を行った。

要保護女子等については、「売春防止法」、「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき、被害女性の保護・自立支援を行った。

こども担当

1　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象とし、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。（栃木地域７小学校区内・９学童保育）

学童保育利用者数　（単位:人）

学年 / 学童保育名	１学年			２学年			３学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
なかよし(栃木中央小)	12	6	18	6	6	12	7	5	12	25	17	42
ひまわり(栃木第三小)	9	5	14	3	9	12	2	10	12	14	24	38
しろのうち（栃木第四小）	3	4	7	4	2	6	2	6	8	9	12	21
杉の木(栃木第五小)	7	10	17	8	7	15	1	3	4	16	20	36
のびっこ（南小）	2	11	13	2	6	8	8	3	11	12	20	32
宮の子第１(大宮北小)	7	6	13	9	14	23	0	3	3	16	23	39
宮の子第２(大宮北小)	7	7	14	7	7	14	3	8	11	17	22	39
宮の子第３(大宮北小)	8	4	12	10	6	16	4	7	11	22	17	39
いとひば(吹上小)	7	8	15	4	4	8	10	8	18	21	20	41
計	62	61	123	53	61	114	37	53	90	152	175	327

2　子育てサロン推進事業への協力

保健福祉センター内にある「おもちゃ図書館」（ＮＰＯ法人蔵の街たんぽぽの会）が実施している事業。乳幼児親子が多く集まる場所にあり、子育てに関する相談や情報交換ができる場として気軽に利用できるよう、事業内容のＰＲ等の協力をした。

3　地域組織活動（母親クラブ）への支援

保護者等が組織し、児童館等を拠点に、世代間交流や児童養護に関する研修活動、児童の事故防止活動等を自主的に実施する母親クラブに対し、活動の支援・指導を行った。

組　織　名	活　動　場　所	会員数(人)
栃木市チャレンジ母親クラブ	栃木市いまいずみ児童館	42
栃木市母親クラブゆるく	栃木市大宮地区公民館	30

4　幼稚園就園奨励費補助金交付事業（本庁交付分）

私立幼稚園に就園する満３歳児、３歳児、４歳児及び５歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金を交付した。

(1)　国庫補助事業交付額

・交付園　２９園

・交付対象人数　９３４人

・交付金額　95,438,200 円

(2)　県補助事業交付額

・交付園　９園

・交付対象人数　２６人

・交付金額　2,437,050 円

(3)　市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金交付額

・交付園　１０園

・交付対象人数　１１６人

・交付金額　19,613,500 円

(4)　市単独補助事業幼稚園就園奨励費国庫非該当世帯特別補助金交付額

・交付園　１４園

・交付対象人数　１５６人

・交付金額　936,000 円

5　幼稚園教育助成補助事業

市内の私立幼稚園（１４園）に対し、幼児教育振興のために補助金を交付した。

・交付額　300,000円×14園＝4,200,000円

6　幼稚園子育て支援事業費補助事業

市内の私立幼稚園に対し、子育て支援事業拡充のために補助金を交付した。

・交付対象　１４園

・交付額　400,000円×14園＝5,600,000円

7　幼稚園障がい児教育補助事業

私立幼稚園における障がい児教育の充実を図るため、障がい児が１人のみ就園する市内の幼稚園に対し補助金を交付した。

・交付対象　５園

・交付額　392,000円×5園＝1,960,000円

8　幼保小連絡協議会交付金交付事業

幼稚園、保育園、小学校間の情報交換や授業交流等を推進し、園児や児童の実態や教育、保育内容等についての相互理解を深め、また教職員の資質向上を図り、連携を強化することを目的とする本協議会の活動に対し、交付金を交付した。

・交付額　20,000円

9　ファミリー・サポート・センター事業

(1)　会員数の内訳

会員種別	会員数(人)
育児依頼会員	672
育児提供会員	154
依頼･提供両会員	115
計	941

(2)　活動状況

援　助　活　動　内　容	活動件数(件)
保育所･幼稚園への登園前の預かり及び送り	414
保育所･幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	808
保育所･幼稚園の帰宅後の預かり	－
学童保育前の預かり及び送り	45
学童の放課後の預かり	－
登校前の預かり及び送り	173
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	159
学童保育からの帰宅後の預かり	－
子どもの病気時の援助	13
子どもの習い事等の場合の援助	603
保育所･学校等休み時の援助	152
保育所等施設入所前の援助	－
保護者等の短時間･臨時的就労の場合の援助	75
保護者等の求職活動中の援助	－
保護者等の冠婚葬祭による外出､他の子どもの学校行事の場合の援助	－
保護者等の外出の場合の援助	45
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	1
他の子どもの用事の場合の援助	15
その他	24
合　　計	2,527

10　地域子育て支援センター

(1)　利用者数推移　　(単位：人)

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
21年度	983	2,032	2,320	1,006	95	87	79	5,994	12,596
22年度	1,580	2,037	2,370	1,090	186	53	54	6,439	13,809
23年度	1,210	2,649	1,974	984	193	81	38	6,555	13,684

(2)　活動状況

ア　日常活動

・参加者　　延べ 11,288 人

・活動内容　子育て情報提供、子育て情報交換、子育て相談

(ｱ)　絵本タイム

・実施時間　午前１１時～１１時２０分、午後４時～４時２０分

・内　　容　絵本、紙芝居、わらべうた、手遊び、体操等

(ｲ)　園庭開放

・実施曜日　毎週月・水・金曜日

・実施時間　午前１１時２０分～正午

イ　定例活動

・実施回数　計 59 回

・参加者　　延べ 2,396 人

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施

・実施日時

区　分	開催日	開催時間
なかよしタイム	毎週水曜日	午前 10 時～11 時
プチなかよしタイム	月１回火曜日	午前 10 時～11 時
ほんわかタイム	月１回火曜日	午前 10 時～11 時

ウ　特別活動　　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数
1	こいのぼり作り	90
2	ファミサポ講習会（4 回）	200
3	緑地公園で遊ぼう（5 園合同）	54
4	避難消火訓練（2 回）	38
5	絵本講座	93
6	親子リトミック	79
7	七夕かざり	83
8	親子ヨガ	80
9	ファミサポ交流会(3 回)	288
10	プールあそび	154
11	運動会	91
12	ベビーマッサージ	79
13	ツリー作り	77

14	クリスマス会	156
15	鬼のお面作り	44
16	おたのしみ会	182
17	おひなさま作り	69
18	わらべうたあそび（5園合同）	72
合　　計		1,929

エ　子育て相談　　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ他	62	62	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘他	32	32	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い他	27	27	0
健康に関すること	ほふく・歩行身体の発達・健康　他	54	54	0
ことばに関すること	発語が遅い・幼児語　他	12	10	2
対人関係	他の子とのかかわり　他	27	25	2
その他	性格・育児依頼・入園について・病気・親のストレス・家庭環境祖父母との関わり他	143	135	8
合　　計		357	345	12

11　児童館

児童の健康を増進し、情操を豊かに育むことを目的とし、児童に対し遊びを通じた指導や情報提供、相談支援等を行うとともに、地域組織や地域住民と連携を図りながら、各種事業を実施した。

(1)　はこのもり児童センター

ア　利用状況

利用者数		19,191 人
内訳	幼児	391 人
	小学校 1～3 年	10,209 人
	小学校 4～6 年	3,815 人
	中学生	2,933 人
	高校生	1,157 人
	大人	686 人
会館日数		294 日
1 日平均利用人数		65 人
学童保育		8,216 人

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
工作教室（21回）	429	バルーンショー＆教室	99
世代間交流遊び（3回）	70	料理教室	16
夏祭り	107	ゲーム	48
ハッピーハロウィン	104	合　計	873

(2)　いまいずみ児童館

ア　利用状況

利用者数		12,403人
内訳	幼児	4,649人
	小学校1～3年	1,030人
	小学校4～6年	1,981人
	中学生以上	182人
	大人	4,210人
	団体	351人
会館日数		296日
1日平均利用人数		42人

イ　事業実施状況　（単位:人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ママといっしょ（36回）	1,569	やさい作り	18
スマイル・スマイル（7回）	388	児童館まつり	139
にこにこたいむ（7回）	331	観劇会	140
わくわくたいむ（7回）	144	手作り体験バスツアー	21
リトミックワールド（4回）	143	ゴムバンド骨盤体操	11
みんなであそぼう！（3回）	33	豆まき会	29
こいのぼり作り（6回）	92	ひな人形作り（6回）	108
七夕飾り作り（6回）	78	春休み工作タイム	19
みんなで聴いて…みんなで歌って…笑顔いっぱい	41	泉寿園との交流「新春カルタとり大会」	32
夏まつり	241	ベビーマッサージ＆育児相談	16
紙芝居読み聞かせ	9	合　計	3,602

(3)　そのべ児童館

ア　利用状況

利用者数	13,537人

内訳	幼児	5,025 人
	小学校 1～3 年	1,517 人
	小学校 4～6 年	1,940 人
	中学生以上	539 人
	大人	4,516 人
会館日数		298 日
1 日平均利用人数		45 人

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
0 歳親子ビクス（6 回）	207	夏の工作	16
親子ビクス（5 回）	149	敬老の日のプレゼント作り	24
ぷちぷちひろば（11 回）	248	防災体験ツアー	21
のびのびひろば（11 回）	613	観劇会	145
幼児教室（22 回）	715	毛糸まきまきミニクリスマスツリー作り	33
ぺたぺた記念日（12 回）	621	新春福引き	73
いちご狩り（震災のため中止）	0	西部生きがいセンター祭り	158
七夕飾り作り	54	ベビーマッサージ	10
夏まつり	270	森永工場見学ツアー	24
水あそび（4 回）	125	合計	3,506

12　児童に関する手当

種別	受給者数（人）	認定件数（件）
子ども手当	10,964	949
児童扶養手当（うち父子家庭）	1,080(68)	118(17)
遺児手当	52	6

13　チャイルドシート購入費助成事業

児童を乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図ることを目的に、チャイルドシート購入費の一部助成を行った。

・助成件数　７５６件
・助成額　4,682,800円
・助成金の額等　満６歳未満の児童１人に付１台
　購入費の２分の１の額
　限度額5,000円（～Ｈ２３．６月購入分10,000円）

14　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に資することを目的に、１８歳未満の児童を養育し、第２子以降のお子さんが誕生した保護者に祝金を支給した。

・支給額　6,620,000円

・支給状況

区　分	祝金の額	支給件数
第２子	10,000円	348件
第３子以降	20,000円	157件

15　赤ちゃんの駅登録事業

子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めることを目的に、平成２３年８月、赤ちゃんの駅登録事業を開始した。

おむつ替えや授乳のため自由に利用することのできる施設を、赤ちゃんの駅として登録し、市民への周知を図った。

・赤ちゃんの駅登録数　５３か所（公共施設４１か所・民間施設１２か所）

16　子育て応援企業登録事業

従業員の仕事と子育ての両立支援や、地域における子育て支援に取り組む（取り組もうとする）企業を、子育て応援企業として登録し、市民への周知を行った。

・子育て応援企業登録数　１５企業

17　保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

(1)　保育所入所状況

ア　児童定員・異動状況　（単位:人）

区分	保育園名	定　員	23年4月1日 入所児童数	途中入所 児 童 数	退所児童数	24年3月1日 入所児童数
公立	いまいずみ保育園	100	112	13	4	121
	いりふね保育園	45	49	2	4	47
	おおつか保育園	60	67	6	2	71
	はこのもり保育園	130	147	12	2	157
	そのべ保育園	60	64	7	5	66
	ぬまわだ保育園	60	55	10	3	62
私立等	さくら保育園	235	273	32	8	297
	さくら第２保育園	40	47	1	1	47
	ひがしのもり保育園	60	65	7	―	72
	けやき保育園	150	151	15	2	164

	市外委託保育園	―	16	25	5	36
計		940	1,046	130	36	1,140

イ　階層別児童数

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	いまいずみ保育園	－	13	13	30	13	20	11	15	6	121
	いりふね保育園	1	8	9	9	10	8	－	1	－	46
	おおつか保育園	－	16	8	10	8	6	9	12	2	71
	はこのもり保育園	－	12	9	30	31	26	19	25	5	157
	そのべ保育園	1	11	5	23	5	8	5	5	－	63
	ぬまわだ保育園	1	20	9	16	7	1	－	3	1	58
私立等	さくら保育園	－	15	27	56	39	40	40	51	17	285
	さくら第２保育園	－	2	2	7	10	11	10	4	1	47
	ひがしのもり保育園	－	9	4	15	4	7	14	17	2	72
	けやき保育園	－	17	20	37	28	18	23	14	3	160
	市外委託保育園	－	－	6	4	6	8	2	9	1	36
合計		5	123	112	237	161	153	133	156	38	1,116

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

※他市町からの受託者については、市は運営委託費を請求しており保護者からの保育料が発生しないため含まない。

ウ　年齢別児童数（３月１日現在）　（単位：人）

区分	保育園名	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳以上	計
公立	いまいずみ保育園	14	16	22	20	49	121
	いりふね保育園	1	4	10	11	21	47
	おおつか保育園	5	13	14	8	31	71
	はこのもり保育園	15	25	29	27	61	157
	そのべ保育園	1	9	13	13	30	66
	ぬまわだ保育園	3	10	12	14	23	62
私立等	さくら保育園	20	30	48	69	130	297
	さくら第２保育園	9	18	20	－	－	47
	ひがしのもり保育園	5	11	7	17	32	72
	けやき保育園	18	26	30	34	56	164
	市外委託保育園	11	7	7	6	5	36
合　計		102	169	212	219	438	1,140

(2)　施設運営全般

施設運営上の目標

・幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備

・幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の

有効利用

・保育内容の充実と技術の向上

・安全対策と保護者との対応

・地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区　分	回 数	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	5月・10月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・10月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回 数	実 施 月	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	5月・10月	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月・10月	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ｱ) 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(ｲ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ｳ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数　　なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

・心身ともに健康な子ども

・自分で考え行動する子ども

・喜んで話したり聞いたりする子ども

・人とのかかわりの中で相手を思いやる子ども

・豊かな感性を持つ子ども

・地域の中で育つ子ども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年齢別に年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
４月		入園式
５月	こどもの日、母の日	園外保育

６月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	保育参観
７月	七夕祭り	納涼祭、プール開き
８月	お盆	プール大会(閉い)
９月	防災の日、敬老の日、秋分の日	お月見会
10月	体育の日	運動会、老人スポーツ大会
11月	文化の日、勤労感謝の日	遠足
12月	師走	もちつき大会、保育参観
１月	お正月	正月集会
２月	節分(まめまき)	
３月	ひなまつり	お別れ遠足、お別れ会、卒園式

※　その他、毎月誕生児の誕生会を催す。

エ　特別支援保育の状況

・特別支援保育対象児童数

保育園名	人数(人)	保育園名	人数(人)
いまいずみ保育園	2	はこのもり保育園	5
い り ふ ね保育園	1	そ の べ保育園	2
お お つ か保育園	2	ぬまわだ保育園	2
		計	14

・保育方法　混合保育で実施

オ　延長保育の状況

保育園名	平均月延利用人数(人)	保育時間
いまいずみ保育園	62	午前7時～午後7時
はこのもり保育園	170	午前7時～午後7時
さ く ら 保 育 園	292	午前7時～午後7時
さくら第２保育園	42	午前7時～午後7時
ひがしのもり保育園	47	午前7時～午後7時
け や き 保 育 園	43	午前7時～午後7時
計	656	

カ　一時預かりの状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
はこのもり保育園	198
さくら第２保育園	455

ひがしのもり保育園	973
けやき保育園	174
計	1,800

キ　休日保育の状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
さくら保育園	152

ク　病後児保育事業

実施保育園名	延べ利用者数(人)
さくら保育園	102

ケ　低年齢児保育（０、１、２歳児）（３月１日現在）　　（単位:人）

区分	保育園名	０歳児	１歳児	２歳児	計
公立	いまいずみ保育園	14	16	22	52
	いりふね保育園	1	4	10	15
	おおつか保育園	5	13	14	32
	はこのもり保育園	15	25	29	69
	そのべ保育園	1	9	13	23
	ぬまわだ保育園	3	10	13	26
私立等	さくら保育園	20	30	47	97
	さくら第２保育園	9	18	20	47
	ひがしのもり保育園	5	11	7	23
	けやき保育園	18	26	30	74
	市外委託保育園	11	7	7	25
計		102	169	212	483

コ　保護者との連携

・保育参観

・送迎時の連絡

・子育て等相談

(5)　防災対策の状況

ア　設備、遊具等の整備点検

イ　避難訓練

ウ　安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

(6)　給食実施状況

ア　予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定する。

イ　給食構成

・乳児　主食、副食、おやつ（完全給食）

・幼児　副食、おやつ

ウ　１日当たり平均栄養摂取量状況

(ｱ)　３歳未満児（主食及び副食＋おやつ）　（平成23年度平均）

栄養素等 / 保育園名	ｶﾛﾘｰ (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	ｶﾙｼｳﾑ (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μg)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
いまいずみ保育園	512	20.5	16.0	287	2.4	312	0.28	0.43	26	1.7
いりふね保育園	506	20.0	16.2	291	2.3	321	0.27	0.44	27	1.7
おおつか保育園	517	20.7	16.4	290	2.5	334	0.27	0.44	27	1.8
はこのもり保育園	500	20.0	15.8	286	2.3	317	0.26	0.43	26	1.7
そ　の　べ保育園	503	20.4	16.0	300	2.3	319	0.27	0.45	26	1.6
ぬまわだ保育園	511	20.5	15.9	282	2.3	315	0.28	0.43	26	1.6
栄養給与目標	490	18.0	11~16	200	2.3	190	0.25	0.28	20	

(ｲ)　３歳以上児（副食＋おやつ）　（平成23年度平均）

栄養素等 / 保育園名	ｶﾛﾘｰ (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	ｶﾙｼｳﾑ (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
いまいずみ保育園	404	20.0	16.4	298	2.3	373	0.29	0.45	30	1.9
いりふね保育園	404	19.6	16.7	300	2.3	385	0.27	0.45	30	1.9
おおつか保育園	409	20.4	17.1	304	2.4	401	0.28	0.47	31	2.0
はこのもり保育園	399	19.7	16.3	300	2.3	380	0.28	0.46	30	1.9
そ　の　べ保育園	396	19.7	16.1	302	2.3	377	0.27	0.46	29	1.7
ぬまわだ保育園	400	20.0	16.4	292	2.2	378	0.28	0.45	30	1.8
栄養給与目標	400	19.0	13~19	270	2.5	200	0.32	0.36	20	

(7)　特別保育科目設定実施事業

ア　世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や､季節的行事･伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園名	実施回数	実施保育園名	実施回数
いまいずみ保育園	3	ぬまわだ保育園	5
いりふね保育園	3	さくら保育園	6
おおつか保育園	7	さくら第２保育園	2
はこのもり保育園	3	ひがしのもり保育園	7
そのべ保育園	3	合計	39

イ　異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。

実施保育園名	実施回数	実施保育園名	実施回数
いまいずみ保育園	1	ぬまわだ保育園	1

いりふね保育園	1	さくら保育園	3
おおつか保育園	1	さくら第２保育園	2
はこのもり保育園	1	ひがしのもり保育園	4
そのべ保育園	4	けやき保育園	4
		合計	22

ウ　子育て・仕事両立支援

乳幼児をもつ保護者等に対する育児講座の開催や育児に関する情報提供等を行った。

実施保育園名	実施回数	実施保育園	実施回数
いまいずみ保育園	4	ぬまわだ保育園	4
いりふね保育園	3	さくら保育園	15
おおつか保育園	4	さくら第２保育園	7
はこのもり保育園	16	ひがしのもり保育園	10
そのべ保育園	4	合計	67

18　児童福祉関係

(1)　児童福祉施設措置児童数　（単位：人）

施設別	児童数		
	男	女	計
乳児施設	2	5	7
児童養護施設	10	4	14
児童自立支援施設	1	－	1
知的障害児施設	7	－	7
自立援助施設	－	1	1
重度心身障害児施設	3	2	5
肢体不自由児施設	3	－	3
情緒障害児短期治療施設	1	1	2
里親委託	3	2	5
計	30	15	45

(2)　家庭児童相談室

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員３人により各種の相談指導を行った。

・月別・問題別相談指導件数及び訪問回数　（単位：件）

区分	性格生	知能	学校生活等	非行	家族関係	環境	心身	その他	合計	訪問回数(回)

	活習慣	言語	人間関係	不登校	その他		虐待	その他	福 祉	障がい			
4月	5	0	0	91	29	23	33	72	115	21	24	413	214
5月	0	0	0	86	17	32	9	37	73	19	190	463	333
6月	3	0	0	51	14	10	27	53	72	26	278	534	417
7月	0	0	0	77	15	16	23	37	86	24	30	308	228
8月	0	0	5	51	14	13	25	42	99	27	29	305	200
9月	6	0	6	50	24	5	12	44	116	21	30	314	233
10月	4	0	12	37	17	16	20	30	133	29	23	321	223
11月	3	0	6	43	23	9	29	50	103	39	19	324	217
12月	10	0	28	74	20	4	13	56	95	44	35	379	246
1月	4	0	11	58	20	0	23	55	113	56	41	381	202
2月	7	0	7	78	55	0	13	28	108	53	22	371	242
3月	8	0	16	45	27	5	30	23	82	61	37	334	191
計	50	0	91	741	275	133	257	527	1,195	420	758	4,447	2,946

19　ひとり親家庭福祉関係

(1)　母子寡婦福祉資金貸付申請状況

種　　類	件　　数（件）	金　　額（円）
修　学　資　金	20	27,202,400
就　学　支　度　資　金	18	7,178,000
修　業　資　金	1	278,000
技　能　習　得　資　金	－	－
生　活　資　金	2	3,693,000
転　宅　資　金	－	－
医　療　介　護　資　金	－	－
計	41	38,351,400

(2)　母子生活支援施設の利用状況

生活上の問題から保護を要する母子を母子生活支援施設に入所措置し、母子の福祉の向上を図った。

施　　設	継　続	23年度新規入所	23年度退所	23年度末時点での入所状況
県　内（2か所）	－　世帯	3　世帯	3　世帯	0　世帯
	－　人	5　人	5　人	0　人

第４節　高齢福祉課

〔総括概要〕

我が国では、急速な人口の高齢化により西暦２０１５年には４人に１人が高齢者になると予測されている。こうした人口の高齢化や核家族化の進行、市民意識の多様化等に伴う福祉ニーズの変化に対応するため、旧１市３町の合併に伴う事業の調整等を行い高齢者福祉の充実と向上に努めた。

高齢福祉担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老祝金支給事業、シルバー作品展開催事業、老人クラブ育成指導事業、高齢者ふれあい相談員事業、配食サービス事業などの事業及び３か所の老人福祉センターにおいて、高齢者の各種相談、健康の増進、教養の向上に関する事業を実施した。

また、高齢者福祉関係については、軽度生活援助員派遣事業、緊急ホームヘルパー派遣事業、在宅高齢者短期入所事業、日常生活用具購入費助成等事業、緊急通報装置設置事業、在宅ねたきり老人等介護手当支給事業、紙おむつ購入費助成事業などの介護予防・生活支援事業を実施した。

地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

高齢福祉担当

1　高齢者人口・生活態様別統計

(1)　高齢者人口

ア　高齢者人口（４月１日現在）

区分＼地域	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	合計
総人口(人)	81,286	29,653	17,412	13,527	141,875
65歳以上人口(人)	20,274	6,081	4,675	3,163	34,193
総人口に対する割合(%)	24.94	20.51	26.85	23.38	24.10

イ　高齢者人口（１０月１日現在）

区分＼地域	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	合計
総人口(人)	81,110	29,739	17,255	13,523	6,633	148,260
65歳以上人口(人)	20,406	6,157	4,672	3,190	1,691	36,116
総人口に対する割合(%)	25.16	20.70	27.08	23.59	25.49	24.36

ウ　高齢者人口（栃木地域　４月１日現在）

区分＼年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
総　人　口　（人）	82,195	81,911	81,286
65 歳以上 人 口　（人）	19,952	20,230	20,274
総人口に対する割合（%）	24.27	24.70	24.94

(2)　高齢者生活態様(栃木地域)　（５～６月調査結果）

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総数		20,274	100
内訳	独　居	2,148	10.6
	高齢者世帯※ (世帯数)	4,209 (2,076)	20.8
	その他	13,917	68.6

※　６５歳以上のみで構成される世帯

2　敬老の日記念事業（栃木地域）

９月１日(基準日)において本市に引続き１年以上居住し、当該年度に８５歳、９０歳、９５歳、１００歳、１０１歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金を贈呈した。

９５歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。１００歳の方については、市長が慶賀訪問した。（市内全域）

区　分	支給額(円)	対象人数(人)
８５歳	10,000	592
９０歳	20,000	246
９５歳	30,000	86
１００歳	100,000	15
１０１歳以上	50,000	20

3　高齢者の生きがいと健康づくり推進事業（栃木地域）

高齢者の健康と生きがいづくりの推進を図るため、次の実践活動を実施した。

(1)　栃木地域シルバー作品展事業

高齢者から作品を募り、第２３回目の作品展を開催した。

・日　時　３月９日(木)～１１日(土)（３日間）
・会　場　栃木市栃木文化会館展示室
・出品数　　１３３点
・入場者数　３６３人

(2)　市老連委託事業

次の社会奉仕活動事業を、市老人クラブ連合会に委託し実施した。

ア　花いっぱい運動

地区公民館等公共施設にプランターを設置、管理を行った。

・実施時期　６月～３月

・植栽花　　ベゴニア、パンジー、日々草、マリーゴールドなど

イ　高齢者相互支援事業（ゆーあい訪問活動）

単位クラブで２、３人のチームをつくり、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等を訪問し、話し相手や相談相手となった。

4　老人クラブ育成指導事業（栃木地域）

老人クラブ連合会栃木支部の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

・単位老人クラブ数　７５クラブ

・市老人クラブ連合会栃木支部会員数　　2,926人

・助成金額　　単位老人クラブ助成　　3,470,000円

市連合会栃木支部助成　　2,499,000円

5　老人スポーツ大会（栃木地域）

老人クラブ連合会栃木支部主催により、世代間交流として市立保育園の園児とのダンスをはじめ、個人・団体競技スポーツ等を行い、クラブ会員の健康増進と親睦・交流を図った。

・日　　時　１０月２０日(木)

・会　　場　栃木市総合運動公園

・参加人員　1,027人

6　高齢者配食サービス事業（栃木地域）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（１食３００円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

・対象者　　６５歳以上の一人暮らし世帯または高齢者世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方

・宅配個数　　32,478個

・宅配世帯数　２５７世帯

・宅配業者　　(株)金時給食センター　　栃木市柳橋町６－２９

(有)ききょう　　栃木市吹上町１４０１

ワタミタクショク（株）　栃木市仲方町３０６－５

このひら配食サービス　　栃木市沼和田町１３－３

7　高齢者ふれあい相談員事業（栃木地域）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提

供しながら、安否の確認、相談等を行った。

また、モデル地区において、日中独居となる高齢者宅に対しても、訪問を行った。

・訪問世帯数　　３，４９８世帯

・相談員数　　４６６人

8　老人ホーム入所判定委員会開催状況

心身機能の減退等のために日常生活に支障がある高齢者、又は住宅に困窮している低所得の高齢者で家族からの適切な介護を受けることが困難な者に対し、養護老人ホームへの入所措置を適正に行うため、入所判定委員会を開催した。

・開催回数　４回

・判定件数　１７件

9　老人ホームへの措置状況

区　　分	平成23年3月28日現在人数	合併による追加人数	平成23年度中		平成24年4月1日現在人数
			入所	退所	
養護老人ホーム	73	3	11	13	74

10　日常生活用具購入費助成等事業（栃木地域）

おおむね６５歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

(1)　日常生活用具購入費助成状況

品　　目	件　　数（件）
福祉車	137
小型暖房器具	－
電磁調理器	－
火災警報器	－
自動消火器	－

(2)　日常生活用具レンタル料助成状況

品　　目	件　　数(件)
電動小型吸引機	5
特殊寝台	4
じょく瘡予防用具	－

11　緊急通報装置設置事業（栃木地域）

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　　（単位：台）

既設置台数	23年度設置台数	23年度撤去台数	計
266	15	49	232

12　福祉電話貸与事業（栃木地域）

おおむね６５歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者への通報用電話の貸与を継続した。

・設置状況　　（単位:台）

既設置台数	23年度撤去台数	計
23	4	19

13　在宅ねたきり老人等介護手当支給事業（栃木地域）

市内に住所を有し、要介護認定３・４・５いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数　９９８人（延べ）

14　紙おむつ購入費助成事業（栃木地域）

在宅のねたきり老人等で､介護におむつが必要な方に対し月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数　1,017人（延べ）

15　介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1)　緊急ホームヘルパー派遣事業（栃木地域）

・利用者数　１１人

・延べ回数　４０４回（515.5時間）

(2)　在宅高齢者短期入所事業（栃木地域）

・利用者数　７人

・延べ宿泊数　５９日

(3)　軽度生活援助員派遣事業（栃木地域）

・利用者数　１３５人

大工	2.5時間
植木手入れ	120時間
除草	1493.5時間
家事	1988.5時間

16　老人福祉センター長寿園

(1)　利用状況

・年度中利用者数

区分＼年度	平成21年度	平成２２年度	平成２３年度
長寿園利用者	49,384人	50,923人	46,450人

・開館日数　２６８日

・１日平均入場者　173.3 人（無料開放日 416 人を含む）

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	身障者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上（人）	一般（人）	（人）	（人）	60歳以上（人）	一般（人）	市外（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
４	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
５	575	17	10	368	1,596	8	8	178	―	2,760	241,900	20
６	1072	31	32	462	2,490	32	15	219	―	4,353	329,000	25
７	828	27	34	549	2,413	23	11	398	―	4,283	325,300	26
８	868	53	54	589	2,463	32	14	294	―	4,367	342,600	27
９	971	35	32	463	2,013	30	11	481	―	4,036	313,000	23
１０	913	25	36	506	2,632	46	10	531	―	4,699	349,100	26
１１	885	50	28	507	2,306	36	7	226	―	4,045	328,900	24
１２	864	36	31	569	2,276	28	6	217	―	4,027	328,900	25
１	969	34	39	529	2,342	24	6	302	―	4,245	326,400	23
２	903	34	42	479	2,227	31	4	1,412	―	5,132	336,700	24
３	929	41	37	483	2,566	29	9	409	―	4,503	360,600	25
計	9777	383	375	5,504	25,324	319	101	4,667	―	46,450	3,582,400	268

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用やマッサージ施術の実施を行った。

・延べ人員　24,720 人

（ヘルストロン使用者 16,599 人、マッサージ器使用者 8,033 人
マッサージ施術 88 人）

・実施回数　１０回

・実施日　　毎月第２月曜日　午後１時３０分～２時３０分

イ　健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導、器具による運動訓練などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員　６２人

・実施回数　１１回

・実施日　　毎月第２火曜日　午前１０時３０分～１１時３０分

ウ　栄養指導（料理教室）

(ｱ)　健康料理教室

うす塩料理の指導、偏食生活による疾病予防や独居高齢者等の偏食矯正を目的に、管理栄養士を招きうす塩料理教室、会食のつどいを行った。

・延べ人員　２５４人

・実施回数　１０回

・実施日　　毎月第２水曜日　午前１０時００分～正午

(ｲ)　高齢者男性向け料理教室

高齢者の男性を対象とした料理教室を開催し、男性の家事参加の促進と生きがい作りの一助を担った。

・延べ人員　１８３人

・施回数　１０回

・実施日　毎月第４火曜日　　午前１０時００分～正午

エ　介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

・延べ人員　２人

・実施回数　１１回

・実施日　　毎月第１水曜日　午後１時３０分～２時３０分

オ　太極拳教室

高齢者の生きがいづくりや健康づくりの支援を目的に、太極拳教室を実施した。

・延べ人員　８０９人

・実施回数　３７回

・実施日　　毎週月曜日　午前１０時～１１時３０分

カ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の支援として、２９のクラブを実施した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
陶芸(６講座)	85	148	1,185
ダンス(１２講座)	214	454	5,971
カラオケ(３講座)	100	111	2,653
絵画	20	36	286
将棋	29	81	1,574
太極拳	82	55	1,963
料理	38	9	253
フラダンス	14	34	372
気功体操	7	30	301
合　　計	589	958	14,558

17　老人福祉センター泉寿園

(1)　利用状況

・年度中利用者数

区分＼年度	平成21年度	平成２２年度	平成２３年度
泉寿園利用者	27,337人	28,840人	27,714人

・開館日数　開館日数　２９７日

・１日平均入場者　93.3人

・月別内訳

区分＼月別	市内		市外	身障者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上（人）	一般（人）	（人）	（人）	60歳以上（人）	一般（人）	市外（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
４	247	4	3	259	681	9	5	918	－	2,126	83,400	25
５	548	4	27	431	1,302	13	19	286	－	2,630	193,700	25
６	429	21	34	407	1,288	5	22	247	－	2,453	184,700	25
７	422	16	24	390	1,220	18	29	170	－	2,289	179,600	25
８	424	18	22	337	1,169	30	25	186	－	2,211	164,600	26
９	435	25	26	341	1,088	26	29	512	－	2,482	169,300	24
１０	504	36	32	320	1,267	33	23	158	－	2,373	191,200	26
１１	419	18	26	260	1,111	22	27	537	－	2,420	171,300	23
１２	419	26	29	337	1,143	26	29	175	－	2,184	165,800	26
１	400	23	28	318	1,100	31	24	120	－	2,044	175,000	23
２	417	17	27	290	1,106	18	20	196		2,091	165,200	23
３	453	35	25	269	1,167	71	23	368	－	2,411	179,800	26
計	5,117	243	303	3,959	13,642	302	275	3,873	－	27,714	2,023,600	297

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用やマッサージ施術の実施を行った。

・延べ人員　21,206 人

（ヘルストロン使用者 15,234 人、マッサージ器使用者 5,901 人
マッサージ施術 67 人）

・実施回数　８回

・実施日　　毎月第１月曜日　午後１時３０分～３時

イ　健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員　４３６人

・実施回数　４８回

・実施日　　毎週木曜日　午後２時～３時

ウ　介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

９月２８日（水）の休館日には神明会老人クラブカラオケ大会において介護保険制度について講習会開催した。

・延べ人員　１人

・実施回数　９回

・実施日　　毎月第１金曜日　午前１０時３０分～１１時３０分

エ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の支援として、２０のクラブを実施した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
日光彫	26	21	436
ダンス(６講座)	55	211	822
太極拳(２講座)	23	78	604
カラオケ（４講座)	56	75	801
囲碁(２講座)	26	123	876
折り紙	7	16	80
ちぎり絵(３講座)	39	64	340
舞踊	9	51	271
合計	241	639	4,230

18　老人福祉センター福寿園

(1)　利用状況

・年度中利用者数

区分＼年度	平成21年度	平成２２年度	平成２３年度
福寿園利用者	25,752人	26,166人	24,147人

・開館日数　開館日数　２９７日

・１日平均入場者　81.3人

・月別内訳

区分＼月別	市内		市外	身障者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上	一般			60歳以上	一般	市外					
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(円)	(日)
4	823	0	17	183	649	0	1	296	0	1,969	74,900	25
5	293	0	28	144	909	0	0	505	0	1,879	116,700	24
6	401	1	35	161	901	0	2	635	0	2,136	123,300	25
7	358	1	45	180	983	0	3	551	0	2,121	137,500	26
8	298	5	35	200	882	0	1	602	0	2,023	134,300	27

9	350	5	33	174	817	0	6	510	0	1,895	118,300	23
１０	338	4	35	186	925	0	11	556	0	2,055	128,100	26
１１	359	2	37	173	849	0	10	590	0	2,020	123,400	24
１２	358	9	38	212	833	0	2	563	0	2,015	121,000	25
1	351	3	41	198	849	0	3	491	0	1,936	136,000	23
2	391	7	46	202	879	0	1	523	0	2,049	139,300	24
3	321	10	36	194	935	0	3	550	0	2,049	129,900	25
計	4,641	47	426	2,207	10,411	0	43	6,372	0	24,147	1,482,700	297

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・延べ人員　11,197 人

（ヘルストロン使用者 6,393 人、マッサージ器使用者 4,804 人）

イ　健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員　1,172 人

・実施回数　８３回

・実施日　　毎週火曜日、水曜日、金曜日　午前１１時～午後３時

ウ　介護相談

ケアマネジャーを招き、高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

・延べ人員　１１人

・実施回数　１２回

・実施日　　毎月第２月曜日　午後１時３０分～２時３０分

エ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の支援として、６のクラブを実施した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
太極拳(２講座)	31	82	731
囲碁	17	41	474
カラオケ	14	36	299
コーラス	12	27	265
大正琴	19	18	190
合　　計	93	204	1,959

19　（社）栃木市シルバー人材センター

(1)　年齢別会員登録状況

性別／年齢別	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)	備　　考
60歳未満	1	0	1	0.1	
60 ～ 64	75	45	120	14.5	
65 ～ 69	177	83	260	31.4	
70 ～ 74	204	73	277	33.5	
75 ～ 79	96	38	134	16.2	
80歳以上	24	12	36	4.3	
計	577	251	828	100.0	
構成比 (%)	69.7	30.3	100.0		
平均年齢(歳)	70.8	70.4	70.7		

(2)　職群別会員登録状況

性別／職群	男（人）	女（人）	計（人）	構成比（%）
植木手入れ、襖・障子の張替、大工、塗装、刃物研ぎ、自動車の運転等	181	8	189	22.8
宛名書き、毛筆筆耕、一般事務等	22	9	31	3.7
施設管理、駐車（輪）場管理	84	6	90	10.9
メーター検針、パンフレット配布、外交、調査等	8	1	9	1.1
除草、清掃、草刈り、屋内外の一般作業等	270	169	439	53.0
家事手伝い、病人介添、子守り等	12	58	70	8.5
計	577	251	828	100.0

(3)　発注者別実績

区　分	受注件数(件)	就業延べ人員(人)	契約金額（円）			
			事務費	材料費	配分金	合　計
公　共	1,267	20,166	7,369,588	10,126,724	74,838,282	92,334,594
民　間	2,205	46,430	17,428,865	6,124,087	176,957,291	200,510,243
一　般	5,076	20,015	8,474,934	14,374,167	85,683,159	108,532,260
独　自	25	550	46,260	613,275	1,234,190	1,893,725
合　計	8,573	87,161	33,319,647	31,238,253	338,712,922	403,270,822

(4)　職群別実績

区　分	受　注 件数(件)	就業延べ 人員(人)	契　　約　　金　　額（円）			
			事務費	材料費	配分金	合　　計
専門技術	132	3,420	1,463,257	-	15,008,321	16,471,578
技　　能	2,359	11,297	5,958,779	10,790,417	60,998,783	77,747,979
事務整理	118	637	279,717	270	2,797,255	3,077,242
施設管理	669	14,986	5,316,209	3,795,656	53,667,746	62,779,611
販売外交	63	893	335,552	10,000	3,742,379	4,087,931
軽 作 業	4,314	49,919	18,529,242	16,296,336	187,801,259	222,626,837
サービス	898	5,365	1,215,226	329,414	12,480,529	14,025,169
そ の 他	20	644	221,665	16,160	2,216,650	2,454,475
合　計	8,573	87,161	33,319,647	31,238,253	338,712,922	403,270,822

地域支援担当

1　地域包括支援センター設置状況

栃木地域包括支援センター	栃木市入舟町７－２６　福祉庁舎内
吹上地域包括支援センター	栃木市吹上町７８２－１　吹上公民館内
皆川地区包括支援センター※	栃木市皆川城内町６９９　皆川公民館内
寺尾地区包括支援センター※	栃木市梅沢町１１８３　寺尾公民館内
国府地域包括支援センター	栃木市惣社町２２８－１　国府公民館内
大宮地区包括支援センター※	栃木市大宮町４２２－１　大宮公民館内

※は地域包括支援センターを補完するサブセンター。

2　介護予防事業

(1)　二次予防事業

ア　二次予防事業対象者把握事業

６５歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、その回答結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防サービス計画書を作成し予防事業を行った。

※以下「吹上」には、皆川・寺尾、「国府」には、大宮を含む。

・二次予防事業対象者把握状況　　（単位：人）

	栃木	吹上	国府	計
チェックリストによる対象者数	2,762	1,173	1,217	5,152
その他	12	3	-	15
合計	2,774	1,176	1,217	5,167

※その他は訪問等により対象者を把握した人数

・介護予防サービス計画書作成状況　　（単位：人）

	栃木	吹上	国府	計
作成者数	65	25	52	142

イ　通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、口腔機能向上、複合型機能向上、閉じこもり予防等の教室を実施し、要介護状態等となることの予防及び自立した生活を送るための支援を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延人数	回	延人数	回	延人数	回	延人数
運動器機能向上	14	138	－	－	16	207	30	345
口腔機能向上	6	34	－	－	8	31	14	65
複合型機能向上	24	180	12	92	12	57	48	329
閉じこもり予防	48	128	48	147	24	169	120	444
合計	92	480	60	239	60	464	212	1,183

ウ　訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、看護師、歯科衛生士が訪問し相談指導を行った。また、二次予防事業対象者になるおそれのある高齢者を対象に看護師が訪問し生活機能低下予防の相談指導を行った。

・実施状況　　（単位：件）

		二次予防事業対象者				一次予防事業対象者			
		栃木	吹上	国府	計	栃木	吹上	国府	計
対象者数		2	4	1	7	16	7	9	32
訪問回数	看護師	10	27	8	45	84	15	32	131
	歯科衛生士	－	－	2	2	－	－	－	－
	合　計	10	27	10	47	84	15	32	131

(2)　一次予防事業

ア　介護予防普及啓発事業

６５歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延人数	回	延人数	回	延人数	回	延人数
運動器機能向上	44	737	30	513	31	594	105	1,844
栄養改善	－	－	3	43	10	150	13	193
口腔機能向上	4	40	8	310	2	43	14	393
閉じこもり予防	48	234	48	118	24	44	120	396
その他	29	694	20	213	50	839	99	1,746
合計	125	1,705	109	1,197	117	1,670	351	4,572

イ　地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		合同		計	
	回	延人数	回	延人数	回	延人数	回	延人数	回	延人数
自主グループ活動支援	－	－	－	－	－	－	20	121	20	121
健康づくりサポーター養成講座	－	－	－	－	－	－	5	71	5	71
認知症サポーター養成講座	7	189	4	63	7	165	－	－	18	417
合計	7	189	4	63	7	165	25	192	43	609

3　包括的支援事業

(1)　介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況　（単位：件）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センターによる作成件数	65	25	52	142

・要支援 1･2 の介護予防サービス計画作成状況　（単位:件）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センターによる作成件数	33	6	4	43
事業者委託件数	261	108	97	466
合計	294	114	101	509

・サービス担当者会議実施状況　（単位：回）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	219	95	91	405

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況　（単位:件）

	栃木	吹上	国府	計
地域包括支援センター作成件数	14	17	6	37

(2)　総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援

を行った。

・実施状況　（単位：件）

	栃木	吹上	国府	計
面接	215	276	152	643
電話相談	882	806	744	2,432
家庭訪問	1,429	569	676	2,674
合計	2,526	1,651	1,572	5,749

(3)　権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況　（単位：件）

	栃木	吹上	国府	計
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	21	9	48	78
高齢者虐待に関すること	98	85	25	208
高齢者虐待ケース会議	24	10	－	34
合計	143	104	73	320

(4)　包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

4　任意事業

(1)　家族介護支援事業

介護に携わる家族が、適切な介護知識、技術、サービス利用方法等を習得できるよう支援した。また、在宅介護の苦労、精神的な負担を軽減することを目的とした支援教室を開催した。

・実施状況

	栃木		吹上		国府		計	
	回	延人数	回	延人数	回	延人数	回	延人数
家族介護支援事業	2	35	1	23	4	68	7	126

(2)　地域自立支援事業（２４時間通報体制）

高齢者のいる世帯の家庭内事故等による通報に随時対応するため、地域包括支援センターの夜間等対応について、市内の社会福祉法人に相談業務を委託実施した。

(3)　地域見守り支援事業

高齢者の福祉の向上を図るため、保健・福祉・医療などの関係機関が協力し、介護予防・生活支援サービスの総合調整及び地域包括ケアを目指したシステムの検討を目的として実施した。

・高齢者ネットワーク推進会議（役員会３回・全体会３回・研修会２回）

第５節　介護保険課

〔総括概要〕

介護保険課における主な事務分掌は、介護保険法に基づいて、高齢者の自立した生活を支援し、介護保険事業の適正な運営に努めることである。

介護保険担当では、サービス利用者に対する介護給付費の支給事務や低所得者負担の軽減対策、利用者の苦情処理及び地域密着型サービス事業所の整備・指定・更新事務等を実施した。

老人福祉施設の整備については、栃木市皆川城内町に定員５０人の広域型特別養護老人ホームみながわ桜園を開設し、大平町西水代に定員２９人の地域密着型特別養護老人ホームおおひらを開設した。また、大平町富田、都賀町家中、西方町金崎の各地域に定員１８人の認知症グループホームを開設した。いずれも公募により必要な施設整備を進めた。

介護認定担当では、要介護（要支援）認定申請の受付、介護認定訪問調査、介護認定審査会事務等を実施し、適正・公正な要介護認定を行った。

介護保険担当

1　介護保険被保険者数

第１号被保険者（６５歳以上）	36,602人

2　保険給付状況

介護保険のサービスを受けた費用のうち、原則９割を保険者（市）が給付した。

(1)　居宅介護サービス給付費

要介護者が指定居宅サービス事業者の行う在宅サービスを受けた際に、介護保険法第４１条に基づき、居宅介護サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
訪問介護	623,668,639
訪問入浴介護	79,473,123
訪問看護	114,274,728
訪問リハビリテーション	3,321,909
通所介護	1,419,513,149
通所リハビリテーション	478,562,486
福祉用具貸与	230,758,938
短期入所生活介護	488,993,527
短期入所療養介護	71,053,650
居宅療養管理指導	14,672,880

特定施設入所者生活介護	164,051,992
合　　計	3,688,345,021

(2)　介護予防サービス給付費

要支援者が指定介護予防サービス事業者の行う介護予防サービスを受けた際に、介護保険法第５３条に基づき、介護予防サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護予防訪問介護	52,182,671
介護予防訪問看護	3,709,125
介護予防訪問リハビリテーション	491,850
介護予防通所介護	90,465,459
介護予防通所リハビリテーション	45,941,103
介護予防福祉用具貸与	4,689,540
介護予防短期入所生活介護	1,840,464
介護予防短期入所療養介護	130,293
介護予防居宅療養管理指導	501,660
介護予防特定施設入所者生活介護	8,870,220
合　　計	208,822,385

(3)　地域密着型介護サービス給付費

要介護者が指定地域密着型サービス事業者の行う地域密着型サービスを受けた際に、介護保険法第４２条の２に基づき、地域密着型介護サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
認知症対応型共同生活介護	454,129,605
(短期)認知症対応型共同生活介護	1,301,823
地域密着型老人福祉施設（特養）	88,547,004
認知症対応型通所介護	20,845,746
小規模多機能型居宅介護	156,735,756
合　　計	721,559,934

(4)　地域密着型介護予防サービス給付費

要支援者が指定地域密着型予防サービス事業者の行う地域密着型予防サービスを受けた際に、介護保険法第５４条の２に基づき、地域密着型介護予防サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護予防認知症対応型共同生活介護	3,291,381
介護予防小規模多機能型居宅介護	3,867,417
合　　計	7,158,798

(5)　施設介護サービス給付費

要介護者が介護保険施設に入所して施設サービスを受けた際に、介護保険法第４８条に基づき、施設介護サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護老人福祉施設サービス	1,586,551,316
介護老人保健施設サービス	1,384,996,349
介護療養型医療施設サービス	39,906,684
特定診療費	3,231,459
特別療養費	1,283,400
合　計	3,015,969,208

(6)　その他の給付費

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
居宅介護サービス計画費	443,934,272
介護予防サービス計画費	27,510,840
福祉用具購入費	12,206,283
介護予防福祉用具購入費	1,261,512
住宅改修費	33,265,976
介護予防住宅改修費	8,612,049
高額介護（介護予防）サービス費	123,220,386
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	14,583,927
特定入所者介護（介護予防）サービス費	263,161,420
特例居宅介護サービス費	647,775
合　計	928,404,440

介護認定担当

1　要介護認定の実施状況　（単位：件）

申　請　件　数				調査件数	審査会回数	認定件数
新規	更新	変更	計			
1,936	3,836	510	6,282	6,298	300	6,136

2　要介護度分布状況　（単位：人）

要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　計
371	673	998	1,195	931	859	828	5,855

第６節　健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、総合的な健康づくり施策として栃木市健康２１計画推進事業、さらには予防接種事業、健康診査事業、救急医療対策事業、母子保健事業、健康づくり事業等である。

予防接種事業では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種、高齢者に対するインフルエンザ予防接種を実施し、任意予防接種の子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌、小児インフルエンザについても接種費用の助成を行った。

健康診査事業では、健康診査、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診及びがん検診等を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査、特定保健指導及び後期高齢者健康診査を実施するとともに、国の事業としてのがん検診推進事業で、子宮頸がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の無料クーポン券を発行し、受診勧奨を行った。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制、初期小児救急医療体制、二次救急医療体制及び小児二次救急医療体制の充実を図った。

母子保健事業では、母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、母子健康手帳の交付、妊婦健康診査、乳幼児の健康診査、少子化時代に沿った各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小・中学校と連携した性(生)教育を実施した。

健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業を実施した。また、自殺予防対策事業として、演劇公演やゲートキーパー研修会を開催し、自殺予防の普及啓発を図るとともに、こころの健康相談を実施した。

栃木市健康２１計画推進事業では、関係団体と連携し重点領域の班活動を取り入れ、健康づくりを推進した。さらに、普及事業として、「元気もりもり明るいとちぎ」をスローガンに、平成２３年度市民健康まつりを開催した。

保健予防担当

1　特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査、健診結果説明会及び特定保健指導を行った。

(1)　特定健康診査（各総合支所分を含む）　（単位：人）

健診区分	受診者数	保健指導区分		
		情報提供	動機付支援	積極的支援
集団	4,624	4,046	410	168
個別	2,207	1,891	237	79
合計	6,831	5,937	647	247

(2)　健診結果説明会

・実施回数　　９回

・参加人数　１３３人

(3)　特定保健指導（健康づくり担当で実施）

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	112	57	50.9
動機付け支援	298	173	58.1
合計	410	230	56.1

(4)　メタボ予防講座（特保該当者）（健康づくり担当で実施）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

・実施回数　　１８回

・参加延べ人数　７２人

2　がん検診等事業（各総合支所分を含む）

(1)　がん検診

区　分	実施回数(回)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	81	4,302	10.1	3,696	338	268	－
肺がん	81	5,985	14.1	4,729	90	1,166	－
大腸がん	89	6,528	15.3	6,235	293	－	－
前立腺がん	65	2,488	15.2	2,312	176	－	－
子宮がん(頸)	69	3,091	13.1	3,034	57	－	－
子宮がん(頸)	(医療機関)	1,100		1,044	54	－	2
子宮がん(体)		517	1.6	513	2	－	2
乳がん	69	4,429	16.1	2,181	389	1,859	－
	(医療機関)	349		284	51	13	1

(2)　肝炎ウィルス検査

区　分	受診者数(人)	要精検(人)
Ｂ＋Ｃ型	516	3
Ｂ型のみ	6	－
Ｃ型のみ	－	－

(3)　骨粗しょう症検診

項目／年齢	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳		
				正常範囲(人)	要指導(人)	要精検(人)
２０・２５歳女	1,339	1	0.1	－	1	－
３０・３５歳女	1,527	35	2.3	30	5	－
４０歳女	989	39	4.0	32	7	－
４５歳女	764	40	5.2	36	4	－
５０歳女	776	63	8.1	50	12	1
５５歳女	897	91	10.1	55	31	5
６０歳女	1,178	151	12.8	64	70	17
６５歳女	1,103	166	15.0	36	94	36
７０歳女	945	148	15.7	39	77	32
６０歳男	1,180	45	3.8	26	15	4
６５歳男	1,145	60	5.2	39	16	5
７０歳男	950	66	6.9	35	23	8
計	12,793	905	7.1	442	355	108

(4)　歯周疾患検診（医療機関方式）　　（単位：人）

区　分	受診者数	異常なし	要指導	要医療
３０歳	112	14	10	88
４０歳	187	11	7	169
５０歳	126	6	6	114
６０歳	183	9	3	171
７０歳	210	11	4	195
計	818	51	30	737

3　後期高齢者健康診査（各総合支所分を含む）

・受診者数　3,814人

4　健康診査事業(健康増進法による健診）（各総合支所分を含む）

健康増進法に基づき、胃がん等の各種がん検診をはじめ、歯周疾患検診や骨粗しょう症検診などを行った。

(1)　健康診査（健康増進法による）

・受診者数　１７人

(2)　集団検診実施状況

・集団健診実施回数　８１回

・集団健診実施場所　保健福祉センター及び各地区公民館等

5　予防接種事業

小児の感染症予防のため、各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1)　定期予防接種

ア　集団接種（各総合支所分を含む）

(ｱ)　ポリオ(小児マヒ)

・実施期間　６月７日～１２月１９日のうち３７日間

・会　　場　栃木、大平、藤岡、都賀、西方の各地域

・対　　象　生後３月から生後９０月に至るまでの間にある者

・回　　数　４１日以上の間隔で２回

・接種状況

	対象者数(人)	被接種者数(人)	接　種　率(%)
1 回 目	956	877	91.7
2 回 目	956	826	86.4

イ　個別接種（各総合支所分を含む（合併前の西方町分を含む））

(ｱ)　Ｂ．Ｃ．Ｇ

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後６月に至るまでの間にある者

（１歳に至るまでの者で行政措置を含む）

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
956人	973人	101.8%

(ｲ)　三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）

a　一期初回

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後３月から生後９０月に至るまでの間にある者

・回　　数　２０日～５６日の間隔で３回

・接種状況

	対象者数(人)	被接種者数(人)	接　種　率(%)
1 回 目	－	1,051	－
2 回 目	－	1,096	－
3 回 目	－	1,065	－

b　一期追加

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後３月から生後９０月に至るまでの間にある者

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
-人	1,173 人	-%

c　二期（ジフテリア・破傷風）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　１１歳以上１３歳未満の者（小学６年生）

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
1,394 人	1,319 人	94.6%

(ｳ)　麻しん・風しん（混合）

a　第Ⅰ期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後１２月から生後２４月に至るまでの間にある者

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
1,065 人	1,025 人	96.2%

b　第Ⅱ期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　５才～７才未満の子で、小学校就学の始期に達する日の１年前の日から当該始期に達する日の前日までの間（幼稚園・保育園等の年長児）

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
1,210 人	1,163 人	96.1%

c　第Ⅲ期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　中学校１年生に相当する年齢で、１３歳となる日の属する年度

の初日から当該年度の末日までの間

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
1,382 人	1,282 人	92.8%

d　第Ⅳ期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　高校３年生に相当する年齢で、１８歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
1,367 人	1,206 人	88.2%

e　第Ⅳ期（高校２年生に相当する年齢の者）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　高校２年生に相当する年齢で、就学旅行や学校行事として研修で海外に行く者

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
-人	32 人	-%

(ｴ)　日本脳炎

３歳児、９歳児及び１０歳児に対し積極的接種勧奨を行った。

a　１期初回

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後６月から生後９０月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者

・回　　数　６日から２８日までの間隔で２回

・接種状況

	対象者数(人)	被接種者数(人)	接　種　率(%)
１　回　目	-	2,950	-
２　回　目	-	3,040	-

b　１期追加

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　１期初回接種終了後おおむね１年経過した９０月未満の者及び

予防接種法で定める特例対象者

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
-人	3,187 人	-%

c　２期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　予防接種法で定める特例対象者で、１期接種３回を終了している２０歳未満の者

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
-人	950 人	-%

(ｵ)　高齢者インフルエンザ

・実施期間　１０月１日（土）～３月３１日（土）

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　①６５歳以上の希望者

②６０歳から６５歳未満の者の内、身体障害者１級程度の者で、接種を希望する者

・回　　数　１回

・接種状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
36,116 人	21,307 人	59.0%

(2)　任意予防接種（各総合支所分を含む）

ア　子宮頸がん予防ワクチン

(ｱ)　平成２２年度の対象者で対象者延長により平成２３年度に実施した者

・実施期間　４月１日（金）～５月３１日（火）

・接種方法　協力医療機関で個別接種

・接種費用　市が全額助成

・対　　象　高校１年生の女子

・回　　数　１回

・実施状況

	対象者数	被接種者数	接　種　率
３　回　目	634 人	589 人	92.9%

(ｲ)　平成２３年度対象者

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別接種

・接種費用　市が全額助成

・対　　象　中学１年生から３年生の女子
・回　　数　３回
・実施状況

	対象者数(人)	被接種者数(人)	接　種　率(%)
１ 回 目	2,014	1,840	91.4
２ 回 目		1,797	89.2
３ 回 目		1,557	77.3

イ　ヒブワクチン
・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　生後２か月齢以上５歳未満の者
・回　　数　４回～１回
・接種費用　１回あたり8,000円助成
・希 望 者　2,724人
・接種済回数　3,286回

ウ　小児用肺炎球菌
・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　生後２か月齢以上５歳未満の者
・回　　数　４回～１回
・接種費用　１回あたり10,500円助成
・希 望 者　2,702人
・接種済回数　3,755回

エ　小児インフルエンザ
・実施期間　１０月１日（土）～３月３１日（土）
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　満１歳から小学校就学前の小児
・回　　数　年度内に２回まで
・接種費用　１回あたり２，０００円助成
・実施状況

対象者数	被接種者数	接　種　率
6,899 人	4,572 人	66.3%

6　感染症予防啓発事業

記事内容	掲載時期
食中毒予防	「広報とちぎ」７月号に掲載
風邪、季節性インフルエンザの予防	「広報とちぎ」１１月号に掲載
ノロウイルス予防	「広報とちぎ」１２月号に掲載
ＨＩＶ抗体検査、性感染症検査の実施	「広報とちぎ」１２月号に掲載

7　市民健康まつり開催事業

市民の健康増進のため、平成２３年度市民健康まつりを開催した。

・実施日　１０月１６日（日）

健康ポスター展示は、１２日（水）～１６日（日）

・場　所　とちぎ蔵の街観光館・小江戸広場・近龍寺ほか

番号	団体名	実施内容	人数(人)
1	医師会	市民公開講座	130
		相談等	340
		肺活量測定	110
2	歯科医師会	相談等	46
3	薬剤師会	相談等	40
4	歯科技工士会	相談等	62
5	歯科衛生士会	歯みがき指導等	20
6	栄養士会	相談等	30
7	食生活改善推進団体連絡協議会	塩分クイズ等	150
8	母子保健推進員協議会	手作りおもちゃ配布等	115
9	鍼灸按マッサージ指圧師会	鍼・マッサージ等	50
１０	ＪＡしもつけ栃木農産物直売所	新鮮野菜の販売	－
１１	ＮＰＯ法人　蔵の街ウエイブ	手作り品等販売	－
１２	下都賀総合病院	前日祭	117
		骨密度測定	158
１３	ファーマシー中山	体組測定	250
１４	健康２１計画(てくてく歩歩会)	運動の啓発活動	79
１５	健康２１計画(チームいっぷく)	禁煙相談等	24
１６	抽選会		501
１７	健康ポスター展示		－
１８	保険医療課	相談等	562
１９	健康増進課	健康増進事業啓発	143
		予防接種相談	17
合計			2,944

8　救急医療対策事業

(1)　初期救急医療対策として、栃木地区急患センターの運営事業を行った。

・指定管理者　栃木市医師会

利用施設	日数	件数
栃木地区急患センター	366日	5,746件

(2)　日曜日の夜間に初期小児救急医療が受けられるよう、小児救急医療事業を行った。

・医師　市内の小児科開業医による輪番

利　用　施　設	日　数	件　数
とちの木病院	51日	684件

(3)　二次救急医療対策として、病院群輪番制病院に対し運営費補助を行った。

・病院群輪番制病院　下都賀総合病院、獨協医科大学病院、とちの木病院

利　用　施　設	日　数	件　数
病院群輪番制病院(３病院)	366日	10,517件

また、病院群輪番制病院（獨協医科大学病院）の設備整備に係る費用に対し補助を行った。

(4)　小児二次救急医療対策として、鹿沼・栃木小児二次医療圏で体制整備を図り、小児二次救急医療支援事業を行った。

利　用　施　設	日　数	件　数
獨協医科大学病院	366日	5,958件

9　献血推進事業

血液製剤の安定供給の確保のため、献血事業を行った。

実施日数	受　付	200ml献血	400ml献血	成分献血	献血者計	不適格者
5日	294人	42人	152人	46人	240人	54人

10　栃木保健福祉センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く）

区　分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合　計
利用者数	15,016人	1,983人	13人	518人	17,530人

健康づくり担当

1　栃木市健康２１計画推進事業

４つの重点領域（栄養・運動・喫煙・検診）に加え、新たに自殺対策を取り上げ、ライフステージ別、関係機関別に取り組みを行った。また、関係機関と連携し、市民が主体的に健康づくりに取り組めるように環境の整備を行った。

(1)　会議の開催

・栃木市健康２１計画検討部会会議及び庁内推進実務者会議の合同開催　２回

(2)　主な取組

・妊産婦や乳幼児のいる家庭への受動喫煙の害等の啓発

・３歳児健診において食生活アドバイス

・乳幼児健診等において健康情報の提供

・子ども料理コンクール栃木支部出展作品の発表会及びレシピ集作成

・健康まつりに合わせて小学生から４領域のポスター募集と展示

(3)　班活動の推進

部会員や庁内実務者により班を編成し、効果的な健康づくりへの取組

喫煙班	チームいっぷく
運動班	元気もりもり歩き隊
栄養班	作って食べよう!!え～よ～班
ＰＲ班	みんなの健康広め隊！

2　母子保健事業

(1)　妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対して、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び公布状況　（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
		妊娠届出	双　胎	紛失等
584	611	584	2	25

(2)　健康診査

ア　妊婦健康診査（各総合支所分を含む）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、１人につき１４回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配布、医療機関に委託して実施）

・受診状況　（単位：人）

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	
受診者数	958	931	926	937	921	929	886	
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計
受診者数	928	970	824	890	670	459	256	11,395

イ　妊婦歯科健康診査（各総合支所分を含む）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

対　象　数	受診者数	受　診　率
1,056人	336人	31.8%

ウ　乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減

を図った。１歳６か月児や３歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区　　分	実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	要観察（人）	治療中（人）	要治療（人）	要精検（人）
乳児健康診査（４か月児）	18	595	593	99.7	101	6	2	3
乳児健康診査（９か月児）	18	561	550	98.0	75	3	1	4
１歳６か月児健康診査	20	612	584	95.4	257	－	－	3
３歳児健康診査	20	667	628	94.2	188	3	1	67

エ　２歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によりブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ｱ)　歯科健康診査

実施回数	対象数	受診数	受診率	う歯のある児
12 回	625人	561人	89.8人	42人（7.5%）

(ｲ)　保健師による２歳児育児相談

・参加者延べ人数　１７９人

オ　乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。栃木･都賀･西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

開催回数	受診児数			結果内訳		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
12 回	36 人	26 人	62 人	8 人	47 人	7 人

カ　乳児先天性股関節脱臼検診（各総合支所分を含む）

３～４か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数	受診数	受診率	結　果　内　訳		
			異常なし	要経過観察	要治療
934人	913人	97.8%	868人	43人	2人

(3)　健康教育

ア　両親（母親）教室

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。

また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木･都賀･西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

・実施数　４回１コース（年５コース）

・参加者

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
290人	82人	4人	70人	1人

イ　すくすく教室(子育て支援教室)

３～５か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、こどもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数　　１０回

・参加者延べ数　１５４組

・内容　ふれあい遊び、ストレッチ、絵本の読み聞かせ、子育てアドバイス等

ウ　健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して､より良い親子関係を築き､幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木･都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

	対象月齢	回数（回）	参加者延べ数（組）
ちゃいちゃいぐるーぷ	3歳未満児	18	108
ぺんぎんぐるーぷ	3歳～就学前	12	64

エ　思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に、性（生）教育の授業協力および講演会を行った。

対　　象		実施回数	参　加　人　数
授業協力	小　学　校	2校(2回)	43人　保護者6人
	中　学　校	1校(1回)	206人

オ　だっこだっこ絵本事業

９か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

・実施回数　１８回（９か月児健康診査終了後）

・参加者延べ数　５５０組

カ　フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と１市２町で共催して小学１年生と年長児に対してフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。（年１回）

・フッ素塗布者数

小学１・２年生	年長児	合　計
328人	289人	617人

キ　よい歯のコンクール（各総合支所分を含む）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、３歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（３歳児の部、親と子の部）を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの１次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の２次審査に推薦した。

・３歳児の部参加者　２４人（県南地区への推薦は５人）

・親と子の部参加者　　２組（県南地区への推薦は０人）

(4)　健康相談

ア　子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談の他、７か月から離乳完了期までの児とその養育者に対し、離乳食指導を実施した。

・実施回数　　１２回

・参加者延べ数　２１４人（１０７組）

イ　５歳児発達相談

３歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に､市内幼稚園､保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況　（単位：人）

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診･医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
589	434	47	62	17	11	18

ウ　新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

・指導実数　　５０件

・指導延べ数　５７件

エ　こんにちは赤ちゃん事業

生後４か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

・訪問数　３９０件

(5)　母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（栃木地域８０人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談、乳幼児健診等の受診勧奨を行うほか、地区公民館等で地域のこども、親同士の交流を図るため、ふれあいのつどい等を開催した。活動を通し地域と行政の

パイプ役を担った。

・活動実績　（単位：件）

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件　　数	272	1,830	22	2,124

また、会員相互の連携を図り、母子保健の向上に寄与するため栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。（母子保健推進員総数１４２人）

3　健康づくり事業

(1)　健康教育

ア　健康あっぷ講座

生活習慣病予防のため、一般市民を対象に栄養改善や運動指導を行った。

・実施回数　　８回

・参加延べ人数　２１３人

イ　メタボ予防講座（特保該当者の講座と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

・実施回数　　１８回

・参加延べ人数　３１２人

ウ　禁煙支援相談

禁煙を希望する者に対し、3か月間の継続的な個別支援を行い、個人に合った方法で禁煙を支援した。

・支援者数　２人

エ　防煙教室

たばこに関する正しい知識を身につけ、体に与える影響を理解するため、小・中学校の児童生徒とその保護者を対象にたばこの害について講話を行った。

対　　象	実施回数	参加人数
小　学　校	1校(1回)	140人（保護者100人）
中　学　校	1校(1回)	125人（保護者 10人）

(2)　健診結果説明会

健診結果を正しく理解し自分の生活習慣を見直すため説明会を行った。

・実施回数　　９回

・参加人数　１３３人

(3)　健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

・実施回数　　１９回（定期外６回含）

・延べ相談者数　２２人

・内　　容　　保健師・管理栄養士による個別相談

(4)　病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

・実施回数　　１０回（通信支援１回含）

・延べ相談者数　１１人
・内　　容　　管理栄養士による個別指導
・指導内訳　　（延べ件数）

糖　尿　病	4	腎　臓　病	2	高血圧症	1
脂質異常症	1	肝　臓　病	1	そ　の　他	4

4　自殺予防対策事業

(1)　自殺対策普及啓発のための演劇公演（全市で開催）

一般市民を対象に自殺予防の普及啓発のため、ドキュメンタリーシアター「誰も見たことのない場所」を上演した。（栃木県等と共催）

・会　　場　栃木文化会館
・実施回数　　１回
・参加人数　４２０人

(2)　自殺予防ゲートキーパー研修会（全市で開催）

自殺予防に対する正しい知識の習得と、市民のサインの気づき必要な支援につなげるために職員対象に研修会を実施した。

・会　　場　栃木保健福祉センター、ゆうゆうプラザ
・実施回数　　２回
・参加人数　８５人

(3)　こころの健康相談（全市で開催）

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、うつ、ストレス、不眠等の心の健康問題の個別相談に応じた。

ア　カウンセラーによるこころの健康相談（予約制）
・会　　場　栃木保健福祉センター、ゆうゆうプラザ
・実施回数　２２回
・参加人数　４４人

イ　市民相談室におけるこころの健康相談
・実施回数　５０回
・参加人数　３７人

(4)　メンタルヘルス研修

職域において自分自身と職員同士のメンタルヘルスについて振り返る研修を実施した。（税務署職員を対象）

・実施回数　　２回
・参加人数　７０人

(5)　こころの健康教室（出前講座）

自殺予防についての正しい知識と普及啓発のため、一般市民（自治会）を対象にこころの健康について講話を行った。

・実施回数　　１回
・参加人数　２５人

(6)　自殺予防普及啓発街頭キャンペーン（数値は各総合支所分を含む）

自殺等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、街頭においてポケットティッシュ等を配布した。

・会　　場　市内東武日光沿線の６駅
・実施回数　　１回
・参加人数　５５３人

5　地域保健対策推進事業

(1)　食生活改善事業

ア　栃木市食生活改善推進員養成講習会（各総合支所分を含む）

新たに会員を養成し、会の活性化を図るため実施した。

・実施回数　　１回（５日間実施）
・参加人数　１８人
・修了者数　１７人

イ　食生活改善地区組織活動

(ｱ)　栃木市食生活改善推進団体連絡協議会（各総合支所分を含む）

会員相互が連携し地域の食生活改善推進を図るため、研修会等を実施した。

・会員数　　１１７人
・実施回数　　２回
・参加述べ人数　９７人

(ｲ)　栃木市食生活改善推進団体連絡協議会栃木支部

地域住民を対象に食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等行った。

・会員数　　６０人
・各講習会　１６回
・参加人数　3,928人

(2)　自主グループ活動支援（れもんの会）

生活習慣病予防教室等修了者の自主活動のフォローとして、ストレッチ等の運動指導を行った。

・実施回数　　１回
・参加人数　１４人

6　地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数　　２７０世帯
・保健師訪問指導　２９６人（延べ人数）
・内訳　　（単位：人）

精神保健	5	妊　産　婦	4	乳　幼　児	226
新　生　児	57	低体重児	4	その他	－

第６章　産業振興部

第１節　商工観光課

〔総括概要〕

わが国の経済を取り巻く状況は、欧州政府債務危機を背景とした金融資本市場の変動や、原油価格の上昇等の影響を受け海外経済が不安定な中、東日本大震災の影響により、国内経済は大きなダメージを受けた。県内においては、生産活動は概ね横ばいに推移しているが、デフレ傾向により雇用情勢等は今後も厳しい状況が続くと考えられる。

商業関係については、栃木商工会議所、地元商店会等とともに各種イベントの開催などにより、中心市街地活性化に向けた取組を行った。

また、融資関係については、市内中小企業者の資金調達を引き続き支援するため、市制度融資の利用促進を図るとともに、経営安定関連保証の認定業務を迅速に行った。更に平成２２年度から信用保証料の全額補助を行い利用者の負担軽減を図った。

工業関係については、工場立地法に基づく申請に対し指導を行い、適切な立地の促進に努めるほか、蔵の街トライアングルネットワークの活動に参加し、産学官連携を推進した。

また、砂利、岩石等の採取に関する認可申請業務を行うとともに、陸砂利採石監視員による定期的な監視活動を実施し、採取場や周辺地域における事故の発生及び不法採取の未然防止に努めた。

労働関係については、東日本大震災に対応した雇用相談窓口を設置するほか被災者の就労支援を行った。また、国の交付金を活用した緊急雇用対策事業を行い、失業者に対する雇用の創出に努めた。

また、労働諸団体等への支援、栃木市勤労者総合福祉センターの諸事業を実施するほか、中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着を図った。

中小企業支援施策として、産業財産権取得に対しその費用の一部を補助する制度を創り、取得の促進を図った。

観光関係については、大震災以降、とちぎ花まつりの中止や自粛ムードの広がり等の影響による来客数の減少が見られたが、引き続き「鯉のいる街　蔵の街」をキャッチフレーズに、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「とちぎあじさいまつり」、「蔵の街サマーフェスタ」、「小江戸サミット」などのまつり・イベントの開催、さらに、ロケの支援など多方面にわたって積極的に事業に取り組んできた。

特に、巴波川を活用して「うずま川遊会」が実施している春の「こいのぼり」、夏の「舟行イベント」、秋の「オクトーバーフェスト」、冬の「イルミネーション」、

そして年間を通じての舟行には、県内外から多くの観光客が訪れ、蔵の街の風物詩として定着してきている。

商工振興担当

1　商業振興

(1)　第３４回栃木市の産業と物産展

本市の産業と物産の発展を目的として、本市の誇る生産品と物産品等を広く紹介する第３４回栃木市の産業と物産展を商工会議所との共催で開催した。

・実施日　１１月５日(土)、６日(日)（蔵の街ふるさとまつりと同時開催）

・場　所　蔵の街第一駐車場

・出店数　４０事業所

(2)　商工団体の育成及び助成

商工団体である商工会議所、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会等の諸事業に助成を行った。

・助成実施状況　（単位：円）

名　　称	事業費	うち市補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所運営事業費補助金	85,100,000	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
栃木市商店会連合会事業費補助金	6,250,000	1,500,000	商店街近代化促進等
未成年喫煙防止事業補助金	779,354	180,000	未成年者喫煙防止対策等への補助
青色申告推進事業補助金	4,200,000	30,000	青色申告の推進
合　　計	96,329,354	7,710,000	

2　大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき県に提出された企業の届出に対し、地元説明会開催の承認及び出席、届出書の縦覧、庁内連絡会議の開催による市意見の集約等を実施した。

・大規模小売店舗立地法に係る届出等

店舗名称	所在地	届出事項	立地法意見
スペースＣＯＭ（マツモトキヨシ栃木店）	栃木市昭和町２番 25 号ほか	新設	特に無し
カワチ薬品　大平店	栃木市大平町下皆川字下田 298 番ほか	新設	特に無し

3　中心市街地活性化

平成１１年３月に策定した中心市街地活性化基本計画は、本市の中心市街地を新たな視点から見直し、「市街地の整備改善」と「商業等の活性化」を柱とした各種施策の展開と、中心部に蓄積された社会資本の活用により、活気あるものにしようとするものである。

特に、「商業等の活性化」に向けた施策については、次の事業を推進及び支援した。

(1)　中心市街地活性化支援

栃木商工会議所が、中心商店街の活性化や賑わいの創出のために商業者や地域住民の意見を十分に取り入れながら平成１６年３月に策定した栃木市ＴＭＯ構想の事業推進への支援を行った。

名　　称	事業費	市補助金	備考
中心市街地活性化支援事業 （栃木商工会議所運営事業費内）	3,200,000 円	1,500,000 円	事業費助成

(2)　中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	場所	来場者(人)
小江戸とちぎ人形まつり	5 月 4 日(水)、5 日(木)	山車会館前広場	約 8,000
県名発祥の地大博覧会	6 月 11 日(土)、12 日(日)	山車会館前広場	3,500
蔵の街サマーフェスタ協賛 栃っ子茶屋	8 月 6 日(土)、7 日(日)	山車会館前広場	71,000
小江戸野州栃木 お蔵のお人形さん巡り	10 月 7 日(金) ～11 月 6 日(日)	中心市街地一円	23,000
蔵の街ふるさとまつり （栃木市の産業と物産展同時開催）	11 月 5 日(土)、6 日(日)	蔵の街大通り	56,000
あそ雛まつり	2 月 25 日(土) ～3 月 4 日(土)	中心市街地一円	－

(3)　倭町小江戸ひろば整備事業

・事業名　倭町小江戸ひろば北蔵改修工事（H22～継続）

・契約額　34,240,500 円

所　在　地	栃木市倭町１４－１			
構　造	見世蔵	土蔵造(一部木造り)２階建 共用通路部分	60.26 ㎡ 13.13 ㎡	北蔵 cafe ひがの
	居宅	木造り２階建	76.32 ㎡	小山工専
	土蔵	土蔵造２階建	49.15 ㎡	ｻﾃﾗｲﾄｷｬﾝﾊﾟｽ
床　面　積	198.86 ㎡			

4　制度融資

資金需要の増大や旧４町の企業の利用、市制度融資利用者を対象にした保証料の全額補助により、平成２２年度より利用件数、金額ともに急増し、平成２３年度も同程度に推移した。

(1)　市制度融資の利用状況

ア　中小企業向け資金融資

設備の合理化・経営の安定等に必要な事業資金の融資をするため、栃木県信用保証協会に 19 億 1,000 万円を預託し、その利用促進を図った。

(ｱ)　中小企業設備合理化資金

・融資限度額　2,000 万円以内

・返 済 期 間　１０年以内(据置き６か月以内)

・年　　利　５年以内　　1.7%

５年超～７年以内　2.0%

７年超　　2.2%

・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
49 件	235,100 千円	46 件	276,300 千円	8 件	43,960 千円

(ｲ)　中小企業経営安定資金

・融資限度額　2,000 万円以内

・返 済 期 間　７年以内（据置き６か月以内）

・年　　利　３年以内　　1.5 %

３年超～５年以内　1.7 %

５年超　　1.9 %

・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
452 件	2,483,750 千円	473 件	3,009,000 千円	148 件	1,045,500 千円

(ｳ)　小規模企業者資金

・融資限度額　1,250 万円以内

・返 済 期 間　５年以内（据置き６か月以内）

・年　　利　３年以内　1.7 %、

３年超　　1.8 %

・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
50 件	112,550 千円	43 件	113,120 千円	63 件	183,994 千円

イ　中小企業創業資金融資

起業や事業転換等の促進のため、設備資金や運転資金への融資を目的として、栃木県信用保証協会に 1,800 万円を預託し、その利用促進を図った。

・融資限度額　500 万円以内

・返 済 期 間　５年以内（据置き６か月以内）

・年　　利　1.7 %

・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
11 件	37,500 千円	2 件	9,000 千円	5 件	12,000 千円

ウ　中小企業緊急景気対策特別資金融資

不況による売上の減少や、取引金融機関の破綻等により、金融取引に支障を来している事業所を金融面から支援し、経営の安定を図るため、栃木県信用保証協会に2億6,200万円を預託し、その利用促進を図った。

・融資限度額　売上の減少　1,000万円以内
　セーフティネット６号認定　1,000万円以内
・返済期間　５年以内（１年超の場合に据置き６か月以内）
・年利　１年以内　1.5％
　１年超～３年以内　1.7％
　３年超　1.8％

・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7件	44,000千円	12件	61,000千円	35件	219,200千円

エ　まちづくり資金融資

歴史的町並み景観形成資金及び栃木駅周辺地区まちづくり資金の融資の取扱金融機関として足利銀行栃木支店、栃木信用金庫本店及び栃木銀行栃木支店を指定し、計1,400万円を預託した。

(ｱ)　歴史的町並み景観形成資金

蔵の街大通りや巴波川周辺地区において魅力的な街づくりを推進するための、歴史的建造物を生かした景観修復等に対する融資。

・融資限度額　3,000万円以内
・返済期間　１５年以内
・年利　５年以内　2.2％
　５年超～１０年以内　2.4％
　１０年超　2.7％

・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
－件	－千円	－件	－千円	－件	－千円

(ｲ)　栃木駅周辺地区まちづくり資金

市の玄関口にふさわしい魅力ある街づくりを推進するための、栃木駅周辺地区の景観形成に対する融資。

・融資限度額　3,000万円以内
・返済期間　１５年以内
・年利　５年以内　2.2％
　５年超～１０年以内　2.4％
　１０年超　2.7％

・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
－ 件	－ 千円	－ 件	－ 千円	－ 件	－ 千円

オ　勤労者向け資金融資

勤労者住宅資金

勤労者の住宅取得促進により、文化的で安定した生活を確保するため、中央労働金庫栃木支店に 2,100 万円を預託し、勤労者の住宅建設や用地取得に必要な資金への融資を行った。

・融資限度額　2,000 万円以内
・返 済 期 間　３５年以内
・年　　利　2.78 ％
・融資状況

平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
件 数	金　　額	件 数	金　　額	件 数	金　　額
－ 件	－ 千円	－ 件	－ 千円	－ 件	－ 千円

カ　中小企業向け資金融資信用保証料補助

市制度融資の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、また、予算の範囲内で補助する前年度保証料分割払い分についても全額補助し、その負担を軽減した。

・当該年度融資実行分（全額補助）

区　　分	平成２３年度		平成２２年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	49	5,574,431	46	6,760,960
経営安定	452	51,982,123	473	57,520,761
小規模企業者	50	2,268,415	43	2,418,012
緊急景気	7	851,957	12	1,254,720
創業	11	905,887	2	198,000
計	569	61,582,813	576	68,152,453

・前年度分割払い分（予算の範囲内で補助）

区　　分	平成２３年度（補助率：100%）		平成２２年度（補助率：100%）		平成２１年度（補助率：100%）	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	1	44,550	11	912,493	6	323,655
経営安定	13	829,605	148	21,077,262	62	2,698,851
小規模企業者	6	231,898	61	3,308,263	42	3,332,810
緊急景気	4	89,355	40	4,501,589	70	5,400,844
創業	0	0	7	279,270	8	427,775
計	24	1,195,408	267	30,078,877	188	12,183,935

(2)　経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

・中小企業信用保険法第２条第４項第１～８号　　（単位：件）

保険法	適用事項	平成23年度	平成22年度	平成21年度
第１号	連鎖倒産防止	－	－	－
第２号	取引先企業のリストラ等の事業活動の制限	－	－	－
第３号	突発的災害（事故等）	－	－	－
第４号	突発的災害（自然災害等）	－	－	－
第５号	業況の悪化している業種	215	422	526
第６号	取引金融機関の破綻	－	－	159
第７号	金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整	－	－	－
第８号	金融機関の整理回収機構に対する貸付債権の譲渡	－	－	－
計		215	422	685

5　工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合を審査・指導した。

・届出件数

計	新　設	変　更	承　継
10	1	7	2

6　大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設（道路、公園、調整池等）の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

大光寺工業団地の概要	総面積 15.2ha　　分譲完了 昭和63年9月		
企業名（事業所名）	本社住所	工場所在地	製造品名
トヨタホーム㈱栃木事業所	名古屋市東区泉1-23-22	大光寺町3487-1	鉄骨系住宅
㈱ムトウユニパック栃木工場	江東区永代1-7-12	大光寺町1313-1	和・洋封筒
旭化学合成㈱栃木工場	板橋区小豆沢3-6-7	大光寺町3487-8	合成接着剤

7　大光寺工業団地連絡協議会

団地内施設の適正な維持管理を図るため、市及び立地企業で組織する大光寺工業団地連絡協議会の活動として、定期的な清掃等を実施した。

(1)　工業団地管理事業

道路・公園等敷地清掃

・実施回数　１０回

（6月2日、7月27日、8月24日、9月28日、10月26日
11月16日、12月21日、1月24日、2月22日、3月23日）

(2)　草刈り

緊急雇用創出事業にてシルバー人材センターに委託

・実施回数　3回(6月、8月、11月)

8　陸砂利採石監視事業

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、監視員を委嘱し定期的に監視活動を実施した。

・活動実績

区分	か所数（か所）	総認可面積（㎡）
砂利採取法に基づく認可地	5	162,825
採石法に基づく認可地	8	2,799,382

9　労働者の福祉施策

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、栃木市勤労者総合福祉センターの管理運営事業を大新東ヒューマンサービス㈱に委託し、各種講座を実施した。

・利用者数

使用区分	1階会議室	2階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ホール	個人1階会議室	合　計
件　数(件)	437	237	83	1,007	319	224	479	16	2,802
人　数(人)	5,069	5,306	709	25,141	3,848	2,339	1,751	442	44,605

・自主講座参加者数

講座名	第1期	第2期	第3期	平均年齢（歳）	合計（人）
実用書	5月9日～7月11日 10回　98人	8月22日～11月7日 10回　120人	12月19日～3月5日 9回　91人	62	309
筋力アップ	5月9日～7月11日 10回　478人	8月22日～11月7日 10回　446人	12月19日～3月5日 9回　399人	57	1,323
押花アート	5月9日～7月11日 10回　125人	8月22日～11月7日 10回　126人	12月19日～3月5日 9回　97人	62	348
フラダンス	5月9日～7月11日 10回　154人	8月22日～11月7日 10回　155人	12月19日～3月5日 9回　119人	61	428
エアロビクス	5月11日～7月13日 10回　445人	8月24日～11月2日 10回　450人	1月11日～3月7日 9回　347人	52	1,242
リズム体操	5月12日～7月14日 10回　548人	8月25日～10月27日 10回　546人	1月12日～3月8日 9回　463人	67	1,557
社交ダンス	5月12日～7月14日 月10回　287人	8月25日～10月27日 10回　270人	1月12日～3月8日 9回　189人	66	746
健康体操	5月7日～7月9日 10回　449人	8月27日～11月5日 10回　511人	12月17日～3月3日 9回　471人	64	1,431
合計	2,584人	2,624人	2,176人	60.1	7,384

・単発講座、イベントの参加人数

名称	開催日	人数(人)	名称	開催日	人数(人)
5月フリーマーケット	5月15日(日)	35	11月フリーマーケット	11月21日(月)	20
6月ふれあいパーティー	6月5日(日)	50	体力測定	12月8日(木)	18
八方ヶ原ハイキング	6月12日(日)	18	メイク講座①	12月10日(土)	4
6月フリーマーケット	6月19日(日)	40	12月ふれあいパーティー	12月18日(日)	50
7月フリーマーケット	7月17日(日)	60	婚活ゼミ	1月29日(日)	8
折り紙講座	7月31日(日)	12	廃油石鹸作り講座	2月23日(木)	10
8月ふれあいパーティー	8月21日(日)	26	2月ふれあいパーティー	2月12日(日)	20
9月フリーマーケット	9月18日(日)	35	勤総フェスティバル（フリーマーケット含む）	3月11日(土)	842
10月ふれあいパーティー	10月29日(土)	26	メイク講座②	3月17日(金)	3

10　労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名　　称		金　　額(円)
第80回栃木県メーデー下都賀地区大会補助金		50,000
福利厚生活動補助金		130,000
内　訳	スポーツ大会	10,000
	野球大会	40,000
	家族ふれあい行事	40,000
	列島クリーンキャンペーン	10,000
	新春の集い	30,000

11　栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

(1)　求人情報の提供

・ハローワークとちぎ求人情報の配布（通年）

(2)　会議及び啓発事業

実施日	内　　容
6月29日(水)	第1回栃木市就業安定対策協議会・幹事会合同会議開催
11月18日(金)	人権リーフレットを送付（市内企業500社）
12月6日(火)	人権啓発活動参加

12 月 10 日(土)	「人権を考える市民の集い 2011」協賛　参加者へ啓発資料を配布
1 月 26 日(木)	「改正育児介護休業法説明会」時に啓発資料配布
2 月 14 日(火)	「公正採用選考人権啓発研修会」時に啓発資料配布
2 月 20 日(月)	「雇用管理研修会」時に啓発資料配布

12　中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

事業団体

・栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンター（愛称　ウェルワークとちぎ）
・理事長　　鈴木俊美
・所在地　　栃木市日ノ出町１４－３６
・会員数　　事業所数　　５４５箇所
　　従業員数　　1,048 人

(1)　会議関係

日　時	場　所	内　　容
5 月 13 日(金)	市民会館	第 1 回サービスセンター担当主管課長会議
5 月 24 日(火)	保健福祉センター	第 1 回サービスセンター理事会
8 月 12 日(金)	市民会館	第 2 回サービスセンター担当主管課長会議
8 月 19 日(金)	市民会館	第 2 回サービスセンター理事会
3 月 13 日(月)	市民会館	第 3 回サービスセンター担当主管課長会議
3 月 19 日(日)	市民会館	第 3 回サービスセンター理事会

(2)　実施事業

ア　余暇活動事業

(ｱ)　スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

区　　分	内　　容	場　　所	参加人員(人)
6 月 4 日(土)	プロ野球観戦とホテルディナーバスツアー	東京ドーム	39
6 月 29 日(水)	ボウリング大会	サンプラザボウル	44
9 月 4 日(日)	ゴルフコンペ	栃木ケ丘ゴルフクラブ	16
9 月 28 日(水)	ボウリング大会	サンプラザボウル	28
10 月 26 日(水)	ボウリング大会	サンプラザボウル	39
12 月 23 日(金)	栃木県内４共済会合同事業 「東京ディズニーランドパーク・ファン・パーティーバスツアー」	東京ディズニーランド	41
1 月 4 日(水)	ミュージカル観劇バスツアー	劇団四季劇場「秋」	29
合　　計			236

(ｲ) 旅行等補助事業

宿泊施設利用補助	122 件
提携ツアー利用補助	19 件

イ 余暇施設利用事業

提携施設名	利用人数(人)
東武ハッピーフリーパス（東武動物公園：含む東武ファミリークラブ）	761
那須ハイランドパーク	350
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	907
シネマロブレ５（映画館）	1,335
小山温泉「思川」	280
エーデルワイス・スキーリゾート	30
大平ぶどう団地（ぶどう狩り）	155
アグリの郷（いちご狩り）	44
栃木市運動公園プール	203
合計	4,065

ウ 在職中の生活安定事業

慶弔給付金

給付項目	件数(件)
結婚祝金	10
出産祝金	24
銀婚祝金	7
入学祝金	79
死亡弔慰金	38
傷病見舞金	9
成人祝金	2
合計	169

エ 文化教養健康事業

(ｱ) 自己啓発事業

区分	内容	場所	参加人数(人)
11 月 20 日(日)	フラワーアレンジメントとガーデニング教室	栃木市民会館	16
2 月 25 日(土)	ビーズアクセサリー教室	栃木市民会館	10
通年	各種チケットのあっせん	栃木市大平文化会館等	80
合計			106

(ｲ) 健康の維持増進事業

人間ドック・脳ドック助成事業	27 人
インフルエンザ予防接種受診助成事業	137 人

オ 広報宣伝活動（ＰＲ活動）

・会報「ウェルワークとちぎ」を年６回発行

・ガイドブックを年度当初に発行し、全会員へ送付

カ　会員勧誘活動

・１市１町の担当主管課と連携を図り、事務局と合同で未加入事業所等の調査を実施した。

・ふるさと雇用事業「勤労者福祉厚生普及啓発業務委託」を活用し、約８０２ヵ所の事業所を回り、調査及び加入促進を図った。

キ　その他

会員の誕生月に「バースデープレゼント」として「ジェフグルメカード（千円相当）を贈呈した。

13　栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、さらなる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業で本会を設置した。

・実施日　１２月１２日(月)

・会員企業　（単位：事業所）

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	合計
20	8	1	5	5	39

14　産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高めることが本市における産業の活性化につながることから産業財産権の取得を促進するための補助制度を創設した。

・対　　象　　産業財産権を取得した中小企業者

・対象となる産業財産権　特許権、実用新案権、意匠権、商標権

・補助・助成金の内容　　特許等取得に対する助成
取得後6ヶ月以内に申請
取得対象費用の2/3とする
（特許権は５０万円を、それ以外は１０万円を限度とする）

・実用新案権　　３件補助

観光振興担当

1　観光振興宣伝事業

本市は、桜とアジサイの太平山、古刹と手打そばの出流、セツブンソウとカタクリの星野、鯉と柳の巴波川、見世蔵と洋館の蔵の街など、美しい自然と歴史的文化遺産に恵まれており、平場の観光地として個性豊かな表情を持っている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1)　観光パンフレット等の制作・配布

総合パンフレット、るるぶ栃木、蔵の街散策マップ（蔵の街ウォーキングマップ）、太平山、出流・星野ほか

(2)　観光展等への出展

ア　第２２回中央区大江戸まつり盆おどり大会

・実施日　８月２６日(金)、２７日(土)

・会　場　浜町公園（東京都中央区）

イ　平成２３年度春の関東甲信静観光展

・実施日　２月１日(水)

・会　場　横浜駅新都市プラザ　地下２階（横浜市西区）

(3)　広域観光推進事業

広域観光の充実を図るために、３市３町（栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）による下都賀地区広域観光開発推進協議会の事業を実施した。

・観光キャンペーンへの参加

実施日	キャンペーン
6月24日(金)	「やすらぎの栃木路」大宮キャンペーン
7月3日(日)	「やすらぎの栃木路」佐野プレミアム・アウトレットキャンペーン
8月24日(水)、25日(木)	「やすらぎの栃木路」千葉キャンペーン
9月6日(火)	「やすらぎの栃木路」仙台キャンペーン
9月22日(木)～25日(日)	新宿駅西口「やすらぎの栃木路」フェア
12月2日(金)	「やすらぎの栃木路」冬・茨城キャンペーン
2月17日(土)	「やすらぎの栃木路」群馬キャンペーン
3月23日(木)	「やすらぎの栃木路」とちぎ産直市

(4)　マスメディアへの取材協力

ア　新聞・雑誌

新聞・雑誌	取材内容
朝日新聞	花まつり、あじさいまつり、とちぎ秋まつり
読売新聞	とちぎ秋まつり
下野新聞	花まつり、あじさいまつり、うずまの鯉のぼり、オクトーバーフェスト２０１１、うずま冬ほたるキラフェス２０１１、小江戸サミット、寒晒しそば（出流地区）

イ　テレビ・ラジオ

テレビ・ラジオ	取材内容
日本テレビ	巴波川遊覧船、蔵の街
ＮＨＫ	巴波川遊覧船、小江戸サミット
ＴＢＳ	巴波川遊覧船、蔵の街
ＢＳ－ＴＢＳ	巴波川遊覧船
とちぎテレビ	巴波川遊覧船、蔵の街、
テレビ東京	巴波川遊覧船、蔵の街

とちぎケーブルテレビ	巴波川遊覧船、蔵の街、あじさいまつり、小江戸サミット、オクトーバーフェスト２０１１、うずま冬ほたるキラフェス２０１１、寒晒しそば（出流地区)、とちぎの四季観光写真コンテスト
レディオベリー	巴波川遊覧船、蔵の街、小江戸サミット、オクトーバーフェスト２０１１、うずま冬ほたるキラフェス２０１１
栃木放送	オクトーバーフェスト２０１１

ウ　インターネット

インターネット	取材内容
るるぶ.com	あじさいまつり、百八灯流し
まっぷるnet	太平山
下野新聞「ＳＯＯＮ」	あじさいまつり、オクトーバーフェスト２０１１、うずま冬ほたるキラフェス２０１１、寒晒しそば（出流地区）
ＪＲ 駅長のおすすめ情報	とちぎあじさいまつり

(5)　太平山県立自然公園、出流山、星野及び蔵の街の推定来訪者数（１月～１２月集計）

（単位：人）

観光地	平成２３年	平成２２年	平成２１年
太平山	709,000	968,000	983,000
出流山	414,455	510,400	531,900
星野	208,000	255,000	255,000
蔵の街	322,220	665,400	442,900
計	1,653,675	2,398,800	2,212,800

(6)　市内観光施設等入込状況（１月～１２月集計）　（単位：人）

施設名	平成２３年	平成２２年	平成２１年
岡田記念館	10,975	14,216	14,946
横山郷土館	4,973	7,738	7,407
塚田歴史伝説館	16,590	21,211	18,532
あだち好古館	3,913	5,023	4,726
郷土参考館	10,539	14,200	13,611
とちぎ山車会館	24,793	31,248	31,519
山本有三ふるさと記念館	7,355	9,917	10,865
とちぎ蔵の街美術	17,679	14,953	24,041
旧栃木駅舎保存館	2,480	1,808	1,379
岩下記念館	5,743	6,953	8,585
計	105,040	127,267	135,611

２　観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1)　とちぎあじさいまつり

・期　　間　６月１７日（金）～７月３日（日）
・場　　所　太平山県立自然公園（あじさい坂）
・主　　催　栃木市、（社）栃木市観光協会、栃木市観光ボランティア協会
・人　　出　約61,000人

(2)　蔵の街サマーフェスタ

・日　　時　８月６日（土）、７日（日）　午後４時～９時
・場　　所　蔵の街大通り、銀座通り、巴波川
・主　　催　蔵の街サマーフェスタ実行委員会
・共　　催　(社)栃木市観光協会、(社)栃木青年会議所、栃木商工会議所青年経営者会、うずま川遊会
・後　　援　栃木市、栃木市教育委員会、栃木商工会議所、栃木市自治会連合会他
・人　　出　約71,000人

(3)　小江戸サミット２０１１in日本橋

・日　　時　１０月３０日（日）　午前１０時～午後７時００分
・会　　場　日本橋及びYUITO日本橋室町野村ビル
・主　　催　川越市、香取市、栃木市、小江戸とちぎ会、川越小江戸サミット推進委員会、小江戸さわら会
・行事内容　日本橋架橋１００年記念イベント
　　小江戸サミット・交流会

(4)　第２回とちぎの四季観光写真コンテスト

・主　　催　栃木市、(社)栃木市観光協会、大平町観光協会、藤岡観光協会、つがまち観光協会、西方町観光協会
・協　　賛　栃木県カメラ商組合栃木支部
・応募総数　２２６点
・入賞作品　最優秀賞１点、優秀賞３点、春夏秋冬賞４点、観光協会賞５点、入選７点
・展示会場　とちぎ山車会館、大平図書館、藤岡スポーツふれあいセンター、つがの里ふるさとセンター、道の駅にしかた

３　観光施設整備事業

(1)　鯉飼育管理事業

ア　飼育場の環境整備

河川愛護会、自治会連合会、保健委員連合会の共催による巴波川一斉清掃に参加し、モク刈り、川底投棄物の回収等の実施に協力した。

実施日	実施個所
5月29日（日）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
7月17日（日）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
10月16日（日）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀

イ　鯉の放流

コイヘルペスウィルス病まんえん防止のため、平成１６年から鯉の放流が禁止されているが、蔵の街の観光資源であるコイが巴波川や県庁堀から姿を消し魅力が薄れていることから、放流の可能性について県と協議を行った。その結果、ＰＣＲ検査(コイヘルペスウイルス陰性検査)を受けた鯉に限り放流できるとの回答を得たため、同検査を受けた錦鯉８５匹を県庁堀へ試験的に放流した。

(2)　首都圏自然歩道管理事業

首都圏自然歩道を安全かつ快適な利用に供するため、歩道の草刈等を実施した。

・桜咲くパノラマの道、風土記のみち、麦笛のみち、稜線をたどる道
（延長５２．１㎞）

4　観光施設等利用状況

(1)　山車会館入館状況　（単位：人）

			平成２３年度	平成２２年度	平成２１年度
４月			866	2,278	2,012
５月			2,162	3,772	2,415
６月			3,999	5,210	4,607
７月			1,601	2,260	1,788
８月			1,092	1,470	1,395
９月			1,985	2,878	4,155
１０月			3,366	3,440	5,084
１１月			4,562	3,910	3,930
１２月			1,382	1,446	1,617
１月			657	1,200	1,248
２月			1,220	1,905	1,655
３月			1,053	673	1,953
総　計			23,945	30,442	31,859
内訳	有料	割引あり	13,960	19,152	20,485
		割引なし	5,656	7,310	7,193
	無　料		4,329	3,980	4,181

(2)　倭町駐車場（蔵の街第一駐車場）利用状況　（単位：台）

	平成２３年度	平成２２年度	平成２１年度
４月	2,858	2,768	3,014
５月	3,127	2,764	2,764
６月	3,095	2,603	2,692
７月	3,444	3,269	3,148

８月	2,433	2,021	2,099
９月	2,567	2,360	2,226
１０月	2,272	2,400	2,769
１１月	2,454	2,118	2,111
１２月	3,250	3,212	3,117
１月	2,310	2,151	2,127
２月	2,213	2,329	2,120
３月	2,546	2,151	2,522
総　　計	32,569	30,146	30,709

(3)　山車会館前広場利用状況

実　施　日	行　　事	主　催　等
5月4日（火）、5日（水）	小江戸とちぎ人形まつり	小江戸とちぎ 人形まつり実行委員会
6月11日（土）、12日（日）	県名発祥の地大博覧会	栃木市商店会連合会
8月6日（土）、7日（日）	蔵の街サマーフェスタ	蔵の街サマーフェスタ 実行委員会
10月9日（日） 10月23日（日）	「小江戸野州栃木お蔵のお人形さん巡り」協賛 「カラクリ人形実演」及び湯茶接待	栃木市商店会連合会
11月5日（土）、6日（日）	蔵の街ふるさとまつり 栃っ子茶屋	ふるさとまつり実行委員会 栃木市商店会連合会 他
2月26日（日）	とちぎのあそ雛まつり	とちぎの雛まつり実行委員会

(4)　とちぎ蔵の街観光館利用状況

月	多目的ホール		蔵　　座　　敷	
	回数(組)	人　員(人)	回数(組)	人　員(人)
4	22	386	8	67
5	22	651	12	290
6	31	626	15	250
7	19	450	2	40
8	22	687	11	215
9	34	1,107	20	790
10	27	822	18	873
11	28	734	6	126
12	28	750	2	20
1	19	389	8	169
2	22	495	7	94
3	39	713	15	264
計	313	7,810	124	3,198

5　巴波川利用促進団体連絡協議会（うずま川遊会）

(1)　巴波川を利用したイベントの企画、調整、運営に関すること

ア　うずまの鯉のぼり

・実施日　４月１６日（土）～５月２９日（月）

・場　所　巴波川及び巴波川綱手道（常盤橋～幸来橋～巴波川橋下）

イ　蔵の街サマーフェスタ『舟行イベント』及び百八灯流しへの協力

・実施日　８月６日（土）、７日（日）

・場　所　巴波川（塚田歴史伝説館前）

ウ　オクトーバーフェスト in 蔵の街２０１１

・実施日　１０月７日（金）～９日（日）

・場　所　うずま公園及び瀬戸河原公園

エ　うずま冬ほたるキラフェス２０１１

・実施日　１０月７日（金）～１月９日（月・祝）

・場　所　巴波川（常盤橋～幸来橋～瀬戸河原公園・うずま公園）

オ　舟行イベント

・実施日　通年実施（年末年始を除く）

※平日については（社）栃木市観光協会と連携して実施

・場　所　巴波川　幸来橋～瀬戸河原堰

(2)　巴波川に関する啓発活動

ア　協議会として河川清掃への参加、実施

・参加日　５月２９日（日）

７月１７日（日）

１０月１６日（日）

イ　ＰＲ・アイデア募集

・ホームページによるＰＲ

・各種メディアを通したＰＲ

・ブログの管理（うずま川遊会ブログ）

6　フィルムコミッション事業

本市の知名度向上を図るとともに、ロケ地を広く紹介することにより地域イメージのブランド化を図ることを目的として、映画やテレビ等のロケーション撮影を積極的に誘致した。

・ロケーション撮影支援件数　（単位：件）

映　画	ドラマ	情報番組	その他	合　計
2	6	8	5	21

7　倭町小江戸ひろば管理運営事業

市街地に存する倭町小江戸ひろばの管理運営及び交流センター内における観光案内を栃木市観光協会へ委託することにより、観光客へのおもてなしを図った。

第２節　農林課

〔総括概要〕

農業は、国民に対する食料の安定的な供給という重要な役割を果たしているだけでなく、自然環境の保全、土壌浸食防止、気候の緩和、特徴的な景観及び文化伝統の形成など多面的かつ公益的な機能をも果たしている。

しかし、今日の農業は、食料自給率の低迷、農家数の減少や農業者の高齢化の進行、後継者不足、耕作放棄地の拡大、さらに東日本大震災による福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の飛散等による風評被害など、非常に厳しい状況が続いている。

こうした状況下で、「食料・農業・農村基本法」に基づき、農産物の安定供給機能の強化や農業経営安定化の推進、多面的機能の保全や、生産者と消費者、都市と農村の相互理解と交流・共生を可能とする施策の展開を図ってきた。

本市は、恵まれた気候、地形等の自然条件に加え、首都圏に位置することから、重要な食料供給地としての役割を担っており、これらに適切に対処するため、農業金融制度の充実や補助事業の導入により、土地利用型農業の体質強化と担い手の育成、野菜・花きなどの園芸作物の生産振興、農業生産基盤の計画的整備その他農畜産物の消費拡大等の各種事業を推進した。

また、農村の活性化と都市住民の余暇活動に対するニーズへの対応として、グリーンツーリズム基本構想に基づき、その実現に向け栃木市グリーンツーリズム推進協議会及び地区協議会等における具体的な事業の検討と取組を実施している。

一方、林業においては、採算性の低下や担い手の高齢化などにより、手入れの行き届かない森林が多く残っているのが現状であり、健全な森林を育成する間伐等の森林整備を着実に推進することが緊急の課題になっている。

このような中、森林の有する多面的機能の確保を目指しながら、林業生産基盤の整備をはじめとして、森林の適正な管理の推進、林業関連事業体及び担い手の育成、間伐を中心とした森林整備の普及啓発を推進した。

さらに、人と自然環境の共生を図るため、野生鳥獣の適正な保護管理対策の推進や、森林のアメニティ効果の面から、レクリエーションや保健休養の場としての利用の促進を図った。

農業振興担当

1　農業者戸別所得補償制度

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、戸別所得補償制度の推進により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1)　米の所得補償交付金

本市栃木地域に提供された平成２３年産米に係る需要情報は７，６０５トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市栃木水田農業推進協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	3,090人
水稲生産実施計画書提出農業者数（①）	2,064人
生産確定数量の計（積算式）	7,293,274kg
作付確定面積（積算式）（②）	14,645,130㎡
主食用等水稲作付面積の計（積算式）（③）	11,757,232㎡
差引(②－③)	2,887,898㎡
水稲生産確定面積に対する 主食用等水稲作付面積の割合（③÷②）	80.3%

(2)　水田活用の所得補償交付金

戦略作物作付面積（交付対象面積）

二条大麦	5,995,700㎡
大豆	817,700㎡
そば	215,100㎡
飼料作物	533,900㎡
新規需要米・加工用米	2,413,100㎡

(3)　農政協力員会議

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市栃木水田農業推進協議会との連携により、農政協力員会議を開催した。

・農政協力員会議の開催状況

開　催　時　期	参加者数(人)
4月26日(火)、27日(水)	92
3月15日(水)、16日(木)	96

2　農業制度資金関係

(1)　農業近代化資金利子補給費

農業者が、資本整備の高度化及び農業経営の近代化を図るため融資機関から借り入れた資金に対し利子補給を行い、安定した農業経営の推進について支援を行った。

・利子補給金額　（単位：円）

区　分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下野農協	65,691,307	341,936	100,347,212	607,577	949,513
上都賀農協	－	－	3,225,863	48,387	48,387

栃木県酪農協	1,487,671	7,810	1,427,397	7,493	15,303
酪農とちぎ	－	－	1,658,449	11,609	11,609
栃木県開拓農協	－	－	6,182,444	43,277	43,277
栃木信用金庫	95,400	477	604,931	3,025	3,502
合　　計	67,274,378	350,223	113,446,296	721,368	1,071,591

・特別利子（上乗せ分）　（単位：円）

区　　分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下野農協	39,421,396	156,256	36,520,241	133,345	289,601
上都賀農協	－	－	－	－	－
栃木県酪農協	－	－	－	－	－
酪農とちぎ	－	－	－	－	－
栃木県開拓農協	－	－	－	－	－
栃木信用金庫	－	－	－	－	－
合　　計	39,421,396	156,256	36,520,241	133,345	289,601

・２３年度融資申請状況

区　　分	申請件数(件)	申請金額(千円)
下野農協	8	24,570
上都賀農協	－	－
栃木県酪農協	－	－
酪農とちぎ	－	－
栃木県開拓農協	－	－
栃木信用金庫	－	－
栃木銀行	1	17,000
合　　計	9	41,570

(2)　農業経営基盤強化資金利子助成関係

経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者の育成支援を図るため、農業経営基盤強化促進法における農業経営改善計画の認定を受けた農業者が融資機関から借り入れた資金に対し利子助成を行い、経営改善の支援を行った。

・利子助成金額

件　数	融資平均残高	利子助成金額
２６件	573,603,573円	850,375円

・２３年度融資申請状況

申請件数	申請金額合計
３　件	17,600,000円

(3)　栃木市がんばろう“とちぎの農業”緊急支援資金利子補給費

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により、出荷停止等の損失を受けた農業者が融資機関から借り入れた緊急支援資金に対し利子補給を行い、被害農家の一

刻も早い復旧と経営安定の支援を行った。

・利子補給金額　（単位：円）

区　分	上期		下期		利子補給金合計
	融資平均残高	利子補給金	融資平均残高	利子補給金	
下野農協	－	－	2,397,262	35,957	35,957
上都賀農協	－	－	797,260	11,958	11,958
合　計	－	－	3,194,522	47,915	47,915

・２３年度融資申請状況

区　分	申請件数(件)	申請金額(千円)
下野農協	3	20,000
上都賀農協	1	3,000
合　計	4	23,000

3　農業経営基盤強化促進事業

地域の実態に即した農業､農村の振興を図るため､地域農業者の創意と意欲を生かし、自主性に基づいた活動を促進するとともに、農用地等の確保及び有効利用と農用地利用集積事業を中心とする農用地の利用権等の集積を通じて、認定農業者等、今後育成すべき農業者の確保と集落機能の活性化等を図った。

(1)　経営改善支援活動事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

・農業経営改善計画認定者数　１４６人

4　農用地利用集積事業

(1)　農地流動化関連事業

認定農業者等、今後育成すべき農業者に農地を集積し規模拡大を図るため、農業委員会との連携のもと、農地の貸し借り等、掘り起こし活動を実施し、農業経営基盤強化促進法による農地の流動化を推進した。

(2)　農用地利用集積計画策定状況

番号	公告年月日	告示番号	利用権等の種類	面積(㎡)
1	平成23年5月1日	栃木市告示第143号	利用権の設定	409,001
2	平成23年6月1日	栃木市告示第173号	利用権の設定	356,836
3	平成23年6月1日	栃木市告示第174号	所有権の移転	4,720
4	平成23年7月1日	栃木市告示第203号	利用権の設定	125,810
5	平成23年8月1日	栃木市告示第212号	利用権の設定	191,359
6	平成23年8月1日	栃木市告示第213号	所有権の移転	8,706
7	平成23年8月31日	栃木市告示第241号	利用権の設定	87,831
8	平成23年10月1日	栃木市告示第331号	利用権の設定	325,947

9	平成23年10月1日	栃木市告示第332号	所有権の移転	9,584
10	平成23年11月1日	栃木市告示第377号	利用権の設定	302,172
11	平成23年11月1日	栃木市告示第378号	所有権の移転	6,630
12	平成23年12月1日	栃木市告示第407号	利用権の設定	490,196
13	平成23年12月1日	栃木市告示第408号	所有権の移転	15,127
14	平成24年1月1日	栃木市告示第1号	利用権の設定	721,535
15	平成24年1月1日	栃木市告示第2号	所有権の移転	17,751
16	平成24年2月1日	栃木市告示第19号	利用権の設定	462,571
17	平成24年2月1日	栃木市告示第20号	所有権の移転	19,063
18	平成24年2月29日	栃木市告示第44号	利用権の設定	509,605
19	平成24年3月1日	栃木市告示第47号	所有権の移転	10,358
	合　　計			4,074,802

期間	農用地利用集積計画								
	利用権設定（転貸及び経営受委託を除く）面積（ha）								
	田	畑	樹	採	施	開	混	未	合　計
1~5年	261.5	9.4	－	－	－	－	－	－	270.9
6~9年	70.7	4.9	－	－	－	－	－	－	75.6
10年~	49.9	1.4	－	－	－	－	－	－	51.3
合計	382.1	15.7	－	－	－	－	－	－	397.8

5　農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画の一般管理

農業振興地域において、総合的かつ計画的な農業の振興を積極的に推進しつつ、社会的・経済的諸情勢の変化に伴う農用地の転用等を行うための整備計画の変更について、申出に基づく一般管理を行った。

・農業振興地域整備計画の変更（市全域）　（単位：ha）

区　分		総面積	農用地						混牧林地	農業用施設用地	混牧林地以外の山林原野	その他
			農地				採草放牧地	計				
			田	畑	樹園地	計						
現況	農業振興地域	13,921 (±0)	7,404 (△8)	1,337 (△5)	127 (±0)	8,868 (△13)	2 (±0)	8,870 (△13)	2 (-)	34 (＋1)	576 (±0)	4,439 (＋12)
	農用地区域	6,892 (△1)	6,072 (△1)	666 (△1)	110 (±0)	6,850 (△2)	－ (-)	6,850 (△2)	－ (-)	32 (＋1)	－ (-)	10 (±0)
	農振白地地域	7,029 (＋1)	1,330 (△7)	671 (△4)	17 (±0)	2,018 (△11)	2 (±0)	2,020 (△11)	2 (-)	2 (±0)	576 (±0)	4,429 (＋12)

※（　　）は、前年比増減

6　農業委員会関係

農業委員会に関する交付金等について、県及び関係団体に対し交付申請等を行った。

7　集落型経営体の育成

(1)　地域農業担い手組織育成事業

農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業の新たな担い手として期待される「集落型経営体」設立に向けた合意形成を促進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して、研修会・座談会等を開催した。

・事業主体　下野農業協同組合

・対象集落　神田・城内・今泉町、尻内町

・事業費　　157,830円（補助金　県50,000円、市50,000円）

・集落営農研修会の開催

集　落　名	開催日	参加人数(人)
神田・城内・今泉・尻内第２集落	1月20日(金)	18

・集落座談会の開催

集　落　名	開催日	参加人数(人)
神田・城内・今泉集落	4月23日(土)	11
	2月23日(木)	5
尻内第２集落	9月9日(金)	14
	2月27日(月)	5

・啓発活動　集落営農に対する意識付けと理解の促進を図るため、会議等における説明及び回覧チラシによる啓発活動を行った。

(2)　集落営農プラスワン支援事業

新たな園芸作物への取組み又は既に作付している園芸作物の取組拡大をする集落営農組織に対し、補助金を交付することにより、次代の農業を担う集落営農組織の体制整備を支援するとともに、園芸作物の産地化を推進した。

・補助金　700,000円

・交付対象　７組織

（升塚集落営農組合、新第二集落営農組合、瓜畑集落営農組合
神ノ倉集落営農組合、北武井集落営農組合、下高島集落営農組合
真弓南集落営農組合）

8　農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体等の指導・育成及び支援を行った。

(1)　農業者懇談会補助金

市内農業団体の相互連携を図り、農家経営と生活向上、農村文化の向上、活力あるむらづくりと後継者の育成等の活動をしている農業者懇談会に対して助成を行った。

・補助金　114,000円

(2)　認定農業者協議会補助金

本地域農業の担い手であり、自らの経営改善の実践と地域の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対して助成を行った。

・補助金　90,000円

(3)　青年農業者海外派遣研修費補助金

国際化の進展に対応し得る優れた農業後継者の人材育成を図るため、栃木県青年農業者海外派遣研修の参加者に対して必要な経費の一部助成を行った。

・補助金　100,000円（参加者１人）

(4)　農業・農村男女共同参画推進事業

農業・農村における男女共同参画社会を実現し、農村女性による地域活性化を図るため、６次化産業においての先進事例を視察するため研修会を開催した。

・開催日　１１月２８日(月)

・場　所　那須町

・内　容　「農業・農村の６次化産業の事例に学ぶ」

那須高原今牧場（栃木県農業士）　今　耕一氏

アイス工房ももい　桃井　兼夫氏

・参加人数　４９人

9　栃木県南公設地方卸売市場事務組合関係

安定した食料の供給と豊かな食生活を図る流通拠点としての事業を推進した。

(1)　市場入場業者

・卸業者　　２社

・仲卸業者　　２０社（青果部　９社・水産物部　９社・花き部　２社）

・関連事業者　１６社

・買受人　　３１７人

(うち栃木市の買受人　青果部７７人･水産物部２２人・花き部１５人)

・買出人　　５５９人(うち栃木市の買出人　１８０人)

(2)　取扱高

区　　分	数　　量	金　　額（千円）
青　果　部	17,328　t	4,234,089
花　き　部	22,240　千点	1,341,249
合　　計	－	5,575,338

10　諸証明の発行状況

件　　名	件　数(件)
農振農用地区域等の証明	17
譲渡所得の特別控除に係る土地等についての証明等	24
登録免許税の税率の軽減措置に係る土地の取得証明	12
合　　計	53

11　とちぎアグリフェスタ事業

生産者と消費者の相互理解を深め、地域農業の振興と地域農産物のＰＲを図るため、下野農業協同組合との共催により、とちぎアグリフェスタ２０１１を開催した。

・開催日時　　１２月３日（土）、４日（日）　午前９時～午後３時
・会　　場　　栃木市総合運動公園中心広場
・来 場 者　　延べ約27,000人
・実施内容　　地域農産物の販売、地元農産物品評会、農産物無料配布、栃木市産農産物安全安心ＰＲ等

12　農業振興事業関係

(1)　首都圏農業確立対策事業

産地間競争に打ち勝てる足腰の強い園芸農業を展開するため、安全・安心な農産物の生産を推進した。

水田経営とちぎモデル条件整備事業

・事業主体　下野農業協同組合
・対象作物　米・麦・大豆等
・事業内容　大豆選別機一式、ロータリー、ドリルシーダー、シーダーロータリー
　　スタブルカルチ、サイバーハロー、乗用管理機の導入
・事業費　　9,968,000円（補助金　3,303,000円）

戦略作物産地形成推進事業

・事業主体　下野農業協同組合
・対象作物　ビール大麦、小麦、大豆
・事業内容　産地競争力の強化
・事業費　　556,586円（補助金　150,000円）

(2)　農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの適正処理を図るため、会議や視察研修会を実施し、分別回収を推進した。

・事業主体　下野農業協同組合
・事業内容　農業用廃ビニール分別回収、適正処理
　　（塩化ビニール・ポリエチレン類　320,160kg）
・事業費　　4,164,464円（補助金　270,000円）

(3)　食育実践事業（学校農園運営事業）

市内の小中学校を対象に学校農園を開設し、農と食を通した、食育の大切さを実感することを目的に実施した。

・実施校

市内小学校	市内中学校	合計
１４校	３校	１６校

13　畜産振興事業関係

(1)　栃木市畜産協議会関係

畜産農家が連携し、本市畜産業の振興を図るとともに、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

・事業主体　栃木市畜産協議会

・事業内容　視察研修会の実施
　　枝肉勉強会の実施
　　各種イベントへの参加
　　市内畜産物安全安心ＰＲの実施
　　各種防疫事業の実施

・事業費　　436,346円(補助金　160,000円)

14　農振センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、多目的使用可能な集会場として、農振センターの運営を行った。

・利用状況

利　用　団　体	利用日数(日)	利用人数(人)	備　考
農林課	4	60	会議等
栃木市農村生活研究グループ協議会	14	210	役員会、連絡会等
土地改良区関係	25	375	総会、各種会議
その他団体グループ	220	1,160	福利、厚生活動等
合　計	263	1,805	

15　グリーンツーリズム事業

地域資源を生かした幅広い交流を通して、農林業や農山村に対する都市住民の多様な期待とニーズに積極的に応え、農山村地域の活性化を図る取組を支援した。

(1)　地区協議会主催事業の検討及び学習活動への支援

地区協議会におけるグリーンツーリズム事業の検討及び先進事例の研究等に対し、助言及び情報提供を行った。

(2)　各地区における交流事業実施状況

地　区	開　催　日	名　称	参加者(人)
皆川地区	5月29日(日)、10月2日(日)	ふれあい農業体験	延べ 180
	10月16日(日)	コスモス祭り	約500
吹上地区	毎月第2土曜日	元気ジャパン農林漁業プロジェクト2012	約250
寺尾地区	5月29日(日)、9月25日(日)	寺尾米づくり体験教室	延べ61

16　地域農産物活用事業関係

(1)　栃木市直売所連絡協議会関係

直売所相互の連携体制を構築し、地産地消推進体制を図ることを目的にマーケット

イン推進事業を実施した。

・事業主体　栃木市直売所連絡協議会

・事業内容　直売所の利用に係る経費に対し、農産物販売額（加工品・工芸品は除く）の５％（上限額有）を補助する。

・対象直売所数　１４件

・対象出荷者数　６２９人

・総農産物販売額　332,757,981円　（補助金　6,459,300円）

農林整備担当

1　農業生産基盤整備事業

農村環境改善のための農道舗装や老朽化した農業水利施設の改修等を実施した。

事業名	事業箇所	事業内容	事業費（円）
農山漁村活性化プロジェクト交付金事業（農道保全対策）	野中地区	農道舗装工 L＝348m	14,943,010
戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業	栃木市西部地区（千塚町）	揚水機場新設 １箇所	9,130,800
	栃木市東部地区（藤田町）	揚水機場更新 １箇所	2,593,500
	栃木市東部地区（大宮町）	排水路改修 L＝400m	4,557,000
	大塚地区	揚水機場更新 １箇所	2,650,200
	国府南部地区（田村町）	用水路改修 L＝197m	2,773,050
農業活性化緊急基盤整備事業	栃木市東部地区（大宮町）	用水路改修 L＝182m	2,816,047
	国府南部地区（田村町・惣社町）	揚水機場改修 ３箇所	13,957,860
県単独農業農村整備事業	大皆川東地区	農道舗装工 L＝659m	17,174,850
	木野地東地区	農道舗装工 L＝680m	19,331,550
農道整備事業	吹上東部地区（木野地町）	農道舗装工 L＝218m	2,150,400

2　県営土地改良事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

事業名	事業箇所	事業期間	事業内容	負担額（円）
かんがい排水事業	西前原地区 （藤岡町）	H21～H27	排水機場更新 １箇所	79,777,800
農業用河川工作物 応急対策事業	美田東部頭首工 （大光寺町）	H20～H24	護床工 １式	184,000
戦略作物生産拡大関連 基盤緊急整備事業	国府南部地区 （田村町・惣社町）	H23	揚水機場改修 ５箇所	14,350,000
	大岩藤地区 （藤岡町）	H23	排水路改修 L＝1,173m	7,750,000

3　土地改良事業補助金

各事業に取り組む下記団体を支援するため、補助金を交付した。

事業名	相手方	補助額（円）
農業経営高度化支援事業	栃木市西部土地改良区	140,000
維持適正化事業	大塚土地改良区	280,000
再生可能エネルギー施設導入支援事業	栃木市西部土地改良区	1,638,000
美しい田園風景協働保全支援事業	宮町自治会桜堤保存会	329,000
市単独土地改良事業（かんがい排水事業）	国府土地改良区	1,117,500
	栃木市東部土地改良区	421,260
	高谷水利組合	369,600
市単独土地改良事業（災害復旧事業）	寺尾南部土地改良区	50,000
	寺尾北部土地改良区	210,000

4　維持管理事業

市が管理する農道・用排水施設の補修工事等を実施した。

工事名	工事箇所	工事内容	工事費（円）
農道補修工事	宮町	敷砂利工　１式	472,500
	川原田町	敷砂利工　１式	75,600
	吹上町	敷砂利工　１式	299,250
用排水施設補修工事	皆川城内町	取水施設補修　１箇所	682,500
	皆川城内町	災害復旧（浚渫）１箇所	593,250

※その他に、台風や大雨等の影響により壊れた農業用施設を地元が主体で行う復旧工事を支援するため、木杭や矢板等の材料を現物支給した。

5　農地・水保全管理事業

非農家を含めた地域共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境の保全向上等の取り組みを支援するため、活動費の一部を負担金として県協議会に支出した。

(1)　共同活動支援分

活動組織名	協定期間			基礎支援				負担額(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (1,100円/10ａ)		畑 (700円/10ａ)		
				面積(ａ)	金額(円)	面積(ａ)	金額(円)	
仲仕上 みどりの里	H19	H23	5	4,494	494,340	—	—	494,340
高谷町 グリーンクラブ	H20	H23	4	3,710	408,100	1,766	19,180	427,280
大塚 たんぼの会	H20	H23	4	13,561	1,491,710	507	123,620	1,615,330
細堀・木の西 みどりの会	H20	H23	4	3,296	362,560	243	35,490	398,050
川原田 めぐみの里	H20	H23	4	3,007	330,770	243	17,010	347,780

(2)　向上活動支援分

活動組織名	協定期間			基礎支援				負担額(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田 (1,100円/10ａ)		畑 (500円/10ａ)		
				面積(ａ)	金額(円)	面積(ａ)	金額(円)	
高谷町 グリーンクラブ	H23	H27	5	3,710	408,100	274	13,700	421,800
大塚 たんぼの会	H23	H27	5	13,561	1,491,710	1,766	88,300	1,580,010

(3)　営農活動支援分

活動組織名	協定期間			先進的営農支援		負担額(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	対象作物名：大豆 (750円/10ａ)		
				面積(ａ)	金額(円)	
大塚 田んぼの会	H21	H23	3	795	59,625	59,625

6　アメリカシロヒトリ駆除事業

アメリカシロヒトリの蔓延防止を目的として、自主駆除を促進するために背負式噴霧器と高枝切りバサミの貸し出しを実施した。また、市内公共施設（栃木地域）にける薬剤散布による駆除を、６月と８月のふ化期に合わせ、業者委託により実施した。

(1)　噴霧機及び高枝切りバサミの貸し出し状況

・背負式噴霧機　　延べ２１人

・高枝切り　　延べ　６人

(2)　公共施設における駆除

・事業費　　987,000円、（２回分）

・駆除実績

ふ化期	実施区域	樹　種	実施期間	箇所数	防除本数(本)
1	栃木地域	桜、柿、梅ほか	6月10日(金)～24日(金)	31	1,216
2	〃	〃	8月12日(金)～31日(水)	31	1,220
合計				61	2,436

7　有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣捕獲を実施した。

(1)　イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
寺尾地区全域、皆川地区の一部、吹上地区の一部	通　年	イノシシ262頭、ニホンジカ52頭

(2)　カラス、ドバトの有害鳥獣捕獲による駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
栃木地域全域	3月10(金)、11日(土)	カラス107羽、ドバト100羽

(3)　被害地区住民による被害防除対策を促進するため、栃木市獣害対策設備設置費補助金により、個人が設置する電気柵設置等の経費を補助金により支援

・補助金申請件数　１１件

・事業費　　585,000円

8　松くい虫防除委託事業

松林の健全な育成と保全を図るための松くい虫被害対策として、大平山県立自然公園等の高度公益機能森林及び地区保全森林内の被害木及び不用木の伐倒駆除を実施した。

・委託期間　　１月２３日(月)～２月２１日(火)

・実施区域　　栃木市平井町、小野口町、皆川城内町地内

・事業費　　853,650円

・事業実績

事業区分	事　業　量	備　　考
被害木	69㎥	薬剤処理(油材)
不用木	32本	除去

9　治山林道管理事業

利用者の安全を確保するため、市内林道、作業道及び大平山下水資源確保治山ダムの維持管理を実施した。

(1)　林道維持補修工事

・林道片角観音入線ほか 609,000円

(2)　林道維持補修工事等用原材料費

・林道補修用丸太杭等　0円

(3)　太平山下水資源確保治山ダム維持管理業務委託

・業務概要　ダム周辺の清掃、草刈り等を平井町自治会に委託

・実施期間　通年

・委託費　　56,000円

10　出流ふれあいの森管理事業

(1)　管理運営委託

平成１８年度から指定管理者制度を導入し、施設の管理運営を委託

・指定管理者　　みかも森林組合

・指定管理期間　通年

・委託費　　8,380,880円

(2)　施設管理

・施設用地の賃借料　　3,383,021円

・借地面積　　34,900.2㎡（地権者１８人）

・賠償保険料（森林国営保険料）　　869,486円

・施設修繕費（コテージ・木製遊具）　650,633円

・施設修繕費（木杭・敷砂利）　　160,000円

(3)　施設利用状況　　（単位：人）

入園者	キャンプ場		バーベキュー場	スベリ台	コテージ	
	一般	オート			大	小
24,365	843	1,600	3,336	644	495	603

11　間伐支援事業

施業計画に基づいた適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林整備を、補助金及び交付金により支援。

(1)　森林整備地域活動支援交付金事業交付金

・対象行為　　施業集約化の促進

・対象森林面積　17.92ha

・交付対象者　　みかも森林組合

・交付金額　　573,440円

(2)　森林整備事業費補助金

・対象行為　　高齢級人工林の間伐

・対象森林面積　3.34ha

・交付対象者　　みかも森林組合

・交付金額　　250,000円

12　木とのふれあい体験事業（森林環境学習支援事業）

(1)　林業体験教室

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、出流ふれあいの森において小学生を対象に間伐体験や木工教室を開催。

・実施日　　７月２９日（金）
・参加者　　寺尾中央小の６年生・寺尾南小の５・６年生　２７人
・内　容　　間伐体験、木工教室

(2)　水とみどりのふれあい体験活動

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、出流ふれあいの森において小学生とその父兄を対象に木工教室やしいたけのほだ木づくり等を内容とした教室を開催。

・実施日　　２月１８日（土）
・参加者　　親子等７組２５名
・内　容　　木工教室、しいたけのほだ木づくり（駒打ち体験）、蛍の幼虫の放流

13　明るく安全な里山林整備事業

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業等を活用し、地域と一体となった里山の環境整備を実施。

(1)　とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

ア　将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業

管理協定に基づき管理団体が実施する里山の管理活動を補助金により支援した。

・実施個所　鍋山町地内（宝蓮寺周辺）里山林
・管理団体　　１団体
・事業量　　３．５ha
・事業費　　175,000円

イ　通学路や住宅周辺の安心・安全を確保するための里山林整備事業

管理協定に基づき管理団体が実施する里山の管理活動を補助金により支援した。

・実施個所　皆川城内町地内（皆川城東小通学路周辺）里山林
・管理団体　　１団体
・事業量　　１．０ha
・事業費　　50,000円

ウ　野生獣被害軽減のための里山林整備事業

管理協定に基づき管理団体が実施する里山の管理活動を補助金により支援した。

・実施個所　柏倉町、梅沢町及び鍋山町地内里山林
・管理団体　　３団体
・事業量　　８．０ha
・事業費　　400,000円

(2)　里山再生対策事業

野生獣被害軽減ための里山林整備事業で整備した里山１．０haを対象として、刈払いされた藪、枝等の搬出・処分を実施。

・修景等環境保全・林内美化工事　　121,800円

14　森を育む人づくり事業（みんなの元気な森づくり支援事業）

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業を活用し、地域や地域住民による森林を活用した森づくり活動を補助金により支援

・支援団体　　3団体

・交付金額　　500,000円

15　緊急地域雇用創出・豊かな山づくり委託事業

緊急地域雇用創出事業を活用し市内林道8路線、作業道1路線及び森林浴内遊歩道7路線の除草・側溝清掃を実施。

緊急地域雇用創出事業　林道歩道除草・側溝清掃業務委託

・委託先　　みかも森林組合

・委託料　　6,930,000円

16　森林法に基づく許認可事務

(1)　林地開発行為の許可、届出書の受理、監督処分

・処理件数　林地開発許可（変更）　　1件

林地開発計画変更届出書　　1件

(2)　伐採及び伐採後の造林届出書

・処理件数　　6件

(3)　保安林の制限に関する事務

・処理件数　　0件

(4)　火入許可（栃木市火入れに関する条例）

・処理件数　　2件

17　鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づく許認可事務

(1)　鳥獣捕獲等の許可

・処理件数　　8件

(2)　鳥獣飼養許可

・処理件数　　0件

18　自然環境の保全及び緑化に関する条例に基づく許認可事務

(1)　県自然環境保全地域内における許可、届出事務

・処理件数　　0件

(2)　県緑地環境保全地域内における行為の届出等

・処理件数　　0件

19　林業種苗法に基づく許認可事務

種子及び苗木等生産事業者の登録事務等

・処理件数　　0件

第３節　産業基盤整備課

〔総括概要〕

産業基盤整備課の主な分掌事務は、雇用機会の拡大と安定した市税等の自主財源の増加を図るため、市内産業団地等への企業誘致と、栃木IC周辺地区（千塚町上川原地区、栃木インター周辺地区）等の新たな産業拠点の整備である。

企業誘致に関しては、宇都宮西中核工業団地においては１社の企業の立地が決まるとともに、１２月から予約分譲を開始した中根産業団地においては、２社の企業に分譲決定を行った。

主な誘致活動としては、企業立地アンケート等により企業の設備投資に関する情報収集を行うとともに、企業訪問等により本市の優れた立地環境を積極的にＰＲし、市内への企業誘致の推進を図った。また、企業に対する新たな支援措置として栃木市企業立地促進条例を制定し、１０月から施行した。

栃木IC周辺地区の開発に関しては、千塚町上川原地区において、県関係部署との調整協議や、総会等の開催による地権者調整、広報紙による情報提供を行った。また、昨年度から継続して実施している環境影響評価について専門的な意見を聴くため、学識経験者を委員とする自然環境保全対策検討委員会を設置、開催した。

栃木インター周辺地区においては、県関係部署との調整協議や、総会等の開催による地権者の合意形成に向けた取り組みを行った。

中根企業用地（旧藤岡高校跡地）については、県関係部署等との調整協議を経て、校舎等の解体を完了し、用地の造成、区画道路、調整池等の整備工事に着手した。

企業立地担当

1　企業誘致事業

(1)　惣社東産業団地の概要

・所 在 地　　栃木市惣社町及び壬生町
・事業主体　　栃木県企業局
・団地面積　　約２１．８ｈａ
・分譲面積　　約１４．３ｈａ
・分譲済面積　約１０．８ｈａ
・分 譲 率　　約７５．５％
・企 業 数　　１０社（うち操業中８社）

(2)　宇都宮西中核工業団地の概要

・所 在 地　　栃木市西方町及び鹿沼市
・事業主体　　中小企業基盤整備機構、栃木県土地開発公社
・団地面積　　約１４２．７ｈａ
・分譲面積　　約９１．８ｈａ
・分譲済面積　約７１．７ｈａ

・分 譲 率　　約７８．１％
・企 業 数　　１９社（うち操業中１６社）

(3)　中根産業団地の概要（造成中）
・所 在 地　　栃木市藤岡町
・事業主体　　栃木市
・団地面積　　約５．８ｈａ
・分譲面積　　約４．７ｈａ
・分譲決定面積 約３．０ｈａ
・分譲決定企業 ２社

(4)　企業誘致関係
ア　企業訪問及び産業団地への現地案内等の誘致活動
・対象企業　３４社

イ　産業展等への参加
・FOOMA JAPAN2011食品工業展(東京都)　６月　７日(火)
・とちぎ企業誘致セミナー（東京都）　１０月２５日(火)

ウ　企業の立地意向調査の実施（情報収集及びＰＲ）
・調査対象企業　1,114社
・回収率　８．１％（９０社）

エ　市ホームページによる産業団地等の紹介

オ　企業立地促進条例の制定
・立地奨励金
交付額：固定資産税及び都市計画税相当額
交付期間：５年間または２年間
・用地取得奨励金
対象区域：惣社東産業団地、宇都宮西中核工業団地
交付額：用地取得額の１０％
・企業立地促進審査会

回	開催日	主　な　内　容
第１回	12月14日(水)	・委員の委嘱 ・制度概要の説明
第２回	2月13日(月)	・指定申請企業の審査

カ　企業立地奨励補助金の交付
・交付企業　７社

キ　宇都宮西中核工業団地企業誘致活動協議会活動
・幹事会の開催

開催日	主　な　内　容
3月14日(水)	・平成23年度（中間）事業実績報告、収支決算報告について ・平成 24 年度事業計画（案)、収支予算（案）について

基盤整備担当

1　千塚町上川原地区開発事業

(1)　事業計画

・事業箇所　栃木市千塚町・尻内町地内

・事業面積　約３６．７ha

・地権者数　９６人

(2)　千塚町上川原開発推進協議会活動

ア　総会、役員会等

区　分	開催回数	会　場
総　会	1回（8月）	千塚町公民館
役員会	1回（8月）	千塚町公民館

イ　広報紙「かみがわら」発行

号	発行日	主　な　内　容
第1号	11月1日(火)	・国、県等との協議状況について ・環境影響評価について
第2号	3月7日(火)	・自然環境保全対策検討委員会について

ウ　千塚町上川原開発推進協議会補助金の交付　100,000円

(3)　業務委託　（単位：円）

業　務　名	内　　容	金　額
環境影響評価業務	環境影響評価現況調査	23,700,000

(4)　栃木市千塚町上川原地区開発事業に係る自然環境保全対策検討委員会

回	開催日	主　な　内　容
第1回	12月26日(月)	・現地確認 ・環境影響評価方法書及び方法書に対する県知事意見について
第2回	1月31日(火)	・環境影響評価中間報告 ・現況調査実施状況及び調査予定

2　栃木インター周辺開発事業

(1)　事業計画

・事業箇所　栃木市吹上町・野中町地内

・事業面積　約８０ha

・地権者数　約２３０人

(2)　栃木インター周辺開発研究会活動

ア　総会、役員会

区　分	開催回数	会　場
総　会	1回（9月）	吹上公民館
役員会	4回（9月、12月）	吹上公民館

イ　栃木インター周辺開発研究会補助金の交付　80,000円

3　中根企業用地造成事業

(1)　事業計画

・事業箇所　栃木市藤岡町富吉地内

・事業面積　約５．８ha

(2)　業務委託　（単位：円）

業　務　名	内　　容	金　額
緊急総合経済対策・中根企業用地造成事業　旧藤岡高校解体設計業務委託	旧藤岡高校の校舎等解体工事の設計	6,636,000
中根企業用地造成事業 詳細設計業務委託	調整池、公園、道路整備工事の設計	2,751,000

(3)　工事　（単位：円）

工　事　名	内　　容	金　額
緊急総合経済対策・中根企業用地造成事業　旧藤岡高校解体工事（分割１号）	旧藤岡高校の校舎等解体工事	121,023,000
緊急総合経済対策・中根企業用地造成事業　旧藤岡高校解体工事（分割２号）	旧藤岡高校の校舎等解体工事	120,687,000
中根企業用地造成事業 施設整備工事（分割１号）	調整池　　3,800㎡ 敷地造成 25,036㎡ 市道Ｆ3-270号線 延長148.1m　幅員9～12m	88,746,000
中根企業用地造成事業 施設整備工事（分割２号）	区画道路 延長252.4m　幅員9m 市道Ｆ3-270号線 延長110.6m　幅員5m 敷地造成 24,102㎡ 公園整備　2,100㎡	54,600,000
中根企業用地造成事業 道路整備工事（分割１号）	市道Ｆ6号線 延長180.0m　幅員12～15m 排水施設　206.8m	37,380,000
中根企業用地造成事業 道路整備工事（分割２号）	市道Ｆ43号線 延長239.3m　幅員9m 市道Ｆ3-99号線 延長217.5m　幅員6m 認定外道路 延長109.4m　幅員5m	37,590,000

第７章　都市建設部

第１節　都市整備課

〔総括概要〕

市民が快適で安全な日常生活をおくるためには、道路や河川などの社会資本の整備充実を図ることが重要である。

まず、道路は、地域の方々にとって最も身近な社会基盤であり、通勤、通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から、生産、物流の経済活動や地域の歴史、文化交流を支える根幹的な公共施設として大きな役割を果たしている。

道路整備においては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、計画的に進めている。

道路整備事業としては、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、境町地内市道Ａ１５４号線をはじめ７か所の道路改良工事や、歩行者や通学児童の安全を確保するため、万町地内市道Ａ１号線の交通安全施設整備工事を実施した。

また、幹線道路における通学児童の安全と円滑な通行を確保するために大宮町地内市道１０６号線の計画準備に伴う測量をはじめ１１か所の調査設計などを実施した。

さらに、吹上町・宮町・皆川城内町地内市道１１４号線をはじめ９路線の道路事業の用地取得を行った。

次に、河川には、洪水被害などを防ぎ、安全で快適な市民生活を守るために、治水・利水の機能の充実を図りながら、環境に配慮した水辺空間の創出などが求められている。

本市においては、台風や大雨時の浸水被害対策や適正な水利用を図るため、他事業と連携しながら計画的に河川、排水路等の整備を進めている。

河川整備事業としては、箱森町地内の風野川の改修工事をはじめ、市内各地区において、河川改修、道路排水対策、排水路整備工事等を実施するとともに、柏倉町地内の大倉川において、災害復旧工事を実施した。

監理担当

１　土木事業の総合調整

建設担当部課長会議

６月、１１月に土木事務所と関連事業に関する協議を行った。

2　陳情、要望等受付

陳　　情　　内　　容	件　　数（件）
道路改良工事に関するもの	7
排水路整備に関するもの	1
計	8

3　各種協議会・同盟会

(1)　関東国道協会栃木県地区協議会

・１２月　要望活動実施（国、国会議員）

・２月　　現場研修会開催（一般国道２９３号新会沢トンネルほか）

(2)　都賀西方ＰＡスマートＩＣ勉強会

・８月　　第１回勉強会、現地調査

(3)　その他協議会・同盟会

・道路関係団体総会、要望活動等参加　２３回

・河川関係団体総会、要望活動等参加　　９回

4　その他

一般県道仙波鍋山線鍋山バイパス開通式の開催（３月）

道路整備担当

1　工事関係

(1)　道路改良工事

工　事　箇　所		工　事　内　容			金　額(円)	備　　考
町　　名	路線名（市道～号線）	延長（m）	幅員（m）	その他		
境　　町	A154	32.5	4.0	－	1,770,300	
樋ノ口町	224	22.0	－	－	651,000	
宮町･皆川城内町	D22	250.7	6.0	－	17,083,500	
川原田町	C196	344.4	6.0	－	9,061,500	舗装（表層）
吹　上　町	C192･C193	216.2	6.0	－	15,256,500	
皆川城内町	D10	305.4	6.0	－	19,897,500	
大　宮　町	B348	66.3	6.0	－	5,995,500	
計　7か所					69,715,800	

(2)　交通安全施設整備工事

工　事　箇　所		工　事　内　容			金　額	備　　考
町　　名	路線名	延　長	歩道幅	その他		
万　　町	市道A1号線	69.0m	2.5m	－	9,710,000円	

2　業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額(円)	備考
	町名	路線名（市道~号線）			
用地測量	境町	A154	用地測量0.14ha	672,000	
用地調査	境町	A154	物件調査2件	294,000	
測量	大宮町	C385	路線測量0.094km	231,000	
用地測量	国府町	B38	用地測量 0.26ha	493,500	
土地評価	今泉町1丁目･2丁目	102	標準地評価2画地 各画地評価16画地	411,000	
用地調査	片柳町1丁目	A126	物件調査2件	273,000	
用地調査	平井町	209	物件調査6件	3,990,000	
測量設計	平柳町3丁目･大宮町	C13	用地測量3.2ha他	8,400,000	
用地調査	吹上町・宮町 皆川城内町	114	再積算4件	493,500	
用地調査	祝町	106	再積算3件	1,239,000	
測量設計	大宮町	B46	用地測量1.86ha他	9,345,000	
測量	大宮町	106	地形測量3.2ha他	3,255,000	
計　11か所				29,097,000	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地（筆）	補償（件）	金額（円）	備考
町名	路線名（市道~号線）				
平井町	211	1	-	1,126,800	
境町	A154	-	2	1,845,746	
吹上町	C192･C193	1	1	303,414	
片柳町1丁目	A126	3	1	6,254,704	
皆川城内町	D10	1	1	841,540	
今泉町1丁目	102	1	-	1,719,130	
吹上町･宮町皆川城内町	114	10	8	83,781,023	
大宮町	C385	9	2	15,555,593	
祝町	106	-	3	37,865,406	
計　9路線				149,293,356	

4　登記関係

内容	筆数(筆)
分筆（代位）	26
地積更正（代位）	12

名義人表示変更・更正　（代　位）	2
相　続　（代　位）	0
所有権移転	26
計	66

河川整備担当

1　工事関係

(1)　河川改修工事

工事箇所		工事内容	金額(円)	備考
町名	河川名			
箱森町	風野川	L型水路　L=59.4m	10,500,000	
大宮町	関根川	U型W1.6×H1.0　L=161.0m	17,325,000	
本町	杢冷川	ブロック積(右岸)　L=11.3m	2,047,500	
	ほか2件	付帯工事	934,500	
計　5か所			30,807,000	

(2)　排水路整備工事

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	箇所名			
皆川城内町	鳥砂川	暗渠W0.6×H0.6	5,691,000円	

(3)　河川災害復旧工事

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	箇所名			
大皆川町	大倉川	かごマット	8,641,500円	

2　業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額（円）	備考
	町名	路線名			
桜づつみモデル整備事業	大皆川町	永野川	用地測量 0.96ha	2,310,000	
ふるさと雇用再生・ゲリラ豪雨による浸水被害要因調査	境町外30町	関連水路 ・ 側溝等	現況調査 540ha	14,175,000	
河川改修事業	片柳町3丁目	瀬戸河原用水支川	用地調査 0.3ha	1,890,000	
災害復旧事業	柏倉町	大倉川	測量設計	1,186,500	3件
計　4か所				19,561,500	

第２節　都市計画課

〔総括概要〕

本市の都市計画区域は、平成２３年１０月の西方町との市町村合併に伴い、２つの都市計画区域となった。１つは旧栃木市・旧大平町・旧藤岡町・旧都賀町の区域で、都市的な土地利用を推進し、健康で文化的な都市生活や機能的な都市活動を行う市街化区域と、優れた自然環境や営農環境の保全を図る市街化調整区域に区分されている線引き都市計画区域である。もう１つは旧西方町の区域で、区域区分がされていない非線引き都市計画区域である。

このうち市街化区域においては､土地利用に計画性と合理性を保つため､商業系、工業系、住居系の用途を地域の特性に応じて定めるとともに、密集市街地の災害を未然に防止する準防火地域、優良な環境を保全する風致地区などの地域地区を設定している。

また、都市の骨格となる都市計画道路、健康で文化的な生活を営む上で重要な都市公園や下水道などの都市施設を計画決定している。

本市の健全な発展と秩序ある社会資本の整備を図るため、土地区画整理事業、玄関口にふさわしい栃木駅周辺の整備、良好な市街地の形成及び、魅力・活力のある快適なまちづくりを推進した。

計画景観担当では次の事業を推進した。

本年度は、既に都市計画決定していた中根企業用地地区計画の変更を行い、交通アクセス性の優位性を生かした更なる企業誘致を推進すべく、複数企業の分譲が可能な土地利用への見直しを行った。

また、歴史的町並みを次世代に引き継ぐため、嘉右衛門町地区において、県内初となる伝統的建造物群保存地区の指定を行った。

シビックコア推進事業については、関東地方整備局をはじめ、関係機関と、シビックコア地区の整備状況や合同庁舎に関する土地利用について協議を行った。

また、本市特有の自然環境や歴史的環境を活かし、巴波川沿いや旧例幣使街道に残る貴重な歴史的建造物の保全、活用により、個性的で潤いのある景観を創出し、快適に生活ができるまちづくりの実現を目指し、街なみ環境修景事業を推進した。

また、良好な景観を形成し、風致を維持し、または公衆に対する危害を防止するために、屋外広告物に関する事務を行った。景観行政団体移行の手続きを行った。

市街地整備担当では、次の事業を推進した。

土地区画整理事業実施済地区の土地利用状況を把握するため、平成２４年３月に市内１２か所の区画整理済地区において、宅地化状況調査を行った。

現在施行中である箱森西部土地区画整理事業地区については、平成２３年３月に保留地の販売を開始したので、今年度も引き続き早期の処分を目指し販売活動を実施した。しかしながら、社会情勢などの影響により予定した保留地の処分が完了できない状況となったため、事業計画を変更し事業期間の延伸（３年間）を行った。今年度の工事として、保留地周辺の区画道路築造工事を実施した。

計画景観担当

1　都市計画審議会に関すること

開催日	審議案件
7月1日(金) (第2回)	(1)　小山栃木都市計画区域内に設置する卸売市場等（一般廃棄物処理施設）の用途に供する特殊建築物の敷地の位置について (2)　小山栃木都市計画区域内に設置する卸売市場等（産業廃棄物処理施設）の用途に供する特殊建築物の敷地の位置について (3)　小山栃木都市計画　都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の決定について〔栃木県決定〕 (4)　小山栃木都市計画　区域区分の変更について〔栃木県決定〕
10月31日(月) (第3回)	(1)　小山栃木都市計画　地区計画の変更について〔栃木市決定〕（中根産業団地地区計画）
2月27日(月) (第4回)	(1)　小山栃木都市計画　伝統的建造物群保存地区の決定について〔栃木市決定〕（栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区）

2　公有地の拡大の推進に関する法律に関すること

(1)　公有地の拡大の推進に関する法律第４条に基づく届出書の受理

・件　数　　３件

(2)　公有地の拡大の推進に関する法律第５条に基づく申出書の受理

・件　数　　０件

3　国土利用計画法に関すること

国土利用計画法第２３条に基づく届出書受付審査

・件　数　　４２件

4　地価公示等に関すること

地価公示法に基づく地価公示標準地及び国土利用計画法に基づく地価調査基準地の確認点検並びに周知を実施した。

(1)　地価公示

・価格時点　　平成２４年　１　月　１　日

・公示時点　　平成２４年　３　月２３日

・標 準 地　　栃木市大町字西向２２３－１　ほか４３地点

(2)　地価調査

・価格時点　　平成２３年　７　月　１　日

・告示時点　　平成２３年　９　月２１日

・基 準 地　　栃木市大森町４４２－９　ほか３６地点

5　シビックコア推進事業に関すること

(1)　事業概要

本事業は、栃木市シビックコア地区整備計画に基づき栃木駅周辺土地区画整理事業などの都市基盤整備と併せて、国の合同庁舎を核とする、官公庁施設の建設計画を推進するとともに、民間建築物の立地を誘導し、魅力とにぎわいのある都市の拠点形成を図る。

・シビックコア計画対象地区面積　４１．３ｈａ

・シビックコア重点整備地区面積　　６．６ｈａ

主要官公庁施設

・国の合同庁舎

・県立学悠館高校（平成１７年４月開校）

・市の（仮称）シビックセンター

(2)　事業経過

・国土交通省 関東地方整備局 営繕部　　シビックコア計画協議　　２回

6　総合都市交通体系調査関係

市町村合併により拡大した市域において「新市の均衡ある発展や一体化に資する交通体系」「市民の利便性を向上させる交通体系」「企業活動を支える交通体系」「観光振興を推進する交通体系」を実現するため、交通実態調査等を実施し、交通の現状や将来の見通しを定量的に分析したうえで、総合的な交通体系の方針及び具体的な実現化方策を策定することとした。

・市内4,400世帯を対象に交通実態調査（ミニパーソントリップ調査）及び交通に関する意識調査を実施した。

・実態調査等の結果を基に、将来の方向性や施策内容等について、分析及び検討を行った。

・総合都市交通体系調査検討委員会及び作業部会を設置し、検討を行った。

検討委員会　３回開催/作業部会　４回開催

7　街なみ環境修景事業に関すること

旧例幣使街道や巴波川周辺一帯を歴史的町並み景観形成地区とし、郷土に誇りと愛着が持てるような、個性的で魅力あるまちづくりを推進するため、栃木大通り及び嘉右衛門町通りに残る歴史的建造物の修景補助事業等を行った。

・歴史的建造物等の修景補助事業　　１件　　930,000円

8　都市景観形成事業に関すること

本市景観計画の色彩に関する指針とするため、栃木市景観色彩ガイドライン策定業務委託を実施した。

9　栃木県景観条例に基づく大規模行為届出に関すること

栃木県景観条例第２０条に基づく届出書の受理

・件　数　　８件（建築物　７件、工作物　１件）

10　屋外広告物に関すること

(1)　屋外広告物の許可事務について

区　　分		件　数（件）
栃木県屋外広告物条例	条例第５条等　屋外広告物の表示又は掲出物件の設置の許可	25
	条例第１３条　屋外広告物の継続の許可	67
	条例第１４条　屋外広告物の変更の許可	2
	条例第１８条　屋外広告物の除却の届出の受理	9

(2)　住民参加型違反広告物除却推進団体について

違反広告物の除却措置について、住民参加による地域での除却活動を推進するため、栃木市違反広告物除却推進制度に関する要綱を制定し、違反広告物除却推進団体を認定し、活動支援を行った。

・違反広告物除却推進団体の認定

団 体 名	推進員数(人)
栃木市少年補導員会	48
大平町あじさいグループ	13

市街地整備担当

1　土地区画整理事業に関すること

(1)　土地区画整理事業完了地区の土地の管理

(2)　箱森西部地区土地区画整理事業

ア　事業概要

・面　　積　　約８．３ｈａ
・組合員数　　２４人（理事長　熊倉武夫）
・施行期間　　平成２０年度～平成２６年度
・総事業費　　550,000千円
・平成２３年度事業費　40,295,582円

イ　事業経過

・事業計画変更の決定　　２月８日
・理事、監事の選出及び評価員の選任　２月８日
・正・副理事長の選出　　２月８日
・事業計画変更認可申請　　２月１６日
・事業計画変更認可・認可公告　　２月２２日
・総会　　２回

・役員会　　４回

・販売保留地　２画地（面積 442.33㎡、販売額 16,660,671円）

ウ　実施工事（組合発注）

工　事　名	内　　容	金　額（円）
区画道路築造工事（分割１号）	Ｌ＝326.5m、防火水槽1基	22,365,000
付帯工事	１式	682,500
合　　計		23,047,500

第３節　維持管理課

〔総括概要〕

維持管理課は市民が安全で快適な暮らしに必要不可欠な社会資本である、道路・河川・公園等の効率的な維持管理に努め、生活環境の向上を図っている。

そのうち公共物管理については、公共用地の適正管理に努めるため、境界の確定や、道水路等の占用及び使用について許可、指導等を行った。

道路管理については、常に安全な道路の通行を確保するため、直営による迅速な対応と委託による補修等を行うほか、舗装や交通安全施設の維持補修工事等を実施するとともに、緊急雇用創出事業を活用し、道路の環境維持の向上に努めた。

また河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行うとともに、防災機能を確保するための調整池の維持管理を行った。

さらに、市民協働による取組として道普請事業による、道づくりを進めるとともに、道路等のアダプト制度による道路・河川の清掃活動や巴波川一斉清掃を始めとする、自治会等における道路・河川等の愛護活動を積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園緑地管理については、太平山県立自然公園や、永野川緑地公園を含む市内１１４か所ある公園等の利用者が安全で快適に利用できるよう、直営による公園の清掃、除草、樹木及び遊具等の施設管理のほか、業者委託による樹木等の管理や施設の維持補修工事を実施するほか、緊急雇用創出事業を活用し、公園の環境維持の向上に努めた。

そのほか、道路等と同じくアダプト制度による公園の清掃、美化活動や桜のオーナー制度を活用した桜の補植など、市民協働により魅力ある公園の維持管理に努めた。

また、栃木市総合運動公園の維持管理については、本市が誇るスポーツ施設として県内はもとより関東一円から、年間３０万人以上の利用者が訪れており、総合体育館などの運動施設のほか園内の芝生広場や､憩いの森などを巡る園路等において、健康づくりなどのために利用が増加していることから、常に快適な状態で運動に親しめるよう､指定管理者である（株）メディカル フィットネスとちの木と連携を図り、適切な管理運営、施設維持に努めたほか、硬式野球場メインスタンド雨漏り改修工事、陸上競技場、プールシャッター等改修工事や、水処理施設の改修工事等の施設環境整備を行った。また、災害時の拠点である総合体育館の耐震補強工事を行った。

最後に公園整備事業としては、皆川城内町地内において、地域活性化の拠点とするため、本市の文化財に指定されている皆川城址公園の施設整備工事を実施した。

道路河川管理担当

1　道路台帳補正業務関係

委託箇所	委託内容	金額（円）
栃木地域	道路台帳補正業務委託	5,491,500
大平地域	〃	1,890,000
藤岡地域	〃	1,785,000
都賀地域	〃	4,389,000
西方地域	〃	1,176,000
計		14,731,500

2　道路占用許可関係

申請内容	地域名	件数（件）
市道道路占用許可申請	栃木地域	230
	大平地域	90
	藤岡地域	73
	都賀地域	55
	西方地域	26
占用廃止届	栃木地域	32
	大平地域	13
	藤岡地域	－
	都賀地域	3
	西方地域	1
計		523

3　各種申請・手続関係

内容	地域名	件数（件）
境界確認申請	栃木地域	152
	大平地域	63
	藤岡地域	52
	都賀地域	36
	西方地域	13
切絵図謄本交付・閲覧等申請	栃木地域	491
市有財産用途廃止申請	栃木地域	17
	大平地域	2
	藤岡地域	4
	都賀地域	6
	西方地域	3

法定外公共物使用許可申請等	栃木地域	95
	大平地域	44
	藤岡地域	5
	都賀地域	8
	西方地域	24
道路工事施工承認申請	栃木地域	62
	大平地域	15
	藤岡地域	13
	都賀地域	11
	西方地域	8
放流同意申請書（道路・河川）	栃木地域	58
	大平地域	35
	藤岡地域	12
	都賀地域	6
	西方地域	2
計		1,237

4　道路工事関係

(1)　道路維持補修工事

工事箇所		工事内容	金額（円）	備考
町名	路線名			
錦町	A47	側溝打替	4,158,000	
境町	A57	暗渠布設	4,158,000	
皆川城内町	114	暗渠布設	7,035,000	
計			15,351,000	

(2)　舗装補修工事

工事箇所		工事内容			金額（円）	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
皆川城内町	D122	190.0	2.1～5.1	舗装補修	1,995,000	
野中町	D16	125.0	4.0	舗装補修	3,024,000	
大宮町	B41ほか	556.5	2.3～5	舗装補修	6,195,000	
寄居・田村町	B130	932.0	2.8～4	舗装補修	8,536,500	
平井町	210	148.2	5～6.8	舗装補修	2,835,000	
大宮町・藤田町・国府町	113	1363.0	7.9～13	路上再生路盤	93,712,500	
神田町	102	240.0	6.7	路上再生路盤	15,970,500	
計					132,268,500	

(3)　交通安全施設整備工事

工事箇所		工事内容			金額（円）	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
境町ほか	105ほか3路線	—	—	区画線設置	1,921,500	
惣社町	B299	—	—	防護柵	178,500	
平柳1丁目	A18	—	—	床版設置	798,000	
湊町ほか	A47ほか4路線	—	—	その他	1,101,450	
計					3,999,450	

(4)　橋りょう維持補修工事

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名			
小平町	小平橋ほか	橋梁補修(高欄塗装)	315,000円	

(5)　橋りょう補修工事

委託箇所		委託内容	金額	備考
町名	路線名			
大皆川・岩出町	225	橋梁補修(落橋防止)工事請負	58,800,000円	大岩橋

(6)　河川維持補修工事

工事箇所		工事内容	金額（円）	備考
町名	路線名			
柏倉町ほか	柏倉川ほか	河川護岸補修	399,000	
小野口町ほか	奈良田川ほか	河川土砂等除去	997,500	
計			1,396,500	

5　業務委託関係

(1)　道路維持補修業務委託

委託名	委託箇所		委託内容	金額（円）
	町名	路線名		
舗装補修業務	市内全域		舗装補修等	19,897,500
道路維持補修業務	市内全域		道路補修等	7,107,450
栃木駅関係清掃業務	沼和田町	栃木駅南北連絡通路ほか	清掃業務	2,829,750
新栃木駅関係清掃業務	平柳町2丁目	新栃木東口広場ほか	清掃業務	1,302,000
新栃木駅東西自由通路エレベーター保守点検業務	平柳町2丁目	新栃木駅東西自由通路	エレベーター保守点検業務	1,562,400
栃木駅南北連絡通路ドア施錠業務	沼和田町	栃木駅南北連絡通路	ドア施錠業務	1,369,200
栃木駅南北連絡通路電気設備点検業務	沼和田町	栃木駅南北連絡通路	電機設備等	518,700

樹木管理等業務等	市内全域	102ほか37路線	樹木管理等	16,247,700
計				50,834,700

(2) 河川・水路管理業務委託

委託名	委託箇所		委託内容	金額(円)	備考
	町名	河川名等			
調整池管理業務	惣社町ほか1件	調整池	除草ほか	268,800	
巴波川一斉清掃草止め杭打ち業務	小平町・境町	巴波川	堰作り	441,000	
河川浄化施設維持管理業務	入舟町	県庁堀川	設備管理	233,100	
計				942,900	

(3) 清掃業務委託

委託名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町名	河川名等			
河川排水路等清掃業務	箱森町ほか6件	清水川ほか	下水排水路等清掃	2,699,550円	

6 道普請事業

業務委託

委託名	委託箇所	委託内容	金額(円)	備考
	町名			
道普請事業測量・用地調査業務	川原田町	測量・用地調査	493,500	
道普請支給資材	皆川城内町地内ほか	ボックスカルバートほか	874,965	
計			1,368,465	

7 工事用原材料

材料名	単位	数量	金額(円)
常温合材等	t	2,155	23,998,800
切込砕石等	m^3	620.18	1,203,700
側溝蓋等	枚	1,230	1,967,385
交通安全施設用資材			2,441,880
木材等			58,558
計			29,670,323

8 緊急地域雇用創出・道路環境整備委託

委託名	委託箇所		委託内容	金額
	町名	路線名		
道路除草業務	市内全域		道路除草・側溝清掃等	19,971,000円

9　栃木市道路等のアダプト制度（道路・河川）

「栃木市道路等のアダプト制度」は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である道路、河川等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度で、平成２３年度現在の活動者（団体）の状況は、１２路線の道路に１２団体、永野川ほか４河川に９団体の届出がある。

公園緑地担当

1　公園管理事業

都市公園等管理事業

(1)　公園の清掃等

市職員による公園の清掃、除草、下草刈り払い等を実施した。また、アダプト制度により、登録団体等による公園の清掃、除草、草花管理等作業が実施された。

(2)　樹木の管理

公園内樹木の育成管理や病害虫防除のため、伐採、剪定、施肥、薬剤散布等を市職員及び専門業者への委託により実施した。

(3)　施設の維持管理

利用者が常に快適、安全に利用できるよう、公園施設の点検、注油、補修等を行い、事故防止と施設の維持管理に努めた。

補　修　内　容	金　額（円）
公園施設補修（公園橋タイル補修工事　ほか 17 件）	7,358,610
給排水設備修理（井戸改修　ほか 2 件）	2,043,300
遊具修理（ブランコ釣り鎖修繕工事　ほか 3 件）	1,687,350
トイレ補修（トイレタイル・擬木柵修繕工事　ほか 8 件）	929,828
電気設備修理（公園外灯修繕工事　ほか 6 件）	830,088
合　計	12,849,176

(4)　業務委託

業　務　名		公　園　名	金額(円)
樹木管理業務委託	樹木管理業務	永野川緑地公園、太平山県立自然公園、錦着山公園、円通寺前公園、四季の森公園等	15,771,000
	高木剪定、樹木剪定、支障木伐採業務	第二公園、永野川緑地公園、丸沼・長瀞公園、こどもの広場等	8,799,840
	桜のオーナー植樹・銘板作成等	太平山遊覧道路　28 本	891,660
	テングス病枝除去業務	太平山遊覧道路	495,600
	桜害鳥（ウソ）防除業務	太平山県立自然公園駐車場その他	258,300
	桜（寄付樹木）移植業務	永野川緑地公園	94,500

施設管理業務委託	浄化槽維持管理業務（浄化槽清掃・保守点検）	太平山県立自然公園、ほか 20 公園	3,332,280
	公園清掃業務	永野川緑地公園、丸沼・長瀞公園	1,083,060
	警備業務委託	永野川緑地公園パークセンター	138,600
	設計業務委託	太平山県立自然公園	1,869,000
	遊歩道崩落部養生業務委託	太平山県立自然公園	31,500
	スズメバチ駆除業務	永野川緑地公園、芝塚山公園	15,750
合　　計			32,781,090

(5)　各種許可申請及び届出

内　　容	地　域　名	件　数（件）
公園内における行為の許可申請	栃 木 地 域	68
	大 平 地 域	4
	藤 岡 地 域	1
	都 賀 地 域	11
	西 方 地 域	13
合　　計		97

2　総合運動公園施設管理事業

(1)　維持補修

補　　修　　内　　容	金　　額　（円）
テニスコート修繕工事	1,974,000
弓道場防矢ネット張替工事、安土修繕工事	1,653,750
体育館カーテン付替え、ドア改修	1,596,000
プール給水ポンプ改修	1,239,000
テニスコート東トイレ改修	1,092,000
硬式野球場浄化槽スクリーン改修	619,500
東駐車場ライン修繕工事	493,500
合　　計	8,667,750

(2)　業務委託

業　　務　　内　　容	金　　額　（円）
高木剪定、伐採木運搬及び処分業務	993,678
水路清掃業務	184,800
合　　計	1,178,478

3　総合運動公園管理運営委託事業

(1)　業務委託

業　　務　　名	業　　務　　内　　容	金　　額
総合運動公園管理運営業務	施設管理運営（指定管理料）	160,819,600 円

(2)　利用状況

ア　総合体育館　　（単位：人）

区分／月	主競技場	サブ競技場	卓球場	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室	柔道場	剣道場	会議室	計
4月	－	－	1,150	1,169	90	326	65	2,800
5月	4,147	2,056	882	1,601	70	211	263	9,230
6月	6,413	2,140	824	1,636	61	300	255	11,629
7月	4,960	1,962	794	1,549	75	198	154	9,692
8月	5,205	2,048	832	1,492	136	157	188	10,058
9月	7,216	2,521	744	1,633	141	252	205	12,712
10月	8,098	2,738	846	1,680	239	300	389	14,290
11月	542	387	70	1,636	157	589	200	3,581
12月	－	－	－	1,357	142	497	113	2,109
1月	－	－	－	1,635	162	510	59	2,366
2月	－	－	－	1,923	188	482	251	2,844
3月	1,942	1,100	303	2,060	188	591	222	6,406
計	38,523	14,952	6,445	19,371	1,649	4,413	2,364	87,717

※ 東日本大震災の影響により、３月１２日以降４月末まで主・サブ競技場及び全館夜間利用を中止、また７月～９月の毎週火曜日は全館利用中止、毎週日曜日は夜間利用を中止。

※ 耐震補強追加工事のため、１１月８日から３月２０日まで主・サブ競技場及び卓球場の利用を中止。

イ　野球場・グラウンド　　（単位：人）

区分／月	硬式野球場	軟式野球場（４面）	ナイター（１面）	芝生運動広場（２面）	多目的広場（２面）	計
4月	870	2,419	0	1,860	2,074	7,223(78)
5月	1,396	3,318	80	3,100	2,329	10,223(76)
6月	1,148	3,672	257	2,475	1,688	9,240(110)
7月	1,644	4,996	135	1,119	2,167	10,061(84)
8月	1,095	4,430	186	535	1,691	7,937(95)
9月	1,936	4,303	205	1,897	1,714	10,055(84)
10月	905	3,562	195	2,060	4,001	10,723(76)
11月	628	1,904	120	1,313	1,502	5,467(82)

12月	－	－	30	747	1,391	2,168(47)
1月	－	－	30	684	946	1,660(45)
2月	－	－	120	914	1,133	2,167(43)
3月	365	1,076	120	1,257	1,338	4,156(83)
計	9,987	29,680	1,478	17,961	21,974	81,080(903)

※ 東日本大震災の影響により、３月１２日以降４月末までナイター利用を中止、また７月～９月の毎週火曜日は全館利用中止、毎週日曜日は夜間利用を中止。

※（ ）内は利用件数

ウ　庭球場

区分	一般利用	大会		計
	人数(人)	件数(件)	人数(人)	人数(人)
4月	3,249	5	1,188	4,437
5月	3,609	7	1,248	4,857
6月	3,852	8	927	4,779
7月	3,753	13	1,744	5,497
8月	3,785	3	540	4,325
9月	3,516	10	932	4,448
10月	3,741	10	1,514	5,255
11月	2,500	8	2,820	5,320
12月	2,956	8	2,039	4,995
1月	2,997	7	608	3,605
2月	2,655	5	370	3,025
3月	3,607	4	438	4,045
計	40,220	88	14,368	54,588

※ 東日本大震災の影響により、３月１２日以降４月末までナイター利用を中止、また７月～９月の毎週火曜日は全館利用中止、毎週日曜日は夜間利用を中止。

エ　陸上競技場　（単位:人）

区分	個人	団体	計	区分	個人	団体	計
4月	624	2,420 (16)	3,044	10月	508	5,312 (41)	5,820
5月	201	3,797 (27)	3,998	11月	57	2,258 (18)	2,315
6月	336	2,331 (16)	2,667	12月	78	1,172 (16)	1,250
7月	262	2,545 (23)	2,807	1月	126	2,357 (12)	2,483
8月	400	2,039 (43)	2,439	2月	66	690 (10)	756
9月	434	1,072 (22)	1,506	3月	214	1,663 (31)	1,877
合計					3,306	27,656(275)	30,962

※ 東日本大震災の影響により、７月～９月の毎週火曜日は全館利用中止、毎週日曜日は夜間利用を中止。

※（ ）内は団体件数

オ　プール　（単位：人）

区分	大人	高校生以下	計	区分	大人	高校生以下	計
4月	－	－	－	10月	2,317	1,299	3,616
5月	1,876	1,379	3,255	11月	2,226	1,343	3,569
6月	2,149	1,786	3,935	12月	1,867	1,256	3,123
7月	4,097	5,531	9,628	1月	1,337	961	2,298
8月	5,494	3,904	9,398	2月	1,406	880	2,286
9月	2,646	1,784	4,430	3月	1,948	1,416	3,364
合　計					27,363	21,539	48,902

※ 東日本大震災の影響により、７月～９月の毎週火曜日は全館利用中止、毎週日曜日は夜間利用を中止。

カ　弓道場　（単位:人）

区分	個　人	団　　体	計	区分	個　人	団　　体	計
4月	12	453（6）	465	10月	－	621(10)	621
5月	3	737(10)	740	11月	2	716（7）	718
6月	4	388（7）	392	12月	－	320（4）	320
7月	4	729(11)	733	1月	6	333（7）	339
8月	4	795（8）	799	2月	12	495（5）	507
9月	1	470（7）	471	3月	23	379（4）	402
合　計					71	6,436(86)	6,507

※ 東日本大震災の影響により、３月１２日以降４月末まで夜間利用を中止、また７月～９月の毎週火曜日は全館利用中止、毎週日曜日は夜間利用を中止。

※（ ）内は団体件数

(3)　自主事業開催状況

市民の健康や体力の維持増進と、スポーツ及びレクリエーションの普及のための各種講座等の開催や、利用者の目的に合った効果的なトレーニングができるためのサービスが付帯した登録制による PASS 制度を導入し､利用者の費用負担を軽減し､定期的、効果的に利用できるサービスの提供に努めた。

また、プールの閉鎖時期を利用し、５０ｍプールを｢管理釣り場｣として開設し、施設の有効活用及び利用者の拡大に努めた。

ア　各種スポーツ教室

講　座　名	期　　間	延べ参加者数(人)
ピラティス	4月～3月	563
エアロビクス（夜）	4月～3月	180
ヨーガセラピー	4月～3月	256
ハワイアンフラ	4月～3月	231
ヒーリングヨーガ	4月～3月	343

硬式テニス（一般午前）	4月～3月	296
硬式テニス（一般ナイター）	4月～3月	190
硬式テニス（小学生1～3年生）	4月～3月	441
硬式テニス（小学生4～6年生）	4月～3月	206
KID'S SPORTS SCHOOL	4月～3月	461
スロートレーニング	4月～3月	297
ノルディックウォーキング	4月～3月	161
エンジョイフットサル	4月～10月	187
健康体操	4月～3月	178
合　　計		3,990

イ　水泳教室

講　座　名	期　　間	延べ参加者数(人)
幼児水なれ	4月～3月	1,203
幼児初級	4月～3月	1,411
小学生水なれ	4月～3月	738
小学生初級	4月～3月	3,156
小学生初中級	4月～3月	2,176
小学生中級	4月～3月	1,936
小学生上級	4月～3月	514
大人はじめて	4月～3月	313
大人初級	4月～3月	1,067
大人中級	4月～3月	414
大人水中運動	4月～3月	405
大人水中歩行	4月～3月	863
大人はじめてアクアビクス	4月～3月	303
大人ゆっくりアクアビクス	4月～3月	463
大人しっかりアクアビクス	4月～3月	208
合　　計		15,170

ウ　PASS登録者数

区　　分	登録者数(人)	登録者利用数(人)
シングルPASS（体育館）	284	
シングルPASS（プール）	144	
シングルPASS（陸上競技場）	2	
シングルPASS（弓道場）	1	
マルチPASS	81	47,492
マルチPASS(ＵＶＡ)	30	
メディカルPASS	8	
コーポレートメディカルPASS	7	
合　　計	557	

エ　PASS 登録者の施設利用人数

区　　分		登録者利用数(人)
総合体育館	競技場	3,250
	トレーニングルーム	13,051
	卓球場	2,202
	柔道場	83
	剣道場	190
	会議室	－
プール		12,241
陸上競技場		67
弓道場		28
テニスコート		16,380

オ　管理釣り場

・開設期間　４月、５月、１１月、１２月、１月～３月

・利用状況　（単位：人）

区分	共通券			平日券		計
	一日券	午前券	午後券	イブニング券	ナイター券	
大　　人	363	558	214	55	299	1,489
中学生以下	50	76	12	6	29	173
計	413	634	226	61	328	1,662

(ｱ)　魚のつかみどり

・実施期間　４、５月

・参加者数　１１８人

4　総合運動公園施設整備事業

(1)　業務委託

施　　設　　名	内　　容	金 額
体育館	音響設備・空調設備改修設計業務　ほか１件	5,082,000 円

(2)　整備工事事業

施　　設　　名	内　　容	金 額　(円)
陸上競技場	シャッター等改修　ほか１件	5,439,000
硬式野球場	メインスタンド雨漏り改修	32,235,000
合　　計		37,674,000

5　総合体育館耐震補強事業

・補強工事事業

業　　務　　名	業　　務　　内　　容	金　　額（円）
総合体育館耐震補強業務	耐震補強工事	180,075,000
	耐震補強追加工事	8,956,500
合　　計		189,031,500

6　緊急地域雇用創出・公園環境整備事業

・業務委託

業　　務　　内　　容	金　　額
高木剪定、除草業務	14,962,500 円

7　皆川城址公園整備事業

・整備工事事業

業　　務　　内　　容	金　　額
皆川城址公園施設整備工事	45,675,000 円

8　その他事業

(1)　家庭緑化用苗木配布会の開催

みどり豊かな環境を次の世代に引き継いでいくため、市民の緑化意識の高揚と環境緑化の推進を図るための緑化行事として苗木配布会を実施した。

・日　時　１０月２３日（日）

・場　所　栃木市総合運動公園中心広場

・内　容　シモツケ　５００本配布

(2)　栃木市道路等のアダプト制度（公園）

「栃木市道路等のアダプト制度」は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である公園等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度。平成２３年度現在の活動者（団体）の状況は３１公園に３６団体、６個人の届出がある。

(3)　オーナー制度

「桜のオーナー制度」は、市民との協働によるまちづくりを推進するため、趣旨に賛同する個人や団体から「桜のオーナー」として寄附を受け、桜の植樹を行う制度で、本年度は２８本の植樹を行った。

第４節　建築指導課

〔総括概要〕

市民の生命・財産の保護及び都市の健全な発展と秩序ある整備を図るとともに、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に資するため、建築指導業務、建築審査業務、開発指導業務を行った。

建築指導業務及び建築審査業務については、建築基準法に基づき、建築確認審査等の建築行政事務を執行し、建築基準法に基づく許可等、確認済証の交付、完了検査済証の交付等を行った。

また、私有地内に新たに築造された道路の位置指定や違反建築物是正に取り組む一方、狭あい道路の解消を目的として、建築基準法第４２条第２項に指定している道路に接して建築物を建てる際に後退した私有地部分について、道路として使用するため、無償使用承諾の要請を行い、その申請を受理した。

その他、建設リサイクル法に基づく届出書の受理及び通知書の収受を行い、分別解体の適否と標識の表示について確認を行った。

開発指導業務では、都市周辺部における無秩序な市街化及び不良市街地の形成を防止するため、開発行為の許可等に係わる事務について、都市計画法の規定に基づき許可、協議、指導等を行った。

また、庁内での開発行為等に関する情報交換や意思統一を図るために関係課職員の参加を求め、土地利用調整会議を毎月１回開催した。

建築指導担当

1　道路位置指定

・申請件数　９件

指定件数	７件	指定延長	218m
廃止件数	２件	廃止延長	92m

2　建設リサイクル法施行による届出及び通知

１０条届出	264 件
１１条通知	65 件

3　道路後退用地無償使用承諾

・承諾件数　　２１件

・後退面積計　　３５６㎡

4　狭あい道路拡幅整備促進事業

・補助金交付申請件数　　６件

・補助金額総計　　1,047,000 円

(1)　分筆測量に係る補助申請

分筆測量に係る補助金交付申請件数	分筆測量に係る補助金額計
3 件	852,000 円

(2)　工作物等撤去に係る補助申請

工作物等撤去に係る補助金交付申請件数	工作物等撤去に係る補助金額計
3 件	195,000 円

5　建築許可等の状況

条項の区分（建築基準法）	件数(件)
第７条の６第１項又は法第１８条第２２項	5
第４３条第１項	22
第４４条第１項	－
第４７条	－
第４８条第１項から第１３項	1
第５１条	1
第５２条第１４項	－
第５３条第４項、第５項	－
第５３条の２第１項	－
第５５条第２項、第３項	1
第５６条の２第１項	－
第５７条の４第１項	－
第５９条第１項、第４項	－
第５９条の２第１項	－
第６０条の２第１項	－
第６７条の２第３項、第５項、第９項	－
第６８条第１項から第３項、第５項	－
第６８条の３～第６８条の７	－
第８５条第３項から第５項	－
第８６条第１項から第４項	－
総　　計	30

6　長期優良住宅等認定件数

・認定申請件数　　１４３件

・認定件数　　１４１件

7　建築確認申請受付件数及び同手数料

・受付状況等　【別表】平成２３年度建築確認受付件数及び同手数料参照

【別表】平成２３年度建築確認受付件数及び同手数料

	確認申請																中間検査		完了検査		許可認定		各種証明		月別計		適合判定	
	1号		2号		3号		4号		EV		工作物		計画変更		計													
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4月	1	66,000	－	－	1	94,000	27	631,000	－	－	1	13,000	4	36,000	34	840,000	－	－	27	682,000	1	33,000	13	2,600	75	1,557,600	2	371,000
5月	－	－	－	－	－	－	27	490,000	1	15,000	2	26,000	1	9,000	31	540,000	1	21,000	27	649,000	2	66,000	6	1,200	67	1,277,200	4	742,000
6月	1	23,000	－	－	－	－	31	663,000	－	－	－	－	5	51,000	37	737,000	1	21,000	28	726,000	－	－	5	1,000	71	1,485,000	－	－
7月	1	66,000	－	－	－	－	43	914,000	－	－	－	－	9	87,000	53	1,067,000	－	－	40	1,024,000	1	160,000	6	1,200	100	2,252,200	－	－
8月	3	112,000	－	－	1	23,000	24	525,000	－	－	－	－	2	30,000	30	690,000	－	－	28	801,000	3	99,000	6	1,200	67	1,591,200	2	318,000
9月	2	32,000	－	－	－	－	34	719,000	－	－	－	－	3	39,000	39	790,000	1	16,000	40	970,000	－	－	3	600	83	1,776,600	－	－
10月	1	66,000	－	－	－	－	32	666,000	－	－	－	－	4	42,000	37	774,000	－	－	30	759,000	5	165,000	2	400	74	1,698,400	－	－
11月	2	46,000	－	－	－	－	41	879,000	－	－	－	－	5	57,000	48	982,000	－	－	33	744,000	1	33,000	5	1,000	87	1,760,000	－	－
12月	1	66,000	－	－	－	－	22	466,000	－	－	1	13,000	6	72,000	30	617,000	1	21,000	48	1,239,000	4	129,000	0	0	84	2,006,000	－	－
1月	1	23,000	－	－	－	－	25	551,000	－	－	1	13,000	3	39,000	30	626,000	2	42,000	26	644,000	3	263,000	2	400	63	1,575,400	－	－
2月	1	9,000	－	－	－	－	23	485,000	1	15,000	－	－	2	24,000	27	533,000	1	21,000	25	752,000	3	91,000	2	400	58	1,397,400	－	－
3月	1	23,000	－	－	－	－	27	583,000	－	－	－	－	2	24,000	30	630,000	1	16,000	39	940,000	5	176,000	6	1,200	80	1,763,200	－	－
計	15	532,000	－	－	2	117,000	356	7,572,000	2	30,000	5	65,000	46	510,000	426	8,826,000	8	158,000	391	9,930,000	28	1,215,000	56	11,200	909	20,140,200	8	1,431,000

建築審査担当

1　建築確認申請、完了検査申請の受付及び交付件数　（単位：件）

区　分		第１号建築物	第２号建築物	第３号建築物	第４号建築物	建築設備	工作物	計
確認	受付件数	15	－	2	356	2	5	380
	確認済証交付件数	14	－	2	354	2	5	377
計画変更	受付件数	3	－	－	43	－	－	46
	確認済証交付件数	3	－	－	44	－	－	47
完了検査	受付件数	15	－	4	361	1	10	391
	検査済証交付件数	15	－	5	358	2	12	392

※建築基準法第１８条の規定に基づく計画通知は件数に含まない。

2　中間検査件数　（単位：件）

区　分	建築物	建築設備	工作物
中間検査合格証交付件数	8	－	－
中間検査不合格件数	－	－	－

3　住宅金融支援機構審査申請件数取扱状況

・手数料収入　　－円

・取扱状況　　（単位：戸数）

一戸建住宅	共同住宅	既存住宅購入
－	－	－

開発指導担当

1　都市計画法に基づく開発許可制度に関すること

(1)　許可等の状況

条項の区分（都市計画法）	件数(件)
第２９条第１項　開発許可	100
第３５条の２第１項　開発変更許可	15
第３６条第２項　完了検査及び検査済証の交付	99
第３６条第３項　完了公告	92
第３７条第１項　建築制限解除承認	11
第３８条　開発廃止届の受理	3

第４２条第１項但書　用途変更等許可	5
第４３条第１項　建築行為許可	31
第４６条　開発登録簿の調製	100
第４７条第５項　開発登録簿の写しの交付	108
省令第６０条　開発行為又は建築行為に関する証明	126

(2)　開発行為等許可申請手数料の収納状況

月　別	件数(件)	金　額(円)
４月	16	83,960
５月	23	833,980
６月	8	42,710
７月	25	763,630
８月	21	399,360
９月	15	498,140
１０月	15	422,290
１１月	23	494,700
１２月	40	622,590
１月	18	368,890
２月	31	354,270
３月	21	503,030
合　　計	256	5,387,550

※件数及び金額は、受付ベース

(3)　栃木県開発審査会

市街化調整区域内における開発行為のうち、都市計画法第３４条第１４号に定める立地基準の該非を審査する機関。

・開催回数　　９件
・個別付議　　２件
・報告事案　　２９件

(4)　栃木県開発許可事務連絡協議会

開発許可制度の有効な運用と事務改善を目的とする協議会。

幹　　事　　会	1回
総　　会	2回
研　　修　　会	3回
先進都市視察研修	1回

２　優良宅地の認定に関すること

租税特別措置法に基づく優良宅地の認定申請はなかった。

３　風致地区内行為の許可に関すること

許可の状況

・県風致地区条例第２条第１項　建築行為許可　　２件

第８章　上下水道部

第１節　水道課（公営企業事務部局）

〔総括概要〕

組織機構改革に伴い、各総合支所の水道担当課を本庁に一元化し、西方総合支所に都賀・西方地域を担当する北部水道事務所を、大平総合支所に大平・藤岡地域を担当する南部水道事務所を配置した。水道事業については、事業の効率的運営のため、各地域にある水道施設の再編や老朽化による更新・耐震化等の整備を進め、将来にわたり安全で安心な水の供給が不可欠となっており、今年度については主に次のとおり事業を行った。

栃木地域については、第４次拡張事業として、国府地区の配水管布設工事を、上水道整備事業として、下水道事業等他事業からの依頼による配水管移設工事や老朽塩化ビニール管からダクタイル鋳鉄管への布設替工事を行った。

大平地域については、上水道整備事業として、栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業及びＪＲ大平下駅前土地区画整理事業からの依頼による配水管布設工事を、配水設備改良事業として、蔵井水源地取水流量計及び濁度計の設置工事を行った。

藤岡地域については、上水道整備事業として、浄水場施設運転監視配信装置設置工事を、上水道設備改良事業として、藤岡第４水源改修工事、藤岡第１浄水場ろ過ポンプ及び藤岡第２水源水中ポンプ更新工事を、また老朽管更新事業として、石綿セメント管からダクタイル鋳鉄管への布設替工事を行った。

都賀地域については、配水設備整備事業として、主要地方道宇都宮亀和田栃木線及び県道国谷家中停車場線の配水管布設工事や下水道事業等他事業からの依頼による配水管移設工事を行った。

水道水の検査及び施設の維持管理については、毎月定期的に水質検査を実施するとともに、水源や浄水場施設の故障及び定期点検や、休日・夜間に突発的に発生する漏水事故等に迅速に対応した。

水道料金収納については、年間を通じ市内全域において給水停止を含む納付指導を行うなど収納率の向上に努め、会計事務については、法令等に基づき現金及び物品の出納保管等の適正処理を行うとともに、定期預金のほか国債等により安全で効率的な資金運用を図った。また、西方町との合併後、水道料金再編に向けた検討に着手した。

給水状況は、給水戸数47,593戸、給水人口129,511人となり、行政区域内人口に対する普及率は87.8％となった。また、年間配水量は18,039,205㎥となった。

業務担当　北部水道事務所担当　南部水道事務所担当

1　水道事業会計収入・支出予算　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	収益的収支		資本的収支	
		収　入	支　出	収　入	支　出
当初予算	平成23年3月24日	2,068,663	2,019,248	237,424	1,271,453
補正第1号	平成23年9月27日	78,290	96,999	18,344	67,597
補正第2号	平成23年12月15日	－	12,000	－	－
補正第3号	平成24年3月22日	－	－	△66,900	－
計		2,146,953	2,128,247	188,868	1,339,050

2　企業債の状況

種　類	発行件数(件)	発行総額(円)	償　還　高(円)		未償還残高(円)
			当年度償還高	償還高累計	
政府資金	57	4,826,700,000	344,501,989	1,679,047,812	3,147,652,188
機構資金	105	6,143,000,000	195,063,639	927,340,051	5,215,659,949
その他	5	422,000,000	43,248,914	157,004,473	264,995,527
計	167	11,391,700,000	582,814,542	2,763,392,336	8,628,307,664

3　水道普及状況

	給水人口(人)	給水戸数(戸)	行政区域内普及率(%)
栃　木	67,045	25,727	83.2
大　平	27,531	9,970	92.8
藤　岡	15,523	5,399	90.6
都　賀	12,952	4,336	96.1
西　方	6,460	2,161	97.6
全　体	129,511	47,593	87.8

4　給水状況

(1)　年間配水量　（単位：m^3）

	有　効　水　量			無効水量	配水量
	有収水量	無収水量	計		
栃木	7,370,527	535,641	7,906,168	1,614,387	9,520,555
大平	3,192,202	191,912	3,384,114	502,537	3,886,651
藤岡	1,511,757	246,648	1,758,405	360,074	2,118,479

都賀	1,224,351	44,934	1,269,285	783,797	2,053,082
西方	324,351	4,184	328,535	131,903	460,438
全体	13,623,188	1,023,319	14,646,507	3,392,698	18,039,205

(2)　月別配水量　　（単位：㎥）

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	全体
4月	718,246	308,537	170,711	154,172	－	1,351,666
5月	767,734	326,277	171,896	170,875	－	1,436,782
6月	767,373	319,539	176,570	171,589	－	1,435,071
7月	807,602	340,835	166,521	174,230	－	1,489,188
8月	795,744	329,428	184,472	180,479	－	1,490,123
9月	845,329	318,150	180,210	168,698	－	1,512,387
10月	827,722	323,457	173,511	170,906	80,399	1,575,995
11月	801,527	316,607	177,776	165,311	79,722	1,540,943
12月	807,264	333,457	175,329	173,893	76,566	1,566,509
1月	776,296	334,083	187,933	176,443	77,302	1,552,057
2月	816,154	312,948	182,181	166,542	72,620	1,550,445
3月	789,564	323,333	171,369	179,944	73,829	1,538,039
計	9,520,555	3,886,651	2,118,479	2,053,082	460,438	18,039,205

(3)　用途別・口径別給水状況

ア　栃木地域

用途	平成24年3月31日現在(戸)	平成23年3月31日現在(戸)	増減(戸)	平成23年度有収水量(㎥)	利用率(%)
家事用	23,862	23,283	579	5,188,215	70.39
営業用	1,603	1,573	30	1,117,974	15.17
官公署・学校用	168	167	1	517,985	7.03
工業用	1	1	0	538,702	7.31
臨時用	93	60	33	7,651	0.10
計	25,727	25,084	643	7,370,527	100.00

イ　大平地域

口径	平成24年3月31日現在(戸)	平成23年3月31日現在(戸)	増減(戸)	平成23年度有収水量(㎥)	利用率(%)
１３mm	7,538	7,488	50	1,826,818	57.23
２０mm	2,207	2,134	73	597,386	18.71
２５mm	99	99	0	63,669	1.99

３０mm	50	47	3	75,812	2.38
４０mm	40	40	0	87,258	2.73
５０mm	22	21	1	233,058	7.30
７５mm	14	14	0	308,201	9.66
計	9,970	9,843	127	3,192,202	100.00

ウ　藤岡地域

用途	平成24年3月31日現在(戸)	平成23年3月31日現在(戸)	増減(戸)	平成23年度有収水量(㎥)	利用率(%)
一般用	5,317	5,316	1	1,441,186	95.33
官公署用	81	81	0	4,455	0.29
工業用	1	1	0	65,986	4.37
臨時用	0	0	0	130	0.01
計	5,399	5,398	1	1,511,757	100.00

エ　都賀地域

用途	平成24年3月31日現在(戸)	平成23年3月31日現在(戸)	増減(戸)	平成23年度有収水量(㎥)	利用率(%)
一般用	4,108	4,171	△63	1,032,937	84,37
営業用	138	116	22	91,884	7.50
工場用	5	4	1	3,946	0.32
団体用	37	37	0	83,506	6.82
公共用	46	47	△1	11,962	0.98
一般共用	2	3	△1	113	0.01
臨時用	0	1	△1	3	0.00
計	4,336	4,379	△43	1,224,351	100.00

オ　西方地域

用途	平成24年3月31日現在(戸)	平成23年3月31日現在(戸)	増減(戸)	平成23年度有収水量(㎥)	利用率(%)
一般用	1,999	－	－	230,586	71.09
営業用	118	－	－	77,629	23.93
団体用	44	－	－	16,136	4.98
臨時用	0	－	－	0	0.00
計	2,161	－	－	324,351	100.00

※西方地域の数値はすべて合併後（平成23年10月1日～平成24年3月31日）のもの。

工務担当　北部水道事務所担当　南部水道事務所担当

1　工事関係

(1)　建設改良工事関係（工事請負契約３００万円を超えるもの）　（単位：円）

工　事　名	工　事　内　容	工　事　費
市道Ｄ41 号線外　給・配水管復旧工事（箱森町）	配水管布設　DCIPφ100㎜ L=202.3m DCIPφ250mm　L=39.0m 消火栓設置　1か所 排泥管設置　L=12.2m	7,493,850
市道 235 号線外　給・配水管布設替工事（川原田町）	配水管布設　DCIPφ100㎜ L=300.0m DCIPφ75㎜　L=4.3m 消火栓設置　2か所	7,624,050
市道Ｄ2 号線外　給・配水管復旧工事（片柳町５丁目）	配水管布設　DCIPφ100㎜ L=125.5m DCIPφ150mm　L=6.0m 排泥管設置　1か所	5,414,850
市道Ｃ38 号線外　給・配水管布設替工事（川原田町）	配水管布設　DCIPφ75㎜ L=147.7m 排泥管設置　1か所	3,029,250
市道 205 号線　給・配水管復旧工事（箱森町）	配水管布設　DCIPφ100㎜ L=315.7m 消火栓設置　1か所	7,519,050
市道Ｄ208 号線　給・配水管復旧工事（箱森町）	配水管布設　DCIPφ150㎜　L=276.8m DCIPφ100㎜　L=2.6m 消火栓設置　2か所	8,905,050
市道Ｃ21 号線舗装復旧工事（大塚町）	表層工　A=1,887㎡ 不陸整正　A=1,887㎡ 区画線工　1式	7,213,500
県道栃木二宮線舗装復旧工事（大宮町）	路面切削工　A=2,136㎡ 表層工　A=2,136㎡ 区画線工　1式	9,135,000
市道 112 号線舗装復旧工事（藤田町）	表層工　A=2,106㎡ 不陸整正　A=2,106㎡ 区画線工　1式	7,948,500
第４拡　県道小山都賀線外給・配水管布設工事（１工区）（大塚町）	配水管布設　DCIPφ150㎜　L=396.4m DCIPφ75㎜　L=424.2m 消火栓設置　1か所 排泥設置　1か所 本復旧　1式	22,037,400

第４拡　県道小山都賀線外 給・配水管布設工事（2 工区） （大塚町）	配水管布設　DCIPφ150㎜ L=435.9m DCIPφ100㎜ L=579.2m DCIPφ75㎜ L=182.0m 消火栓設置　1か所	29,533,350
第４拡　市道 113 号線外　給・ 配水管布設工事（1 工区） （国府町）	配水管布設　DCIPφ150㎜ L=567.0m DCIPφ100㎜ L=9.4m 消火栓設置　2か所 排泥設置　1か所 本復旧　1式	25,298,700
県道栃木環状線外　給・配水管 移設工事（箱森町）	配水管布設　DCIPφ250㎜ L=176.8m 配水管布設　DCIPφ200㎜ L=6.0m 消火栓設置　1か所	7,447,650
市道Ｂ22号線外　舗装復旧工事 （田村町）	表層工　A=2,087㎡ 不陸整正　A=2,087㎡ 区画線工　1式	6,856,500
県道小山栃木都賀線配水管布設 工事 （大宮町・都賀町合戦場地内）	配水管布設　DCIPφ150㎜ L=247.3m DCIPφ100㎜ L=586.2m DCIPφ75㎜ L=1.2m 排泥設置　1か所 給水管布設　PPφ20～50mm　4か所 本復旧　1式 空気弁設置　1か所	21,210,000
第４拡　県道小山都賀線外 給・配水管布設工事（3 工区） （大塚町）	配水管布設　DCIPφ150㎜ L=1076.0m 消火栓設置　1か所 排泥設置　1か所	26,191,200
第４拡　市道 113 号線外　給・ 配水管布設工事（2 工区） （国府町）	配水管布設　DCIPφ150㎜ L=579.9m DCIPφ75㎜ L=311.0m 消火栓設置　1か所	19,807,200
第４拡　市道 113 号線外　給・ 配水管布設工事（3 工区） （国府町）	配水管布設　DCIPφ100㎜ L=695.5m DCIPφ75㎜ L=272.8m 消火栓設置　1か所	22,006,950
市道Ｄ22 号線外　給・配水管布 設替工事（皆川城内町）	配水管布設　DCIPφ100㎜ L=135.0m	3,615,150
市道Ｃ32 号線外　給・配水管布 設替工事（川原田町）	配水管布設　DCIPφ150㎜ L=167.9m	6,609,750

市道Ａ38号線外　給・配水管布設替工事（神田町）	配水管布設　DCIPφ100㎜　L=175.8m DCIPφ75㎜　L=9.0m 排泥設置　1か所	5,916,750
蔵井水源地取水流量計及び濁度計設置工事（大平町蔵井）	取水流量計設置　1式 濁度計設置　1式	30,450,000
栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業に伴う配水管布設工事（大平町下皆川）	配水管布設　HPPEφ100㎜　L=676.3m PP　φ50㎜　L=382.3m 消火栓設置　2か所	13,902,000
大平町中央町地区配水管布設替工事（大平町蔵井・富田）	配水管布設　HPPEφ100㎜　L=218.5m HPPEφ75㎜　L=465.8m PPφ50㎜　L=15.8m PPφ40㎜　L=95.9m 消火栓設置　3か所 給水管分岐替　1式	20,695,500
ＪＲ大平下駅前土地区画整理事業に伴う配水管布設工事（大平町富田）	配水管布設　HPPEφ150㎜　L=114.7m HPPEφ100㎜　L=496.4m PPφ50㎜　L=531.6m 消火栓設置　3か所	19,068,000
藤岡町浄水場施設運転監視配信装置工事（藤岡町藤岡）	浄水場施設運転監視配信装置　1式	7,245,000
藤岡町第4水源改修工事（藤岡町蛭沼）	第4水源改修　1式	8,736,000
国庫補助事業　市道Ｆ1-27号線配水管布設替工事（藤岡町甲）	配水管布設　HIVPφ150㎜　L=156.5m HIVPφ100㎜　L=3.5m 給水管分岐替 PPφ20mm　1式	7,360,500
国庫補助事業　市道Ｆ4号線配水管布設替工事（藤岡町大前）	配水管布設　DCIPφ200㎜　L=618.1m DCIPφ100㎜　L=10.1m HIVPφ50㎜　L=5.5m PPφ50㎜　L=8.0m 消火栓設置　2か所 給水管分岐替　PPφ20mm　1式	28,318,500
国庫補助事業　市道Ｆ6,Ｆ43号線配水管布設替工事（藤岡町富吉）	配水管布設　DCIPφ250㎜　L=236.9m DCIPφ150㎜　L=220.2m DCIPφ100㎜　L=115.8m 既設管撤去　ACPφ250㎜　L=98.7m 消火栓設置　3か所 給水管分岐替　PPφ20mm　1式	27,804,000

藤岡第１浄水場№2 ろ過ポンプ外更新工事（藤岡町藤岡）	第１浄水場№2 ろ過ポンプ　１式 第１浄水場ブロワ　１式 第２浄水場排水ポンプ　１式 第３浄水場発電機冷却水配管　１式	4,305,000
都賀町（主）宇都宮亀和田栃木線 BP 配水管布設工事（17 工区）（都賀町家中）	配水管布設　DCIPφ250㎜ L=108.5m DCIPφ150㎜ L=2.6m 空気弁設置　２か所	9,450,000
都賀町（主）宇都宮亀和田栃木線 BP 配水管布設工事（18 工区）（都賀町家中）	配水管布設　DCIPφ200㎜ L=306.8m DCIPφ75㎜ L=22.0m 消火栓設置　２か所 本復旧　１式	15,319,500
都賀町県道国谷家中停車場線外配水管布設工事（都賀町家中）	配水管布設　DCIPφ300㎜ L=372.9m DCIPφ150㎜ L=57.1m DCIPφ75㎜ L=1.4m 消火栓設置　１か所 給水管布設　PPφ20mm　５か所 仮設給水管布設 PPφ50～20mm　１式	30,334,500
都賀町（主）宇都宮亀和田栃木線 BP 配水管布設工事（19 工区）（都賀町家中）	配水管布設　DCIPφ200㎜ L=211.4m 空気弁設置　１か所 本復旧　１式	10,353,000

(2)　その他の工事関係（工事請負契約１００万円を超えるもの）　（単位：円）

工　事　名	工　事　内　容	工　事　費
市道Ｄ41 号線外　給・配水管復旧工事（箱森町）	給水管布設　PPφ20～50mm　11か所 仮設管撤去　PPφ75mm　L=228.0m	1,525,650
市道 235 号線外　給・配水管布設替工事（川原田町）	給水管布設　PPφ20～30mm　12か所	1,090,950
出流町地内仮井戸掘削工事（出流町）	さく井工　１式	1,155,000
市道 234 号線　仕切弁及空気抜弁設置工事（野中町）	仕切弁設置　２か所 空気弁設置　１か所	1,207,500
市道Ｃ38 号線外　給・配水管布設替工事（川原田町）	給水管布設　PPφ20～30㎜ 10か所	1,002,750
市道 205 号線　給・配水管復旧工事（箱森町）	給水管布設　PPφ20～50㎜ 10か所 仮設管撤去　PPφ75㎜　L=312.4m	1,164,450
箱森西部土地区画整理事業に伴う給水管布設工事（箱森町）	給水管布設　PPφ20～25㎜ 109か所	8,452,500

市道Ｄ208 号線　給・配水管復旧工事（箱森町）	給水管布設　PPφ20～50 ㎜ 14 か所 仮設管撤去　PPφ75mm　L=272.0m	2,098,950
川原田町地内給水管布設替工事（1 工区）（川原田町）	給水管布設　PPφ30 ㎜　L=35.3m PPφ20mm　L=13.5m	1,228,500
出流地区仮井戸掘削工事（出流町）	さく井工　1 式	1,228,500
第 4 拡　県道小山都賀線外給・配水管布設工事（１工区）（大塚町）	給水管布設　PPφ20～30 ㎜ 7 か所	1,881,600
第 4 拡　県道小山都賀線外給・配水管布設工事（2 工区）（大塚町）	給水管布設　PPφ20～30 ㎜ 15 か所	4,339,650
第 4 拡　市道 113 号線外　給・配水管布設工事（１工区）（国府町）	給水管布設　PPφ20～30 ㎜ 5 か所	1,339,800
県道栃木環状線外　給・配水管移設工事（箱森町）	配水管仮設　PPφ75 ㎜　L=183.5m 給水管仮設　PPφ20～25 ㎜　3 か所 給水管布設　PPφ20～25 ㎜　3 か所 仮設管撤去　PPφ75 ㎜　L=183.5m	10,832,850
第 4 拡　県道小山都賀線外給・配水管布設工事（3 工区）（大塚町）	給水管布設　PPφ30～20mm　25 か所	6,442,800
第 4 拡　市道 113 号線外　給・配水管布設工事（2 工区）（国府町）	給水管布設　PPφ30～20mm　30 か所	4,395,300
第 4 拡　市道 113 号線外　給・配水管布設工事（3 工区）（国府町）	給水管布設　PPφ30～20mm　13 か所	1,009,050
大宮町地内給水管布設替工事（大宮町）	給水管布設　DCIPφ75 ㎜ L=131.0m PPφ30mm　1 か所	4,725,000
大宮町地内配水管移設工事（大宮町）	配水管布設 DCIPφ150 ㎜ L=20.0m 配水管撤去　L=24.0m	1,291,500
河合町地内水管橋改修工事（河合町）	水管橋改修工　1 式 フェンス改修工　1 式	1,285,200

薗部町１丁目地内　給・配水管復旧工事（薗部町１丁目）	給水管布設　DCIPφ75㎜ L=49.0m PPφ20mm　3か所	1,249,500
柳橋町地内給水管布設替工事（柳橋町）	給水管布設　PPφ30　L=55.0m PPφ20　L=8.0m	1,144,500
薗部町１丁目地内給水管復旧工事（薗部町１丁目）	給水管布設　PPφ50　L=27.0m PPφ25～30mm 3か所	1,092,000
下水道工事に伴う水道管切廻し工事（大平町富田）	配水管布設　PPφ50　L=110.0m	1,289,925

(3)　漏水修理件数　（単位：件）

	配水管	給水管	合計
栃木	11	439	450
大平	12	53	65
藤岡	8	59	67
都賀	13	62	75
西方	2	6	8
全体	46	619	665

※漏水修理工事（給水管）には止水栓交換も含む。

(4)　水質検査

区分	検査項目	検査箇所	頻度
浄水	水質検査項目（50項目）	浄水場10箇所 端末給水栓等30箇所	検査項目により毎月又は年1回
	水質管理目標設定項目（27項目）	浄水場12箇所 水源11箇所 端末給水栓等3箇所	年1回
原水	水質検査項目（39項目）	浄水場6箇所 水源25箇所	年1回
	クリプトスポリジウム指標菌	水源48箇所	毎月又は年1回

２　給水装置工事件数（申請件数）　（単位：件）

	新設	改造	修繕	撤去	合計
栃木	141	392	2	26	561
大平	55	118	0	10	183
藤岡	42	23	0	5	70
都賀	43	20	0	0	63
西方	9	7	0	0	16
全体	290	560	2	41	893

3　公道分岐工事箇所数　　（単位：箇所）

	県　道	市　道	認定外	その他	合　計
栃　木	13	101	22	0	136
大　平	4	49	15	0	68
藤　岡	0	30	0	0	30
都　賀	6	13	1	0	20
西　方	0	5	0	0	5
全　体	23	198	38	0	259

※西方地域の数値はすべて合併後（平成23年10月1日～平成24年3月31日）のもの。

第２節　下水道課

〔総括概要〕

本市では、行政区域を越えて効率的に汚水処理を行うため、栃木市、壬生町を対象とした巴波川流域関連公共下水道、及び栃木市、岩舟町を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道として、市民の快適で衛生的な生活環境の実現と、公共用水域の水質保全を図るための事業を実施している。

公共下水道の全体計画区域は、市街化区域を中心とした 3,896.4 ヘクタールであり、現在の事業認可区域は、2,900.5 ヘクタールである。

本市全体での今年度末の整備状況は、整備面積 2,243.44 ヘクタール、整備率 77.4％、普及率 54.7％、水洗化率 84.8％である。

主な整備区域は、栃木地域は栃木環状線外側の箱森・薗部地区、大宮地区等であり、大平地域は現在区画整理が行われている大平町富田・下皆川地区、大平町西野田地区である。また、藤岡地域は藤岡町赤麻・大前地区であり、都賀地域は都賀町家中・原宿地区、西方地域では西方町真名子地区である。

事業実施に当たっては、面整備の推進と併せて水洗化率の向上を図るため、未接続世帯への戸別訪問を強化するとともに、広報紙やホームページなどによる情報提供の充実や、下水道フェスティバル等の普及対策事業を実施した。

下水道事業は、独立採算制が義務付けられていることから、建設財源として重要な受益者負担金の賦課徴収や使用料滞納者への訪問徴収を行い、自主財源の確保に努めるとともに、事務の合理化や工事コストの縮減など、最小の費用で最大の効果が上げられるよう、経営の効率化に努めた。

また、農業集落排水事業は大平地域、藤岡地域、西方地域の３地域６地区で実施しており、大平地域の下皆川地区は平成９年に計画策定し平成１４年に供用開始、みずほ西地区は平成１２年に計画策定し平成１８年供用開始。藤岡地域の巴波川南部地区は平成１３年に計画策定し平成１９年に供用開始、巴波川西部地区は平成１６年に計画策定し今年度供用開始。西方地域の西方西部地区は平成元年に計画策定し平成５年に供用開始、本郷金井地区は平成４年に計画策定し平成９年供用開始している。

さらに、公共下水道の認可区域外及び農業集落排水事業の整備区域外の生活雑排水対策事業として、家庭用小型合併処理浄化槽の設置者に補助金を交付した。

下水道管理担当

1　公共下水道事業受益者負担金関係

(1)　平成２４年度賦課分

・対象区域の告示　４月２１日　栃木市告示第１３３号、第１３４号

・対象区域　沼和田町、片柳町１丁目、片柳町４丁目、片柳町５丁目、
蔵部町１丁目、蔵部町２丁目、蔵部町３丁目、祝町、箱森町、
大宮町、平柳町１丁目、川原田町、国府町、大平町富田、
大平町蔵井、大平町新、都賀町家中、都賀町原宿、
都賀町大橋の各一部

・賦課対象面積　35.68ha

・受益者負担金決定通知書発送件数　４４３件

(2)　徴収状況（受益者負担金相当額を含む）

	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	徴収率(%)
栃木地域	1,294	62,066,075	52,980,410	791,130	86.4
大平地域	797	54,064,550	44,842,450	1,302,000	85.0
藤岡地域	110	5,897,000	3,288,300	451,700	60.4
都賀地域	138	6,377,220	4,641,880	254,180	75.8
西方地域	45	2,112,520	345,400	154,400	17.6
合　計	2,384	130,517,365	106,098,440	2,953,410	83.1

2　下水道使用料関係

	調定件数(件)	調定額(円)	収入額（円）	不納欠損額(円)	徴収率(%)
栃木地域	196,434	726,222,923	600,010,882	1,170,331	82.7
大平地域	22,752	135,166,267	121,388,093	53,232	89.8
藤岡地域	19,938	64,234,108	55,895,516	69,234	87.1
都賀地域	13,931	96,576,444	81,199,273	635,574	84.6
西方地域	1,511	18,331,310	16,141,550	－	88.0
合　計	254,566	1,040,531,052	874,635,314	1,928,371	84.2

3　流域下水道事業

巴波川流域下水道事業は、本市、壬生町の１市１町を対象として、渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道事業は、本市、岩舟町の１市１町を対象として、栃木県が事業主体となり、建設及び維持管理事業を実施している。

(1)　流域下水道の建設事業

ア　巴波川流域下水道建設事業費

巴波川流域下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　44,370,377円

イ　渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　13,697,550円

(2)　流域下水道の維持管理事業

ア　巴波川流域下水道維持管理費

巴波川流域下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　329,093,000円

イ　渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　160,867,000円

4　流域下水道促進協議会関係

流域下水道事業の推進を図るため、関連市町で協議会を設置し、下水道フェスティバル、研修会等を開催しており、協議会負担金を次のように支出した。

・巴波川流域下水道事業本市負担金　　201,000円

・渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道事業本市負担金　　160,000円

5　農業集落排水事業受益者分担金

地域	地区	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	徴収率(%)
大平	下皆川	1	250,728	250,728	100.0
	みずほ西	2	406,850	406,850	100.0
藤岡	巴波川南部	4	688,600	-	0.0
	巴波川西部	22	6,047,700	810,100	13.4
西方	西方西部	-	-	-	-
	本郷金井	2	418,000	418,000	100.0
合　　計		31	7,811,878	1,885,678	24.1

6　農業集落排水事業施設使用料

地域	地区	調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	徴収率(%)
大平	下皆川	1,185	7,298,402	5,681,176	77.8
	みずほ西	2,014	12,222,765	9,820,101	80.3
藤岡	巴波川南部	2,419	11,662,665	10,402,770	89.2
	巴波川西部	550	2,902,515	2,465,400	84.9
西方	西方西部	832	9,057,750	8,158,765	90.1
	本郷金井	652	8,198,520	6,959,245	84.9
合　　計		7,652	51,342,617	43,487,457	84.7

下水道整備担当

1　公共下水道整備状況

区分			地域	今年度中施工分	今年度末累計
管渠延長	汚水	幹線	栃木	－	28,726.11m
			大平	100.00m	10,700.00m
			藤岡	1,057.80m	5,326.81m
			都賀	－	3,916.95m
			西方	－	2,118.89m
		枝線	栃木	4,658.40m	249,307.18m
			大平	5,620.40m	80,166.80m
			藤岡	1,049.70m	61,113.67m
			都賀	954.20m	55,078.85m
			西方	1,127.80m	22,254.81m
		計		14,568.30m	518,710.07m
	雨水管渠		栃木	－	726.50m
			大平	－	－
			藤岡	－	984.14m
			都賀	－	－
			西方	－	－
	合計			14,568.30m	520,420.71m
マンホール数			栃木	160か所	9,385か所
			大平	115か所	2,789か所
			藤岡	51か所	2,099か所
			都賀	25か所	1,903か所
			西方	32か所	707か所
合計				383か所	16,883か所
汚水桝数			栃木	215か所	18,405か所
			大平	215か所	5,102か所
			藤岡	48か所	3,038か所
			都賀	21か所	2,494か所
			西方	21か所	886か所
合計				520か所	29,925か所
マンホールポンプ数			栃木	－	11か所
			大平	1か所	8か所
			藤岡	1か所	22か所
			都賀	－	4か所
			西方	－	1か所
合計				2か所	46か所

2　私道における公共下水道工事

	申請済件数（件）	工事済件数（件）
栃木地域	9	12（内平成22年度申請分3件）
大平地域	5	5（内平成22年度申請分5件）
藤岡地域	0	0
都賀地域	1	1
西方地域	0	0
合　　計	15	18（内平成22年度申請分8件）

3　公共下水道建設事業関係

(1)　汚水幹線枝線築造工事

工　事　箇　所	工　事　内　容		工事金額(円)	備　　考
	延長(m)	内径(㎜)		
薗部町3丁目地内 西部処理分区第33工区	304.4	200	13,230,000	前年度繰越
薗部町3丁目地内 西部処理分区第34工区	342.8	200	13,965,000	前年度繰越
箱森町地内 西部処理分区第35工区	178.0	200	9,292,500	前年度繰越
箱森町地内 西部処理分区第36工区	167.3	200	8,400,000	前年度繰越
箱森町地内 西部処理分区第37工区	220.7	200	9,870,000	前年度繰越
大宮町、都賀町合戦場地内 平柳第2処理分区第1工区	438.0	200	19,981,500	
大宮町地内 平柳第2処理分区第2工区	385.1	200	17,934,000	
大宮町、都賀町合戦場地内 平柳第2処理分区第3工区	389.8	200	17,262,000	
片柳町2丁目地内 西部処理分区第1工区	39.5	200	1,732,500	
箱森町地内 西部処理分区第2工区	199.4	200	10,657,500	
大宮町地内 東部処理分区第1工区	50.0	200	2,436,000	
箱森町地内 西部処理分区第3工区	87.5	200	4,221,000	
薗部町3丁目地内 西部処理分区第4工区	51.0	200	7,665,000	
薗部町3丁目地内 西部処理分区第5工区	256.8	200	10,615,500	
箱森町地内 西部処理分区第6工区	199.3	200	9,450,000	

箱森町地内 西部処理分区第7工区	239.9	200	12,337,500	
野中町地内 西部処理分区第8工区	110.9	200	6,226,500	
大宮町地内 東部処理分区第2工区	54.3	200	2,341,500	
箱森町地内 西部処理分区第9工区	462.5	200	18,795,000	
薗部町3丁目地内 西部処理分区第10工区	115.5	200	4,966,500	
薗部町3丁目地内 西部処理分区第11工区	103.0	200	4,882,500	
箱森町地内 西部処理分区第12工区	188.2	200	8,169,000	
薗部町2丁目地内 西部処理分区第13工区	114.0	200	5,355,000	
箱森町地内 西部処理分区第14工区	61.0	200	3,591,000	
川原田町地内 北部処理分区第1工区	29.6	200	1,638,000	
大平町富田地内 大平町第1処理分区第1工区	480.2	150	29,284,500	前年度繰越
大平町富田地内 大平町第1処理分区第2工区	533.2	150	28,035,000	前年度繰越
大平町富田地内 大平町第1処理分区第3工区	389.2	150	16,800,000	前年度繰越
大平町富田地内 大平町第1処理分区第6工区	426.6	150	16,033,500	前年度繰越
大平町富田地内 大平町第1処理分区第7工区	386.2	150	12,138,000	前年度繰越
大平町富田地内 大平町第1処理分区第1工区	401.0	150	19,866,000	前年度繰越
大平町下皆川地内 大平町第1処理分区第2工区	580.4	150	27,961,500	前年度繰越
大平町下皆川地内 大平町第1処理分区第3工区	294.2	150	9,292,500	前年度繰越
大平町下皆川地内 大平町第1処理分区第4工区	305.3	150	13,650,000	前年度繰越
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第1工区	346.8	150	21,021,000	前年度繰越
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第2工区	297.6	100	12,778,500	前年度繰越
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第3工区	マンホールポンプ設置		10,920,000	前年度繰越
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第4工区	535.5	150	26,008,500	
大平町西野田地内 大平町第2処理分区第5工区	499.4	150･200	28,318,500	

大平町西野田地内 大平町第2処理分区第6工区	212.7	150	15,130,500	
藤岡町大前地内 藤岡町第2処理分区第1工区	370.2	150	18,942,000	前年度繰越
藤岡町大前地内 藤岡町第2処理分区第2工区	306.2	150	13,881,000	前年度繰越
藤岡町大前地内 藤岡町第2処理分区第3工区	337.1	150	18,690,000	前年度繰越
藤岡町大前地内 藤岡町第3処理分区第1工区	768.6	150	25,462,500	前年度繰越
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第2工区	41.2	150	4,672,500	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第3工区	マンホールポンプ設置		9,030,000	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第4工区	153.0	250	13,345,500	
藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第5工区	171.0	150･250	14,490,000	
都賀町原宿地内 桜内第一処理分区第7工区	110.0	200	5,344,500	前年度繰越
都賀町原宿地内 桜内第二処理分区第8工区	384.4	200	16,558,500	前年度繰越
都賀町家中地内 桜内第二処理分区第1工区	284.5	200	11,802,000	
都賀町家中地内 桜内第二処理分区第2工区	71.0	200	5,512,500	
都賀町原宿地内 木原第一処理分区第1工区	119.0	200	4,987,500	
都賀町原宿地内 桜内第一処理分区第1工区	29.0	200	1,155,000	
都賀町平川地内 都賀第四処理分区第1工区	63.5	200	2,373,000	
西方町真名子地内 真名子処理分区第1工区	234.0	150	14,721,000	
西方町真名子地内 真名子処理分区第2工区	102.3	150	4,924,500	
合　　計	14,021.8		698,145,000	

(2)　舗装本復旧工事

工　事　箇　所	工事延長(m)	工事金額(円)	備　考
薗部町1丁目地内　市道A114号線	154.6	2,308,950	
箱森町地内　市道204号線	579.5	11,424,000	
箱森町地内　市道205号線	325.0	7,822,500	
片柳町2丁目地内　市道A240号線外	401.0	6,090,000	
大宮町地内　市道B217号線	747.0	14,154,000	

薗部町1丁目地内外　市道A56号線外	361.5	4,431,000	
片柳町5丁目地内　市道D2号線外	225.0	4,305,000	
大平町富田・蔵井地内　市道O204号線外	721.4	15,907,500	
大平町西水代地内　市道O112号線外	432.4	9,639,000	
大平町西水代地内　市道O445号線外	434.5	6,846,000	
大平町西野田地内　市道O102号線外	115.9	1,449,000	
大平町蔵井地内　市道O29号線外	107.1	3,675,000	
大平町富田地内　市道O484号線	45.3	819,000	
藤岡町藤岡地内　市道F5-46号線	466.0	6,657,000	前年度繰越
藤岡町藤岡地内　市道F33号線外	440.0	6,090,000	前年度繰越
藤岡町藤岡地内　市道F11号線	268.8	3,843,000	前年度繰越
藤岡町藤岡地内　市道F5-46号線外	761.7	11,392,500	
藤岡町藤岡地内　市道F5-90号線外	432.9	6,667,500	
西方町真名子地内　市道N-3340号線外	116.0	1,942,500	
西方町真名子地内　市道N-3303号線外	210.5	3,202,500	
西方町金崎地内　市道N-3161号線外	183.4	3,853,500	
合　　計	7,529.5	132,519,450	

(3)　その他の工事

	公共汚水桝設置工事		付帯工事 (舗装修繕、マンホール調整、水道管切回し工事等)	
地域	件数（件）	金額（円）	件数（件）	金額（円）
栃木	41	12,714,958	46	15,739,776
大平	21	6,334,100	8	2,476,950
藤岡	8	2,439,150	3	674,100
都賀	9	2,532,600	0	0
西方	0	0	1	69,300
合計	79	24,020,808	58	18,960,126

(4)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額（円）	備　考
公共下水道事業計画変更	栃木市 (巴波川流域下水道区域)	公共下水道 事業計画変更認可　1式	29,190,000	前年度繰越
公共下水道全体計画見直し業務及び事業計画変更	栃木市 (巴波川流域下水道区域)	汚水・雨水全体計画見直し業務　1式	16,170,000	
下水道実施設計	大宮町地内	管渠設計　1,325m(開削)	5,229,000	
下水道実施設計	箱森町地内	管渠設計　520m(推進)	7,875,000	

地質調査業務	箱森町地内	地質調査　１式	2,100,000	
積算業務	箱森町地内	積算業務　１式	2,478,000	
現場技術業務 ほか３件	大平町富田地内ほか	現場技術業務　１式	9,586,500	前年度繰越
地質調査業務	大平町西野田地内外	地質調査　１式	5,985,000	前年度繰越
下水道実施設計	大平町西野田地内	管渠設計　950ｍ（開削）	6,562,500	前年度繰越
下水道実施設計	大平町西野田地内	管渠設計　1,026ｍ（開削）	6,562,500	前年度繰越
下水道実施設計 ほか４件	大平町西野田地内ほか	計画設計の見直し　１式 ほか	2,394,000	
現場技術業務 ほか１件	大平町西野田地内	現場技術業務　１式	2,698,500	
現場技術業務 ほか３件	藤岡町大前地内	現場技術業務　１式	2,425,500	前年度繰越
実施設計業務	藤岡町赤麻地内	管渠設計　790ｍ（開削）	7,245,000	前年度繰越
実施設計業務	藤岡町赤麻地内	管渠設計　2,790ｍ(開削)	13,125,000	
実施設計業務 ほか１件	藤岡町藤岡地内	管渠設計　35ｍ(開削) ほか	913,500	
現場技術業務	藤岡町赤麻地内	現場技術業務　１式	976,500	
実施設計業務	都賀町原宿地内	管渠設計　570ｍ(開削)	5,880,000	
実施設計業務	都賀町升塚地内	管渠設計　368ｍ(開削)	5,008,500	
現場技術業務	西方町真名子地内	現場技術業務　１式	1,008,000	
実施設計業務	西方町真名子地内	管渠設計　150ｍ(開削)	3,465,000	
合　　計			136,878,000	

(5)　物件等損失補償

区　　分	地域	件数(件)	金額　(円)
給・配水管移設等補償	栃木	2	40,171,501
	大平	2	1,807,105
	藤岡	1	434,280
	都賀	1	2,284,640
	西方	0	0
合　　計		6	44,697,526

4　公共下水道の供用開始

・対象区域の告示　３月１５日　栃木市告示第６８号（図書の縦覧は３月１６日から）

・供用及び下水の処理を開始した年月日　３月３１日

・供用及び下水の処理を開始した区域

巴波川流域下水道処理区	片柳町１丁目、片柳町２丁目、薗部町１丁目、薗部町２丁目、薗部町３丁目、柳橋町、箱森町、大宮町、野中町、都賀町家中、都賀町原宿、西方町真名子の各一部
渡良瀬川下流流域下水道大岩藤処理区	大平町富田、大平町下皆川、大平町西野田、藤岡町赤麻、藤岡町大前の各一部

・処理区域面積及び処理人口

区　分	処理区	処理区域面積(ha)	人　口(人)
新規告示	巴波川流域	26.31	792
	渡良瀬川下流流域	48.90	468
既 告 示	巴波川流域	1,552.43	57,629
	渡良瀬川下流流域	606.90	20,781
累　計	巴波川流域	1,578.74	58,421
	渡良瀬川下流流域	655.80	21,249

5　公共下水道施設管理関係

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額（円）	備　考
マンホールポンプ場保守点検	樋ノ口町地内ほか	マンホールポンプ保守点検業務　15か所	5,187,000	
下水道台帳作成	栃木市地内	下水道台帳補正　24.5㎞	8,704,500	
管路施設調査	倭町地内ほか	管渠内洗浄　１式 ＴＶ調査　１式	6,867,000	
管路施設調査	日ノ出町地内ほか	管渠内洗浄　１式 ＴＶ調査　１式	2,887,500	
管路施設調査	樋ノ口町地内	管渠内洗浄　１式 ＴＶ調査　１式	714,000	
管路補修業務	泉町地内ほか	パッカー工　１式 内面補修工　１式	6,216,000	
公共下水道流量・水質調査業務	栃木市地内	流量・水質調査工　１式	9,219,000	
特定事業場水質調査	栃木市地内	特定事業場水質調査　１式	672,000	

マンホールポンプ場保守点検	大平町牛久地内ほか	マンホールポンプ保守点検業務 7 か所	1,486,800	
マンホールポンプ場管理業務	大平町西水代地内ほか	計画停電対応業務　1 式	1,050,000	
マンホールポンプ場保守点検	藤岡町大前地内ほか	マンホールポンプ保守点検業務 21 か所	5,197,500	
管路施設調査	都賀町合戦場地内	管渠内洗浄　1 式 ＴＶ調査　1 式	1,785,000	
マンホールポンプ場保守点検	西方町金井地内	マンホールポンプ保守点検業務 1 か所	135,450	
その他の委託業務 8 件	栃木市地内	下水道管渠等清掃 マンホール監視業務 効果調べ調査業務等	1,506,644	
合　　計			51,628,394	

(2)　工事関係

工事名	工事箇所	工事内容	金額（円）	備　考
管渠補修	倭町地内ほか	マンホール蓋交換　11 か所	2,152,500	
配電盤改修	大平町西水代地内	西水代第 2 マンホールポンプ場 配電盤改修工事　1 式	525,000	
監視システム機器交換	大平町地内	マンホールポンプ場 監視システム機器交換　5 か所	682,500	
マンホール蓋交換	都賀町地内	マンホール蓋交換　8 か所	2,352,000	
合　　計			5,712,000	

6　雨水事業

業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額	備　考
測量業務	片柳町４丁目	基準点・地形測量等	3,202,500 円	

7　農業集落排水事業整備状況

区　　分	地　　区	今年度末
管渠延長	下皆川	7,531.40m
	みずほ西	18,268.26m
	巴波川南部	14,317.20m
	巴波川西部	28,612.60m
	西方西部	12,400.00m
	本郷金井	14.164.60m

合　　計		95,294.06m
マンホール数	下皆川	247か所
	みずほ西	487か所
	巴波川南部	142か所
	巴波川西部	318か所
	西方西部	410か所
	本郷金井	417か所
合　　計		2,021か所
汚水桝数	下皆川	226か所
	みずほ西	434か所
	巴波川南部	367か所
	巴波川西部	543か所
	西方西部	352か所
	本郷金井	359か所
合　　計		2,281か所
マンホールポンプ数	下皆川	3か所
	みずほ西	14か所
	巴波川南部	－
	巴波川西部	4か所
	西方西部	4か所
	本郷金井	4か所
合　　計		29か所

8　農業集落排水事業維持管理業務委託関係

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額（円）	備　考
農業集落排水処理施設維持管理等	大平下皆川汚水処理施設	汚水処理施設維持管理１式 し尿浄化槽清掃１式等	5,106,000	
農業集落排水処理施設維持管理等	大平みずほ西汚水処理施設	汚水処理施設維持管理１式 し尿浄化槽清掃１式等	6,354,390	
農業集落排水処理施設維持管理等	藤岡巴波川南部汚水処理施設	汚水処理施設維持管理１式 真空システム日常点検１式等	9,099,905	
農業集落排水処理施設維持管理等	藤岡巴波川西部汚水処理施設	汚水処理施設維持管理１式 真空システム日常点検１式等	9,796,007	
農業集落排水処理施設維持管理・清掃等	西方西部汚水処理施設	汚水処理施設維持管理１式 汚水処理施設清掃１式等	3,797,482	

農業集落排水処理施設 維持管理・清掃等	西方本郷金井 汚水処理施設	汚水処理施設維持管理１式 汚水処理施設清掃１式等	2,971,214	
合　　計			37,124,998	

(2)　工事関係

工事名	工事箇所	工事内容	金額（円）	備　考
汚水桝設置工事	大平町蔵井地内	汚水桝設置工事　１か所	172,200	
舗装本復旧設計 市道Ｆ3-163 号線外	藤岡町富吉地内 外	工事延長　342.5m	5,145,000	
舗装本復旧設計 市道Ｆ3-146 号線	藤岡町富吉地内	工事延長　240.0m	2,929,500	
舗装修繕工事 ほか２件	栃木市地内	舗装修繕工事　１式　ほか	407,610	
合　　計			8,654,310	

9　公共下水道普及状況

区　　分	地域	前年度末	今年度末	比　較
行政区域内人口 (A)	栃木	80,220 人	79,513 人	△707 人
	大平	29,169 人	29,132 人	△37 人
	藤岡	17,309 人	17,039 人	△270 人
	都賀	13,386 人	13,327 人	△59 人
	西方	6,652 人	6,598 人	△54 人
合　　計		146,736 人	145,609 人	△1,127 人
処理区域内世帯数 (B)	栃木	18,702 世帯	18,843 世帯	141 世帯
	大平	4,053 世帯	4,206 世帯	153 世帯
	藤岡	2,519 世帯	2,541 世帯	22 世帯
	都賀	2,504 世帯	2,517 世帯	13 世帯
	西方	846 世帯	852 世帯	6 世帯
合　　計		28,624 世帯	28,959 世帯	335 世帯
処理区域内戸数 (C)	栃木	16,361 戸	16,502 戸	141 戸
	大平	4,053 戸	4,206 戸	153 戸
	藤岡	2,519 戸	2,541 戸	22 戸
	都賀	2,504 戸	2,517 戸	13 戸
	西方	846 戸	852 戸	6 戸
合　　計		26,283 戸	26,618 戸	335 戸
処理区域内人口 (D)	栃木	47,973 人	48,667 人	694 人
	大平	12,950 人	13,330 人	380 人
	藤岡	8,001 人	8,047 人	46 人
	都賀	7,631 人	7,223 人	△408 人
	西方	2,429 人	2,403 人	△26 人

合　　計		78,984 人	79,670 人	686 人
水洗化世帯数 (E)	栃木	14,959 世帯	15,297 世帯	338 世帯
	大平	3,035 世帯	3,224 世帯	189 世帯
	藤岡	1,739 世帯	1,780 世帯	41 世帯
	都賀	2,046 世帯	2,095 世帯	49 世帯
	西方	694 世帯	701 世帯	7 世帯
合　　計		22,473 世帯	23,097 世帯	624 世帯
水洗化戸数 (F)	栃木	14,200 戸	14,572 戸	372 戸
	大平	3,035 戸	3,224 戸	189 戸
	藤岡	1,739 戸	1,780 戸	41 戸
	都賀	2,046 戸	2,095 戸	49 戸
	西方	694 戸	701 戸	7 戸
合　　計		21,714 戸	22,372 戸	658 戸
水洗化人口 (G)	栃木	41,981 人	42,991 人	1,010 人
	大平	10,200 人	10,889 人	689 人
	藤岡	5,060 人	5,161 人	101 人
	都賀	6,269 人	6,445 人	176 人
	西方	2,057 人	2,072 人	15 人
合　　計		65,567 人	67,558 人	1,991 人
普及率 (D/A)	栃木	59.8%	61.2%	1.4%
	大平	44.4%	45.8%	1.4%
	藤岡	46.2%	47.2%	1.0%
	都賀	57.0%	54.2%	△2.8%
	西方	36.5%	36.4%	△0.1%
合　　計		53.8%	54.7%	0.9%
水洗化率（世帯） (E/B)	栃木	80.0%	81.2%	1.2%
	大平	74.9%	76.7%	1.8%
	藤岡	69.0%	70.1%	1.1%
	都賀	81.7%	83.2%	1.5%
	西方	82.0%	82.3%	0.3%
合　　計		78.5%	79.8%	1.3%
水洗化率（戸数） (F/C)	栃木	86.8%	88.3%	1.5%
	大平	74.9%	76.7%	1.8%
	藤岡	69.0%	70.1%	1.1%
	都賀	81.7%	83.2%	1.5%
	西方	82.0%	82.3%	0.3%
合　　計		82.6%	84.0%	1.4%

水洗化率（人口） (G/D)	栃木	87.5%	88.3%	0.8%
	大平	78.8%	81.7%	2.9%
	藤岡	63.2%	64.1%	0.9%
	都賀	82.2%	89.2%	7.0%
	西方	84.7%	86.2%	1.5%
合　　計		83.0%	84.8%	1.8%

10　農業集落排水事業普及状況

区　　分	地区	前年度末	今年度末	比　較
処理区域内戸数 (A)	下　皆　川	226 戸	227 戸	1 戸
	みずほ西	433 戸	450 戸	17 戸
	巴波川南部	367 戸	367 戸	0 戸
	巴波川西部	－	543 戸	543 戸
	西方西部	377 戸	380 戸	3 戸
	本郷金井	362 戸	364 戸	2 戸
合　　計		1,765 戸	2,331 戸	566 戸
処理区域内人口 (B)	下　皆　川	684 人	666 人	△18 人
	みずほ西	1,361 人	1,362 人	1 人
	巴波川南部	1,306 人	1,272 人	△34 人
	巴波川西部	－	2,064 人	2,064 人
	西方西部	1,115 人	1,111 人	△4 人
	本郷金井	1,061 人	1,056 人	△5 人
合　　計		5,527 人	7,531 人	2,004 人
接続戸数 (C)	下　皆　川	191 戸	196 戸	5 戸
	みずほ西	315 戸	343 戸	28 戸
	巴波川南部	197 戸	198 戸	1 戸
	巴波川西部	－	94 戸	94 戸
	西方西部	349 戸	353 戸	4 戸
	本郷金井	296 戸	300 戸	4 戸
合　　計		1,348 戸	1,484 戸	136 戸
接続人口 (D)	下　皆　川	587 人	576 人	△11 人
	みずほ西	1,026 人	1,080 人	54 人
	巴波川南部	740 人	732 人	△8 人
	巴波川西部	－	301 人	301 人
	西方西部	1,086 人	1,084 人	△2 人
	本郷金井	899 人	906 人	7 人
合　　計		4,338 人	4,679 人	341 人

接続率(戸数) (C／A)	下　皆　川	84.5%	86.3%	1.8%
	みずほ西	72.7%	76.2%	3.5%
	巴波川南部	53.6%	53.9%	0.3%
	巴波川西部	－	17.3%	17.3%
	西方西部	92.5%	92.8%	0.3%
	本郷金井	81.7%	82.4%	0.7%
合　　計		76.3%	63.6%	△12.7%
接続率(人口) (D／B)	下　皆　川	85.8%	86.4%	0.6%
	みずほ西	75.3%	79.3%	3.9%
	巴波川南部	56.6%	57.5%	0.9%
	巴波川西部	－	14.5%	14.5%
	西方西部	97.4%	97.5%	0.2%
	本郷金井	84.7%	85.8%	1.0%
合　　計		78.4%	62.1%	△16.3%

11　公共下水道普及対策事業

(1)　普及促進関係

ア　普及推進活動

下水道の普及啓発用パンフレット及び啓発用品を工事説明会、消費生活展等で配布。また広報とちぎ及びホームページにより普及啓発に努めた。

イ　特別普及推進活動

下水道の利用促進を図るため、職員の戸別訪問による普及推進活動を実施した。

・期　　間　１２月～３月

・訪問地域　供用開始区域で水洗化率の低い地域

・件　　数　１６６件

(2)　緊急地域雇用創出事業

水洗化率向上のため、緊急地域雇用創出特別交付金を活用し、（社）栃木市シルバー人材センターへ戸別訪問等の下水道普及活動を委託した。

・期　　間　１２月～３月

・訪問地域　職員の訪問地域以外で水洗化率の低い地域

・件　　数　４８２件

(3)　排水設備等の設置

確認申請件数	検査済件数
691件	695件

(4)　水洗便所改造資金利子補給状況

排水設備工事を行うための工事費の融資あっせんと利子補給を行った。

利子補給件数	利子補給額
66件	250,830円

12　農業集落排水事業普及対策

排水設備等の設置

確認申請件数	検査済件数
139件	131件

13　合併処理浄化槽設置補助事業

河川、水路等の水質汚濁は、家庭からの生活雑排水が主な原因となっている。このため、公共用水域の水質浄化対策として、し尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽の設置者に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、その普及を図った。

なお、本事業は公共下水道認可区域外及び農業集落排水事業の整備区域外の住民を対象としている。

・合併処理浄化槽設置補助金交付状況

人槽区分	基数(基)	1基当たりの補助金額(円)	補助金額(円)
5	112	332,000	37,184,000
6～ 7	100	414,000	41,400,000
8～10	6	548,000	3,288,000
計	218	―	81,872,000

14　汚水排水処理改善事業費

公共下水道及び農業集落排水施設などの汚水の集合処理計画区域以外で合併浄化槽を設置するにあたり住民が生活道路として利用している市道、農道又は認定外道路に放流先となる側溝等が整備されてなく、今後も道路改良あるいは、道普請事業による整備が見込めない地域について、汚水排水の放流先の整備を市民との協働により整備を進めた。

(1)　業務委託費

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金　額	備　考
汚水排水処理改善事業測量業務委託	田村町地内	丈量図・登記書類作成	2,493,750円	

(2)　工事費

工事名	工事箇所	工事内容	金　額	備　考
汚水排水処理改善工事	田村町地内	管布設工　L=14.0m	913,500円	

(3)　原材料費

材料支給	支給箇所	支給材料	金　額	備　考
汚水排水処理改善工事用材料費	田村町地内	塩ビ管φ200　130本 1号マンホール　1基 塩ビ小型マンホール 12基	1,812,300円	

第９章　大平総合支所

第１節　地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会、広報広聴、自治会、消防防災、市有建築物の設計、施工及び営繕、契約業務、入札業務、検査業務、庁舎・共用車の管理である。

地域協議会関係については、地域の意見を市政に反映させるために毎月１回開催した。また、地域協議会だよりを協議会開催ごとに発行し、協議会の活動内容や地域自治区内の情報を発信した。

広聴事業については、市政に対する理解と協力を得るため、地域市政懇談会を開催した。

自治会については、自治会長連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

消防については、大平地域において１２件の火災が発生し、消防署及び消防団が出動した。

防災については、大平地域の防災対策の充実強化を図るため、防災訓練、非常食等の災害時用備蓄品の補充等を行った。

市有建築物の設計、施工及び営繕については、設計・工事関係の業務委託６件、建築・電気設備・機械設備工事を１６件実施した。また、大平総合支所（大平教育支所）内各課の依頼を受け、予算用の概算設計を作成し回答した。

契約業務については、建設工事、業務委託及び物品購入について、入札、契約等に関する事務を行った。

検査業務については、検査規定に基づいて発注した工事が適切に履行されたか、工事の施工状況や施工体制・安全対策等について検査を行った。

施設の管理については、大平総合支所庁舎の冷暖房管理及び大平総合支所（仮）駐車場の管理並びに庁舎内の修繕工事を行った。また、施設の保全に伴う各種業務委託等を行った。

地域自治担当

1　地域協議会関係

地域自治区制度導入に伴い設置された大平町地域協議会は、１５人の委員により下記のような内容で実施した。

(1)　委員（任期　平成２２年７月２８日～平成２５年３月３１日まで）　定数１５人

区分	No.	氏　　名	備　考
1号委員	1	阿部　勝彦	大平町商工会
	2	石山　靖夫	栃木市社会福祉協議会
	3	伊藤　宏幸	栃木市体育協会
	4	佐山　幸子	大平町女性団体連絡協議会
	5	野原　耕作	大平町自治会長連合会
	6	高際　悦子	栃木市ＰＴＡ連合会
	7	松本　芳夫	大平町認定農業者連絡協議会
	8	柳田　和子	おおひらコンシェルジュ
	9	川田　匡男	栃木市老人クラブ連合会
2号委員	10	赤澤　美智子	学識経験を有する者
	11	柴田　保男	
	12	堀江　智	
3号委員	13	天海　英夫	公募に応じた者
	14	小林　幸江	
	15	平間　昇	

(2)　開催内容

回数	開　催　日、場　所	内　　容
第1回	4月19日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	関係部課長等紹介 (1)報告事項について ・平成２３年度主要事務事業について ・「合併後」再編等としている合併協定項目の調整時における地域協議会との関わりについて (2)意見書に対する回答について (3)分科会経過報告について (4)その他
第2回	5月17日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	新委員紹介 (1)総合計画における「地域の姿」の作成作業について (2)意見書の提出方法について

		(3)その他
第3回	6月21日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	新委員紹介 (1)国民健康保険税の税率及び軽減措置について（意見聴取事項） (2)栃木市営コミュニティバス（部屋線）の試行運行について（報告事項） (3)敬老会事業補助金について (4)意見書（案）について (5)その他
第4回	7月19日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所第1･2会議室	(1)意見書の確定について (2)委員提言書について (3)交流会時の地域協議会活動の報告について (4)総務班活動報告について (5)その他
第5回	8月23日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所第1･2会議室	(1)デマンドタクシー運行に伴う福祉タクシー料金助成事業及び（仮称）障がい者等移送サービス事業について（意見聴取） (2)日本赤十字社関係事務の調整について（報告） (3)チャイルドシート購入費助成事業の廃止について（報告） (4)地域の姿（素案）について (5)その他
第6回	9月20日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所第1･2会議室	(1)地域の姿（案）について (2)その他
第7回	10月21日（金） 午後3時30分～ 大平総合支所大会議室	(1)使用料改定方針について (2)その他
第8回	11月15日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	(1)栃木市国民健康保険税の税率及び軽減措置について（報告） (2)その他
第9回	12月20日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・新たな産業支援事業について ・はつらつセンター事業の拡充について ・栃木市高齢者ふれあい相談員制度の拡充について 報告事項等 ・栃木市青少年育成市民会議の設立について

		その他
第10回	1月17日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・栃木市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、介護保険料及び地域包括支援センターについて ・栃木市自治基本条例について ・組織機構の見直しについて 報告事項等 ・デマンドタクシー（西方地域内）及びコミュニティバス（真名子線・金崎線・大宮国府線・皆川樋ノ口線・藤岡線）の試行運行について その他
第11回	2月21日（火） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	意見聴取事項 ・大平町区長の選任について ・栃木市総合計画について ・新市行政改革大綱の骨子について ・栃木市障がい者福祉計画について ・栃木市介護保険事業計画及び介護保険料の一部修正について 報告事項等 ・学校給食費の改定について ・合併に伴う事務一元化の状況に関する資料について ・栃木市栃木地域まちづくり検討委員会の設置について ・栃木市高齢者ふれあい相談員制度の拡充についての意見に対する回答について その他
第12回	3月23日（金） 午後1時30分～ 大平総合支所大会議室	報告事項等 ・「合併後」に再編する事務事業の調整状況について ・地域協議会へ意見を聴く事務事業（Ａランク）について ・新たな市民活動支援制度について ・大平町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について ・組織機構の見直しについての意見に対する回答について ・栃木市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、介護保険料及び地域包括支援センターについての意見に対する回答について ・新たな産業支援事業についての意見に対する回答に

		ついて

(3)　地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、大平地域の話題も交えた「地域協議会だより」を地域協議会開催ごとに発行した。

・発行号数　第９号～第１９号
・体裁　　Ａ３版　両面刷り
・発行部数　各9,200部

(4)　大平地域選出市議会議員及び大平町自治会長連合会役員との三者懇談会の開催

大平地域から選出された市議会議員及び住民と行政との意思疎通を図るパイプ役である自治会長の代表との三者懇談会を開催し、地域の課題や今後のまちづくりについての意見交換が行われ、それぞれの立場の相互理解、今後の連携体制の構築等が図られた。

・開催日時　１月１７日(火)　午後３時３０分～５時
・会　　場　大平総合支所　大会議室
・出 席 者　大平地域選出市議会議員　　７人
　　大平町自治会長連合会役員　５人
　　大平町地域協議会委員　　１４人

２　広聴関係

地域市政懇談会

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見・提案など聴き、市民の声を今後の市の行政経営に生かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数	フリートーク数	自治会数	参加者数
1	10月17日(月)	大平西地区公民館	富田１～８、西山田１～３、下皆川１～２、日立、中央町第１	4	9	15	41
2	10月18日(火)	大平東地区公民館	横堀、牛久、上牛久、川連、土与、蔵井、真弓(西南東中)下高島、上高島、中央町第２、北武井	8	8	14	58
3	10月19日(水)	大平南地区公民館	新１～４、西野田１～２、榎本（荒町、上下、旭）西水代（上１～上３、下、瓜畑）、伯仲（北南西）	8	6	17	46
合　計				20	23	46	145
				43			

3　まちづくり関係

ホームページ「フル里ポータルサイト」の管理運営

大平地域への来訪者に向けた情報発信手段として、おおひらコンシェルジュメンバーが主体となり「大平町観光ぶどう園協議会」等の協力のもと現地取材を行い、フルーツ狩りや里山体験を紹介するホームページの管理運営を行った。

4　市民活動支援事業

大平地域ＮＰＯ法人は現在５法人あり、年度毎の届出や変更届出等の書類補正等事務処理・助言等の支援を行った。

5　総合支所会議

総合支所次長が主宰し、総合支所の業務の調整及び連絡を行った。

・開催回数　１２回（定例１１回、臨時１回）

・内　　容　審議事項　　８件
　　報告事項　　３０件
　　連絡事項　　１６件

6　市長と職員の懇談会

市長の総合支所訪問に合わせ、市長と職員の懇談会を行った。

・開催回数　６回

・参加職員　１０３人

総務担当

1　自治会関係

行政とのパイプ役として広報紙の配布や様々な事業に協力してもらう自治会長への事務事業説明会等を開催するとともに大平町自治会長連合会の活動を助成した。

(1)　自治会長との連絡調整

ア　自治会長の把握

２３年度の自治会長及び担当戸数等を連絡してもらい名簿を作成

・受付期間　２月～３月

・対象自治会　４６自治会

イ　自治会長会議の開催

(ｱ)　第１回会議

・開催日　４月１５日(金)

・内　容　各課事務についての説明及び連絡
　　その後、大平町自治会長連合会総会を開催

ウ　自治会報償金の支給

自治会に対し報償金を支給（１０月１日現在の世帯数で３月に支出）

(2)　大平町自治会長連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　４６自治会

(ｲ)　役員等

・会長１人、副会長２人、顧問１人

イ　会議等

(ｱ)　総会（自治会長会議終了後）

・開 催日　４月１５日(金)

・出 席者　４６人

・内　容　平成２３年度事業計画・収支予算について
役員・顧問の選出について等

(ｲ)　第１回役員会

・開 催日　４月２７日(水)

・内　容　各種委員等の委嘱について
主な行事予定について

(ｳ)　第２回役員会

・開 催日　７月１３日(水)

・内　容　自治会長連合会研修会の開催について

ウ　主な事業

(ｱ)　視察研修会

・実 施日　１０月２５日(火)～２６日(水)

・場　所　千葉県茅ケ崎市コミュニティホール、神奈川県総合防災センター、
環境エネルギー館

・内　容　茅ヶ崎市自治会連絡協議会の活動、松風台自治会における自主防災
活動について等

・出 席者　自治会長等１５人

(ｲ)　栃木市自治会連絡協議会関係

栃木市自治会連絡協議会理事会、正副会長会議に出席し、各地域連合会との連絡調整を図った。

・出席者　役員３人、顧問１人

２　消防関係

(1)　配置人員

大平方面隊　（単位:人）

階級 / 分団別	副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計

本部分団	定　員	1	(1)	2	1	1	1	－	7	13
	実　員	1	(1)	2	1	1	1	－	7	13
第１分団	定　員	－	－	－	1	1	5	5	50	62
	実　員	－	－	－	1	1	5	5	50	62
第２分団	定　員	－	－	－	1	1	4	4	40	50
	実　員	－	－	－	1	1	4	4	40	50
第３分団	定　員	－	－	－	1	1	4	4	40	50
	実　員	－	－	－	1	1	4	4	40	50
合　　計	定　員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175
	実　員	1	(1)	2	4	4	14	13	137	175

※団長及び副団長は、方面隊長を兼任のため、()内数としてある。

(2)　消防車等の態勢

大平方面隊

区分 分団・部		種　別	車　名	年　式
方面隊本部		指　揮　車	日　産	平成１２年
本部分団		連　絡　車	いすゞ	平成　９年
第１分団	第１部	普通ポンプ車	〃	平成１３年
	第２部	〃	〃	平成１５年
	第３部	〃	〃	平成１７年
	第４部	〃	〃	平成２１年
	第５部	〃	〃	平成１８年
第２分団	第１部	〃	〃	平成１０年
	第２部	〃	〃	平成１３年
	第３部	〃	〃	平成１５年
	第４部	〃	〃	平成２１年
第３分団	第１部	〃	〃	平成１１年
	第２部	〃	〃	平成２０年
	第３部	〃	〃	平成１１年
	第４部	〃	〃	平成２０年

(3)　大平方面隊の活動状況

ア　夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

・実 施 日　７月１０日（日）

・会　　場　大平運動公園　第２多目的広場

イ　操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

・実 施 日　７月１０日（日）

・会　　場　大平運動公園　第２多目的広場

(4)　大平方面隊部長以上会議

期　　日	場　　所
４月 １ 日（金）	大平総合支所別館大会議室
５月 23 日（月）	〃
８月 ３ 日（水）	〃
９月 14 日（水）	〃
１月 19 日（木）	〃

(5)　各種団体の運営支援

栃木市大平女性防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

３　防災関係

(1)　防災訓練の実施

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化並びに職員の災害応急対策の迅速化を図ることを目的とし、防災訓練を実施した。

・期　　日　９月２４日（土）

・会　　場　栃木市立大平南小学校

・参加団体　西水代上１自治会、西水代上２自治会、西水代上３自治会、西水代下自治会、西水代瓜畑自治会
栃木消防署、栃木市消防団大平方面隊、栃木警察署

・参加人数　６０６人

(2)　防災備蓄倉庫

設　　置	位　　置
伯仲水防庫	栃木市大平町伯仲1725-2
横堀水防庫	栃木市大平町横堀714-1

(3)　主な各種災害時用備蓄品等内訳

項　　目	備　蓄　数
非　常　食	2,550食
非常用飲料水	900本
毛　　布	400枚

４　自衛官募集事務

(1)　自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

・入隊入校者数　１人

(2)　自衛隊父兄会

大平町自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

理財担当

1　設計・工事依頼関係

(1)　業務委託　（６件）　19,850,250円

主な業務委託内容			
業務箇所	業務名	業務概要	委託金額(円)
栃木市大平町 西水代地内	栃木市立大平南小学校屋内運動場耐震診断及び耐震補強基本計画策定業務委託	耐震診断業務　1式 耐震補強基本計画策定業務　1式	2,315,250
栃木市大平町 上高島地内	栃木市立大平東小学校屋内運動場耐震診断及び耐震補強基本計画策定業務委託	耐震診断業務　1式 耐震補強基本計画策定業務　1式	2,257,500
栃木市大平町 新地内	栃木市立大平中央小学校屋内運動場耐震診断業務委託	耐震診断業務　1式	2,005,500
栃木市大平町 蔵井地内	栃木市立大平中学校校舎等耐震診断業務委託	耐震診断業務　1式	9,019,500
栃木市大平町 西水代地内	栃木市立大平南小学校屋内運動場耐震補強実施設計業務委託	耐震補強実施設計業務　1式	2,205,000
栃木市大平町 上高島地内	栃木市立大平東小学校屋内運動場耐震補強実施設計業務委託	耐震補強実施設計業務　1式	2,047,500

(2)　建築、電気設備、機械設備工事　（１６件）　45,361,574円

主な工事内容			
工事箇所	工事名	工事概要	工事金額(円)
栃木市大平町 西水代地内	大平子どもセンター屋上防水改修工事	建築工事 屋上防水改修工事　1式 既設防水シート撤去工事　1式	9,765,000

栃木市大平町 上高島地内	栃木市立大平東小学校家庭科室及び理科室改修工事	建築工事 管理棟内部改修工事　1式 （家庭科室床及び職員室天井） 機械設備工事 家庭科室配管改修工事　1式 理科室ガス配管改修工事 1式 理科室給水配管改修工事 1式 電機設備工事 職員室照明改修工事　1式 理科室電源改修工事　1式 家庭科室配線工事　1式	6,478,500
栃木市大平町 新地内	大平隣保館内装改修工事	建築工事 内装改修工事　1式 電機設備工事 照明器具工事　1式 火災報知設備工事　1式	1,684,200
栃木市大平町 新地内	栃木市立大平中央小学校相談室・日本語教室移設改修工事	建築工事 内部改修工事　1式 機械設備工事 空調設備設置工事　1式 電機設備工事 空調電源工事　1式	2,677,500
栃木市大平町 西山田地内	戸長屋敷屋根改修工事	建築工事 屋根ふき替え工事　1式	12,652,500
栃木市大平町 蔵井地内	大平児童館下水道接続及び外部給水管改修工事	機械設備工事 既設浄化槽撤去工事　1式 既設配管及び既設桝等撤去工事 1式 新規宅内汚水配管・塩ビ桝設置工事 1式 新規外部給水管改修工事　1式	1,291,500
栃木市大平町 西水代地内	大平子どもセンター下水道接続及び関連工事	機械設備工事 既設浄化槽撤去工事　1式 既設配管及び既設桝等撤去工事 1式 新規宅内汚水配管・塩ビ桝設置工事 1式 アスファルト復旧工事　1式	2,299,500

栃木市大平町 西水代地内	大平子どもセンター下水道接続及び関連工事	機械設備工事 既設浄化槽撤去工事　1式 既設配管及び既設桝等撤去工事 1式 新規宅内汚水配管・塩ビ桝設置工事 1式 アスファルト復旧工事　1式	2,299,500
栃木市大平町 富田地内	大平西地区公民館屋上防水改修工事	建築工事 防水工事　1式	3,633,000
その他工事 8件 大平みなみ児童館事務室空調設備改修工事　553,560 大平図書館照明修繕工事　787,500 消防車庫（本部分団）修繕工事　982,800 白石家戸長屋敷中庭門改修工事　369,915 大平子どもセンター内会議室電灯修繕工事　67,200 大平東保育園調乳設備設置工事　722,400 大平南第２保育園調乳設備設置工事　997,499 大平児童館２階集会室内装改修工事　399,000			4,879,874

2　補正予算・当初予算用の概算設計の作成及び回答業務

大平総合支所（大平教育支所）内の各課より、補正予算・当初予算用の概算設計依頼を受け、原課へ回答した。

・補正予算用の概算設計　５件

・当初予算用の概算設計　１０件

3　施設の維持管理に係る相談業務

施設管理課から提出された施設点検報告書を基に職員が現場を確認し、改修方法の検討及び指導を行った。

4　大平総合支所庁舎内の修繕工事等

工　事　名　等	工事金額（円）
庁舎消防設備点検不良箇所改修工事	47,250
敷地内ハンドホール蓋取替工事	60,900
地域まちづくり課２Fブラインド取付工事	97,860
庁舎新館用空調機温度・湿度調節器修理及び移設工事	135,450
地域まちづくり課掲示板ガラス修理工事	5,250
地域まちづくり課照明修繕工事	23,436
庁舎本館西側階段照明配線改修工事	18,900
別館２階女子トイレ大便器用フラッシュバルブ給水管修繕工事	16,800

(仮)駐車場外灯用架空線鳥害対策工事	35,700
庁舎本館２階西側給湯室照明修繕工事	12,600
庁舎消防設備点検不良箇所改修工事(その２)	115,500
庁舎本館１階生活環境課東側ドアクローザー修繕工事	4,200
別館３階男子トイレ小便器用フラッシュバルブ修繕工事	21,000
電話移設工事（庁舎１階生活環境課長）	31,500
庁舎オイル地下タンク点検用マンホール修繕工事	63,000
出退勤表示窓変更に伴う配線接続替工事	25,200
合併調整管理室設置に伴う電話工事	71,400
パーテーション撤去工事（合併調整管理室内）	59,850
出退表示窓変更に伴う配線接続替工事（その２）	33,600
電話移設工事（生活環境課内）	136,500
電話移設工事（地域まちづくり課内）	262,500

5　庁舎及び附属施設等の管理事務業務

(1)　大平総合支所庁舎の冷暖房運転管理、及び節電管理

・実施内容　大型空調機による冷房運転と同時にピーク電力15%削減対策実施
エコオフィス対策(蛍光灯の蛍光管取外し　117台)
ボイラーによる暖房運転

(2)　大平総合支所(仮)駐車場の駐車に関する管理

・実施内容　６月１日（水）から北側出入口2か所について夜間閉鎖を実施
無断駐車車両に注意のビラ入れ（定期的に実施。研修等で駐車スペースが必要なとき）
駐車場内砂利敷き及び落ち葉の撤去作業

6　市有施設及び大平総合支所庁舎内の業務委託

委　　託　　名　　等	委託金額（円）
構内交換設備保守業務	478,800
常駐清掃業務	819,000
定期清掃業務	409,500
機械警備業務	1,005,480
市有各施設自家用電気工作物管理業務	226,800
市有各施設し尿浄化槽維持管理業務	49,350
市有各施設し尿浄化槽清掃業務	496,272
庁舎消防設備等法定点検業務	63,000
庁舎内空調設備（冷暖房）定期保守点検業務	546,000
庁舎内設置空気清浄機保守業務	138,600
庁舎受水槽清掃業務	52,500

庁舎本館Ａ重油地下タンク清掃業務	99,750

7　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（中型バス　42人）	1
普通乗用	2
小型乗用	2
軽乗用	3
小型貨物	9
軽貨物	1

8　大平総合支所管内の光熱費等の管理に関する事務

総合支所管内の光熱費等について、以下の管理を実施した。

使用量及び費用

区　　分	使用量	金　　額（円）	備　　考
電　　気	231,131kwh	5,867,606	大平総合支所・車両センター
水　　道	1,414 ㎥	181,261	大平総合支所・車両センター・ふれあいプラザ
ガ　　ス	4,424.3 ㎥	2,020,862	大平総合支所及び大平教育支所健康福祉課・人権推進課・産業振興課（各課所管施設を含む）
ガソリン	21,451.40ℓ	3,137,442	共用車・専用車
軽　　油	5,968.02ℓ	740,825	バス
Ａ 重 油	12,500ℓ	1,083,600	大平総合支所
灯　　油	464ℓ	40,320	大平総合支所

9　契約件数

原則として、大平総合支所発注の130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託について、予定価格3,000万円未満の案件の入札を執行した。

・入札執行状況　　（単位：件）

入　札　内　容	一般競争入札	指名競争入札	計
建　設　工　事	32	34	66
工事関連業務委託	－	21	21
物品購入(建設資材含む)	－	6	6
印　　刷　　物	－	－	－
計	32	61	93

10　見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

・件数　１６件

11　建設工事等請負者選考委員会大平総合支所部会

大平総合支所における、条件付き一般競争入札により施行する予定価格1,000万円以上の建設工事の入札参加資格要件の設定、指名競争入札により執行する入札案件の指名業者選考について審議した。

・開催回数　１０回

・審議件数　９３件

12　入札・契約制度の適切な運用

新市における入札制度の運用について、適切な運用に努めると共に、制度激変緩和のため、地域に配慮した制度運用を図り、入札問題等の発生防止に努めた。

13　完成検査

平成２３年度に発注した設計額500万円未満の建設工事について、次のとおり実施した。

(1)　主管課別検査件数

事業主管課	検査件数(件)	備考(工事担当課)
人権推進課	1	地域まちづくり課
健康福祉課	2	〃
大平教育支所	2	〃

(2)　工種別検査件数　（単位：件）

工種	土木	建築	舗装	管	造園	電気	水道	その他	計
件数	－	3	－	2	－	－	－	－	5

14　パソコンの整備状況

区分	課名	パソコン（台）
区長、支所次長		2
総合支所	地域まちづくり課	17
	税務課	11
	生活環境課	16
	人権推進課	7
	健康福祉課	40
	産業振興課	12
	都市整備課	7
	都市建設課	9
教育支所		25

合　　計	146

15　電算処理業務の委託契約

名　　称	業　務　名
三協コンピュータ㈱	・総合支所パソコン保守運用管理業務委託
国際航業㈱	・庁内イントラネットＧＩＳシステム保守業務 ・地図情報インターネット公開システム使用等契約
㈱ＴＫＣ	・ＴＡＳＫマスターハードウェア保守業務委託 ・ＴＡＳＫシステムハードウェア保守業務委託 （申告受付支援サーバ、申告受付支援端末他） ・総合支所業務系クライアントパソコン等保守業務委託

16　普通財産の管理等に関する事務

管内の普通財産の管理（除草作業、枝おろし等）を実施した。同時に、本庁管財課と連携し以下の普通財産貸付、処分を実施した。

(1)　普通財産の管理

・除草、枝おろし、滞水解消、落葉処分作業等　４７日（延べ日数）

(2)　普通財産の貸付

区　　分	件数(件)	面　積(㎡)	収入金額(円)
市内市有地	6	759.85	95,797

(3)　普通財産の処分

区　　分	件数(件)	面　積(㎡)	売却価格(円)
普通財産（公売・随意契約）	1	61.41	323,876

17　バスの運行

総合支所管内の用務について、以下の通りバスを運用した。

	日帰り運用（回）	宿泊運用（回）	合　　計
市　内	35	－	35
市　外	18	－	18
県　外	38	8	46
合　計	91	8	99

第２節　税務課

〔総括概要〕

我が国の近況は、昨年３月に未曾有の災害である東日本大震災が発生し、それに伴う原子力発電所の事故、その後の電力不足、タイの洪水及び円高による影響等により、厳しい経済環境が続いている。

これらの要因による景気の低迷の中、震災復興需要や個人消費の回復が聞こえ始めてきたものの、景気回復への確かな兆しは見えず、また、震災復興の財源のための増税や社会保障制度改革のための増税の論議等が行われるなど、税務行政を取り巻く環境はますます厳しい状況にある。

このような状況の下、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、１０月には西方町との合併が整い、税務担当組織も拡大したが、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のため取り組んできた主な業務は、市民税関係では、適正かつ公平な課税を実現するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施し未申告者の解消に努めるとともに、県税事務所と協働で未申告法人の活動状況調査や申告指導を実施した。また、改善が期待される市内事業所に対し、普通徴収から特別徴収への切り替え指導を実施した。

資産税関係では、巡回調査を行い、新増築家屋、滅失家屋、土地の現況把握に努め、償却資産未申告事業者に対する催告を行った。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通じての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働での滞納整理や差押処分を行うなど、税収確保へ向けた取組を展開した。

市民税担当

1　諸証明等の交付（大平地域分）

区　分	件・冊・枚数		摘　　要
	有　料	無料(公用等)	
諸 証 明	4,470	1,158	・納税、所得及びその他の証明　1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明　1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明　１件につき1,300円
公簿閲覧	491	246	
計	4,961	1,404	

2　国民健康保険税賦課状況（７月１日現在のため西方地域を除く）

(1)　医療保険分の状況

ア　税率及び課税内訳（大平地域分）

・賦課限度額　470,000円

・所得割　6.9/100

・資産割　22/100

・均等割　24,000円

・平等割　15,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	3,165	2,517	7,310	3,955
退職世帯	474	450	797	378
計	3,639	2,967	8,107	4,333

イ　軽減世帯及び限度額世帯（大平地域分）　（単位：世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	820	168	988	151
退職世帯	34	19	53	5
計	854	187	1,041	156

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：大平地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	20,878	38,848	2,618,794,477	125,433	67,411
世帯	3,955	7,310	527,382,139	133,345	72,145
退職	1,451	3,097	238,992,823	164,709	77,169
世帯	378	797	67,277,961	177,984	84,414

医療分	22,329	41,945	2,857,787,300	127,985	68,132
合計	4,333	8,107	594,660,100	137,239	73,351

(2) 後期高齢者支援金分の状況

ア 税率及び課税内訳（大平地域分）

・賦課限度額 120,000円

・所得割 2.0/100

・資産割 10/100

・均等割 7,000円

・平等割 4,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	3,165	2,517	7,310	3,955
退職世帯	474	450	797	378
計	3,639	2,967	8,107	4,333

イ 軽減世帯及び限度額世帯（大平地域分） （単位：世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	820	168	988	222
退職世帯	34	19	53	6
計	854	187	1,041	228

ウ 調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：大平地域）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	20,878	38,848	746,194,428	35,741	19,208
世帯	3,955	7,310	155,127,174	39,223	21,221
退職	1,457	3,095	70,668,472	48,503	22,833
世帯	378	797	20,345,226	53,823	25,527
後期高齢者	22,335	41,943	816,862,900	36,573	19,475
支援金分合計	4,333	8,107	175,472,400	40,496	21,644

(3) 介護保険分の状況

ア 税率及び課税内訳（大平地域分）

・賦課限度額 90,000円

・所得割 1.4/100

・資産割 5.4/100

・均等割 6,200円

・平等割 4,800円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	1,311	1,027	2,583	2,002
退職世帯	363	356	637	415
計	1,674	1,383	3,220	2,417

イ　軽減世帯及び限度額世帯（大平地域分）　（単位：世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	366	94	460	100
退職世帯	35	22	57	5
計	401	116	517	105

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：大平地域）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	10,703	13,576	335,500,912	31,346	24,713
世帯	2,002	2,583	54,524,911	27,235	21,109
退職	1,582	2,341	61,036,388	38,582	26,073
世帯	415	637	14,364,989	34,614	22,551
介護保険分	12,285	15,917	396,537,300	32,278	24,913
合計	2,417	3,220	68,889,900	28,502	21,394

(4)　国民健康保険税調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：大平地域）

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	20,631	3,745,379,600
	3,722	776,013,200
特別徴収対象世帯	3,494	325,807,900
	611	63,009,200
合計	24,125	4,071,187,500
	4,333	839,022,400

3　介護保険料賦課状況（7月1日現在）

(1)　介護保険料段階別保険料等（大平地域分）

段　階	対象者	対象者人数(人)		年間保険料(円)
		普通徴収	特別徴収	
第1段階	生活保護受給者または老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税	37	29	24,300
第2段階	世帯全員が市民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下	36	638	24,300
第3段階	世帯全員が市民税非課税で、第2段階に非該当	12	487	36,500

第４段階	本人が市民税非課税	合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下	114	1,527	44,300
		合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円超	14	847	48,600
第５段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が125万円未満		34	784	58,400
第６段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が125万円以上200万円未満		21	815	68,100
第７段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が200万円以上400万円未満		31	529	72,900
第８段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が400万円以上		14	134	82,700
計			313	5,790	

(2)　介護保険料調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：大平地域）

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,047	103,047,640
	430	16,953,300
特別徴収対象者	32,160	1,509,033,800
	5,822	291,290,400
合計	34,207	1,612,081,440
	6,252	308,243,700

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1　差押（参加差押含む）（上段：栃木市全体/下段：大平地域）　（単位：件）

差押物件	年度当初	差　押	解　除	年度末
不　動　産	176	4	20	160
	7	－	2	5
自　動　車	6	2	3	5
	2	－	－	2
電話加入権	8	－	1	7
	－	－	－	－
債権その他	110	217	207	120
	10	35	29	16
計	300	223	231	292
	19	35	31	23

※地方税法第４８条による県からの引継ぎ件数も含む

2　交付要求（上段：栃木市全体/下段：大平地域）　（単位：件）

年度当初	要　求	終　結	年　度　末
140	70	86	124
22	4	8	18

3　催告書発送及び納付状況（上段：栃木市全体/下段：大平地域）

月　日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月15日（金）	1,825	1,265	26,126,833
	274	－	－
6月24日（金）	4,769	1,634	22,850,122
	765	－	－
10月25日（火）	5,330	2,321	43,705,337
	773	－	－
1月20日（金）	2,602	1,923	43,963,865
	433	－	－
計	14,526	7,143	136,646,157
	2,245	－	－

4　休日納税相談窓口（上段：栃木市全体/下段：大平地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実　施　日	納付件数(件)	納　付　額（円）
第1回	7月3日（日）	44	614,100
		－	－
第2回	10月30日（日）	51	982,470
		8	166,500
第3回	1月29日（日）	84	3,581,110
		4	245,800
計		179	5,177,680
		12	412,300

5　市税等収納員による徴収事業（上段：栃木市全体/下段：大平地域）

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員２名による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
6,757	198,326,671	45	3,495
1,767	40,752,519	－	1,181

6　市税等徴収強化事業（上段：栃木市全体/下段：大平地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び税務課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間　１２月５日（月）～２２日（木）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
2,133	183	3,166,260
223	39	167,750

第３節　生活環境課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、住民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

外国人登録事務については、外国人登録法に基づき各種届出の受理・処理を行った。国民年金事務については、法定受託事務として各種届出の受理・進達等を行った。また、旅券事務については、一般旅券の発給申請の受理及び交付事務を行った。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、こども（中学校３年生まで）、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るために、保険適用外治療費の一部を助成した。

生活環境担当では、大気、水、騒音、におい等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、環境美化推進員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

交通安全については、市民総ぐるみ運動をはじめとして、交通安全運動を強力に推進するとともに、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯については、防犯灯の設置、防犯活動等に関する各種事務事業を実施した。

女性青少年担当事業については、男女共同参画社会の実現への意識づくりを図るため、おおひら男女共同参画をすすめる会との協働による啓発活動と大平町女性団体連絡協議会の活動支援に努めた。

青少年行政事業については、青少年の健全育成と社会参加の促進を目的として、青年団体等の育成・指導や青少年健全育成のための活動を行った。

栃木市大平少年補導員会については、街頭補導活動、少年相談業務、環境浄化活動などを重点事業として、学校、警察、PTAなどの関係機関・団体と連携しながら青少年の健全育成に努めた。

栃木市大平勤労青少年ホームについては、指定管理者制度によるホーム運営の最終年度であったが、指定管理者の講座の見直し及び新規講座の開催、また、利用者会によるイベントの実施等の努力により、他市の青少年ホームの廃止が相次ぐ中で、指定管理となってから着実に利用者が増え、平成２３年度は過去５年間で最多の利用者となった。

住民担当

1　戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数　　５５６件（出生２２７件、婚姻７４件、死亡５６件、離婚４０件等）

2　窓口事務

(1)　窓口届出処理件数　　（単位：件）

処理事項		件数	処理事項	件数
戸籍届		556	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	1
住民異動届		3,594		
計		4,150	死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	1
印鑑	登録	1,047		
	廃止	431	死産届	1
計		1,478	計	3
			合計	5,631

(2)　謄抄本証明書等交付件数

種別		件数(件)	金額（円）	種別		件数(件)	金額（円）
戸籍	全部事項証明	2,946	1,325,700	住民票	世帯全員	3,355	671,000
	個人事項証明	1,054	474,300		個人	6,927	1,385,400
	除籍謄本	1,702	1,276,500		証明	328	65,600
	除籍抄本	25	18,750		閲覧	0	0
	戸籍証明	25	8,750		年金現況証明	0	0
	受理証明	42	15,750		戸籍の附票	288	57,600
	廃棄証明	3	－		公用	59	－
	出産証明	0	－		広域	6	1,200
	不受理証明	－	－		住基カード(有料)	25	12,500
	公用	91	－		住基カード(無料)	15	－
	計	5,888	3,119,750		計	11,003	2,193,300

証明書	印鑑証明	8,848	1,769,600	その他	印鑑登録	1,047	209,400
	諸証明	439	87,800		印鑑登録廃止	431	－
	身分証明	197	39,400		臨時運行許可証	275	206,250
	住居表示証明	68	－		労基証明	7	－
	公　　用	22	－		人口統計	0	－
	選挙証明	11	－		公的個人認証	38	19,000
	計	9,585	1,896,800		計	1,798	434,650
合　　計				28,274 件		7,644,500 円	

(3)　斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種　　類	区　　分		件数（件）		金額（円）
斎　　場	市　内	大　人	54	55	－
		小　人	0		
		死産児	1		
	市　外	大　人	0	0	0
		小　人	0		
		死産児	0		
	エ　　ナ		－	－	－
計				55	0
霊きゅう車	往　路	市　　内		32	144,000
		市　　外		17	179,000
	帰　路	市　　内		35	52,500
		市　　外		0	0
計				84	375,500
待　合　室		市　　内		51	153,000
		市　　外		0	0
計				51	153,000
合　　計				190	528,500

(4)　(1)～(3)のうち延長窓口処理件数　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	54
住民票写し等交付	132
印鑑登録証明書交付	96
印鑑登録	35
戸籍届	1
住民異動届	24

斎場、霊きゅう車使用許可証交付	0
臨時運行許可証交付	0
窓口及び電話による相談、問合わせ等	48
合　　計	390

管理担当

1　外国人登録事務

(1)　各種申請書受理件数　　（単位：件）

件　　名	件　　数	件　　名	件　　数
新規登録	52	居住地変更登録	224
確認申請	75	居住地以外の変更登録	545
再交付申請	8	計	915
引替交付申請	11		

(2)　報告その他の事務取扱件数　　（単位：件）

件　　名		件　　数	件　　名	件　　数
閉鎖	出　　国	40	登録原票送付	89
	死　　亡	3	登録原票送付請求	126
	日本国籍取得	0	公務所からの照会回答	83
	その他(上記以外によるもの)	0	計	341

2　年金事務

(1)　諸届の受理件数　　（単位：件）

種別	件数	種別	件数
新規取得届	195	転居届	108
新規取得申出	1	氏名変更届	20
再取得届	319	訂正･取消･不在	5
再取得申出	3	転出届	170
付加年金取得届	18	法定免除該当届	19
付加年金喪失届	0	法定免除消滅届	4
資格喪失届	103	手帳再交付届	12
資格喪失申出	1	種別変更届	121
死亡届	2	その他	3
転入届	98	計	1,202

(2)　免除申請受理件数　　（単位：件）

種類	件　　数
免除・納付猶予申請	373
学生納付特例申請	142

(3)　国民年金請求受理件数　　（単位：件）

給付種類	件　　数
老齢基礎年金	16
障害基礎年金	11
遺族基礎年金	1
寡婦年金	0
死亡一時金	4
未支給年金	4
老齢福祉年金	0
計	36

(4)　相談件数　　（単位：件）

相談の内訳	件　　数
来訪相談	66
電話相談	23
文書相談	0
計	89

3　一般旅券申請・交付件数　　（単位：件）

	申請	交付		申請	交付
4月	28	32	10月	49	48
5月	37	25	11月	34	44
6月	42	46	12月	36	31
7月	73	61	1月	54	50
8月	77	72	2月	54	58
9月	55	59	3月	56	57
			合計	595	583

保険医療担当

1　国民健康保険の給付等に係る申請の受付等に関すること

(1)　高額療養費の受付状況　（単位：件）

高額療養費受付件数	一　般	771
	退職者	49
限度額適用認定証（標準負担額減額認定証を含む）		187

(2)　療養費の受付状況　（単位：件）

療養費受付件数	83

(3)　出産育児一時金の受付状況　（単位：件）

出産育児一時金受付件数	0

(4)　葬祭費の受付状況　（単位：件）

葬祭費受付件数	37

(5)　人間ドック検診の受付状況　（単位：件）

人間ドック受付件数	一般ドック	129
	脳ドック	19

(6)　医療費通知の発送状況

回数	対　象　月	件　数（件）	発　送　月
1	平成 22 年 12 月・平成 23 年 1 月診療分	3,802	5 月
2	平成 23 年　2 月・平成 23 年 3 月診療分	3,758	7 月
3	平成 23 年　4 月・平成 23 年 5 月診療分	3,808	9 月
4	平成 23 年　6 月・平成 23 年 7 月診療分	3,459	１１月
5	平成 23 年　8 月・平成 23 年 9 月診療分	3,460	1 月
6	平成 23 年 10 月・平成 23 年 11 月診療分	3,517	3 月
計		21,804	―

2

2　後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

申請書種類	件　　数（件）
資格関係届出	435
高額療養費申請	219
その他の療養費申請	62
葬祭費申請	167
被保険者証等再交付申請	110
合　　計	993

3　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1)　重度心身障がい者医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	81

(2)　こども医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	1,189

(3)　妊産婦医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	295

(4)　ひとり親家庭医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	69

4　不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その２分の１の額（１０万円を限度に通算５回）を補助するため、窓口で申請受付等を行った。ただし、治療開始日が平成２２年３月２８日以前の場合は総合支所で、それ以外は本庁保険医療課でそれぞれ支払手続きを行った。

申請受付件数及び給付状況

補助申請受付件数(件)（平成 22 年 3 月 29 日以降治療開始）	18
補助申請受付件数(件)（平成 22 年 3 月 28 日以前治療開始）	0
補助金給付総額(円)（平成 22 年 3 月 28 日以前治療開始）	0

生活環境交通担当

1　環境基礎調査事業

(1)　河川等水質調査

大平地域内を流れる河川等について、１２地点で水質調査を実施した。

・調査河川　永野川、巴波川、市内下水

・調査期間　通年

・調査項目　ｐＨ、ＢＯＤ、ＳＳ、ＤＯ、大腸菌群数、全窒素、全リン、ＣＯＤ

2　環境学習・啓発活動事業

(1)　親子水辺教室の開催

大平地域内の自然環境、特に河川の水質を守ることについての意識、関心を高めるとともに、親と子が協力し、ふれあいながら学べる体験学習の場を提供するため、親と子の水辺教室を開催した。

・開催日時　６月５日（日）　午前１０時から

・会　　場　ふるさとふれあい館

・対　　象　小学生の児童及びその保護者

・講　　師　環境省登録環境カウンセラー

・参加人数　４組１２人

(2)　環境講座

自治会、市民団体、グループ、小中学校などの要請により、生活環境課職員が講師として会場に出向き、地球温暖化防止、ごみ減量・リサイクル、水質、廃油石けん作りなどの講義や説明を行った。

・実施回数　　１回
・参加者数　１０人

3　ごみ減量化対策事業

ごみ減量化対策事業として、３Ｒ月間でもある10月をマイバッグ持参運動強化月間と定め以下の事業を実施した。

(1)　マイバッグキャンペーン

期間中対象店で500円以上の買い物をした方が、マイバッグを持参するなどしてレジ袋を辞退した場合に、「マイバッグキャンペーン抽選券」１枚を進呈した。抽選会は１１月２６日(土)開催のおおひら産業祭会場内で実施した。

・実施期間　１０月１６日(日)～２３日(日)
・実施店舗　大平地域内５４店舗
・抽選券配付枚数　11,314 枚
・抽選会来場者数　約 4,000 人

(2)　店頭啓発

市内大型店においてティッシュを配布してマイバッグに関する啓発を図った。

ア　第１回目

・実施店舗　４店舗
・実施日時　１０月１６日(日)　午前１０時～、午後４時～（２回）
・対象者　　約3,000人

イ　第２回目

・実施店舗　４店舗(日)
・実施日時　１０月２３日　午前１０時～
・対象者　　約1,000人

また、ベイシア大平モール店において、１０月１６日(日)にマイバッグ作り講座(２６人参加)、風船の配布(１００人)、小中学生ポスター・標語入選者表彰(１９人参加)等を実施した。

(3)　図書館企画展

大平図書館１階ロビーにおいて環境に関する小中学生の啓発ポスター、標語、３Ｒポスター、パンフレット等を掲示した。

・実施期間　１０月５日(水)～３０日(日)
・掲示ポスター枚数　約２７０枚
・入館者数　約9,924人(１０月の大平図書館入館者数)

(4)　地域内店舗での小中学生のポスター作品展示

・実施期間　１０月１日(土)～３１日(日)

・展示ポスター　２５点　(地域内で募集した環境に関する小中学生のポスター)

・展示場所　地域内７店舗

4　公害関係

(1)　水質関係

ア　地下水汚染地区の定期モニタリング調査

過去における地下水の汚染状況の推移を監視するため、大平地域内１７か所で１２月２１日(水)に地下水の水質調査を実施した。

イ　水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　(単位：件)

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	1	1	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(2)　騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	－	－	－	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	13	－	－	－

(3)　振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況

(単位：件)

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	－	－	－	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	8	－	－	－

(4)　その他

公害苦情受付件数　(単位：件)

大　気	水　質	騒　音	振　動	悪　臭	土　壌	その他	合　計
18	8	7	－	5	－	2	40

5　地域環境美化推進員事業

地域環境美化推進員の協力を得て、衛生害虫の駆除や、美化キャンペーン等を実施した。

・委嘱状況　地域環境美化推進員４６人

6　一般廃棄物の収集

５種１３分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週２回、もやさないごみは東地区月３回、西・南地区週１回、資源物のうち、紙類は雑誌・その他月２回、新聞チラシ月１

回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月２回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、平日、土曜午前中の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1)　ごみ収集搬入量　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
7,591.70	633.20	434.98	352.52	106.60	94.48	9,213.48

(2)　もやすごみの収集搬入状況　（単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	合計
74.50	5,208.94	2,308.26	7,591.70

(3)　もやさないごみの収集搬入状況　（単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	合計
3.38	597.41	32.41	633.20

(4)　資源物の収集搬入状況　（単位：ｔ）

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	－	434.98	－	434.98
空カン・空ビン	－	351.92	0.42	352.34
ペットボトル・トレイ	－	106.53	0.07	106.60
合計	－	893.43	0.49	893.92

(5)　粗大ごみの収集搬入状況　（単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
9.05	12.42	73.01	－	94.48

(6)　休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況　（単位：頭）

犬	猫	その他	合計
1	2	2	5

(7)　し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量　（単位：kl）

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合計
1,438.98	6,315.40	7,754.38

7　環境美化対策事業

(1)　環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

・実施日　　５月２９日（日）
・場　　所　大平地域内各地
・内　　容　ごみ拾い、草むしり
・参加人数　約5,000人

8　不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

・地区別不法投棄物回収件数　（単位：件）

区分／地域	生活系廃棄物	家電４品目	電化製品	粗大ごみ	産業廃棄物	その他	計
大平	126	34	30	83	－	39	312

9　狂犬病予防業務（大平地域）

(1)　犬の登録　（単位：頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
135	112	1,730

(2)　狂犬病予防注射

ア　第１次集合注射
・実施期間　４月１２日(火)～１５日(金)
・実施会場　地域内２４会場
・実施数　　５１６頭

イ　第２次集合注射
・実施期間　１０月２７日(木)
・実施会場　地域内６会場
・実施数　　７３頭

ウ　個別注射
・実施方法　各動物病院等において個別に実施
・実施数　　６３４頭

10　交通関係

(1)　交通安全運動等

交通事故防止のため、市民一人ひとりが交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上を目指し、中でも子供や高齢者等交通弱者のために、チャイルドシート着用推進活動、高齢者への啓発活動を行うとともに、安全運転講習会を開催している。

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出、交通安全教室の開催。

・期間　５月１１日(水)～２０日(金)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙による広報、のぼり旗、立看板掲出、交通安全教室の開催。

・期間　９月２１日(水)～３０日(金)

(ｱ)　交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰、大会宣言などを行った。

・開催日　１２月１６日(金)

・場所　栃木文化会館

・参加者　約８００人

ウ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車・広報紙等による広報、交通安全教室の開催。

・期間　１２月１１日(日)～３１日(土)

(2)　交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることにかんがみ、交通教育指導員や栃木警察署、マロニエ号による交通安全教室を次のとおり開催した。

対　象　者	回数(回)	参加者数(人)
幼児（父兄含む）	13	720
高　齢　者	13	873
複　　合	1	25
合　　計	27	1,618

(3)　交通安全こども自転車大会

第４０回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

・開催日　　６月１５日(水)

・会　場　　栃木市立大平西小学校

・大会記録　大平西小学校チーム（５校６チーム参加中第３位）

(4)　その他の交通安全対策

・交通指導員の設置　大平地域内５人委嘱

・大平下駅及び新大平下駅周辺等の放置自転車を撤去　３月１４日(月)（１６８台）

・危険箇所へカーブミラーや区画線の設置

11　防犯関係

(1)　防犯灯の設置　　(単位：基)

区　　分		設置灯数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	50
改修工事	移設、撤去、修理	3
合　　計		53

(2)　防犯活動

栃木警察署管内で組織する栃木地区防犯協会にて実施された次の事業に参画した。

・会議等
・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

女性青少年担当

1　男女共同参画関係

(1)　おおひら男女共同参画をすすめる会（自主学習グループ）との協働啓発活動

ア　男女共同参画週間事業の啓発活動

(ｱ)　つどいの開催

男女共同参画社会づくりを目指し、栃木市、地域推進員と協力し、男女共同参画のつどいを開催した。

・実施日　６月２５日(土)
・会　場　大平文化会館
・主な内容　デートＤＶについての講話、男女共同参画標語・写真表彰式、すすめる会会員による寸劇、おしゃべりティータイム
・参加人員　１３０人

(ｲ)　パネル展示

男女共同参画週間パネルの展示、啓発物資、リーフレットの配布を行った。

・実施期間　６月１３日(月)～２９日(水)
・場　　所　大平図書館

イ　その他の活動

実施日	実施会場	内　　容	参加人数(人)
4 月 20 日(水)	プラッツ大平	平成２３年度総会	25
5 月 27 日(金)	大平公民館	大平町女性団体連絡協議会総会 メッセージ紙芝居「ももこの大作戦」	32
6 月 26 日(日)	パルティ	男女共同参画社会を考えるとちぎ県民のつどいに参加	2 (すすめる会会員)
9 月 21 日(水) 10 月 21 日(金) 11 月 18 日(金) 12 月 5 日(月)	大平南小学校 大平中央小学校 大平西小学校 大平南中学校	メッセージ紙芝居「ももこの大作戦」 寸劇「父と子の食育」(保護者対象) メッセージ紙芝居「ももこの大作戦」 メッセージ紙芝居「ももこの大作戦」	57 107 71 491
11 月 12 日(土)	パルティ	フェスタ in パルティ２０１１においてメッセージ紙芝居「ももこの大作戦」を上演	60
11 月 24 日(木)	東京方面 旧東京音楽学校奏楽堂ほか	1 日研修	18

(2)　女性団体活動支援

大平町女性団体連絡協議会の活動支援

ア　各種活動

月　日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
5月27日(金)	大平公民館	大平町女性団体連絡協議会　総会 メッセージ紙芝居「ももこの大作戦」鑑賞	32
9月29日(木)	ゆうゆうプラザ	輝いて生きるみんなのつどい テーマ「今私たちにできること」 ・「くらら」ってなぁに？ とちぎ市民活動推進センター所長 小林好雄氏 ・「3.11災害支援現場の声」青木秀子氏 ・「デマンドタクシー・コミュニティバスの運行を前に」　交通防犯課	49
12月5日(月)	埼玉県さいたま市　ほか	一日研修　カレー王国工場見学・鉄道博物館見学	24
2月16日(木)	ゆうゆうプラザ	議員との懇談会 身近な問題（グループ協議）	40

イ　各種関係事業への参加

月　日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
6月25日(土)	栃木保健福祉センター	とちぎ元気フォーラムへの参加 活動報告「NPO法人ふるさと」「うずま川遊会」 ・意見交換	2
1月13日(金)	パルティ	県女団連事業　新年交歓会	3
2月28日(火)	パルティ	県内各女性団体との連携ネットワーク 懇談会	3

2　青少年行政関係

(1)　青年団体の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参加活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

大平町青年団体連絡会の活動

実施日	会　場	内　　容	参加人数(人)
5月12日(木)	大平勤労青少年ホーム	大平町青年団体連絡会総会	7
6月12日(月)	西山田かかしの里周辺	大平クリーンアップ大作戦２０１１ ゴミ拾い・交流会（バーベキュー）	56
2月25日(土)	ゆうゆうプラザ	青少年のための講演会 「ぼくの夢・わたしの夢ってなんだっけ？」 浅見広明氏	30

(2)　立志式助成事業

これから自分の夢や将来の目標を叶えるための自覚を促し、これまで自分を育ててくれた保護者への感謝と周囲の人々への思いやりの気持ちを育てる機会である立志式における記念品等に対し助成した。

・対象者　大平中学校、大平南中学校の中学二年生

(3)　社会を明るくする運動

犯罪や非行を防止し、罪を犯した人や少年の立ち直りを助け、すべての人が共に暮らせる安全な社会の実現を目指し、社会を明るくする運動を実施した。

・協力団体　栃木保護区保護司会大平地区会員
栃木市大平分区更生保護女性会員
栃木市大平少年補導員、栃木県青少年育成指導員

・活動内容

実施日	会　　場	内　　容
7月14日(木)	東武新大平下駅前	駅前朝のあいさつ運動
11月2日(水)	JR大平下駅前	ポケットテッシュ、愛の鈴、パンフレットの配布

(4)　栃木市大平少年補導員会の活動状況

栃木市大平少年補導員会会員による、少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、啓発広報、環境浄化活動等の推進に努めた。

実施日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
4月27日(水)	大平総合支所	平成23年度総会	25
7月 7日(木)	栃木市民会館	栃木・大平合同研修会	12
7月14日(木)	JR大平下駅、東武新大平下駅	駅前朝のあいさつ運動	15
7月30日(土)	大平運動公園	なつこい　特別補導活動	14
8月23日(火)	野田市青少年センター	視察研修会	6
11月 2日(水)	JR大平下駅、東武新大平下駅	駅前朝のあいさつ運動	15
11月17日(木)	皆川公民館	栃木・大平合同研修会	8
12月 5日(月)	大平地区内	歳末防犯防火診断（大平地区）	8
12月22日(木)	大平地区内	年末交通安全・地域安全運動	8
1月12日(木)	大平総合支所周辺	初市パトロール	3
2月12日(日)	大平総合支所周辺	花市パトロール	3
3月8日(木)～12日(月)	大平地区内	中学校卒業式特別パトロール	16

ア　街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導計画に基づき、栃木市大平少年補導員会では、毎週金曜日、年間４７回、延べ１５８人の少年補導員が街頭補導に従事し、青少年に対して我が子と同様に愛情をもって声を掛け、時には注意を促して、青少年の非行防止と健全育成に努めた。また、なつこい等において特別補導活動を実施した。

イ　研修会等の実施

少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、栃木市少年補導員会との合同研修会を開催した。

ウ　各種事業への参加

７月の社会を明るくする運動、青少年の非行・被害防止強調月間、１１月のこども・若者育成支援強調月間等の啓発、推進事業に積極的に参加した。

(5)　栃木県青少年健全育成条例に基づく立入り調査

下都賀地区立入調査実施委員会における立入検査と立入調査対象店舗の調査を行った。

・実施日　７月２７日(水)

・調査実施施設　インターネットカフェ、書店、有害図書自動販売機等(栃木市全域対象)

3　栃木市大平勤労青少年ホーム

(1)　大平勤労青少年ホーム利用状況

ア　概　要

ホーム利用登録者数(人)	
男	78
女	270
合計	348

ホーム利用者総数(人)	
講座	3,617
その他	3,840
合計	7,457

イ　月別利用状況　（単位：人）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
講座	407	460	489	337	59	0	530	481	450	244	118	―
ほか	189	263	289	299	328	284	325	439	412	231	414	345
計	596	723	778	636	387	284	855	920	862	475	532	345

ウ　年齢層別利用状況　（単位：人）

年度	～20 歳	21～25 歳	26～30 歳	31～35 歳	36 歳～
男	1	5	21	18	33
女	4	21	61	91	93
計	5	26	82	109	126

エ　地区別　（単位：人）

年度	大平	栃木	藤岡	都賀	岩舟	ほか
前期	75	40	8	2	9	32
後期	79	47	8	6	12	30
計	154	87	16	8	21	62

オ　講座開講

(ｱ)　定期講座

講　座　名	定員（人）	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	25	31	473	月
書道	15	31	285	月
火曜ヨガ	25	31	493	火
ゴルフ	25	27	439	火
ラッピング	15	16	103	火
クリスタルヨガ	20	18	128	水
着付	15	17	129	水
テニス	25	26	509	水
英会話	15	30	148	木
エアロビクス	20	31	214	木
ゴスペル	20	10	67	木
金曜料理	15	30	212	金
華道	15	20	123	金
土曜ヨガ	20	18	158	土
気功・太極拳	15	15	54	土

(ｲ)　体験講座

講　座　名	定員(人)	実施回数(回)	受講者数(人)	開催日
プリザーブドフラワー	10	1	6	11 月 26 日(土)
そば打ち	20	1	16	12 月 23 日(金)
モテメイク	20	1	20	2 月 8 日(水)
アロマセラピー	15	1	16	2 月 15 日(水)
タヒチアンダンス	25	1	24	2 月 22 日(水)

カ　ホーム行事（利用者会事業）等

行事概要	実施日	参加者数(人)	会場
大平町青年団体連絡会総会	6 月 8 日(水)	8	大平青少年ホーム
大平クリーンアップ大作戦 2011	6 月 12 日(日)	20	かかしの里
ホーム利用者交流会	7 月 2 日(土)	27	大平青少年ホーム
なつこい参加「模擬店」出店	7 月 30 日(土)	22	さくら球場(大平運動公園)
利用者料理教室	8 月 6 日(土)	12	大平青少年ホーム
とちぎ協働まつりボランティア	10 月 23 日(日)	7	栃木市総合運動公園
那須塩原市ホームとの交流会	10 月 30 日(日)	2	大平青少年ホーム

ホーム祭	11 月 6 日(日)	37	大平青少年ホーム
利用者交流会	11 月 27 日(日)	22	ホーム内
青少年のための講演会スタッフ	2 月 25 日(土)	6	ゆうゆうプラザ
利用者会バスツアー	2 月 26 日(日)	43	ディズニーランド

キ　クラブ活動等

クラブ名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
デッサンクラブ	木	3	4
テニスクラブ	水	30	299
料理クラブ	金	18	85
ハッピータイムクラブ	随時	12	55
書道クラブ	月	10	104
麺ｓクラブ	土	1	21
ズンバクラブ	月	12	100
拳法クラブ	金	48	118
ヨガクラブ	火	4	35

ク　就労支援対策事業の開催

実施日	内容
8月20日(土)、2月16日(木)	相談の問合せ２件

(2)　事業計画に計上した事業の達成状況

ア　教養講座の開催

・１５講座を前後期合わせて３５１回開催（3,201 人受講）

・体験講座を５回開催、新規講座開拓

・アンケート調査を行い利用者の意見を反映させた。

イ　クラブ活動育成

・拳法、テニス、料理、麺ｓ、デッサン、書道、ズンバの７クラブ登録

・ハッピータイム、ヨガの２クラブが新規登録

ウ　広報活動の強化による受講生の集客アップ

・広報とちぎへの掲載（受講生募集記事(２回)体験教室、生徒募集記事(１回)）

・タウン誌「すまいるおおひら」への掲載(３回)

・ＴＶにて活動紹介（ゴスペル講座、ズンバ講座）

・チラシ配布（栃木、大平、都賀、藤岡、各ホーム）

・ホームページ更新(市ホームページ、新規掲載)

平成２３年度は、講座利用者人数 3,617 人　総来館者数 7,457 人と過去５年間で最高人数を記録した。

エ　就労支援活動

・就労支援相談者会開催（問合せ　２件）

・広報とちぎに、就労支援相談者募集掲載(２回)

・栃木ホームとの就労支援活動の協力体制を強化した。
・県、勤労青少年ホーム、ジョブカフェ、地域若者サポートステーションの講演に参加（２回）

オ　若者への居場所の提供
・講座開始前、終了後のロビーでの談話や軽運動場での交流機会が増加した。
・ロビーの使用者が８９８人となった。

カ　利用者間の交流の推進及び、市の事業への参加
・利用者会を中心に延べ３５７人が市の事業に参加した。
（クリーンアップ大作戦、なつこい、桜祭り、光と音のページェント）
・他のホームとの交流会に参加した。
・利用者会イベントを開催した。（バスツアー、ホーム祭、交流会２回）

キ　その他
・省エネルギー対策のため節電に努めた。
（平成２２年度の電気使用量 21,075ｋｗから平成２３年度 15,901ｋｗに 24.6%削減）

第４節　人権推進課

〔総括概要〕

人権推進課の主な事務分掌は、人権問題、人権啓発、人権擁護委員に関すること、住宅新築資金等貸付事業関係、大平隣保館の管理運営、地域福祉事業、隣保館相談事業及び集会所等に関することである。

主な事務事業の実施状況については、次のとおりである。

人権啓発活動については、特に人権擁護委員と連携を図り、市民の中に潜在的に存在するあらゆる差別や偏見を根絶し、一人ひとりがすべての人権問題の解決を自らの課題として受け止め、人権意識の高揚が図られるよう積極的に活動を推進し、各種啓発事業を実施した。

大平隣保館事業については、人権問題解決の活動拠点として、地域住民に対して生活上の各種相談事業や地域交流のための事業を実施するとともに、機関誌を年３回発行し、広く市民に対する人権意識の高揚に努めた。

大平地域の集会所については、学習や交流活動を通して様々な人権問題に対する理解と認識を深めるとともに、人権尊重社会を築いていこうとする意欲と実践力を持った人材の育成に努めた。

人権推進担当

１　啓発事業

啓発活動の実施

人権教育啓発推進事業委託事業（大平地域）（本庁人権推進課にも掲載）

企業啓発研修会

・実施日　９月２６日(月)
・場　所　大平商工会館
・内　容　講演　「企業における人権問題」
　　講師　人材育成コンサルタント　辛　淑玉　氏
・参加者　３０人
・関係課等　大平総合支所　産業振興課
　　本庁　人権推進課

２　人権を考える市民の集い（本庁人権推進課にも掲載）

・実施日　１２月１０日(土)
・場　所　栃木文化会館（大ホール及びホワイエ）
・備　考　教育委員会と共催
・参加者　約５００人

(1)　人権問題講演会の開催

・オープニング　童謡合唱(童謡歌おう会)

・講演　混迷の時代を生きる“命の重さ”～私の取材ノートから～
・講師　ジャーナリスト　江川紹子　氏

(2)　人権作品展の開催
・栃木人権擁護委員協議会主催　人権書道展2011年応募作品
・栃木県子どもの人権ポスター原画コンテスト2011年応募作品
・人権啓発物品の配布

3　人権擁護委員関係

(1)　人権相談所

社会福祉協議会の総合相談において、人権相談を実施したほか、特設相談を２回実施した。

・実 施 日　毎月第２火曜日
・会　　場　ふるさとふれあい館
・相 談 員　大平地域の人権擁護委員５人（当番制）
・特設相談

人権擁護委員の日	6月1日(水)
人権週間	12月6日(火)

(2)　人権週間

幼児と高齢者を対象とした人権啓発ビデオと人権擁護委員の講話による啓発事業を実施するとともに、児童、生徒を対象とした人権影絵の公演及び、盲導犬体験学習を実施することにより人権尊重思想の普及高揚を図った。

(3)　「人権の花」運動

人権思想の普及高揚のための啓発活動は、幼少期の頃から行うことがより効果的であることから、大平東小学校において「人権の花」運動を実施した。児童がお互いに協力して花を栽培し、その花を他人に観賞してもらうこと等により、児童の情操をより豊かにし、人権思想への理解促進を図った。

(4)　人権擁護委員の推薦（大平地域）

任期満了に伴い、法務局からの推薦依頼を受け、大平地域における候補者を選出し議会の議決を経て推薦した。

・推　薦　２人（再任）

4　同和対策関係事業（本庁人権推進課にも掲載）

(1)　民間団体との話合い

同和対策事業及び同和教育について、円滑な推進を図るため、民間２団体役員と随時協議を行った。

(2)　部落解放同盟からの要請対応

部落解放同盟栃木県連合会から提出された「2011年・2012年　部落解放・人権行政確立のための要請書」に対する回答を作成するため、人権施策推進本部幹事会を開催した。

・日　時　１月１３日(金)
・会　場　栃木文化会館（小ホール）
・出席者　幹事（総合政策部長･教育次長･全課長）、関係職員及び部落解放同盟栃木県連合会役員
・内　容　「2011年・2012年　部落解放・人権行政確立のための要請書」に係る主旨説明、質疑応答

5　集会所事業

(1)　人権同和教育事業

ア　大平集会所主催教室

教　室　名	開催回数(回)	参加者(人)	担当課
女性教室(榎本･伯仲･真弓･西水代･富田)	50	472	人権推進課(生涯学習課)
料理教室(榎本･伯仲･真弓･西水代･富田)	50	342	〃
高齢者教室(榎本･真弓･西水代･富田)	79	1,160	〃
子ども教室(榎本･伯仲･真弓･西水代)	4	68	〃
ダンス教室(榎本･伯仲･真弓･西水代･富田)	100	1,321	〃
カラオケ教室(榎本･伯仲･真弓･西水代･富田)	100	1,139	〃
民謡教室(西水代･富田)	40	226	〃
民舞教室(西水代･富田)	40	211	〃

イ　人権講話等集会所事業の開催

事　業　名	開催回数(回)	参加者(人)	担当課
大平集会所人権講話	8	155	人権推進課(生涯学習課)
大平集会所運営委員会	2	31	〃
集会所合同学習発表会	1	250	〃
集会所教室野外研修	9	186	〃

ウ　人権教育指導者の養成

家庭、地域、職場など様々な社会環境において、人権教育を推進する指導者を養成する講座を11月～12月に5週連続で開催した。

・場　所　大平隣保館

実施日	講 座 内 容	参加者(人)
11 月 24 日(木)	「真実を求めて、歴史から学ぶ」 講師 部落解放同盟栃木県連合会 事務局長 戸田 眞 氏	26
11 月 30 日(水)	「伝え合い分かり合える社会のために」パート１ 講師 下都賀教育事務所 社会教育主事 星 育夫 氏	25

12 月 7 日(水)	「あなたの人間関係は？」 講師 栃木市教育相談員 伊藤 晴子 氏	25
12 月 14 日(水)	「伝え合い分かり合える社会のために」パート２ 講師 下都賀教育事務所 社会教育主事 星 育夫 氏	20
12 月 21 日(水)	「よき日のために」 講師 部落解放同盟栃木県連合会 事務局長 戸田 眞 氏	19

6　大平隣保館事業

(1)　相談事業

ア　外国人相談

専門相談員を招き開設。

・実施日時　毎月第３土曜日　午後８時～１０時

・実施回数　７回　(休止:５月～９月)

・相談件数　２件

イ　年金相談

専門相談員を招き予約制で開設。

・実施日時　毎月第４土曜日　午前１０時～１２時

・実施回数　１２回

・相談件数　　４件

ウ　弁護士相談

弁護士を招き、予約制で開設。

・実施日時　奇数月第３木曜日　午前１０時～１２時

・実施回数　　６回

・相談件数　２７件

エ　生活困りごと相談

大平隣保館にフリーダイヤルを設けて、職員による生活相談を随時行った。

・相談件数　１８件

オ　内容別相談件数

項　　目	件　数(件)	項　　目	件　数(件)
生活・家庭相談	14	福祉・年金相談	4
健康・精神的相談	1	結婚・離婚相談	4
教育・子ども相談	1	職業・就労相談	2
住宅・住まい相談	2	人権相談	1
市税等行政相談	2	環境・衛生相談	0
相続・財産相談	16	事故・保険等相談	4
計			51

(2)　啓発事業

ア　大平集会所･大平隣保館合同人権講演会

・実施日　９月３０日（金）

・場　所　大平健康福祉センター

・内　容　講演　「車いすでも何でも出来る」

講師　シッティングバレーボール女子日本代表　金田　典子　氏

・参加者　１６０人

イ　機関誌の発行

隣保館事業の周知と人権問題を広く啓発普及するため、隣保館だより「こだま」を年３回発行し、大平地域内に全戸配布した。

・発行状況　７月・１１月・３月号

・発行部数　各9,200部（Ａ４版　１０頁）

ウ　児童生徒による人権作文集の発行

小中学生の人権意識の目覚めと高揚を目的に、人権に関する作文・標語・書道作品を児童生徒から募り、作文集「こころのまど」を発行した。

・発行状況　平成２４年３月号

・発行部数　６００部（Ａ４版　１０９頁）

エ　施設パンフレットの更新

合併に伴う表示変更等のため、施設パンフレットを更新した。

・発行部数　５００部（Ａ４版三つ折）

(3)　地域交流事業

ア　野外研修事業

大平隣保館の利用者間の交流と親睦を深めるため、市有バスを使用して野外研修を行った。

研修先	内　容	実施日	参加者(人)	担当課
長野県小諸市	工場見学・懐古園散策	6月20日(月)	29	人権推進課
神奈川県横浜市	中華街・赤レンガ倉庫散策	7月8日(金)	22	〃
群馬県沼田市	自然散策	7月14日(木)	31	〃

イ　隣保館主催教室

教　室　名	開催回数(回)	参加者(人)	担当課
シルバー生き生き塾	7	159	人権推進課
日本語講座	19	45	〃
健康運動教室	9	202	〃
マジック教室	3	21	〃
エコクラフト教室	3	75	〃

ウ　りんぽかんまつり

隣保館事業の成果発表と地域交流を目的に、部落解放同盟栃木市協議会及び大平町新第３・第４自治会の協賛で、りんぽかんまつりを開催した。

・日　時　３月１１日(日)　9時30分～15時

・場　所　大平隣保館

・来場者　約1,000人

・内　容　作品展示、実演、即売

実技発表
各種模擬店、もちつき大会
子どもゲーム大会
震災映像の紹介
募金活動
非常食の配布
人権啓発物品の配布

エ　その他の事業

事業名及び内容	実施日	参加者(人)	担当課
夏休み親子体験教室 「ポーセラーツ」(磁器の絵付け)	8月3日(水)	15	人権推進課
夏休み子どもお楽しみ劇場 「ミュージックベル演奏・ＤＶＤ鑑賞」	8月1日(月)	56	〃
子ども書初め席書大会	1月6日(金)	24	〃

(4)　地域福祉事業

事業名及び内容	開催回数(回)	参加者(人)	担当課
ふれあい交流会 高齢者の地域交流・健康維持事業	12	192	人権推進課
子育て支援研修会 「心がホッとする子育て」～親と子の絆づくり～	1	58	〃

(5)　栃木県隣保館連絡協議会並びに全国隣保館連絡協議会主催研修会等への参加

ア　栃木県隣保館連絡協議会

区　分	実施日	会場等
定期総会	4月14日（木）	足利市
理事会	6月23日（木）	厚生センター
	10月 5日（水）	県外視察時車中
	12月15日（木）	大平隣保館
	2月17日（金）	厚生センター
研修会	7月21日（木）	小山市
	8月26日（金）	岩舟町
	11月30日（水）	足利市
県外研修会	10月 5日（水）、6日（木）	長野県長野市ほか
県連懇談会	5月24日（火）	厚生センター

イ　全国隣保館連絡協議会

区　分	実施日	開催地
第48回全国隣保館長研修会	10月25日（火）、26日（水）	大阪府大阪市

第48回全国隣保館職員東日本ブロック研修会	11月15日（火）、16日（水）	長野県長野市

7　研修会等(大平地域)参加状況（本庁にも掲載）

研修会等名	期日	場所	参加者(人)
栃木人権擁護委員協議会第一部会定期総会及び第1回研修会	4月22日（金）	ニューアプロニー	3
部落解放同盟栃木市協議会第2回総会	4月30日（土）	大平隣保館	4
栃木人権擁護委員協議会定時総会	5月18日（水）	厚生センター	1
部落解放同盟栃木県連合会第39回定期大会	5月28日（土）	ゆうゆうプラザ	4
部落解放愛する会栃木県連合会第36回定期大会	6月　4日（土）	小山市文化センター	3
部落解放同盟栃木県連合会女性部第33回定期大会	6月18日（土）	足利市地域福祉会館	1
第8回栃木県人権研究集会	6月25日（土）	とちぎ健康の森	3
平成23年度下都賀地区人権フォーラム	6月30日（木）	野木町エニスホール	3
部落解放愛する会栃木県連合会県連役員と担当行政職員との合同視察研究会	7月　6日（水） ～　8日（金）	石川県石川市	1
映画と講演の集い	8月18日（木）	宇都宮市文化会館	1
部落解放第56回関東女性集会	8月27日（土） 28日（日）	群馬県みなかみ町	1
部落解放同盟栃木市協議会「2011人権セミナー」	8月28日（日）	大平文化会館	6
2011年度人権センターとちぎ連続講座①～⑥	9月～11月	人権センターとちぎ(小山市)	延べ6
部落解放愛する会栃木県連合会女性部役員研修会	9月13日（火） 14日（水）	群馬県前橋市ほか	1
第13回栃木県ヒューマンライツセミナー	10月4日（火）	パルティ(宇都宮市)	8
部落解放同盟栃木市協議会2011年会員研修	10月17日（月） 18日（火）	群馬県高崎市ほか	2
部落解放愛する会栃木県連合会「人権講演会」	10月28日（金）	小山市文化センター	10
栃木人権擁護委員協議会第一部会視察研修	11月2日（水）	さくら市	1
部落解放研究第45回全国集会	11月9日（水） ～11日（金）	岐阜県岐阜市	1
部落解放愛する会栃木県連合会会員研修会	11月21日（月） 22日（火）	日光市	2
2011年度部落解放・ 人権政策確立要求第1次中央集会	11月30日（水）	東京都千代田区	2
部落解放同盟栃木県連合会2012年荊冠旗びらき	1月17日（火）	益子町	2
第26回人権啓発研究集会	2月2日（木） 3日（金）	熊本県熊本市	1

８　地域改善対策住宅新築資金等貸付事業

地域住民の住環境等の改善を図る目的で、昭和４９年度から平成７年度にかけて貸付けた、住宅新築資金等の償還業務を行った。

貸付及び償還状況

(1)　当初貸付

・貸付件数　１５６件

・貸付金額　631,200,000 円

(2)　償還状況

・償還完了件数　１４３件

・償還済額　605,802,229 円

・償還率　95.98％

第５節　健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター、児童館、保育園を含む）で編成されている。

福祉担当の主な分掌事務は、地域福祉に関すること、民生委員・児童委員に関すること、健康福祉センター等の施設の管理運営に関すること、障がい福祉に関すること等である。

施設管理運営事業では、効果的で効率的な施設管理と市民の健康・福祉の充実を図るため、大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）等について指定管理者による施設管理運営を行った。

介護高齢担当では、高齢者の生きがいづくりとして、敬老祝賀事業、敬老会事業実施自治会等への補助金交付、老人クラブ活動等社会活動促進事業、はつらつセンター事業などを実施した。また、高齢者の福祉・生活支援として、配食サービス事業、緊急通報装置設置事業、福祉タクシー料金助成事業、在宅ねたきり老人等介護手当支給事業、紙おむつ購入助成事業などを実施した。

介護保険事業では、要介護認定要支援申請等の相談・受付、福祉用具購入費支給申請の受付、負担限度額認定証の交付申請の受付・決定等を実施し、介護サービス利用を支援した。

大平地域包括支援センターでは、栃木市直営の運営となり、より一層地域に根差した支援ができるよう、また、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等を行った。

健康増進担当の主な事業は、健康おおひら２１プラン推進事業、母子保健事業、健康診査事業等、健康づくり事業、自殺予防対策事業、予防接種事業等である。

母子保健事業では､母親及び乳幼児の健康保持増進を図るため､母子手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談等を行った。予防接種事業では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種及び高齢者に対するインフルエンザ予防接種を実施した。また、健康診査事業では、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する相談・教育事業を、自殺予防事業ではこころの健康保持増進を図るため、こころの健康相談をそれぞれ実施した。

こども担当では、昼間仕事等をしている保護者が、子どもを保育園や学童保育へ預けるための手続きの受理や子育てに関する相談業務を行った。

放課後児童健全育成事業では、下校後、保護者の就労等により家庭において、監

護が受けられない児童に対し、適切な生活の場および遊びを提供することにより、児童の健全育成を図った。

幼稚園就園奨励費補助事業では、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。

母子寡婦福祉については、各種福祉サービスの情報提供や相談業務を通して、児童扶養手当の支給手続きを行った。また、配偶者からの暴力被害女性に対し、保護、自立支援を行った。

地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換、ストレスや不安を解消する場として、明るく楽しい子育ての支援に努めた。

ファミリー・サポート・センター事業では、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を提供するため、地域の子育て支援機能の強化に努めた。

児童館では、児童の健全育成と子育て支援の拠点として、地域社会と連携しながら、子どもたちに健全な遊びや情報の提供を行った。

保育園では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、一時預かり事業、障がい児保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上を図った。

福祉担当

1　民生委員児童委員関係

民生委員児童委員６７人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員３人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
89	36	20	37	20	34
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
5	299	79	967	1,586	23.7

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
1,706	109	785	5,010	5,803	13,413	200.2

(3)　ふれあい健康福祉まつりへの参加

民生委員・児童委員（主任児童委員）が地域でどのような役割を担い、活動をしているかを、多くの地域住民に知ってもらうためにＰＲ活動を展開した。

開催日　５月２９日（日）

場　所　大平健康福祉センター、ふるさとふれあい館

2　施設管理運営状況

(1)　大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

ア　利用状況

・年度別利用者数

区分＼年度	平成21年度	平成２２年度	平成２３年度
利用者数	214,717 人	177,952 人	197,307 人

・開館日数　３０１日

・１日平均入場者　655.5 人

・月別内訳　(単位：人)

区分＼月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	母子指導室・調理実習室併用	総合計	開館日数（日）
4	6,631	1,813	502	201	332	392	371	121	19	58	10,440	17
5	11,584	2,526	628	211	604	261	437	211	59	6	16,527	26
6	11,322	2,533	846	226	294	335	540	413	46	15	16,570	26
7	11,620	2,681	667	347	325	313	476	427	138	42	17,036	27
8	11,479	2,326	477	173	376	271	391	353	17	54	15,917	26
9	11,473	2,527	555	211	846	348	571	341	76	0	16,948	26
10	11,785	2,470	544	237	667	252	732	328	23	117	17,155	26
11	11,932	2,457	543	186	702	318	826	338	190	0	17,492	26
12	11,739	2,171	384	235	938	267	510	461	121	0	16,826	25
1	12,563	2,104	401	341	298	591	415	287	117	0	17,117	24
2	12,671	2,360	450	146	480	419	504	236	66	0	17,332	25
3	13,369	2,418	456	224	464	288	440	210	78	0	17,947	27
合計	138,168	28,386	6,453	2,738	6,326	4,055	6,213	3,726	950	292	197,307	301

イ　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

(ｱ)　歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

・開催回数　１５回

・観覧者延べ人数　１,５０５人

(ｲ)　伝統芸能・舞踊

太鼓演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー

・開催回数　４回

・観覧者延べ人数　３３０人

(ｳ)　カラオケ等

生バンドによるカラオケや、審査員によるカラオケ大会

・開催回数　５回

・観覧者延べ人数　４２０人

(ｴ)　芝居

人情芝居を中心とした時代劇

・開催回数　５回

・観覧者延べ人数　４６２人

(2)　大平地域福祉センター「ふるさとふれあい館」

ア　利用状況

・年度別利用者数

区分＼年度	平成21年度	平成２２年度	平成２３年度
利用者数	16,889	16,387	17,467

・開館日数　開館日数　３２０日

・１日平均入場者　54.6人

・月別内訳　（単位：人）

区分＼月別	研修室	和室	ボランティアルーム	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・応接室	総合計	開館日数（日）
4	453	330	110	14	2	171	2,714	3,794	27
5	858	409	60	8	4	144	126	1,609	26
6	683	355	106	0	4	141	30	1,319	28
7	530	289	98	0	4	171	0	1,092	28
8	568	330	124	0	0	132	14	1,168	29
9	493	291	110	51	59	114	58	1,176	26
10	588	311	133	129	38	134	36	1,369	28
11	548	327	88	102	5	106	7	1,183	26
12	479	254	47	143	4	103	4	1,034	24
1	453	348	133	80	5	94	7	1,120	24
2	482	316	110	116	0	159	12	1,195	26
3	643	331	133	134	0	155	12	1,408	28
合計	6,778	3,891	1,252	777	125	1,624	3,020	17,467	320

イ　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーと通路で、毎月、利用団体の作品の展示を行い、活動の活性化を図った。また、下記の通り自主事業を実施した。

(ｱ)　新春　お琴演奏会と茶道体験

・琴の演奏体験やお茶の飲み方や立て方の体験

・参加者　４７人

・ボランティア　お茶会　７人

お琴　　３人

(ｲ)　心肺蘇生法と AED 講習会

・心肺蘇生と AED の講習会

・参加者　１８人

・協力　　消防署大平分署

(3)　大平高齢者デイサービスセンター「まゆみ」

ア　利用状況

・年度別利用者数

年度／区分	平成21年度	平成２２年度	平成２３年度
利用者数	8,301	8,576	9,312

・開館日数　開館日数　２９４日

・１日平均入場者　31.7人

・月別内訳　　（単位：人）

区分／月別	延べ利用人数	利用実人数
4	818	93
5	749	97
6	820	96
7	803	89
8	861	91
9	756	83
10	820	87
11	808	85
12	751	86
1	711	84
2	693	83
3	722	81
合計	9,312	1,055

イ　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

区　　分	事　　業
介護予防及び介護関係	(1)　筋力アップ訓練事業 (2)　口腔衛生事業 (3)　認知症予防事業 (4)　福祉教育事業
通所施設関係	(1)　カラオケ (2)　囲碁・将棋 (3)　演芸鑑賞
年間事業	(1)　花見及びお茶会 (2)　七夕会 (3)　かき氷 (4)　敬老の日 (5)　クリスマス会 (6)　豆まき会 (7)　利用者の誕生日会
その他	(1)　施設を開放し、見学会を開催 (2)　シルバー大学ＯＢによるレクリエーションボランティアの受入れ（月２回、金曜日）

3　地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者に対し創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、社会福祉法人すぎのこ会に委託（指定管理）し、実施した。

・施設名　大平地域活動支援センター
・所在地　栃木市大平町真弓1396
・開所日数　257日
・通所延べ人員　1,284 人

4　身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）　　（単位：人）

障　が　い　区　分	手　帳　所　持　者　数	平成２３年度中交付者数
視　覚　障　が　い	35	3
聴覚・平衡障がい	159	8
音声・言語・そしゃく障がい	10	2
肢体不自由障がい	452	29
内　部　障　が　い	240	24
複　合　障　が　い	27	1
合　　計	923	67

5　知的障がい者(児）の現況(療育手帳交付者数）　　（単位：人）

区　　分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合　計
	男	女	男	女	
重度(A1･A2)	12	5	33	37	87
中度(　B1　)	10	3	30	26	69
軽度(　B2　)	9	6	20	13	48
合　　計	31	14	83	76	204

6　身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1)　身体障がい者（児）の補装具交付及び修理　　（単位：件）

区　　分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義　手	1	－	1	－	－	－
	義　足	2	1	3	－	－	－
装具	下　肢	5	8	13	3	－	3
	靴　型	1	1	2	－	－	－
	体　幹	－	－	－	－	－	－
	上　肢	－	－	－	－	－	－
座位保持装置		－	－	－	1	1	2
盲人安全つえ		2	－	2	－	－	－
義眼		－	－	－	－	－	－
眼鏡	矯正眼鏡	－	－	－	－	－	－
	遮光眼鏡	－	－	－	－	－	－
	弱視眼鏡	－	－	－	－	－	－
補聴器	高度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	13	7	20	－	2	2
	重度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	2	6	8	－	－	－
車いす	普通型	2	13	15	－	－	－
	その他	－	1	1	－	－	－
電動車いす		－	－	－	－	－	－
起立保持具		－	－	－	－	－	－
座位保持いす		－	－	－	－	－	－
歩行器		－	－	－	－	－	－
歩行補助つえ		－	－	－	－	－	－
重度障がい者用意思伝達装置		－	－	－	－	－	－
特例補装具		－	－	－	－	－	－
合　　計		28	37	65	4	3	7

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付　　（単位：件）

区分	身体障がい者	身体障がい児
特殊寝台	－	－
特殊マット	1	1
特殊尿器	－	－
移動用リフト	－	－
訓練いす	－	－
入浴補助用具	－	1
体位変換器	－	－
便器	－	－
T字状・棒状のつえ	－	－
移動・移乗支援用具	1	－
頭部保護帽	1	－
特殊便器	－	－
火災警報器	－	－
自動消火器	－	－
聴覚障がい者用屋内信号装置	－	－
透析液加温器	－	－
ネブライザー	－	－
電気式たん吸引器	2	1
点字タイプライター	－	－
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	－	－
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	－	－
視覚障がい者用拡大読書器	－	－
盲人用時計	－	－
盲人用体温計	－	－
盲人用体重計	－	－
点字ディスプレイ	－	－
聴覚障がい者用通信装置	1	－
聴覚障がい者用情報受信装置	－	－
人工喉頭	1	－
携帯用会話補助装置	－	－
情報・通信支援用具	－	－
点字図書	－	－

ストマ用装具	－	－
紙おむつ	－	－
収尿器	－	－
居宅生活動作補助用具	－	－
合計	7	3

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種別	給付決定者数(件)
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	1
心臓機能障がい	11
腎臓機能障がい	64
合計	76

8　各種手当の状況

種別		給付決定者数(件)
特定疾患者介護手当		23
重度心身障がい児扶養手当		3
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	3
	障がい児福祉手当	3
	福祉手当（経過的）	-
特別児童扶養手当		6

9　障害者相談支援事業

栃木市社会福祉協議会に委託し、障害者の相談支援を行った。

支援方法	訪問	来所	同行	電話	ﾒｰﾙ	会議	その他	計
件数（件）	260	91	15	404	4	17	34	825

※件数は、藤岡地域を含む。

10　身体障がい者等福祉関係

(1)　身体障がい者の自立更生について、１人の相談員が相談指導に当たった。

(2)　知的障がい者の自立更生について、１人の相談員が相談指導に当たった。

(3)　障がい者と健常者の交流事業として、若葉ＯＨＩＲＡウオークラリーのつどいを実施した。

・参加者　８３人

介護高齢担当

1　高齢者人口・生活態様別統計（大平地域）

(1)　高齢者人口　　（４月１日現在）

区分＼年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度
総　人　口　（人）	29,551	29,605	29,653
65 歳以上 人 口　（人）	5,844	6,002	6,081
総人口に対する割合（%）	19.78	20.27	20.51

(2)　高齢者生活態様　（毎年４月１日現在　単位：世帯）

区分＼年度	H23 年度
65 歳以上独居世帯	448
65 歳以上高齢者世帯	622

2　敬老祝賀事業

９月１日（基準日）において、本市に引き続き１年以上在住の方を対象に敬老祝金を贈呈した。９５歳以下の方への配布は、民生委員の協力を得た。市内最高齢の１０７歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区　分	支給額(円)	対象人数(人)
８５歳	10,000	140
９０歳	20,000	69
９５歳	30,000	21
１００歳	100,000	0
１０１歳以上	50,000	9

3　敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の８０歳以上の高齢者数に1,000 円を乗じた額の補助金を交付した。

・補助金交付自治会等　４７自治会等

・補助金額　　1,805,000 円

4　老人クラブ活動等社会活動促進事業

老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

・単位老人クラブ数（大平地域）　２８クラブ
・大平町老人クラブ連合会会員数　1,137 人

5　はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

・事業実施者　自治会・自治会社会福祉協議会・老人クラブ等
・利用対象者　大平地域内に居住するおおむね６０歳以上の方
・実施施設　　地域の公民館・集会所・広場等
・実施内容　　趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
・事業実施団体数　２１センター（２４自治会）
・委託料　　2,520,000 円
　（内訳）運営費　120,000 円×２１センター＝2,520,000 円
・実施回数　　延べ　3,273 回
・実施人数　　延べ　41,197 人

6　配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（１食 300 円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認を行った。

・利用者数　　８２人
・配食個数　　6,369 個
・配食業者　　栃木市沼和田町１３－３　このひら配食サービス
　栃木市柳橋町６－２９　　（株）金時給食センター
　栃木市吹上町１４０１　　（有）ききょう
　栃木市仲方町３０６－５　ワタミタクショク（株）

7　老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。（入所措置は本庁高齢福祉課で実施）

・養護老人ホーム入所措置支援　　２件
・特別養護老人ホーム入所措置支援　３件

8　日常生活用具購入費等助成事業

おおむね６５歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費等助成を行った。

	品　目	件　数　（件）
購入費助成	福 祉 車	34
	小型暖房器具	2
	電磁調理器	－
	火災警報器	－
	自動消火器	－
レンタル料助成	電動小型吸引機	2
	特殊寝台	5
	じょく瘡予防用具	3

9　緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　（単位：台）

既設置台数	23 年度設置台数	23 年度撤去台数	計
112	10	16	106

10　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。

区　　分	交 付 者 数　（人）
高齢者（80 歳以上）	210
高齢者（65～79 歳）	59
障がい者	76
腎臓機能障がい者	39
合　　計	384

11　在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定３・４・５のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額 3,000 円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等人数　　２０６人

・２３年度支給額　　4,293,000 円

12　紙おむつ購入助成事業

日常生活において紙おむつを使用しているねたきり老人等に対し、月額 3,500 円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成者数　　１９７人

・２３年度助成額　　4,665,500 円

13　介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

事　業　名	利用者数(人)	延べ回数等
緊急ホームヘルパー派遣事業	－	－
軽度生活援助員派遣事業	3	住まい営繕等　21時間 除草・家事援助　110時間
在宅高齢者短期入所事業	1	6　日

14　介護保険業務各種受理状況

内　　容	件　数　（件）
要介護認定要支援認定申請　相談・受付・入力	837
介護保険被保険者証等再交付申請　受付・発行	31
介護給付費過誤申立　受付・入力（過年度分のみ）	0
介護保険住所地特例適用届　受付・入力・被保険者証発行	3
転入・転出・転居　資格管理等	7
転送希望届申請　受付・入力	14
居宅サービス計画作成依頼届　受付・入力	310
短期入所の30日を超える連続利用申請　受付・決定発行	5
短期入所の有効期間の半数超過利用申請　受付・決定発行	1
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請　受付・決定発行	4
福祉用具購入費支給申請　受付・入力	59
住宅改修費支給申請　受付・入力・事前教示	36
高額介護サービス費支給申請　受付・入力	61
負担限度額認定証の交付申請　受付・決定発行	139
障がい者控除対象者認定申請　受付・決定発行	5
ムツ使用証明申請　受付・発行	5
介護保険事業者事故報告　受付	3

15　介護給付等費用適正化事業

介護給付等において、利用者に介護サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。

16　地域包括支援センター事業（平成２３年度から市直営となった。）

(1)　設置状況

大平地域包括支援センター	栃木市大平町西野田 666-1　大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）内

(2)　介護予防事業

ア　二次予防事業

(ｱ)　二次予防事業対象者把握事業

６５歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業の対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者の状況　　（単位：人）

	人数
チェックリストによる対象者数	1,528
その他	7
合計	1,535

※その他は訪問等により対象者を把握した人数

・介護予防サービス計画書作成状況　　（単位：人）

	人数
作成者数	97

(ｲ)　通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上、複合型機能向上、閉じこもり・認知・うつ予防等の教室を実施し、要介護状態等となることの予防及び自立した生活を送るための支援を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	21	282
栄養改善	3	35
口腔機能向上	4	45
複合型機能向上	11	116
閉じこもり・認知・うつ予防	5	29
合　計	44	507

(ｳ)　訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、管理栄養士が訪問し相談指導を行った。

・対象者　　１人

・訪問回数　３回

イ　一次予防事業

(ｱ)　介護予防普及啓発事業

a　にこにこ教室

６５歳以上の高齢者を対象に教室を開催した。内容は運動器機能向上、口腔機能向上、栄養改善、権利擁護を含めたものとなった。

会場の運営協力には「元気アップサポーター」が中心となり、地域に根差した活動を展開した。

・会　　場　各地区公民館１７会場（１５会場は昨年度からの継続、２会場は今年度からの新規会場）

・開催日　　４・８月を除く月１回の開催

・実施状況

	回　数（回）	延べ人数（人）
運動器機能向上	131	1,853
栄養改善	13	233
口腔機能向上	14	155
権利擁護	5	91
合　計	163	2,332

b　健康福祉まつりでの普及啓発活動

地域包括支援センターの周知と介護予防の普及啓発を目的に実施した。

・実施日　５月２９日（日）

・会　場　ゆうゆうプラザ（健康福祉まつり会場）

・参加者数　１２０人

・内　容　　ポイントラリー、ウォーキング姿勢チェック

ポイント内容は体力チェック４種目、認知症チェック

c　若返りお茶の間劇場

地域包括支援センターの周知と介護予防の普及啓発を目的に実施した。

元気アップサポーターの協力で多くの参加があり、充実した内容となった。

・実施日　　３月１２日（月）

・会　場　　ゆうゆうプラザ（入浴施設内大広間）

・対　象　　６５歳以上の高齢者

・内　容　　大平ほうかつぴんぴん体操、大笑い筋トレ・脳トレ・ゲーム

(ｲ)　地域介護予防活動支援事業

a　元気アップサポーター養成講座

介護予防事業に参加する高齢者への支援に取り組んでいただける担い手の養成を目的に教室を開催した。

・実施状況

	人数（人）
参加実人数	11
参加延べ人数	32
新サポーターとして活動	9

b　元気アップサポータースキルアップ教室と活動

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識の習得、サポーター間の情報交換や交流ができる機会を設け、地域活動の人材育成や支援を行った。

・元気アップサポーター数　４８人

・実施状況

	回数(回)	人数(人)
スキルアップ（運動の講話と実技）	7	135
元気アップサポーターの心がまえ	3	53
普通救命講習	1	29
二次予防事業への協力	4	34
一次予防事業への協力(にこにこ教室協力は除く)	6	27
準備会の開催	1	30
合計	22	308

(3)　包括的支援事業

ア　介護予防ケアマネジメント業務

二次予防事業対象者が要介護状態になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。また、要支援状態になった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況（単位：件）

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	97

・要支援１・２の介護予防サービス計画作成状況　　（単位：件）

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	31
事業者委託件数	78
合　計	109

・サービス担当者会議実施状況　　（単位：回）

	回数
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	118

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況　（単位：件）

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	6

イ　総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心し、その人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況　（単位：件）

	件数
面接	454
電話相談	814
家庭訪問	726
合　計	1,994

ウ　権利擁護業務

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また､関係各課担当と地域包括支援センターが連携し､成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応を行った。

・実施状況

	件数（件）
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	98
高齢者虐待に関すること	39
高齢者虐待ケース会議	10
合　計	147

エ　包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(ｱ)　民生委員との地区別懇談会

家族介護支援事業

・実施回数　４回

・参加人数　６５人

(ｲ)　多職種との連携

地域における多職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行った。

(4)　任意事業

ア　家族介護支援事業

介護に携わる家族が、適切な介護知識、技術、サービス利用方法を習得できるよ

う支援した。また、在宅介護の苦労、精神的な負担を軽減しリラックスできることを目的とした支援教室を開催した。

・実施回数　３回

・参加人数　５０人

イ　地域自立支援事業（２４時間通報体制）

地域包括支援センターへの相談等に随時対応するため２４時間体制で地域包括支援センター職員による電話受付（携帯電話へ転送）を行った。

・実施状況

	相談日実数(日)	相談件数(件)
休日（土日・祝日）	69	170
平日夜間	36	40
合　計	105	210

ウ　高齢者地域見守り支援事業

地域における認知症高齢者の見守り体制の構築を目的に、認知症に関する広報・啓発活動、徘徊高齢者を早期発見できる仕組みの構築・運動、認知症高齢者に関する知識を深め地域を支えるための認知症サポーターを養成した。

認知症サポーター養成講座

・開催回数　４回

・参加者数　６０人

エ　傾聴事業

高齢者の社会的な孤立感や不安等の解消を図るとともに、生きがいづくりを推進することを目的に、高齢者の自宅や介護施設を訪問し傾聴活動を行う傾聴ボランティア団体の支援を行った。

・傾聴ボランティア団体数　１団体

・補助金額　150,000 円

・傾聴ボランティア活動実績

活動内容	回数（回）	会員参加延べ人数（人）
施設訪問	48	229
個人宅訪問	49	102
研修会等	11	126
定例会	10	158

健康増進担当

1　おおひら健康２１プラン推進事業

「情報」「食生活」「運動」「こころ」「たばこ・アルコール」「健康診査」の６項目を重点領域とし、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取り組み

・健康づくりポスターコンクールの開催
・各種健診・教室等において食に関する知識の普及啓発
・運動の大切さの知識普及と意識の向上を図るための運動教室の開催
・健康ウォーキングの開催
・こころの健康教室の開催
・絵本読み聞かせ事業の推進
・学校との連携の下禁煙教室の開催
・歯の健康に関する普及啓発（健康まつりなど）

2　母子保健事業

(1)　妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳を交付した。その際、妊娠･出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況　（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
		妊娠届出	双　胎	紛失等
218	231	218	2	11

(2)　健康診査

ア　妊婦健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、１人につき１４回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ　妊婦歯科健康診査（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ　乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。１歳６か月児や３歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区　　分	実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	要観察（人）	治療中（人）	要治療（人）	要精検（人）
乳児健康診査（４か月児）	12	218	215	98.6	15	21	6	5

乳児健康診査（９か月児）	12	255	248	97.3	19	12	4	17
１歳６か月児健康診査	12	300	290	96.7	58	10	0	10
３歳児健康診査	11	267	263	98.5	26	12	4	29

エ　２歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

歯科健康診査

実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	う歯のある児（人）
8	335	264	78.8	20（7.6%）

オ 乳幼児発達相談(二次健診)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達に遅れがあると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

開催回数（回）	受診児数(人)			結果内訳(人)		
	初診	再診	計	今回のみ指導	経過観察	要治療・要精査
6	21	13	34	13	19	2

カ　乳児先天性股関節脱臼検診（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

３～４か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3)　健康教育

ア　両親(母親)教室

妊婦と夫に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。大平・藤岡地域で合同開催した。

・実施数　４回１コース（年２コース）

・参加者　（単位：人）

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
87	20	3	9	－

イ　すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では３～５か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施回数　１２回

・参加者延べ数　１０５組

・内容　離乳食講話、ふれあい遊び、子育て相談、身体計測等

ウ　健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して､より良い親子関係を築き､幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

	対象月齢	回　数(回)	参加者延べ数(組)
ちゃいちゃいぐるーぷ	3歳未満	12	116
ぺんぎんぐるーぷ	3歳～就学前	10	80

エ　思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、思春期講演会を大平町内中学校（２校）と連携し行った。

対　　象	参　加　人　数(人)
大平中学校	生徒　229　保護者等　45
大平南中学校	生徒　330　保護者等　44
一般参加者	10人

オ　だっこだっこ絵本事業

９か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

・実施回数　１２回(９か月児健康診査終了後)

・参加者延べ数　２４８組

カ　フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と１市２町との共催で小学１年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。（年１回）

・フッ素塗布者数

小学１年生	年長児	合　計
122人	120人	242人

キ　よい歯のコンクール（数値は、本庁健康増進課で一括計上）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、３歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(３歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの１次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の２次審査に推薦した。

(4)　健康相談

ア　子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。身体計測、個別相談を実施した。

・実施回数　１２回

・参加者延べ数　６３４人（３１７組）

イ　５歳児発達相談

３歳児健康診査までに発見されにくい軽度の発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況　（単位：人）

受診者数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
283	132	52	6	9	82	2

ウ　新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

・指導実数　　７件

・指導延べ数　７件

エ　こんにちは赤ちゃん事業

生後４か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

・訪問数　２２８件

(5)　母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（大平地域１４人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談等を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数(件)	209	220	333	762

また、会員相互の連携を図り、母子保健の向上に寄与するため栃木市母子保健推進員協議会を市全体で設置し、研修や交流を行った。（母子保健推進員総数１４２人）

３　特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1)　特定健康診査後期高齢者健康診査及びヤング健診

・実施回数　１３回

・実施場所　大平健康福祉センター

(2)　特定保健指導

区分	対象者数(人)	初回面接指導数(人)	初回面接実施率(%)
積極的支援	38	22	57.8
動機付け支援	117	80	68.3
合計	155	102	65.8

4　健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査（健康増進法による）、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症健診及び歯周疾患検診（個別健診）等を行った。

・集団健診実施回数　１３回

・集団健診実施会場　大平健康福祉センター

5　結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を下都賀郡市医師会に委託し行った。

・実施会場数　　３５会場

・受診者数　２，１１９人

6　健康増進法等に基づく保健事業

(1)　健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教　室　名	実施回数(回)	参加者数(人)	内　　容
糖尿病予防教室	9	234	糖尿病予備軍の人に対して、食事・運動指導を実施。食事調査や体力測定を取り入れ参加前後の変化を確認することで意欲向上図り、自己血糖値測定(空腹時、食後1時間、食後2時間値)の経時的変化を知る体感型学習を行った。
筋力アップですっきり教室	24	812	メタボ等の生活習慣病予防、筋力の向上に必要な運動習慣が身に付けられるような講話と運動の実践を行った。
食の学習	8	42	特定保健指導対象者に対して昼食を持参し、空腹時・食後1時間・食後2時間の自己血糖値を測定した。食事と血糖値の連動性を体感するとともに、自分に合った食事の目安量や食べ方のコツなどを学習し、生活スタイルの見直しを行った。
健診当日説明会	8	720	特定健診受診者を対象に、生活習慣を見直すきっかけを作るため、健診当日会場にて説明を行った。

出前講座（生活習慣病予防等）	6	98	地域や団体を対象に集会所等に出向き、健康に関する知識の普及、啓発を行った。
健康づくりポスターコンクール	1	91	健康づくりの大切さを考えることを目的に、小中学生よりポスターを募集しコンクールを行った。また、展示し市民への健康づくりのメッセージとした。
料理コンクール	1	142	小学生を対象に、「食」に対する理解と関心を深める一助として、「大平版料理コンクール」を行った。
禁煙教室(小学6年生と保護者)	1	117	「薬物乱用防止教育」の一環として「禁煙教室」を行った。

(2) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

・実施回数　８回

・延べ相談者数　２７人

・内容　保健師・管理栄養士による個別相談

(3) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

・実施回数　５回

・延べ相談者数　７人

・内容　管理栄養士による個別指導

・指導内訳　（単位：人）

高血圧症	－	糖　尿　病	7	腎　臓　病	－
脂質異常症	－	肝　臓　病	－	そ　の　他	－

7　自殺予防対策事業

こころの健康相談（カウンセラー）

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、うつ・ストレス・不眠等の心の健康問題の個別相談に応じた。

・回数　１２回

・相談者数　２４人

8　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種、他の予防接種は予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア　集団接種　ポリオ投与（小児マヒ）

・年間実施回数　８回

・実施場所　　大平健康福祉センター

イ　個別接種

ＢＣＧ、三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）、二種混合、

麻しん風しん混合（MR）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2)　任意予防接種

子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌ｂ型（ヒブ）ワクチン、小児用インフルエンザワクチン接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9　地域保健対策推進事業

(1)　ふれあい健康福祉まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、第１８回ふれあい健康福祉まつりへ参加した。

・開催日　５月２９日(日)

・場　所　大平健康福祉センター、ふるさとふれあい館

番号	実施内容	参加人数（人）
1	食育ポイントラリー	134
2	骨密度測定・結果説明及び指導	98
3	歯の健康相談・ブラッシング指導	49
4	血管年齢測定	120
5	献血	56
6	こころの健康チェック	36
参　加　者　合　計		493

(2)　食生活改善地区組織活動

地域住民を対象に　食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会等を行った。

・大平支部会員数　２９ 人

・講習会開催回数　６回

・参加人数　２３０ 人

ア　大平版子どもの料理コンクール

大平独自の事業として、大平の「黒大豆を使ったお菓子」を課題に料理実習審査を行った。

・日時　８月２９日（月）

・参加人数　５組（８人）

(3)　自主グループ活動支援（リフレッシュ運動教室ＯＢ会）

運動教室等修了者の自主グループ活動の支援を行った。

・会の運営のアドバイス

・体力測定、骨密度測定

(4)　地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数　　１２０世帯

・保健師訪問指導　１８４人（延べ人数）

・内訳　（単位：人）

精神保健	56	生活習慣病	12	妊　産　婦	7	新　生　児	4
乳　　児	47	幼　　児	52	低体重児	3	そ　の　他	3

10　献血事業

人命を左右する血液の確保のため、栃木市献血会連絡協議会の協力のもと、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
2	86	16	58	5	79	7

こども担当

1　放課後児童健全育成事業

下校後、保護者の就労等により家庭において、保護指導を充分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。（大平地域４小学校区内・６学童保育）

学童保育入所者数　（単位:人）

学年／学童保育名	1学年			2学年			3学年			4学年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大平中央①(大平中央小)	7	7	14	3	6	9	5	8	13	4	3	7
大平中央②(大平中央小)	10	5	15	7	4	11	6	7	13	1	3	4
大平南①（大平南小）	3	4	7	11	1	12	－	14	14	－	4	4
大平南②（大平南小）	－	－	－	－	12	12	4	－	4	－	－	－
大平東(大平東小)	5	6	11	5	5	10	4	2	6	1	3	4
大平西(大平西小)	12	9	21	6	5	11	5	7	12	6	8	14
計	37	31	68	32	33	65	24	38	62	12	21	33

学年／学童保育名	5学年			6学年			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大平中央①(大平中央小)	1	1	2	－	－	－	20	25	45
大平中央②(大平中央小)	－	2	2	－	－	－	24	21	45
大平南①（大平南小）	－	－	－	－	－	－	14	23	37
大平南②（大平南小）	1	－	1	1	－	1	6	12	18
大平東(大平東小)	1	1	2	－	－	－	16	17	33
大平西(大平西小)	1	4	5	－	1	1	30	34	64
計	4	8	12	1	1	2	110	132	242

2　地域組織活動（母親クラブ）への支援

児童館等を拠点とし、児童の心身の健全育成を図るため、会員相互の交流を深めながら児童育成の正しい知識と技術を習得するなどの自主的な活動運営を行う母親クラブに対し、その活動への支援・指導を行った。

組　　織　　名	活　動　場　所	会員数
大平みなみ児童館母親クラブ	栃木市大平みなみ児童館	36 人

3　幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満３歳児、３歳児、４歳児及び５歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金を交付した。

(1)　国庫補助事業

・交付対象人数　　521人

・交付金額　　54,238,200円

(2)　県補助事業

・交付対象人数　　10人

・交付金額　　1,214,500円

(3)　市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金

・交付対象人数　　51人

・交付金額　　7,178,500円

(4)　市単独補助事業幼稚園就園奨励費国庫非該当世帯特別補助金

・交付対象人数　　79人

・交付金額　　474,000円

4　幼稚園教育助成補助事業

市内の私立幼稚園（2園）に対し、幼児教育振興のために補助金を交付した。

「ふるさと雇用再生特別基金事業」

・私立幼稚園１園（食育等支援）　　交付額　1,911,000円

・私立幼稚園１園（園庭芝生化等）　交付額　1,723,665円

5　ファミリー・サポート・センター事業

(1)　会員数の内訳

会員種別	会員数(人)
育児依頼会員	117
育児提供会員	50
依頼･提供両会員	15
計	182

(2)　活動状況

援　助　活　動　内　容	活動件数(件)
保育所･幼稚園への登園前の預かり及び送り	192
保育所･幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	174
保育所･幼稚園の帰宅後の預かり	－
学童保育前の預かり及び送り	11
学童の放課後の預かり	－
登校前の預かり及び送り	－
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	78
学童保育からの帰宅後の預かり	－
子どもの病気時の援助	2
子どもの習い事等の場合の援助	－
保育所･学校等休み時の援助	18
保育所等施設入所前の援助	－
保護者等の短時間･臨時的就労の場合の援助	－
保護者等の求職活動中の援助	－
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	－
保護者等の外出の場合の援助	22
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	－
他の子どもの用事の場合の援助	－
その他	－
合　　計	497

6　地域子育て支援センター

(1)　利用者数推移　　(単位：人)

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
21年度	501	546	934	467	177	1	－	2,408	5,034
22年度	724	746	728	201	3	3	－	2,545	4,950
23年度	704	619	541	274	1	－	2	2,276	4,417

(2)　活動状況

ア　定例遊び

ころころ広場

・実施曜日　毎週火曜日

・実施時間　午前１０時３０分～１１時３０分

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決

めて実施。

・実施回数　計 26 回

・延べ参加者　2,359 人

イ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数
1	赤ちゃんサロン（22 回）	888
2	AED・心肺蘇生法講習会（２回）	59
3	おもちゃライブラリー（２回）	150
4	ベビーマッサージ（5 回）	181
5	絵本講習会	49
6	消防訓練	58
7	西保育園との交流会(1 回)	28
8	東保育園との交流会(1 回)	27
9	南第１保育園との交流会(3 回)	33
10	南第２保育園との交流会(2 回)	32
11	赤十字幼児安全法講習会(2 回)	83
12	子育て支援研修会(6 回)	204
13	託児事業(2 回)	32
14	ファミサポ講習会(3 回)・お茶会	229
15	視察研修(2 回)	5
	合　　計	2,058

ウ　子育て相談　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	2	1	1
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	－	－	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い　ほか	－	－	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康　ほか	2	－	2
ことばに関すること	発語が遅い・幼児語　ほか	5	5	－
対人関係	他の子とのかかわり　ほか	4	2	2
その他	性格・育児依頼・入園・病気・親のストレス・家庭環境・祖父母との関わり　ほか	53	10	43
合　　計		66	18	48

7　子ども手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に対し支給した。

・子ども手当受付件数　424件

8　赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化及び子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝金を交付した。

事　業　名	祝　金　額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　10,000円 第三子以降　20,000円	115
赤ちゃん誕生祝金事業 （経過措置※）	第二子　30,000円 第三子以降　50,000円	30

※経過措置の対象となるのは平成２３年３月３１日までに生まれた赤ちゃん

9　チャイルドシート購入費助成事業

子どもを乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図るため、チャイルドシート購入費を助成した。

・助成額　購入費の1/2以内の額
　　限度額5,000円(～平成23年6月購入分10,000円)

・受付件数　136件

10　児童扶養手当

父母の離婚や死亡等により、父または母と生計を同じくしていない児童や、父または母が重度の障がいの状態にある児童について、心身の健やかな成長に寄与することを目的に支給手続きを行った。

・児童扶養手当受付件数　18件

11　児童館

すべての児童を対象に、健全な遊びを与え、集団及び個別指導を通して児童の健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域児童を健全に育成するために各種事業を実施した。

(1)　大平児童館

ア　利用状況

利用者数		19,714 人
内訳	幼児	6,007 人
	小学校 1～3 年	2,891 人
	小学校 4～6 年	4,296 人
	中学生	973 人
	高校生	43 人
	大人	5,504 人
会館日数		292 日
1 日平均利用人数		67.5 人

イ　事業実施状況　　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぱくぱくクッキング（8回）	169	防災講話	63
プレゼント作り（3回）	40	オセロ大会（3回）	34
団体訪問（10回）	474	期間イベント（4回）	385
天体観測といん石観測（4回）	242	工作（2回）	108
プール開放	99	夏休み野外研修	24
夢を持ち歩こう（夢分析）	15	リトミックレッスン(教育講話)	36
幼児クラブ（53回）	1,158	子どもフェスティバル	812
わいわい広場（24回）	949	キャラクターコンテスト	26
ダンス教室（37回）	668	天体観測（30回）	189
		合　　計	5,491

(2)　大平みなみ児童館

ア　利用状況

利用者数		22,457人
内訳	幼児	7,924人
	小学校 1～3年	2,137人
	小学校 4～6年	4,028人
	中学生	516人
	高校生	128人
	大人	7,724人
開館日数		297日
1日平均利用人数		75.6人

イ　事業実施状況　　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
季節の折り紙コーナー(12回)	284	クラフト工作（4回）	41
オセロ大会（5回）	66	作ってあそぼう！（1回）	13
幼児クラブ（61回）	2,692	クリスマスグッズ作り(2回)	15
こどもまつり（1回）	457	もちつき（1回）	55
母の日のプレゼント作り(2回)	28	室内ゲーム大会（1回）	17
父の日のプレゼント作り(2回)	21	子どもクッキング（2回）	37
プール遊び（1回）	82	夏休み工作（1回）	24
		合　　計	3,832

12　保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

(1)　保育所入所状況

ア　児童定員・異動状況　（単位：人）

区分	保育園名	定　員	23年4月1日入所児童数	途中入所児　童　数	退所児童数	24年3月1日入所児童数
公立	大平西保育園	60	63	9	－	72
	大平南第１保育園	50	50	9	1	58
	大平南第２保育園	35	36	7	4	39
	大平東保育園	40	43	5	2	46
私立等	大平中央保育園	90	98	12	2	108
	ひかり保育園	90	79	7	1	85
計		365	369	49	10	408

イ　階層別児童数（３月１日現在）　（単位：人）

区分	保育園名	１階層	２階層	３階層	４階層	５階層	６階層	７階層	８階層	計
公立	大平西保育園	1	9	5	23	15	15	3	1	72
	大平南第１保育園	－	8	2	10	18	20	－	－	58
	大平南第２保育園	－	15	4	14	6	－	－	－	39
	大平東保育園	－	5	1	14	11	14	1	－	46
私立等	大平中央保育園	－	5	12	10	30	46	4	1	108
	ひかり保育園	－	11	7	12	21	26	6	2	85
合計		1	53	31	83	101	121	14	4	408

※階層　所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ　年齢別児童数（３月１日現在）　（単位：人）

区分	保　育　園　名	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳以上	計
公立	大平西保育園	9	10	9	12	32	72
	大平南第1保育園	7	9	12	11	19	58
	大平南第2保育園	4	7	5	9	14	39
	大平東保育園	7	8	7	6	18	46
私立等	大平中央保育園	9	14	16	26	43	108
	ひかり保育園	12	13	11	15	34	85
合　計		48	61	60	79	160	408

(2)　施設運営全般

施設運営上の目標

・幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備

・幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用

・保育内容の充実と技術の向上

・安全対策と保護者との対応

・地域における子育て支援

(3)　保健管理

ア　健康診断の実施状況

区　　分	回数(回)	実　施　月	結　果　と　措　置
健康診断	2	4月・10月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

イ　検便等の実施状況

区　分	回数(回)	実　施　月	結　果　と　措　置
寄生虫卵	2	6月・11月	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

ウ　健康状態の観察及び個別検査の状況

(ｱ)　観　察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(ｲ)　個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ｳ)　伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数　　なし

(4)　児童保育の内容

ア　保育目標

・心身ともに健康な子ども

・自分で考え行動する子ども

・喜んで話したり聞いたりする子ども

・人とのかかわりの中で相手を思いやる子ども

・豊かな感性を持つ子ども

・地域の中で育つ子ども

イ　保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年齢別に年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ　年間行事実施状況

区　分	社会的行事に合わせた行事	主　な　行　事
４月		入園式
５月	こどもの日、母の日	保育参観(参加)
６月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	じゃがいも堀り
７月	七夕祭り、海の日	納涼祭、プール開き、運動会
８月		水泳大会(納め)
９月	防災の日、敬老の日	お月見会
１０月	体育の日	運動会、老人スポーツ大会・遠足
１１月		チューリップ球根植え
１２月	師走	もちつき大会、保育発表会 クリスマス会
１月	お正月	正月集会
２月	節分(まめまき)	お店屋さんごっこ
３月	ひなまつり	ひな祭り会、お別れ園外保育

※　その他、毎月誕生児の誕生会を催す。

エ　特別支援保育の状況

・特別支援保育対象児童数

保育園名	人数(人)
大平西保育園	2
大平南第1保育園	2

・保育方法　　混合保育

オ　延長保育の状況

保育園名	人数(人)	保育時間
大平西保育園	8	午前７時～午後７時
大平南第1保育園	8	午前７時～午後７時
大平中央保育園	26	午前７時～午後７時
ひかり保育園	21	午前７時～午後７時
計	63	午前７時～午後７時

カ　一時預かりの状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
大平西保育園	190
大平中央保育園	336
計	526

キ　低年齢児保育（０、１、２歳児）（３月１日現在）　（単位:人）

区分	保育園名	０歳児	１歳児	２歳児	計
公立	大平西保育園	9	10	9	28
	大平南第1保育園	7	9	12	28
	大平南第2保育園	4	7	5	16
	大平東保育園	7	8	7	22
私立等	大平中央保育園	9	14	16	39
	ひかり保育園	12	13	11	36
計		48	61	60	169

ク　保護者との連携

・保育参観

・送迎時の連絡

・子育て等相談

(5)　防災対策の状況

ア　設備、遊具等の整備点検

イ　避難訓練

ウ　安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

(6)　給食実施状況

ア　予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成し、毎月の調理員会議にて決定する。

イ　給食構成

・乳児　主食、副食、おやつ（完全給食）

・幼児　副食、おやつ

ウ　１日当たり平均栄養摂取量状況

(ｱ)　３歳未満児（主食及び副食＋おやつ）　（平成23年度平均）

栄養素等 / 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μg)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
大平西保育園	595.2	21.8	18.5	291	2.2	124.1	0.30	0.50	23.9	1.7
大平東保育園	607.0	21.0	18.0	277	2.3	118.0	0.30	0.46	25.4	1.7
大平南第1保育園	603.0	22.0	19.0	294	2.3	127.0	0.30	0.50	25.0	1.7
大平南第2保育園	595.0	21.8	18.3	296	2.2	126.0	0.30	0.50	23.0	2.1
栄養給与目標	510.0	18.0	14.0	218	2.1	125.0	0.25	0.30	20.0	—

（イ）　３歳以上児（副食＋おやつ）　　（平成23年度平均）

栄養素等 / 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μg)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
大平西保育園	461.3	21.0	19.4	282.7	2.4	131	0.30	0.50	28.6	2.0
大平東保育園	487.0	20.6	19.9	302.0	2.3	136	0.34	0.51	31.0	1.9
大平南第1保育園	462.0	21.0	20.0	280.0	2.2	134	0.30	0.50	29.0	1.9
大平南第2保育園	481.0	21.5	20.0	297.0	2.3	136	0.30	0.50	29.0	2.1
栄養給与目標	410.0	16.0	17.0	245.0	2.2	135	1.30	1.35	23.0	―

(7)　特別保育科目設定実施事業

ア　世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園名	実施回数(回)
大平西保育園	12
大平東保育園	5
大平南第1保育園	5
大平南第2保育園	6
大平中央保育園	2
ひかり保育園	2
合　　計	32

イ　異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。

実施保育園名	実施回数(回)
大平西保育園	1
大平東保育園	1
大平南第1保育園	2
大平南第2保育園	2
合　　計	6

ウ　子育て・仕事両立支援

乳幼児を持つ保護者等に対する育児講座の開催や育児に関する情報提供等を行った。

実施保育園名	実施回数(回)	実施保育園	実施回数(回)
大平西保育園	2	大平東保育園	2
大平南第１保育園	2	大平中央保育園	4
大平南第２保育園	2	ひかり保育園	2
		合計	14

第６節　産業振興課

〔総括概要〕

大平地域の農業は、水田地帯では米麦の二毛作を中心として、いちご、ニラ、トマト等の施設園芸農業や、肉牛肥育、酪農、養豚等の畜産業が実施され、畑作地帯（樹園地を含む）においては、ぶどう、なし、野菜等の営農が展開されている。担い手の多くは、首都圏に位置する立地条件を活かし、生産性の高い、いちご、ニラ、トマト、ぶどう等の施設園芸と、基幹作物の米麦を組み合わせた複合経営が中心である。施設園芸農家においては、後継者の就農も多く家族経営のなかで、今後の規模拡大が期待される。

一方、米麦を主とする土地利用型農業では、農用地の利用集積により大規模化が進んでいるものの、米麦の価格が下落傾向にあり、依然として厳しい状況にある。また、小規模経営農家においても、経営主の高齢化、兼業化により離農者が増えつつある。

このような中、農業者戸別所得補償制度の本格的実施により、大平町水田農業推進協議会と連携し、農家の方が安心して農業に従事できる環境づくりを進めた。

土地基盤整備事業は昭和 34 年から始まり平成 2 年にはほぼ完了し、整備率は98.7％となっており、基盤整備の済んだ優良農地を長期的に有効利用するためにも、首都圏農業をさらに推進し、本地域の特産物であるイチゴ、ニラ、トマト、ぶどう等の生産技術の向上と流通体制の整備を進め、都市型農業への定着を図った。また、土地利用型農業は、さらに担い手への土地利用集積を推進し、水田の高度利用を図り、安定的な経営を目指して進めた。

一方、国土の保全・水源のかん養等、森林の有する公益的機能を十全に発揮させるためには、将来にわたって、森林を適正に整備し保全する必要があるため、国・県の交付金や補助金を活用し、森林整備が適切に行われるよう事業を推進した。

また、林道の維持管理については、林業の生産性向上を図る機能とともに、観光客等も通行することから、草刈等維持管理に緊急雇用対策事業を導入し適正な維持管理を行った。

商工業関係については、地域の商工業の総合的な改善発展を目指し、大平町商工会とともに商工業者の育成・支援をはじめする諸事業を開催し、中小企業の育成と経営品質の向上に向けた取組のほか、産学官連携を推進した。

また、中心市街地活性化支援として、ＴＭＯ構想により、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、まちづくり交流センター（通称プラッツおおひら）で中心市街地活性化の支援を行った。

労働関係については、雇用相談窓口を設置するほか、国の交付金を活用した緊急雇用対策事業を行い、失業者に対する雇用の創出に努めた。

観光関係については、大平地域は恵まれた自然の中に長い歴史と、伝統の中に素晴らしい観光資源のある地域である。太平山自然公園の南側に広がる太平山南山麓には、一帯に広がる万本桜など豊かな自然や、大中寺、清水寺、東山道などの史跡

や文化財､かかしの里､歴史民俗資料館などの公共施設のほか民間のレジャー施設、約７０の観光ぶどう園のある大平ぶどう団地がある。また、ぶどう袋かけ体験など地域の立場から特性を活かすニューツーリズム体験型観光の創出など地域の自発的な取組が行われた。

農林振興担当

1　農業者戸別所得補償制度

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるために、農業者戸別所得補償制度を実施し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1)　米の所得補償交付金

大平地域に提供された平成２３年産米に係る需要情報は４，６５５トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市大平町水田農業推進協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,246人
水稲生産実施計画書提出農業者数（①）	903人
生産確定数量の計（①の積算）	4,237,390kg
作付確定面積（①の積算）（②）	85,959.7ａ
主食用等水稲作付面積の計（①の積算）（③）	80,788.7ａ
差引(②-③)	5,171.0ａ
水稲生産確定面積に対する 主食用等水稲作付面積の割合（③÷②）	94.0%

(2)　水田活用の所得補償交付金

戦略作物作付面積

二条大麦	661.4ha
小麦	11.0ha
大豆	62.4ha
そば	2.1ha
飼料作物	－ha
新規需要米・加工用米	177.1ha

(3)　水田農業集落推進員会議

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市大平町水田農業推進協議会との連携により、水田農業集落推進員会議を開催した。

・水田農業集落推進員会議の開催状況

開　催　時　期	参加者数(人)
5月 2日(月)	42
6月22日(水)	41
3月 1日(木)	42

2　農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体への指導・育成及び支援を行った。

(1)　大平町認定農業者連絡協議会補助金

農業経営基盤強化促進に関する基本的構想に掲げる、効率的かつ安定的な農業経営を実践する認定農業者の育成を図ることを目的として、団体組織に係る運営活動、交流・情報交換活動、経営改善に向けた相互研さん活動に対し助成を行った。

・補助額　33,000円

(2)　大平町農村生活研究グループ協議会

会員相互の親睦協調を図り、グループ活動によって生活の合理化を推進し、お互いの教養を高めあい、農家生活の近代化に役立つことを目的として、農産加工品の講習会やイベントへの出店及び研修会を行った。

なお、大平町農村生活研究グループ協議会は、新生・栃木市農村生活研究グループ協議会が３月２３日(金)に設立したことから、３月９日(金)に解散総会をもって解散した。

・補助額　70，000円

(3)　大平町青少年クラブ協議会補助金

クラブ員相互の連絡を緊密にして、その健全な発展を期するとともに、クラブ活動を通して農業者としての基礎的知識技能を修得し、また、豊かな情操と健康を備え、知性と協力性に富む社会人となることを目的として、クラブ員の団結を強め親睦を深める事業及び地域社会に役立つ事業等に対し助成を行った。

なお、大平町青少年クラブ協議会は、新生・栃木市青少年クラブ協議会が設立されたことから、３月２２日(木)の解散総会をもって解散した。

・補助額　45,000円

3　おおひらマーケットイン推進補助金

マーケットイン型農業を推進するため、その拠点となる農産物直売所に農作物を出荷する農業者に対し、安全で安心な農産物の流通を促進し、もって地産地消の推進を図ることを目的として、農産物直売所の利用に係る経費の一部を助成した。

・補助金　2,031,500円

・交付者数　延べ　２１８人

4　水田経営とちぎモデル条件整備補助金

農地の集約化、米麦作の大規模化及び低コスト化を図り、効率的な農業経営を推進する集落営農組合に対し、機械の共同利用により経費の削減を図ることを目的として、新規に農業機械を購入する経費の一部を助成した。

・事業費　3,486,040円（県補助金　1,162,000円）

・事業実施主体　下高島集落営農組合

5　おおひら集落営農プラスワン推進支援補助金

農業の新たな担い手である集落営農組織に対する育成の一環として、新たな園芸作物への取組又は既に作付している園芸作物の取組拡大をする集落営農組織に対し、次代の農業を担う集落営農組織の体制整備を支援するとともに、園芸作物の産地化を推進することを目的として、おおひら集落営農プラスワン事業支援補助金を助成した。

・補助金　600,000円

・交付者数　６組織

6　集落営農の法人化推進

(1)　集落営農組織連絡協議会の運営

大平地域内の７つの集落営農組合で組織する集落営農組織連絡協議会の事業を通して、集落営農組織の経営の効率化と法人化の推進を図った。

ア　県担い手育成総合支援協議会主催の集落営農組織法人化研修会への参加

・参加者　３人

イ　視察研修

・研修先　神奈川県平塚市ＪＡ・全農営農技術センター

・参加者　１９人

(2)　地域農業担い手組織育成事業

持続性の高い農業経営を実践及び定着するために集落営農組織の法人化を推進するための事業を実施した。

・事業費　166,700 円（市補助金　50,000 円）

・事業実施主体　下野農業協同組合

ア　法人化検討

・新第２集落営農組合　１３人

・西水代集落営農組合　１７人

イ　法人化研修会

・研修先　埼玉県比企郡　農事組合法人「らんざん営農」

・参加者　３０人

7　おおひら産業祭事業

農業・商業・工業・観光業の活性化を図るべく、地元で栽培された農産物及び地元で生産された商品のPR、展示、即売会の実施並びに生産者と消費者の交流及び大平地域における産業の発展に寄与するため、おおひら産業祭を実施した。

・主催者　おおひら産業祭実行委員会
・共　催　大平町商工会・ＪＡしもつけ大平地区営農経済センター
　　栃木県信用保証協会
・開催日　11 月 26 日（土）　午前 9 時 30 分～午後 3 時
・会　場　大平運動公園
・来場者　延べ 8,000 人

8　栃木市畜産協議会大平支部

大平町畜産振興協議会は、平成２３年４月の栃木市畜産協議会の設立により大平支部となり、会員の相互連携を基調として、継続的・安定的な畜産経営を図るとともに、畜産振興及び家畜防疫事業の実践を図るための事業を実施した。

・事業内容　おおひら産業祭での県産牛焼肉等のチャリティー配布実施

9　農産物加工施設の管理運営事業

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民の方々に地元の農業に関心を持っていただくための農産加工所では、主に地元の農産物を使用したみそ加工，ぶどうジュース、焼肉のたれ、お菓子づくりの講習会等が行われた。

施　設　名	利用日数(日)	利用人数(人)
大平農村婦人の家	98	249
大平西地区農産加工所	146	683

10　市単独土地改良事業

農業生産性の維持向上に向けた農業生産基盤の整備に係る取組を支援することにより、農業生産基盤の整備を促進し、農業経営の安定に資するため、農業水利施設の老朽化等による部分的な施設の構造及び排水条件の改良等、簡易な整備を実施する土地改良区等を支援した。　（単位：円）

土地改良区等名	工　事　内　容	事業費	補助金
大美間	機械揚水施設更新（蔵井地区） φ125mm×11.0kw　水中ポンプ１基	2,820,000	564,000
	機械揚水施設更新（真弓地区） φ200mm×9.0kw　水中ポンプ１基	1,300,000	260,000
大平西部	用水路改良工事（富田地区） 集水桝（400mm×400mm）設置２箇所	180,000	36,000
伯仲水利組合	機械揚水施設新設（伯仲地区） φ100mm×11.0kw　水中ポンプ１基	3,150,000	630,000
新水利組合	機械揚水施設新設（新地区） φ150mm×15.0kw　水中ポンプ１基	5,040,000	1,008,000
	パイプライン設置工事 L＝268.0m、φ100mm	950,000	190,000

西水代水利組合	機械揚水施設修繕工事	970,000	194,000
水代新水利組合	機械揚水施設新設（西水代、新地区） φ100mm×11.0kw　水中ポンプ１基	3,150,000	630,000

11　農地・水・環境保全向上対策事業（農地・水保全管理事業）

農地や水、環境を良好に保全するための地域ぐるみの共同活動への取組を支援した。

・共同活動支援

活動組織名	締結年度	交付期間	基礎支援				金額計(円)
			田 (1,100円/10ａ)		畑 (700円/10ａ)		
			面積(ａ)	金額(円)	面積(ａ)	金額(円)	
西山田自然環境保全会	H19	5年	8,907	979,770	7,218	505,260	1,485,030
富田七環境保全会	H20	4年	4,540	499,400	105	7,350	506,750
お楽の里下高島	H20	4年	7,243	796,730	94	6,580	803,310
真弓南環境保全会	H20	4年	5,997	659,670	345	24,150	683,820
西水代環境保全会	H20	4年	10,449	1,149,390	197	13,790	1,163,180

12　松くい虫防除委託事業

松くい虫被害対策として、高度公益機能森林及び地区保全森林への被害拡大を防ぐため、補助事業を活用し、春には予防事業として地上散布、秋には駆除事業として衛生伐及び樹幹注入等を実施した。

・事業実績

事業区分	事業量	事業費(円)	備　考
地上散布	4.1ha	455,429	県単
	2.0ha	206,071	市単
衛生伐	65 ㎥	1,029,000	被害木の除去 40 ㎥ 不用木の除去 25 ㎥
樹幹注入	54本	997,500	薬剤 90ml×370本

13　治山林道事業

保全林整備工事費

(1)　林道下皆川線・大中寺下皆川線草刈業務　延長3.2ｋｍ×幅1.6m

・業務委託費　375,026円

・施工業者　　町田造園

(2)　林道西山田線草刈業務　延長4.0ｋｍ×幅1.6ｍ

・業務委託費　449,821円

・施工業者　　（有）共栄サービス

(3)　林道西山田線改修工事　延長48.5ｍ

・工事請負費　　1,848,000円

・施工業者　　（有）上田建設

(4)　林道修繕工事（舗装修繕等）1,718,587円

14　とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成２０年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業（とちぎの元気な森づくり県民税事業）に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している。

事業概要

(1)　生活環境保全林維持管理業務委託（下草刈り、除伐等）

・実施箇所　西山田地内（片岡山）

・事業量　　11.3ha

・委託料　　959,542 円

(2)　将来まで守り育てる里山林管理事業

ＮＰＯ太平山南山麓友の会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

・実施箇所　富田・西山田・下皆川地内

・事業量　　10.08ha

・補助額　　504,000円（1ha当たり50,000円）

(3)　通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備事業

ＮＰＯ太平山南山麓友の会及び下皆川育成会による里山の維持管理活動を補助金により支援した。

・実施箇所　富田・西山田・下皆川地内（大平西小通学路周辺の山林）

・事業量　　2.0ha

・補助額　　100,000円（1ha当たり50,000円）

15　林道遊歩道等維持管理作業委託事業（緊急雇用創出事業）

国の緊急雇用創出事業の交付金を活用し、林道及び遊歩道の除草、側溝清掃、枝切りなど、維持管理業務を委託した。

・委 託 費　5,494,913 円

・委 託 先　ＮＰＯ太平山南山麓友の会

・業務内容　林道（①西山田線・②大中寺下皆川線・③下皆川線）約7.2ｋｍや首都圏自然歩道約14.2ｋｍなどの除草、側溝清掃、枝切り等維持管理

商工観光担当

1　商工業振興

(1)　商工団体の育成及び助成

商工団体である商工会の諸事業に助成を行った。

名　　称	事　業　費(円)	市補助額(円)	備　　考
大平町商工会事業費補助金	56,354,234	9,000,000	経営改善普及事業 地域総合振興事業

(2)　産業振興活動支援

大平地区内の商業・工業・農業及び観光等に関わる機関・団体等が行う産業振興のための意欲的な取組に対して支援を行った。

名　　称	事　業　費(円)	市補助金(円)	備　　考
産業振興活動支援事業補助金	111,099	50,000	富田地区中心市街地商業振興会事業費助成

2　中心市街地活性化

大平地区内（旧大平町）では平成１６年５月に策定した中心市街地活性化基本計画による、中心市街地活性化支援として、また、平成１７年１２月に策定した大平町ＴＭＯ構想による、「中心市街地の賑わいと活力を創出するためのまちづくり事業」のひとつとして、まちづくり交流センター（通称プラッツおおひら）をオープンし、管理運営を㈱プラッツおおひらに委託し、中心市街地活性化の支援を行った。

(1)　まちづくり交流センター利用者総数

	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
営業日数(日)	316	312	316
利用者数(人)	92,781	102,398	66,883
１日平均(人)	294	328	212

(2)　まちづくり交流センター施設利用状況

		平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
多目的ルームＡ	使用時間(時間)	321	609	917
	稼働率（%）	9.2	17.7	26.4
多目的ルームＢ	使用時間(時間)	930	685	971
	稼働率（%）	26.8	20.0	28.0
遮音スタジオ	使用時間(時間)	2,195	2,100	2,105
	稼働率（%）	63.2	61.2	60.7
交流サロン	使用時間(時間)	739	273	579
	稼働率（%）	21.2	7.9	17.1

3　工場立地法に基づく届出について

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合を審査・指導した。

・届出件数　１件（日立アプライアンス㈱の変更届出）

4　みずほ企業団地ふれあい協議会

団地内の各企業と地元の三地区（横堀、下高島、上高島）自治会で、企業団地と地元に関する諸問題を解決するための話し合いを年２回（4 月 16 日(土)、12 月 3 日(土)）開催した。

5　労働者の就労施策

少子高齢化社会に対応するため、若者の地元就職の促進を図るため、また、商工業及び農業等に後継者として従事する若年者の労働力を確保するため、該当者に奨励金を支給した。

(1)　大平地内就職奨励金

新規に大平地域の民間事業所に就職された満２５歳以下で、居住期間等の支給条件に該当した方に対し就職奨励金を支給した。

	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
支給件数(件)	8	6	20

(2)　後継者育成奨励金

新規に大平地域の民間事業所に就職した満２５歳以下で居住期間等の支給条件に該当した方に対し就職奨励金を支給した。

	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
支給件数(件)	2	9	7

6　観光振興宣伝事業

豊かな自然と歴史のある観光資源を生かすために、観光パンフレット等を制作・配布するとともに、各種観光展等への出展や観光キャンペーンを実施し、さらに、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1)　観光パンフレット等の制作・配布

太平山＆晃石山を歩こう！！（ハイキングマップ）

(2)　観光展等への出展

ア　すみだまつり

・場　所　墨田区錦糸町公園

イ　げんき栃木！夏の観光キャンペーン

・場　所　佐野プレミアムアウトレット

ウ　食と農ふれあいフェアへの参加

・場　所　栃木県庁

エ　震災復興キャンペーン

・場　所　押上駅　（東京都墨田区）

(3)　観光キャンペーン等

ア　ぶどう狩りキャンペーン

・場　所　東武浅草駅・北千住駅

イ　ぶどう袋かけ収穫体験

・場　所　かかしの里

ウ　ぶどうジャムづくり体験

・場　所　大平西地区農産加工所

7　観光行事推進事業

大平地域を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1)　なつこい

・期　間　７月３０日（土）

・場　所　大平運動公園さくら球場

・主　催　なつこい実行委員会

・共　催　栃木市

・来場者　約10,000人

(2)　光と音のページェント

・日　時　１２月２日（金）～１月１２日（木）　午後５時～午後９時

・場　所　新大平下駅東口周辺、プラッツおおひら

・主　催　光と音のページェント実行委員会

・共　催　栃木市

・来場者　役19,000人

8　ハイキングコース管理事業

(1)　首都圏自然歩道管理事業

・かかしの里ぶどうの道、桜咲くパノラマの道、稜線をたどる道（延長１１．９㎞）

(2)　歩道ハイキングコース

・清水寺～晃石山、大中寺～太平山（延長１．４㎞）

9　観光施設管理事業

・大中寺の森緑地管理

・清水寺の森緑地管理

・かかしの里緑地管理

・かかしの里受付業務等管理

・大中寺の森トイレ維持管理

・清水寺の森トイレ維持管理

・林道下皆川線屋外トイレ維持管理

・林道下皆川線あずまや維持管理

・観光案内看板

（新大平下駅構内、新大平下駅前、大平下駅前、大中寺前）

・観光施設案内標識

（国道50号上下線、林道下皆川線視点終点、大中寺の森入口、清水寺の森入口）

10　観光施設等利用状況

(1)　大平地域観光施設等入込状況（１月～１２月集計）　（単位：人）

施　設　名	平成２３年	平成２２年	平成２１年
大中寺	70,962	71,232	71,110
清水寺	50,145	50,310	52,320
観光ぶどう園	135,200	140,000	140,000
かかしの里	21,500	19,419	22,854
関東ふれあいの道	88,464	88,625	98,058
ホタル祭り	5,000	5,000	13,640
産業祭	8,000	11,000	10,000
プラッツおおひら	100,331	112,154	63,065
歴史民俗資料館白石家戸長屋敷	4,008	4,383	5,442
計	483,610	502,123	476,489

(2)　かかしの里観光客入込月別利用状況　（単位：人）

	平成２３年	平成２２年	平成２１年
１月	1,793	1,793	1,206
２月	2,207	2,207	1,362
３月	1,903	1,903	2,166
４月	1,850	1,850	2,196
５月	1,832	1,832	2,052
６月	1,518	1,518	1,980
７月	1,483	1,860	1,914
８月	1,786	162	2,016
９月	1,958	1,956	2,274
１０月	2,169	759	1,698
１１月	1,960	1,979	2,070
１２月	1,041	1,600	1,920
総　　計	21,500	19,419	22,854

(3)　歴民俗資料館　観光客入込月別利用状況　　（単位：人）

	平成２３年	平成２２年	平成２１年
１月	170	521	672
２月	131	309	257
３月	123	231	383
４月	255	341	366
５月	238	294	384
６月	551	641	586
７月	320	316	387
８月	494	496	436
９月	456	456	966
１０月	320	296	547
１１月	494	367	310
１２月	456	115	148
総　　計	4,008	4,383	5,442

(4)　プラッツおおひら　観光客入込月別利用状況　　（単位：人）

	平成２３年	平成２２年	平成２１年
１月	10,569	4,062	5,417
２月	8,236	5,108	4,901
３月	7,144	733	5,053
４月	9,227	7,322	4,521
５月	7,933	8,620	4,852
６月	7,850	9,217	4,573
７月	7,005	9,663	4,476
８月	6,601	10,165	4,933
９月	7,256	10,716	5,031
１０月	8,270	11,925	7,360
１１月	7,002	14,028	4,374
１２月	13,238	20,595	7,574
総　　計	100,331	112,154	63,065

第７節　都市整備課

〔総括概要〕

都市整備課の主な分掌事務は、道路・橋りょう及び河川水路の管理と整備並びに占用許可・工事の承認に関する事務、公共用地の取得・補償及び登記に関する事務等である。

基本理念として、市民が安全で快適な暮らしを送るために必要不可欠な社会資本である、道路・河川の効率的な維持管理に努め、生活環境の向上を図っている。

そのうち公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、道路等の維持管理に努めるため、直営による早急な対応を実施するほか、常に安全な道路の通行を確保するため、道路維持管理、舗装補修、交通安全施設工事等を大平町全域において実施した。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草による維持管理を行った。

また、従来より自治会における道路・水路の清掃などの愛護活動が「クリーン大平」として定着しており、それらを積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

道路整備については、地域住民の日常生活の安全性と利便性の向上、また、快適な生活環境の確保に資する生活道路の整備として、大平町真弓地内市道Ｏ５７２号線をはじめ８か所の道路改良工事を実施した。

また、幹線道路の整備として、広域農道の未開通区間である主要地方道栃木藤岡線と県道蛭沼川連線を結ぶ市道Ｏ１５７号線について、東武鉄道立体交差工事を含む道路整備を栃木県に工事委託し、平成２０年度から平成２４年度までを整備計画期間として道路整備を進めている。

道路管理担当

1　各種申請・手続関係

内　　容	件　　数（件）
道路台帳・証明等閲覧申請	24

2　道路工事関係

(1)　道路維持補修工事

工　事　箇　所		工　事　内　容	金　額（円）	備　　考
町　　名	路線名			
大平町全域	―	道路維持補修工事	8,964,564	

大平町4地区	O4号線他	側溝修繕工事	1,235,850	
大平町4地区	O89号線他	砂利敷工事	536,844	
計			10,737,258	

(2) 舗装補修工事

工事箇所		工事内容			金額（円）	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町土与	O157号線	145.0	8.6~8.8	舗装補修	12,117,000	

(3) 交通安全施設整備工事

工事箇所		工事内容			金額（円）	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平地域	O157号線ほか			横断防止柵等	1,099,245	

2 業務委託関係

道路維持補修業務委託

委託名	委託箇所		委託内容	金額（円）
	町名	路線名		
道路清掃業務	大平町全域	―	道路清掃	1,440,090
新大平下駅前ロータリー・駐輪場緑地管理業務	大平町富田	O406号線	緑地管理	602,490
立体交差部植栽管理業務	大平町富田	O345号線	植栽業務	359,953
市道跨線橋除草業務	大平町富田ほか2地区	O203号線	除草業務	437,535
街路樹管理業務	大平町内	O29号線他	病害虫防除 桜枝切り	1,081,500
計				3,921,568

3 工事用原材料

材料名	単位	数量	金額（円）
常温合材等	袋（30kg）	170	155,320
側溝蓋等	枚	36	404,385
交通安全施設用資材	本	22	267,060
塩化カルシウム	袋（25kg）	50	65,625
計			892,390

道路整備担当

1　道路工事関係

(1)　道路改良工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町真弓	O572	75.9	5.0	-	3,958,500	
大平町富田	O573	59.5	5.0	-	2,856,000	繰越
大平町伯仲	O574	96.6	6.0	-	9,870,000	
大平町下皆川	O205	106.5	9.0	-	11,000,000	繰越
大平町下高島	O553	105.0	5.0	-	9,681,000	
大平町真弓	O534	140.2	3.5	-	2,919,000	
大平町西山田	O16	90	5.0	-	6,489,000	
大平町西水代	O575	87.9	4.0	-	6,457,500	
計					53,231,000	

(2)　交通安全施設工事

工事箇所		工事内容			工事金額	備考
箇所名	路線名	延長	幅員	その他		
大平町富田	市道O515号線	-	-	道路照明4基	3,885,000円	

(3)　農道整備工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
箇所名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
大平町伯仲	市道O322号線	374.6	2.2		1,806,000	
大平町横堀	—	134	2.4～2.8		808,500	
大平町西山田	—	177.4	2.0～3.9		808,500	
大平町北武井	—	100	2.0～5.1		619,500	
大平町土与	—	183.5	2.0～3.0		840,000	
大平町横堀	—	130.5	2.4		819,000	
計					5,701,500	

2　工事委託関係

道路整備事業委託

委託名	委託箇所		委託相手方	委託料(円)	備考
	箇所名	路線名			
工事委託	大平町川連	市道O157号線	栃木県	194,695,347	繰越

3　業務委託関係

道路整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	箇所名	路線名			
測量設計	大平町新	市道O527号線	用地調査 現況測量	3,727,500	

4　用地取得関係

用地取得箇所		用地 (筆数)	補償 (件)	金　額（円）	備　考
箇所名	路線名				
大平町真弓	市道O572号線	3	2	3,674,693	
大平町富田	市道O573号線	5	4	4,402,814	
大平町西野田	市道O486号線	7	4	861,572	繰越
大平町下高島	市道O553号線	2	5	4,017,729	
大平町川連	市道O157号線	3	3	1,184,306	繰越
大平町西山田	市道O16号線	4	3	2,751,543	
計				16,892,657	

5　登記関係

内　　容	筆　　数
分　　筆　　(代　　位)	22
地　積　更　正　　(代　　位)	10
名義人表示変更・更正　　(代　　位)	1
相　　続　　(代　　位)	1
所　有　権　移　転	24
計	58

第８節　都市建設課

〔総括概要〕

都市建設課の主な事務分掌は、住宅建築等の住宅施策や市営住宅等の管理、土地区画整理事業の施行、栃木藤岡バイパス沿線の整備、大平中心市街地の整備、公園の整備及び維持管理に関することである。

住宅施策については、市内への定住希望者の住宅新築等補助や東北地方太平洋沖地震に伴う住宅修繕補助、さらに高齢者の安全で安定した居住を確保するための助成を行った。また市営住宅の管理については、小集落改良住宅の管理業務や老朽化した西水代市営住宅２棟の解体工事を行った。

土地区画整理事業については、市施行によるＪＲ大平下駅前土地区画整理事業、組合施行による栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業とも、道路築造工事などの施設整備を行った。

また、社会資本整備総合交付金や公共施設管理者負担金を導入して水路築造工事や調整池整備工事などを行った。

大平中心市街地の整備については、新大平下駅前地区の活性化を図るべく、当該地区の基本計画策定等業務委託を実施し、市街地整備の実現化へ向けた検討を進めた。

公園の整備及び維持管理については、大平運動公園の効率的な管理運営を図るため、管理棟新築工事を行うとともに、大平運動公園をはじめとする都市公園等６９か所の維持管理を行い、体力づくりや憩いの場として利用者の利便性を高めた。

また、医療福祉モール整備事業については、グループホーム及び高齢者向け優良賃貸住宅が開業し、大平地域の高齢者福祉の充実と、地域住民が安心して快適に暮らすことのできるまちづくりを推進した。

都市管理担当

1　住宅施策関係

(1)　定住希望者住宅新築等補助制度

補助金名	内容		金　額（円）
	住宅取得年	件数(件)	
定住希望者住宅新築等補助金	平成20年	80	6,615,900
	平成21年	85	6,905,800
	平成22年	60	4,254,100
	(うち合併後)	(22)	(1,615,600)
合　　計		225	17,775,800

(2)　東北地方太平洋沖地震に伴う住宅修繕工事費補助制度

補助金名	件数	金　額	備　考
東北地方太平洋沖地震に伴う住宅の修繕工事費補助金	106件	9,751,000円	

(3)　高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助制度

補助金名	対象件数	金　額	備　考
高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業補助金	59件	2,885,000円	居室総数50戸

2　公営住宅管理関係

(1)　市営住宅管理関係

ア　住宅管理戸数

種別構造／団地名	簡易耐火構造平屋建	備　　考
西水代市営住宅	4棟20戸	内　2棟10戸解体
退去戸数	2戸	
在居戸数	2戸	

イ　実施工事

工　事　名	内　　容	金　額
西水代市営住宅北側２棟解体工事	建物２棟解体、整地ほか	8,639,190　円

(2)　小集落改良住宅管理関係

ア　住宅管理戸数

種別構造／団地名	簡易耐火構造２階建（戸）
栃木市小集落改良住宅	16
在居戸数	15

イ　維持補修

工　事　箇　所	内　　容	金　額
富田地内小集落改良住宅	床補修等（2件）	380,000 円

3　屋外広告物に関すること

栃木県屋外広告物条例

大平地域の違反広告物除却推進団体の活動支援を行った。

都市建設担当

1　土地区画整理事業に関すること

(1)　ＪＲ大平下駅前土地区画整理事業

ア　事業概要

・面　　積　　約１２．４ｈａ

・地権者数　　９７人

・施行期間　　平成１７年度～平成２６年度

・総事業費　　672,700千円

・平成２３年度事業費　118,116,869円

イ　事業経過

・土地区画整理審議会　　１回

・事業計画変更認可・公告（第３回変更）（平成２４年３月１日）

ウ　実施工事

工　事　名	内　　容	金　額（円）
交差点改良工事（第２工区）	Ｌ＝32.8m	3,360,000
区画道路整備工事	Ｌ＝67.2m	4,662,000
その他工事	区画線１式	262,500
整地工事	１街区造成ほか9か所	5,668,420
1号調整池整備工事	Ａ＝1,000㎡	35,584,500
3号調整池整備工事	Ａ＝916㎡	23,373,000
2号調整池排水塔設置工事	１か所	1,207,500
水路改修工事	Ｌ＝60.5m	2,572,500
その他工事	１か所	798,000
合　　計		77,488,420

エ　業務委託

業　務　名	内　　容	金　額（円）
物件調査業務委託	1　　式	1,239,000
街区・画地杭測設業務委託	1　　式	1,954,890
換地計画準備業務委託	1　　式	2,772,000
道路台帳作成業務委託	1　　式	2,310,000
草刈業務委託	1　　式	266,159
合　　計		8,542,049

オ　補償費・負担金

項　　目	内　　容	金　額（円）
物件移転費	工作物13件	25,413,546

電柱等移設費	ＮＴＴ、東京電力	939,980
上水道負担金	１　式	5,715,478
合　　計		32,069,004

カ　関連事業

(ｱ)　社会資本整備総合交付金事業等

工　事　名	内　　容	金　額（円）
Ｏ484 舗装工事	Ａ＝1,473 ㎡	7,024,500
Ｏ484 道路築造工事（第３工区）	Ｌ＝65.6m	13,545,000
Ｏ547 道路築造工事（第１工区）	Ｌ＝170.1m	17,272,500
Ｏ547 道路築造工事（第２工区）	Ｌ＝217.6m	16,411,500
Ｏ547 道路築造工事（第３工区）	Ｌ＝186.2m	14,280,000
Ｏ547 道路築造工事（第４工区）	Ｌ＝252.2m	16,663,500
Ｏ547 舗装工事（第２工区）	Ｌ＝292.3m	7,350,000
Ｏ547 舗装工事（第４工区）	Ｌ＝257.1m	2,688,000
Ｏ547 水路改修工事（第２工区上流）	Ｌ＝23.9m	8,820,000
Ｏ547 水路改修工事（第４工区）	Ｌ＝60.4m	22,417,500
Ｏ547水路改修（第2工区）	Ｌ＝41.1m	10,936,000
街区公園１号整備工事	Ａ＝2,000㎡	18,900,000
街区公園２号整備工事	Ａ＝800㎡	7,560,000
交付金事業　　計		163,868,500
Ｏ484 舗装摺付工事	Ａ＝113.2 ㎡	598,500
Ｏ547マンホール高さ調整工事等	5か所	2,872,800
水道取出し工事等	3件	1,401,449
その他工事　　計		4,872,749

(ｲ)　公共施設管理者負担金

ＪＲ大平下駅前土地区画整理事業地内公共施設管理者負担金	39,800,000円

(2)　栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業（組合施行）

ア　事業概要

・面　　積　　約２９．８ｈａ
・組合員数　　７０人（理事長　阿部　秀夫）
・施行期間　　平成１９年度～平成２４年度
・総事業費　　1,235,000千円
・平成２３年度事業費　163,140,801円

イ　事業経過

・総会　　１回

・役員会　　５回

・評価員会　１回

ウ　実施工事（組合発注）

工　事　名	内　　容	金　額（円）
水路築造工事（第1工区）	Ｌ＝77.8m	21,525,000
水路築造工事（第2工区）	Ｌ＝85.0m	24,360,000
水路築造工事（第3工区）	Ｌ＝81.9m	22,722,000
その他工事	１　式	4,720,542
合　　計		73,327,542

エ　業務委託（組合発注）

業　務　名	内　　容	金　額（円）
街区杭測設及び検査測量業務	１　式	2,664,900
不動産鑑定業務委託	１　式	913,500
草刈り業務ほか	１　式	1,394,296
合　　計		4,972,696

オ　補償費・負担金（組合発注）

項　目	内　　容	金　額（円）
物件移転費	工作物2件	1,649,960
電柱等移設費	ＮＴＴ、東京電力	655,040
上水道負担金	１　式	4,170,600
合　　計		6,475,600

カ　関連事業

(ｱ)　社会資本整備総合交付金事業

工　事　名	内　　容	金　額（円）
Ｏ416（第３工区―2）道路築造工事	Ｌ＝36.6m	6,646,500
Ｏ416（第４工区）道路築造工事	Ｌ＝25.1m	3,549,000
Ｏ562、563、564 舗装新設工事	Ｌ＝259.7m	3,045,000
Ｏ565 道路築造工事	Ｌ＝250.6m	19,425,000
Ｏ566 道路築造工事	Ｌ＝156.9m	11,550,000
Ｏ569 道路築造工事	Ｌ＝42.5m	3,591,000
Ｏ570（１工区）道路築造工事	Ｌ＝158.8m	19,740,000
Ｏ570（２工区）道路築造工事	Ｌ＝128.6m	17,251,500
下皆川・富田街区公園整備工事	Ａ＝9,000 ㎡	23,837,500
合　　計		108,635,500

(ｲ) 公共施設管理者負担金

栃木藤岡バイパス下皆川・富田土地区画整理事業地内公共施設管理者負担金	46,000,000 円

(3) 新大平下駅前地区土地区画整理事業

・業務委託

業　務　名	内　　容	金　額（円）
基本計画策定業務委託	整備手法検討案作成等	2,268,000

2　公園整備事業

(1) 大平運動公園整備事業

ア　業務委託

業　務　名	内　　容	金　額（円）
管理棟施工監理業務委託	施工監理　1　式	1,396,500

イ　工事費

工　事　名	内　　容	金　額（円）
管理棟新築工事（建築）	建築面積Ａ＝337.86㎡	34,587,000
管理棟新築工事（機械設備）	給排水設備、空調設備 1 式	14,700,000
管理棟新築工事（電気設備）	電灯設備、動力設備 1 式	8,389,500
管理棟新築工事（外構工事）	舗装工事、外柵等 1 式	14,364,000
その他工事	看板設置　1 式	630,000
合　　計		72,670,500

(2) 都市公園等整備事業

・業務委託

業　務　名	内　　容	金　額（円）
新公園整備実施設計業務委託	実施設計　1式	2,835,000

3　都市公園等管理事業

(1) 管理業務実施公園（自治会への管理委託箇所含む）

公園種別	箇所数	面積(㎡)	備考
運動公園	1	182,000	大平運動公園
近隣公園	1	8,100	中央公園
街区公園	19	34,521	熊野公園　ほか
ミニ公園	48	17,427	西山田白岩公園　ほか
合　　計	69	242,048	

(2) 施設の維持管理業務

ア　実施工事

工　事　内　容	工 事 箇 所	金　額（円）
看板設置、じゃぶじゃぶ池ポンプ改修	大平運動公園　（2 件）	1,731,975
利用案内板設置、防球ネット設置	街区公園 2 か所（2 件）	232,239
合　　計		1,964,214

イ　維持補修事業

補　修　内　容	補 修 箇 所	金　額（円）
テニスコート人工芝補修（7 面）	大平運動公園（3 件）	488,250
テニスコート休憩舎屋根補修	大平運動公園	126,000
ブランコ補修（1 基）	大平運動公園	183,225
フェンス補修	熊野公園	118,860
フェンス補修	稲荷公園	102,690
フェンス補修	真弓中才公園	43,950
車止め補修	上町公園	42,525
合　　計		1,105,500

(3)　業務委託

業　務　委　託　名	委　託　箇　所	金額（円）
清掃・樹木等管理業務委託 （清掃、除草、樹木剪定、病害虫防除等）	大平運動公園　（22 件）	6,842,970
樹木等管理業務委託 （除草、樹木剪定、病害虫防除等）	磯山桜づつみふれあい公園、昭和第 1 公園、昭和第 2 公園、昭和第 3 公園、上町公園、みずほ公園、富田城の内公園、磯山公園、榎本公園、熊野公園、庚塚公園、祇園公園、伯仲公園、下町公園、下町第 2 公園、西野田新屋敷西第 2 公園、新地区公園予定地　（17 公園　40 件）	5,522,282
トイレ清掃業務委託	大平運動公園　（1 件）	693,000
トイレ･あずまや清掃業務委託	磯山桜づつみふれあい公園、熊野公園、みずほ公園　（3 公園　3 件）	413,052
夜間警備業務委託	大平運動公園　（1 件）	653,310
自家用電気工作物保安管理業務委託	大平運動公園　（1 件）	300,000
設備点検業務委託（噴水、噴水照明）	大平運動公園　（2 件）	590,100
遊具点検業務委託	大平運動公園　（1 件）	15,750
遊具点検業務委託	昭和第 3 公園、上町公園、熊野公園、下町公園、南台第 2 公園、上祇園公園 （6 公園　1 件）	94,500

防火対象物管理業務委託	大平運動公園　（1件）	35,700
合　　計		15,160,664

4　医療福祉モール整備事業

(1)　事業経過

6月 1日(水)	グループホーム開業
6月15日(水)	高齢者向け優良賃貸住宅開業

(2)　開業施設内容

ア　グループホーム

敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	構造等	居室数	備　　考
1,594.95	624.22	木造平屋建	18室	利用定員18人（2ユニット18人）

イ　高齢者向け優良賃貸住宅

敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	構造等	居室数	備　　考
2,599.47	2,671.52	RC造3階建	50室	利用定員50人 デイサービス併設(定員20人)

(3)　事業用地管理業務

業務委託名	内　　容	金　額（円）
樹木管理除草等業務委託	除草、薬剤散布等　6件	687,351

第１０章　藤岡総合支所

第１節　地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会、広報広聴事業、地域内施策・調整、市民活動支援、自治会関係、文書管理、消防防災関係、自衛官募集、庁舎・公用車・庁用事務用品・ＯＡ機器の管理、普通財産の維持管理と貸付処分、入札関係、藤岡遊水池会館管理などである。

地域協議会については、１２回の地域協議会と各班会議を行い、７月末に市長へ意見書を提出した。広聴業務では、市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会ふれあいトークを４回実施した。

地域内施策・調整としては、まちづくり事業と地域情報の発信を核とした地域振興を図った。

自治会については、藤岡町自治会連合会の事務局として各種事業の支援を行い、消防防災関係では、市民の防災意識向上と関係機関相互の連携や市職員と消防団員の災害応急対策の迅速化を目的とした1市1町（栃木市・野木町）水防演習を実施した。

庁舎・公用車・庁用事務用品・ＯＡ機器の管理では、藤岡総合支所内での維持・集中管理に努め、藤岡遊水池会館の貸付・貸館管理も行った。

入札及び契約事務では、藤岡総合支所内の予定価格 3,000 万未満の建設工事等の案件について入札を執行した。

普通財産の維持管理では、財産の貸付、土地建物の売却処分を行った。

地域自治担当

1　地域協議会関係

地域自治区制度導入に伴い設置された藤岡町地域協議会は、１５人の委員により下記のような内容で実施した。

(1)　委員（任期　平成２２年７月２６日から平成２５年３月３１日まで）

区　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	石田　秀行	藤岡町自治会連合会
	2	小曽根　慎一	藤岡町まちづくり委員会
	3	柿沼　泰雄	下野農業協同組合
	4	繁岡　哲哉	栃木市社会福祉協議会
	5	清水　圭瑞	栃木市ＰＴＡ連合会
	6	田中　久己	藤岡町商工会
	7	田中　博	栃木市体育協会
	8	林　喜代子	藤岡町女性団体連絡協議会
	9	増保　淑江 （平成23年4月30日退任）	藤岡町子ども会育成会連絡協議会
		藤井　剛 （平成23年5月24日委嘱）	
2号委員	10	荒川　節子	学識経験を有する者
	11	神原　良明 （平成23年6月1日委嘱）	
	12	上岡　秋夫	
3号委員	13	亀田　諭	公募に応じた者
	14	酒井　一則	
	15	山士家　光幸	

(2)　開催内容

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4 月 25 日（月） 午後 1 時 30 分～ 藤岡総合支所議会棟	副会長選出 (1)「合併後」再編等としている合併協定項目の調整時における地域協議会との関わりについて (2)藤岡地域主要事務事業について (3)今後の活動について
第2回	5 月 24 日（火） 午後 1 時 30 分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)分科会経過報告について (2)その他 ・栃木市総合計画における「地域の姿」の作成について

第3回	6月21日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)中根企業用地地区計画の変更について (2)国民健康保険税の税率及び軽減措置について (3)栃木市営コミュニティバス(部屋線)の試行運行について (4)分科会経過報告について (5)その他 ・栃木市敬老会事業補助金について ・栃木市総合計画策定懇談会委員の推薦について
第4回	7月26日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)防犯灯維持管理の自治会移管及び電気料補助金について (2)栃木市・西方町合併協議会出席報告について (3)分科会経過報告について (4)意見書の提出について
第5回	8月22日（月） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)デマンドタクシー運行に伴う福祉タクシー料金助成事業及び（仮称）障がい者等移送サービス事業について (2)日本赤十字社関係事務の調整について (3)チャイルドシート購入費助成事業の廃止について (4)栃木市総合計画策定懇談会出席報告について
第6回	9月27日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)分科会経過報告について (2)栃木市総合計画藤岡地域「地域の姿」（案）について (3)委員提言書について (4)栃木市広報とちぎ紙面検討委員の推薦について (5)栃木市非核平和都市宣言策定委員の推薦について (6)その他 ・ラムサール条約について
第7回	10月25日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)使用料改定方針について (2)広報とちぎ紙面検討委員会出席報告について (3)栃木市福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会出席報告について (4)その他 ・栃木市環境基本計画策定委員の推薦について
第8回	11月22日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)栃木市国民健康保険税の税率及び軽減措置について (2)栃木市非核平和都市宣言策定委員会出席報告について (3)栃木市総合計画策定懇談会出席報告について (4)栃木市福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会出席報告について (5)分科会経過報告について
第9回	12月20日（火） 午後3時～ 藤岡総合支所議会棟	(1)はつらつセンター事業の拡充について (2)栃木市高齢者ふれあい相談員制度の拡充について (3)新たな産業支援事業について (4)非核平和都市宣言策定委員会出席報告について (5)広報とちぎ紙面検討委員会出席報告について

		(6)自由意見書案件の取り扱いについて (7)その他 ・栃木市青少年育成市民会議の設立について ・栃木市デマンドタクシー「蔵タク」について ・福田屋百貨店栃木店の利活用について ・地域協議会調査研究活動支援事業交付金の創設について
第10回	1月24日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)はつらつセンター事業の拡充について (2)栃木市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、介護保険料及び地域包括支援センターについて (3)栃木市自治基本条例について (4)組織機構の見直しについて（非公開） (5)デマンドタクシー（西方地域内）及びコミュニティバス（真名子線、金崎線、大宮国府線、皆川樋ノ口線、藤岡線）の試行運行について (6)栃木市福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会出席報告について
第11回	2月28日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)藤岡町区長の選任について (2)栃木市総合計画について (3)新市行政改革大綱の骨子について (4)指定管理者制度（栃木市渡良瀬の里）の導入について (5)栃木市障がい者福祉計画について (6)栃木市介護保険事業計画及び介護保険料の一部修正について (7)栃木市高齢者ふれあい相談員制度の拡充についての意見に対する回答について (8)事務一元化の状況に関する資料について (9)学校給食費の改定について (10)栃木市栃木地域まちづくり検討委員会の設置について (11)栃木市総合計画策定懇談会出席報告について (12)非核平和都市宣言策定委員会出席報告について (13)栃木市環境基本計画策定委員会出席報告について (14)その他 ・藤岡町地域協議会平成２４年度開催予定について ・地域協議会調査研究活動支援事業交付金及び藤岡町地域協議会研究会について
第12回	3月27日（火） 午後1時30分～ 藤岡総合支所議会棟	(1)栃木市総合計画について (2)「合併後」に再編する事務事業の調整状況について (3)地域協議会へ意見を聴く事務事業（Ａランク）につい

		て (4)藤岡町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について (5)新たな市民活動支援制度について (6)防犯灯維持管理の自治会移管及び電気料補助金についての意見に対する回答について (7)はつらつセンター事業の拡充についての意見に対する回答について (8)新市行政改革大綱の骨子についての意見に対する回答について (9)栃木市福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会出席報告について

(3)　意見書の提出

藤岡町地域協議会内で教育厚生班、建設経済班、総務班を設置し、住みやすい藤岡地域を目指し、藤岡地域内の施設や道路等について現在の実情を調査、研究し５項目に意見をまとめ、７月２８日(木)に市長へ意見書を提出した。

１　藤岡駅東地区まちづくり事業促進について

２　渡良瀬遊水地の利活用について

３　保育園の統廃合に際し、児童館機能を有する施設の併設について

４　藤岡第一中学校、藤岡第二中学校の統合に向けて検討する組織の設置について

５　公共施設におむつ替え台、授乳室の設置について

(4)　藤岡町地域協議会だよりの発行

地域協議会の活動状況等を藤岡地域の市民にお知らせするため「藤岡町地域協議会だより」を発行した。

・発行号数　第５号（６月）・第６号（８月）・第７号（９月）・第８号（１０月）・第９号（１２月）・第１０号（２月）・第１１号（３月）

・体　　裁　Ａ３版　単色両面刷り

・発行部数　各5,000部

2　広聴関係

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会を実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数	フリートーク数	自治会数	参加者数
1	7月12日(火)	部屋地区公民館	部屋、新波、石川、帯刀、緑川、西前原、蛭沼、富吉、中根の各自治会	6	6	28	44

2	7月13日(水)	藤岡遊水池会館	藤岡、内野、下宮の各自治会	12	5	29	53
3	7月14日(木)	三鴨地区公民館	甲、都賀、大田和、太田の各自治会	1	11	31	55
4	7月19日(火)	赤麻地区公民館	赤麻、大前の各自治会	3	7	16	29
合　計				22	29	104	181
				51			

(2)　投書箱

藤岡地域内公共施設６か所(平成２４年２月から藤岡総合支所玄関に１か所)に「みんなの声」投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・投書件数　５件

3　まちづくり関係

まちづくり事業

地域のまちづくり団体の活動に対して運営・育成等の支援を行い、地域に眠っている観光等の資源の掘り起こしを行った。

・まちづくり委員会支援　会議　（１０回）

エコツーリズム実施　（２回）

・郷土料理（藤岡冷汁）協力店　９店舗

4　地域情報の発信

藤岡スポーツふれあいセンターの２階に地域情報コーナー「とんがりＩＮＦＯ」を設置し、地域の情報を住民と来訪者向けに発信した。

また、藤岡教育支所と連携し、藤岡スポーツふれあいセンターにて、スカイスポーツ（気球、スカイダイビング）、ウォータースポーツ（カヌー）、自転車、乗馬など、渡良瀬遊水地で楽しめるレジャースポーツ関連のグッズや資料の展示、情報提供、写真の掲示を行った。

5　市民活動支援事業

藤岡地域にＮＰＯ法人は現在４法人あり、年度毎の届出や変更届出等の書類補正等事務処理・助言等の支援を行った。

6　総合支所会議

総合支所次長が主宰し、藤岡地域の業務の調整・連絡を行った。

・開催回数　１３回（うち臨時会１回）

・内　　容　審議・報告・連絡事項　７３件

7　市長と職員の懇談会

市長の総合支所訪問に合わせ、市長と総合支所職員の懇談会を行った。

・開催回数　６回(４月～１１月)

・参加職員　９７人

8　市長訪問

市長の総合支所訪問に合わせ、総合支所・課としての報告や政策的な課題についての提案を市長に説明し、相互理解と地域発展を図った。

・開催回数　２回(１２月～３月)

・内　　容　１０事案

総務担当

1　自治会関係

自治会相互の円満な運営と、住みよい環境づくり、住民の福祉の増進に寄与することを目的とした藤岡町自治会連合会の各種活動を支援した。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、農政協力員）の取りまとめ

・受 付 期 間　２月～３月

・対象自治会　１０４

(ｲ)　班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受 付 期 間　２月～３月

・対象自治会　１０４

(2)　藤岡町自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　１０４自治会

(ｲ)　役員等

・会長１人、副会長３人、理事４人、会計２人、監事２人

イ　会議等

開催日	名　称	内　容
5月31日(火)	藤岡町自治会連合会総会	平成22年度事業報告について 平成23年度事業計画(案)について 平成23年度収支予算(案)について 平成23年度役員選出について
6月28日(火)	第1回藤岡町自治会連合会正副会長会議	平成23年度事業計画について

8月3日(水)	第2回藤岡町自治会連合会正副会長会議	平成23年度事業計画について
9月27日(火)	藤岡町自治会連合会役員会	平成23年度事業計画について 防犯灯維持管理の自治会移管について
1月30日(月)	藤岡町自治会連合会臨時総会	規約の一部改正について 母子保健推進員の推薦について
2月28日(火)	第3回藤岡町自治会連合会正副会長会議	防犯灯維持管理の自治会移管について

ウ　主な事業

開催日	内　容	場　所
9月16日(金)	第25回藤岡ふくしまつり協力	藤岡文化会館・藤岡公民館等
11月7日(月)	栃木市自治会連合会との意見交換会	栃木文化会館

2　文書管理関係

適正な文書管理のため、移し換え、廃棄作業を行った。

・作業期間　６月２０日（月）～２４日（金）

3　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の送達を行った。

4　消防関係

(1)　配置人員

藤岡方面隊　　（単位：人）

分団別＼階級		正副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計(人)
本部分団	定　員	1	(1)	2	－	－	－	－	－	3
	実　員	1	(1)	2	－	－	－	－	－	3
第1分団	定　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
	実　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
第2分団	定　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
	実　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
第3分団	定　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
	実　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
第4分団	定　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
	実　員	－	－	－	1	1	2	2	30	36
合　計	定　員	1	(1)	2	4	4	8	8	120	147
	実　員	1	(1)	2	4	4	8	8	120	147

※団長及び副団長は、方面隊長を兼任のため、()内数としてある。

(2)　消防車等の態勢

藤岡方面隊

区分 / 分団・部		種別	車名	年式	備考
方面隊本部		指揮連絡車	トヨタ	平成10年	
第1分団	第1部	普通ポンプ車	いすゞ	平成18年	水槽600ﾘｯﾄﾙ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成 8年	
		積載車	ニッサン	平成 8年	
第2分団	第1部	普通ポンプ車	いすゞ	平成 9年	
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成14年	
		積載車	いすゞ	平成14年	
第3分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成19年	水槽600ﾘｯﾄﾙ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成12年	
		積載車	いすゞ	平成12年	
第4分団	第1部	普通ポンプ車	〃	平成15年	水槽600ﾘｯﾄﾙ
	第2部	小型動力ポンプ	トーハツ	平成13年	
		積載車	いすゞ	平成13年	

(3)　藤岡方面隊の活動状況

ア　夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

・実施日　６月２６日（日）

・会　場　栃木市藤岡渡良瀬運動公園駐車場

イ　操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

・実施日　１０月２日（日）

・会　場　栃木市藤岡総合体育館駐車場

(4)　藤岡方面隊正副分団長会議

期日	場所
4月27日(水)	藤岡総合支所 別館
6月3日(金)	藤岡総合支所 議会棟
7月15日(金)	藤岡総合支所 別館
9月16日(金)	藤岡総合支所 議会棟
1月27日(金)	藤岡総合支所 別館
3月22日(木)	藤岡総合支所 本館

5　防災関係

(1)　水防演習の実施

出水期に市民の防災意識向上と水防団（消防団）の士気高揚、水害時の作業効率向上と水防体制の整備を目的に野木町と合同で水防訓練を実施した。

・実 施 日　６月２６日(日)
・会　　場　栃木市藤岡町藤岡　東原地先
・参加団体　国土交通省、栃木県、栃木消防署、小山消防署、
　　栃木市・野木町消防団
・参加者数　２６０人

(2)　防災備蓄倉庫一覧

設　置	位　置
部屋地区公民館内	栃木市藤岡町部屋158
藤岡公民館内	栃木市藤岡町藤岡810
赤麻地区公民館内	栃木市藤岡町赤麻1737
三鴨地区公民館内	栃木市藤岡町甲436-2
藤岡第一中学校内	栃木市藤岡町藤岡10

(3)　主な各種災害時用備蓄品等内訳

項　　目	数量
非常食（米飯）	3,300食
非常食（ビスケット）	8,960食
非常用飲料水(1500ml)	6,960本
毛　　布	1,130枚

6　自衛官募集事務

(1)　自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

(2)　自衛隊父兄会

藤岡町自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

理財担当

1　支所庁舎内の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
支所庁舎警備業務委託	1,083,600
支所庁舎庁内電話交換設備保守委託	315,000
電気受電設備保守管理業務委託	244,906
その他業務委託件数 8件	655,344

2　支所庁舎内の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
支所自動火災報知設備受信機交換修繕工事	924,000
支所庁舎1階ブラインド取替工事	441,000
その他修繕工事件数 9件	837,963

3　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（中型バス39人）	1
小型乗用	5
小型貨物	11
軽貨物	4

4　藤岡遊水池会館に関する事務

藤岡遊水池会館は、昭和 59 年 3 月に渡良瀬遊水地の隣接地に建築された市民の集会施設である。事務所の一部は財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に貸付を行った。

(1)　施設管理

施設管理については、建物及び駐車場、施設内設備・物品の維持管理並びに事務用消耗品の管理を行った。駐車場及び周辺の除草・清掃については主に職員が行った。

(2)　施設の貸館状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
250	6,288	36,860

5　契約件数

原則として、藤岡総合支所発注の予定価格 130 万円以上の建設工事、50 万円以上の工事関連業務委託で、3,000 万円未満の案件についての入札を執行した。

入札執行件数　　（単位：件）

入　札　内　容	一般競争入札	指名競争入札	計
建設工事	14	23	37
工事関連業務委託	－	28	28
物品購入(建設資材含む)	－	－	0
印刷物	－	－	0
計	14	51	65

6　見積合せ件数

3万円以上50万円未満の印刷物の見積合わせを執行した。

・件数　１２件

7　建設工事等請負業者指名選考委員会

条件付き一般競争入札により施行する予定価格1,000万円以上の建設工事の入札参加資格要件の設定、予定価格3,000万円未満の建設工事、工事関連業務委託の指名業者選考について審議した。

・開催回数　１２回

・審議件数　７３件

8　入札・契約制度の説明

藤岡総合支所内の各課における入札・契約に係る相談等について、助言・指導及び法令・制度の説明を行った。

9　ＯＡ機器等の管理

藤岡総合支所内における事務用ＯＡ機器等の委託契約及び維持管理を行った。

・コピー機　３台

・印刷機　　１台

10　パソコンの整備状況

区　　分	課　名	パソコン台数(台)
区長　支所次長		2
藤岡総合支所	地域まちづくり課	18
	税務課	13
	生活環境課	14
	健康福祉課	39
	産業振興課	13
	都市建設課	10
藤岡教育支所		31
計		140

11　電算処理業務の委託契約

名　　称	業　務　名
三協コンピュータ㈱	インターネットサーバに係る保守
㈱ＴＫＣ	オフィス機器ＴＡＳＫ保守

12　普通財産の管理等に関する事務

(1)　普通財産の維持管理

普通財産の除草等については主に職員が行ったが、旧藤岡高校跡地・旧荒立土地区画整理組合用地など面積の広い土地に関しては、植樹の剪定等を含め緊急雇用創出事

業としてシルバー人材センターに委託し、失業者雇用対策として実施した。

(2)　普通財産の貸付

所　在	件数(契約者数)	面　積（㎡）	収入金額（円）
市内市有地（藤岡町）	11	3,737.40	247,058

(3)　普通財産の処分

区　分	件　数（件）	面　積（㎡）
宅地	1	1,452.85
建物	1	570.23

第２節　税務課

〔総括概要〕

我が国の近況は、昨年３月に未曾有の災害である東日本大震災が発生し、それに伴う原子力発電所の事故、その後の電力不足、タイの洪水及び円高による影響等により、厳しい経済環境が続いている。

これらの要因による景気の低迷の中、震災復興需要や個人消費の回復が聞こえ始めてきたものの、景気回復への確かな兆しは見えず、また、震災復興の財源のための増税や社会保障制度改革のための増税の論議等が行われるなど、税務行政を取り巻く環境はますます厳しい状況にある。

このような状況の下、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、１０月には西方町との合併が整い、税務担当組織も拡大したが、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために、市民税関係では、適正課税確保のため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施し、課税客体の実態把握を行った。また、県税事務所と協働で未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して、普通徴収から特別徴収への切替指導を実施した。

資産税関係では、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新増築・滅失家屋や土地利用の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組みとして、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室との協働での滞納整理や差押処分を行うなど税収確保へ向けた取組みを展開した。

市民税担当

1　諸証明等の交付（藤岡地域分）

区　分	件・冊・枚数		摘　　要
	有　料	無料(公用等)	
諸 証 明	2,754	670	・納税、所得及びその他の証明　1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明　1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明　１件につき1,300円
公簿閲覧	75	6	
計	2,829	676	

2　国民健康保険税賦課状況（７月１日現在のため西方地域を除く）

(1)　医療保険分の状況

ア　税率及び課税内訳（藤岡地域分）

・賦課限度額　470,000円

・所得割　6.4/100

・資産割　28.4/100

・均等割　21,200円

・平等割　20,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	2,235	2,046	5,438	2,779
退職世帯	137	140	249	105
計	2,372	2,186	5,687	2,884

イ　軽減世帯及び限度額世帯（藤岡地域分）　（世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	631	156	787	96
退職世帯	11	4	15	2
計	642	160	802	98

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：藤岡地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	20,878	38,848	2,618,794,477	125,433	67,411
世帯	2,779	5,438	372,773,751	134,139	68,549
退職	1,451	3,097	238,992,823	164,709	77,169
世帯	105	249	20,301,249	193,345	81,531

医療分	22,329	41,945	2,857,787,300	127,985	68,132
合計	2,884	5,687	393,075,000	136,295	69,118

(2) 後期高齢者支援金分の状況

ア 税率及び課税内訳（藤岡地域分）

・賦課限度額 120,000円

・所得割 1.6/100

・資産割 7/100

・均等割 5,300円

・平等割 5,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	2,235	2,046	5,438	2,779
退職世帯	137	140	249	105
計	2,372	2,186	5,687	2,884

イ 軽減世帯及び限度額世帯（藤岡地域分） （世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	631	156	787	91
退職世帯	11	4	15	1
計	642	160	802	92

ウ 調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：藤岡地域）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	20,878	38,848	746,194,428	35,741	19,208
世帯	2,779	5,438	93,178,308	33,529	17,134
退職	1,457	3,095	70,668,472	48,503	22,833
世帯	105	249	5,065,592	48,243	20,343
後期高齢者	22,335	41,943	816,862,900	36,573	19,475
支援金分合計	2,884	5,687	98,243,900	34,065	17,275

(3) 介護保険分の状況

ア 税率及び課税内訳（藤岡地域分）

・賦課限度額 90,000円

・所得割 1.5/100

・資産割 4.6/100

・均等割 7,000円

・平等割 5,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	1,021	963	2,098	1,557
退職世帯	99	109	188	124
計	1,120	1,072	2,286	1,681

イ　軽減世帯及び限度額世帯（藤岡地域分）　（世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	280	81	361	72
退職世帯	13	5	18	2
計	293	86	379	74

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：藤岡地域）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	10,703	13,576	335,500,912	31,346	24,713
世帯	1,557	2,098	46,483,501	29,854	22,156
退職	1,582	2,341	61,036,388	38,582	26,073
世帯	124	188	4,560,799	36,780	24,259
介護保険分	12,285	15,917	396,537,300	32,278	24,913
合計	1,681	2,286	51,044,300	30,365	22,329

(4)　国民健康保険税調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：藤岡地域）

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	20,631	3,745,379,600
	2,656	500,751,900
特別徴収対象世帯	3,494	325,807,900
	434	41,611,300
合計	24,125	4,071,187,500
	3,090	542,363,200

3　介護保険料賦課状況（７月１日現在）

(1)　介護保険料段階別保険料等（藤岡地域分）

段　階	対象者	対象者人数(人)		年間保険料(円)
		普通徴収	特別徴収	
第１段階	生活保護受給者または老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税	29	29	18,600
第２段階	世帯全員が市民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下	39	689	18,600
第３段階	世帯全員が市民税非課税で、第2段階に非該当	8	369	27,900

第４段階	本人が市民税非課税	合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下	75	1,499	31,620
		合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円超	7	657	37,200
第５段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が125万円未満		19	559	42,780
第６段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が125万円以上200万円未満		15	349	46,500
第７段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が200万円以上		30	298	55,800
計			222	4,449	

(2)　介護保険料調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：藤岡地域）

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,047	103,047,640
	294	8,205,140
特別徴収対象者	32,160	1,509,033,800
	4,492	151,291,700
合計	34,207	1,612,081,440
	4,786	159,496,840

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1　差押（参加差押含む）（上段：栃木市全体/下段：藤岡地域）　（単位：件）

差押物件	年度当初	差　押	解　除	年度末
不　動　産	176	4	20	160
	2	－	－	2
自　動　車	6	2	3	5
	1	－	－	1
電話加入権	8	－	1	7
	－	－	－	－
債権その他	110	217	207	120
	20	16	21	15
計	300	223	231	292
	23	16	21	18

※地方税法第４８条による県からの引継ぎ件数も含む

2　交付要求（上段：栃木市全体/下段：藤岡地域）　（単位：件）

年度当初	要　求	終　結	年　度　末
140	70	86	124
6	7	5	8

3　催告書発送及び納付状況（上段：栃木市全体/下段：藤岡地域）

月　日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月15日（金）	1,825	1,265	26,126,833
	264	—	—
6月24日（金）	4,769	1,634	22,850,122
	685	—	—
10月25日（火）	5,330	2,321	43,705,337
	746	—	—
1月20日（金）	2,602	1,923	43,963,865
	345	—	—
計	14,526	7,143	136,646,157
	2,040	—	—

4　休日納税相談窓口（上段：栃木市全体/下段：藤岡地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実　施　期　間	納付件数(件)	納　付　額（円）
第1回	7月3日（日）	44	614,100
		—	—
第2回	10月30日（日）	51	982,470
		3	66,000
第3回	1月29日（日）	84	3,581,110
		15	347,800
計		179	5,177,680
		18	413,800

5　市税等収納員による徴収事業（上段：栃木市全体/下段：藤岡地域）

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員１人による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
6,757	198,326,671	45	3,495
30	1,309,400	—	100

※７月及び８月徴収分

6　市税等徴収強化事業（上段：栃木市全体/下段：藤岡地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、係長以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間　１２月５日（月）～２２日（木）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
2,133	183	3,166,260
335	29	496,480

第３節　生活環境課

〔総括概要〕

戸籍、住民基本台帳関係業務として、出生、婚姻など戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

部屋出張所においては、上記のほか、公民館使用申請や学校開放施設利用申請の受付、税関係証明発行、収税等も行った。

平成２２年１０月から県の権限委譲を受け、一般旅券の発給申請・交付事務を開始した。(部屋出張所を除く)

国民健康保険事業においては、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック(一般・脳)検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業においては、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業においては、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、こども(中学校３年生まで)、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るために、保険適用外治療費の一部を助成した。

国民年金事業においては､法定受託事務として各種届出の受理･進達等を行った。また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

環境保全業務においては、一般廃棄物最終処分場の水質調査、市営墓地の適切な管理を実施したほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集業務の円滑な推進、不法投棄の監視を行い、環境美化の向上を図った。

交通防犯事業では、交通安全運動や交通安全教室開催、防犯灯の設置などの防犯活動を実施した。

市民相談業務においては、本庁市民生活課や市消費生活センターと連携し、市民が相談をする際の利便性の向上を図った。

人権問題は、憲法によって保障された基本的人権にかかわる問題であり、国及び地方公共団体は、様々な人権問題の解決をその責務とし、国民一人ひとりも自らの課題として認識しなければならない。

そこで、基本的人権を尊重する、あらゆる差別のない社会の実現に向け各種事業を推進し、その解決に努めた。

啓発事業については、特に人権擁護委員と連携を図り、市民一人ひとりが自らの課題として受け止め、人権意識の高揚が図られるよう積極的に各種啓発事業を実施した。

隣保事業については、お互いが理解し合える人間関係の構築により、差別のない地域社会の実現のため、地域ふれあい事業を実施した。

藤岡集会所においては、出会い、ふれあい、学びあいを通して様々な人権問題に対する理解を深めるとともに、人権が尊重される社会づくりを推進する人材の育成に努めた。

住民担当

1　戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数　　４８８件（出生８８件、婚姻３６件、死亡２６２件等）

2　外国人登録事務

(1)　各種申請書受理件数　　（単位：件）

件名	件数	件名	件数
新規登録	12	居住地変更登録	5
確認申請	10	居住地以外の変更登録	134
再交付申請	0	計	162
引替交付申請	1		

(2)　報告その他の事務取扱件数　　（単位：件）

件名		件数	件名	件数
閉鎖	出国	24	登録原票送付	9
	死亡	0	登録原票送付請求	13
	日本国籍取得	0	公務所からの照会回答	4
	その(上記以外によるもの)	－	計	50

3　窓口事務

(1)　窓口届出処理件数

処理事項		件数	処理事項	件数
戸籍届		488	死体埋火葬許可(栃木市斎場利用なし)	251
住民異動届		2,142		
計		2,630	死胎埋火葬許可(栃木市斎場利用なし)	2
印鑑	登録	527		
	廃止	598	死産届	2
計		1,125	計	255
			合計	4,010

(2)　謄抄本証明書等交付件数

種別		件数(件)	金額(円)	種別		件数(件)	金額(円)
戸籍	全部事項証明	2159	971,550	住民票	世帯全員	1,664	332,800
	個人事項証明	615	276,750		個人	3,875	775,000
	除籍謄本	1707	1,280,250		証明	146	29,200
	除籍抄本	11	8,250		閲覧	－	－
	戸籍証明	34	11,900		年金現況証明	－	－
	受理証明	－	－		戸籍の附票	152	30,400
	廃棄証明	－	－		公用	125	－
	出産証明	－	－		広域	－	－
	不受理証明	－	－		住基カード(有料)	12	6,000
	公用	110	－		住基カード(無料)	17	－
	計	4636	2,548,700		計	5,991	1,173,400
証明書	印鑑証明	5,339	1,067,800	その他	印鑑登録	538	107,600
	諸証明	69	13,800		印鑑登録廃止	598	－
	身分証明	198	39,600		臨時運行許可証	229	171,750
	住居表示証明	－	－		労基証明	－	－
	公用	29	－		人口統計	－	－
	選挙証明	0	－		公的個人認証	18	9,000
	計	5,635	1,121,200		計	1,383	288,350
合計					17,645 件		5,131,650 円

(3)　斎場及び霊きゅう車等使用許可件数

ア　佐野斎場

種類	区分		件数(件)		金額(円)
斎場	組織市町住民	12歳以上	245	247	－
		12歳未満	－		
		死産児	2		
		身体の一部	－		
		改葬遺体	－		
		包衣汚物	－		
	組織市町住民以外	12歳以上	6	6	100,000
		12歳未満	－		
		死産児	－		
		身体の一部	－		
		改葬遺体	－		
		包衣汚物	－		

計			253	100,000
霊きゅう車	往　路	組織市町住民	241	602,500
		組織市町住民以外	4	20,000
	復　路	組織市町住民	240	600,000
		組織市町住民以外	4	20,000
計			489	1,242,500
待　合　室		組織市町住民	239	717,000
		組織市町住民以外	5	30,000
計			244	747,000
特別ホール（控室含む）		組織市町住民	3	60,000
		組織市町住民以外	1	－
計			4	60,000
霊　安　室		組織市町住民	3	21,000
		組織市町住民以外	－	－
計			3	21,000
合　計			993	2,170,500

イ　栃木市斎場

種　類	区　分		件　数(件)		金　額(円)
斎　場	市　内	大　人	8	8	－
		小　人	－		
		死産児	－		
	市　外	大　人	1	1	－
		小　人	－		
		死産児	－		
計				9	－
霊きゅう車	往　路	市　内		－	－
		市　外		－	－
	帰　路	市　内		－	－
		市　外		－	－
計				－	－
待　合　室		市　内		8	24,000
		市　外		1	6,000
計				9	30,000
合　計				18	30,000

(4)　(1)～(3)のうち延長窓口処理件数

種　　別	件　数(件)
戸籍謄抄本等交付	53
住民票写し等交付	56
印鑑登録証明書交付	53
印鑑登録	8
戸籍届	2
住民異動届	16
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	－
臨時運行許可証交付	－
窓口及び電話による相談、問合わせ等	50
合　　計	238

5　部屋出張所発行件数

種　　別	件　　数（件）
戸籍謄抄本等交付	602
住民票写し等交付	742
印鑑登録証明書交付	879
印鑑登録	64
印鑑登録廃止	100
諸証明交付	44
市税収納	1,915
その他	358
合　　計	4,704

6　一般旅券申請・交付件数　　（単位：件）

	申請	交付		申請	交付
4月	23	20	10月	21	20
5月	21	22	11月	25	20
6月	20	23	12月	23	20
7月	34	27	1月	30	30
8月	42	30	2月	26	30
9月	28	42	3月	22	24
			合計	315	308

保険年金担当

1　国民健康保険の給付等に係る申請の受付等に関すること

(1)　高額療養費の受付状況　（単位：件）

高額療養費(一般分)	586
高額療養費(退職分)	18
限度額適用認定証(標準負担額現額認定証を含む)	190

(2)　療養費の受付状況　（単位：件）

療養費受付件数	66

(3)　出産育児一時金の受付状況　（単位：件）

出産育児一時金受付件数	1

(4)　葬祭費の受付状況　（単位：件）

葬祭費受付件数	37

(5)　人間ドック検診の受付状況　（単位：件）

人間ドック受付件数	一般ドック	76
	脳ドック	10

(6)　医療費通知の発送状況

回数	対　象　月	件　数(件)	発　送　月
1	平成 22 年 12 月・平成 23 年 1 月診療分	2,346	6 月
2	平成 23 年 2 月・平成 23 年 3 月診療分	2,316	8 月
3	平成 23 年 4 月・平成 23 年 5 月診療分	2,312	9 月
4	平成 23 年 6 月・平成 23 年 7 月診療分	2,314	1 2 月
5	平成 23 年 8 月・平成 23 年 9 月診療分	2,307	1 月
6	平成 23 年 10 月・平成 23 年 11 月診療分	2,299	3 月
計		13,894	―

2　後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

申請書種類	件　　数（件）
資格関係届出	360
高額療養費申請	147
その他の療養費申請	77
葬祭費申請	166
被保険者証等再交付申請	108
合　　計	858

3　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1)　重度心身障がい者医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	79

(2)　こども医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	451

(3)　妊産婦医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	125

(4)　ひとり親家庭医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	151

4　不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その２分の１の額(10万円を限度に通算５回)を補助するため、窓口での申請受付を行った。

申請受付件数　（単位：件）

補助申請件数	3

5　国民年金各種申請の受付等に関すること

(1)　諸届の受理件数　（単位：件）

種別	件数	種別	件数
新規取得届	109	転居届	45
新規取得申出	－	氏名変更届	16
再取得届	227	訂正･取消･不在	8
再取得申出	－	転出届	97
付加年金取得届	12	法定免除該当届	18
付加年金喪失届	1	法定免除消滅届	4
資格喪失届	97	手帳再交付届	16
資格喪失申出	1	種別変更届	63
死亡届	5	その他	26
転入届	46	計	791

(2)　免除申請受理件数

種類	件数（件）
免除・納付猶予申請	267
学生納付特例申請	103

(3)　国民年金請求受理件数

給付種類	件数（件）
老齢基礎年金	22
障害基礎年金	13
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	8
未支給年金	147
老齢福祉年金	－
計	190

(4)　月平均相談件数

相談の内訳	件数（件）
来訪相談	55
電話相談	11
文書相談	－
計	66

生活環境交通担当

1　環境基礎調査事業

地下水水質調査

地域内にある一般廃棄物最終処分場について、次のとおり水質調査を実施した。

(1)　市単独調査

・調査箇所　処分場内地下水及び放流水

・調査期間　通年

・調査項目　ｐＨ、ＢＯＤ、ＣＯＤ，ＳＳ、大腸菌群数

(2)　県市合同調査

・調査箇所　処分場近隣住宅及び処分場内の地下水及び放流水並びに近隣河川等の水質及び底土

・調査期間　年４回

・調査項目　カドミウム、水銀、鉛、ひ素、シアン、ＰＣＢ等、各箇所ごとに７～３０項目

2　佐野斎場・霊きゅう車使用状況　（単位：件）

区　分	斎場					霊きゅう車
	大　人	小　人	死産児	身体の一部	計	
市　内	213	－	2	－	215	207
市　外	38	－	－	－	38	37
計	251	－	2	－	253	244

3　改葬許可件数　0件

4　市営墓園使用許可状況　（単位：区画）

種別及び面積	造　成　数	許　可　数
栃木市藤岡中根墓地	270	238
栃木市藤岡太田墓地	78	53
計	348	291

5　公害関係

(1)　大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	－	－	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(2)　水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	－	1	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(3)　騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	－	1	－	－	3
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－	3

(4)　振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	－	－	－	－	3
県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－	2

(5)　その他

公害苦情受付件数　　（単位：件）

大　気	水　質	騒　音	振　動	悪　臭	土　壌	その他	合　計
3	－	3	－	2	－	－	8

6　一般廃棄物の収集

５種１３分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週２回、もやさないごみはおおむね月２回、資源物のうち、紙類は月２回、空カン・空ビン、ペットボトル、食品用トレイはおおむね月２回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料で戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1)　ごみ収集搬入量　　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合　計
		紙　類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
3,472.33	371.02	379.78	183.76	60.82	47.43	4,515.14

(2)　もやすごみの収集搬入状況　　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	合　計
19.09	2,875.59	577.65	3,472.33

(3)　もやさないごみの収集搬入状況　　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	合　計
4.63	350.02	16.37	371.02

(4)　資源物の収集搬入状況　　（単位：ｔ）

種　類	直　営	委　託	直接搬入	合　計
紙　類	2.22	377.56	－	379.78
空カン・空ビン	－	182.65	1.11	183.76
ペットボトル・トレイ	－	60.73	0.09	60.82
合　計	2.22	620.94	1.20	624.36

(5)　粗大ごみの収集搬入状況　　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	減　免	合　計
10.09	6.14	28.79	2.41	47.43

(6)　休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況　　（単位：頭）

犬	猫	その他	合　計
18	88	4	110

(7)　し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量(佐野地区衛生センター)　（単位：kl）

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合　計
1281.03	2242.01	3523.04

(8)　環境美化キャンペーンの実施

市民や事業者の方々と相互に協力し、一体となって美化活動などを進めるため、次のとおり環境美化キャンペーンを実施した。

・実施日時　５月２９日(土)
・場　　所　地域内各地
・内　　容　ごみ拾い
・参加人数　約5,000人

7　不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、環境美化監視員を設置し、地域内の巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

(1)　地区別不法投棄物回収件数　　（単位：件）

区分／地域	生活系廃棄物	家電４品目	電化製品	粗大ごみ	産業廃棄物	その他	計
藤　岡	11	7	5	8	－	－	31

(生活系廃棄物は１事例につき１件、それ以外は１台につき１件として集計)

(2)　不法投棄調査件数１８件(うち不法投棄者等指導　０件)

8　狂犬病予防業務

(1)　犬の登録　　（単位：頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
75	97	1,210

(2)　狂犬病予防注射

ア　第１次集合注射

・実施期間　4月
・実施会場　地域内　１６会場
・実施数　　５００頭

イ　第２次集合注射

・実施期間　１０月

・実施会場　地域内　４会場

・実施数　　９５頭

ウ　個別注射

・実施方法　各動物病院等において個別に実施

・実施数　　２４１頭

9　市民相談事業

(1)　無料法律相談

・実施日　偶数月第３火曜日

・会　場　藤岡公民館

・相談件数　２４件

(2)　行政相談

・実施日　毎月第２火曜日

・会　場　藤岡公民館

・相談件数　１２件

10　男女共同参画関係

(1)　男女共同参画啓発事業

・啓発物資配布

イベント会場にて、ポケットティッシュ、パンフレット等啓発物資の配布を行った。

・男女共同参画広報紙の編集協力

男女共同参画広報紙「きらら（第２号）」を平成２４年３月に栃木市全戸に配布した。

(2)　女性団体活動支援

藤岡町女性団体連絡協議会の活動支援

月　日	事　業　名	内　容
5月29日(日)	みずウォーク渡良瀬遊水地大会	給水サービス
6月11日(土)	総　会	
	研修会「地域のつながりと生きがい」	講師　市社会教育指導員
10月7日(金) ～10日(月)	渡良瀬バルーンレース	豚汁提供サービス
12月1日（木）	視察研修会	富岡製糸場(群馬県富岡市)ほか

11　青少年行政関係

(1)　青少年健全育成啓発事業

イベント会場にて､ポケットティッシュ､パンフレット等啓発物資の配布を行った。

(2)　立志式補助金事業

次世代の栃木市を担う青少年の成長を祝福するとともに、健全育成に資することを目的とし、立志式記念事業に対し助成した。

・対象学校　藤岡第一中学校、藤岡第二中学校

12　消費者行政関係

(1)　啓発物資配布

イベント会場にて､ポケットティッシュ､パンフレット等啓発物資の配布を行った。

(2)　消費者団体の活動支援

藤岡町消費生活友の会の活動支援

消費生活への関心を深める一助として、リサイクル石けんの作製、販売、無料配布等を行った。

13　交通関係

(1)　交通安全運動

平成23年中の交通事故発生件数は、前年より47件減の521件、死者数は前年より2名減の9人、負傷者数は84人減の642人である。事故発生件数・負傷者数の中で高齢者の占める割合が多い。今後も交通事故防止のため、市民一人ひとりが交通ルールを順守し、交通マナーの一層の向上に努める必要がある。

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出、小中学校交通安全教室の開催。

・期間　５月１１日(水)～２０日(金)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙による広報、のぼり旗、立看板掲出、児童交通安全教室の開催。

・期間　９月２１日(水)～３０日(金)

ウ　交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰と大会宣言などを行った。

・日付　１２月１６日(金)

・場所　栃木文化会館

・参加者　約７００人

エ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報、交通安全教室の開催。

・期間　１２月１１日(日)～３１日(土)

(2)　交通安全教室の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることに鑑み､交通教育指導員や栃木警察署職員による交通安全教室を次のとおり開催した。

・実施状況

対象者	回　数(回)	参加者数(人)
幼　児	6	450
小中学校児童･生徒	6	250
合　計	12	700

(3)　その他の交通安全対策

ア　交通指導員の設置　藤岡地域内10人委嘱

イ　交差点等危険箇所へカーブミラーの設置を行った。

14　防犯関係

(1) 防犯灯の設置　（単位：基）

区　分		設置灯数
新設工事	本柱へ新設・小柱新設	11
修繕工事	移設・撤去・修理	542
合　計		553

(2) 防犯活動

栃木警察署管内1市2町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

・会議等

・地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

人権推進担当

1　啓発事業の実施

(1)　啓発活動の実施

人権教育の指導者の育成と資質の向上を図るため、藤岡地域の住民を対象に指導者研修会を実施した。

人権教育啓発推進事業（藤岡地域）（本庁人権推進課にも掲載）

人権教育指導者研修会

・実施日　１月１７日(火)

・場　所　藤岡公民館(大会議室)

・内　容　演題　よき日のために

講師　部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞　氏

・参加者　５９人

・関係課等　藤岡総合支所　健康福祉課　藤岡教育支所

(2)　市民啓発

人権尊重思想の普及と高揚を図るためイベント会場及び街頭において啓発を実施し、啓発用品の配布を行った。

ア　「ふくしまつり会場」における啓発の実施

・実 施 日　１０月１６日（日）

・啓発場所　藤岡公民館及び藤岡文化会館

・参 加 者　市職員２人、人権擁護委員４人

・配 布 物　おしぼり、ポケットティッシュ、ウエットティッシュ

イ　街頭における啓発の実施

・実 施 日　１２月２日（金）

・啓発場所　とりせん藤岡店

・参 加 者　藤岡地域自治区長、市職員２人、人権擁護委員５人

・配 布 物　おしぼり、簡易マスク

(3)　企業啓発

企業内における人権啓発を計画的、継続的に実施するよう企業訪問を実施し、啓発用品の配布を行った。

ア　１回目

・実施日　８月５日（金）

・訪問企業　藤岡地域内１６社

・参 加 者　市職員３人、人権擁護委員５人

・配 布 物　冊子、ペーパーファン、ミニレジャーシート等

イ　２回目

・実施日　１２月２日（金）

・訪問企業　藤岡地域内１８社

・参 加 者　人権擁護委員６人

・配 布 物　クリアファイル、カットバン綿棒セット、おしぼり等

２　人権擁護委員関係

(1)　人権相談

人権相談を実施したほか、特設相談を２回実施した。

・実 施 日　隔月第２水曜日（特設相談月を除く）

・会　　場　藤岡公民館、部屋地区公民館、赤麻地区公民館、三鴨地区公民館

・相 談 員　藤岡地域の人権擁護委員６人（当番制）

・特設相談

人権擁護委員の日	6月1日(水)
人権週間	12月7日(水)

(2)　人権講話及び映画会

藤岡地域の幼稚園及び中学校において、人権擁護委員の講話と人権啓発映画会を行い人権尊重思想の普及高揚を図った。

期　日	場　　所	映 画 タ イ ト ル	参加人数(人)	備　　考
12月 2日(金)	藤岡第二中学校	ひとみ輝くとき	86	
12月 7日(水)	藤岡第一中学校	ひとみ輝くとき	316	人権週間
2月 3日(金)	バンビ幼稚園	ごめんね、ミーちゃん	191	
2月 3日(金)	ふじおか幼稚園	ごめんね、ミーちゃん	133	
計			726	

(3)　「人権の花」運動

若年層に対して行う人権思想の普及、高揚のための啓発活動は、より効果的であることから「人権の花」運動を実施した。児童が相互に協力しながら花を育てることで、やさしさや相手に対する思いやりの心を育むことにより、児童の情操をより豊かにし、人権思想への理解促進を図った。

・実 施 校　三鴨小学校

・参加人数　１９７人

(4)　人権擁護委員の選出

任期満了に伴い法務局からの推薦依頼により、藤岡地域の候補者を選出し議会の議決を経て推薦した。

・推薦　２人（再任１人、新任１人）

3　隣保事業

地域ふれあいの集い

・会　　場　藤岡富吉集会所

・期　　日　１１月１５日（火）

・参加者数　３８人

・内　　容　もちつきととん汁作り

　　レクリェーション

4　研修会等参加状況　（本庁にも掲載）

研　修　会　等　名	期　日	場　　所	参加者(人)
部落解放同盟栃木市協議会第2回総会	4月30日（土）	大平隣保館	1
部落解放同盟栃木県連合会第39回定期大会	5月28日（土）	ゆうゆうプラザ	2
部落解放愛する会栃木県連合会第36回定期大会	6月 4日（土）	小山市文化センター	2
部落解放同盟栃木県連合会女性部第33回定期大会	6月18日（土）	足利市地域福祉会館	1
第８回栃木県人権研究集会	6月25日（土）	とちぎ健康の森	2
平成23年度下都賀地区人権フォーラム	6月30日（木）	野木町エニスホール	2
部落解放第43回東日本研究集会	7月 6日（水） 7日（木）	群馬県みなかみ町	1
映画と講演の集い	8月18日（木）	宇都宮市文化会館	1

部落解放第56回関東女性集会	8月27日（土） 28日（日）	群馬県みなかみ町	1
部落解放同盟栃木市協議会「2011人権セミナー」	8月28日（日）	大平文化会館	2
第13回栃木県ヒューマンライツセミナー	10月4日（火）	パルティ(宇都宮市)	4
部落解放愛する会栃木県連合会「人権講演会」	10月28日（金）	小山市文化センター	6
部落解放愛する会栃木県連合会会員研修会	11月21日（月） 22日（火）	日光市	2
人権を考える市民の集い	12月10日（土）	栃木文化会館	2

5　人権教育

(1)　集会所指導事業

ア　藤岡都賀集会所指導事業

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子どもの広場	5	10.3	88	社会教育指導員ほか
ふれあいのつどい(成人)	5	11.7	111	とちぎ花センター職員ほか
高齢者のつどい	4	7.7	49	板倉マジッククラブ員ほか
計	14	29.7	248	

イ　藤岡富吉集会所指導事業

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
子どもの広場	4	6.7	78	社会教育指導員ほか
ふれあいのつどい(成人)	4	8.0	66	とちぎ花センター職員ほか
高齢者のつどい	4	7.7	78	板倉マジッククラブ員ほか
計	12	22.4	222	

(2)　委員会開催状況

領域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講師
藤岡集会所運営委員会	2	4.0	21	藤岡都賀集会所 藤岡富吉集会所

第４節　健康福祉課

〔統括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当、健康増進担当、こども担当で編成されている。

福祉担当では、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関すること。また、身体・知的・精神障がい者手帳の交付をはじめ障がい者を取り巻く環境や生活上の問題等について、相談支援や各種福祉サービスの提供等きめ細やかな対応に努めた。また、戦没者等遺族会等の社会福祉団体の育成指導に関すること、生活保護等生活困窮者の相談支援を行った。

介護高齢担当では、本庁の高齢福祉課と連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会を目指して、各種高齢福祉事業の実施及び介護保険の各種申請受付等業務を実施した。また、第４期藤岡町介護保険事業計画に基づき、地域支援事業の介護予防事業及び任意事業を実施した。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持や生活の安定、保健、福祉、医療の向上、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的マネジメントを担い、課題解決に向けて、包括的支援事業等に取り組んできた。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小中学校と連携し小児生活習慣病予防健診、健康教育を実施した。健康づくり事業については、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を行い、自殺予防対策事業では、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図るため、こころの健康教室を開催した。渡良瀬の里では、高齢者をはじめ各世代の人たちが交流を深めるコミュニティの場、健康維持を図る施設として管理運営に努めた。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、子ども手当、赤ちゃん誕生祝い金などの各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業については、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターについては、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換、ストレスや不安を取り除く場として、明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所については、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、一時保育事業の特別保育を実施し、児童の福祉の向上を図った。

福祉担当

1　民生委員児童委員関係

民生委員児童委員４２人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員４人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
217	25	12	29	2	37
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
4	433	34	1,107	1,900	45.2

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
1,474	71	1,551	4,098	2,726	9,920	236.2

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1)　日赤募金

目　標　額	実　績　額	達　成　率
1,957,200円	1,908400円	97.5%

(2)　災害による救援品配布状況

区　分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火　災	3世帯	8人	5枚	5組	3個

(3)　災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
3	－	－	－	－

3　地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

・施設名　藤岡地域活動支援センター
・所在地　栃木市藤岡町都賀３９０－１３
・開所日数　２４３日
・通所延べ人員　1,982人

4　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区　　分		実施状況(人)
交付者数		402
	うち高齢者(80歳以上)	325
	高齢者(65～79歳)	14
	障がい者	47
	腎臓機能障がい者	16

5　身体障がい者の現況（身体障がい者手帳交付状況）

障　が　い　区　分	手　帳　所　持　者　数	平成２３年度中交付者数
視　覚　障　が　い	33	1
聴覚・平衡障がい	70	4
音声・言語・そしゃく障がい	2	1
肢体不自由障がい	317	30
内　部　障　が　い	189	17
複　合　障　が　い	23	2
合　　計	634	55

6　知的障がい者(児）の現況(療育手帳交付者数)　　（単位：人）

区　　分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合　計
	男	女	男	女	
重度(A1･A2)	3	2	24	29	58
中度(　B1　)	4	2	28	16	50
軽度(　B2　)	4	1	12	5	22
合　　計	11	5	64	50	130

7　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区　　分	交付者数(人)	比　率(%)
1　　級	14	22.2
2　　級	37	58.7
3　　級	12	19.1
合　計	63	100.0

(2)　自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成２３年度は１２８人が受給した。

8　身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1)　身体障がい者（児）の補装具交付及び修理　（単位：件）

区分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	－	－	－	－	－	－
	義足	1	－	1	－	－	－
装具	下肢	5	－	5	－	－	－
	靴型	－	－	－	－	－	－
	体幹	－	－	－	－	－	－
	上肢	－	－	－	－	－	－
座位保持装置		1	－	1	－	1	1
盲人安全つえ		－	－	－	－	－	－
義眼		－	－	－	－	－	－
眼鏡	矯正眼鏡	－	－	－	－	－	－
	遮光眼鏡	－	－	－	－	－	－
	弱視眼鏡	－	－	－	－	－	－
補聴器	高度難聴用ポケット型	－	1	1	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	5	2	7	2	－	2
	重度難聴用ポケット型	－	1	1	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	6	3	9	－	6	6
車いす	普通型	－	2	2	－	－	－
	その他	1	3	4	－	－	－
電動車いす		1	－	1	－	－	－
起立保持具		－	－	－	－	－	－
座位保持いす		－	－	－	－	－	－
歩行器		－	－	－	－	－	－
歩行補助つえ		－	－	－	－	－	－
重度障がい者用意思伝達装置		－	－	－	－	－	－
特例補装具		－	－	－	－	－	－
合計		20	12	32	2	7	9

(2)　身体障がい者（児）の日常生活用具の給付　　（単位：件）

区　　分	身体障がい者	身体障がい児
特殊寝台	2	－
特殊マット	－	－
特殊尿器	－	－
移動用リフト	－	－
訓練いす	－	－
入浴補助用具	1	－
体位変換器	－	－
便器	－	－
T字状・棒状のつえ	－	－
移動・移乗支援用具	2	－
頭部保護帽	－	－
特殊便器	－	－
火災警報器	－	－
自動消火器	－	－
聴覚障がい者用屋内信号装置	－	－
透析液加温器	1	－
ネブライザー	－	－
電気式たん吸引器	1	－
点字タイプライター	－	－
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	－	－
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	－	－
視覚障がい者用拡大読書器	－	－
盲人用時計	－	－
盲人用体温計	1	－
盲人用体重計	1	－
点字ディスプレイ	－	－
聴覚障がい者用通信装置	－	－
聴覚障がい者用情報受信装置	－	－
人工喉頭	1	－
携帯用会話補助装置	1	－
情報・通信支援用具	－	－
点字図書	－	－

ストマ用装具	36	－
紙おむつ	4	2
収尿器	－	－
居宅生活動作補助用具	－	－
合計	51	2

9　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）受給状況（単位：件）

種別	給付決定者数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	6
腎臓機能障がい	46
計	52

10　障害者相談支援事業

社会福祉協議会大平支所において、障害者の相談支援を行った。

（数値は大平健康福祉課で計上）

11　身体障がい者等福祉関係

・身体障がい者の自立更生について、２人の相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1　高齢者人口・生活態様別統計

(1)　高齢者人口（毎年４月１日現在）

区分＼年度	H21年度	H22年度	H23年度
総人口(人)	17,890	17,666	17,412
65歳以上人口(人)	4,626	4,662	4,675
総人口に対する割合(%)	25.86	26.39	26.85

(2)　高齢者生活態様（毎年４月１日現在）　（単位：世帯）

区分＼年度	H21年度	H22年度	H23年度
65歳以上独居世帯	455	―	385
65歳以上のみ世帯	518	―	426

2　敬老事業

９月１日において､栃木市に１年以上お住まいの方を対象に､年度年齢にて対応とし、下記の事業を実施した。

藤岡地域にて実施していた８８歳の方を対象にした祝品の配付は、平成２２年度にて終了した。本庁一括予算で、旧藤岡町の経過措置はなし。９５歳以下の配付対応は、民生委員の協力を得た。

区　分	支給額(円)	対象人数(人)
８５歳	10,000	137
９０歳	20,000	65
９５歳	30,000	26
１００歳	100,000	2
１０１歳以上	50,000	7

3　敬老会事業

敬老事業を実施した、老人クラブ・自治会等に補助金を交付した。

・交付基準額　　対象地域在住８０歳以上１人につき、1,000 円
・交付状況　　老人クラブ１６団体（４６自治会分）
　　自治会等　１５団体（２７自治会分）
・交付額　　1,324,000 円　　※本庁高齢福祉課予算

4　老人クラブ育成指導事業

藤岡町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

・単位老人クラブ数（藤岡地域）　　１６クラブ
・藤岡町老人クラブ連合会会員数　　1,016 人
・助成金額　　単位老人クラブ助成　　811,000 円　※本庁高齢福祉課予算
　　藤岡町老人クラブ連合会　370,000 円　※本庁高齢福祉課予算

5　老人スポーツ大会（藤岡町老人クラブ連合会主催、事務局社会福祉協議会藤岡支所）

個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。また、藤岡地域の保育園児とのダンス、各種サークルのダンス等を行い、世代間の交流を行った。

・開催日　　１１月１１日（金）
・会　場　　藤岡総合体育館

6　高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（１食３００円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認も行った。(合併により平成２２年度より開始)

・宅配個数　　3,554 個（実人員　４１人）

・宅配業者　　（株）金時給食センター
　　（有）ききょう

7　老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。（入所措置は本庁介護保険課で実施）

・養護老人ホーム入所措置支援　　4件
・特別養護老人ホーム入所措置支援　1件

8　日常生活用具購入費等助成事業

おおむね６５歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費等助成を行った。

	品　目	件　数(件)
購入費助成	老人福祉車	31
	小型暖房器具	20
	電磁調理器	－
	火災警報器	－
	自動消火器	－
レンタル料助成	電動小型吸引機	－
	特殊寝台	－
	じょく創予防用具	－

9　緊急通報装置給付等事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　　（単位：台）

既設置台数	23年度設置台数	23年度撤去台数	計
104	8	26	86

10　介護予防・生活支援事業

軽度生活援助員派遣委託事業・在宅老人短期入所委託事業については、合併により平成２２年度より開始した。デイサービス事業・寝具洗濯乾燥消毒等サービス事業については、平成２２年度にて終了した。

事　業　名	利用者数（人）	延べ回数等
緊急ホームヘルパー派遣委託事業	3	32月
軽度生活援助員派遣委託事業	6	住まい営繕等　18時間 除草・家事援助　63時間
在宅老人短期入所委託事業	－	－

11　高齢者世帯等家事支援事業

本事業は、栃木県緊急雇用創出事業補助による３か年事業の３年目となった。ホームヘルパーを６か月間雇用し、虚弱な独居老人等を対象とした、介護保険サービス等の家事援助等を行った。

内　容	支援数（世帯）	延べ数(回)
家事支援等	44	170
高齢者状況把握	15	15

12　高齢者生きがいセンター管理運営委託事業

栃木市藤岡高齢者生きがいセンターの管理を、栃木市シルバー人材センターに委託した。

13　介護保険業務各種受理状況

内　　容	件数(件)
要介護認定要支援認定申請　相談・受付・入力	776
介護保険被保険者証等再交付申請　受付・発行	91
介護給付費過誤申立　受付・入力（過年度分のみ）	16
介護保険住所地特例適用届　受付・入力・被保険者証発行	6
転入・転出・転居　資格管理等	3
転送希望届申請　受付・入力	27
居宅サービス計画作成依頼届　受付・入力	217
短期入所の 30 日を超える連続利用申請　受付・決定発行	12
短期入所の有効期間の半数超過利用申請　受付・決定発行	9
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請　受付・決定発行	19
福祉用具購入費支給申請　受付・入力	36
住宅改修費支給申請　受付・入力・事前教示	34
高額介護サービス費支給申請　受付・入力	72
負担限度額認定証の交付申請　受付・決定発行	116
障がい者控除対象者認定申請　受付・決定発行	20
オムツ使用証明申請　受付・発行	1
介護保険事業者事故報告　受付	0

14　介護予防事業

(1)　二次予防事業

ア　二次予防事業対象者把握事業

平成２２年８月の地域支援事業実施要綱改正により、対象者の把握は、基本チェックリストの該当項目により決定と変更になったため、２３年度においてはすべて

の該当者に基本チェックリストを郵送し、回答を得た。

・実施状況　（単位：人）

	基本チェックリスト回答数	生活機能評価実施数	新規二次予防事業対象者把握数
平成２１年度	2,944	531	98
平成２２年度	2,904	734	304
平成２３年度	3,292	―	1,094

イ　通所型介護予防事業

藤岡地域では、二次予防事業対象者（特定高齢者）に対して、運動器機能向上、栄養 改善、口腔機能向上等すべてを含めた、複合プログラムにて実施、活動的で生きがいのある生活が維持できるよう支援した。

・開催回数　4クール　計48回

・実施状況　（単位：人）

６５歳以上（年度末）	二次予防事業対象者数(年度末)		参加実数	参加延べ人数
4,744	前年度継続数	290	71	776
	新規把握数	1,094		

ウ　訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者（特定高齢者）に対して実施される事業であるが、平成２３年度は該当者なしであった。

(2)　一次予防事業

ア　介護予防普及啓発事業

６５歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

事 業 名	開催回数(回)	参加者延べ人数(人)
転倒予防運動教室	28	535
健康相談	29	564
老人クラブ健康教室　口腔機能向上	2	34
老人クラブ健康教室　こころの健康づくり	7	160
口腔機能向上	12	186
栄養改善	12	200
認知症予防	1	19
福祉まつり時普及啓発	1	―
計	92	1,698

イ　地域介護予防活動支援事業

介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援として、藤岡地域内の自主組織「折鶴会」等を支援。事業の企画立案の支援及び活動支援を行った。

15　任意事業

(1)　介護給付等適正化事業

本庁にて作成した適正化の通知を、転送・転出・死亡等の確認後郵送を実施した。

(2)　家族介護継続支援事業

在宅の要介護認定３・４・５いずれかに認定された者を常時介護している家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減を目的として、介護慰労のための介護手当の支給（月額 3,000 円）、また、同認定者に対し、紙おむつ購入費の助成（月額 3,500 円）を実施。

・実施状況

	上半期		下半期		合　計
	実人員(人)	延べ支給月数(月)	実人員(人)	延べ支給月数(月)	延べ支給月数(月)
介護手当	156	622	149	689	1,311
紙おむつ購入費の助成	138	538	129	581	1,119

(3)　地域自立生活支援事業

平成２２年度まで、この事業において実施した老人福祉車の購入費助成については、日常生活用具購入費等助成事業として実施。

16　その他の高齢者支援事業

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。また、地域ケア会議については、会議としての検討事例はなかったが、困難事例の処遇については、適宜関係者のみで検討を行った。

	実件数(件)	延べ件数(件)	開催回数(回)
面接	272	318	
電話相談		79	
家庭訪問	62	108	
連絡調整		45	
地域ケア会議			-

17　地域包括支援センター

(1)　地域包括支援センター設置状況

藤岡地域包括支援センター	栃木市藤岡町藤岡 1022-5　藤岡総合支所　健康福祉課内

(2)　包括的支援事業

ア　介護予防ケアマネジメント事業

本庁一本にて６５歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

その他、指定介護予防支援事業者として、要支援者を対象とする予防給付のケアマネジメントを実施することにより、連続的で一貫性のある介護予防ケアマネジメントを行った。

・二次予防事業対象者把握状況　（単位：件）

藤岡地域配布件数	3,976
藤岡地域回答件数	3,292
二次予防事業対象者候補者数	1,242

・二次予防事業対象者の決定　（単位：件）

二次予防事業対象者の決定数	1,094

・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況（単位：件）

地域包括支援センターによる作成件数	71

・要支援１・２の介護予防サービス計画作成状況（実人数）（単位：件）

地域包括支援センターによる作成件数	64
事業者委託件数	76
合　　計	140

・サービス担当者会議実施状況　（単位：件）

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	42

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況　（単位：件）

地域包括支援センターによる作成件数	10

イ　総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していくことができるよう、地域関係者とのネットワークを構築するとともに、各種相談を幅広く受け付けた。

また、２か所のブランチ（地域包括支援センター窓口協力業務委託）に委託し、高齢者状況調査を実施。独居高齢者及び高齢者世帯の状況を把握し、適宜必要な支援を行った。

		延べ件数(件)
地域包括支援センター	面接	35
	電話相談	443
	家庭訪問	737
ブランチ委託	高齢者状況調査	300

ウ　権利擁護事業

高齢者の権利を守るため、市担当部局と連携し、専門的・継続的な支援を行った。

実施状況

	件数（件）
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	17
高齢者虐待に関すること	5
合　計	22

(3)　包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1　生涯すこやかふじおか２１プラン推進事業

「妊娠出産期・乳幼児期」「学童期」「思春期」「青年期」「壮年期」「高年期」の６つのライフステージ毎に、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

・乳児健診・離乳食指導等において、保護者の健康づくりの重要性について啓発
・乳幼児健診（４か月児・１歳６か月児）において、受動喫煙の害について啓発
・家族と子どもの料理教室の開催
・小児生活習慣病予防事業の実施
・脱メタボ！健康教室等を開催し、運動の重要性について啓発
・ふくしまつり、産業祭等のイベントにおいて、禁煙教育を実施
・ふくしまつり、産業祭において、歯周疾患予防教育を実施

2　母子保健事業

(1)　妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対して母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠･出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況　（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
		妊娠届出	双　胎	紛失等
87	93	87	―	6

(2)　健康診査

ア　妊婦健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、１人につき１４回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ　妊婦歯科健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ　乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。１歳６か月児や３歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区　　分	実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	要観察（人）	治療中（人）	要治療（人）	要精検（人）
乳児健康診査（４か月児）	12	88	87	98.9	10	13	4	-
乳児健康診査（９か月児）	12	104	103	99.0	17	14	2	4
１歳６か月児健康診査	7	119	119	100.0	30	22	1	3
３歳児健康診査	6	116	108	93.1	24	15	1	17

エ　２歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ｱ)　歯科健康診査

実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	う歯のある児（人）
6	95	71	74.7	8（11.3%）

(ｲ)　保健師による２歳児育児相談

・参加者延べ人数　１０人

オ　乳幼児発達相談(２次健診)（数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平･藤岡地域で合同開催し大平会場で実施した。

カ　乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

３～４か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3)　健康教育

ア　両親(母親)教室

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。

・実施数　４回１コース

・参加者　（単位：人）

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
27	8	2	5	1

イ　すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では２～５か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施数　２回１コース（年６コース）

・参加者延べ数　８７組

・内容　離乳食教室、ベビーマッサージ講習、子育てアドバイス等

ウ　健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)（数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上）

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平･藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

エ　思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情を高めるため、小中学校の児童生徒とその保護者を対象に、保健教育を行った。

対　　象		実施回数(回)	参 加 人 数(人)
授業協力	小　学　校	1(1校)	25
講演会※	中　学　校	1(1校)	104　保護者12

※小児生活習慣病予防健康教育と同時実施

オ　小児生活習慣病予防事業

小児肥満や小児生活習慣病の実態を把握し、小児生活習慣病予防健診や健康教育を行った。

(ｱ)　小児生活習慣病予防健診

対　象	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)
小学4年生	4(4校)	133	132
中学1年生	2(2校)	136	132

(ｲ)　小児生活習慣病予防健康教育

対　　象	実施回数(回)	参　加　人　数(人)
小学4年生とその保護者	1(1校)	28　保護者25
中学1年生とその保護者	1(1校)	104　保護者12

(ｳ)　学校との情報交換

事 業 名	対　　象	実施回数(回)
学校保健委員会	学校保健委員	2（2校）

カ　だっこだっこ絵本事業

９か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

・実施回数　１２回(９か月児健康診査終了後)

・参加者延べ数　１０３組

キ　フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と１市２町の共催で小学１年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。（年１回）

・フッ素塗布者数　（単位：人）

小学１年生	年長児	合　計
45	30	75

ク　よい歯のコンクール（数値は本庁健康増進課で一括計上）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、３歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(３歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの１次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の２次審査に推薦した。

(4)　健康相談

ア　子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。個別相談のほか、身体計測、発達チェック及び離乳食やおやつの摂り方についてのグループ指導等を実施した。

・実施回数　１２回

・参加者延べ数　２１０人（１０５組）

イ　５歳児発達相談

３歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に､市内幼稚園､保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況　（単位：人）

受診数	結　果　内　訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診･医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
120	66	6	26	11	5	6

ウ　新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

・指導実数　６件

・指導延べ数　７件

エ　こんにちは赤ちゃん事業

生後４か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

・訪問数　８６件

(5)　母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（藤岡地域２２人）が、妊産婦や乳児の家庭訪問及び子育て教室の協力を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数(件)	77	25	20	122

3　特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を行った。

(1)　特定健康診査、後期高齢者健康診査及びヤング健診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

・実施回数　１５回

・実施場所　藤岡保健福祉センターほか

(2)　特定保健指導

区　　分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	35	25	71.4
動機付け支援	68	51	75.0
合計	103	76	73.8

(3)　メタボ予防講座（特保該当者）

ア　食と体のおもしろ体験講座

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養指導を行った。

・実施回数　７回

・参加延べ人数　１５人

イ　チャレンジ運動教室

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

・実施回数　１４回

・参加延べ人数　１０人

4　健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）等を行った。

・集団健診実施回数　１５回

・集団健診実施場所　藤岡保健福祉センターほか

5　結核検診事業

結核の早期発見、早期治療を図るため、下都賀郡市医師会病院に委託し、胸部レントゲン検査を各会場で行った。

・実施会場数　４５会場

・受診者数　　２,０８３人

6　健康づくり事業

(1)　健康教育

ア　食と体のおもしろ体験講座（特保該当者の講座と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養指導を行った。

・実施回数　７回

・参加延べ人数　１６人

イ　チャレンジ運動教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

・実施回数　１４回

・参加延べ人数　２２５人

ウ　歯周疾患病予防教育

歯の健康やセルフケアの基本方法等について指導を行った。

・実施回数　２回

・参加延べ人数　９３人

エ　出前講座

地域や団体において、生活習慣病予防を図るための健康講話等を行った。

・実施回数　３回

・参加延べ人数　６１人

(2)　健診結果説明会

・実施回数　１５回

・参加人数　８８人

(3)　健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

・実施回数　７回

・延べ相談者数　１５人

・内容　保健師・管理栄養士による個別相談

(4)　病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

・実施回数　１０回（定期ほか１回含む）

・延べ相談者数　１４人

・内容　管理栄養士による個別指導

・指導内訳　　（単位：件）

糖尿病	10	高血圧	7	脂質異常症	4
肝臓病	－	腎臓病	1	その他	1

7　自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解することや自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1)　老人健康教室

・各地区公民館　７回

・参加人数　１６０人

(2)　啓発

各種事業時において、自殺予防相談窓口や自殺予防のための内容を含めたチラシ、パンフレット及びポケットティシュ等啓発物品を配布した。

8　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1)　定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア　集団接種

ポリオ投与(小児マヒ)

・実施回数　４回

・実施場所　藤岡福祉センター（現 藤岡公民館）

イ　個別接種

ＢＣＧ、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2)　任意予防接種

小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌ｂ型（ヒブ）ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン､小児インフルエンザを各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9　地域保健対策推進事業

(1)　健康まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、ふくしまつり及び産業祭に参加し地域における健康づくりを推進した。

ア　ふくしまつり

・実施日　１０月１６日(日)

・場　所　藤岡公民館

・参加者　健康チェックコーナー　６１人

歯周疾患検査・ブラッシング指導　４３人

減塩みそ汁試飲コーナー　５７人

イ　産業祭

・実施日　１１月２６日(土)

・場　所　藤岡総合体育館
・参加者　健康チェックコーナー　８８人
　　歯周疾患検査・ブラッシング指導　５０人
　　減塩みそ汁試飲コーナー　８５人

(2)　食生活改善地区組織活動

栃木市食生活改善推進団体連絡協議会藤岡支部（会員数28人）では、地域住民を対象に、食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会などを行った。

・各講習会　４回
・参加人数　８８人

(3)　地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数　１３６世帯
・保健師訪問指導延べ人数　２３５人

内訳　（単位：件）

精神保健	59	妊産婦	73	乳幼児	75	生活習慣病	1
新生児	7	低体重児	－	他の疾患	－	その他	19
心身障がい	－	結核	1				

10　献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	19	3	7	7	17	2

11　藤岡保健福祉センター利用状況

区　分	会議室	検診ホール	調理実習室	その他	合　計
利用者数(人)	－	123	－	－	123

※１０月開館。当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。

12　渡良瀬の里利用状況

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、カラオケ、グランドゴルフの利用できる施設として運営しており利用状況は次のとおりである。

(1)　利用状況

・年度別利用者数

年度／区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用者数	28,107 人	27,182 人	24,693 人

・開館日数　２９４日
・１日平均入場者　８４．０人

・月別内訳　　（単位：人）

区分／月別	市内（人）	市外（人）	小学生以下（人）	障害者（人）	回数券利用		計（人）	利用料（円）	開館日数（日）
					市内（人）	市外（人）			
4	578	167	6	104	139	19	1,013	128,400	17
5	1,246	383	24	199	271	32	2,155	256,400	25
6	1,239	455	20	169	225	33	2,141	248,800	26
7	1,494	347	13	187	208	28	2,277	249,000	27
8	987	344	44	196	208	21	1,800	206,900	26
9	1,216	258	33	188	236	48	1,979	204,700	26
10	1,362	352	31	206	223	19	2,193	237,500	26
11	1,299	422	34	195	175	26	2,151	257,300	24
12	1,303	293	22	187	216	12	2,033	213,100	23
1	1,374	306	24	222	290	21	2,237	246,800	23
2	1,506	265	12	239	324	26	2,372	238,300	25
3	1,502	240	15	261	300	24	2,342	221,400	26
計	15,106	3,832	278	2,353	2,815	309	24,693	2,708,600	294

(2)　イベント状況

事業名	実施回数(回)	備　　考
カラオケ大会	10	4月、10月を除く10か月に実施
歌謡ショー	11	毎月10日に実施(4月は臨時休館)

こども担当

1　放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を充分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、藤岡地域4か所の小学校区内において実施した。

・放課後児童会入会者数　　(単位:人)

学年／児童会名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
部屋（部屋小）	5	5	10	5	5	10	6	10	16	16	20	36
藤岡（藤岡小）	1	1	2	1	5	6	2	7	9	4	13	17
赤麻（赤麻小）	3	4	7	1	5	6	2	3	5	6	12	18

三鴨（三鴨小）	1	－	1	5	－	5	3	1	4	9	1	10
計	10	10	20	12	15	27	13	21	34	35	46	81

2　幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満３歳児、３歳児、４歳児及び５歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金交付事務を行った。

(1)　国庫補助事業

・交付対象人数　２１３人

・交付金額　23,101,900円

(2)　県補助事業

・交付対象人数　４人

・交付金額　498,000円

(3)　市単独補助幼稚園第三子以降支援特別就園奨励費補助事業

・交付対象人数　２７人

・交付金額　4,750,800円

(4)　市単独補助幼稚園補助対象外児特別就園奨励費補助事業

・交付対象人数　３８人

・交付金額　228,000円

3　地域子育て支援センターふじおか

(1)　利用者数推移　（単位：人）

年齢／年度	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	６歳	保護者	合　計
21年度	240	375	133	44	3	1	1	710	1,507
22年度	263	331	344	102	3	1	2	822	1,868
23年度	279	777	543	237	32	20	13	1,557	3,458

(2)　活動状況

ア　定例遊び

わくわくタイム

・実施曜日　毎週金曜日

・実施日時　午前１０時３０分～１１時３０分

・実施内容　集団親子活動を行い、歌、ふれあい遊び、体操遊び、季節の製作、紙芝居や絵本の読み聞かせ等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　１３回

・参加者　延べ２６７人

イ　特別活動

No	活　動　名	参加人数(人)
1	子育て講話	8
2	子育てヨガとアラカルト	52

3	親子リトミック	103
4	身体手形測定（4回）	199
5	クリスマス会	115
6	親子ビクス	39
7	豆まき	56
8	おたのしみ広場	56
9	ひな祭り	57
10	おたのしみ会	63
合　計		748

ウ　子育て相談

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	4	4	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	6	6	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い　ほか	3	3	0
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康　ほか	3	3	0
ことばに関すること	発語が遅い・幼児語　ほか	0	0	0
対人関係	他の子とのかかわり　ほか	1	1	0
その他	性格・育児依頼・入園・病気・親のストレス・家庭環境・祖父母との関わり　ほか	10	10	0
合　計		27	27	0

4　子ども手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者へ案内・受付を行った。

・子ども手当受付件数　２２５件

5　赤ちゃん誕生祝い金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、藤岡町内在住の第三子以降の赤ちゃんの誕生に祝金を交付した。（経過措置）

児童の健やかな成長を願い､子育て支援に寄与することを目的に､市内に住所を有し、

１子以上の児童を養育し、出産した者に赤ちゃん誕生祝金申請の受付を行った。

事　業　名	祝　金　額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	27
	第三子以降　20,000円	18
赤ちゃん誕生祝金事業（経過措置※）	第三子以降　50,000円	7

※経過措置の対象となるのは平成２３年３月３１日までに生まれた赤ちゃん

6　チャイルドシート購入費助成金事業

子どもを乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図るため、助成申請の受付を行った。

・助成額　購入費の１/２以内の額
　　限度額5,000円(～Ｈ２３.６月購入分10,000円)

・受付件数　４７件（内６月購入分まで２２件）

7　児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内･相談･受付を行った。

種別	受付件数(件)
児童扶養手当	14
遺児手当	―

8　障がいに関する手当

福祉の増進を図るため､障害を有する 20 歳未満の児童を養育する保護者に特別児童扶養手当、重度の障害を有する 20 歳以上の方に特別障害者手当、重度の障害を有する 20 歳未満の児童に障害児福祉手当、重度の障害を有する 20 歳未満の児童の保護者に重度心身障がい児扶養手当、特定疾患者及び介護者の労苦を見舞うために特定疾患者介護手当の案内･受付を行った。

種別	受付件数(件)
特別児童扶養手当	4
特別障害者手当	4
障害児福祉手当	2
重度心身障がい児扶養手当	0
特定疾患者介護手当	14

9　保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況 （単位:人）

区分	保育園名	定 員	23年4月1日入所児童数	途中入所児 童 数	退所児童数	24年3月1日入所児童数
公立	三鴨保育園	45	23	3	－	26
	赤麻保育園	45	23	3	1	25
	部屋保育園	60	40	5	－	45
	藤岡保育園	60	49	4	8	45
計		210	135	15	9	141

イ 階層別児童数（３月１日現在） （単位:人）

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	三鴨保育園	－	3	2	8	5	2	4	2	－	26
	赤麻保育園	－	5	1	4	3	8	2	1	1	25
	部屋保育園	－	5	9	12	12	4	3	－	－	45
	藤岡保育園	2	11	6	10	8	3	4	－	1	45
合計		2	24	18	34	28	17	13	3	2	141

※ 階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ 年齢別児童数（３月１日現在） （単位：人）

区分	保 育 園 名	０歳	１歳	２歳	３歳	4歳以上	計
公立	三鴨保育園	2	6	1	7	10	26
	赤麻保育園	2	3	3	5	12	25
	部屋保育園	2	4	4	7	28	45
	藤岡保育園	3	3	6	10	23	45
合 計		9	16	14	29	73	141

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

・幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
・幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
・保育内容の充実と技術の向上
・安全対策と保護者との対応

・地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区　　分	回数(回)	実　施　月	結　果　と　措　置
健康診断	2	9月・ 2月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区　分	回数(回)	実　施　日	結　果　と　措　置
寄生虫卵	2	6月23日・11月17日	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	6月23日・11月17日	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ｱ) 観　察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(ｲ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ｳ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数　　なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

・心身ともに健康なこども
・自分で考えて行動するこども
・喜んで話したり聞いたりするこども
・人とのかかわり合いの中で相手を思いやるこども
・豊かな感性をもつこども
・地域の中で育つこども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区　分	社会的行事に合わせた行事	主　な　行　事
4月		入園式
5月	こどもの日、母の日	園外保育
6月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	みかも山ハイキング
7月	七夕祭り	納涼祭
8月		
9月	防災の日、敬老の日	運動会（部屋）
10月	体育の日	運動会（藤岡・三鴨・赤麻）、

		みかも山ハイキング、親子旅行
11月		
12月	師走	もちつき会、クリスマス会
1月	お正月	保育参観（藤岡・部屋・三鴨）
2月	節分(まめまき)	保育参観（赤麻）、お別れ遠足
3月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※その他、２か月に１回誕生児の誕生会を催す。

エ　一時保育の状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
三鴨保育園	93

オ　低年齢児保育（０、１、２歳児）（平成２４年３月１日現在・単位:人）

区分	保育園名	０歳	１歳	２歳	計
公立	三鴨保育園	2	6	1	9
	赤麻保育園	2	3	3	8
	部屋保育園	2	4	4	10
	藤岡保育園	3	3	6	12
合　計		9	16	14	39

カ　保護者との連携

・保育参観

・送迎時の連絡

・子育て等相談

(5)　防災対策の状況

ア　設備、遊具等の整備点検

イ　避難訓練

ウ　安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

(6)　給食実施状況

ア　予定献立の作成

副食は給食センターの栄養士が献立を作成する。

おやつは副食の献立を元に保育園で作成する。

イ　給食構成

・乳児　主食、副食、おやつ

・幼児　副食、おやつ

ウ　１日当たり平均栄養摂取量状況（1日当たりの平均栄養摂取量　副食＋おやつ）

栄養素等 ＼ 保育園名	ｶﾛﾘｰ (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	ｶﾙｼｳﾑ (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)

藤岡地域内４保育園	392	17.7	14.1	268	2.1	206	0.26	0.45	31	1.9

(ｱ)　３歳未満児（主食及び副食＋おやつ）

栄養給与目標	510	20.2	11-17	230	2.7	130	0.25	0.28	20

(ｲ)　歳以上児（副食＋おやつ）

栄養給与目標	400	19.0	13-20	270	2.2	130	0.30	0.35	20

エ　おやつについて

・１週のうち１日―手作りおやつまたは給食センターからのおやつ

・その他―せんべい、クッキー等の市販品

(7)　特別保育科目設定実施事業

ア　世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や､季節的行事･伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園	実施回数(回)
藤岡保育園	2
赤麻保育園	1
三鴨保育園	2
部屋保育園	2
合計	7

イ　異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。また、小学生の訪問受け入れや小学校を訪問して交流を行った。

実施保育園	実施回数(回)
藤岡保育園	2
赤麻保育園	3
三鴨保育園	2
部屋保育園	3
合計	10

ウ　子育て・仕事両立支援

乳幼児を持つ保護者等に対して育児に関する情報提供等を通知で行った。

第５節　産業振興課

〔総括概要〕

今日の農業は、農業者の高齢化の進行、後継者不足による農家数の減少と共に、食料自給率の低迷、耕作放棄地の拡大等が進展し、農村の活力の低下など、農業を取巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。そのため農業振興においては、土地利用型農業の推進と園芸作物の生産振興やＰＲ等を実施した。担い手不足や耕作放棄地対策としては、地域農業担い手組織の育成事業により集落営農を推進した。また産業祭の開催により生産者と消費者の交流を図った。さらに、東日本大震災の原発事故の影響により農作物風評被害が広がったが、県産農産物安全安心ＰＲ事業により消費拡大を図った。

林業は、地域の里山林の整備のため、県民税事業による藪の刈払いや、不用木の処分を行った。

農業農村整備については、国営農地防災事業をはじめ、県単独かんがい排水事業や県営基幹水利施設ストックマネジメント事業、及び市単独かんがい排水事業により施設整備を実施すると共に、土地改良区の育成や農業用用排水路の適正管理に努めた。農地・水・環境保全対策については、緑川地区で、地域の環境保全や施設の維持管理に地域住民が一丸となって取り組んだ。

また、農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止しするために、西前原排水機場の維持管理事業をはじめ、各地区（市町）排水機場維持管理事業の実施により、湛水被害の防止に努めた。

地籍調査事業については、法務局備え付けの公図が明治時代の地租改正時に作られたものであり、境界・形状などが現実とは違う場合があり、また、登記簿に記載された土地の面積も、正確ではない場合もあることから、国土調査法に基づき一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量することにより、これまでの登記簿、公図が更新され、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立つことが期待される。

また、平成２３年３月１１日の東日本大震災の影響により、被災した土地改良施設の修繕や､地殻変動により地籍調査における測量成果を検証する事業を実施した。

道の駅みかもについては､「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」という３つの機能を併せ持つ施設であることから、地域情報等の発信に努め、農産物の高付加価値化と消費拡大による地域農業の所得向上を図り、かつ地域内の女性・高齢者の活躍の場を設け、都市及び地域住民が集い交わることにより、地域全体の活性化を図ってきた。

商業関係については、中心市街地の空洞化や商業経営の低迷が大きな問題となっていることから、藤岡町商工会への育成事業補助金と（社）栃木法人会藤岡地区育成事業補助金を交付した。

観光関係については、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「渡良瀬バルーンレース２０１１」、「藤岡サマーフェスタ２

０１１」などのまつり・イベントの開催に積極的に取り組んできた。

また、渡良瀬遊水地は豊かな自然を提供する動植物の宝庫として知られ、熱気球などのスカイスポーツや各種レジャーの場として幅広く利用されているほか、四季折々の景色の撮影に県内外から多くの観光客が訪れ、みかも山公園と合わせて都会のオアシスとして定着している。

農林振興担当

1　戸別所得補償モデル対策

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、戸別所得補償制度の導入により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1)　米のモデル事業

本市藤岡地域に提供された平成２３年産米に係る需要情報は４，４７４トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、栃木市藤岡町水田農業推進協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,683人
水稲生産実施計画書提出農業者数（①）	1,511人
生産確定数量の計（①の積算）	4,226,061kg
作付確定面積（①の積算）（②）	81,427.4ａ
主食用等水稲作付面積の計（①の積算）（③）	60,674.5ａ
差引(②-③)	20,753ａ
水稲生産確定面積に対する主食用等水稲作付面積の割合（③÷②）	74.5%

(2)　自給率向上事業

・戦略作物作付面積　（単位：ha）

麦類	500.8
大豆	8.6
そば	0.7
飼料作物	36.5
新規需要米・加工用米	157.1

(3)　推進会議の開催

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市藤岡水田農業推進協議会との連携により、推進会議を開催した。

・会議の開催状況

開　催　日	参加者数(人)
5月19日(木)	76
6月23日(木)	73

2　農業経営基盤強化促進事業

経営改善支援活動事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

・農業経営改善計画認定者数　８２人

3　集落型経営体の育成

将来にわたって地域農業を担う集落営農組織を育成するとともに、持続性の高い農業経営を実践定着させるために集落営農組織の法人化を推進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して、研修会を開催した。

実施日	研　修　先	参加人数(人)
12月3日（土）	益子町上山集落営農組合	25

4　農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体の指導・育成及び支援を行った。

(1)　栃木市藤岡町認定農業者協議会補助金

相互連携を図り、効率的で安定した魅力ある農業経営、自らの経営改善の実践と藤岡地区の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対して補助金を交付した。

・補助金　　260,000円

(2)　藤岡町農村生活研究グループ協議会補助金

会員の相互連携を図り、農家経営と生活向上、農村文化の向上、活力ある農村づくり等の活動をしている藤岡町農村生活研究グループ協議会に対して補助金を交付した。

・補助金　　27,000円

(3)　生産出荷組合補助金

地域内１１の生産出荷組合の運営に対して補助金を交付した。

・補助金　　126,000円

(4)　営農集団運営管理費補助金

富吉第一営農集団の運営に対して補助金を交付した。

・補助金　　40,000円

(5)　藤岡町農業公社補助金

藤岡町農業公社の人件費及び運営管理に対して補助金を交付した。

・補助金　　9,416,000円

5　ふじおか産業祭事業

地域の農商工が連携し、地域の活性化と振興に寄与することを目的としたふじおか産業祭を開催した。

・開 催 日　　１１月２６日(土)、２７日（日）午前９時～午後３時
・会　　場　　栃木市藤岡総合体育館・藤岡遊水池会館駐車場
・来 場 者　　約10,750人

6　畜産振興事業関係

藤岡町畜産振興協議会関係

畜産農家が連携し、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

・事業主体　藤岡町畜産振興協議会
・事業内容　各種予防接種の実施（牛コロナ予防接種、オーエスキー予防接種）

7　藤岡農産加工センター管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのため、藤岡農産加工センターの運営を行った。

・利用状況

利　用　団　体	利用日数(日)	利用人数(人)	備　考
藤岡町農産加工技術協力員会	30	10	菓子づくり
藤岡町農村生活研究グループ協議会	69	131	みそづくり
合　計	99	141	

8　わたらせふれあい農園管理運営事業

農園を低料金で貸出し、自然とふれあいながら農作業を行うことにより野菜に対する消費者の目を養い農業を知る機会を提供する農園の運営を行った。

・利用者数　２６人
・貸出区画　５４区画

9　とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成２０年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備を実施している

通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林整備

・実施箇所　藤岡町大田和地内（道の駅みかも周辺の山林）
・事 業 量　３．０ha
・事 業 費　２９７千円
・事業概要　藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備
・事業主体　市

10　森林整備加速化・林業整備基金事業

平成２１年度から森林整備加速化・林業整備基金に取り組み、荒廃した里山の管理を実施している

修景等環境保全

・実施箇所　藤岡町大田和地内（道の駅みかも周辺の山林）

・事 業 量　３．０ｈａ

・事 業 費　３５４千円

・事業概要　伐倒駆除、林内美化活動

・事業主体　市

11　火入許可

病害虫駆除を目的としたしば焼等について、栃木市火入れに関する条例に基づき許可した。

・許可処理件数　１件

12　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った

件　　名	件数(件)
耕作証明書	60
農家証明書	0
農家基本台帳の写し	36
合　　計	96

13　県単独土地改良事業

新波地区（藤岡町新波地内）

・工事概要　　揚水機場　１か所

・総事業費　　5,800,000 円

・栃木市負担額　　1,160,000 円（事業費の２０％）

14　県営基幹水利施設ストックマネジメント事業

佐野市地区（界排水機場）

(1)　事業概要（全体計画）

・事業内容　　機場（排水機）工１式

・総事業費　　121,600,000 円

・負担割合　　国５０％・県２５％・佐野市２４．３５％・栃木市０．６５％

・事業期間　　平成２２年度から平成２５年度

(2)　実施状況

・事業費　　27,217,500 円

・栃木市負担額　　176,913 円

15　国営総合農地防災事業

渡良瀬川中央地区

(1)　事業概要（全体計画）

・工事概要　　排水機場　１か所
　　排水路　　１８．４ｋｍ
　　遊水池　　１０か所
　　水管理施設１式

・総事業費　　28,000,000,000 円

・関係市町　　足利市・栃木市・桐生市・太田市・館林市・みどり市・板倉町・大泉町・邑楽町

・負担割合　　国２０/３０・県９/３０・関係市町１/３０

・事業期間　　平成１３年度から平成２２年度

(2)　国営総合農地防災事業等渡良瀬川中央地区事業負担金

・予納分　21,324,276 円（４月１日支払）

・精算分　　670,093 円（９月２８日支払）

(3)　渡良瀬川中央地区水管理システム維持管理負担金

・栃木市負担額　36,000 円

16　補助金

(1)　市単独土地改良事業

かんがい排水事業

土地改良区等名	工　事　内　容	事業費(円)	補助金(円)
東赤麻共同施工	揚水機場更新　　１か所	2,880,885	576,000
藤岡土地改良区（江川）	用水路布替え　　Ｌ＝３２ｍ	399,000	79,000
藤岡土地改良区（第一）	ポンプ交換（水中ポンプ）１基	534,240	106,000
藤岡土地改良区（部屋南部）	深井戸水中ポンプ交換　　１基	1,963,500	392,000
藤岡土地改良区（巴波川西部）	井戸水中ポンプ交換　　１基	1,459,500	291,000

(2)　維持管理適正化事業

農業水利施設の老朽化等により、施設の構造及び排水条件の改良等を実施する土地改良区への支援を行った。

土地改良区名	工　事　内　容	事業費(円)	補助金(円)
藤岡土地改良区（部屋南部）	部屋南部揚水機場設備補修　一式（水中ポンプのオーバーホール）	5,000,000	500,000

(3)　藤岡排水機場維持管理事業

土地改良事業により整備された、排水機場の維持管理に要する経費の一部を補助金として藤岡土地改良区に交付した。

・事業目的　　排水施設の効率的運営を図り、地域内における生活の安全安心並びに農業生産の維持及び増進を図る。

・対象地区　　部屋南部地区・巴波川西部地区・新井地区・東谷津地区

・維持管理経費　3,791,151 円

17　排水機場維持管理負担金

農業用施設及び住宅の湛水被害を防ぐため、土地改良事業により整備された排水機場の維持管理に要する経費の一部を、負担金として関係市町に支出した。

支出先市町	対　象　施　設	事業費(円)	負担率(%)	負担金(円)
小山市	与良川水系排水機場	15,256,000	10.00	1,526,000
佐野市	界排水機場	7,975,480	2.60	207,362
板倉町	邑楽東部第一排水機場	1,826,791	6.04	110,000

18　農道維持補修事業

地区名	工事内容	工事費(円)	事業量
部屋・蛭沼・富吉 大前・甲	農道維持補修工事	1,071,000	敷砂利工　1式 L＝932m

19　農地・水・環境保全向上対策事業

農地や農業用水等の資源や農村環境を守り、質を高める農家、非農家を含めた活動組織の取組に支援を行った。

・共同活動支援分

活動組織名	協定期間			基礎支援				金額計(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田(1,100 円/10ａ)		畑(700 円/10ａ)		
				面積(ａ)	金額(円)	面積(ａ)	金額(円)	
水と緑の里 みどりかわ	H19	H23	5 年	4,341	477,510	227	15,890	493,400

20　西前原たん水防除事業

栃木市及び岩舟町にまたがる農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止し、農業経営の安定を図った。

・排水機場運転状況等の推移（過去５か年）

年　度	回数	日数	総運転時間	会計	事業費　(円)
平成19年度	4	9	45時間24分	特別	13,041,594

平成20年度	1	5	96時間29分	特別	14,366,388
平成21年度	0	0	0分	特別	11,867,840
				一般	9,174
平成22年度	0	0	0分	一般	11,559,695
平成23年度	3	13	148時間20分	一般	12,820,195

21　地籍調査事業

国土調査法に基づき、一筆ごとに土地の地目・境界及び測量を実施し、法務局の登記簿・公図を書き替える事業を実施した。

・事業概要

業　務　名	実施地区	事業量(ha)	委託費(円)	業務概要及び委託費
部屋15地区 地積測定・複図作成及び 点検測量・座標変換業務	中根台	29	1,785,000	地積測定及び計算　一式 複図作成20面×2部　40枚 点検測量・座標変換　一式
部屋15地区 原図修正業務	中根台	29	210,000	座標変換後原図作成　16枚
部屋16地区 地籍測量及び 土地改良区界杭復元測量業務	中根新田	22	4,252,500	地籍図根（三角・多角）測量一式 地籍細部測量　一式 土地改良区界杭復元　800m
部屋17地区 事前調査業務	富吉西	24	682,500	調査図素図作成　一式 地籍調査票作成　一式

22　農業施設災害復旧事業

平成２３年３月１１日発生の東日本大震災により被災した、藤岡土地改良区部屋南部地区内の排水路の修繕工事を実施した。

・工事延長　水路工　Ｌ＝２４ｍ

・総事業費　854,700 円

・国庫補助　457,275 円（工事費の６５％）

23　道の駅みかも管理運営事業

(1)　売上等実績

売店名	客　数　（人）	売上額　（円）
農産物直売所「万葉の里」	200,038	216,559,245
物産館「こならの里」	89,677	85,719,005
農産物加工販売室「かあさんの台所」	30,265	13,265,480
地域食材供給室「レストランしもつけ」	69,070	49,678,550
計	389,050	365,222,280

(2)　主なイベント

イベント名	開催日
七夕の飾りつけ	7月1日(金)～8日(金)
夏まつり	8月7日(日)
オールドタイムランみかも２０１１	10月23日(日)
お客様感謝祭	11月12日(土)、13日(日)
みかも山ウオーク	11月23日(水)

(3)　視察の受入

団体名	視察日	視察目的
藤岡小学校３年生	5月18日(水)	社会科見学
藤岡町地域協議会委員	5月24日(火)	施設見学
赤麻小学校３年生	6月16日(木)	社会科見学
佐久穂町高速道対策協議会	2月29日(水)	行政視察

商工観光担当

1　商業振興

商工団体の育成及び助成

商工団体である商工会、法人会、たばこ組合等の諸事業に助成を行った。

名　　称	事業費(円)	うち市補助額(円)	備考(目的等)
藤岡町商工会育成事業補助金	41,239,766	4,800,000	商工会事業助成
(社)栃木法人会藤岡地区育成事業補助金	988,981	63,000	法人会事業助成
藤岡町たばこ小売人組合補助金	137,620	27,000	未成年者喫煙防止対策等への補助
合　　計	42,366,367	4,890,000	

2　制度融資

経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

（中小企業信用保険法第２条第４項第１～８号）

保険法	適用事項	平成23年度	平成22年度	平成21年度
第１号	再生手続申立等関係	－	－	－
第２号	事業活動の制限関係	－	－	－
第３号	地域･業種関係	－	－	－
第４号	地域関係	－	－	－
第５号	業種関係	27	60	62
第６号	破綻金融機関関係	－	－	30
第７号	金融機関経営合理化関係	－	－	－
第８号	ＲＣＣ譲渡関係	－	－	－
計		27	60	92

3　観光振興宣伝事業

栃木市藤岡町は、四季折々の風景に富んだ広大な渡良瀬遊水地にあるウォータースポーツのメッカとして定着した谷中湖、万葉集に詠まれ自然景観に優れた三毳山を活用したみかも山公園、県内有数のサツマイモの産地など豊かな自然に恵まれている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を配布するとともに、各種観光キャンペーンを実施し、さらに、渡良瀬遊水地の自然の魅力を発見し、紹介することを目的にフォトコンテストを行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

広域観光推進事業

広域観光の充実を図るために、３市３町（栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町）による下都賀地区広域観光開発推進協議会の事業を実施した。

(1)　観光キャンペーンへの参加

「やすらぎの栃木路」フェア

・実施日　９月２３日(金)

・場　所　新宿駅西口

(2)　みかも山公園、渡良瀬遊水地（谷中湖）の推定来訪者数

・年別集計(１月～１２月集計)　（単位：人）

観 光 地	平成２３年	平成２２年	平成２１年
みかも山	130,483	133,195	141,685
谷 中 湖	226,484	273,337	268,611
計	356,967	406,532	410,296

4　観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

(1)　藤岡サマーフェスタ２０１１

・日　　時　　８月１４日（日）

・場　　所　　藤岡総合体育館駐車場

・主　　催　　藤岡サマーフェスタ実行委員会

・後　　援　　栃木市、栃木市藤岡町観光協、道の駅みかも運営連絡会ほか

・人　　出　　約６，３００人

(2)　Ｅボートレース２０１１渡良瀬大会

・期　　間　　８月２０日（土）

・場　　所　　谷中湖（北ブロック）

・主　　催　　Ｅボートレース渡良瀬大会実行委員会

・後　　援　　国土交通省、小山市、古河市、野木町

・参 加 者　　４１５人

(3)　渡良瀬バルーンレース２０１１　復興支援イベント

・期　　間　　１０月８日（土）～１０月１０日（月）

・場　　所　　藤岡渡良瀬運動公園
・主　　催　　渡良瀬バルーンレース実行委員会
・後　　援　　栃木市、国土交通省、(財)日本航空協会、栃木県ほか
・人　　出　　約130,000人（観客）

(4)　第１２回よさこい藤岡パレード
・日　　時　　１１月２５日（日）
・場　　所　　足利銀行藤岡支店～藤岡小学校校庭
・主　　催　　よさこい藤岡運営委員会
・後　　援　　栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合、栃木市観光協会ほか
・参 加 者　　７９２人（６９団体）

(5)　第１２回渡良瀬遊水地フォトコンテスト
・主　　催　　渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
・協　　賛　　富士フィルムほか
・後　　援　　東武鉄道（株）、下野新聞社ほか
・賛　　助　　（社）関東建設弘済会
・応募総数　　６４９点
・入賞作品　　最優秀賞1点、優秀賞２点、準優秀賞３点、入選８点、特別賞８点、佳作３０点
・展示会場　　藤岡スポーツふれあいセンターほか

第６節　都市建設課

〔総括概要〕

都市建設課の主な事務分掌は、道路、橋りょう、河川水路及び公園の管理、整備、災害復旧、占用許可等に関する事務、市営住宅等の管理に関する事務、街路事業・土地区画整理事業の施行に関する事務である。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、直営による早急な対応を実施したほか、常に安全で快適な道路の通行を確保するため、道路維持補修工事等を藤岡全域において実施した。

河川管理については、堆積土砂の浚渫や除草のほか、洪水災害に備えるための樋管操作業務委託を実施した。また、自治会等における道路・水路の清掃などの愛護活動を支援することで､道路･河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園管理については、藤岡地区内２５か所の公園を安全で快適に利用できるよう公園の清掃、除草、遊具等の施設管理を行った。

市営住宅管理については、昭和３１年度から昭和５７年度にかけて建設した市営住宅８５戸の建物等を良好な状態に維持するため、小破修繕工事等を実施した。

土地区画整理事業としては、藤岡町荒立北土地区画整理事業の平成２４年度完了を目指し換地計画･設計､処分､事業計画の変更認可申請手続き等を実施している。また、土地権利者より賦課金を徴収すべく理解を求めるため、理事を中心として説明会等を実施し、平成２３年１２月仮換地地積に比例して賦課を行った。

道路整備事業については、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上及び快適な生活環境の確保に資するため、藤岡町大田和地内市道Ｆ２５号線をはじめ２か所の道路改良工事や、歩行者、自転車の安全を確保するため、藤岡町甲地内市道３２号線の交通安全施設整備工事、また、老朽化した舗装を修繕するため、藤岡町都賀地内市道Ｆ１号線ほか４か所の舗装修繕工事を実施した。

このほか地域の生活道路として、安全と円滑な通行を確保するため、藤岡町大前地内市道Ｆ３３号線ほか８か所の測量設計業務を実施した。

災害復旧事業としては、東日本大震災により液状化の被害を受けた道路及び排水路を修繕するため、藤岡町藤岡地内市道Ｆ５３・５－１４号線ほか６か所の修繕工事及び設計業務を実施した。

管理担当

1　道路台帳補正業務関係

委　託　箇　所	委　　託　　内　　容	金　　額（円）
藤　岡　全　域	道路台帳補正業務委託	1,785,000

2　道路占用許可関係

申　　請　　内　　容	件　　数（件）
市道道路占用許可申請	73
占用廃止届	―
計	73

3　各種申請・手続関係

内　　容	件　　数（件）
境界確認願	52
切絵図謄本交付・閲覧等申請	50
市有財産用途廃止申請	4
法定外公共物使用許可申請等	5
道路工事施工承認申請	13
放流同意申請書（道路・河川）	12
計	136

4　道路管理関係

(1)　道路維持管理業務委託

委　　託　　名	委　託　箇　所		委託内容	金　額（円）
	町　　名	路線名		
占用堤防除草業務	藤岡全域		除草業務	3,402,000
市道除草業務	藤岡町大田和ほか	F1-171号線ほか	除草業務	2,198,900
植栽剪定業務	藤岡町下宮	F5-41号線	植栽剪定	572,872
水路等清掃業務	藤岡町甲ほか	F1-87号線ほか	清掃業務	787,500
道路維持補修業務	藤岡全域		道路維持補修業務	3,974,250
計				10,935,522

(2)　河川・水路管理業務委託

委　　託　　名	委　託　箇　所		委託内容	金　額
	町　　名	河川名等		
樋管操作業務	藤岡町藤岡ほか	篠山第一樋管ほか	樋管操作	1,975,584円

(3)　工事用原材料

材　　料　　名	単　　位	数　　量	金　　額（円）
常温合材	t	178.7	1,596,260
切込砕石	m^3	200	414,750
側溝蓋	枚	89	254,484
乳　剤	ℓ	3,010	469,560
その他市道補修用資材			290,871
計			3,025,925

5　都市公園等管理関係

(1)　施設の維持補修

補　　修　　内　　容	金　額（円）
遊具撤去（部屋南部運動場）	1,039,500
漏水等修理（蛭沼ふれあい公園　ほか７件）	221,970
合　　計	1,261,470

(2)　業務委託

業　　務　　名	公　　園　　名	金 額（円）
公園管理業務 （清掃、除草、施設の管理保全）	大田和ふれあい公園、蛭沼ふれあい公園、都賀ふれあい公園、新波ふれあい公園、部屋ふれあい公園、太田ふれあい公園	1,020,000
	松葉児童公園、荒立児童公園、リーベタウン公園、東原公園、都賀児童公園、富吉児童公園、西前原公園	792,000
	部屋南部桜づつみ公園	250,000
藤棚等剪定業務	新町西児童公園　ほか	1,240,918
除草等業務	部屋南部桜づつみ公園　ほか	2,676,894
害虫駆除等業務	西前原公園　ほか	34,950
公園遊具保守点検業務	荒立児童公園　ほか	94,500
遊具・フェンス塗装張替等業務	松葉児童公園　ほか	439,620
合　　計		6,548,882

(3)　公園敷地借上（管理業務委託を含む）

公　　園　　名	金　額
新町児童公園、上町児童公園、大崎児童公園、江川児童公園、底谷児童公園	850,000 円

(4)　各種許可申請及び届出

内　　容	件数(件)
公園内における行為の許可申請	1
占用許可申請	4

6　公営住宅管理関係

(1)　市営住宅管理戸数　　（単位:戸）

種別構造 / 団地名	木　造 平屋建	簡易耐火 平屋建	計
藤岡都賀市営住宅	0	4	4
藤岡荒立市営住宅	0	40	40
藤岡南山市営住宅	25	4	29

藤岡仲町市営住宅	4	8	12
計	29	56	85
退 去 戸 数	1		
入 居 戸 数	0		

(2)　市営住宅維持管理費

・市営住宅４団地の小破修繕工事　　１１件　　477,447 円

・除草等業務委託　　２件　　206,886 円

都市建設担当

1　土地区画整理事業関係

藤岡町荒立北土地区画整理事業

(1)　事業概要

・面　　積　　１０．９ｈａ

・組合員数　　宅地所有者　９９人

・事業期間　　平成８年度（平成８年７月３０日）～

・総事業費　　901,339千円

・減歩率　　35.67％（公共21.66％、保留地14.01％）

・計画人口　　1,000人（９０人／ｈａ）

(2)　事業経過

・組合設立認可　　平成　８年　７月１８日（公告日　平成８年７月３０日）

・仮換地指定年月日　平成１０年１０月　５日

2　道路工事関係

(1)　道路改良工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町大田和	Ｆ25号線	93.1	5.5~7.0	－	12,085,500	
藤岡町赤麻	Ｆ3-296号線	125.5	5.0	－	6,825,000	
計					18,910,500	

(2)　交通安全施設整備工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町甲	Ｆ32号線	70.2	2.5	－	6,331,500	
計					6,331,500	

(3)　舗装修繕工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町都賀	F1号線	311.5	4.6~6.8	舗装修繕	9,943,500	
藤岡町赤麻	F6号線	580.0	7.1~7.4	舗装修繕	29,515,500	
藤岡町甲	F32号線	225.0	4.3~5.3	舗装修繕	5,019,000	
藤岡町大田和	F1-172号線	73.0	9.1~15.9	舗装修繕	11,728,500	
藤岡町赤麻	F3-74号線	506.5	3.8	舗装補修	4,735,500	
計					60,942,000	

(4)　災害復旧工事

工事箇所		工事内容			工事金額(円)	備考
町名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
藤岡町藤岡	F53・5-14号線	136.2	2.4~3.2	舗装修繕	2,194,500	
藤岡町赤麻	F3-283号線	27.5	4.0	道路修繕	2,257,500	
藤岡町藤岡	F5-20号線	208.0	1.3	排水路修繕	4,011,000	
藤岡町藤岡	F5-23号線	130.0	7.0~7.5	舗装修繕	4,683,000	
藤岡町藤岡	F5-27号線	105.0	7.5~8.0	舗装修繕	4,074,000	
藤岡町藤岡	F5-135号線	63.5	1.3~3.6	舗装修繕	1,228,500	
藤岡町藤岡	F5-140号線	40.0	5.2	舗装補修	2,331,000	
計					20,779,500	

3　業務委託関係

(1)　道路整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	町名	路線名			
測量設計	藤岡町赤麻	F6号線	測量・詳細設計	2,625,000	
用地測量	藤岡町大前	F33号線	用地測量	2,100,000	
用地測量	藤岡町太田	F21・1-120号線	用地測量	3,885,000	
用地測量	藤岡町大田和	F1-98号線	用地測量	3,150,000	
調査設計	藤岡町大田和	F1-105号線	用地調査・詳細設計	2,520,000	
測量設計	藤岡町大田和	F1-172号線	測量・詳細設計	1,323,000	
用地測量	藤岡町甲	F2-52号線外	用地測量	2,625,000	
用地測量	藤岡町赤麻	F3-39・296号線	復元測量	189,000	
調査設計	藤岡町藤岡	F5-24号線	用地調査・詳細設計	2,667,000	
計				21,084,000	

(2)　災害復旧事業業務委託

業　務　名	委　託　箇　所		委託内容	委託料(円)	備　考
	町　　名	路線名			
測量設計	藤岡町赤麻	Ｆ3-283号線	測量・詳細設計	1,029,000	
測量設計	藤岡町藤岡	Ｆ5-20号線	測量・詳細設計	1,396,500	
計				2,425,500	

第１１章　都賀総合支所

第１節　地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、地域協議会関係、国際交流事業関係、福祉バス運行事業関係、広報広聴関係、自治会関係、消防防災関係、自衛官募集関係、契約業務関係、庁舎・自動車・パソコン等の管理関係である。

地域協議会については、毎月１回の地域協議会を開催し、地域の意見の市政への反映を図った。

また、市民参加のまちづくりを推進するため、直接、市民から意見・提案を聴くまちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

福祉バス運行事業については、高齢者・障がい者・通院者の移動手段として、福祉バスの運行を行った。（９月３０日まで）

自治会関係については､都賀地域の自治会長会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

消防防災関係については、夏季点検などの実施により、消防防災体制の万全を図った。

自衛官募集関係については、防衛省自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所と協力し、自衛官募集や自衛隊父兄会に関する事務を行った。

契約業務については、建設工事、業務委託及び物品購入について、指名業者の選考、入札、契約等に関する事務を一元的に行い、入札・契約事務の透明性の向上や、公正な競争の促進を図った。

庁舎・自動車・パソコン等の管理関係については、来客者及び職員の利便性の向上を図った。

地域自治担当

1　地域協議会関係

県内で初めて導入された地域自治区制度による都賀町地域協議会は、１５人の委員により下記のような内容で実施した。

(1)　委員（任期　平成２２年７月２６日～平成２５年３月３１日まで）

区分	No.	氏名	備考
1号委員	1	渡邉　紘夫	都賀町自治会長会
	2	森田　好枝	都賀町女性団体連絡協議会
	3	日向野　孝夫	都賀町商工会
	4	渡辺　正衛	下野農業協同組合
	5	田邉　富美子	栃木市社会福祉協議会
	6	山田　加代子	都賀地区民生委員児童委員協議会
	7	落合　正幸	栃木市ＰＴＡ連合会
	8	千葉　康智	栃木市体育協会
	9	飯島　マサ子	都賀町農村生活研究グループ協議会
2号委員	10	安生　孝章	学識経験を有する者
	11	氏家　弘道	
	12	根本　勤	
3号委員	13	金山　ヒデ子	公募に応じた者
	14	石本　俊光	
	15	田中　洋一	

(2)　開催内容

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月22日(金) 午後2時～ 都賀総合支所大会議室	(1)今後の活動について協議 (2)事務事業の調整結果についての報告 (3)栃木市・西方町合併協議会についての報告 (4)地域協議会部会活動の実施
第2回	5月26日(木) 午後1時30分～ 都賀総合支所大会議室	(1)今後の活動システムについて協議 (2)栃木市総合計画の策定についての協議 (3)地域に必要な事務事業についての協議 (4)地域協議会部会活動の実施
第3回	6月24日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所大会議室	(1)部会の活動報告 (2)次回議題とするテーマ・内容の協議
第4回	7月20日(水) 午後1時30分～ 都賀総合支所大会議室	(1)予算に伴う事務事業の意見書の決定について (2)「地域の姿」作成について

第5回	8月26日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	(1)保健福祉部による意見聴取 (2)保健福祉部による報告事項 (3)栃木市総合計画策定懇談会の報告 (4)「地域の姿」の特徴について意見交換
第6回	9月21日(水) 午後3時 都賀総合支所第3会議室	(1)「地域の姿」最終案の確認 (2)「地域の姿」キャッチフレーズの決定
第7回	10月28日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所大会議室	(1)使用料改定方針についての報告 (2)24年度地域協議会予算要求についての報告 (3)都賀地区社会福祉協議会の組織及び活動内容についての報告 (4)広報とちぎ紙面検討委員会の報告 (5)福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会の報告 (6)栃木市非核平和宣言策定委員会の報告
第8回	11月25日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	(1)第2回栃木市総合計画策定委員会の報告 (2)第2回福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会の報告 (3)第2回栃木市非核平和宣言策定委員会の報告 (4)栃木市地域協議会役員等視察研修の報告 (5)岩舟町との合併協議会の報告
第9回	12月21日(水) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	(1)新たな産業支援事業についての報告 (2)はつらつセンター事業の拡充についての報告 (3)栃木市高齢者ふれあい相談員制度について意見聴取 (4)延長窓口等について意見聴取 (5)施設巡り及び各種団体との話合い計画について協議 (6)広報とちぎ紙面検討委員会の報告 (7)栃木市非核平和宣言策定委員会の報告
第10回	1月27日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	(1)栃木市自治基本条例について意見聴取 (2)栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・介護保険料及び地域包括支援センターについて意見聴取 (3)はつらつセンター事業の拡充について意見聴取 (4)デマンドタクシー及びコミュニティバスの試験運行についての報告 (5)福田屋百貨店栃木店閉店対策検討委員会の報告
第11回	2月24日(金) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	(1)栃木市総合計画について (2)新市行政改革大綱の骨子（素案）について (3)栃木市障がい者福祉計画について (4)区長の選任について (5)栃木市栃木地域まちづくり検討委員会の設立につい

		て (6)事務一元化の状況に関する資料について (7)栃木市介護保険事務計画及び介護保険料の一部修正について (8)学校給食費の改定について (9)栃木市高齢者ふれあい相談員制度拡充についての意見に対する回答について (10)地域協議会会議録の調整について (11)都賀町地域協議会研究会の規約及び専門部会の組織再編について (12)栃木市総合計画策定懇談会の報告 (13)栃木市環境基本計画策定委員会の報告 (14)栃木市非核平和宣言策定委員会の報告
第12回	3月22日(木) 午後1時30分～ 都賀総合支所第3会議室	(1)「合併後」に再編する事務事業の調整状況について (2)地域協議会で意見を聞く事務事業（Ａランク）について (3)都賀町地域協議会から提出された意見書に対する市の回答書について (4)新たな市民活動支援制度について (5)組織機構の見直しについての意見に対する回答について (6)24年度予算の主な事務事業について (7)地元議会議員との懇談会について

(3)　地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、都賀地域の話題も交えた「地域協議会だより」を発行した。

・発行号数　第４号（４月）、第５号（６月）、第６号（１１月）、第７号（１月）
・体　　裁　Ａ３版　両面刷り
・発行部数　各4,000部

2　公聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見・提案などを聴き、市民の声を今後の市政経営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数	フリートーク数	自治会数	参加者数
1	10月3日(月)	南部コミュニティセンター	合戦場、平川、升塚、下新田	5	7	4	55

2	10月4日(火)	家中小学校 体育館	新名地、宿、中新田、橋本、上新田、本郷、中妻中の内、中荒井、鷲宮、桜本	9	4	10	57
3	10月12日(水)	赤津小学校 体育館	原宿上、原宿下、桜内、木の東、木の西、木の北、臼久保、大橋、富張、深沢、南嶺、十文字、仲坪、宿坪、中郷、野上	7	6	16	43
合　計				21	17	30	155
				38			

3　施設見学

１市３町の広域合併により市域が広くなったことから、主として都賀地域住民を対象に、改めて栃木市の魅力を発見してもらうことで新生・栃木市の市民としての共通理解を図ることを目的として、栃木地域、大平地域、藤岡地域、西方地域、都賀地域の各施設を実際に見学する事業を実施した。

参加者３６人、事務局４人、バス運転手１人、計４１人で見学を実施。参加者の内訳は、男性９人、女性２７人、うち小学生６人で、平均年齢は５６歳であった。

なお、参加者の興味をより深めるため、車中で地域の○×クイズやアンケートを実施した。

4　福祉バス運行事業

６５歳以上の高齢者・障がいのある方・通院する方等の移動手段を確保するため、毎週木・金曜日に福祉バスの運行を行った。なお、デマンドタクシーの導入により、９月末日をもって福祉バスは廃止した。

福祉バス利用状況（４月～９月）

(1)　赤津コース（木曜日）

	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数	日平均（人／日）
年合計	410	25	16
月平均	68		
前年比			△4

(2)　家中コース（金曜日）

	利　用　状　況		
	利用者数（人）	日数	日平均（人／日）
年合計	260	25	10
月平均	43		
前年比			△6

5　市民活動支援事業

都賀地域ＮＰＯ法人は現在４法人あり、年度毎の届出や変更届出等の書類補正等事務処理・助言等の支援を行った。

6　国際交流

都賀町国際交流のつどいの実施を支援した。

・主　催　都賀町国際交流のつどい実行委員会
・開催日　１１月２７日（日）
・内　容　芸術文化の発表（ダンス、音楽）
　　食文化の交流
・参加者　約１４０人
・参加国　中国・パキスタン・フィリピン・ギニア　ほか
・場　所　都賀公民館　講堂

7　総合支所会議

総合支所次長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

・開催回数　１２回

8　市長と職員の懇談会

市長の総合支所訪問に合わせ、市長と職員の懇談会を行った。

・開催回数　８回
・参加職員　７９人

9　地下水揚水施設届出

栃木県地下水揚水施設に係る指導等に関する要綱に基づき、揚水機工事完了届出書および揚水機変更工事完了届出書（各１件）を本市経由で県へ提出した。

総務担当

1　自治会関係

自治会については、自治会長会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑

化を図った。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、公民館長等）の取りまとめ

・受 付 期 間　平成２４年３月～４月

・対象自治会　３０

(ｲ)　班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受 付 期 間　平成２４年３月～４月

・対象自治会　３０自治会

イ　自治会回覧板の配付

・配布日　３月５日(月)

・配付数　４８３枚

(2)　都賀町自治会長会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　３０自治会

(ｲ)　役員等

・会長１人、副会長３人、監事２人（総会で選出、任期１年）

イ　会議等

(ｱ)　第１回会議

・実施日　４月１１日(月)

・内　容　年度初めの打合せ会

(ｲ)　正副会長会議

・実施日　１月１９日(木)

・内　容　組織の検討について

(ｳ)　正副会長会議

・実施日　３月６日(火)

・内　容　自治会報償金について

(ｴ)　第２回会議

・実施日　３月２３日(金)

・内　容　年度最後の打合せ会

ウ　主な事業

(ｱ)　自治会長等視察研修

・実施日　１１月４日(金)

・場　所　小平記念館（日立市）ほか

・出席者　自治会長等１８人

(ｲ)　栃木市自治会連絡協議会関係

会長が正副会長会議（２回）に、役員４人が理事会（５回）、臨時総会、市長懇

談会に出席。

2　文書発送

後納郵便発送件数　80,116件

3　消防関係

(1)　配置人員

都賀方面隊　　（単位：人）

分団別＼階級		副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部分団	定員	1	(1)	2	－	－	－	－	－	3
	実員	1	(1)	2	－	－	－	－	－	3
第１分団	定員	－	－	－	1	1	2	4	22	30
	実員	－	－	－	1	1	2	4	22	30
第２分団	定員	－	－	－	1	1	1	2	14	19
	実員	－	－	－	1	1	1	2	14	19
第３分団	定員	－	－	－	1	1	1	2	14	19
	実員	－	－	－	1	1	1	2	14	19
第４分団	定員	－	－	－	1	1	2	4	22	30
	実員	－	－	－	1	1	2	4	22	30
合　計	定員	1	(1)	2	4	4	6	12	72	101
	実員	1	(1)	2	4	4	6	12	72	101

※団長及び副団長は、方面隊長を兼任のため、()内数としてある。

(2)　消防車等の態勢

都賀方面隊

分団・部＼区分		種　別	車　名	年　式
本部分団		指　令　車	トヨタ	平成　７年
第１分団	第１部	小型動力ポンプ	ラビット	平成１１年
			トヨタ	平成１１年
	第２部	普通ポンプ車	いすゞ	平成１５年
第２分団		普通ポンプ車	いすゞ	平成　７年
第３分団		普通ポンプ車	いすゞ	平成１０年
第４分団	第１部	普通ポンプ車	いすゞ	平成１４年
	第２部	小型動力ポンプ	ラビット	平成１１年
			トヨタ	平成１１年

(3)　都賀方面隊の活動状況

ア　土砂災害全国統一防災訓練の実施

防災関係機関の警戒避難体制の強化と住民の防災意識の高揚を図り、土砂災害の防止及び軽減を目的とし、土砂災害全国統一防災訓練を実施した。

・実 施日　６月１２日（日）

・会　場　大柿コミュニティセンター

イ　夏季点検の実施

消防団員の士気高揚及び規律保持、消防体制の万全を図ることを目的とし、夏季点検を実施した。

・実 施日　７月１７日（日）

・会　場　都賀市民運動場

ウ　操法大会の実施

消防団員の消防技術の向上を図ることを目的とし、操法大会を実施した。

・実 施日　１０月８日（土）

・会　場　都賀市民運動場

エ　中継送水訓練の実施

消防団員の水利の便の悪い場所での安全管理の徹底と円滑な中継隊形が取れることを目的とし、中継送水訓練を実施した。

・実 施日　３月４日（日）

・会　場　大柿コミュニティセンター

(4)　都賀方面隊役員会

期　　日	場　　所
4 月 25 日（月）	都賀総合支所　別館大会議室
6 月 6 日（月）	〃
9 月 22 日（木）	〃
1 月 25 日（水）	〃
2 月 23 日（木）	〃

(5)　各種団体の運営支援

栃木市都賀婦人防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

4　防災関係

(1)　防災備蓄倉庫

設　　置	位　　置
防災倉庫	栃木市都賀町原宿573

(2)　主な各種災害時用備蓄品等内訳

項　　目	備　蓄　数
非常食(食)	700
非常用飲料水(本)	0
毛布(枚)	167

5　自衛官募集事務

(1)　自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

・入隊者数　１人

(2)　自衛隊父兄会

都賀町自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

理財担当

1　支所庁舎内の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
都賀総合支所庁舎清掃等業務委託	473,021
その他業務委託件数　8件	1,224,246

2　支所庁舎内の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
都賀総合支所2階事務室内冷温水配管漏水修繕	139,440
その他修繕工事件数　5件	348,075

3　共用車管理状況

区　　分	数　量（台）
普通乗合（大型バス　50人）	1
普通乗合（中型バス　25人）	1
普通乗用	2
小型乗用	4
軽乗用	2
普通貨物	1
小型貨物	3
軽貨物	1

4　契約件数

原則として、都賀総合支所発注の130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入について、予定価格3,000万円未満の案件の入札を執行した。

（単位：件）

入　札　内　容	一般競争入札	指名競争入札	計
建　設　工　事	9	22	31
工事関連業務委託	－	31	31
物品購入(建設資材含む)	－	－	－
印　　刷　　物	－	－	－
計	9	53	62

5　見積合せ件数

３万円以上５０万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

・件数　８件

6　建設工事等請負者選考委員会

建設工事等及び物品購入に係る指名競争入札指名業者選考及び条件付き一般競争入札により施行する入札参加資格要件の設定について審議した。

・開催回数　１１回

・審議件数　６２件

7　パソコンの整備状況

区　　分	課　名	パソコン（台）
区長、支所次長		2
総合支所	地域まちづくり課	35
	税務課	11
	生活環境課	11
	健康福祉課	21
	産業振興課	10
	都市建設課	7
教育支所		15
その他		4
合　　計		116

8　電算処理業務の委託契約

名　　称	業　務　名
㈱ＴＫＣ	電算システムにかかる業務委託料

9　行政財産使用料

区　　分	件数（件）	数　　量	収入金額（円）
庁舎１階廊下（販売）	51	延べ 102 ㎡	5,100
東京電力㈱（電柱）	1	35 本	52,500
東日本電信電話㈱（電柱）	1	19 本	28,500
合　　計	53		86,100

10　自動販売機設置使用料

区　　分	件数（件）	収入金額（円）
ダイドードリンコ㈱　ほか３社	48	1,570,666

11　普通財産の管理等に関する事務

普通財産の貸付

区　　分	件数（件）	面積（㎡）	収入金額（円）
都賀総合支所管内市有地	2	419	5,570

第２節　税務課

〔総括概要〕

我が国の近況は、昨年３月に未曾有の災害である東日本大震災が発生し、それに伴う原子力発電所の事故、その後の電力不足、タイの洪水及び円高による影響等により、厳しい経済環境が続いている。

これらの要因による景気の低迷の中、震災復興需要や個人消費の回復が聞こえ始めてきたものの、景気回復への確かな兆しは見えず、また、震災復興の財源のための増税や社会保障制度改革のための増税の論議等が行われるなど、税務行政を取り巻く環境はますます厳しい状況にある。

このような状況の下、自主財源である市税については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。また、１０月には西方町との合併が整い、税務担当組織も拡大したが、本庁及び総合支所が一体となり事務の調整・効率化を行い、協力して業務の執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。

また、保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施し、軽自動車税関係では、課税客体を適正に把握するため、車両の現況調査等を実施した。

資産税関係では、新築住宅等の申請書に基づく巡回調査を行い、新増築・滅失家屋や土地利用の現況把握に努めるとともに、償却資産未申告事業者に対する催告等の申告指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての税務担当職員による巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行うとともに、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働での滞納整理や差押処分を行うなど、税収確保へ向けた取組を展開した。

市民税担当

1　諸証明等の交付（都賀地域分）

区　分	件・冊・枚数		摘　　要
	有　料	無料(公用等)	
諸 証 明	1,857	134	・納税、所得及びその他の証明　1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明　1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明　１件につき1,300円
公簿閲覧	279	45	
計	2,136	179	

2　国民健康保険税賦課状況（７月１日現在のため西方地域を除く）

(1)　医療保険分の状況

ア　税率及び課税内訳（都賀地域分）

・賦課限度額　470,000円

・所得割　6.5/100

・資産割　27/100

・均等割　18,000円

・平等割　16,800円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	1,659	1,404	3,853	1,977
退職世帯	171	159	296	138
計	1,830	1,563	4,149	2,115

イ　軽減世帯及び限度額世帯（都賀地域分）　（世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	445	111	556	68
退職世帯	24	5	29	3
計	469	116	585	71

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：都賀地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	20,878	38,848	2,618,794,477	125,433	67,411
世帯	1,977	3,853	254,931,449	128,948	66,164

退職	1,451	3,097	238,992,823	164,709	77,169
世帯	138	296	21,977,551	159,257	74,248
医療分	22,329	41,945	2,857,787,300	127,985	68,132
合計	2,115	4,149	276,909,000	130,926	66,741

(2) 後期高齢者支援金分の状況

ア 税率及び課税内訳（都賀地域分）

・賦課限度額 120,000円

・所得割 1.7/100

・資産割 7/100

・均等割 5,000円

・平等割 3,600円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	1,659	1,404	3,853	1,977
退職世帯	171	159	296	138
計	1,830	1,563	4,149	2,115

イ 軽減世帯及び限度額世帯（都賀地域分） （世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	445	111	556	72
退職世帯	24	5	29	3
計	469	116	585	75

ウ 調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：都賀地域）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般	20,878	38,848	746,194,428	35,741	19,208
世帯	1,977	3,853	66,047,159	33,407	17,141
退職	1,457	3,095	70,668,472	48,503	22,833
世帯	138	296	5,708,141	41,363	19,284
後期高齢者	22,335	41,943	816,862,900	36,573	19,475
支援金分合計	2,115	4,149	71,755,300	33,926	17,294

(3) 介護保険分の状況

ア 税率及び課税内訳（都賀地域分）

・賦課限度額 90,000円

・所得割 1.7/100

・資産割 6/100

・均等割 8,000円

・平等割　6,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	742	641	1,445	1,073
退職世帯	121	119	225	156
計	863	760	1,670	1,229

イ　軽減世帯及び限度額世帯（都賀地域分）　（世帯）

区分	低所得者軽減		計	限度額世帯
	6割	4割		
一般世帯	210	69	279	78
退職世帯	25	8	33	7
計	235	77	312	85

ウ　調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：栃木地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	10,703	13,576	335,500,912	31,346	24,713
	1,073	1,445	36,163,889	33,703	25,026
退職世帯	1,582	2,341	61,036,388	38,582	26,073
	156	225	5,830,711	37,376	25,914
介護保険分合計	12,285	15,917	396,537,300	32,278	24,913
	1,229	1,670	41,994,600	34,169	25,146

(4)　国民健康保険税調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：都賀地域）

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	20,631	3,745,379,600
	1,825	364,796,500
特別徴収対象世帯	3,494	325,807,900
	290	25,862,400
合計	24,125	4,071,187,500
	2,115	390,658,900

3　介護保険料賦課状況（７月１日現在のため西方地域を除く）

(1)　介護保険料段階別保険料等（都賀地域分）

段　階	対象者	対象者人数(人)		年間保険料(円)
		普通徴収	特別徴収	
第１段階	生活保護受給者または老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税	13	14	21,500

第２段階	世帯全員が市民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下		28	330	21,500
第３段階	世帯全員が市民税非課税で、第２段階に非該当		8	279	32,200
第４段階	本人が市民税非課税	合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下	56	878	36,500
		合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円超	12	561	42,900
第５段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が80万円未満		8	268	48,300
第６段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が80万円以上125万円未満		13	202	53,600
第７段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が125万円以上200万円未満		22	277	64,400
第８段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が200万円以上400万円未満		14	159	75,100
第９段階	本人が市民税課税で前年の合計所得が400万円以上		6	37	85,800
計			180	3,005	

(2)　介護保険料調定額（上段：西方地域を除く栃木市全体/下段：都賀地域）

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,047	103,047,640
	180	8,707,800
特別徴収対象者	32,160	1,509,033,800
	3,005	128,080,400
合計	34,207	1,612,081,440
	3,185	136,788,200

資産税担当

資産税担当の業務については、全て本庁資産税課に一括して掲載。

収税担当

1　差押（参加差押含む）（上段：栃木市全体/下段：都賀地域）　　（単位：件）

差押物件	年度当初	差　押	解　除	年度末
不　動　産	176	4	20	160
	4	－	－	4
自　動　車	6	2	3	5
	－	－	－	－

電話加入権	8	－	1	7
	－	－	－	－
債権その他	110	217	207	120
	15	1	4	12
計	300	223	231	292
	19	1	4	16

※年度当初件数には、地方税法第４８条による県からの引継ぎ件数も含む

2　交 付 要 求（上段：栃木市全体/下段：都賀地域）　（単位：件）

年度当初	要　　求	終　　結	年　度　末
140	70	86	124
15	1	1	15

3　催告書発送及び納付状況（上段：栃木市全体/下段：都賀地域）

月　　日	発送件数（件）	納付件数（件）	納 付 額（円）
4月15日（金）	1,825	1,265	26,126,833
	148	—	—
6月24日（金）	4,769	1,634	22,850,122
	358		—
10月25日（火）	5,330	2,321	43,705,337
	496	—	—
1月20日（金）	2,602	1,923	43,963,865
	267	—	—
計	14,526	7,143	136,646,157
	1,269	—	—

4　休日納税相談窓口（上段：栃木市全体/下段：都賀地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実　施　期　間	納付件数(件)	納　付　額（円）
第1回	7月3日（日）	44	614,100
		22	75,700
第2回	10月30日（日）	51	982,470
		18	159,970
第3回	１月29日（日）	84	3,581,110
		19	311,010

計	179	5,177,680
	59	546,680

5　市税等収納員による徴収事業（上段：栃木市全体／下段：都賀地域（西方地域を含む））

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員による臨戸徴収訪問を実施した。

徴収世帯数(件)	徴収金額(円)	口座振替(件)	納付指導(件)
6,757	198,326,671	45	3,495
957	30,312,396	－	771

6　市税等徴収強化事業（上段：栃木市全体（除西方）／下段：都賀地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間　１２月５日（月）～２２日（木）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
2,133	183	3,166,260
142	25	695,330

第３節　生活環境課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付審査、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

また、平成２２年１０月から県の権限移譲を受けている、一般旅券の発給申請受付・交付事務を行った。

人権啓発活動については、人権擁護委員と連携を図り、人権意識の高揚が図られるよう積極的に活動を推進し、各種啓発事業を実施するとともに、各種人権関係研修会に参加した。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、こども（小学校６年生まで)、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るために保険適用外治療費の一部を助成した。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理・進達を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

生活環境交通関係では、大気、水、騒音、におい等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、保健委員による不法投棄の監視、不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

交通安全については、市民総ぐるみ運動をはじめとして、交通安全運動を強力に推進するとともに、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯については、防犯灯の設置、防犯活動等に関する各種事務事業を実施した。

女性青少年事業については、男女共同参画社会の実現への意識づくりを図るため、都賀町女性団体連絡協議会の活動支援に努めた。

青少年行政事業については､都賀町のこどもを育む会が健全育成と社会参加の促進を目的として、学校、警察、PTAなどの関係機関・団体と連携しながら活動を行った。

住民担当

1　戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数　　１９７件（出生６９件、婚姻２７件、死亡３４件等）

2　外国人登録事務

(1)　各種申請書受理件数　　（単位：件）

件名	件数	件名	件数
新規登録	30	居住地変更登録	48
確認申請	15	居住地以外の変更登録	157
再交付申請	2	計	256
引替交付申請	4		

(2)　報告その他の事務取扱件数　　（単位：件）

件名		件数	件名	件数
閉鎖	出国	17	登録原票送付	39
	死亡	-	登録原票送付請求	39
	日本国籍取得	-	公務所からの照会回答	15
	その他(上記以外によるもの)	-	計	110

3　窓口事務

(1)　窓口届出処理件数　　（単位：件）

処理事項		件数	処理事項	件数
戸籍届		197	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	2
住民異動届		1,574		
計		1,771	死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	1
印鑑	登録	371		
	廃止	285	死産届	2
計		656	計	5
			合計	2,432

(2)　謄抄本証明書等交付件数

種別		件数(件)	金額（円）	種別		件数(件)	金額（円）
戸	全部事項証明	1,393	626,850	住民	世帯全員	1,343	268,600
	個人事項証明	507	228,150		個人	2,935	587,000
	除籍謄本	1,016	762,000		証明	112	22,400
	除籍抄本	8	6,000		閲覧	－	－

戸籍	戸籍証明	2	700	票	年金現況証明	－	－
	受理証明	18	6,300		戸籍の附票	110	22,000
	廃棄証明	－	－		公　　用	29	－
	出産証明	－	－		広　　域	1	200
	不受理証明	－	－		住基カード(有料)	7	3,500
	公　　用	49	－		住基カード(無料)	5	－
	計	2,993	1,630,000		計	4,542	903,700
証明書	印鑑証明	3,949	789,800	その他	印鑑登録	371	74,200
	諸証明	97	19,400		印鑑登録廃止	－	－
	身分証明	120	24,000		臨時運行許可証	225	168,750
	住居表示証明	－	－		労基証明	－	－
	公　　用	10	－		人口統計	－	－
	選挙証明	－	－		公的個人認証	11	5,500
	計	4,176	833,200		計	607	248,450
合　　計					12,318 件		3,615,350 円

(3)　斎場及び霊きゅう車使用許可件数

種　　類	区　　分		件　数（件）		金　額（円）
斎　　場	市　内	大　人	29	30	－
		小　人	－		
		死産児	1		
	市　外	大　人	4	4	72,000
		小　人	－		
		死産児	－		
	エ　　ナ		－	－	－
計				34	72,000
霊きゅう車	往　路	市　　内		30	126,000
		市　　外		1	13,500
	帰　路	市　　内		27	40,500
		市　　外		1	4,700
計				59	184,700
待　合　室		市　　内		30	90,000
		市　　外		4	24,000
計				34	114,000
合　　計				127	370,700

(4)　(1)～(3)のうち延長窓口処理件数

種　　別	処理件数(件)
戸籍謄抄本等交付	8
住民票写し等交付	22
印鑑登録証明書交付	15
印鑑登録	3
戸籍届	2
住民異動届	9
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	0
臨時運行許可証交付	0
窓口及び電話による相談、問合わせ等	18
合　　計	77

4　赤津郵便局証明発行委託件数

種　　別	件　数(件)
戸籍謄抄本等交付	45
住民票写し等交付	120
印鑑登録証明書交付	108
合　　計	273

5　一般旅券申請・交付件数（単位：件）

	申請	交付
４月	6	8
５月	11	11
６月	12	7
７月	12	14
８月	28	23
９月	19	24
１０月	18	13
１１月	16	21
１２月	13	14
１月	29	17
２月	20	23
３月	17	14
計	201	189

6　人権啓発事業

(1)　啓発活動の実施

人権教育啓発推進事業委託実施状況

研　修　会　等　名	開催回数(回)	参加人数(人)	関係課等
人権講座（市職員対象）	2	105	都賀総合支所・ 都賀教育支所全課
企業啓発研修会	1	27	産業振興課

(2)　「人権週間」における市民啓発

街頭啓発の実施

「人権週間（１２月４日～１０日）」に先立ち、人権尊重思想の普及と高揚を図るため、街頭啓発を実施し、啓発用品の配布を行った。

・実 施 日　１１月２０日(日)
・啓発場所　都賀文化会館前（まるごとつがまつり会場）
・参 加 者　市職員２人、人権擁護委員２人
・配 布 物　ポケットティッシュ等

(3)　人権擁護委員関係

ア　人権相談所

困りごと相談において、人権相談を実施した。

・実 施 日　毎月第４火曜日
・会　　場　栃木市都賀老人憩いの家
・相 談 員　都賀地域の人権擁護委員３人（当番制）

イ　人権週間

街頭啓発等を行い人権尊重の普及高揚を図った。

ウ　「人権の花」運動

人権思想の普及高揚のための啓発活動は、若年層に対して行うことがより効果的であることから、家中小学校にて「人権の花」運動を実施した。児童がお互いに協力して花を栽培し、その花を観賞してもらうこと等により、児童の情操をより豊かにし、人権思想への理解促進を図った。

保険医療担当

1　国民健康保険の給付等に係る申請の受付に関すること

(1)　高額療養費の受付状況　（単位：件）

高額療養費受付件数	一　般	461
	退職者	7
限度額適用認定証（標準負担額減額認定証を含む）		113

(2)　療養費の受付状況　（単位：件）

療養費受付件数	48

(3)　出産育児一時金の受付状況　（単位：件）

出産育児一時金受付件数	1

(4)　葬祭費の受付状況　（単位：件）

葬祭費受付件数	23

(5)　人間ドック検診の受付状況　　（単位：件）

人間ドック受付件数	一般ドック	40
	脳ドック	3

(6)　医療費通知の発送状況

回数	対　象　月	件　　数(件)	発　送　月
1	平成 22 年 12 月・平成 23 年 1 月診療分	1,898	５月
2	平成 23 年 2 月・平成 23 年 3 月診療分	1,893	７月
3	平成 23 年 4 月・平成 23 年 5 月診療分	1,882	９月
4	平成 23 年 6 月・平成 23 年 7 月診療分	1,777	１２月
5	平成 23 年 8 月・平成 23 年 9 月診療分	1,751	１月
6	平成 23 年 10 月・平成 23 年 11 月診療分	1,792	３月
計		10,993	

2　後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

申請書種類	件　　数(件)
資格関係届出	227
高額療養費申請	138
その他の療養費申請	43
葬祭費申請	94
被保険者証明等再交付申請	65
合　　計	567

3　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1)　重度心身障がい者医療費助成　　（単位：件）

資格関係等受付件数	43

(2)　こども医療費助成　　（単位：件）

資格関係等受付件数	271

(3)　妊産婦医療費助成　　（単位：件）

資格関係等受付件数	116

(4)　ひとり親家庭医療費助成　　（単位：件）

資格関係等受付件数	35

4　不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その２分の１の額（１０万円を限度に通算５回）を補助するため、窓口で申請受付等を行った。ただし、治療開始日が平成２２年３月２８日以前の

場合は総合支所で、それ以外は本庁保険医療課でそれぞれ支払手続きを行った。

申請受付件数及び給付状況

補助申請件数(件)(H22.3.29 以降開始分)	3
補助申請件数(件)(H22.3.28 以前開始分)	0
補助金交付額(円)(H22.3.28 以前開始分)	0

5　国民年金に係る申請等受付に関すること

(1)　諸届の受理件数　　(単位：件)

種別	件数	種別	件数
新規取得届	73	転入届	36
新規取得申出	0	転居届	49
再取得届	158	氏名変更届	12
再取得申出	3	訂正･取消･不在	3
付加年金取得届	9	転出届	59
付加年金喪失届	0	法定免除該当届	5
資格喪失届	104	法定免除消滅届	2
資格喪失申出	1	手帳再交付届	4
死亡届	1	種別変更届	28
		計	547

(2)　免除申請受理件数

種類	件数(件)
免除・納付猶予申請	155
学生納付特例申請	69

(3)　国民年金請求受理件数

給付種類	件数(件)
老齢基礎年金	6
障害基礎年金	5
遺族基礎年金	0
寡婦年金	0
死亡一時金	3
未支給年金	1
老齢福祉年金	0
計	15

(4)　相談件数

相談の内訳	件数(件)
来訪相談	40
電話相談	25

文書相談	0
計	65

生活環境交通担当

1　環境基礎調査事業

地下水水質調査

都賀地内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

・調査地点　市内２４か所

・調査月日　１０月２４日(月)　３月１２日(月)

・調査項目　硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、有機物、pH 値、臭気、味、色度、濁度、一般細菌、大腸菌、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン､マンガン、鉛、カドミウム、ヒ素、六価クロム（１７項目）

2　聖地公園墓所使用許可状況　（単位：区画）

種別及び面積	造　成　数	許　可　数
第１種　　６㎡	439	439
第２種　　１０㎡	22	22
計	461	461

3　公害関係

(1)　大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	－	－	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(2)　水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	－	－	2	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(3)　騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	1	－	－	－	
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－	

(4)　振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	2	－	－	－	
県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－	

(5)　その他

公害苦情受付件数　　（単位：件）

大　気	水　質	騒　音	振　動	悪　臭	土　壌	その他	合　計
4	1	－	－	1	－	7	13

4　保健委員事業

保健委員会の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

・保健委員の委嘱状況　　３１人

5　一般廃棄物の収集

５種１３分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週２回、もやさないごみは月１回、資源物のうち、紙類は月２回、空カン・空ビンは月２回、ペットボトル、食品用トレイは月１回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

また、休日・祝日等の犬猫等死体の収集を委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1)　ごみ収集搬入量　　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合　計
		紙　類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
2,607.96	274.96	292.74	132.73	34.64	63.11	3,406.14

(2)　もやすごみの収集搬入状況　　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	合　計
0.12	2,219.91	387.93	2,607.96

(3)　もやさないごみの収集搬入状況　　（単位：ｔ）

直　営	委　託	直接搬入	合　計
0.75	237.92	36.29	274.96

(4)　資源物の収集搬入状況　　（単位：ｔ）

種　　類	直　　営	委　　託	直接搬入	合　　計
紙　　類	－	292.74	－	292.74
空カン・空ビン	－	132.05	0.68	132.73
ペットボトル・トレイ	－	34.62	0.02	34.64
合　　計	－	459.41	0.70	460.11

(5)　粗大ごみの収集搬入状況　　（単位：ｔ）

直　　営	委　　託	直接搬入	減　　免	合　　計
2.63	5.99	54.49	－	63.11

(6)　犬猫等の収集搬入状況　　（単位：頭）

犬	猫	その他	合　　計
5	23	23	51

(7)　し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量　　（単位：kl）

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合　　計
340.07	1,160.96	1,501.03

6　不法投棄監視事業

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、保健委員により市内の巡回パトロールを行った。

(1)　地区別不法投棄物回収件数　　（単位：件）

区分	生活系廃棄物	家電４品目	電化製品	粗大ごみ	産業廃棄物	その他	計
計	2	4	2	2	1	4	15

（生活系廃棄物は１事例につき１件、それ以外は１台につき１件として集計）

(2)　不法投棄調査件数　３２件（うち不法投棄者等指導　１件）

7　狂犬病予防業務（都賀地域）

(1)　犬の登録　　（単位：頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
50	72	1,041

(2)　狂犬病予防注射

ア　第１次集合注射

・実施期間　４月２１日(木)、２２日(金)

・実施会場　地域内　６会場

・実施数　　３０８頭

イ　第２次集合注射

・実施期間　１０月１５日(土)

・実施会場　地域内　３会場

・実施数　　９５頭

ウ　個別注射

・実施方法　各動物病院等において個別に実施

・実施数　　２６５頭

8　市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県との相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

各種相談

・市民相談　常時開設　相談件数　１件

・行政相談　常時開設　相談件数　０件

9　消費者行政の推進

消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。

10　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等。

・期間　５月１１日（水）～２０日（金）

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等。

・期間　９月２１日（水）～３０日（金）

(ｱ)　交通安全市民大会

・開催日　１２月１６日（金）

市文化会館にて小学生による作文発表、大会宣言などを行った。

ウ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車、広報紙による広報、のぼり旗、立看板掲出等。

・期間　１２月１１日（日）～３１日（土）

(2)　交通安全教室等の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることにかんがみ、１０月１４日に行われた老人スポーツ大会において、交通安全○×クイズを実施し参加した高齢者に対し交通安全に関する簡単な講話とクイズを出題し、交通安全の意識高揚に努めた。

(3)　交通安全こども自転車大会

第４０回交通安全こども自転車大会栃木地区大会

・開催日　　６月１５日（水）

・会　場　　栃木市立大平西小学校

・大会記録　　赤津小学校（第４位）

(4)　カーブミラーの設置

新設８基、移設１基、鏡体増設１枚

(5)　その他の交通安全対策

ア　交通指導員の設置　４名委嘱（都賀）

イ　合戦場駅、家中駅周辺を中心に都賀地域内の放置自転車の撤去を実施

11　防犯関係

防犯業務においては、防犯灯の設置及び防犯パトロールを実施した。

(1)　防犯灯の設置

区	分	設　置　灯　数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	13
改修工事	移設、撤去、器具交換	12

(2)　防犯パトロール

地域の防犯のため、専用車を使用し、職員により防犯パトロールを実施。特に小学校の下校の時間帯に合わせ都賀地域全域を１５時から１６時３０分まで実施。

12　男女共同参画関係

(1)　男女共同参画啓発事業

・開催日　６月２３日（木）

・内容　　フジマート都賀店にて「ポケットティッシュ」の配布を行った。

(2)　女性団体活動支援

都賀町女性団体連絡協議会活動支援

・開催日　６月１３日（月）

・内容　　視察研修

・場所　　足利学校

・参加者　２４人

13　青少年行政関係

(1)　青少年健全育成推進事業

都賀町のこどもを育む会（青少年育成市民会議）活動支援

ア　夏休み、都賀地内施設の夜間パトロールを行った。

・４回実施（７月、８月）

・巡回場所　１８カ所

イ　施設の環境浄化に努めるため、施設の立入調査を行った。

・１回実施（８月）

・立入場所２カ所（有害図書類等設置施設）

ウ　子ども・若者育成支援強調月間（１１月）に街頭啓発を行った。

・開催日　１１月２０日（日）

・内容　　イベント会場にて「花の種５００個」配布

エ　青少年健全育成に関する講演会を行った。

・開催日　１２月３日（土）

・場所　都賀公民館講堂

オ　都賀地域内小中学校の児童及び生徒に対して、青少年健全育成に関する標語を募集し、優秀な作品については表彰を行った。

・応募総数　８５３点　　最優秀作品１点　優秀作品１６点

カ　つがの里を拠点として「つがの里山ふれあい塾」を開設し、親子でふれあい、絆を育む里山体験を行った。

・年間３回実施（６月、１０月、３月）

第４節　健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター及び保育園を含む）で編成されている。

福祉担当では、身体障害者手帳の交付及び障がい者が豊かな社会生活を営むための支援策として、各種手当の支給及び生産活動の機会を提供して社会参加の促進を図るために、「地域活動支援センター」の支援に努めた。また、福祉に係る全般的窓口として、民生委員児童委員を中心として、高齢化の進展、社会構造の複雑・多様化に対応・配慮して、各種の関係機関等と連携して適切な対応に努めた。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業、いきいきサロン事業等を実施した。また、高齢者福祉関係として、軽度生活援助員派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当・紙おむつ購入費助成等の介護予防や生活支援事業を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請・介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため包括的支援事業等を実施した。また、高齢者ふれあい相談員が、ひとり暮らしや高齢世帯を定期的に訪問し、安否の確認等を実施した。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。さらに、各種がん検診、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診
を実施した。また、女性特有のがん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん検診、乳がん検診の受診勧奨を図った。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談等を実施した。健康づくり事業では、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を実施した。つが健康づくり２１推進事業では、関係団体と連携し重点取組に基づき健康づくりを推進した。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、子ども手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換を行い明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所では、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭で保育ができない保護者に代わり保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

福祉担当

1　民生委員児童委員関係

民生委員児童委員２７人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員２人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
70	12	10	36	2	16
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
2	9	18	232	407	15.1

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
682	31	740	2,036	2,122	5,611	207.8

2　地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るため、社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

・施設名　都賀地域活動支援センター
・所在地　栃木市都賀町家中2357
・開所日数　２４４日
・通所延べ人員　６７９人

3　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。　（単位：人）

区　分		実施状況
交付者数		191
	うち高齢者(80歳以上)	114
	高齢者(65～79歳)	19
	障がい者	41
	腎臓機能障がい者	17

4　身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）　（単位：人）

障　が　い　区　分	手　帳　所　持　者　数	平成23年度中交付者数
視　覚　障　が　い	28	3
聴覚・平衡障がい	64	5

音声・言語・そしゃく障がい	6	1
肢体不自由障がい	219	9
内部障がい	125	8
複合障がい	16	0
合計	458	26

5　知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数)　　(単位：人)

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	2	3	19	22	46
中度(　B1　)	1	3	10	9	23
軽度(　B2　)	5	3	5	4	17
合計	8	9	34	35	86

6　身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1)　身体障がい者（児）の補装具交付及び修理　　(単位：件)

区分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	－	1	1	－	－	－
	義足	－	1	1	－	－	－
装具	下肢	1	3	4	－	－	－
	靴型	－	1	1	－	－	－
	体幹	－	－	－	－	－	－
	上肢	－	－	－	1	－	1
座位保持装置		1	－	1	－	－	－
盲人安全つえ		－	－	－	－	－	－
義眼		－	－	－	－	－	－
眼鏡	矯正眼鏡	－	－	－	－	－	－
	遮光眼鏡	－	－	－	－	－	－
	弱視眼鏡	－	－	－	－	－	－
補聴器	高度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	7	3	10	－	－	－
	重度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	2	4	6	－	－	－
車いす	普通型	－	2	2	－	－	－
	その他	2	1	3	1	－	1
電動車いす		－	－	－	－	－	－
起立保持具		－	－	－	－	－	－
座位保持いす		－	－	－	－	－	－

歩行器	－	1	1	－	－	－
歩行補助つえ	－	－	－	－	－	－
重度障がい者用意思伝達装置	－	－	－	－	－	－
特例補装具	－	－	－	－	－	－
合計	13	17	30	2	－	2

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付　　（単位：件）

区分	身体障がい者	身体障がい児
特殊寝台	1	－
特殊マット	1	－
特殊尿器	－	－
移動用リフト	－	－
訓練いす	－	－
入浴補助用具	－	－
体位変換器	－	－
便器	－	－
T字状・棒状のつえ	－	－
移動・移乗支援用具	－	－
頭部保護帽	－	－
特殊便器	－	－
火災警報器	－	－
自動消火器	－	－
聴覚障がい者用屋内信号装置	1	－
透析液加温器	－	－
ネブライザー	1	－
電気式たん吸引器	－	－
点字タイプライター	－	－
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	－	－
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	－	－
視覚障がい者用拡大読書器	－	－
盲人用時計	－	－
盲人用体温計	－	－
盲人用体重計	－	－
点字ディスプレイ	－	－
聴覚障がい者用通信装置	－	－

聴覚障がい者用情報受信装置	－	－
人工喉頭	－	－
携帯用会話補助装置	－	－
情報・通信支援用具	－	－
点字図書	－	－
ストマ用装具	22	－
紙おむつ	5	1
収尿器	1	－
居宅生活動作補助用具	－	－
合計	32	1

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況（単位：件）

種別	給付決定者数
視覚障がい	0
聴覚・平衡機能障がい	1
音声・言語・そしゃく機能障がい	0
免疫機能障がい	0
肢体不自由	1
心臓機能障がい	8
腎臓機能障がい	32
計	42

8　各種手当の状況　（単位：件）

種別		給付決定者数
特定疾患者介護手当		11
重度心身障がい児扶養手当		0
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	2
	障がい児福祉手当	0
	福祉手当（経過的）	0
特別児童扶養手当		1

9　障害者相談支援事業

都賀総合支所においては、健康福祉課の職員が直接障がい者の相談支援を行った。

10　身体障がい者等福祉関係

(1)　身体障がい者の自立更生について、１人の相談員が相談指導に当たった。

(2)　知的障がい者の自立更生について、１人の相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1　高齢者人口・生活態様別統計

(1)　高齢者人口　　（毎年４月１日現在）

区分＼年度	H21年度	H22年度	H23年度
総　人　口(人)	13,463	13,539	13,527
65歳以上人口(人)	3,122	3,146	3,163
総人口に対する割合(%)	23.19	23.24	23.38

※平成２２年度から外国人を含む人口

(2)　高齢者生活態様　　（単位：世帯）

区分＼年度	H21年度	H22年度	H23年度
65歳以上独居世帯	275	305	316
70歳以上夫婦世帯	147	149	―
65歳以上のみの世帯	―	―	308

※Ｈ２１・Ｈ２２年度は５月１日現在、Ｈ２３年度は４月１日現在

2　敬老祝賀事業

９月１日（基準日）において、本市に引き続き１年以上在住の方を対象に敬老祝金を贈呈した。本庁一括予算で実施し、９５歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。

区　分	支給額(円)	対象人数(人)
８５歳	10,000	93
９０歳	20,000	43
９５歳	30,000	15
１００歳	100,000	1
１０１歳以上	50,000	3

3　敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の８０歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

・補助金交付自治会等　２９自治会、１高齢者施設

・補助金額　　1,132,000円

4　老人クラブ育成指導

老人クラブ連合会都賀支所の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

・単位老人クラブ数（都賀地域）　　２３クラブ

・老人クラブ連合会都賀支所会員数　　８４７人
・助成金額　単位老人クラブ助成　　本庁高齢福祉課で支払
　　老人クラブ連合会都賀支所助成　本庁高齢福祉課で支払

5　老人スポーツ大会

老人クラブ連合会都賀支所主催（事務局：栃木市社会福祉協議会都賀支所）で老人スポーツ大会を開催した。個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

・開催日　　１０月１２日(水)
・参加者　　４１１人
・会　場　　都賀体育センター
・内　容　　仲間づくりや健康づくりを推進するため、輪投げ大会（２０４人参加）グランドゴルフ大会（１９８人参加）・ペタンク大会（２１０人参加）を実施した。

6　高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等の方に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（1食 300 円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認をすることを目的に、委託業者による配食サービス事業を実施した。

・宅配個数　　2,305 個
・宅配世帯数　　２６世帯（３０人）
・宅配委託業者　(株)金時給食センター
　　(有)ききょう
　　(社)スイートホーム

7　日常生活用具購入費助成等事業

おおむね６５歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。また、在宅の要介護高齢者等の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料助成を行った。

	品　目	件　数(件)
購入費助成	福祉車	30
	小型暖房器具	－
	電磁調理器	－
	火災警報器	－
	自動消火器	－
レンタル料助成	電動小型吸引機	5
	特殊寝台	－
	じょく瘡予防用具	－

8　緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　（単位：台）

既設置台数	23年度設置台数	23年度撤去台数	計
57	7	9	55

9　在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

要介護認定３・４・５のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

上半期		下半期		合計
実人員(人)	延べ支給月数	実人員(人)	延べ支給月数	延べ支給月数
101	501	99	508	1,009

10　紙おむつ購入費助成事業

要介護認定３・４・５のいずれかに認定された方で、日常生活において紙おむつを使用している方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

上半期		下半期		合計
実人員(人)	延べ支給月数	実人員(人)	延べ支給月数	延べ支給月数
97	479	95	487	966

11　介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

事　業　名	利用者数（人）	延べ回数等
緊急ホームヘルパー派遣事業	－	－
軽度生活援助員派遣事業	7	住まい営繕等　10時間 除草・家事援助　24時間
在宅高齢者短期入所事業	－	－

12　都賀老人憩いの家白寿荘

都賀老人憩いの家白寿荘の清掃等管理業務を、栃木市シルバー人材センター（都賀支所）に委託して実施した。

・利用者数　1,508人

・利用者　主に６０歳以上の高齢者・高齢者の趣味活動グループ

・開館日数　２３７日

13　外出支援サービス事業（送迎サービス）

家庭において移送することが困難な寝たきりの方や車椅子使用の方に、医療機関への通院及び入退院に際し、福祉車両での送迎を栃木市社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。（平成２３年度で終了）

・利用者数　　実　数　　２３人
　　延べ数　１６９人

14　心配事相談事業

市民の心配事や生活向上に関する相談に応じ、必要な指導助言を行い、広く市民の福祉を図ることを目的として栃木市社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

・実施回数　　１２回（毎月第４火曜日）
・相談件数　　３件
・時　　間　　午前９時３０分～１１時３０分
・会　　場　　都賀老人憩いの家
・内　　容　　合同相談（心配・困りごと・人権・行政）として実施した。

15　介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内　　容	件数(件)
要介護（要支援）認定申請　相談・受付・入力	462
介護保険被保険者証等再交付申請　受付・発行	14
介護給付費過誤申立　受付・入力（過年度分のみ）	11
介護保険住所地特例適用届　受付・入力・被保険者証発行	0
転入・転出・転居　資格管理等	1
転送希望届申請　受付・入力	10
居宅サービス計画作成依頼届　受付・入力	121
短期入所の 30 日を超える連続利用申請　受付・決定発行	3
短期入所の有効期間の半数超過利用申請　受付・決定発行	4
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請　受付・決定発行	2
福祉用具購入費支給申請　受付・入力	25
住宅改修費支給申請　受付・入力・事前教示	21
高額介護サービス費支給申請　受付・入力	42
負担限度額認定証の交付申請　受付・決定発行	66
障がい者控除対象者認定申請　受付・決定発行	32
オムツ使用証明申請　受付・発行	2
介護保険事業者事故報告　受付	0

16　任意事業

(1)　介護給付等適正化事業

介護（予防）給付において、介護サービス利用者に介護（予防）サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。(本庁介護保険課予算で作成した通知書を、転送・転出・死亡等の確認後に郵送した。)

(2)　家族介護支援事業

ア　家族介護支援講演会

(ｱ)　「住民が主役の地域づくり」

・日　　時　７月１６日（土）　午後１時～４時

・対　　象　一般市民、保健福祉関係者等

・参 加 者　８６人

(ｲ)　「たまには息抜きすっぺ」

・日　　時　３月１５日（木）　午後１時３０分～３時

・対　　象　高齢者を介護している家族、介護に関心のある方等

・参 加 者　４４人

※講演会後に交流会を実施した。

イ　生活・介護支援サポーター養成研修

地域で高齢者の生活を支える基盤を整備する目的により、社会福祉法人スイートホームに委託して実施した。

・日　　時　　２月１３日(月)～２３日(木)

・受 講 者　　１６人

(3)　高齢者地域見守り支援事業（いきいきサロン事業）

ひとり暮らし、日中ひとり暮らし、閉じこもりがちな高齢者を対象に介護予防事業として、健康チェック・レクリエーション・趣味活動等を栃木市社会福祉協議会（都賀支所）に委託して実施した。

・実施回数　　６４回（月５回程度実施）

・利用者数　　実　数　　30 人

延べ数　1,076 人

・時　　間　　午前９時３０分～午後３時３０分

・実施施設　　あいあいプラザ・都賀保健センターほか

17　高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

件数／区分	実件数	延べ件数
面　接	256	267
電話相談		275
家庭訪問	60	65
連絡調整		135

18　地域包括支援センター事業

(1)　地域包括支援センター設置状況

都賀地域包括支援センター	栃木市都賀町原宿 585-2　都賀保健センター内

(2)　介護予防事業

ア　二次予防事業

(ｱ)　二次予防事業対象者把握

地域支援事業において、被保険者が要介護状態等となることを予防する対策として、要介護者及び要支援者を除く６５歳以上の高齢者を対象に、調査票「基本チェックリスト」の郵送方式による調査を行い、その調査結果から二次予防事業対象者を抽出した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し介護予防事業「元気あっぷ教室」を行った。

・二次予防事業対象者の状況

調査対象者数（人）	回　収　数（人）	回　収　率（%）	二次予防事業対象者数(人)	対象者割合(%)
2,704	2,188	80.9	771	35.2

・介護予防サービス計画書作成状況

	件　数(件)
作成者数	31

(ｲ)　通所型介護予防事業

二次予防事業対象者に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上および対象者の身体状況に合わせたプログラムも取り入れた教室を実施し、自立した生活の確立と自己実現の支援を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	21	62
栄　養　改　善	9	10
口 腔 機 能 向 上	9	15
合　　計	39	87

イ　一次予防事業

(ｱ)　介護予防普及啓発事業

６５歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

a　健康教育・介護予防講演会

一次予防事業対象者に対して、自治会・民生委員・老人クラブが主催となり健康教育の一環として「はつらつ教室」を実施した。

また、介護予防講演会では、介護予防の必要性を理解し、自主的に介護予防に取り組む動機付けとし、自立した生きがいのある生活が送れることを目標に実施した。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	20	508
健　康　相　談	20	50
介護予防講演会	1	102
合　　計	41	660

b　祝敬老≪長生きの秘訣セット≫配付

９月の敬老月間に合わせて、７０歳以上の高齢者のいる世帯に祝敬老≪長生きの秘訣セット≫を配付し、活動的な生活が送れるよう啓発した。

・配付物　いつまでも自分らしく、安心生活

【悪質商法や振り込め詐欺にご用心】

介護予防カレンダー「毎日続けて生涯現役」

(ｲ)　地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
地区組織活動支援	12	401
認知症サポーター養成講座	9	305
合　　計	21	706

(3)　包括的支援事業

ア　介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき､介護予防事業等が包括的効率的に実施されるよう支援した｡また、要支援状態等となった場合においても、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況

	件数(件)
地域包括支援センターによる作成件数	31

・要支援 1･2 の介護予防サービス計画作成状況

	件数(件)
地域包括支援センターによる作成件数	40
事　業　者　委　託　件　数	25
合　　計	65

・サービス担当者会議実施状況

	件数(件)
地域包括支援センター主催および委託事業所実施への参加	47

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

	件数(件)
地域包括支援センター作成件数	9

イ　総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身の状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面　　接	34
電話相談	812
家庭訪問	330
合　　計	1,176

ウ　権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また､高齢福祉担当と地域包括支援センターが連携し､成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	93
高齢者虐待に関すること	58
権利擁護に関するケース会議	6
合　　計	157

エ　包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

・ケアマネジャー連絡会（年２回）

(4)　任意事業

ア　高齢者見守り支援ふれあい相談員事業

７０歳以上の在宅のひとり暮らしおよび高齢者世帯に対し、月２回の家庭訪問を通して、安否の確認、相談等を行った。また、医療・福祉・生活面で高齢者が

安全に暮せるような情報を掲載した「えがお便り」を毎月作成し、ふれあい相談員が配付することにより、市からの情報提供とともにコミュニケーションの一助とした。

・訪問状況　　（単位：件）

	対象件数	訪問件数
独居高齢者	231	1,962
高齢者世帯	155	1,339
合計	386	3,301

健康増進担当

1　つが健康づくり２１推進事業

健康づくりを総合的に進めるため、健康チャレンジ７つの里（食の里・歯の健康の里・健康診査の里・運動の里・いやしの里・たばこの里・アルコールの里）の健康チャレンジ実践目標に基づき、事業等に取り組んだ。

主な取組

・広報とちぎ等を活用して健康情報や取り組みの紹介
・都賀保健センター内のつが健康づくり 21 コーナーの充実整備
・各種健診・教室等において食に関する知識の普及啓発
・運動の必要性の理解を深めるために運動教室の充実開催
・都賀地区歯科医院と協力し、健診等における歯科指導の充実
・妊産婦や乳幼児がいる家庭への受動喫煙の害等の啓発

2　母子保健事業

(1)　母子健康手帳の交付

妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録しておくためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳を交付した。その際、妊娠・出産についてのアンケートを行い、妊婦の状態を把握し、必要に応じて面接相談を実施した。

・受理及び公布状況　　（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
		妊娠届出	双　胎	紛失等
88	94	88	－	6

(2)　妊婦一般健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、１人につき１４回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

(3)　妊婦歯科健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において歯科健康診査及び衛生指導を行った。

(4)　健康教育

ア　両親（母親）教室

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を栃木会場において実施した。栃木・都賀地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

イ　子育て教室（すくすく教室）

３～４か月児とその母親を対象に、よりよい母子関係の育成を目的として、赤ちゃん体操、離乳食・育児知識の提供や母親同士の交流を図った。

・実施回数　　４ 回

・参加者延べ数　４０組

ウ　子育てサロン

育児の情報交換や母親の友達づくりをすすめることにより、地域の中で心のゆとりを持って楽しく子育てができるよう支援した。また、保健師等による育児等の相談を行った。

・実施回数　　１２回

・参加者延べ数　　１２０組

エ　だっこだっこ絵本事業

９か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

・実施回数　　１２回（９か月児健康診査時）

・参加者延べ数　　９４組

(5)　乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。１歳６か月児や３歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区分	実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診（%）	要観察（人）	治療中（人）	要治療（人）	要精検（人）
乳幼児健康診査（４か月児）	12	91	91	100	9	1	0	1
乳幼児健康診査（９か月児）	12	99	99	100	11	0	0	2
１歳６か月児健康診査	5	80	79	98.8	22	1	0	5
３歳児健康診査	4	100	100	100	22	2	0	4

(6)　新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することをことを目的に助産師による訪問指導を行った。

・指導実数　１０件

(7)　こんにちは赤ちゃん事業

生後４か月までの乳児のいる家庭を保健師・助産師・母子保健推進員が訪問し、育児に関する不安や悩みを聴取、相談、子育て支援に関する情報提供、親子の心身の状況の把握を行った。

・訪問数　７９件

(8)　乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

３～４か月児を対象に委託機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を行うため、受診券を交付した。

(9)　のびのび相談室

何らかの発達上の問題が疑われた児に対し、心理士による相談指導・育児支援を行った。

・実施回数　８回

・実施状況　（単位：人）

相談者数	結果内訳				
	今回のみ	健診･訪問等でフォロー	再受診	乳幼児発達相談勧奨	医療機関紹介
20	9	－	10	－	1

(10)　２歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談、管理栄養士による栄養指導を行った。

実施回数(回)	対象児数(人)	受診数(人)	受診率(%)
4	87	85	97.7

(11)　５歳児発達相談

３歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、きつ音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園・保育園及び保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況　（単位：人）

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診･医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
68	45	11	－	2	9	1

(12) 健診事後教室（ちゃいちゃいクラブ・ぺんぎん教室）

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、栃木会場にて集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木・都賀地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

(13) 乳幼児発達相談（二次健診）（数値は本庁健康増進課で一括計上）

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた幼児に対し、栃木会場において、医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期療育につなげた。栃木・都賀地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

(14) 思春期保健

ア　思春期個別相談事業

思春期の様々な悩みについて電話相談を受け、保健師による適切な指導助言を行った。

・相談件数　２　件

(15) 母子保健推進員活動

母子保健推進員を委嘱し、母子保健の向上のため乳幼児等の家庭訪問や健診の場で相談活動を行った。

・推進員数　２６人

活動内容	乳幼児関係	その他	計
件　数(件)	1,010	135	1,145

(16) フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図り、口腔衛生思想を高めるため、下都賀医師会と１市５町の共催で小学１年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。

・フッ素塗布者数

小学１年生	年長児	合　計
50人	41人	91人

(17) 親子クッキング教室

年中～年長児の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む等の食育を行った。

・実施回数　１回

・参加人数　３７人

(18) キッズ生活習慣病予防教室

都賀地区内の保育園において、健康の基礎をつくる時期である５歳児に対し、朝ごはんの大切さや規則正しい生活習慣について、クイズやリズム体操等で楽しくわかりやすく指導した。

・実施回数　１回

・参加人数　２８人

3　特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1)　特定健康診査、後期高齢者診査及びヤング健診

・実施回数　１２回

・実施場所　都賀保健センター

(2)　健診結果説明会

・実施回数　１３回

・参加者数　９７人

(3)　特定保健指導

区　分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	23	9	39.1
動機付け支援	61	44	72.1
合計	84	53	63.1

4　健康診査事業（健康増進法による健診）

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）を行った。

・集団健診実施回数　　１２回

・受　診　者　数　　1,436 人

・集団健診実施会場　　都賀保健センター

5　結核検診事業

結核を早期に発見し、早期治療を図るため、各会場を巡回し胸部レントゲン検査を下都賀郡市医師会病院に委託し行った。

・実施会場数　２４会場

・受診者数　1,207 人

6　健康増進法等に基づく保健事業

(1)　健康教育

市民の健康づくりを推進するため各種の健康教育を行った。

教　室　名	実施回数(回)	参加者数(人)	内　　容
健康づくりセミナー	3	30	運動指導士による筋力アップストレッチ 管理栄養士による講話及びバイキング実習
減る脂－教室	3	46	医師・管理栄養士による講話、調理実習
からだスッキリ運動教室	22	341	運動指導士による運動講話及び実践

(2)　健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

・実施回数　　４回
・延べ相談者数　４人
・内容　保健師・管理栄養士による個別相談

(3)　病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。
・実施回数　　１回
・述べ相談者数　１人
・内容　管理栄養士による個別指導
・指導内訳　　（単位：件）

高血圧症	1	糖　尿　病	－	腎　臓　病	－
脂質異常症	－	肝　臓　病	－	そ　の　他	－

7　自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

普及啓発用リーフレットを作成し、窓口及び各種事業時において配布した。

8　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1)　定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で行い、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア　集団接種
・ポリオ投与（小児マヒ）
・実施回数　４回
・実施場所　都賀保健センター

イ　個別接種
ＢＣＧ　三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）　麻しん風しん（混合）
日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2)　任意予防接種
・子宮頸がん予防接種は、各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。
・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌ｂ型（ヒブ）ワクチン、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9　地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。
・訪問世帯数　９世帯

・保健師訪問指導　２６人（延べ人数）

・内訳

精神保健	13	妊　産　婦	4	幼　　児	1	生活習慣病	4
新　生　児	0	低体重児	1	他の疾患	0	そ　の　他	0
心身障がい	0	乳　　児	3				

10　健康まつり事業

市民の健康増進のため、まるまるまるごとつがまつりが開催された際に健康相談コーナーを実施した。

・実施日　　１１月２０日（日）

・場　　所　都賀保健センター、都賀中学校 ほか

・実施内容　歯の健康相談（歯周病チェック、ブラッシング指導）脱メタボコーナー

・延べ参加者数　６８０人

11　献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	18	3	14	0	17	1

12　都賀保健センター利用状況（当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。）

区　　分	会議室	和室	調理室	その他	合 計
利用者数(人)	326	120	240	80	766

こども担当

1　放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を充分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、都賀地域３か所の小学校区内において実施した。

・放課後児童会入会者数　　（単位:人）

学年 / 児童会名	１学年			２学年			３学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
げんきっこ(合戦場小)	9	6	15	3	10	13	5	12	17	17	28	45
さくらんぼ（家中小）	2	2	4	3	4	7	6	5	11	11	11	22
キッズ（赤津小）	2	4	6	1	1	2	7	5	12	10	10	20
計	13	12	25	7	15	22	18	22	40	38	49	87

2　幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満３歳児、３歳児、４歳児及び５歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金の交付事務を行った。

(1)　国庫補助事業

・交付対象人数　３０１人

・交付金額　30,499,300円

(2)　県補助事業

・交付対象人数　３人

・交付金額　354,000円

(3)　市単独補助事業幼稚園第三子以降支援特別補助金

・交付対象人数　２５人

・交付金額　3,246,500円

(4)　市単独補助事業幼稚園奨励費国庫非該当世帯特別補助金

・交付対象人数　３４人

・交付金額　204,000円

3　地域子育て支援センターつが

(1)　利用者数推移　（単位：人）

年齢／年度	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	６歳	保護者	合　計
21年度	111	82	12	15	－	－	－	201	421
22年度	10	86	25	59	－	－	－	140	320
23年度	183	515	186	34	10	2	－	887	1,817

(2)　活動状況

ア　定例遊び

すくすくタイム

・実施曜日　毎週木曜日

・実施時間　午前１０時３０分～１１時３０分

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　計　５３回

・述べ参加者　1,588人

イ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数
1	親子エアロビクス	115
2	ベビーマッサージ・ヨガ	120
3	バルーンアート	44

4	スノードーム作り	42
5	親子スキンタッチ教室	33
合　計		354

ウ　子育て相談　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	10	10	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	5	5	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い　ほか	8	8	0
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康　ほか	6	6	0
ことばに関すること	発語が遅い・幼児語　ほか	5	5	0
対人関係	他の子とのかかわり　ほか	25	25	0
その他	性格・育児依頼・入園・病気・親のストレス・家庭環境・祖父母との関わり　ほか	17	17	0
合　計		76	76	0

4　子ども手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給を行った。

・子ども手当受付件数　１３０件

5　赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝いとして交付した。

事　業　名	祝　金　額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	19
	第三子以降　20,000円	17

6　チャイルドシート購入費助成事業

子どもを乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図るため、チャイルドシート購入費を助成した。※7月より助成額の変更あり

・助成額　購入費の1/2以内の額

限度額5,000円(～Ｈ２３．６月購入分10,000円)

・受付件数　４８件（内６月購入分まで１８件）

7　児童扶養手当

父母の離婚や死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない児童や父また

は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給を行った。

種　別	受付件数(件)
児童扶養手当	10

8　保育所

(1)　保育所入所状況

ア　児童定員・異動状況　（単位:人）

区分	保育園名	定　員	23年4月1日入所児童数	途中入所児　童　数	退所児童数	24年3月1日入所児童数
公立	都賀よつば保育園	120	129	8	1	136

イ　階層別児童数（３月１日現在）　（単位:人）

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	計
公立	都賀よつば保育園	0	16	20	32	27	13	15	13	136

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ　年齢別児童数（３月１日現在）　（単位：人）

区分	保　育　園　名	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳以上	計
公立	都賀よつば保育園	9	16	19	30	62	136

(2)　施設運営全般

施設運営上の目標

・幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
・幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
・保育内容の充実と技術の向上
・安全対策と保護者との対応
・地域における子育て支援

(3)　保健管理

ア　健康診断の実施状況

区　　分	回数(回)	実　施　月	結　果　と　措　置
健康診断	2	５月・１０月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	５月・１０月	結果については、保護者連絡

イ　検便等の実施状況

区　分	回数(回)	実　施　日	結　果　と　措　置
寄生虫卵	2	5月9日(月)・10月17日(月)	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月9日(月)・10月17日(月)	結果については、保護者連絡

ウ　健康状態の観察及び個別検査の状況

(ｱ)　観　察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(ｲ)　個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ｳ)　伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数　　なし

(4)　児童保育の内容

ア　保育目標

・心身ともに健康な子ども
・自分で考え行動する子ども
・喜んで話したり聞いたりする子ども
・人とのかかわりの中で、相手を思いやる子ども
・豊かな感性を持つ子ども
・地域の中で育つ子ども

イ　保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ　年間行事実施状況

区　分	社会的行事に合わせた行事	主　な　行　事
４月		入園式
５月	こどもの日	親子遠足
６月	衣替え	
７月	七夕祭り	プール開き、世代間交流
８月		防犯教室
９月		
10月		運動会、お月見会、園外保育
11月	七五三祝	保育参観、親子給食会
12月		生活発表会、クリスマスの集い
１月		
２月	節分	まめまき
３月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※　その他、毎月誕生児の誕生会を開催

エ　障がい児保育の状況

・障がい児入所数

保育園名	人数（人）
都賀よつば保育園	2

・保育方法　混合保育

オ　低年齢児保育（０、１、２歳児）（３月１日現在）（単位:人）

区分	保育園名	０歳児	１歳児	２歳児	計
公立	都賀よつば保育園	9	16	19	44

カ　保護者との連携

・保育参観

・送迎時の連絡

・子育て等相談

(5)　防災対策の状況

・設備、遊具等の整備点検

・避難訓練

・安全のための実施訓練

・事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

(6)　給食実施状況

ア　予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定する。

イ　給食構成

・乳児－主食、副食、おやつ（完全給食）

・幼児－副食、おやつ

ウ　１日当たり平均栄養摂取量状況

(ｱ)　３歳未満児（主食及び副食＋おやつ）　（平成２３年度平均）

栄養素等 ＼ 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
都賀よつば保育園	511	20.7	16.4	310	2.2	338	0.29	0.46	27	1.7
栄養給与目標	490	18.0	11～16	200	2.3	190	0.25	0.28	20	

(ｲ)　３歳以上児（副食＋おやつ）　（平成２３年度平均）

栄養素等 ＼ 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
都賀よつば保育園	406	20.0	16.7	306	2.3	399	0.28	0.46	31	1.9
栄養給与目標	400	19.0	13～19	270	2.5	200	0.32	0.36	20	

(7)　特別保育科目設定実施事業

世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園名	実施回数(回)
都賀よつば保育園	1

第５節　産業振興課

〔総括概要〕

未曾有の災害をもたらした３月１１日の東日本大震災と東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の拡散及びその後の電力不足により、都賀地域においても農業・商業・工業それぞれ大きな影響を受けた。

農業においては、放射性物質の汚染による農産物の出荷制限や風評被害による販売価格の下落等が生じたため、消費者信頼を確保し消費の回復・拡大を図るため、放射性物質検査のモニタリングの充実により安全安心に努めた。いろいろと厳しさが増す状況の中ではあるが、食糧自給率の向上のポイントとなる麦・大豆・飼料作物・新規需要米・そば・なたねなどを戦略作物として二毛作、あるいは、施設園芸等を取り入れた複合的な農業経営を推進するための施策に取り組んだ。また、首都圏に位置する地理的な優位性から大消費地への農産物の供給のため、土地利用型農業の推進とブランド力のある園芸作物の生産振興やＰＲ等実施すると共に、花きや畜産物の品質向上や生産振興、販売促進等の各種事業を実施した。一方、従前からの農業者の高齢化・担い手の不足や耕作放棄地対策としては、地域農業担い手組織の育成事業により集落営農を推進した。

農業農村整備については、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業水路整備事業と県単独土地改良整備事業による農道整備を実施すると共に、土地改良区の育成や農業用用排水路の適正管理に努めた。農地・水・環境保全対策については、富張地区と大柿地区で、地域の環境保全や施設の維持管理に地域住民が一丸となって取り組んだ。

林務事業においては、地域の里山林の整備のため県民税事業により藪の刈払いや不用木の処分や有害鳥獣の駆除、生出宿里の駅のトイレ管理と共に、つがの里周辺の臼久保地区の森林等の管理を行った。

商工業においては、都賀町商工会と連携のうえ商工業の振興を図ると共に、特産品のＰＲを新宿駅イベント広場等で実施した。

労働関係については、国の交付金を活用した緊急雇用対策事業やふるさと雇用再生事業を行い、失業者の雇用対策に努めると共に、中小企業勤労者に対する福利厚生事業の充実のため、栃木広域中小企業勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援した。

観光関係については、「つがの里」や「花之江の郷」「大柿花山」等の地域資源を活かした各種イベントを開催し観光客の誘客に努めた。また、観光宣伝事業による地域資源の魅力発信のための事業を実施し、都賀インター周辺地区への企業立地の支援を積極的に行った。

農林振興担当

1　米政策改革推進対策

(1)　戸別所得補償事業

戸別所得補償事業については、食糧の自給率向上のポイントとなる麦・大豆・飼料作物・新規需要米・そば・なたね・加工用米等を戦略作物として、二毛作による取り組みについて推進した。

都賀地域に提供された平成２３年産米に係る需要情報は2,997トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、都賀町水田農業推進協議会と連携し、農業者及び農業者団体と一体となった主食用米の需給調整を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	1,038人
水稲生産実施計画書提出農業者数（①）	887人
生産確定数量の計（①の積算）	2,725,943kg
作付確定面積（①の積算）（②）	54,202.0ａ
主食用等水稲作付面積の計（①の積算）（③）	49,454.9ａ
差引(②-③)	4,747.1ａ
水稲生産確定面積に対する 主食用等水稲作付面積の割合（③÷②）	91.24%

(2)　戦略作物　（単位：ha）

二条大麦	191.3
大豆	5.0
そば	38.7
飼料作物	53.9
新規需要米・加工用米	50.3

(3)　農政協力員会議

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、都賀町水田農業推進協議会との連携により、農政協力員会議を開催した。

・農政協力員会議の開催状況

開　催　日	参加人数（人）
5月31日(火)	39
3月7日(水)	38

その他、生産者を対象に戸別所得補償制度の説明会を開催した。

2　農業制度融資関係

(1)　都賀町農業経営安定資金利子補給金

利子補給金額　（単位：円）

区　　分	融資残高	利子補給額

下野農協	28,323,970	316,290

(2) 都賀町信用保証料補助金

保証料補助金額 （単位：円）

区　　分	保証料残高	保証料補助額
経営安定資金保証料補助金	14,473	4,500

3 農業経営基盤強化促進事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

・農業経営改善計画認定者数　７８人

4 集落型経営体の育成

農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業の新たな担い手として期待される「集落型経営体」設立及び法人化に向けた合意形成を促進するため、実施主体である下野農業協同組合と連携して、研修会を開催した。

集落名	参加人数（人）
富張モデル地区	13
升塚集落営農組合	6

5 農業団体育成事業

(1) 都賀町認定農業者協議会

本地域農業の担い手であり、自らの経営改善の実践と都賀地区の農業振興のために活動を行っている認定農業者協議会に対し補助金を交付した。

・補助金　　148,000 円

(2) 都賀町農村生活研究グループ協議会

農村女性の社会参画や地位向上による農業農村の活性化を啓発し、輝く農村女性を構築するため、各種教室や研修会を実施した。

・事業内容　　スポーツ交流・視察研修・手芸教室・食育カルタ事業・まるつが出店・さつまいも掘り

・事業費　　173,795 円　（補助金　60,000 円）

(3) ＪＡしもつけ都賀園芸部会連絡協議会

都賀地区の園芸の課題について検討し、経営の安定と地域農業の発展を目的とし、園芸作物の振興、集出荷等について、地区の園芸部会が一体となった連絡協議会に対し補助金を交付した。

・補助金　　73,000 円

6 農業振興事業

(1) 農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの適正処理を図るため、会議を実施し分別回収を推進した。

・事業主体　　都賀町農業用廃プラスチック処理対策協議会

・事業内容　　農業用廃ビニールの分別回収、適正処理

（塩化ビニール・ポリエチレン類　68,411 ㎏）

・事業費　　1,237,164 円（補助金　270,000 円）

(2)　つがブランド農産物イメージアップ事業

都賀町のＰＲと都賀産いちごの知名度アップのため、都賀町施設園芸産地育成推進会議主催の「いちご狩りフェスティバル」を実施した。また事業に対して補助金を交付した。

・補助金　　300,000 円

7　畜産振興事業

家畜防疫団体関係

家畜の伝染病等を防止することで、家畜の経済効果を高め、地域畜産の振興を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

・事業主体　　栃木市畜産協議会都賀支部

・事業内容　　枝肉勉強会、視察研修、病害虫防除薬購入の助成

・事業費　　88,200円

8　戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業

家中南部地区（都賀町家中地内）

・工事延長　水路工　Ｌ＝132.30m　Ｕ型水路 500×500　ボックスカルバート 600×600

・総事業費　3,166,800 円

9　県単独土地改良事業

木地区（都賀町木地内）

・工事延長　農道舗装工　Ｌ＝240.25m　　Ｗ＝4.50m

・総事業費　6,797,700 円

10　農地・水・環境保全向上対策事業

農地や農業用水等の資源の保全等、農村環境を守り質を高める農家、非農家を含めた地域活動組織の事業取り組みへの支援を行った。

(1)　共同活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				金額計（円）
	締結年度	終了年度	交付期間	田（1,100 円/10ａ）		畑（700 円/10ａ）		
				面積（ａ）	金額（円）	面積（ａ）	金額（円）	
富張地区環境保全会	H19	H23	5 年	9,840	1,082,400	1,795	125,650	1,208,050
大柿の郷を	H20	H23	4 年	9,413	1,035,430	5,585	390,950	1,426,380

まもる会								

(2) 向上活動支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				金額計(円)
	締結年度	終了年度	交付期間	田(1,100円/10ａ)		畑(500円/10ａ)		
				面積(ａ)	金額(円)	面積(ａ)	金額(円)	
富張地区環境保全会	H23	H25	3年	9,840	1,082,400	1,795	89,750	1,172,150

11 土地改良区運営支援

前年度に引き続き都賀町土地改良区の事務運営費の補助を行った。

・補助金　　5,176,000円

12 農業公社

円滑な事業実施が出来るようにするため、農業公社の事務運営費の補助を行った。

・補助金　　1,620,000円

(1) 農地利用集積円滑化事業

経営規模縮小農家及び兼業農家から規模拡大農家等に農地の貸付けを実施した。

	貸人		借人	
	件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)
計画	80	40.0	90	40.0
実績	140	55.1	84	55.1

(2) 農地賃貸借奨励助成金の交付

交付金額(円)	交付件数(件)	対象面積(㎡)
277,565	14	55,513

(3) 農作業受委託推進事業

受託者を農業公社に登録し、米麦を中心とした農作業を調整して受託登録者に斡旋した。なお、公社所有の無人ヘリコプターにより「麦の赤かび病防除作業」を実施している。また、水稲防除作業について、全面的に無人ヘリによる散布を実施した。

作業名	耕起	水稲防除	田植	麦薬剤散布	稲刈	麦播種	麦刈	そば大豆刈	麦防除	その他
計画(ha)	40	750	10	25	35	30	30	35	80	110
実績(ha)	45	662	3	21	27	15	21	40	60	39
率(%)	112	88	30	84	78	50	70	114	75	35

13　つがの里周辺管理事業

(1)　周辺緑地賃借料

栃木市都賀町の重要な観光地域である、つがの里周辺の緑地を保全すると共に、観光資源として活用するために用地の賃貸借を行った。

・借上面積　　10,254 ㎡

・借上金額　　102,540 円

(2)　維持管理

つがの里周辺の森林を適切に保全するため、管理事業を行った。

・業務委託費　　286,100 円

14　生出宿里の駅施設管理事業

直売所やカタクリの里等、市の重要な観光地域を訪れる観光客の利便性向上を図り、より多くの集客を推進するため生出宿公衆トイレ施設の維持管理を行った。

15　有害鳥獣捕獲事業

農作物及び生活環境等への鳥獣による被害を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣の捕獲駆除を実施した。

(1)　イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

捕獲時期	捕獲状況
通　年	イノシシ23頭、シカ3頭

(2)　カラス、ドバトの駆除の有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
5月22日(日)～29日(日)	ドバト14羽、カラス70羽、カモ類84羽
10月22日(土)、23日(日)	ドバト6羽、カラス59羽

16　とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成２０年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備等を実施している。

事業の概要

(1)　通学路や住宅周辺の安心・安全確保のための里山林維持管理事業

明るく安全な里山林整備事業によって刈払いを実施した通学路沿いや住宅地周辺の里山林の維持管理を実施した。

・実施箇所　深沢地区

・事業量　　1.35ha

・事業費　　67,500円

・事業主体　市

(2)　野生獣被害軽減のための里山林整備事業

藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備した。

・実施箇所　深沢東地区

・事業量　　14.2ha

・事業費　　3,550,000円

・事業主体　市

(3)　野生獣被害軽減のための里山林維持管理事業

明るく安全な里山林整備事業によって刈払いを実施した野生獣被害が発生する恐れのある里山林の維持管理を実施した。

ア・実施箇所　深沢地区

・事業量　　20.0ha

・事業費　　1,000,000円

・事業主体　市

イ・実施箇所　大柿地区

・事業量　　35.4ha

・事業費　　1,770,000円

・事業主体　市

ウ・実施箇所　中郷地区

・事業量　　19.8ha

・事業費　　990,000円

・事業主体　市

17　市有山林環境保全事業

緊急雇用対策として、間伐・植林・下草刈り等、市有山林等の整備を実施した。

・事業量　15.4ｈａ

・事業費　4,976,000円

18　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

件　　名	件　数(件)
耕作証明書	39
農家証明書	3
農家基本台帳の写し	7
合　　計	49

商工観光担当

1　商業振興

(1)　商工団体の育成及び助成

商工団体である商工会、たばこ組合の運営や諸事業に対し補助金を交付した。

名　　称	事業費(円)	うち市補助額(円)	備考（目的等）
都賀町商工会運営補助金	55,546,067	5,000,000	商工会の運営
商工業振興費補助金	1,452,032	900,000	商店の販売促進
未成年者喫煙防止事業費補助金	706,177	80,000	未成年の喫煙防止活動の促進

(2)　大柿地区地域活性化事業

地元農産品の販売・地域ブランド品の開発及び地域振興を図るため、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用した大柿地区アンテナショップの運営を、都賀町商工会に委託して実施した。

・ふるさと雇用委託料　9,109,000 円

・大柿村ほたるの里より処の運営　雇用者 10 人（うち地元雇用 9 人）

2　制度融資

(1)　都賀町中小企業融資利子補給

中小企業向け資金融資利用者の利子の一部を補助し、その負担を軽減した。

区　分	平成２３年度		平成２２年度		平成２１年度	
運転資金	12 件	147,294 円	13 件	237,444 円	18 件	335,229 円
設備資金	1 件	51 円	2 件	20,128 円	2 件	32,177 円
計	13 件	147,345 円	15 件	257,572 円	20 件	367,406 円

(2)　経営安定関連保証（セーフティーネット保証）認定状況

（中小企業信用保険法第２条第４項第１～８号）　　（単位：件）

保険法	適　用　事　項	平成２３年度	平成２２年度	平成２１年度
第１号	再生手続申立等関係	－	－	－
第２号	事業活動の制限関係	－	－	－
第３号	地域・業種関係	－	－	－
第４号	地域関係	－	－	－
第５号	業種関係	16	37	67
第６号	破綻金融機関関係	－	－	22
第７号	金融機関経営合理化関係	－	－	1
第８号	ＲＣＣ譲渡関係	－	－	－
計		16	37	90

3　雇用機会の確保

雇用機会の確保のため、ハローワークをはじめとする関係機関との連携を図りながら、求人情報の提供や相談等を実施した。

また、国の緊急雇用対策事業を活用した各種事業の推進のため、雇用担当として手続きや取りまとめの事務を行った。

4　観光振興関係

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源のＰＲ、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

(1)　観光協会関係

観光資源を活かした観光行事の実施、観光パンフレット等による宣伝活動など、つがまち観光協会の運営により観光の振興を推進した。

・つがまち観光協会事業補助金　800,000 円

・主催事業　つがの里ハスまつり、つが花火大会

(2)　観光交流事業

自治体交流のある茨城県大洗町との観光交流を実施した。

・大洗からまるまるまるごとつがまつりへの出店　１１月２０日(日)

(3)　観光展への出展等

ア　やすらぎの栃木路フェア

・実施日　９月２２日(木)

・場　所　新宿駅西口

イ　震災復興関東観光ＰＲ

・実施日　３月１０日(土)

・場　所　横浜ランドマークタワー

(4)　観光施設等利用状況

つがの里公園内施設利用状況　（単位：人）

施　設　名	平成２３年	平成２２年	平成２１年
ふるさとセンター	14,407	19,808	23,869
ファミリーパークプラザ	238	623	647
バーベキュー場	3,436	4,107	4,914

5　観光行事推進事業関係

(1)　ハスまつり

・期　　間　　６月２５日（土）～７月１０日（日）

・場　　所　　つがの里公園

・主　　催　　つがまち観光協会

・来 場 者　　約 4,000 人

(2)　つが花火大会

・期　　日　　８月６日（土）

・場　　所　　都賀市民運動場

・主　　催　　つがまち観光協会

・打 上 数　　1,300 発

6　企業誘致事業

雇用機会の拡大と地域産業経済の振興、市税等の自主財源の増加を図るため、市内への企業誘致活動を行った。

また、市内に工場等を新設・増設した企業に対する支援として、工場等立地奨励補助金の交付を行い、経営安定と雇用の確保、新たな企業立地の促進に努めた。

(1)　都賀ＩＣ周辺開発

北関東自動車道都賀ＩＣに隣接し、地下水等の自然環境にも恵まれた当地区に企業立地を図るべく、地権者等で組織する都賀ＩＣ周辺土地利用研究会との連携を図りながら、企業誘致活動に努めた。

・企業２社（うち工場稼働中１社）

(2)　工場等立地奨励補助金

都賀地区に工場等を新設・増設した企業に対し、操業後の経営安定化と雇用機会の確保等を目的に、固定資産税の一部を補助した。

・補助対象企業　１社

第６節　都市建設課

〔総括概要〕

都市建設課の主な分掌事務は、道路・橋りょう・河川水路及び公園の管理に関する事務、道路・橋りょう・河川水路及び公園の占用許可並びに工事の承認に関する事務、公共用地の取得・補償及び登記に関する事務、道路・橋りょう・河川水路及び公園の整備に関する事務等である。

市民が安全で快適な暮らしを支えるために必要不可欠な社会資本である、道路・河川・公園の効率的な維持管理と、整備充実を図ることにより、市民生活環境の向上に努めている。

そのうち道路は、地域の方々にとって最も身近な社会基盤であり、通勤・通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から生産・物流の経済活動や地域の歴史、文化交流を支える根幹的な公共施設として大きな役割を果たしており、そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、常に安全な市道を確保するため、道路維持管理、舗装補修、交通安全施設工事を実施した。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行うとともに、防災機能を確保するための調整池の維持管理を行った。

公園管理については、公園等の占用について指導、監督を行った。また、つがの里を含む都賀地域１０か所ある公園等の利用者が安全で快適に利用できるよう、業務委託による公園の清掃、樹木及び遊具等の施設管理を行った。

愛護活動については、自治会における道路・河川水路の清掃などの愛護活動を積極的に支援することで、市民とともに維持管理に取り組み、道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

道路整備においては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、市民のニーズや要望等を踏まえながら道路改良や舗装整備などを計画的に進めている。本年は、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上に資するため、都賀町家中地内市道Ｔ①－１５６号線ほか２路線の道路改良工事を実施し、都賀町家中地内市道Ｔ①－２６５号線ほか５路線の舗装補修工事を実施した。

また、都賀聖地公園へのアクセス向上のため、都市再生整備計画事業として都賀町木地内の市道Ｔ③－２８２号線ほか４路線の測量設計業務委託を実施した。

さらに、都賀町合戦場地内市道５６号線ほか２路線の道路事業の用地取得を行った。

次に、河川整備については、洪水被害などを防ぎ、安全で快適な市民生活を守るために、治水・利水の機能の充実を図りながら、環境に配慮した水辺空間の創出な

どが求められており、台風や大雨時の浸水被害対策や適正な水利用を図るため、他事業と連携しながら計画的に河川、排水路等の整備を進めている。整備事業としては、浸水被害のあった都賀町大橋地内の大橋大川筋河川整備工事を実施した。

また、栃木県施行の主要地方道宇都宮亀和田栃木線の合戦場地内におけるゲリラ豪雨等による浸水被害に対応する地域排水整備事業の負担金を支払った。

最後に、公園整備事業としては、都賀町臼久保地内のつがの里において地域活性化の拠点とするため、つがの里の利便性を高めるための各施設の再整備を図る目的で、ファミリーパークプラザ改修工事の測量設計業務委託やバーベキュー場と蓮池の整備工事を実施した。また、都賀聖地公園整備事業に伴う測量設計業務委託を実施した。

管理担当

1　業務委託関係

(1)　道路維持管理業務委託

委　　託　　名	委　託　箇　所	委託内容	金　額（円）
市道管理委託業務	都賀地域	草刈等	1,128,581
東北道 BOX 冠水注意回転灯設備保守点検業務	都賀町木Ｔ15	回転灯保守点検業務	42,000
市道各号線維持修繕等業務委託(その１)	都賀地域	転落防止工 路肩修繕工 ほか	3,139,500
市道各号線維持修繕等業務委託(その２)	都賀地域	土留め工 側溝清掃 ほか	3,150,000
市道各号線維持修繕等業務委託(その３)	都賀地域	歩道修繕 土留め工 ほか	3,129,000
市道各号線維持修繕等業務委託(その４)	都賀地域	障害物撤去 側溝工 ほか	483,000
市道各号線維持修繕等業務委託(その５)	都賀地域	パッチング 側溝清掃 ほか	3,087,000
市道各号線維持修繕等業務委託(その６)	都賀地域	パッチング 除雪作業 ほか	3,113,250
市道各号線維持修繕等業務委託(その７)	都賀地域	側溝打替 法面修繕 ほか	3,433,500
計			20,705,831

(2)　河川・水路管理業務委託

委　　託　　名	委　託　箇　所	委託内容	金　額
調整池等管理業務	都賀町合戦場調整池	除草ほか	111,600円

2　都市公園等管理事業

(1)　維持補修

補　修　内　容	金　額（円）	備　考
遊具修理（升塚中央公園）	57,750	
つがの里園内修繕	439,950	
合　計	497,700	

(2)　業務委託

業　務　名	公　園　名	金　額	備　考
公園清掃業務委託	家中駅西公園等	115,850 円	

都市建設担当

1　道路工事関係

(1)　道路改良工事

工　事　箇　所		工　事　内　容			工事金額(円)	備　考
町　名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
都賀町家中	T①156	135.0	6.0		3,780,000	
都賀町家中	T②193	28.4	8.0		4,557,000	
都賀町臼久保	T③206	109.1	6.1		12,127,500	
計					20,464,500	

(2)　舗装補修工事

工　事　箇　所		工　事　内　容			工事金額(円)	備　考
町　名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
都賀町合戦場	T①249	313.6	3.70		3,045,000	
都賀町家中	T①265	299.6	7.60		23,887,500	
都賀町家中	T9	234.8	7.35		11,749,500	
都賀町大柿	T16	132.0	7.10		2,667,000	
都賀町木	T62	186.0	7.80		3,832,500	
都賀町大橋	T14	257.0	5.00		3,150,000	
計					48,331,500	

(3)　河川整備事業

工　事　箇　所		工　事　内　容			工事金額(円)	備　考
町　名	河川名	延長(m)	幅員(m)	その他		
都賀町大橋	大橋大川筋	59.7	1.5		10,048,500	その１
都賀町大橋	大橋大川筋	6.9	1.5		2,751,000	その２
計					12,799,500	

(4)　公園整備事業

工事箇所		工事内容	工事金額(円)	備考
町名	公園名			
都賀町臼久保	ファミリーパーク	バーベキュー場整備	5,481,000	
都賀町臼久保	都賀聖地公園	蓮池整備工事	7,350,000	
計			12,831,000	

2　業務委託関係

(1)　道路整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	町名	路線名			
土地鑑定評価	都賀町大柿	T③278/279	鑑定箇所1地点	202,650	
土地評価業務	都賀町合戦場	T56	土地価格変動調査	42,000	
土地評価業務	都賀町大柿	T③278/279	標準値評価1画地 各画地評価8画地	205,500	
土地評価業務	都賀町木	T③282	標準値評価2画地 各画地評価2画地	290,600	
測量設計	都賀町大橋	T14	用地測量	840,000	
測量設計	都賀町臼久保	T③206	測量設計	1,837,500	
測量設計	都賀町木	T③282	用地測量設計	2,835,000	
測量設計	都賀町木	T③188	測量設計	5,985,000	
測量設計	都賀町家中	T②186	用地測量設計	2,499,000	
計				14,737,250	

(2)　公園整備事業業務委託

業務名	委託箇所		委託内容	委託料(円)	備考
	町名	公園名			
測量設計	都賀町臼久保	ファミリーパーク	建築設計	1,365,000	
測量設計	都賀町臼久保	都賀聖地公園	測量設計	23,940,000	
計				25,305,000	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地(筆)	補償件数(件)	金額(円)	備考
町名	路線名				
都賀町大橋	T14	5	1	586,002	
都賀町合戦場	T56	1	4	2,842,400	
都賀町木	T②145	9	-	1,900,544	
計				5,328,946	

4　登記関係

内　　容	筆　　数（筆）
分　　筆　（代　　位）	3
地積更正・分筆　（代　　位）	14
表　　題	1
所　有　権　保　存	1
所　有　権　移　転	16
計	35

5　河川工事負担金

宇都宮亀和田栃木線地域排水整備事業の県事業に対する法定負担金を支払った。

実施状況

・県事業費（詳細設計業務委託等）　　11,697,500円

・市負担分　　1,258,174円

第１２章　西方総合支所

第１節　地域まちづくり課

〔総括概要〕

地域まちづくり課の主な分掌事務は、西方総合支所の地域自治区域における市政の総合的企画関係、本庁との調整関係、広報広聴関係、各種の統計関係、自治会関係、消防防災関係、西方総合支所管内における3,000万円未満の工事等の入札・契約関係、庁舎・自動車・パソコン等の維持管理関係、処分可能財産・市有地の維持管理関係、市営金崎有料駐車場の維持管理関係、市民税関係、収税関係、資産税関係である。

地域自治区域における市政の総合的企画関係については、合併前の西方町の区域における施策の方向性の審議を行う場として地域協議会を設置し､会議を開催した。また､市民参加のまちづくりを推進するため､直接､市民から意見・提案を聴く「まちづくり懇談会ふれあいトーク」を開催した。

自治会関係については､西方地域の自治会長会の事務局として各種事業を支援し､自治会運営の円滑化を図った。

消防防災関係については、消防団員の各種訓練などの実施により、消防防災体制の万全を図った。

入札・契約業務については、建設工事、業務委託及び物品購入について、指名業者の選考、入札、契約等関する事務を一元的に行った。また、入札・契約事務の透明性の向上や、公正な競争の促進を図るため、郵便入札の導入等契約制度の改善に取り組んだ。

庁舎・自動車・パソコン等の管理関係については、適正な維持管理に努めさらなる利便性の向上を図った。

税務関係業務については、市民税関係では、課税客体を適正に把握するため、個人市民税未申告者に対する申告の催告や臨戸訪問を実施した。また一層の税収確保に向けて、県税事務所と協働で、未申告法人の活動状況調査や申告指導及び市内事業者に対して普通徴収から特別徴収への切替え指導を実施した。

収税関係では、市税等の収納率向上と市民の納税意識の高揚を図るため、市税等徴収強化事業として、年間を通しての巡回徴収や市税等収納員による臨戸徴収訪問を行い、加えて全庁的な取組として、課長補佐以上の職員と税務及び保険担当職員等による特別巡回徴収を実施した。さらに、国保納税相談、休日夜間納税相談窓口の開設、県地方税徴収特別対策室と協働での滞納整理や差押処分を行うなど、税収確保へ向けた取組を展開した。

保険税（料）関係では、転入者や非課税年金受給者に対しての適正な賦課をするため、簡易申告等を実施した。

資産税関係では、平成24年度評価替えを行い、状況類似価格について、適正な均衡のとれた価格に見直す作業を実施した。

また、税務通知書等に基づく現地調査を通して、新増築・滅失家屋や土地利用の現況把握を行った。

地域自治担当

1　地域協議会関係

県内で初めて導入された地域自治区制度による西方町地域協議会は、１５人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　平成２３年１１月９日～平成２５年３月３１日まで）

区　　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	青 木　利 男	西方町小中学校ＰＴＡ連絡協議会
	2	飯 沼　邦 利	西方町経済同友会
	3	出　井　　敬	西方町認定農業者協議会
	4	宇賀神　末盈	栃木市社会福祉協議会
	5	大塚　孝司朗	西方町体育協会
	6	大 森　悦 子	西方町農村生活研究グループ協議会
	7	酒 巻　　稔	西方町自治会長会
	8	中 村　正 廣	西方商工会
	9	若 林　き く	西方町文化協会
2号委員	10	石　川　　等	学識経験を有する者
	11	柳 澤　恵 子	
	12	和賀井　政雄	
3号委員	13	荒 川　里 子	公募に応じた者
	14	早乙女 のり子	
	15	横 倉　利 夫	

(2)　開催内容

回数	開　催　日、場　所	内　　容
第1回	11月9日(水) 午後2時～ 西方総合文化体育館研修室	委嘱状交付 正副会長選出 (1) 地域自治区制度について (2) 栃木市総合計画の策定について (3) 使用料の改定方針について (4) 国民健康保険税の税率及び軽減措置について (5) 広報とちぎ紙面検討委員会への参加について (6) 環境基本計画策定委員の推薦について (7) 栃木市男女共同参画審議会委員の推薦依頼について (8) 西方町地域協議会の開催予定について (9) 地域自治区の区長について【非公開】

第2回	12 月 26 日(月) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館講堂	(1) 意見聴取事項 １．はつらつセンター事業の拡充について ２.栃木市高齢者ふれあい相談員制度の拡充について (2) 報告事項 １．新たな産業支援事業について ２．デマンドタクシー（西方地域内）及びコミュニティバス（真名子線・金崎線・大宮国府線・皆川樋ノ口線・藤岡線）の試行運行について (3) その他 １．栃木市青少年育成市民会議の設立について ２．福田屋百貨店栃木店の利活用について (4) 栃木市総合計画「地域の姿」（案）について
第3回	1 月 25 日(木) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館講堂	(1) 意見聴取事項 １．栃木市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画、介護保険料及び地域包括支援センターについて ２．栃木市図書館西方分館の開設について ３．栃木市自治基本条例について ４．組織機構の見直しについて【非公開】
第4回	2 月 23 日(木) 午後 1 時 30 分～ 西方総合文化体育館研修室	(1) 意見聴取事項 １．栃木市総合計画について ２．新市行政改革大綱の骨子について ３．西方区長の選任について【非公開】 ４．栃木市障がい者福祉計画について ５．福祉タクシー料金助成事業及び障がい者等移送サービス事業について (2) 報告事項 １．事務一元化の状況に関する資料について ２．栃木市介護保険事業計画及び介護保険料の一部修正について ３．学校給食の改定について ４．栃木市栃木地域まちづくり検討委員会の設置について
第5回	3 月 26 日(月) 午後 1 時 30 分～ 西方公民館2階会議室	(1) 報告事項 １.「合併後」に再編する事務事業の調整について ２．地域協議会への意見を聴く事務事業（A ランク）について ３．新たな市民活動支援制度について ４．地域協議会からの意見書の提出及び市側の事務処理の要領について

(3)　地域協議会だよりの発行

地域協議会の協議内容を市民にお知らせするため、西方地域の話題も交えた「地域協議会だより」を発行した。

・発行号数　創刊号（１２月）、第２号（３月）

・体　　裁　Ａ３版二つ折り　両面刷り

・発行部数　各2,000部

2　広報関係

「広報とちぎ」の配布

毎月発行される「広報とちぎ」における西方地域内での発行管理及び各課からの回覧等の配送業務を実施した。

・自治会長への「広報とちぎ」及び回覧文書等の配送業務委託（月２回）

・委託先　（社）栃木市シルバー人材センター

3　広聴関係

「まちづくり懇談会ふれあいトーク」

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見・提案などを聴き、市民の声を今後の市政経営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数	フリートーク数	自治会数	参加者数
1	11月15日(火)	西方総合文化体育館	古宿、峰、元中部、柴西、柴中、柴南、和久井、金井北、原、薬師堂、神塚、弥八内、金井東、金井新田、西金井、田谷、居林、下宿北、下宿南	8	14	19	45
2	11月16日(水)	西方公民館	木の宮西、木の宮東、金崎南、栄町、上組南、上組東、上組北、小倉山下、宿裏町、大沢田、中宿	5	13	11	42
3	11月17日(木)	真名子夢ホール	根子屋、水木、岡、男丸、真上、小沼、小沼北、向宿、反町	6	7	9	34
合　計				19	34	39	121
				53			

4　市民活動支援事業

西方地域において、住民のまちづくりへの積極的な参加を促進するため、住民が主体的に取り組む地域づくり活動に対して、交付金の交付を行った。

・交付金の名称　栃木市西方地域協働のまちづくり交付金
・対象となる活動　景観整備に関すること、地域福祉に関すること、子どもの健全育成に関すること　等
・交付額　１団体あたり年額５万円以内（自治会・その他の団体）
・平成２３年度交付実績　８団体（自治会6団体、その他２団体）

5　財政事務

平成２３年度旧西方町決算書の調製（打切り決算書の調製１０月）

6　総合支所会議

地域まちづくり課長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

・開催回数　４回

7　市長と職員の懇談会

市長の総合支所訪問に合わせ、市長と職員の懇談会を行った。

・開催回数　４回
・参加職員　５４人

総務担当

1　自治会関係

自治会については、自治会長会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会役員名簿

次年度各自治会役員名簿等の取りまとめ

・受 付 期 間　２月～３月
・対象自治会　３９

(ｲ)　班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受 付 期 間　２月～３月
・対象自治会　３９

（変更が生じた場合は随時受付）

イ　自治会長等報償金の支出（合併前に支払済）

(ｱ)　各単位自治会の世帯数等調査

（合併前に調査済　基準日　平成２３年８月１日現在）

(ｲ)　報償金の支出

（合併前の５月と９月の２回に分けて支払済　各３９件）

(2)　西方町自治会長会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　３９自治会

(ｲ)　役員等

・会長１人、副会長２人、理事３人、監事２人（総会で選出、任期１年）

イ　会議等

(ｱ)　臨時総会

・実 施日　１２月２０日（火）

・内　容　自治会報償金及び消防協力金について

(ｲ)　自治会長会役員と消防団西方方面隊役員との消防協力金会議

・実 施日　１月１３日（金）

・内　容　消防協力金について

ウ　主な事業

(ｱ)　自治会長等視察研修（合併前）

・実 施日　７月３日（日）

・研 修先　長野県方面

・参 加者　２１人

(ｲ)　町内一斉清掃

・実 施 日　１１月２０日（日）

・実施方法　各自治会で実施

(ｳ)　防犯防火診断

・実 施 日　１２月８日（木）

・実施方法　旧大字単位で消防団各分団と連携して実施

(ｴ)　栃木市自治会連絡協議会関係

区　分	実施日	参加者
栃木市自治会連絡協議会臨時総会	10月4日（火）	役員４人
栃木市自治会連絡協議会正副会長会議	12月22日（木）	会長
栃木市自治会連絡協議会理事会	1月23日（月）	役員４人
栃木市自治会連絡協議会正副会長会議	3月21日（水）	会長
栃木市自治会連絡協議会理事会	3月30日（金）	役員４人

2　消防関係

(1)　配置人員

西方方面隊　　（単位：人）

分団別＼階級		副団長	方面隊長	方面副隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部分団	定　員	1	(1)	2	1	1	2	2	4	13
	実　員	1	(1)	2	1	1	2	2	2	11
第1分団	定　員	－	－	－	1	1	1	2	14	19
	実　員	－	－	－	1	1	1	2	14	19
第2分団	定　員	－	－	－	1	1	2	4	26	34
	実　員	－	－	－	1	1	2	4	17	25
第3分団	定　員	－	－	－	1	1	2	4	24	32
	実　員	－	－	－	1	1	2	4	17	25
第４分団	定　員	－	－	－	1	1	1	2	20	25
	実　員	－	－	－	1	1	1	2	20	25
合　計	定　員	1	(1)	2	5	5	8	14	88	123
	実　員	1	(1)	2	5	5	8	14	70	105

※団長及び副団長は、方面隊長を兼任のため、()内数としてある。

(2)　消防車等の態勢

西方方面隊

分団・部＼区分		種　別	車　名	年　式
本部分団		指　令　車	トヨタ	平成13年
		小型動力ポンプ	トーハツ	平成11年
		積　載　車	いすゞ	平成11年
第１分団		普通ポンプ車	トヨタ	平成22年
第２分団	第１部	小型動力ポンプ	シバウラ	平成21年
		積　載　車	トヨタ	平成21年
	第２部	普通ポンプ車	トヨタ	平成19年
第３分団	第１部	小型動力ポンプ	ラビット	平成11年
		積　載　車	ニッサン	平成11年
	第２部	小型動力ポンプ	ラビット	平成12年
		積　載　車	ニッサン	平成10年
第４分団		小型動力ポンプ	シバウラ	平成20年
		積　載　車	トヨタ	平成20年
		小型動力ポンプ	ラビット	平成20年
		軽　積　載　車	スバル	平成20年

(3)　西方方面隊の活動状況

ア　夏季点検の実施（合併前）

・実 施日　７月３１日（日）

・場　所　西方小学校校庭

イ　ポンプ操法大会の実施（合併前）

・実 施日　７月３１日（日）

・場　所　西方小学校校庭

ウ　防犯防火診断

・実 施日　１２月８日（木）

・場　所　西方地域旧大字単位（自治会と西方方面隊各分団が連携して実施）

(4)　西方方面隊役員会

開催日	場　　所
11月10日（木）	西方総合支所2階会議室
12月14日（水）	西方総合支所2階会議室
2月24日（金）	西方総合支所2階会議室
3月21日（水）	西方総合支所2階会議室

(5)　各種団体の運営支援

栃木市西方婦人防火クラブの事務局として、運営の支援を行った。

3　防災関係

主な各種災害時用備蓄品等内訳

項　　目	備　蓄　数
非　常　食	700食
非常用飲料水	468ℓ
毛　　布	526枚

4　自衛官募集事務

(1)　自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

(2)　自衛隊父兄会

西方町自衛隊父兄会の事務局として、父兄会活動を支援した。

理財担当

1　支所庁舎内の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
庁舎夜間警備保守業務委託	405,720
その他業務委託件数　5件	885,066

2　支所庁舎内の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
庁舎受水槽配管凍結復旧及び凍結防止ヒータ巻き工事	273,000
その他修繕工事件数　4件	360,150

3　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（マイクロバス　23人）	1
普通乗用	2
小型乗用	3
軽乗用	2
小型貨物（内1台はトラック）	2
軽貨物	6

4　契約件数

原則として、西方総合支所発注の130万円以上の建設工事、50万円以上の工事関連業務委託及び総額80万円以上の建設資材・物品の購入について、予定価格3,000万円未満の案件の入札を執行した。

・入札実績　（単位：件）

入　札　内　容	一般競争入札	指名競争入札	計
建　設　工　事	3	5	8
工事関連業務委託	－	5	5
物品購入(建設資材含む)	－	－	－
印　　刷　　物	－	－	－
計	3	10	13

5　見積合せ件数

３万円以上５０万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

・件数　１件

6　建設工事等請負者選考委員会

建設工事等及び物品購入に係る指名競争入札の指名業者選考及び条件付き一般競争入札により施行する入札参加資格要件の設定について審議した。

・開催回数　３回

・審議件数　１３件

7　入札・契約制度の説明

合併に伴い旧西方町における入札制度から、予定価格の事前公表、最低制限価格の設定、郵便入札及び1,000万円以上の事後審査型条件付き一般競争入札など新市入札制度へ

円滑な移行を実現し、併せて入札参加者へ周知した。

8　パソコンの整備状況

区　　分	課　名	パソコン（台）
区長、支所次長		2
総合支所	地域まちづくり課	19
	生活環境課	9
	健康福祉課	23
	産業建設課	11
教育支所		19
水道課（北部水道事務所）		4
合　　計		87

9　サーバーシステム・ネットワーク機器端末等の保守管理業務等

名　　称	業　務　名
大塚商会（株）	旧西方町情報系サーバーシステム保守管理業務委託
富士通リース(株)	行政系ネットワーク機器リース事業 ネットワーク機器93台、レーザープリンター8台

10　行政財産使用料

区　　分	件数（件）	数　　量	収入金額（円）
庁舎１階廊下（販売）	13	延べ 26 ㎡	1,300
足利銀行（ＡＴＭ）	1	22.20 ㎡	7,500
東京電力㈱（電柱、支線）	1	8 本	6,000
東日本電信電話㈱(電話柱等)	1	15 本	11,250
ケーブルテレビ㈱	1	4 本	3,000
郵政事業㈱鹿沼支店	1	1 基	450
庁舎内自動販売機（４社）	4	4 台	96,000
合　　計	22	－	125,500

11　普通財産の管理等に関する事務

普通財産の貸付

区　　分	件数（件）	面積（㎡）	収入金額（円）
西方総合支所管内市有地	15	9,222.44	437,032
西方総合支所管内建物(事務室)	1	20.70	45,000
合　　計	16	9,243.14	482,032

12　市営金崎有料駐車場に関する事務

区　　分	件数（件）	収入金額（円）
年額利用者	16	576,000
月額利用者	8	87,500
合　　計	24	663,500

市民税担当

1　諸証明等の交付　（１０月１日から３月３１日）

区　分	件・冊・枚数		摘　　要
	有　料	無料(公用等)	
諸 証 明	499	155	・納税、所得及びその他の証明　1件につき200円 ・土地及び建物の評価証明　1件につき200円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明　１件につき1,300円
公簿閲覧	30	9	
計	529	164	

2　国民健康保険税賦課状況（７月１日現在）

(1)　医療保険分の状況

ア　税率及び課税内訳（西方地域分）

・賦課限度額　470,000円

・所得割　6/100

・資産割　24/100

・均等割　25,000円

・平等割　24,500円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	852	700	1,825	942
退職世帯	113	105	192	78
計	965	805	2,017	1,020

イ　軽減世帯及び限度額世帯（西方地域分）　（世帯）

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	184	58	103	345	39
退職世帯	11	3	13	27	0
計	195	61	116	372	39

ウ　調定額（西方地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	942	1,825	136,076,346	144,454	74,562
退職世帯	78	192	14,007,654	179,585	72,956
医療分合計	1,020	2,017	150,084,000	147,141	74,409

(2)　後期高齢者支援金分の状況

ア　税率及び課税内訳（西方地域分）

・賦課限度額　120,000円

・所得割　1.5/100

・資産割　6.8/100

・均等割　8,500円

・平等割　7,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	852	700	1,825	942
退職世帯	113	105	192	78
計	965	805	2,017	1,020

イ　軽減世帯及び限度額世帯（西方地域分）　（世帯）

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	184	58	103	345	53
退職世帯	11	3	13	27	0
計	195	61	116	372	53

ウ　調定額（西方地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	942	1,825	38,283,108	40,640	20,977
退職世帯	78	192	3,994,492	51,211	20,804
後期高齢者支援金分合	1,020	2,017	42,277,600	41,448	20,960

(3)　介護保険分の状況

ア　税率及び課税内訳（西方地域分）

・賦課限度額　90,000円

・所得割　1.4/100

・資産割　3/100

・均等割　9,000円

・平等割　7,000円

・課税内訳

区分	所得割（人）	資産割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	384	308	669	510
退職世帯	86	78	144	96
計	470	386	813	606

イ　軽減世帯及び限度額世帯（西方地域分）　（世帯）

区分	低所得者軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	78	32	41	151	33
退職世帯	12	5	14	31	0
計	90	37	55	182	33

ウ　調定額（西方地域分）

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	510	669	17,011,319	33,355	25,427
退職世帯	96	144	3,421,381	35,639	23,759
後期高齢者支援金分合	606	813	20,432,700	33,717	25,132

(4)　国民健康保険税調定額（西方地域分）

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	954	198,057,300
特別徴収対象世帯	152	14,737,000
合計	1,106	212,794,300

3　後期高齢者医療保険料賦課状況（７月１日現在）

(1)　後期高齢者医療保険料の算定料率（西方地域分）

・賦課限度額　500,000円

・所得割　7.18／100

・均等割　37,800円

均等割低所得者軽減額（円）			
9割軽減	8.5割軽減	5割軽減	2割軽減
34,020	32,130	18,900	7,560

(2)　保険料軽減区分別被保険者数（西方地域分）

区分	内容	被保険者数（人）	
		普通徴収	特別徴収
一般	（所得-33万円）×7.18%+37,800円	78	324
9割軽減	世帯の合計所得が33万円以下のうち、世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下。（その他所得がない場合）均等割額が9割軽減。	32	115
8.5割軽減	世帯の合計所得が33万円以下。 均等割額が8.5割軽減。	29	154

5割軽減	世帯の合計所得が33万円+{24.5万円×被保険者数(世帯主を除く)} 以下。均等割額が5割軽減。	4	30
2割軽減	世帯の合計所得が33万円+(35万円×被保険者数)以下。均等割額が2割軽減。	5	40
被用者保険の被扶養者軽減	所得割額が免除、均等割額が9割軽減。	30	219
計		178	882

(3) 後期高齢者医療保険料調定額（西方地域分）

区分	被保険者(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	178	6,783,600
特別徴収対象者	882	25,608,200
合計	1,060	32,391,800

4 介護保険料賦課状況（７月１日現在）

(1) 介護保険料段階別保険料等（西方地域分）

段階		対象者	対象者人数(人)		年間保険料(円)
			普通徴収	特別徴収	
第1段階		・生活保護受給者 ・老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税の方	8	8	18,600
第2段階		世帯全員が市民税非課税で、前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	17	165	18,600
第3段階		世帯全員が市民税非課税で、第２段階に該当しない方	13	142	27,900
第4段階	軽減額	市民税が課税されている世帯員がいるが、本人は市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方	28	459	31,600
	基準額	市民税が課税されている世帯員がいるが、本人は市民税非課税で前年の課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円を超える方	7	304	37,200
第5段階		本人が市民税課税で前年の合計所得金額が200万円未満の方	28	441	46,500
第６段階		本人が市民税課税で前年の合計所得が200万円以上の方	11	91	55,800
計			112	1,610	

(2) 介護保険料調定額（西方地域分）

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	112	3,115,400
特別徴収対象者	1,610	57,699,000
合計	1,722	60,814,400

5 差押（参加差押含む）（上段：栃木市全体/下段：西方地域） （単位：件）

差押物件	年度当初	差押	解除	年度末
不動産	176	4	20	160
	13	－	－	13

自　動　車	6	2	3	5
	－	－	－	－
電話加入権	8	－	1	7
	－	－	－	－
債権その他	110	217	207	120
	10	9	7	12
計	300	223	231	292
	23	9	7	25

※地方税法第４８条による県からの引継ぎ件数も含む

※西方地域分は１０月１日～３月３１日

6　交付要求（上段：栃木市全体/下段：西方地域）　（単位：件）

年度当初	要　求	終　結	年　度　末
140	70	86	124
7	―	3	4

※西方地域分は１０月１日～３月３１日

7　催告書発送及び納付状況（上段：栃木市全体/下段：西方地域）

月　日	発送件数（件）	納付件数（件）	納付額（円）
4月15日（金）	1,825	1,265	26,126,833
	―	―	―
6月24日（金）	4,769	1,634	22,850,122
	―	―	―
10月25日（火）	5,330	2,321	43,705,337
	274	―	―
1月20日（金）	2,602	1,923	43,963,865
	133	―	―
計	14,526	7,143	136,646,157
	407	―	―

※西方地域分は１０月１日～３月３１日

8　休日納税相談窓口（上段：栃木市全体/下段：西方地域）

平日に納付が困難な未納者を対象とした休日納税相談窓口を開設し、納税指導を行い、納付を促した。

	実　施　期　間	納付件数(件)	納　付　額（円）
第1回	7月3日（日）	44	614,100
		―	―
第2回	10月30日（日）	51	982,470
		―	―

第3回	１月29日（日）	84	3,581,110
		5	174,200
計		179	5,177,680
		5	174,200

※西方地域分は１０月１日～３月３１日

9　市税等収納員による徴収事業

市税、国民健康保険税及び介護保険料の徴収率向上のため、市税等収納員による臨戸徴収訪問を実施した。なお、西方地域の実績は都賀総合支所収納員に任せているため、実績は都賀総合支所分の実績に西方総合支所分が含まれる。

10　市税等徴収強化事業（上段：栃木市全体/下段：西方地域）

市税等の収納率の向上と市民の納税意識の高揚を図ることを目的として、課長補佐以上の職員及び関係課職員による特別巡回徴収を実施した。

・実施期間　１２月５日（月）～２２日（木）

訪問人数(人)	徴収件数(件)	徴収金額(円)
2,133	183	3,166,260
63	3	42,200

資産税担当

1　固定資産税評価状況（平成２３年１月１日現在）

(1)　土地（上段：栃木市、西方町合計/下段：西方地域）

地目		筆数（筆）	地積（㎡）	価格（千円）
田	一般田	52,378	71,337,380	8,078,686
		4,302	6,882,201	852,275
	宅地介在田等	4,632	3,202,221	37,457,293
		－	－	－
畑	一般畑	23,477	13,816,724	856,309
		1,843	1,029,848	57,927
	宅地介在畑等	2,987	1,404,575	18,918,779
		－	－	－
宅地		118,401	32,847,472	503,033,912
		7,131	2,404,358	27,665,528
鉱泉地		2	4	473
		－	－	－
池沼		262	123,135	5,156
		11	12,827	903

山林	18,231	39,821,708	3,201,410
	1,760	6,200,580	104,734
牧場	13	6,751	317
	－	－	－
原野	2,908	678,029	11,801
	259	85,889	675
雑種地	22,960	18,954,723	48,451,707
	2,194	3,155,235	4,721,441
合計	246,251	182,192,722	620,015,843
	17,500	19,770,938	33,403,483

(2) 家屋（上段：栃木市、西方町合計/下段：西方地域）

ア 木造家屋

種類	棟数（棟）	床面積（㎡）	価格（千円）
専用住宅	49,117	4,488,015	128,249,055
	2,201	238,713	7,908,693
共同住宅・寄宿舎	726	146,171	5,148,617
	13	2,213	92,611
併用住宅	3,947	415,857	6,796,181
	150	15,790	264,712
農家住宅	2,230	251,779	583,787
	175	19,993	26,816
旅館・料亭・ホテル	75	5,317	52,599
	－	－	－
事務所・銀行・店舗	1,541	107,057	2,669,953
	77	5,033	189,516
劇場・病院	78	11,848	401,026
	－	－	－
公衆浴場	11	1,615	59,874
	－	－	－
工場・倉庫	1,070	100,549	427,784
	88	7,774	33,727
土蔵	1,811	95,054	125,285
	336	10,937	15,757
付属家	23,323	922,224	3,383,735
	1,370	71,987	363,254
合計	83,929	6,545,486	147,897,896
	4,410	372,440	8,895,086

イ　非木造家屋

種　　類	棟　数（棟）	床　面　積（㎡）	価　格（千円）
事務所・店舗・百貨店	1,756	649,673	39,786,275
	100	30,360	1,923,923
住宅・アパート	6,795	1,108,900	45,426,832
	199	27,500	1,174,659
病院・ホテル	131	86,614	7,365,692
	7	8,266	701,120
工場・倉庫・市場	5,384	2,188,410	55,060,629
	635	206,426	7,544,175
その他	9,750	620,216	6,654,645
	346	21,413	297,447
合　　計	23,816	4,653,813	154,294,073
	1,287	293,965	11,641,324

(3)　償却資産（上段：栃木市、西方町合計/下段：西方地域）　　（単位：千円）

区　　分		決　定　価　格	課税標準額
市長が価格等を決定したもの	構　築　物	16,048,914	15,878,613
		2,126,249	2,111,924
	機械及び装置	64,896,034	64,686,372
		7,309,576	7,303,907
	船　舶	536	536
		－	－
	航　空　機	－	－
		－	－
	車両及び運搬具	672,236	672,236
		60,477	60,477
	工具・器具及び備品	11,718,301	11,710,845
		934,625	934,625
	小　計	93,336,021	92,948,602
		10,430,927	10,410,933
その他	総務大臣が価格等を決定し配分したもの	32,799,911	31,158,015
		2,695,722	2,490,900
	県知事が価格等を決定し配分したもの	－	－
		－	－
	小　計	32,799,911	31,158,015
		2,695,722	2,490,900
合　計		126,135,932	124,106,617
		13,126,649	12,901,833

第２節　生活環境課

〔総括概要〕

社会経済情勢の変化に伴い、市民生活も複雑化、多様化している。そのような状況の中で、市民のニーズに対応すべく次のような業務を行った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻など戸籍届の受付審査、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書などの交付を行った。

また、平成２２年１０月から県の権限移譲を受け、一般旅券の発給申請・交付事務を開始した。（真名子出張所を除く。）

人権啓発活動については、人権擁護委員と連携を図り、人権意識の高揚が図られるよう積極的に活動を推進し、各種啓発事業を実施するとともに、各種人権関係研修会に参加した。

国民健康保険事業については、公正かつ公平な保険給付を実施したほか、生活習慣病等の疾病予防に重点を置いた特定健康診査、疾病の早期発見・早期治療のための人間ドック（一般・脳）検診事業などを積極的に推進し、さらに国民健康保険特別会計の健全運営に努めた。

後期高齢者医療事業については、栃木県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、各種届出書及び申請書等の受付のほか後期高齢者医療特別会計の健全運営に努めた。

各種医療費助成事業については、市民の保健の向上と福祉の増進を図るために、こども（中学３年生まで)、妊産婦、重度心身障がい者及びひとり親家庭に対し医療費を助成した。また、不妊治療を受けている夫婦に対して、経済的負担の軽減を図るために、保険適用外治療費の一部を助成した。

国民年金事業については、法定受託事務として各種届出の受理・進達を行った。

また、納付率の低下が問題となる中、免除申請や学生納付特例等、年金受給権確保のための各種啓発及び広報を行った。

交通関係については、交通安全運動や交通安全教室などを通じて、交通安全に対する意識の高揚に努めた。

今日の環境問題は、ごみの不法投棄・野外焼却、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の減少など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。これらの課題等に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図るため、生活環境交通担当により事務を推進している。

具体的な取組として、地球温暖化防止対策の一環として住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を実施するとともに、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、地球温暖化問題やごみ減量・リサイクルを中心とした啓発に努めた。

また、大気、水、騒音、悪臭等に係る公害の発生防止とその対策に努めたほか、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図るとともに、市営墓地の管理・運営業務の円滑な推進に努めた。

家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、自治会等による清掃活動への協力、不法投棄の監視及び不法投棄ごみの回収等を行ったほか、生活環境や公衆衛生の向上のための市民意識の啓発推進に努めた。

住民担当

1　戸籍事務

戸籍届出件数

・届出総数　　５５件（出生１６件、婚姻５件、死亡２０件等）

2　外国人登録事務（１０月～）

(1)　各種申請書受理件数　　（単位：件）

件名	件数	件名	件数
新規登録	－	居住地変更登録	1
確認申請	3	居住地以外の変更登録	－
再交付申請	－	計	8
引替交付申請	4		

(2)　報告その他の事務取扱件数　　（単位:件）

件名		件数	件名	件数
閉鎖	出国	3	登録原票送付	2
	死亡	-	登録原票送付請求	1
	日本国籍取得	-	公務所からの照会回答	5
	その他(上記以外によるもの)	-	計	11

3　窓口事務（平成２３年１０月～）

(1)　窓口届出処理件数　　（単位：件）

処理事項		件数	処理事項	件数
戸籍届		55	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	9
住民異動届		177		
計		232	死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	－
印鑑	登録	151		
	廃止	41	死産届	－
計		192	計	9

		合　計	433

(2)　謄抄本証明書等交付件数　　（単位：件）

種　　別		件数(件)	金額（円）	種　　別		件数(件)	金額（円）
戸籍	全部事項証明	407	183,150	住民票	世帯全員	246	49,500
	個人事項証明	148	66,600		個　　人	989	198,700
	除籍謄本	352	264,000		証　　明	53	10,700
	除籍抄本	1	750		閲　　覧	－	－
	戸籍証明	7	2,450		年金現況証明	－	－
	受理証明	3	1,050		戸籍の附票	41	8,200
	廃棄証明	－	－		公　　用	44	－
	出産証明	－	－		広　　域	2	400
	不受理証明	－	－		住基カード(有料)	1	500
	公　　用	44	－		住基カード(無料)	1	－
	計	962	518,000		計	1,377	268,000
証明書	印鑑証明	1,087	791,600	その他	印鑑登録	151	30,200
	諸証明	1	300		印鑑登録廃止	41	－
	身分証明	27	5,400		臨時運行許可証	40	30,000
	住居表示証明	－	－		労基証明	1	－
	公　　用	－	－		人口統計	－	－
	選挙証明	－	－		公的個人認証	3	1,500
	計	1,115	797,300		計	236	61,700
合　　計				3,690 件		1,645,000 円	

(3)　斎場及び霊きゅう車使用許可件数　　（単位：件）

種　　類	区　　分		件　数（件）		金　額（円）
斎場	市　内	大　人	9	9	－
		小　人	－		
		死産児	－		
	市　外	大　人	－	－	－
		小　人	－		
		死産児	－		
	エ　　ナ		－	－	－
計				9	－
霊きゅう車	往　路	市　　内		7	31,500
		市　　外		0	－

	帰　路	市　　内	4	6,000
		市　　外	0	－
計			29	37,500
待　合　室		市　　内	9	27,000
		市　　外	0	－
計			9	27,000
合　　計			47	64,500

(4)　(1)～(3)のうち延長窓口処理件数

種　　別	処理件数(件)
戸籍謄抄本等交付	5
住民票写し等交付	3
印鑑登録証明書交付	6
印鑑登録	1
戸籍届	－
窓口及び電話による相談、問合わせ等	5
合　　計	20

4　一般旅券申請・交付件数（平成２３年１０月～）

	申請(件)	交付(件)
１０月	11	5
１１月	8	10
１２月	10	10
１月	12	9
２月	18	12
３月	8	16
計	67	62

5　人権啓発事業

(1)　啓発活動の実施

人権教育啓発推進事業委託実施状況

研　修　会　等　名	開催回数(回)	参加人数(人)	関係課等
人権講座（市職員対象）	3	49	西方総合支所・ 西方教育支所全課

(2)　人権を考える市民の集い（本庁人権推進課にも掲載）

ア　人権問題講演会の開催

平成２３年度　人権を考える市民の集い

・実施日　１２月１０日（土）

・場　所　栃木文化会館(大ホール)

・内　容　オープニング　童謡合唱(童謡歌おう会)
講演　混迷の時代を生きる“命の尊さ”
講師　江川　紹子　氏（ジャーナリスト）
・参加者　５００人
・備　考　教育委員会と共催

イ　「人権作品展」の開催

１２月１０日（土）、栃木文化会館大ホールホワイエにおいて、人権書道・人権原画等コンテスト応募作品の展示を行った。

・栃木人権擁護委員協議会主催　人権書道展2011年応募作品
・栃木県子どもの人権ポスター原画コンテスト2011年応募作品
・人権啓発物品の配布

(3)　人権擁護委員関係

ア　人権相談

・実 施 日　毎月１８日
・会　　場　西方保健センター
・相 談 員　西方地域の人権擁護委員３人（当番制）

イ　「人権の花」運動

人権思想の普及高揚のための啓発活動は、若年層に対して行うことがより効果的であることから、西方小学校にて「人権の花」運動を実施した。児童がお互いに協力して花を栽培し、その花を観賞してもらうこと等により、児童の情操をより豊かにし、人権思想への理解促進を図った。

(4)　研修会等参加状況（本庁人権推進課にも掲載）

研　修　会　等　名	期　日	場　所	参加者数(人)
第7回栃木県人権研究集会	6月24日(金)	とちぎ福祉プラザ	1
部落解放愛する会栃木県連合会人権問題講演会	10月28日(金)	小山市立文化センター	4

保険医療担当

1　国民健康保険の給付等に係る申請の受付に関すること

(1)　高額療養費の受付状況　（単位：件）

高額療養費受付件数	一　般	90
	退職者	10
限度額適用認定証（標準負担額減額認定証を含む）		25

(2)　療養費の受付状況　（単位：件）

療養費受付件数	36

(3)　出産育児一時金の受付状況　（単位：件）

出産育児一時金受付件数	－

(4)　葬祭費の受付状況　（単位：件）

葬祭費受付件数	5

(5)　人間ドック検診の受付状況（単位：件）

人間ドック受付件数	一般ドック	－
	脳ドック	－

(6)　医療費通知の発送状況

回数	対　象　月	件　　数(件)	発　送　月
1	平成 22 年 12 月・平成 23 年 1 月診療分	799	6 月
2	平成 23 年 2 月・平成 23 年 3 月診療分	801	8 月
3	平成 23 年 4 月・平成 23 年 5 月診療分	806	9 月
4	平成 23 年 6 月・平成 23 年 9 月診療分	1,103	1 月
5	平成 23 年 10 月・平成 23 年 11 月診療分	850	3 月
計		4.359	

2　後期高齢者の給付等に係る申請の受付に関すること

各種申請書等受付件数

申請書種類	件　　数(件)
資格関係届出	43
高額療養費申請	58
その他の療養費申請	13
葬祭費申請	32
被保険者証明等再交付申請	9
合　　計	155

3　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付に関すること

(1)　重度心身障がい者医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	16

(2)　こども医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	87

(3)　妊産婦医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	20

(4)　ひとり親家庭医療費助成　（単位：件）

資格関係等受付件数	5

4　不妊治療費補助金に関すること

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準として、その２分の１の額（１０万円を限度に通算５回）を補助

するため、窓口で申請受付等を行った。ただし、治療開始日が平成２３年９月３０日以前の場合は総合支所で、それ以外は本庁保険医療課でそれぞれ支払手続きを行った。

申請受付件数及び給付状況

補助申請件数(件)（H23.10.1 以降開始分）	－
補助申請件数(件)（H23.9.30 以前開始分）	－
補助金交付額(円)（H23.9.30 以前開始分）	－

5　国民年金に係る申請等受付に関すること

(1)　諸届の受理件数　（単位：件）

種別	件数	種別	件数
新規取得届	17	転居届	2
新規取得申出	－	氏名変更届	1
再取得届	56	訂正・取消・不在	－
再取得申出	－	転出届	22
付加年金取得届	－	法定免除該当届	1
付加年金喪失届	－	法定免除消滅届	－
資格喪失届	22	手帳再交付届	－
資格喪失申出	－	種別変更届	9
死亡届	－	その他	1
転入届	26	計	157

(2)　免除申請受理件数

種類	件　数（件）
免除・納付猶予申請	13
学生納付特例申請	13

(3)　国民年金請求受理件数

給付種類	件数（件）
老齢基礎年金	3
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	1
未支給年金	1
老齢福祉年金	－
計	5

(4)　相談件数

相談の内訳	件　数（件）

来訪相談	12
電話相談	6
文書相談	－
計	18

生活環境交通担当

1　交通関係

(1)　交通安全運動等

年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報、立看板掲出等。

・期間　１２月１１日(日)～３１日(土)

(2)　交通安全教室等の開催

交通事故防止には、市民各層に対する日ごろからの交通安全教育が重要であることに鑑み、ふれあい交通安全教室を行い、西方地域の小学生及び一般参加者を対象として交通安全についての講話及び交通安全かるたを実施し、交通安全の意識高揚に努めた。

・開催日　３月２１日（水）

・参加者　小学生約３５０人、一般５０人

(3)　その他の交通安全対策

・交通指導員の設置　３人委嘱（西方）

2　防犯関係

防犯業務においては、防犯診断及び防犯灯の修繕を実施した。

(1)　防犯診断　１２月８日（目）

・全戸へチラシ配布及び防犯診断実施

(2)　防犯灯の設置（１０月～）　（単位：灯）

区分		設置灯数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	－
改修工事	移設、撤去、器具交換	2

3　市営墓地使用許可状況　（単位：区画）

名称及び面積	造成数	許可数
菅ノ沢墓地　19.8㎡	10	7
東上林墓地　6.6㎡	25	25
計	35	32

4　公害関係（１０月～）

(1)　大気関係

大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	－	－	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(2)　水質関係

水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	－	－	1	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－

(3)　騒音関係

騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	－	－	－	－	－
栃木県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－	－

(4)　振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	－	－	－	－	－
県環境保全条例に基づく届出	－	－	－	－	－

(5)　その他

公害苦情受付件数　（単位：件）

大　気	水　質	騒　音	振　動	悪　臭	土　壌	その他	合　計
1	2	－	－	1	－	2	6

5　一般廃棄物の収集（１０月～）

１３分別の分別項目のもと、もやすごみは原則として週２回、もやさないごみ、新聞紙、雑誌、その他の紙、紙パック、ダンボール、ペットボトル、食品用トレイ、空きカン、空きビン、有害ごみ、粗大ゴミは月１回、それぞれの収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料で戸別訪問収集を実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1)　ごみ収集搬入量　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		紙類	空カン 空ビン	ペットボトル 食品用トレイ		
748.48	61.26	62.71	33.34	9.42	8.40	923.61

(2) もやすごみの収集搬入状況 （単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	合計
15.27	472.98	260.23	748.48

(3) もやさないごみの収集搬入状況 （単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	合計
0.83	55.14	5.29	61.26

(4) 資源物の収集搬入状況 （単位：ｔ）

種類	直営	委託	直接搬入	合計
紙類	－	62.71	－	62.71
空カン・空ビン	－	33.19	0.15	33.34
ペットボトル・トレイ	－	9.39	0.03	9.42
合計	－	105.29	0.18	105.47

(5) 粗大ごみの収集搬入状況 （単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
1.44	1.42	5.54	－	8.40

(6) 犬猫等の収集搬入状況 （単位：頭）

犬	猫	その他	合計
-	22	14	36

(7) し尿収集量及び浄化槽汚泥清掃量 （単位：kl）

し尿収集量	浄化槽汚泥清掃量	合計
105.77	326.63	432.40

6 狂犬病予防業務（西方地域）（平成２３年１０月～）

(1) 犬の登録 （単位：頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
8	11	646

(2) 狂犬病予防注射

個別注射

・実施方法　各動物病院等において個別に実施

・実施数　　１４頭

7 市民相談関係

市政に対する意見、要望、苦情を聴くとともに、国・県との相談機関と相互に協力して市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

行政相談

・実施日　毎月１８日

・場　所　西方保健センター

・相談件数　４件（平成２３年１０月～）

8　消費者行政の推進

経済社会全体の情報化、国際化、規制緩和の進展を背景に消費者を取り巻く環境は、著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し多面的な広がりを見せている。消費者が安全で合理的な消費生活を送るために情報提供、相談業務や啓発事業を実施した。

9　青少年健全育成関係

青少年の健全育成を図るため、１０人の少年補導員により、街頭補導啓発活動を実施した。

少年補導員街頭補導活動状況（１０月～）　２回

実 施 日	実　施　場　所
11月19日（土）	道の駅にしかた、東武金崎駅
3月28日（水）	東武金崎駅、西方総合文化体育館、スーパー、コンビニ

第３節　健康福祉課

〔総括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当（地域包括支援センターを含む）、健康増進担当、こども担当（地域子育て支援センター及び認定西方なかよしこども園を含む）で編成されている。

福祉担当では、福祉に係る全般的窓口として、民生委員児童委員に関する事務、日本赤十字社に関する事務、生活保護や低所得者層の援護、戦没者遺族の援護を行っている。また、障がい者支援として、身体・知的・精神障がい者手帳の交付、自立支援医療受給者証の交付、障がい福祉サービスや福祉タクシー料金助成に関する事務等を行い、豊かな社会生活を営むことができるよう努めた。

介護高齢担当では、高齢者の生きがい推進として、敬老事業、配食サービス事業、西方ふれあいプラザ及びさくらホームに関する業務等を実施した。また、高齢者福祉関係として、緊急ホームヘルパー派遣事業、日常生活用具購入費助成等事業、介護手当支給事業、紙おむつ交付事業等の介護予防や生活支援事業を実施した。さらに、介護保険関係として、要介護（要支援）認定申請・介護給付に係る申請の相談や受付等を行い、介護を必要とする方や家族への支援を行った。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持、生活の安定等のため介護予防事業、包括的支援事業等に取り組んだ。

健康増進担当では、ライフサイクルに応じた健康づくり支援として各種健康診査、健康教育、相談、訪問事業等を実施した。母子保健事業では、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児健康診査、発達障がいの早期支援を目的としてのびのび相談、各種予防接種事業等を実施した。高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、特定健康診査及び特定保健指導を実施した。また、各種がん検診、肝炎ウイルス、骨粗しょう症及び歯周疾患検診を実施した。がん検診推進事業で無料クーポン券を発行し、子宮頸がん、乳がん、大腸がん検診の受診勧奨を図った。健康づくり事業では、生活習慣病予防推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を実施した。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、子ども手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行った。放課後児童健全育成事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターでは、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換を行い明るく楽しい子育ての支援に努めるとともに、保護者の疾病、職業訓練等により保育ができない保護者に代わって一時預かり事業を実施し、子育て支援の充実を図った。保育所では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、特別支援保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上を図った。

福祉担当

1　民生委員児童委員関係

民生委員児童委員１８人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員２人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
11	27	－	8	2	11
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
1	3	3	107	173	9.6

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
158	9	203	772	1,504	2,646	147

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1)　日赤社資

目　標　額(円)	実　績　額(円)	達　成　率（%）
701,000	923,000	131.7

(2)　災害による救援品配布状況　（単位：件）

区　分	世帯数	人　数	毛　布	布　団	日用品
火災	－	－	－	－	－

(3)　災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	1

3　地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図った。

・施設名　鹿沼ひまわり
・所在地　鹿沼市御成橋１－２２７８－７
・利用者数　1人

4　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区　　分		実施状況(人)
交付者数		62
	うち高齢者(80歳以上)	35
	高齢者(65～79歳)	1
	障がい者	18
	腎臓機能障がい者	8

5　身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）　　（単位：人）

障　が　い　区　分	手　帳　所　持　者　数	平成２３年度中交付者数
視　覚　障　が　い	9	－
聴覚・平衡障がい	28	1
音声・言語・そしゃく障がい	3	－
肢体不自由障がい	112	3
内　部　障　が　い	75	5
複　合　障　が　い	10	－
合　　計	237	9

6　知的障がい者(児）の現況(療育手帳交付者数)　　（単位：人）

区　　分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合　計
	男	女	男	女	
重度(A1･A2)	3	2	9	4	18
中度(　B1　)	1	1	5	5	12
軽度(　B2　)	－	1	4	－	5
合　　計	4	4	18	9	35

7　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区　　分	交付者数(人)	比　率(%)
1　　級	5	20.8
2　　級	16	66.7
3　　級	3	12.5
合　計	24	100.0

(2)　自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成２３年度は５０人が受給した。

8　身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1)　身体障がい者（児）の補装具交付及び修理　　（単位：件）

区分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	－	－	－	－	－	－
	義足	－	1	1	－	－	－
装具	下肢	－	－	－	－	－	－
	靴型	－	－	－	－	－	－
	体幹	－	－	－	－	－	－
	上肢	－	－	－	－	－	－
座位保持装置		－	－	－	－	－	－
盲人安全つえ		－	－	－	－	－	－
義眼		－	－	－	－	－	－
眼鏡	矯正眼鏡	－	－	－	－	－	－
	遮光眼鏡	－	－	－	－	－	－
	弱視眼鏡	－	－	－	－	－	－
補聴器	高度難聴用ポケット型	1	－	1	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	2	－	2	－	－	－
	重度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	1	－	1	－	－	－
車いす	普通型	－	2	2	－	－	－
	その他	－	－	－	－	－	－
電動車いす		－	－	－	－	－	－
起立保持具		－	－	－	－	－	－
座位保持いす		－	－	－	－	－	－
歩行器		－	－	－	－	－	－
歩行補助つえ		－	－	－	－	－	－
重度障がい者用意思伝達装置		－	－	－	－	－	－
特例補装具		－	－	－	－	－	－
合計		4	3	7	－	－	－

(2)　身体障がい者（児）の日常生活用具の給付　　（単位：件）

区分	身体障がい者	身体障がい児
特殊寝台	－	－
特殊マット	－	－
特殊尿器	－	－

移動用リフト	－	－
訓練いす	－	－
入浴補助用具	－	－
体位変換器	－	－
便器	－	－
T字状・棒状のつえ	－	－
移動・移乗支援用具	－	－
頭部保護帽	－	－
特殊便器	－	－
火災警報器	－	－
自動消火器	－	－
聴覚障がい者用屋内信号装置	－	－
透析液加温器	1	－
ネブライザー	－	－
電気式たん吸引器	－	－
点字タイプライター	－	－
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	－	－
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	－	－
視覚障がい者用拡大読書器	－	－
盲人用時計	－	－
盲人用体温計	－	－
盲人用体重計	－	－
点字ディスプレイ	－	－
聴覚障がい者用通信装置	－	－
聴覚障がい者用情報受信装置	－	－
人工喉頭	－	－
携帯用会話補助装置	－	－
情報・通信支援用具	－	－
点字図書	－	－
ストマ用装具	15	－
紙おむつ	－	1
収尿器	－	－
居宅生活動作補助用具	－	－
合計	16	1

9　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付決定の状況

種別	給付決定者数(件)
視覚障がい	―
聴覚・平衡機能障がい	―
音声・言語・そしゃく機能障がい	―
免疫機能障がい	―
肢体不自由	―
心臓機能障がい	―
腎臓機能障がい	2
計	2

10　各種手当の状況

種別		給付決定者数(件)
特定疾患者介護手当		34
重度心身障がい児扶養手当		8
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	―
	障がい児福祉手当	1
	福祉手当（経過的）	―
特別児童扶養手当		3

11　障害者相談支援事業

西方総合支所においては、身体障がい者と知的障がい者は、事業所に委託をし、精神障がい者は、健康福祉課で相談事業を行った。

介護高齢担当

1　高齢者人口（西方地域）　（毎年４月１日現在）

区分＼年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
総人口(人)	6,963	6,887	6,793	6,684
65歳以上人口(人)	1,680	1,690	1,699	1,696
総人口に対する割合(%)	24.13%	24.54%	25.01%	25.37%

※外国人を含む人口

2　老人クラブ育成指導

西方町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、

健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

・単位老人クラブ数（西方地域）　９クラブ
・西方町老人クラブ連合会会員数　２３３人
・助成金額　単位老人クラブ助成　540,000円
　西方町老人クラブ連合会助成　331,000円

3　老人スポーツ大会（西方町老人クラブ連合会主催、事務局西方町社会福祉協議会）

個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。

輪投げ大会

・日　時　１０月１５日(土)
・参加者　８３人
・会　場　西方小学校体育館

4　高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当（１食 300 円）を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認をすることを目的に実施した。

・利用者実人数　３０人
・配食個数　1,452個
・委託先　栃木市社会福祉協議会

5　日常生活用具購入費助成等事業

おおむね６５歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

	品　目	件　数(件)
購入費助成	福祉車	5
	小型暖房器具	－
	電磁調理器	1
	火災警報器	－
	自動消火器	－
レンタル料助成	電動小型吸引機	－
	特殊寝台	－
	じょく瘡予防用具	－

※合併に伴い１０月から実施

6　緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　　（単位：台）

既設置台数	23年度設置台数	23年度撤去台数	計
13	2	4	11

7　在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

要介護認定３・４・５いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。※合併に伴い１０月から実施

下半期（１０月～３月）	
実人員（人）	延べ支給月数（月）
68	321

8　紙おむつ交付事業

在宅の寝たきり高齢者、認知症高齢者及び重度心身障がい児（者）の方で、日常生活において紙おむつを使用している方に対して、対象者及び介護者の福祉の増進を図るために年３回10,000円（年額30,000円）のおむつ等給付券を支給した。

10月1日基準日		2月1日基準日		合計
対象者（人）	支給額（円）	対象者（人）	支給額（円）	支給額（円）
56	530,000	78	555,000	1,085,000

9　介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

事　業　名	利用者数（人）	延べ回数等
緊急ホームヘルパー派遣事業	6	167　回
軽度生活援助員派遣事業	0	0　回
在宅高齢者短期入所事業	0	0　日

10　西方ふれあいプラザ

西方ふれあいプラザの運営管理業務を、栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託（指定管理）して実施した。

・利用者数　　1,470人
・利用者　　主に６０歳以上の高齢者
・開館日数　　１４５日

11　西方さくらホーム

高齢者が、自主的に社会奉仕活動や生きがい活動、健康づくり活動等を行うことを目

的に事業を実施した。

・利用者数　　３７８人

・開催日数　　６６日

・内　　容　　手工芸、介護予防教室、除草など

12　外出支援サービス事業（送迎サービス）

家庭において移送することが困難な寝たきりの方や車椅子使用の方に、医療機関への通院及び入退院に際し、福祉車輌での送迎を栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託して実施した。

・利用者数　　延べ２４４人（実人数５０人）

13　心配事相談事業

市民の心配事や生活向上に関する相談に応じ、必要な指導助言を行い、広く市民の福祉を図ることを目的として栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託して実施した。

・実施回数　　６回（毎月１８日）

・相談件数　　４件

・時　　間　　午後１時～３時

・会　　場　　西方保健センター

・内　　容　　合同相談（心配・困りごと・人権・行政）として実施した。

14　介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。

内　　容	件数（件）	
	合併後	合併前
要介護（要支援）認定申請　相談・受付・入力	155	149
介護保険被保険者証等再交付申請　受付・発行	5	1
介護給付費過誤申立　受付・入力（過年度分のみ）	3	3
介護保険住所地特例適用届　受付・入力・被保険者証発行	1	1
転入・転出・転居　資格管理等	4	4
転送希望届申請　受付・入力	1	2
居宅サービス計画作成依頼届　受付・入力	49	49
短期入所の 30 日を超える連続利用申請　受付・決定発行	－	1
短期入所の有効期間の半数超過利用申請　受付・決定発行	－	－
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請　受付・決定発行	4	－
福祉用具購入費支給申請　受付・入力	6	20
住宅改修費支給申請　受付・入力・事前教示	7	10
高額介護サービス費支給申請　受付・入力	7	5

負担限度額認定証の交付申請　受付・決定発行	10	40
障がい者控除対象者認定申請　受付・決定発行	7	－
オムツ使用証明申請　受付・発行	1	－
介護保険事業者事故報告　受付	1	－

15　任意事業

(1)　介護給付等適正化事業

介護（予防）給付において、介護サービス利用者に介護（予防）サービスが適正に提供されているか、情報提供として「介護給付費通知書」を郵送した。(本庁一括予算で作成した通知書と西方総合支所予算で作成した通知書を、転送・転出・死亡等の確認後に郵送した。)

・送付者数　２３８人

(2)　家族介護支援事業

普段在宅介護に追われている介護者を対象に、介護者同士の情報交換を行うとともに、心身のリフレッシュや静養を図り、無理のない介護生活ができるよう支援することを目的に、栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託して実施した。

ア　国際福祉機器展見学

・日　時　　１０月５日(水)
・場　所　　東京国際展示場（東京ビッグサイト）
・内　容　　福祉機器の見学
・参加者　　在宅介護者１３人

イ　講演会

・日　時　　３月１１日(日)
・場　所　　西方総合文化体育館
・内　容　　認知症に関する講演、認知症サポーター養成研修
・参加者　　在宅介護者及びその家族、介護職従事者、一般市民　４６人

16　高齢者相談支援状況

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。

（単位：件）

件数／区分	実件数	延べ件数
面　　接	78	84
電話相談		120
家庭訪問	12	17
連絡調整		54

17　地域包括支援センター事業

(1)　地域包括支援センター設置状況

西方地域包括支援センター	栃木市西方町本城１　西方保健センター２階

(2)　介護予防事業

ア　二次予防事業

(ｱ)　二次予防事業対象者把握事業

西方地域に住む６５歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者の把握を行った。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた人を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握事業

チェックリストによる対象者数	203 人

・介護予防サービス計画書作成状況

作成者数	9 件

(ｲ)　通所型介護予防事業

運動器機能向上の必要性がある二次予防事業対象者に対して、運動教室、いきいきリハビリ教室を実施し、要介護状態等になることの予防及び、自立した生活を送るための支援を行った。

運動教室では、健康運動指導士が個別の運動プログラムを作成し、そのプログラムに沿って教室時や自宅での運動を対象者に３か月間実践してもらった。

いきいきリハビリ教室では、年３回理学療法士が、個別の運動プログラムを作成し、教室時にプログラムに沿って運動を行った。

・実施状況

	開催回数(回)	延べ人数(人)
運動教室	11	81
いきいきリハビリ教室	48	634

※合併前の実績を含む。

イ　一次予防事業

(ｱ)　介護予防普及啓発事業

６５歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発のため、運動の実践や指導、栄養士による栄養の講話や調理実習を行った。

・実施状況

	回数(回)	延べ人数(人)
運動器機能向上	83	841
栄　養　改　善	9	105
合　　計	92	946

※合併前の実績を含む。

(ｲ)　地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得できる機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

・実施状況

	開催回数	延べ人数
認知症サポーター養成講座	1	46 人

(3)　包括的支援事業

ア　介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者が要支援状態等になることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、要支援状態等となった場合においては、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・要支援 1･2 の介護予防サービス計画作成状況

	件数(件)
地域包括支援センターによる作成件数	36
事　業　者　委　託　件　数	14
合　　計	50

※合併前の実績を含む。

・サービス担当者会議実施状況

	件数
地域包括支援センター主催および委託事業所実施への参加	72 件

※合併前の実績を含む。

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

	件数
地域包括支援センターによる作成件数	5 件

※合併前の実績を含む。

イ　総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況

	延べ件数(件)
面　　接	43
電話相談	558
家庭訪問	676
合　　計	1,277

※合併前の実績を含む。

ウ　権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行った。

また、関係機関と連携し、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況

	件数(件)
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	－
高齢者虐待に関すること	19

※合併前の実績を含む。

エ　包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における他職種との連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1　母子保健事業

(1)　妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対し母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを行い、妊婦の状態を把握し、必要に応じて面接相談を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び公布状況　（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
		妊娠届出	双　胎	紛失等
16	19	16	－	3

(2)　健康診査

ア　妊婦一般健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、１人につき１４回の受診票を交付し､妊婦の健康管理の向上を図った｡(母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施)

イ　妊婦歯科健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ　乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減

を図った。１歳６か月児や３歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区分	実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診（%）	要観察（人）	治療中（人）	要治療（人）	要精検（人）
乳児健康診査（４か月児）	6	16	16	100	7	1	0	0
乳児健康診査（８か月児）	6	16	15	93.8	6	2	2	0
乳児健康診査（１０か月児）	6	11	11	100	4	1	2	0
１歳６か月児健康診査	2	27	26	96.3	6	1	1	2
３歳児健康診査	1	14	11	78.6	2	1	1	2

エ　２歳児歯科健診及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健診及び歯科医師により講話を行った。また、保健師による育児指導、栄養士による栄養指導を実施した。

実施回数（回）	対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）
2	29	28	96.6

オ　乳幼児発達相談（二次健診）（数値は本庁健康増進課で一括計上）

乳幼児健康診査等で成長発達の遅れが認められた幼児に対し、栃木会場において、医師による診察や相談、専門職による相談等を行い、心身障がいの早期発見・早期療育につなげた。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

カ　乳児先天性股関節脱臼検診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

３～４か月児を対象に委託機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を行うため、受診券を交付した。

(3)　健康教育

ア　両親（母親）教室

(ｱ)　合同開催（数値は本庁健康増進課で一括計上）

初妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり、乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。栃木会場において実施。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

(ｲ)　西方地域単独で実施

妊婦と夫に対して妊娠、分娩等の知識を提供し、妊娠中の過ごし方、お産のリハーサル、おふろの入れ方、おむつ交換や赤ちゃんの抱き方、夫の妊婦疑似体験などの体験学習を行った。また手作りおやつを試食し、栄養指導を実施した。

・参加者　５組（１１人）

イ　すくすく教室（子育て支援教室）

２～３か月児とその母親を対象に、よりよい母子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や母親同士の交流を図った。

・実施回数　３回

・参加者延べ数　　１１組

ウ　健診事後教室（ちゃいちゃいクラブ・ぺんぎん教室）（数値は本庁健康増進課で一括計上）

幼児健診等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、栃木会場にて集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。栃木会場において実施。栃木・都賀・西方地域で合同開催し、栃木会場で実施した。

エ　思春期保健事業

小児生活習慣病を理解し、生活習慣を振り返り、健康への関心を高めるために小・中学校の児童生徒とその保護者を対象に授業協力を行った。

対　象	実施回数(回)	参加人数(人)
中学校	1（1校）	生徒 60
小学校	2（2校）	生徒 66、保護者 1

オ　だっこだっこ絵本事業

親子のふれあいを促進し豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

・実施回数　3回（すくすく教室開催時）

・参加者延べ数　　11組

カ　よい歯のコンクール（合併前に終了）

口腔衛生の普及及び向上を図るため、３歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール（３歳児の部、親と子の部）を実施し、歯と口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの１次審査を兼ねており、成績優秀者は県の２次審査に推薦した。

キ　食育事業

(ｱ)　親子クッキング教室

年中～年長児の親子に対し、一緒に料理をすることを通して、食への興味・関心を育む等の食育を行った。

・実施回数　１回

・参加人数　２２人

(ｲ)　わくわくクッキング

なかよしこども園の幼児・保護者に対し、健康の基礎をつくる時期にある子どもに食への関心を高め、野菜嫌いをなくすこと等、食育を推進した。

・実施回数　１回

・参加人数　４７人

(4)　健康相談

ア　子育てサロン

育児の情報交換や母親の友達づくりをすすめることにより、地域の中で心のゆとりを持って楽しく子育てができるよう支援した。また、保健師等による育児等の相談業務を行った。

・実施回数　３回

・参加者延べ数　　３６組

イ　５歳児発達相談（合併前に終了）

３歳児健診までに発見されにくい軽度発達障がい等について診断の有無に関わらず支援を行うとともに、適切な療育の提供や保護者への支援を行った。市内なかよしこども園において発達相談を実施した。

ウ　新生児・産婦訪問事業

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導することを目的に保健師による訪問指導を行った。

・指導実数　　１６件

・指導延べ数　１９件

エ　こんにちは赤ちゃん事業(新生児・産婦訪問指導を兼ねる)

生後４か月までの乳児のいる家庭を保健師が訪問し、育児に関する不安や悩みを聴取、相談、子育て支援に関する情報提供、親子の心身の状況の把握を行った。

2　特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び健診結果説明会、特定保健指導を行った。

(1)　特定健康診査、後期高齢者診査

・実施回数　個別（１１月～１月）

（集団は合併前に終了）

・実施場所　西方地域医療機関

(2)　特定保健指導

区　分	対象者数(人)	保健指導数(人)	指導率(%)
積極的支援	18	4	22.2
動機付け支援	33	19	57.6
合計	51	23	45.1

※合併前の実績を含む。

3　健康づくり事業

(1)　健康教育

ア　血管つるピチ教室

・実施回数　１回

・参加者数　１０人

・内容　保健師、栄養士、運動指導士による講話及びバイキング実習、運動実習

イ　歯と運動教室

歯周病予防について講話及び運動の実践を行った。

・実施回数　１回

・参加者数　２２人

ウ　男性のための料理教室

メタボリックシンドローム予防のために栄養改善を図った。

・実施回数　１回

・参加者数　８人

エ　健診結果説明会

・実施回数　２回

・参加延べ人数　１６１人

(2)　健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

・実施回数　４回

・延べ相談者数　１１人

・内容　保健師・栄養士による個別相談

4　自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから､地域の自殺の現状を理解すること及び自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

普及啓発用リーフレットを作成し、”道の駅にしかた”において配布した。

5　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1)　定期予防接種

各種の定期予防対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で、他の予防接種は予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア　集団接種

ポリオ投与（小児マヒ）

・実施回数　１回

・実施場所　西方保健センター

イ　個別接種

ＢＣＧ　三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）　麻しん風しん（混合）

日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2)　任意予防接種

・子宮頸がん予防接種については、平成２３年４月から中学１～３年生を対象とし

て個別予防接種を実施した。

・小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌ｂ型（ヒブ）ワクチン（平成２３年４月から）を、小児インフルエンザ予防接種を各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

6　地域保健対策事業

(1)　食生活改善地区組織事業

減塩指導やバランス食等について講話及び調理実習を行った。

・実施回数　４回

・参加延べ人数　５８人

(2)　地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

・訪問世帯数　８１世帯

・保健師訪問指導　８８人（延べ人数）

精神保健	14	妊産婦	5	乳幼児	10	生活習慣病	9
新生児	11	低体重児	－	他の疾患	－	その他	25
心身障がい	5	乳児	9				

こども担当

1　放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を充分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、西方地域２か所の小学校区内において実施した。

・学童保育入所者数　（単位:人）

学年 / 学童保育名	１学年			２学年			３学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
西方児童クラブ（西方小）	3	3	6	5	5	10	6	9	15	14	17	31
真名子児童クラブ（真名子小）	1	1	2	2	2	4	1	3	4	4	6	10
計	4	4	8	7	7	14	7	12	19	18	23	41

2　地域子育て支援センターにしかた

(1)　利用者数　（単位：人）

年齢 / 年度	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	６歳	保護者	合　計
23 年度	12	83	60	73	3	0	0	208	439

(2)　活動状況

ア　定例遊び

なかよしひろば

・実施日　　月３～４回

・実施時間　午前１０時３０分～１１時３０分

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　計２０回

・延べ参加者　３１８人

イ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数
1	親子で布絵本を作ろう	25
2	子どもを事故から守ろう	13
3	みんなで元気に風邪予防	12
	合　計　　3回	50

ウ　子育て相談　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	0	0	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	5	5	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き眠りが浅い　ほか	0	0	0
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達、健康　ほか	0	0	0
ことばに関すること	発語が遅い・幼児語　ほか	2	2	0
対人関係	他の子とのかかわり　ほか	0	0	0
その他	性格・育児依頼・入園・病気・親のストレス・家庭環境・祖父母との関わり　ほか	14	11	3
合　計		21	18	3

エ　一時預かり

保育園名	延べ利用者数（人）
栃木市西方保育園	24

3　子ども手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に支給を行った。

・子ども手当受付件数　３７件

4　赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、第二子以降のお子さんが誕生した家庭に、誕生祝金を交付した。

事　業　名	祝　金　額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	6
	第三子以降　20,000円	2

5　チャイルドシート購入費助成事業

子どもを乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図るため、チャイルドシート購入費を助成した。

・助成額　購入費の１/２以内の額

限度額5,000円

・受付件数　８件

6　児童扶養手当

父母の離婚や死亡などによって、父または母と生計を同じくしていない児童や父または母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的として支給を行った。

種　別	受付件数(件)
児童扶養手当	1

7　保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の理由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達、育成を図った。また、子どもを取り巻く社会現象の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言を行った。

(1)　保育所入所状況

ア　児童定員・異動状況　　（単位:人）

区分	保育園名	定　員	23年10月1日入所児童数	途中入所児　童　数	退所児童数	24年3月1日入所児童数
公立	栃木市西方保育園	90	90	6	4	92

イ　階層別児童数（３月１日現在）　（単位:人）

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	計
公立	栃木市西方保育園	0	5	6	55	22	4	0	92

※階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分（旧西方町階層）

ウ　年齢別児童数（３月１日現在）　（単位：人）

区分	保 育 園 名	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳以上	計
公立	栃木市西方保育園	3	8	13	26	42	92

(2)　施設運営全般

施設運営上の目標

・幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
・幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
・保育内容の充実と技術の向上
・安全対策と保護者との対応
・地域における子育て支援

(3)　保健管理

ア　健康診断の実施状況

区　　分	回数(回)	実　施　月	結　果　と　措　置
健康診断	2	４月・９月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	４月・９月	結果については、保護者連絡

イ　検便等の実施状況

区　分	回数(回)	実　施　日	結　果　と　措　置
寄生虫卵	2	5月26日(木)・9月5日(月)	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	5月26日(木)・9月5日(月)	結果については、保護者連絡

ウ　健康状態の観察及び個別検査の状況

(ｱ)　観　察

登園時、園児受け入れの際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(ｲ)　個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ｳ)　伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数　　なし

(4)　児童保育の内容

ア　保育目標

・明るく元気に遊ぶ子
・思いやりのある子
・自ら考え工夫する子

イ　保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき保育課程、年間指導計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ　年間行事実施状況

区　分	社会的行事に合わせた行事	主な行事
4月		入園式
5月	こどもの日	親子遠足
6月	歯の衛生週間、時の記念日	歯磨き指導、保育参観、プール開き
7月	七夕飾り、海の日	夏祭り、クッキング（年長児）
8月		
9月	防災の日、敬老の日	
10月	体育の日	運動会、クッキング（年長児）
11月	七五三	保育参観
12月	師走	なかよし発表会、クリスマス会
1月	お正月	人形劇観賞､小学校との交流会(年長児)
2月	節分	まめまき会、年長児遠足
3月	ひなまつり	防犯教室、お別れ会、卒園式

※　その他、毎月誕生児の誕生会、避難訓練、隔月に身体測定を実施

エ　特別支援保育の状況

・特別支援児入所数

保育園名	人数（人）
栃木市西方保育園	1

・保育方法　　混合保育で実施

オ　低年齢児保育（０、１、２歳児）（３月１日現在）　　（単位:人）

区分	保育園名	０歳児	１歳児	２歳児	計
公立	栃木市西方保育園	3	8	13	24

カ　保護者との連携

・保育参観
・送迎時の連絡
・子育て等相談

(5)　防災対策の状況

・設備、遊具等の整備点検
・避難訓練（火災、地震）
・安全のための実施訓練（不審者侵入）

・事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の給食会議にて決定する。

イ 給食構成

・乳児 主食、副食、おやつ（午前、午後）（完全給食）

・幼児 主食、副食、おやつ（午後）（完全給食）

ウ １日当たり平均栄養摂取量状況

(ｱ) ３歳未満児（主食及び副食＋おやつ） （平成２３年度平均）

栄養素等 / 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
栃木市西方保育園	501	18.3	17.2	291	1.7	396	0.26	0.46	20.8	1.7
栄養給与目標	470	18.0	13	200	2.3	200	0.25	0.3	20	

(ｲ) ３歳以上児（主食及び副食＋おやつ） （平成２３年度平均）

栄養素等 / 保育園名	カロリー (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミン A (μgRE)	ビタミン B_1 (mg)	ビタミン B_2 (mg)	ビタミン C (mg)	食塩相当量 (g)
栃木市西方保育園	552	20.7	18.4	299	2.0	469	0.29	0.49	25	1.9
栄養給与目標	570	21	16	270	2.5	200	0.32	0.36	20	

(7) 特別保育科目設定実施事業

世代間交流事業

季節的行事（クリスマス会）に地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

保育園名	実施回数
栃木市西方保育園	1回

第４節　産業建設課

〔総括概要〕

産業建設課の主な分掌事務は、産業振興担当では、農林業・畜産業・商工業・観光の振興に関する各事業、及び道の駅にしかた管理運営事業等、都市建設担当では、道路・橋りょう・河川水路及び公園の管理及び整備に関する事務である。

西方地域の農業は、にしかた米「桜おとめ」を中心に、いちご、ニラ等の施設園芸農業や、畜産業が積極的に実施されている。しかし、今日の農業・農村を取り巻く情勢は、ＴＰＰをはじめ、食の安全・安心に対する関心の高まり、担い手の高齢化等による農業生産の減退、鳥獣による農産物被害の拡大など、多くの課題を抱えている。

このような中、安心して農業に従事できる環境づくりを進めるとともに、施設園芸を取り入れた複合的な農業経営を推進した。

また、農業水利施設の維持管理費削減、及び二酸化炭素や温室効果ガスの削減等を目的に、小倉用水を利用した小水力発電設備の導入を検討するための概略設計を行った。

林務事業については、藪の刈払いや不用木の処分、及び有害鳥獣の駆除を実施し、野生獣被害軽減のための里山林の整備、維持管理を行った。また、利用者の安全を確保するため、真上・男丸・柏木線の森林路網整備を実施した。

商工業については、地域の商工業の総合的な改善発展をめざし、西方商工会への運営補助金を交付し、西方商工会と連携のうえ商工業の振興を図った。

また、宇都宮西中核工業団地事務組合に対し負担金を拠出し、事業の推進を図るとともに、企業誘致に努めた。

観光関係については、恵まれた自然環境を有効に活用し、「金崎のさくらまつり」や「ど田舎にしかた祭り」を開催し、観光客の誘客に努め、地域の活性化を図った。

道の駅にしかたについては、地域産業の振興を行うことを目的に、地域の観光やあらゆる情報の発信基地としており、地域の安心安全な農産物や農産物加工品を取り扱う「農産物直売所（ふれあいの郷)」、地産地消の考え方を基本として地域の農産物を食材に使用して料理を提供する「農村レストラン（ふるさと一番)」及び地域の特産品を販売する「交流物産館（さくら)」で物販を行った。また、各種イベントを開催し、農産物や特産品等のＰＲに努めた。

公共物管理については、道水路敷等の適正管理に努めるため、私有地との境界の確定や、道水路等の占用について指導、監督を行った。

道路管理については、常に安全な道路の通行を確保するため、道路維持管理、舗装補修を実施し道路の環境整備を図った。

河川管理については、河川機能を維持するための堆積土砂の浚渫や除草を行うとともに、自治会等における道路・水路の清掃などの愛護活動を支援することで道路・河川の環境や美化活動に対する意識の高揚に努めた。

公園管理については、１３か所の公園を安全で快適に利用できるよう、公園の清掃、除草、遊具等の施設管理を行った。

道路整備については、地域住民の日常生活の安全性、利便性の向上、または快適な生活環境の確保に資するため、西方町金崎地内市道Ｎ3215 号線の道路改良工事を実施した。

産業振興担当

1　農業者戸別所得補償制度

食料自給率の向上を図るとともに、農業の有する多面的機能が将来にわたって適切かつ十分に発揮されるようにする必要があるため、農業者戸別所得補償制度の導入により、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、地域農業の活性化を図った。

(1)　米の所得補償交付金

西方地域に提供された平成２３年産米に係る需要情報は1,731トンであり、米の需給均衡と価格の安定を目的として、西方町水田農業推進協議会と連携し、農業者と一体となった生産調整推進の取組を行った。

・水稲生産確定数量・面積及び作付実績

対象農業者数	707人
水稲生産実施計画書提出農業者数（①）	531人
生産確定数量の計（①の積算）	1,375,337kg
作付確定面積（①の積算）（②）	33,932.7ａ
主食用等水稲作付面積の計（①の積算）（③）	33,675.3ａ
差引(②-③)	257.4ａ
水稲生産確定面積に対する 主食用等水稲作付面積の割合（③÷②）	99.24%

(2)　水田活用の所得補償交付金

・戦略作物作付面積　（単位：ha）

大豆	3.4
そば	2.1
飼料作物	17.5
新規需要米・加工用米	18.3
二毛作	18.4

(3)　合同会議の開催

米政策改革及び関連対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、西方町水田農業推進協議会との連携により、ＪＡ協力員及び地域農政推進員を集めて合同会議を開催した。

・会議の開催状況

開　催　日	参加者数(人)
3 月 14 日(水)	30

2　農業制度融資関係

農業近代化資金利子補給費

・利子補給金額

区　　分	融資平均残高	利子補給額
上都賀農協	3,225,863 円	48,387 円

3　農業経営基盤強化促進事業

西方町担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や、経営改善に関する指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などの支援活動を実施した。

・農業経営改善計画認定者数　６７人

4　集落型経営体の育成

農業者個人での解決が困難な問題や集落の将来に対する意識を高め、地域農業における中核的な担い手組織である「上組南営農生産組合」の法人化に向けた合意形成を促進するための会議を開催した。

集落名	参加人数
上組南営農生産組合	12 人

5　農業団体育成事業

(1)　西方町認定農業者協議会

自らの経営改善の目標達成、資質の向上、地域の農業振興及び本地域農業の担い手である会員の相互連携を図るため、地区で開催される研修会等に参加した。

(2)　西方町農村生活研究グループ協議会

農村女性の社会参画や地位向上による農業農村の活性化を啓発し、輝く農村女性を構築するため、各種教室や研修会を実施した。

・事業内容　　地元食材レシピ作り・親子料理教室開催・ど田舎にしかた祭りへ参加・ジャム作り・コンニャク作り

・事業費　　74,775 円

(3)　西方町青少年クラブ協議会

クラブ員相互の連絡を緊密にして、その健全な発展を期するとともに、クラブ活動を通して経営者としての基礎的知識技能を修得し、また、豊かな情操と健康を備え、知性と協力性に富む社会人となることを目的として、クラブ員の団結を強め親睦を深める事業及び地域社会に役立つ事業を行った。

・事業内容　さつまいも栽培の企画等（農業体験交流事業実行委員会の構成団体）
　　アメリカシロヒトリ防除（市から委託）

・事業費　　239,620円

(4)　西方町農業体験交流事業実行委員会

都市住民は地方（農村）に心のゆとりを求めているなかで、都会の人と農村の人とが楽しみながら交流していくことを目的に、都市住民を迎え入れ、農業体験事業を実施した。

・事業内容　苺狩り体験、さつまいも栽培体験

・事業費　　385,639円（補助金　300,000円）

6　農業振興事業関係

(1)　農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの適正処理を図るため、会議を実施し分別回収を推進した。

・事業主体　　栃木市西方町農業用廃ビニール処理対策協議会

・事業内容　　農業用廃ビニールの分別回収、適正処理（64,000kg）

・事業費　　1,227,125 円（補助金 400,000 円）

(2)　優良種苗購入事業

多収穫・高品質のいちごを生産するため、優良種苗の購入費用を助成した。

・事業主体　　西方いちご部会

・事業内容　　苗の購入数 55,000 本

・事業費　　7,800,000 円（補助金 660,000 円）

(3)　農産物安全安心推進事業（いちご）

いちごの安全安心を推進するため、残留農薬検査費用を助成した。

・事業主体　　西方いちご部会

・事業内容　　残留農薬検査（多成分一斉分析）の実施

・事業費　　897,750 円（補助金 300,000 円）

(4)　農産物安全安心推進事業（にら）

にらの安全安心を推進するため、残留農薬検査費用を助成した。

・事業主体　　西方にら部会

・事業内容　　残留農薬検査（多成分一斉分析）の実施

・事業費　　434,280 円（補助金 200,000 円）

(5)　米の消費拡大推進事業

平成９年ににしかた米消費拡大推進協議会を設立し、西方地域のコシヒカリ一等米を「桜おとめ」と命名して商標登録を取得した。米の消費量が減少傾向にある中、協議会と連携を図り、にしかた米の消費拡大を図った。

・事業内容　ブランド米の販売及びＰＲ

・事業費　　20,497,625 円

7　農産物加工施設の管理運営

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民の方々に地元の農業に関心を持ってもらうための農産加工所では、主に地元の農産物を使用したみそ加工、苺ジャム・ジュース、弁当・惣菜、漬物などの加工を行なっている。

施　設　名		利用日数(日)	利用人数(人)
西方農産物加工所	農産物加工施設	365	2,620
真名子農産物加工所	農産物加工施設	24	135

農村婦人の家	農産物加工施設	101	508

8　畜産振興事業関係

家畜防疫団体関係

家畜の伝染病等を防止することで、家畜の経済効果を高め、地域畜産の振興を図ることを目的に畜産振興事業を実施した。

・事業主体　西方町家畜自衛防疫推進協議会

・事業内容　アカバネ病予防接種の実施

・事業費　　25,630円

9　小水力等農業水利施設利活用事業

二酸化炭素や温室効果ガス削減、及び農業水利施設の電気料節減等を目的に、小倉用水を利用した小水力発電設備の導入を検討するための概略設計を行った。

・事業主体　市

・事業内容　概略設計業務委託

・事業費　　2,016,000 円

10　土地改良区運営支援

小倉堰土地改良区の事務運営について、指導・助言を行った。

11　農作業受委託推進事業

一斉防除による病害虫駆除、及び農作業の効率化を図るため、無人ヘリコプターによる農薬散布を実施した。

・事業主体　西方町ラジヘリ協議会

・事業内容　水稲　242.95ha

・事業費　　5,832,510 円（補助金 250,000 円）

12　有害鳥獣捕獲事業

鳥獣による農作物及び生活環境等への被害を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣の捕獲駆除を実施した。

(1)　イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルの個体数調整による駆除

捕獲時期	捕獲状況
通　年	イノシシ82頭、ニホンジカ10頭

(2)　カラス、キジバト、カルガモの有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況
5月22日(火)	キジバト5羽、カラス1羽、カルガモ20羽
3月25日(日)	キジバト5羽、カラス1羽、カルガモ20羽

(3)　カワウの有害鳥獣捕獲による駆除

捕獲時期	捕獲状況

4月18日(月)～6月30日(木)	カワウ40羽

13　とちぎの元気な森づくり推進交付金事業

平成２０年度から元気な森づくり推進市町村交付金事業に取り組み、荒廃した里山の整備等を実施した。

(1)　野生獣被害軽減ための里山林整備

藪化した里山林の刈払い等により野生獣が人里に近づきにくい環境を整備した。

・実施箇所　本城地区・元地区・真名子地区

・事業量　　24.16ha

・事業費　　5,985,000円

・事業主体　市

(2)　野生獣被害軽減ための里山林維持管理

明るく安全な里山林整備事業により、野生獣被害が発生する恐れのある里山林の刈払いを実施し、維持管理を行った。

・実施箇所　本城地区・元地区・真名子地区

・事業量　　108.89 ha

・事業費　　5,428,500円

・事業主体　市

(3)　木の香る環境づくり支援事業

とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金事業を活用し、木工教室を開催した。

・参加人数　　30人

・事業費　　150,000円

・事業主体　　にしかたリフォームおまかせ隊

14　治山林道管理事業

利用者の安全を確保するため、真上・男丸・柏木線の森林路網整備を実施した。

(1)　森林路網整備路側改良外工事

・工事費　　2,999,850円

(2)　旧林道ヒューム管布設替工事

・工事費　　149,100円

15　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

件　　名	件数(件)
耕作証明書	10
農家証明書	1
農家基本台帳の写し	2

合　　計	13

16　ど田舎にしかた祭り（産業祭）

農業・商業・工業・観光業の活性化や地元食材の安全・安心ＰＲを図るべく、田んぼを使ったイベントや地元の食材を使った飲食店の出店などを行った。

・事業費　1,300,582 円（交付金 1,000,000 円）

17　商業振興

商工団体の育成及び助成

商工団体である商工会、たばこ組合の運営や諸事業に対し助成を行った。

名　　称	事業費(円)	うち市補助額(円)	備考（目的等）
西方商工会運営補助金	30,335,116	4,000,000	商工会の運営
たばこ売上促進補助金	3,945,475	116,000	未成年者の喫煙防止

18　制度融資

経営安定関連保証（セーフティーネット保証）認定状況

（中小企業信用保険法第２条第４項第１～８号）　　（単位：件）

保険法	適　用　事　項	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度
第１号	再生手続申立等関係	－	－	－
第２号	事業活動の制限関係	－	－	－
第３号	地域・業種関係	－	－	－
第４号	地域関係	－	－	－
第５号	業種関係	7	１１	１２
第６号	破綻金融機関関係	－	－	－
第７号	金融機関経営合理化関係	－	－	－
第８号	ＲＣＣ譲渡関係	－	－	－
計		7	１１	１２

19　観光振興宣伝関係

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源の宣伝、観光関連事業を積極的に展開し、観光資源やブランド品の発掘・開発を推進して地域の活性化を図った。

観光協会関係

観光資源を活かした観光行事を実施した。

・西方町観光協会運営補助金　152,518 円

・主催事業　金崎のさくらまつり

20　金崎の桜堤管理事業

(1)　桜グラウンド駐車場維持補修業務

西方地域の観光資源である金崎の桜堤に付随する駐車場の整地を行った。

・業務委託費　100,000 円

(2)　桜堤植栽管理業務

西方地域の観光資源である金崎の桜の維持管理のため、土手の刈り払い、剪定及び病害虫駆除を委託した。

・業務委託費　1,113,000 円

21　企業誘致事業

雇用機会の拡大と地域産業経済の振興、市税等の自主財源の増加を図るため、市内への企業誘致活動を行った。

また、宇都宮西中核工業団地事務組合に対し負担金を拠出し、事業の推進を図った。

(1)　宇都宮西中核工業団地関係

・誘致企業　１件（M-10 区画）

・リーフレット作成　4,000 部

・宇都宮西中核工業団地事務組合負担金　67,977,000 円

(2)　固定資産税の減免

進出企業の創業後の経営安定、雇用機会の創出を図るため、固定資産税の減免を実施した。

・減免対象企業　３社（５か年間の減免措置であり、平成２４年度が最終減免年度）

22　道の駅にしかた管理運営事業

(1)　売上等実績（１０月１日～３月３１日）

施設名	客数（人）	売上額（円）
農産物直売所「ふれあいの郷」	62,267	73,419,316
農村レストラン「ふるさと一番」	48,476	24,601,550
交流物産館「さくら」	16,230	15,722,855
計	126,973	113,743,721

(2)　主なイベント

イベント名	開催日
オープン 2 周年記念イベント	11 月 19 日（土）～23 日（水）
春祭り	3 月 17 日（土）～20 日（火）

(3)　視察の受入状況

団体名	視察日	視察目的
西方小学校６年生	10 月 6 日（木）	校外学習
西方中学校３年生	11 月 28 日（月）	校外学習

都市建設担当

1　道路管理関係

(1)　道路占用許可

申　　請　　内　　容	件　　数（件）
市道道路占用許可申請	26
占用廃止届	1
計	27

(2)　各種申請・手続

内　　容	件　　数（件）
境界確認申請	13
市有財産用途廃止申請	3
法定外公共物使用許可申請等	24
道路工事施工承認申請	8
放流同意申請書（道路・河川）	2
計	50

(3)　業務委託

委　託　名	委託箇所	委託内容	金額（円）
市道各号線維持修繕等業務（その1）（西方地区）	西方町地内	舗装修繕、側溝打替	2,310,000
市道各号線維持修繕等業務（その2）（真名子地区）	西方町真名子地内	舗装修繕、側溝打替	1,958,250
道路維持管理等委託料	西方町全地区	植栽管理	1,028,680
にしかたアンダー1自家用電気工作物保安管理業務	西方町金崎地内	自家用電気工作物保安管理	38,083
にしかたアンダー2自家用電気工作物保安管理業務	西方町本城地内	自家用電気工作物保安管理	34,568
にしかたアンダー1排水施設監視業務	西方町金崎地内	東武軌道下道路排水施設遠方監視	12,600
にしかたアンダー2排水施設監視業務	西方町本城地内	東北道下道路排水施設遠方監視	12,600
にしかたアンダー1点検業務	西方町金崎地内	東武軌道下道路排水施設点検	210,000
にしかたアンダー2点検業務	西方町本城地内	東北道下道路排水施設点検	304,500

2　道路工事関係

工　事　箇　所	工　事　内　容	工事金額(円)	備　　考

町　　名	路線名	延長(m)	幅員(m)	その他		
西方町金崎	N3215号線	447.0	5.0	−	32,655,000	

3　都市公園関係

(1)　各種許可申請及び届出

内　　容	件　数（件）
公園内における行為の許可申請	13

(2)　業務委託

業　務　名	公　園　名	金　額（円）
遊具点検業務	西方総合公園	47,250
施設維持管理等委託	西方総合公園ほか	1,973,935

第１３章　会計課

〔総括概要〕

会計管理者の会計事務を補助する会計課の主な業務は、会計管理者の職務権限である支出負担行為の確認と支出命令の審査、現金（有価証券を含む）や物品の出納及び保管、小切手の振出し、現金や財産の記録管理、決算の調製などである。

これらの事務については、公正の確保のため、法令、条例、規則等及び予算に基づき適法かつ適正な処理に当たるとともに、財政健全化の視点に立ち、その執行に努めた。

支出命令の審査については、支出命令書（支出調書）、請求書、支出負担行為決議書及びこれらの関係書類の精査に努めた。

市税、地方交付税、国・県支出金、使用料、手数料、市債等の公金の収納については、これらを的確に把握の上、収入確定への一連の事務処理を行った。

歳計現金、歳計外現金、運用基金及び積立基金の保管については、常に収支状況を把握し、低金利の厳しい状況の中、ペイオフ対策を踏まえ、定期性預金、国債及び流動性預金により収益（利子）の確保に努めた。

また、公金の収納及び支払事務を取り扱っている指定金融機関及び収納事務を取り扱っている収納代理金融機関４行に対する検査を行った。

なお、今年度の現金受払状況の受高は92,172,523,218円、払高は87,510,905,188円となっている。

審査担当

1　月別支払状況

区　　分	件数(件)	金額(円)
23年 4月	914	4,231,807,334
5月	4,611	4,310,481,193
6月	6,783	6,801,698,978
7月	6,103	5,536,381,586
8月	6,716	7,422,463,021
9月	5,010	7,878,205,660
10月	6,846	6,353,450,122
11月	7,754	5,998,884,244
12月	6,457	7,003,549,204
24年 1月	6,895	5,932,611,049
2月	8,685	7,236,933,631
3月	8,168	12,636,693,221
4月	8,273	5,213,682,406
5月	1,780	954,063,539
合　　計	84,995	87,510,905,188

2　資金運用状況

・預金等の種類　　大口定期預金・スーパー定期預金・普通預金・国債

・運用回数　　１６６回

・運用資金累計（延べ）額　　22,846,466,292円

・運用収益（利子）額　　28,623,982円

区分	会計・基金名	運用回数(回)	運用資金累計(延べ)額(円)	運用収益(利子)額(円)
歳計現金	一般会計	3	2,000,000,000	1,409,171
	国民健康保険特別会計	－	－	－
	後期高齢者医療特別会計	－	－	－
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	－	－	－
	介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	－	－	－
	下水道特別会計	－	－	－
	農業集落排水特別会計	－	－	－
	地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計	－	－	－
	JR大平下駅前土地区画整理特別会計	－	－	－
	医療福祉モール特別会計	－	－	－
	中根企業用地特別会計	－	－	－
	寺尾財産区特別会計	－	－	－
	小　　計	3	2,000,000,000	1,409,171

運用基金	保護費即時払基金	－	－	－
	奨学基金	－	－	－
	土地開発基金(運用)	－	－	－
	印紙等購買基金	－	－	－
	小　　計	－	－	－
積立基金	財政調整基金	29	6,808,847,173	9,457,106
	減債基金	10	4,493,651,669	4,573,969
	大澤基金	9	2,190,039,920	1,114,728
	庁舎建設基金	8	1,770,125,817	2,112,892
	土地総合調整基金	3	79,067,839	70,534
	すこやか福祉基金	14	602,254,792	1,185,542
	栃木駅周辺地区景観形成基金	2	629,511	1,262
	大宮南小学校教育振興基金	1	1,000,000	2,000
	スポーツ振興基金	2	13,555,676	10,852
	ふるさと文化振興基金	3	50,000,000	102,897
	図書館振興基金	3	20,000,000	16,152
	保険財政調整基金	8	1,240,204,146	1,511,505
	介護給付費準備基金	17	1,430,055,041	3,303,175
	寺尾財産区運営基金	2	253,286,696	811,535
	市民協働まちづくりファンド	3	6,298,456	4,449
	聖地公園管理基金	6	149,215,000	71,849
	介護従事者処遇改善臨時特例基金	3	－	1,590
	皆川地区振興基金	4	124,508,300	57,585
	同和対策住宅新築資金等借入償還基金	4	114,863,590	52,857
	罹災救助基金	3	22,972,629	60,240
	義務教育施設整備基金	12	929,089,468	1,740,316
	ふるさと整備事業基金	8	32,091,612	26,313
	地域医療対策基金	3	450,000,000	815,588
	中山間地域農村環境保全基金	1	10,033,811	4,013
	さくら基金	2	4,675,146	1,311
	東日本大震災復興推進基金	－	－	－
	小　　計	160	20,796,466,292	27,110,260
歳入歳出外現金		3	50,000,000	104,551
合　　計		166	22,846,466,292	28,623,982

出納担当

1　会計

(1)　現金受払状況　　（単位：円）

区分 / 会計名		受高	払高	残高
一般会計		55,705,962,213	52,526,281,946	3,179,680,267
特別会計	国民健康保険	16,093,972,178	15,548,914,261	545,057,917
	後期高齢者医療	1,221,406,347	1,217,648,230	3,758,117
	介護保険(保険事業勘定)	9,491,037,095	9,156,628,581	334,408,514
	介護保険(介護サービス事業勘定)	35,133,150	31,583,742	3,549,408
	下水道	4,017,549,810	3,947,396,355	70,153,455
	農業集落排水	302,199,716	259,792,379	42,407,337
	地域改善対策住宅新築資金等貸付	2,053,350	2,053,350	0
	JR大平下駅前土地区画整理	143,549,862	118,116,869	25,432,993
	医療福祉モール	30,399,707	27,761,257	2,638,450
	中根企業用地	96,396,000	96,295,593	100,407
	寺尾財産区	30,370,808	27,907,075	2,463,733
運用基金	保護費即時払基金	607,536	293,151	314,385
	奨学基金	44,005,268	10,680,000	33,325,268
	土地開発基金	60,101,605	0	60,101,605
	印紙等購買基金	42,408,430	41,103,700	1,304,730
一時借入金		0	0	0
歳入歳出外現金		4,855,370,143	4,498,448,699	356,921,444
合計		92,172,523,218	87,510,905,188	4,661,618,030

(2)　会計別歳入歳出

ア　一般会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　市税	18,052,329,000	20,716,241,140	18,712,476,347	157,676,371	1,846,088,422
2　地方譲与税	587,001,000	575,585,711	575,585,711	0	0
3　利子割交付金	41,500,000	39,253,000	39,253,000	0	0
4　配当割交付金	12,700,000	26,178,000	26,178,000	0	0
5　株式等譲渡所得割交付金	10,000,000	6,857,000	6,857,000	0	0
6　地方消費税交付金	1,294,000,000	1,353,647,000	1,353,647,000	0	0

7　ゴルフ場利用税交付金	347,000,000	343,835,513	343,835,513	0	0
8　自動車取得税交付金	123,000,000	132,329,000	132,329,000	0	0
9　地方特例交付金	220,316,000	220,316,000	220,316,000	0	0
10　地方交付税	8,992,691,000	9,560,740,000	9,560,740,000	0	0
11　交通安全対策特別交付金	23,600,000	21,664,000	21,664,000	0	0
12　分担金及び負担金	497,619,000	511,857,481	489,965,991	4,700,130	17,191,360
13　使用料及び手数料	495,832,000	561,926,606	494,933,274	0	66,993,332
14　国庫支出金	7,256,461,000	6,361,351,123	6,361,351,123	0	0
15　県支出金	4,336,810,000	3,897,533,261	3,897,533,261	0	0
16　財産収入	112,848,000	106,310,694	106,284,064	0	26,630
17　寄附金	23,671,000	21,969,974	21,969,974	0	0
18　繰入金	840,866,000	790,396,928	790,396,928	0	0
19　繰越金	2,587,975,900	2,587,976,375	2,587,976,375	0	0
20　諸収入	3,749,203,000	4,128,395,101	3,869,669,652	0	258,725,449
21　市債	7,327,300,000	6,093,000,000	6,093,000,000	0	0
合　　計	56,932,722,900	58,057,363,907	55,705,962,213	162,376,501	2,189,025,193

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　議会費	486,393,000	465,919,214	0	20,473,786
2　総務費	7,469,396,400	7,158,924,435	0	310,471,965
3　民生費	16,722,621,000	15,478,201,467	196,000,000	1,048,419,533
4　衛生費	5,107,638,000	4,726,279,291	0	381,358,709
5　労働費	90,705,000	88,458,932	0	2,246,068
6　農林水産業費	1,842,391,000	1,625,588,518	76,470,000	140,332,482
7　商工費	3,165,240,000	3,106,553,738	0	58,686,262
8　土木費	6,019,139,500	5,509,235,540	215,714,086	294,189,874
9　消防費	1,818,432,000	1,766,045,140	0	52,386,860
10　教育費	9,017,450,000	7,540,177,627	994,354,000	482,918,373
11　災害復旧費	161,951,000	131,744,310	6,641,500	23,565,190
12　公債費	4,992,928,000	4,929,153,734	0	63,774,266
13　予備費	38,438,000	0	0	38,438,000
合　　計	56,932,722,900	52,526,281,946	1,489,179,586	2,917,261,368

イ　国民健康保険特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　国民健康保険税	4,045,151,000	6,243,872,063	4,063,737,609	191,770,578	1,988,363,876
2　一部負担金	4,000	0	0	0	0
3　使用料及び手数料	2,036,000	2,493,230	2,493,230	0	0
4　国庫支出金	4,400,521,000	4,073,544,796	4,073,544,796	0	0
5　療養給付費等交付金	732,213,000	861,597,000	861,597,000	0	0
6　前期高齢者交付金	2,801,363,000	2,801,362,861	2,801,362,861	0	0
7　県支出金	752,764,000	715,297,694	715,297,694	0	0
8　共同事業交付金	1,783,200,000	1,709,037,114	1,709,037,114	0	0
9　財産収入	1,519,000	1,511,505	1,511,505	0	0
10　繰入金	1,246,629,000	1,246,627,808	1,246,627,808	0	0
11　繰越金	533,972,000	533,972,804	533,972,804	0	0
12　諸収入	15,997,000	84,789,757	84,789,757	0	0
合　　計	16,315,369,000	18,274,106,632	16,093,972,178	191,770,578	1,988,363,876

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　総務費	249,525,000	202,314,789	0	47,210,211
2　保険給付費	10,739,371,000	10,177,963,196	0	561,407,804
3　後期高齢者支援金等	1,963,338,000	1,963,254,130	0	83,870
4　前期高齢者納付金等	5,876,000	5,815,478	0	60,522
5　老人保健拠出金	10,173,000	116,217	0	10,056,783
6　介護納付金	933,887,000	933,886,883	0	117
7　共同事業拠出金	1,811,320,000	1,718,844,750	0	92,475,250
8　保健事業費	93,509,000	69,934,986	0	23,574,014
9　積立金	1,519,000	1,511,505	0	7,495
10　公債費	740,000	0	0	740,000
11　諸支出金	484,835,000	475,272,327	0	9,562,673
12　予備費	21,276,000	0	0	21,276,000
合　　計	16,315,369,000	15,548,914,261	0	766,454,739

ウ　後期高齢者医療特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　後期高齢者医療保険料	857,686,000	858,244,330	850,011,830	759,010	7,473,490
2　使用料及び手数料	100,000	231,770	231,770	0	0
3　寄付金	1,000	0	0	0	0
4　繰入金	295,772,000	295,772,000	295,772,000	0	0
5　繰越金	38,904,000	38,904,003	38,904,003	0	0
6　諸収入	42,948,000	36,486,744	36,486,744	0	0
合　　計	1,235,411,000	1,229,638,847	1,221,406,347	759,010	7,473,490

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　総務費	66,426,000	59,626,876	0	6,799,124
2　後期高齢者医療広域連合納付金	1,120,076,000	1,119,645,410	0	430,590
3　後期高齢者健診事業費	43,447,000	37,257,544	0	6,189,456
4　諸支出金	3,462,000	1,118,400	0	2,343,600
5　予備費	2,000,000	0	0	2,000,000
合　　計	1,235,411,000	1,217,648,230	0	17,762,770

エ　介護保険特別会計（保険事業勘定）

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　保険料	1,629,375,000	1,699,831,110	1,645,250,576	11,379,330	43,201,204
2　分担金及び負担金	1,000	0	0	0	0
3　使用料及び手数料	268,000	347,070	347,070	0	0
4　国庫支出金	2,101,827,000	1,982,181,084	1,982,181,084	0	0
5　支払基金交付金	2,614,309,000	2,600,250,125	2,600,250,125	0	0
6　県支出金	1,291,282,000	1,263,811,750	1,263,811,750	0	0
7　財産収入	3,352,000	3,304,765	3,304,765	0	0
8　寄附金	1,000	0	0	0	0
9　繰入金	1,844,808,000	1,849,472,296	1,849,472,296	0	0
10　繰越金	78,879,000	78,879,568	78,879,568	0	0
11　諸収入	13,126,000	67,539,861	67,539,861	0	0
12　市債	1,000	0	0	0	0
合　　計	9,577,229,000	9,545,617,629	9,491,037,095	11,379,330	43,201,204

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　総務費	323,681,000	303,348,113	0	20,332,887
2　保険給付費	8,934,823,000	8,581,567,614	0	353,255,386
3　財政安定化基金拠出金	1,000	0	0	1,000
4　積立金	8,792,000	8,745,263	0	46,737
5　地域支援事業費	284,887,000	240,172,469	0	44,714,531
6　公債費	5,000	0	0	5,000
7　諸支出金	24,137,000	22,795,122	0	1,341,878
8　予備費	903,000	0	0	903,000
合　　計	9,577,229,000	9,156,628,581	0	420,600,419

オ　介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　サービス収入	25,319,000	26,233,960	26,233,960	0	0
2　繰入金	6,994,000	6,994,000	6,994,000	0	0
3　繰越金	1,866,000	1,866,219	1,866,219	0	0
4　諸収入	4,000	38,971	38,971	0	0
合　　計	34,183,000	35,133,150	35,133,150	0	0

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　事業費	34,183,000	31,583,742	0	2,599,258
合　　計	34,183,000	31,583,742	0	2,599,258

カ　下水道特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　分担金及び負担金	100,194,000	125,186,685	101,738,830	2,953,410	20,494,445
2　使用料及び手数料	998,937,000	1,042,279,642	1,013,861,808	1,928,371	26,489,463
3　国庫支出金	337,108,000	282,791,750	282,791,750	0	0
4　繰入金	1,785,645,000	1,785,645,000	1,785,645,000	0	0
5　繰越金	168,733,100	168,733,842	168,733,842	0	0
6　諸収入	6,977,000	15,414,880	15,378,580	0	36,300
7　市債	843,706,000	649,400,000	649,400,000	0	0
合　　計	4,241,300,100	4,069,451,799	4,017,549,810	4,881,781	47,020,208

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　総務費	302,462,000	283,730,604	0	18,731,396
2　公共下水道費	1,353,697,100	1,141,773,765	122,935,000	88,988,335
3　流域下水道費	560,548,000	547,290,927	0	13,257,073
4　公債費	2,023,093,000	1,974,601,059	0	48,491,941
5　予備費	1,500,000	0	0	1,500,000
合　　計	4,241,300,100	3,947,396,355	122,935,000	170,968,745

キ　農業集落排水特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　分担金及び負担金	2,585,000	7,811,878	1,885,678	0	5,926,200
2　使用料及び手数料	46,171,000	51,612,617	48,866,797	0	2,745,820
3　繰入金	206,501,000	206,501,000	206,501,000	0	0
4　繰越金	35,657,000	35,657,215	35,657,215	0	0
5　諸収入	5,381,000	9,289,026	9,289,026	0	0
合　　計	296,295,000	310,871,736	302,199,716	0	8,672,020

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　総務費	22,815,000	18,448,820	0	4,366,180
2　農業集落排水事業費	97,204,000	67,274,516	0	29,929,484
3　公債費	175,276,000	174,069,043	0	1,206,957
4　予備費	1,000,000	0	0	1,000,000
合　　計	296,295,000	259,792,379	0	36,502,621

ク　地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　県支出金	47,000	47,000	47,000	0	0
2　繰入金	107,000	12,928	12,928	0	0
3　財産収入	52,000	52,857	52,857	0	0
4　繰越金	246,000	246,778	246,778	0	0
5　諸収入	1,693,000	26,739,222	1,693,787	0	25,045,435
合　　計	2,145,000	27,098,785	2,053,350	0	25,045,435

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　住宅新築資金等貸付事業費	98,000	97,776	0	224
2　公債費	1,956,000	1,955,574	0	426
3　予備費	0	0	0	0
4　諸支出金	91,000	0	0	91,000
合　　計	2,145,000	2,053,350	0	91,650

ケ　ＪＲ大平下駅前土地区画整理特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　保留地処分金	1,000	0	0	0	0
2　分担金及び負担金	39,800,000	39,800,000	39,800,000	0	0
3　繰入金	73,322,000	70,000,000	70,000,000	0	0
4　繰越金	33,742,000	33,742,251	33,742,251	0	0
5　諸収入	2,000	7,611	7,611	0	0
6　市債	1,000	0	0	0	0
合　　計	146,868,000	143,549,862	143,549,862	0	0

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　土地区画整理事業費	146,771,000	118,116,869	22,000,000	6,654,131
2　公債費	2,000	0	0	2,000
3　予備費	95,000	0	0	95,000
合　　計	146,868,000	118,116,869	22,000,000	6,751,131

コ　医療福祉モール特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　財産収入	1,688,000	2,855,272	2,855,272	0	0
2　繰入金	1,000	0	0	0	0
3　繰越金	27,538,000	27,538,566	27,538,566	0	0
4　諸収入	2,000	5,869	5,869	0	0
合　　計	29,229,000	30,399,707	30,399,707	0	0

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　医療福祉モール事業費	7,951,000	6,484,401	0	1,466,599
2　公債費	21,278,000	21,276,856	0	1,144

合　　計	29,229,000	27,761,257	0	1,467,743

サ　中根企業用地特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　財産収入	1,000	0	0	0	0
2　繰入金	197,000	196,000	196,000	0	0
3　繰越金	1,000	0	0	0	0
4　諸収入	1,000	0	0	0	0
5　市債	270,500,000	96,200,000	96,200,000	0	0
合　　計	270,700,000	96,396,000	96,396,000	0	0

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　企業用地造成事業費	270,648,000	96,295,593	173,800,000	552,407
2　公債費	52,000	0	0	52,000
合　　計	270,700,000	96,295,593	173,800,000	604,407

シ　寺尾財産区特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1　県支出金	1,000	0	0	0	0
2　財産収入	26,885,000	26,871,447	26,871,447	0	0
3　繰入金	1,000	0	0	0	0
4　繰越金	3,176,000	3,494,462	3,494,462	0	0
5　諸収入	2,000	4,899	4,899	0	0
合　　計	30,065,000	30,370,808	30,370,808	0	0

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1　議会費	1,847,000	1,130,200	0	716,800
2　総務費	27,865,000	26,776,875	0	1,088,125
3　土木費	3,000	0	0	3,000
4　予備費	350,000	0	0	350,000
合　　計	30,065,000	27,907,075	0	2,157,925

(3)　口座による自動払込分（１件あたり10円）

科　　目	件数（件）	手数料（円）
市県民税	1,476	14,760
固定資産税・都市計画税	6,870	68,700

軽自動車税	1,639	16,390
国民健康保険税	5,038	50,380
介護保険料	803	8,030
後期高齢者医療保険料	1,135	11,350
市営住宅使用料	411	4,110
保育料	1,338	13,380
学童保育料	488	4,880
住宅新築資金貸付金	－	－
奨学資金貸付金	11	110
公共下水道受益者負担金	7	70
農業集落排水施設使用料	872	8,720
配食サービス事業自己負担金	603	6,030
聖地公園管理手数料	120	1,200
幼稚園保育料	－	－
合　　計	20,811	208,110

(4)　金融機関別公金収納状況

金融機関名		件　数(件)		金　額(円)	
			割合(%)		割合(%)
指定金融機関	足利銀行	652,614	78.1	79,251,680,755	87.9
収納代理金融機関	みずほ銀行	22,277	2.7	3,502,863,905	3.9
	群馬銀行	11,526	1.4	811,137,001	0.9
	栃木銀行	38,487	4.6	1,713,225,398	1.9
	栃木信用金庫	56,828	6.8	2,412,119,648	2.7
	足利小山信用金庫	2,862	0.3	124,051,429	0.1
	佐野信用金庫	753	0.1	24,779,535	0.0
	鹿沼相互信用金庫	3,152	0.4	90,332,270	0.1
	下野農業協同組合	42,190	5.0	2,149,090,229	2.4
	上都賀農業協同組合	3,105	0.4	80,281,571	0.1
	中央労働金庫	1,358	0.2	43,763,200	0.0
	計	182,538	21.9	10,951,644,186	12.1
合　　計		835,152	100.0	90,203,324,941	100.0

(5)　有価証券による取扱状況

区　分		小切手		約束手形		為替手形		合　計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
前年度末保管分		5	194,100	13	5,300,000	－	－	18	5,494,100
本年度保管分		34	13,760,400	9	349,400	－	－	43	14,109,800
計		39	13,954,500	22	5,649,400	－	－	61	19,603,900
処理	取立て(納入)	32	13,454,500	19	3,849,400	－	－	51	17,303,900
	組戻し(取消し)	－	－	－	－	－	－	－	－
	不渡り	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	32	13,454,500	19	3,849,400	－	－	51	17,303,900
本年度末保管分		7	500,000	3	1,800,000	－	－	10	2,300,000

2　会計課における電算収納稼働状況　　（単位：件）

税　目		区　分	件　数	合　計
市県民税	普通徴収	現年度分	89,490	151,145
		過年度分	643	
		滞納繰越分	11,012	
		年金特別徴収	50,000	
	特別徴収	現年度分	67,467	67,717
		滞納繰越分	250	
法人市民税		均等割	4,147	8,624
		法人税割	4,021	
		過事業年度	296	
		滞納繰越分	160	
固定資産税・都市計画税		現年度分	215,490	222,826
		滞納繰越分	7,336	
軽自動車税		現年度分	46,794	47,762
		滞納繰越分	968	
国民健康保険税		現年度分	142,374	188,857
		滞納繰越分	28,385	
		年金特別徴収	18,098	
介護保険料		現年度分	22,423	217,107
		滞納繰越分	1,745	
		年金特別徴収	192,939	

後期高齢者医療保険料	現年度分	23,095	113,870
	滞納繰越分	688	
	年金特別徴収	90,087	
総　合　計			1,017,908

3　主な消耗品交付状況（本庁舎）

品　　名	数　量	品　　名	数　量	品　　名	数　量
鉛筆	337本	シャープペン	76本	シャープペン芯	105個
ボールペン	417本	マジック	337本	蛍光ペン	660本
蛍光ペン替	140個	消しゴム	200個	修正液	44個
修正テープ	108個	修正テープ替	185個	付箋紙	1,037個
液状のり	244個	ホッチキス針	1,051個	インデックス	510袋
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞﾏｰｶｰ	109本	ダブルクリップ	395箱	厚紙（Ａ３）	296枚
両面テープ	350本	セロテープ	383本	ガムテープ	207個
ビニールひも	91個	封筒　小	19,260枚	封筒　中	117,830枚
書類封筒	44,600枚	燃やすゴミ袋	558袋	空き缶空き瓶ゴミ袋	153袋
ペットボトルゴミ袋	138袋	ママレモン	48本	ハイター	58本
クレンザー	22本	スポンジ	152個	せっけん	141個

4　指定金融機関の検査

地方自治法施行令第１６８条の４及び栃木市財務規則第１３９条の規定に基づき、指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を次のとおり実施し、適正に処理されていることを確認した。

・実施日

2月17日（金）	指定金融機関　足利銀行栃木支店
2月20日（月）	収納代理金融機関　中央労働金庫栃木支店
	収納代理金融機関　下野農業協同組合栃木東支店
2月21日（火）	収納代理金融機関　鹿沼相互信用金庫金崎支店
	収納代理金融機関　上都賀農業協同組合西方支店

第１４章　議会事務局

第１節　議事課

〔総括概要〕

平成２３年１０月１日に栃木市、西方町が合併し、それに伴う西方選挙区の市議会議員選挙が１０月３０日に行われ、３人の新議員が誕生した。

地方分権が進展する中、地方自治体が自らの責任において、個性豊かな活力のあるまちづくりを行うため、５地区を代表する議員が、市民の負託に応えられる責任ある議会の確立に向け、積極的に議会運営を行った。

平成２３年３月に制定された議会基本条例に基づき、市政運営に対する監視や政策提案・提言等の議会活動を地域に出向いて、市民に報告・説明し、市政等に関する情報を提供するとともに、議会活動に対する意見や市政に対する提案等を広く聴き、市民との連携を強化するため、「議会報告運営委員会」を設置し、開催要領を作成の上、市内１２か所で議会報告会を開催した。

現在、議会改革を推し進めていく上で、政治倫理が最も基礎となる重要な課題であることから、市民との信頼関係を確立し、市民と議会の説明責任の明確化を図るため、政治倫理条例の制定を目指し、「政治倫理条例検討委員会」を設置した。

２元代表制の一翼を担う議会の機能をさらに高め、市民に開かれた議会を目指すため設置された「議会改革検討委員会」において、本会議における全般的な運営の方法、一般質問、常任委員会等の合理的な進行について再検討することにより、合併時に決定した議会申し合わせ事項を改正した。

議会の開催日程等を記載した「市議会からのお知らせ」を新聞に折り込み、市民への周知を図るとともに、議場コンサートを開催し、傍聴機会の拡大に努めた。

常任委員会については、合併後も議会が身近に感じられるよう、少しでも多くの市民の方に傍聴していただくため、引き続き各地域の公民館等において委員会を開催する「移動委員会」を実施した。

議会からの情報提供については、活字による議会だよりのほか、視力や聴力に障がいのある方のため、点字版や音声版による議会だよりの発行を行った。

ケーブルテレビによる一般質問の放映や静止画像による開催情報等を放送するとともに、市議会ホームページにおいて本会議の録画中継を行った。

調査活動においては、先進都市視察の実施や議員研修会を開催し、研鑽を深める等、議会活動の充実を図った。

議会総務担当　議事調査担当

1　議会

(1)　議員

・定数　３４人

ア　西方選出議員（平成２３年１０月３０日就任）

議席	氏　　名	議席	氏　　名	議席	氏　　名
1	針谷　正夫	2	鮎田　　博	3	鮎田　榮一

イ　栃木・大平・藤岡・都賀選出議員（平成２２年４月２５日就任）

議席	氏　　名	議席	氏　　名	議席	氏　　名	議席	氏　　名
4	白石　幹男	5	渡辺　照明	6	高岩　義祐	7	海老原恵子
8	松本　喜一	9	増山　敬之	10	須田　安祢	11	入野登志子
12	福富　善明	13	広瀬　義明	14	氏家　　晃	15	福田　裕司
16	大阿久岩人	17	大川　秀子	18	天谷　浩明	19	梅澤　米満
20	大島　光男	21	長　　芳孝	22	大武　真一	23	中島　克訓
24	関口孫一郎	25	平池　紘士	26	千葉　正弘	27	大出　三夫
28	萩原　　繁	29	慶野　昭次	30	内海　成和	31	小堀　良江
32	大出　孝幸	33	岡　　賢治	34	永田　武志		

(2)　正副議長

区　分	氏　　名	任　　期
議　長	大　川　秀　子	平成22年　5月17日～
副議長	松　本　喜　一	平成23年　6月　3日～

(3)　常任委員会（平成２２年５月１７日～）

委員会名	委員長	副委員長	委　　員
総　　務	海老原恵子	天谷浩明	鮎田榮一　渡辺照明　須田安祢 広瀬義明　大川秀子　中島克訓 大出孝幸
民　　生	永田武志	平池紘士	鮎田　博　福田裕司　大阿久岩人 関口孫一郎　萩原　繁　内海成和 岡　賢治
産業教育	氏家　晃	千葉正弘	白石幹男　増山敬之　梅澤米満 大島光男　大出三夫　慶野昭次
建　　設	長　芳孝	小堀良江	針谷正夫　高岩義祐　松本喜一 入野登志子　福富善明　大武真一

※西方選出議員３人については、平成２３年１１月８日就任

(4)　議会運営委員会（平成２２年５月１７日～）

委員長	副委員長	委　　員
梅 澤 米 満	大 出 三 夫	海老原恵子　須 田 安 祢　入野登志子 中 島 克 訓　千 葉 正 弘

(5)　議会広報紙発行特別委員会（平成２２年５月１７日～）

委員長	副委員長	委　　員
白 石 幹 男	氏 家　晃	増 山 敬 之　須 田 安 祢　入野登志子 天 谷 浩 明　長　芳 孝　永 田 武 志

(6)　オリン晃電社工場跡地土地購入等に係る調査特別委員会
（平成２２年６月２５日～平成２３年６月２３日）

委員長	副委員長	委　　員
内 海 成 和	平 池 紘 士	白 石 幹 男　高 岩 義 祐　海老原恵子 入野登志子　福 富 善 明　大阿久岩人 大 島 光 男　大 出 三 夫　慶 野 昭 次 小 堀 良 江

2　会議

(1)　本会議及び付議事件

区　分		平成23年 第2回 臨時会 （4月）	平成23年 第3回 定例会 （6月）	平成23年 第4回 定例会 （9月）	平成23年 第5回 定例会 （１２月）	平成24年 第1回 定例会 （3月）	計
会　　期（日）		1	21	26	21	28	97
本会議開催日数（日）		1	6	6	6	6	25
常任委員会 開催延べ日数（日）		0	4	4	2	6	16
議会運営委員会 開催日数（日）		1	4	2	3	3	13
市長提出	条　例（件）	0	10	30	11	23	74
	予算決算（件）	3	1	21	7	33	65
	人　事（件）	0	5	2	3	4	14
	報　告（件）	0	9	8	3	9	29
	その他（件）	0	8	9	13	3	33
議員提出	条例規則（件）	0	0	2	0	1	3
	意見書（件）	0	0	1	2	1	4
	決　議（件）	1	0	0	0	0	1
	その他（件）	0	3	0	0	0	3
議会人事等（件）		0	1	0	3	0	4
請願・陳情（件）		0	2	3	5	2	12
計		4	39	76	47	76	242

(2)　議案等処理状況

ア　平成２３年第２回臨時会

・開会　４月２７日

・閉会　４月２７日

番　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　果
議　案 第 51 号	市長の専決処分事項の承認について（平成 22 年度栃木市一般会計補正予算（第９号））	市　長	4 月 27 日	4 月 27 日	承　認
議　案 第 52 号	市長の専決処分事項の承認について（平成２３年度栃木市一般会計補正予算（第１号））	市　長	4 月 27 日	4 月 27 日	承　認
議　案 第 53 号	平成２３年度栃木市一般会計補正予算（第２号）	市　長	4 月 27 日	4 月 27 日	原案可決
決議案 第２号	東日本大震災に関する決議	議　員	4 月 27 日	4 月 27 日	原案可決

イ　平成２３年第３回定例会

・開会　６月３日

・閉会　６月２３日

番　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　果
	副議長の選挙		6 月 3 日	(6 月 3 日)	松本喜一 当選
報　告 第３号	平成２２年度栃木市一般会計継続費繰越計算書	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第４号	平成２２年度栃木市一般会計繰越明許費繰越計算書	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第５号	平成２２年度栃木市下水道特別会計繰越明許費繰越計算書	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第６号	平成２２年度栃木市ＪＲ大平下駅前土地区画整理特別会計繰越明許費繰越計算書	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第７号	平成２２年度栃木市一般会計事故繰越し繰越計算書	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第８号	平成２２年度栃木市水道事業会計予算繰越計算書	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第９号	栃木市土地開発公社の平成２３事業年度事業計画書の提出について	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第 10 号	財団法人藤岡町農業公社の平成２３年度事業計画書の提出について	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
報　告 第 11 号	財団法人都賀町農業公社の平成２３年度事業計画書の提出について	市　長	6 月 3 日	(6 月 3 日)	報告聴取
議　案 第 54 号	平成２３年度栃木市一般会計補正予算（第３号）	市　長	6 月 3 日	6 月 23 日	原案可決

議　案 第 55 号	栃木市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 56 号	栃木市火災予防条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 57 号	栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 58 号	栃木市役所総合支所設置条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 59 号	栃木市役所支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 60 号	栃木市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 61 号	栃木市保健福祉センター条例及び栃木市地域福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 62 号	栃木市地域子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 63 号	栃木市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月3日	6月 23 日	原案可決
議　案 第 64 号	栃木地区広域行政事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木地区広域行政事務組合規約の変更について	市　長	6月3日	6月 3 日	原案可決
議　案 第 65 号	栃木地区広域行政事務組合の財産処分に関する協議について	市　長	6月3日	6月 3 日	原案可決
議　案 第 66 号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	市　長	6月3日	6月 3 日	原案可決
議　案 第 67 号	栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	市　長	6月3日	6月 3 日	原案可決
議　案 第 68 号	宇都宮西中核工業団地事務組合への加入について	市　長	6月3日	6月 3 日	原案可決
議　案 第 69 号	栃木県南公設地方卸売市場事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県南公設地方卸売市場事務組合規約の変更について	市　長	6月3日	6月 3 日	原案可決
議　案 第 70 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	6月3日	6月 3 日	同　意 (大竹義彦)
議　案 第 71 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	6月3日	6月 3 日	同　意 (鈴木庸子)

議　案 第 72 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	6月3日	6月3日	同　意 (川島郁子)
議　案 第 73 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	6月3日	6月3日	同　意 (田中光重)
議　案 第 74 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	6月3日	6月3日	同　意 (渡邉洋子)
議　案 第 75 号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	6月10日	6月23日	原案可決
議　案 第 76 号	工事請負契約の締結について	市　長	6月10日	6月23日	原案可決
議　案 第 77 号	工事請負契約の締結について	市　長	6月10日	6月23日	原案可決
(平成22年) 請　願 第 1 号	請願書（藤岡町下宮地区の埼玉県加須市への編入を求める請願）	代 表 間明田和子 ほか26名 紹介議員 梅澤　米満 大島　光男 福富　善明 萩原　繁	(平成22年) 12月10日	6月23日	閉会中の 継続審査
(平成22年) 陳　情 第 8 号	渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情書	藤岡町自然を守る会 会 長 大塚　明	(平成22年) 12月10日	6月23日	閉会中の 継続審査
	オリン晃電社工場跡地土地購入等に係る調査特別委員会の調査報告について		6月23日	6月23日	原案可決
	オリン晃電社工場跡地土地購入等に係る調査特別委員会の調査終了について		6月23日	6月23日	原案可決
	オリン晃電社工場跡地土地購入等に係る調査特別委員会における虚偽の陳述に対する告発について		6月23日	6月23日	原案可決

ウ　平成２３年第４回定例会

・開会　９月２日

・閉会　９月２７日

番　号	件　名	提出者	提出月日	議決月日	結　果
報　告 第 12 号	平成２２年度栃木市継続費精算報告書	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取
報　告 第 13 号	平成 22 年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取
報　告 第 14 号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定について)	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取

報　告 第15号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定について)	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取
報　告 第16号	栃木市土地開発公社の平成２３事業年度変更事業計画書の提出について	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取
報　告 第17号	栃木市土地開発公社の平成２２事業年度事業報告書の提出について	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取
報　告 第18号	財団法人藤岡町農業公社の平成２２年度事業状況報告書の提出について	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取
報　告 第19号	財団法人都賀町農業公社の平成２２年度事業状況報告書の提出について	市　長	9月2日	(9月2日)	報告聴取
議　案 第78号	平成２３年度栃木市一般会計補正予算（第４号）	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第79号	平成２３年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第80号	平成２３年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第81号	平成２３年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第１号）	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第82号	平成２３年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定)補正予算(第１号)	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第83号	平成２３年度栃木市下水道特別会計補正予算（第１号）	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第84号	平成２３年度栃木市農業集落排水特別会計補正予算（第１号）	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第85号	平成２３年度栃木市水道事業会計補正予算（第１号）	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第86号	栃木市表彰条例の制定について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第87号	東日本大震災に対処するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の特例に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第88号	栃木市企業立地促進条例の制定について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第89号	栃木市営金崎有料駐車場条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第90号	栃木市西方地域における空き地の環境保全に関する措置を定める条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第91号	栃木市西方地域における空き缶等の散乱防止に関する措置を定める条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決

議　案 第92号	栃木市衛生センター条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第93号	栃木市認定西方なかよしこども園条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第94号	栃木市西方ふれあいプラザ及び西方さくらホーム条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第95号	栃木市西方保健センター条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第96号	栃木市西方さくら基金条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第97号	栃木市中山間地域農村環境保全基金条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第98号	栃木市真名子夢ホール条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第99号	道の駅にしかた条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第100号	都市計画法施行令第19条第1項ただし書の規模を定める条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第101号	栃木市教育委員会委員の定数を定める条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第102号	栃木市立幼稚園設置条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第103号	栃木市立幼稚園保育料条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第104号	西方町の編入に伴う総合政策部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第105号	西方町の編入に伴う総務部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第106号	西方町の編入に伴う理財部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第107号	西方町の編入に伴う生活環境部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第108号	西方町の編入に伴う保健福祉部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第109号	西方町の編入に伴う産業振興部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第110号	西方町の編入に伴う都市建設部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第111号	西方町の編入に伴う上下水道部関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第112号	西方町の編入に伴う教育委員会関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決

議　案 第113号	西方町の編入に伴う農業委員会関係条例の整備に関する条例の制定について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第114号	栃木市税条例等の一部を改正する条例の制定について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第115号	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第116号	工事請負契約の締結について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第117号	工事請負契約の締結について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第118号	工事委託契約の締結について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第119号	財産の取得について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第120号	市道路線の認定について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第121号	市道路線の変更について	市　長	9月2日	9月27日	原案可決
議　案 第122号	栃木市・西方町合併協議会の廃止について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第123号	栃木市と鹿沼市との間の鹿沼医療圏における休日夜間急患診療事務の委託について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第124号	栃木市と鹿沼市との間の鹿沼医療圏における休日急患歯科診療事務の委託について	市　長	9月2日	9月2日	原案可決
議　案 第125号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	市　長	9月2日	9月2日	同　意 (山本元久)
議　案 第126号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	9月2日	9月2日	同　意 (石原謙太郎)
議　案 第127号	平成２３年度栃木市一般会計補正予算（第５号）	市　長	9月27日	9月27日	原案可決
議員案 第３号	栃木市議会議員定数条例の制定について	議　員	9月2日	9月2日	原案可決
議員案 第４号	栃木市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	議　員	9月2日	9月2日	原案可決
認　定 第１号	平成２２年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について	市　長	9月2日	9月27日	認　定
認　定 第２号	平成２２年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	9月2日	9月27日	認　定
認　定 第３号	平成２２年度栃木市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	9月2日	9月27日	認　定
認　定 第４号	平成２２年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	9月2日	9月27日	認　定

認　定 第５号	平成２２年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
認　定 第６号	平成２２年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
認　定 第７号	平成２２年度栃木市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
認　定 第８号	平成２２年度栃木市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
認　定 第９号	平成２２年度栃木市地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
認　定 第10号	平成２２年度栃木市ＪＲ大平下駅前土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
認　定 第11号	平成２２年度栃木市医療福祉モール特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
認　定 第12号	平成２２年度栃木市水道事業会計決算の認定について	市　長	９月２日	９月27日	認　定
(平成22年) 請　願 第１号	請願書（藤岡町下宮地区の埼玉県加須市への編入を求める請願）	代 表 間明田和子 外26名 紹介議員 梅澤　米満 大島　光男 福富　善明 萩原　繁	(平成22年) 12月10日	９月27日	採　択
(平成22年) 陳　情 第８号	渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情書	藤岡町自然を守る会 会 長 大塚　明	(平成22年) 12月10日	９月27日	閉会中の継続審査
(平成23年) 請　願 第１号	線維筋痛症の難病認定及び医療費の助成等を求める請願書	板倉美奈子 紹介議員 大武 真一 入野登志子	９月９日	９月27日	採　択
意見書案 第３号	線維筋痛症の難病認定及び医療費の助成等を求める意見書	議　員	９月27日	９月27日	原案可決

エ　平成２３年第５回定例会

・開会　１１月２５日

・閉会　１２月１５日

番　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　果
	議席の指定について		11月25日	(11月25日)	1(1)のとおり指定
	栃木地区広域行政事務組合議会議員の選挙		11月25日	(11月25日)	鮎田　博 鮎田榮一 当選
	宇都宮西中核工業団地事務組合議会議員の選挙		11月25日	(11月25日)	針谷正夫 鮎田　博 鮎田榮一 松本喜一 当選
報　告 第20号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定について)	市　長	11月25日	(11月25日)	報告聴取
報　告 第21号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定について)	市　長	11月25日	(11月25日)	報告聴取
報　告 第22号	専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定について)	市　長	11月25日	(11月25日)	報告聴取
議　案 第128号	平成23年度栃木市一般会計補正予算（第6号）	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第129号	平成23年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第130号	平成23年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第131号	平成23年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第132号	平成23年度栃木市下水道特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第133号	平成23年度栃木市農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第134号	平成23年度栃木市水道事業会計補正予算（第2号）	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第135号	栃木市暴力団排除条例の制定について	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第136号	栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例の制定について	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第137号	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の制定について	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第138号	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	11月25日	12月15日	原案可決
議　案 第139号	栃木市斎場条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	11月25日	12月15日	原案可決

議　案 第 140 号	栃木市学童保育施設条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 141 号	栃木市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 142 号	栃木市スポーツ振興審議会に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 143 号	道の駅みかも条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 144 号	市道路線の変更について	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 145 号	栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 146 号	指定管理者の指定について（栃木市斎場）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 147 号	指定管理者の指定について（栃木地区急患センター）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 148 号	指定管理者の指定について（とちぎ山車会館）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 149 号	指定管理者の指定について（とちぎ蔵の街観光館）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 150 号	指定管理者の指定について（栃木市倭町駐車場）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 151 号	指定管理者の指定について（栃木市大平勤労青少年ホーム）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 152 号	指定管理者の指定について（栃木市大平児童館）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 153 号	指定管理者の指定について（栃木市大平高齢者デイサービスセンターまゆみ）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 154 号	指定管理者の指定について（栃木市大平地域福祉センター）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 155 号	指定管理者の指定について（栃木市大平地域活動支援センター）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 156 号	指定管理者の指定について（栃木市西方ふれあいプラザ）	市　長	11 月 25 日	12 月 15 日	原案可決
議　案 第 157 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	11 月 25 日	(11 月 25 日)	同　意 (荒川　律)
議　案 第 158 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	11 月 25 日	(11 月 25 日)	同　意 (御供正道)

議　案 第 159 号	栃木市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	市　長	11 月 25 日	11 月 25 日	原案可決
議　案 第 160 号	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	市　長	11 月 25 日	11 月 25 日	原案可決
議　案 第 161 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき意見を求めることについて	市　長	11 月 25 日	(11 月 25 日)	同　意 (天海達雄)
(平成 22 年) 陳　情 第 8 号	渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する陳情書	藤岡町自然を守る会 会 長 大塚　明	(平成 22 年) 12 月 10 日	12 月 15 日	採　択
陳　情 第 3 号	取調べの可視化(取調べの全過程の録画)の速やかな実現を推進する決議・意見書採択のお願い	栃木県弁護士会 会 長 横山 幸子	12 月 2 日	12 月 15 日	不 採 択
請　願 第 2 号	渡良瀬遊水地のラムサール条約登録反対に関する請願書	藤岡町巴波川周辺地区治水事業促進連絡会 会 長 荒井　邦 藤岡町部屋地区・区長自治会長 代 表 田中　理 部屋南部ふるさとづくり推進協議会 会 長 瀬下 一男	12 月 2 日	12 月 15 日	み な し 不 採 択
請　願 第 3 号	渡良瀬遊水地のラムサール条約登録反対に関する請願書	渡良瀬遊水地利用組合連合会 会 長 島田　稔	12 月 2 日	12 月 15 日	み な し 不 採 択
請　願 第 4 号	渡良瀬遊水地のラムサール条約登録反対に関する請願書	藤岡土地改良区 理事長 小倉 好市	12 月 2 日	12 月 15 日	み な し 不 採 択
意見書案 第 4 号	渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録に関する意見書	議　員	12 月 15 日	12 月 15 日	原案可決
意見書案 第 5 号	渡良瀬遊水地における治水事業に関する意見書	議　員	12 月 15 日	12 月 15 日	原案可決

オ　平成２４年第１回定例会

・開会　２月２４日

・閉会　３月２２日

番　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　　果
報　告 第１号	栃木市土地開発公社の平成２３事業年度第２次変更事業計画書の提出について	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第２号	栃木市土地開発公社の平成２３事業年度第３次変更事業計画書の提出について	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第３号	平成２２年度決算に係る健全化判断比率の報告について	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第４号	平成２３年度栃木市継続費精算報告書	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第５号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第６号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第７号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第８号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
報　告 第９号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	２月 24 日	(２月 24 日)	報告聴取
議　案 第１号	平成２４年度栃木市一般会計予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第２号	平成２４年度栃木市国民健康保険特別会計予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第３号	平成２４年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第４号	平成２４年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第５号	平成２４年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第６号	平成２４年度栃木市下水道特別会計予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第７号	平成２４年度栃木市農業集落排水特別会計予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第８号	平成２４年度栃木市ＪＲ大平下駅前土地区画整理特別会計予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決
議　案 第９号	平成２４年度栃木市医療福祉モール特別会計予算	市　長	２月 24 日	３月 22 日	原案可決

議　案 第 10 号	平成２４年度栃木市中根産業団地特別会計予算	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 11 号	平成２４年度栃木市水道事業会計予算	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 12 号	市長の専決処分事項の承認について（平成２３年度栃木市一般会計補正予算（第７号））	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	承　認
議　案 第 13 号	平成２３年度栃木市一般会計補正予算（第８号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 14 号	平成２３年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 15 号	平成２３年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 16 号	平成２３年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第３号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 17 号	平成２３年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第２号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 18 号	平成２３年度栃木市下水道特別会計補正予算（第３号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 19 号	平成２３年度栃木市農業集落排水特別会計補正予算（第３号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 20 号	平成２３年度栃木市地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第１号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 21 号	平成２３年度栃木市ＪＲ大平下駅前土地区画整理特別会計補正予算（第１号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 22 号	平成２３年度栃木市医療福祉モール特別会計補正予算（第１号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 23 号	平成２３年度栃木市中根企業用地特別会計補正予算（第１号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 24 号	平成２３年度栃木市水道事業会計補正予算（第３号）	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 25 号	栃木市東日本大震災復興推進基金条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 26 号	栃木市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 27 号	栃木市消費生活条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 28 号	栃木市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決

議　案 第 29 号	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 30 号	栃木市職員等公務災害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 31 号	東日本大震災に対処するための栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 32 号	栃木市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 33 号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 34 号	栃木市印紙等購買基金条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 35 号	栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 36 号	栃木市重度心身障がい児扶養手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 37 号	栃木市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 38 号	栃木市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 39 号	栃木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 40 号	栃木市風致地区条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 41 号	栃木市公園条例及び栃木市公園有料公園施設に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 42 号	栃木市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 43 号	栃木市図書館条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 44 号	栃木市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 45 号	栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決

議　案 第 46 号	栃木市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び栃木市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例を廃止する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 47 号	市道路線の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 48 号	市道路線の廃止について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 49 号	市道路線の変更について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 50 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市　長	2 月 24 日	2 月 24 日	同　意 (筑比地幸子)
議　案 第 51 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	2 月 24 日	2 月 24 日	同　意 (野澤千代子)
議　案 第 52 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	2 月 24 日	2 月 24 日	同　意 (神原　良明)
議　案 第 53 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市　長	2 月 24 日	2 月 24 日	同　意 (池田　育子)
議　案 第 54 号	後継者育成奨励金及び町内就職奨励金支給に関する条例及び大平町産業振興奨励金支給に関する条例を廃止する条例の制定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	原案可決
議　案 第 55 号	平成２３年度栃木市下水道特別会計補正予算（第４号）	市　長	3 月 22 日	3 月 22 日	原案可決
認　定 第１号	平成２３年度西方町一般会計歳入歳出決算の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	認　定
認　定 第２号	平成２３年度西方町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	認　定
認　定 第３号	平成２３年度西方町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	認　定
認　定 第４号	平成２３年度西方町介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	認　定
認　定 第５号	平成２３年度西方町介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	認　定
認　定 第６号	平成２３年度西方町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	認　定
認　定 第７号	平成２３年度西方町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	市　長	2 月 24 日	3 月 22 日	認　定

認　定 第８号	平成２３年度西方町水道事業会計決算の認定について	市　長	2月24日	3月22日	認　　定
陳　情 第１号	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	全日本年金者組合栃木県本部 執行委員長 桧山　正 栃木支部長 三浦 文子	3月2日	3月22日	不 採 択
陳　情 第２号	原発から再生可能エネルギーの推進へエネルギー政策の転換を求める陳情	原発いらない栃木の会 代表 米田 軍平 代表 島田 晴夫	3月2日	3月22日	採　　択
意見書案 第１号	原発から再生可能エネルギーの推進へエネルギー政策の転換を求める意見書	議　員	3月22日	3月22日	原案可決
議員案 第１号	栃木市議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について	議　員	3月22日	3月22日	原案可決

(3)　請願、陳情等受付状況　　１３件

(4)　その他の会議

区　分		開催日数（日）	
常任委員研究会	総　務	2	計　7
	民　生	4	
	産業教育	1	
	建　設	0	
議会運営委員研究会		2	
議会報告運営委員会		13	
政治倫理条例検討委員会		3	
議会改革検討委員会		10	
議員全員協議会		14	
議会広報紙発行特別委員会		12	
各会派代表者会議		20	
議員研究会		8	
オリン晃電社工場跡地土地購入等に係る調査特別委員会		8	
議会報告会		12	

3　広報紙発行状況

とちぎ市議会だより

・規　　格　　Ａ４版　艶消しコート紙

・体　　裁　　表紙写真カラー刷　　活字及びその他の写真黒刷

５段切　　１段３０行詰め

号　数	発行日	ページ数（P）	発行部数（部）
第　５　号	5月20日（金）	16	45,500
第　６　号	7月20日（水）	4	45,500
第　７　号	8月19日（金）	12	45,500
第　８　号	11月18日（金）	14	47,600
第　９　号	2月20日（月）	16	47,600

4　調　　査

(1)　常任委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った。

委員会名	参加委員(人)	調査期日	調査団体	調査事項
総　　務	9	2月6日(月) 7日(火)	枚方市・寝屋川市	地域づくりデザイン事業について　等
民　　生	7	2月2日(木) 3日(金)	桑名市	斎場『おりづるの森』について　等
産業教育	8	11月9日(水) 10日(木)	一宮市・小牧市	少人数指導等非常勤講師配置事業について 等
建　　設	8	2月2日(木) 3日(金)	彦根市・長岡京市	本町地区地区計画による町並み再生事業について 等

(2)　議会運営委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり調査を行った

・参加委員　６人

・調査期日　７月２８日(木)、２９日(金)

・調査都市　掛川市・島田市

・調査事項　議会運営について

(3)　その他

市政の抱える重点課題等の調査研究のため会派を中心として、次のとおり先進都市を視察した。

調査期日	調査都市	参加議員
5月17日(水) ～18日(木)	山口県下松市 福岡県福岡市	大武真一　福田裕司　天谷浩明　大島光男 千葉正弘　内海成和
6月28日(火) ～30日(木)	奈良県生駒市 京都府南丹市 京都府京都市	海老原恵子　松本喜一　福富善明　増山敬之 岡　賢治　大出孝幸　入野登志子

7月20日(水) ～22日(金)	北海道栗山町 北海道滝川市	大阿久岩人　小堀良江　萩原　繁　中島克訓 氏家　晃　永田武志　高岩義祐　広瀬義明 大出三夫　梅澤米満　長　芳孝　平池紘士 入野登志子　白石幹男　関口孫一郎
7月20日(水) ～22日(金)	北海道白老町 北海道滝川市	須田安祢　慶野昭次　松本喜一
1月30日(月)	宮城県仙台市	千葉正弘　福田裕司
2月20日(月)	島根県安来市	千葉正弘　福田裕司　大島光男　天谷浩明

5　庶務

(1)　行政視察に来局した市・町議会議員

年　月　日	市町名	人員(人)	視　察　項　目
7月13日(水)	千葉県我孫子市	11	議会基本条例について
10月13日(木)	佐賀県武雄市	6	都市景観大賞「美しいまちなみ賞」大賞受賞に至る観光まちづくりに関する取り組みについて
10月18日(火)	神奈川県藤沢市	1	１００条調査特別委員会について
10月25日(火)	三重県伊勢市	8	議会基本条例について 議会運営・議会改革の取り組みについて
10月28日(金)	福岡県みやま市	8	議会基本条例について
11月 2日(水)	栃木県地方議会女性議員連盟	19	議会改革と議会基本条例について
11月 9日(水)	山梨県中央市	20	議会改革の取り組み ～議会基本条例制定までの経緯
11月14日(月)	栃木ローカルネットワーク	3	議会改革と議会基本条例について
11月17日(木)	栃木県下野市	20	議会改革と議会基本条例について
11月21日(月)	茨城県結城市	9	議会放映について
1月17日(火)	愛知県大府市	3	ふるさと雇用再生買い物代行サービス事業について
1月19日(木)	埼玉県久喜市	38	議会報告会について
2月 8日(水)	山梨県笛吹市	21	議会改革及び議会基本条例について

(2)　文書件数調　　(単位：件)

収受	発送	合計
547	228	775

(3)　その他

・新春賀詞交歓会　１月５日(木)

第１５章　教育委員会

第１節　教育総務課

〔総括概要〕

教育文化都市として一層の飛躍を目指し、「開かれた教育委員会」、「安心安全な施設・設備づくり」に力点を置き、各種事業の推進を図った。

教育委員会委員の任命については、条例で定数を６人と定めたため、平成２３年１１月２５日付けで新委員１人が就任した。

教育委員の活動としては、教育委員会定例会を教育施設である公民館において開催するとともに、各種研修会等に積極的に参加した。

市立学校の管理運営面については、公平かつ良好な教育環境を整備するため、施設の維持管理並びに各種教材備品等の充実を推進すると同時に、子どもたちが高度情報通信ネットワークに主体的に対応できる能力を育成するため、教育用コンピュータとその利用環境の整備を推進した。加えて、効率的かつ安全な校務環境の実現と授業の質の更なる充実を図るため、教員１人１台のコンピュータ配置を前進させた。また、学校勤務の市職員の資質向上を図るため、図書館事務担当者と技能員それぞれに研修会を実施した。

高校・大学進学への支援として、奨学金の貸付けや入学資金融資のあっせん等を行うとともに、学校施設の有効利用を図るための施設の開放、「栃木市の教育きずな」の発行等を行い、市民の利便にも意を注いだ。

学校再編については、寺尾地区において、寺尾中央小学校と寺尾南小学校の統合を進めている。これまで「寺尾の教育を考える会」を中心として協議を重ねて来た結果、寺尾中央小と寺尾南小は現在の寺尾中央小の位置に統合することとして合意に至った。また、地区住民を対象とした統合校の名称募集の結果を尊重し、平成２６年４月１日に統合校を設置することとして条例改正の手続に入るとともに、統合新校舎の設計に着手した。

栃木地域における学校の施設整備については、大地震などによる学校施設の倒壊被害を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする施設利用者の安全と災害発生時の避難場所を確保するため、栃木西中学校屋内運動場の改築及び４棟の耐震補強工事を実施した。また、大地震により倒壊の危険性の高い学校施設の早急な耐震化を図るため、耐震補強設計業務の委託を実施した。

また、安全で快適かつ良好な教育環境の整備のために、栃木西中のエアコン改修工事や栃木第三小・南小のプール改修工事を実施した。その他、トイレや照明器具など学校施設の改修･修繕および施設の保守点検などを各校において実施した。

統合新校舎として建築が進められていた栃木中央小学校については、平成２４年２月１４日に校舎と体育館が竣工、３月５日より供用を開始した。また、付帯施設として共同調理場､屋外水泳プール及び外構の建設に着手し､工事が進行中である。

平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災では、中学校４校の施設・設備に

補修を要する被害が発生し、損傷個所については、学校の機能維持と児童生徒の安全確保の観点から、一部国庫補助を活用しながら復旧工事を実施した。

また、福島第一原子力発電所の事故に対しては、国県および報道等からの情報収集と併せて、６月からは学校における空間線量率の測定を開始し、汚染状況の把握に努めるとともに、その低減措置について整理し、児童生徒並びに保護者の安全・安心の確保を図った。

教育総務担当

1　規則等の制定、改廃件数　　３６件

2　教育委員会の開催状況

開催年月日	定例会臨時会の別	付議件数（件）			開催場所
		議案	協議	報告等	
4月22日(金)	定　例　会	6	2	－	吹上公民館大交流室
5月13日(金)	定　例　会	5	1	－	吹上公民館大交流室
6月20日(月)	定　例　会	2	2	3	吹上公民館大交流室
7月 6日(水)	臨　時　会	―	1	－	本庁舎正庁ＡＢ
7月15日(金)	定　例　会	―	3	－	吹上公民館大交流室
7月26日(火)	臨　時　会	―	1	－	大平公民館視聴覚室
8月19日(金)	定　例　会	―	4	－	都賀中学校会議室
9月30日(金)	定　例　会	24	－	－	吹上公民館大交流室
10月21日(金)	定　例　会	5	2	－	国府公民館大交流室
11月24日(木)	定　例　会	3	3	－	大平図書館会議室
12月22日(木)	定　例　会	3	4	－	都賀中学校会議室
1月27日(金)	定　例　会	3	2	2	吹上公民館大交流室
2月13日(月)	定　例　会	2	1	2	吹上公民館大交流室
2月28日(火)	臨　時　会	1	－	－	本庁舎別館第２会議室
3月21日(水)	定　例　会	5	1	2	国府公民館中会議室

3　教育委員の構成

職名	氏名	性別	就任年月日 任期満了	備考
委員長	後　藤　正　人	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	平成 22 年 5 月 19 日 委員長に就任
委員長職務代理者	筑比地　幸　子	女	平成22年5月19日 平成24年5月18日	平成 22 年 5 月 19 日 職務代理者に就任
委員	福　島　鉄　典	男	平成22年5月19日 平成25年5月18日	
〃	若　林　由美子	女	平成22年5月19日 平成27年5月18日	

〃	荒　川　　律	男	平成23年11月25日 平成27年11月24日	
〃 （教育長）	赤　堀　明　弘	男	平成22年5月19日 平成26年5月18日	

4　市立小・中学校図書館事務担当者及び技能員研修の実施状況

(1)　学校図書館事務担当者研修

期日	研修内容	参加者
4月19日（火）	総会並びに研修会	120人 （延べ人数）
6月 9日（木）	栃木図書館展示企画講習会および館内見学	
7月26日（火）	掲示物作成	
10月 6日（木）	掲示物作成	
1月26日（木）	読み聞かせ講習会　講師　高久文江	

(2)　学校技能員研修

期日	研修内容	参加者
6月24日（金）	刃物の研ぎ方・巡回パトロール・共同作業	21人

5　小・中学校への教育用コンピュータの整備と活用の推進

情報教育の推進を図るため、平成２３年度はリース方式により、計画的に教育用コンピュータを導入した。

平成２３年度リプレース校

栃木第三小学校	50台
南小学校	46台
大宮北小学校	65台
吹上小学校	48台

また、文部科学省の方針である教員１人１台のパソコン配備目標を達成するため、小学校教職員用パーソナルコンピュータを８９台配備した。

6　教育行政に関する要覧の作成

市民に向け本市教育活動の良さを理解していただくため、市民向けに冊子を作成、配布した。

また、１０月の西方町合併を踏まえ、新市の教育行政の概要を分かりやすく理解していただくため、概要版のリーフレットを作成・配布した。

	「栃木市の教育　きずな」	「栃木市の教育　きずな(概要版)」
発行	7月	10月
形式	Ａ4判	Ａ4判
発行部数	400部	3,000部

7　栃木市奨学金の貸付

経済的理由により修学困難な高等学校、専修学校高等課程・専門課程、短期大学、大学に入学希望者、在学者に対し、栃木市より奨学金の貸付を行う。

(1)　奨学金月額

区　　分		月額(円)
高等学校・専修学校高等課程		12,000
専修学校専門課程 短期大学 大　学	自宅通学	25,000
	自宅外通学	30,000

(2)　奨学金の貸付状況　　(単位：人)

	1学年	2学年	3学年	4学年	合計
高等学校	3	3	6		12
短期大学	－	3			3
大学	1	5	9	7	22
専門学校	－	3			3

(3)　平成２３年度末栃木市奨学基金の状況

基金額	104,548,643円
貸付金額	71,223,375円
現金額	33,325,268円

8　栃木市入学資金融資あっせん状況

入学資金融資預託金融機関の足利銀行栃木支店に、貸付業務が円滑に行えるよう年度当初預託金を預け、私立高等学校、私立短期大学または私立大学に入学するに当たり、入学資金、施設整備費及び授業料（前期分）を入学時に学校へ納入する資金の調達を必要とする学生の保護者に対し、入学資金融資あっせんを行う。

区分	申込件数(件)	融資決定数(件)	融資決定額（万円）
高　校	1	－	－
大　学	4	4	312

融資限度額　・私立高等学校　２０万円　・私立短期大学・私立大学　１００万円

9　叙位・叙勲の申請・伝達等

教育職員に関する叙位叙勲の申請、伝達等を行う。

・叙位　５件　・叙勲　６件

10　学校施設の整備状況

小中学校各校耐震補強工事費　　４棟　　127,755,600円

小中学校各校施設整備工事費　　１６件　　90,450,255円

小中学校各校維持補修費　　１９１件　　14,452,053円

小中学校設備保守点検等委託料　　５２件　　34,806,370円

(1)　主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工　事　概　要	工事費(円)
栃木中央小学校新築工事	校舎・屋内運動場	栃木中央小	・本体工事 普通教室棟および管理棟　延べ 5,836 ㎡ 特別教室棟　延べ 2,210 ㎡ 屋内運動場　延べ 1,361 ㎡	1,464,750,000 (平成 22･23 年度継続事業)
			・電気設備工事 受変電、電灯、コンセント、情報通信網その他	223,650,000 (平成 22･23 年度継続事業)
			・機械設備工事 冷暖房、換気、給排水、消火設備その他	357,000,000 (平成 22･23 年度継続事業)
	共同調理場		・本体工事 共同調理場　延べ 405 ㎡	82,635,000 (翌年度へ繰越)
			・電気設備工事 幹線･動力、電灯･コンセント、照明器具その他	20,737,500 (翌年度へ繰越)
			・機械設備工事 冷暖房、換気、自動制御、衛生器具その他	112,455,000 (翌年度へ繰越)
	水泳プール		・本体工事 高学年用プール 25m×13m　6 コース　その他	81,795,000 (翌年度へ繰越)
			・電気設備工事 幹線、電灯･コンセント、照明器具	4,494,000 (翌年度へ繰越)
			・機械設備工事 換気、衛生機器、給水、排水その他	18,847,500 (翌年度へ繰越)
	外構		・外構１期工事 舗床・囲障・排水・遊具など	22,911,000 (翌年度へ繰越)
改築工事	屋内運動場	栃木西中	・解体工事 屋内運動場　延 1,028 ㎡、物置 39 ㎡、 格納庫 19 ㎡、渡り廊下 13 ㎡、 ネットフェンス設置その他	18,721,500
			・本体工事 屋内運動場　延べ 1,130 ㎡ 渡り廊下　延べ 12 ㎡	223,650,000
			・電気設備工事	16,800,000
			・機械設備工事	5,733,000
耐震補強工事	校舎	栃木第三小	管理･普通教室･特別教室棟　１棟　延べ 1,979 ㎡ 屋上防水その他改修	64,050,000
	屋内運動場	大宮北小	屋内運動場　１棟　延べ 636 ㎡ ステージ下台車収納その他改修	14,910,000
		国府南小	屋内運動場　１棟　延べ 549 ㎡ ステージ下台車収納その他改修	18,083,100
		吹上中	屋内運動場　１棟　延べ 785 ㎡ ステージ下台車収納その他改修	30,712,500
施設整備工事	栃木西中		パソコン室エアコン改修工事	2,709,000
	栃木第三小 南小		・プール改修工事 本体工事、電気設備工事、機械設備工事その他	76,123,005

(2)　主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	施設対象	学校名	業務概要	委託費(円)
耐震補強設計業務委託	校舎	皆川城東小	耐震補強および改修設計業務委託 管理教室・特別教室棟　延べ 3,050 ㎡	4,095,000
		吹上小	耐震補強および改修設計業務委託 普通・特別教室・管理棟　延べ 2,455 ㎡	3,255,000
	屋内運動場	大宮南小	耐震補強および改修設計業務委託 屋内運動場　延べ 529 ㎡	2,677,500
		皆川城東小	耐震補強および改修設計業務委託 屋内運動場　延べ 529 ㎡	2,835,000
		千塚小	耐震補強および改修設計業務委託 屋内運動場　延べ 555 ㎡	2,835,000
		国府北小	耐震補強および改修設計業務委託 屋内運動場　延 450 ㎡	2,341,500
増築設計業務委託	校舎	大宮北小	増築設計　校舎　　延べ約 1,700 ㎡ 解体設計　既設校舎など　計 624 ㎡ 改修設計　既存校舎　延べ 4,897 ㎡のうち約 800 ㎡	24,368,000
設計業務委託	校舎	(仮称)寺尾統合小	改築工事設計　校舎　延べ約 3,400 ㎡ 解体設計　既存校舎　計 2,561 ㎡ 仮設校舎賃貸借設計　校舎　延べ約 600 ㎡	38,850,000 (翌年度へ繰越)

(3)　主な学校設備保守点検業務委託　　(単位：校)

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	14	7
校舎警備業務委託	14	7
自動火災報知機保守点検委託	14	7
屋内消火栓保守点検委託	14	7
避難器具保守点検委託	7	5
非常通報装置保守委託	14	7
防煙防火シャッター保守点検委託	14	7
給食用ダムウェーター保守管理委託	12	2
浄化槽保守管理委託	11	4
浄化槽清掃委託	11	4
浄化槽水質検査委託	11	4
水泳プール循環浄化装置保守委託	6	5
水道貯水槽清掃業務委託	14	7
簡易専用水道管理検査委託	9	6
冷房設備点検委託	1	－

11　小中学校屋内運動場利用状況

栃木市立小学校及び中学校の屋内運動場を学校教育に支障のない範囲内で開放し、青少年の健全育成並びに地域住民の文化の向上及びスポーツ振興を図る。

平成２３年度において、小学校１４校では延べ111,437人が、中学校７校では46,791人が屋内運動場を利用した。

12　寺尾中学校セミナーハウス利用状況

寺尾中学校内に設置されたセミナーハウスを開放し、人間性豊かな児童生徒等の育成を図る。

No	利用者名	利用期間	利用人数(人)	利用目的
1	大平中央学童野球クラブ	5月7日(土) ～8日(日)	54	合宿
2	寺尾中学校	5月23日(月) ～24日(火)	39	宿泊学習のため
3	沼和田学童野球部	5月28日(土) ～29日(日)	30	合宿練習のため
4	寺尾中バドミントン部	6月24日(金) ～25日(土)	28	合宿のため
5	寺尾中バドミントン部	7月8日(金) ～9日(土)	37	合宿のため
6	蔵の街剣志会	7月30日(土) ～31日(日)	40	合宿のため
7	栃木市生涯学習課	7月24日(日) ～25日(月)	33	サイエンススクール7月編のため
8	栃木市生涯学習課	8月20日(土) ～21日(日)	36	サイエンススクール8月編のため
9	光柔館	8月27日(土) ～28日(日)	35	合宿
10	寺尾中バスケットボール部	8月22日(月) ～23日(火)	30	寺尾中・吹上中合同合宿
11	寺尾中学校	9月23日(金) ～25日(日)	12	「箏」の練習、及び交流会
12	栃木西中バレーボール部	10月29日(土) ～30日(日)	52	バレーボール合同合宿
13	栃木市フットベースボール協会	11月12日(土) ～13日(日)	32	フットベースボールチームの交流
14	寺尾中・東陽中バドミントン部	11月11日(金) ～12日(土)	42	合同合宿
15	栃西中バレーボール部	11月22日(火) ～23日(水)	20	栃西中バレーボール部合宿
16	寺尾フットベースボール	12月3日(土) ～4日(日)	43	フットベースボールの合宿
17	小山ボーイズ	1月7日(土) ～9日(月)	70	野球の練習及び勉強会
18	栃木西中バレーボール部	12月27日(火) ～29日(木)	36	バレーボール部合同合宿
19	栃木市フットベースボール協会	1月28日(土) ～29日(日)	69	リーダー研修会
20	東陽中学校	2月4日(土) ～5日(日)	58	合宿
21	国府北フットベースボール	2月25日(土) ～26日(日)	31	合宿
	合　　計		827	

第２節　学校教育課

〔総括概要〕

本年度は、新市「まちづくりの基本方針・３」に基づき、学校教育担当及び保健給食担当において、学校･家庭・地域が互いに固く絆を結び、人生の礎となる「生きる力」を身につけた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施した。

学校教育においては、未来を担う栃木市の子どもとして「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を身に付けた子どもを育成するため、次の６点に重点を置いて事業を展開した。

１．授業力の向上

教育研究所と連携し、教職員研修を充実させ、教育講演会や教育研究発表会を実施する等、教職員の指導力の向上を図った。

また、希望研修、各校の学校課題の研究等について支援や指導を行った。

２．教育環境の整備

教職員人事管理事務、就学援助事務及び教科書無償給与事務等を行うと同時に､新学習指導要領対応の理科教育備品整備を行い､教育環境の充実を図った。

３．児童・生徒指導の充実

小･中･高等学校間や人権擁護委員､スクールガードリーダー等の関係機関、さらには学校・家庭・地域との連携を図るため、研究会や連絡協議会をそれぞれ開催し、児童生徒指導に必要な情報交換等を行った。また、不登校児童生徒を対象にした「適応指導教室」や外国人児童生徒を対象にした「外国人適応指導教室」を運営し、児童生徒の適応指導と教育相談等を行った。

４．学習指導の充実

大平東小学校、大平西小学校、大平中学校を学力向上研究校に指定し、小中学校が連携を深めつつ、授業の改善･充実のための研究を推進した（１年目）。また、放課後教室のモデル校を指定し、家庭・学校・ボランティアとの協働での放課後教室のあり方の研究を行った。さらに、各学校の特別に支援の必要な児童生徒への対応や学習や生活指導の支援を行う学校支援員６５人を派遣した。

５．キャリア（進路）指導の充実

小学校では校外学習等、中学校では職場体験学習等を通して、勤労の大切さや尊さを学ばせたりする教育を展開し、児童生徒一人一人の将来の生き方を考える力の育成を図った。

６．コミュニケーション力を育てる国際教育

小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手１７人を各学校に派遣し、外国語を通したコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。特に、東陽中学校区の５つの小中学校において、文部科学省指定の「教育研究開発事業（英語教育関係）」を実施し、児童・生徒が主体的にコミュニケーションを図ろうとするなど望ましい変容が見られるようになった。

そのほか、人権教育については、教職員等を対象に学校人権教育研修会を実施するとともに、栃木第五小学校と栃木西中学校を人権教育研究学校に指定し、学校における人権教育の推進を図った（３年目）。また、教育研究所においては、所長の宇都宮大学松本敏教授を中心に教育課題等の調査研究や教職員の資質向上のための研修機能を充実させ、「同僚性」を根幹に据えた本市教育のシンクタンク的な機能を発揮できるよう、組織の再編を進めた。

学校保健については、心身共に健康な児童・生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定会を開催し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

むし歯予防事業では、歯科検診および「むし歯ゼロ学校巡回指導」を実施し、児童生徒に対して歯・口腔衛生の正しい知識と疾病予防の指導を行った。

そのほか、結核健康診断、就学時健診、教職員の生活習慣病検診等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水、プールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、児童生徒が正しい食習慣を身に付け、自己の健康保持増進を図ることを目指した。

食事内容については、献立の多様化や地産地消の拡大を図るなどして、安全で安心な、子どもたちに喜ばれる学校給食の提供に努めた。

また、食中毒を未然に防止するため、調理従事者を対象に衛生教育研修を実施するとともに、施設設備の改善充実に努めるなどして、衛生管理の徹底を図った。

さらに、栄養教諭等による食に関する指導についても、研究を推進した。

学校教育担当

1　学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

（単位：人）

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
23	54	91	36	28
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
17	3	1	7	13

(2)　教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会

・人事異動に伴う事務

・学級編制に関する事務
・学校事故に関する事務
・受験届に関する事務
・校長選考試験に関する事務
・教頭、主幹教諭選考試験に関する事務
・教職員評価制度に関する事務
・表彰に関する事務
・公務災害に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、４月１日であり、その約１か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者で記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されていないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員の団体（栃教協）との研修事業、各種研修等に係る補助金、委託料に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況　（単位：人）

区　分	小学校		中学校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
22年5月1日	7,665	294	3,714	142
23年5月1日	7,519	292	3,710	140
比較	△146	△2	△4	△2

(6) 要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

実施状況

小学校	200人	10,597,832円
中学校	145人	12,367,604円
計	345人	22,965,436円

(7) 特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

実施状況

小学校	41人	1,288,918円
中学校	17人	962,805円
計	58人	2,251,723円

(8) 遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況

小学校　４㎞以上　　中学校　６㎞以上

皆川城東小	6人	149,000円
寺尾中央小	7人	64,800円
計	13人	213,800円

(9)　学校教育設備整備費等（理科教育等設備整備費）補助事業

学校教育設備整備費等補助金により、小学校11校、中学校7校の整備を行った。

本年度小学校整備額	1,717,641円
本年度中学校整備額	1,316,791円
計	3,034,432円

(10) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて、学校教育活動を行う臨海自然教室を実施した。

実施学校名	参加数(人)	実施期間	経費(円)
栃木中央小	86	1月16日（月）～1月18日（水）	270,729
栃木第三小	82	1月18日（水）～1月20日（金）	180,486
栃木第四小	24	1月30日（月）～2月1日（水）	90,244
栃木第五小	89	1月18日（水）～1月20（金）	270,729
南　　小	73	1月23日（月）～1月25日（水）	180,486
大宮南小	21	1月23日（月）～1月25日（水）	90,244
大宮北小	133	1月30日（月）～2月1日（水）	360,972
皆川城東小	36	1月23日（月）～1月25日（水）	90,244
吹　上　小	53	1月16日（月）～1月18日（水）	180,486
千　塚　小	29	1月18日（水）～1月20日（金）	90,244
国府北小	34	1月23日（月）～1月25日（水）	90,244
大平東小	55	1月16日(月)～1月18日(水)	180,486
大平西小	60	1月16日(月)～1月18日(水)	180,486
大平中央小	123	1月23日（月）～1月25日（水）	360,972
藤　岡　小	49	1月30日（月）～2月1日（水）	180,486
部　屋　小	27	1月30日(月)～2月1日(水)	90,244
赤　麻　小	24	1月30日(月)～2月1日(水)	90,244
三　鴨　小	37	1月18日（水）～1月20日（金）	90,244
家　中　小	48	1月16日（月）～1月18日（水）	180,486
赤　津　小	35	1月18日（水）～1月20日（金）	90,244
計	1,118	－	3,339,000

2　指導に関する事業

(1)　学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

・共同訪問　栃木中央小、吹上小、家中小、吹上中、藤岡第一中

・研究学校　栃木中央小（環境教育推進学校）、栃木五小・栃木西中（市指定人権教育研究学校）、大宮南小・大宮北小・国府南小・国府北小・東陽中（文科省指定教育研究開発校）、皆川城東小・皆川中（市指定小中一貫教育研究学校）吹上小・千塚小・吹上中、大平南小・大平中央小、大平南中、部屋小・藤岡第二中（市指定姉妹校化推進学校）、千塚小・大平南小・三鴨小・赤津小（市指定放課後教室研究学校）、寺尾中央小・寺尾南小・寺尾中（市指定感性を育む教育研究校）、国府北小（市指定セカンドステップ研究校）

・学校訪問実施状況

No	学校名	各教科等	訪問日	備考
1	栃木中央小	社会	6月14日（火）	3年目研修
2	栃木中央小	国社算理生特別	6月24日（金）	研究校訪問
3	栃木中央小	特別支援(新任）国	6月28日（火）	特別支援訪問
4	栃木中央小	国社算理	11月14日（月）	研究校訪問
5	栃木三小	国語	6月30日（木）	
6	栃木三小	国語	10月13日（木）	
7	栃木四小	国語・社会	6月29日（水）	
8	栃木四小	国語	11月2日（水）	
9	栃木五小	道徳等(人権)	6月28日（火）	研究校訪問
10	栃木五小	社会	7月1日（金）	３年目研修
11	栃木五小	各教科・領域	11月11日（金）	研究発表会
12	南小	国語　2授業	6月24日（金）	３年目研修
13	南小	国語　2授業	11月14日（月）	
14	大宮南小	外国語活動	6月22日（水）	研究校訪問
15	大宮南小	外国語活動	1月31日（火）	研究校訪問
16	大宮北小	外国語活動	6月29日（水）	研究校訪問
17	大宮北小	外国語活動	9月26日（月）	研究校訪問
18	皆川城東小	国語	11月2日（水）	3年目研修
19	吹上小	算数	10月26日（水）	
20	吹上小	算数	11月28日（月）	
21	千塚小	国語	11月22日（火）	
22	寺尾中央小	国語	6月28日（火）	

23	寺尾中央小	国語	10 月 28 日 （金）	
24	寺尾南小	国語	6 月 22 日 （水）	
25	寺尾南小	国語	10 月 5 日 （水）	
26	国府南小	外国語活動	6 月 10 日 （金）	研究校訪問
27	国府南小	外国語活動	10 月 14 日 （金）	研究校訪問
28	国府北小	外国語活動	6 月 1 日 （水）	研究校訪問
29	国府北小	外国語活動	10 月 26 日 （水）	研究校訪問
30	大平東小	外国語活動	6 月 21 日 （火）	研究校訪問
31	大平東小	特別支援	11 月 14 日 （月）	特別支援訪問
32	大平南小	算数	6 月 22 日 （水）	
33	大平南小	算数	10 月 19 日 （水）	
34	大平西小	国語	6 月 29 日 （水）	3 年目研修
35	大平西小	国語	10 月 5 日 （水）	研究校訪問
36	大平西小	算数	11 月 24 日 （木）	研究校訪問
37	大平中央小	特別支援(新任) 国	6 月 30 日 （木）	特別支援訪問
38	大平中央小	算数	10 月 26 日 （水）	
39	大平中央小	国語	10 月 26 日 （水）	3 年目研修
40	藤岡小	特別支援 算	6 月 21 日 （火）	特別支援訪問
41	藤岡小	国語	6 月 15 日 （水）	
42	部屋小	総合的な学習	12 月 7 日 （水）	
43	赤麻小	特別支援(新任) 算	6 月 22 日 （水）	特別支援訪問
44	赤麻小	国語	10 月 19 日 （水）	
45	赤麻小	国語・算数	11 月 8 日 （火）	
46	三鴨小	算数	10 月 12 日 （水）	
47	合戦場小	国語	6 月 29 日 （水）	
48	合戦場小	国語	10 月 12 日 （水）	
49	合戦場小	特別支援	1 月 31 日 （火）	特別支援訪問
50	家中小	国語	6 月 21 日 （火）	
51	赤津小	算数	6 月 8 日 （水）	
52	赤津小	算数	11 月 4 日 （金）	
53	赤津小	算数	11 月 22 日 （火）	3 年目研修
54	西方小	国語	11 月 9 日 （水）	
55	真名子小	国語(4 年)	10 月 12 日 （水）	
56	真名子小	国語(2 年)	11 月 16 日 （水）	
57	真名子小	国語(1 年)	1 月 25 日 （水）	

58	真名子小	国語(5年)	2月8日（水）	
59	栃木東中	特別支援(新任) 算	6月23日（水）	特別支援訪問
60	栃木東中	理科	11月2日（水）	
61	栃木東中	社会	11月17日（木）	
62	栃木東中	数学	12月13日（火）	
63	栃木西中	学活・道徳	6月30日（木）	研究校訪問
64	栃木西中	英語・保健体育	9月16日（金）	3年目研修
65	栃木西中	研修会（人権）	9月21日（水）	研究校訪問
66	栃木西中	各教科・領域	11月18日（金）	公開発表会
67	栃木南中	数学	6月17日（金）	
68	栃木南中	特別支援(新任) 社	7月11日（月）	特別支援訪問
69	栃木南中	道徳	10月13日（木）	
70	東陽中	技家・保健体育	9月22日（木）	3年目研修
71	東陽中	英語	10月12日（水）	研究校訪問
72	東陽中学区	公開発表会	11月21日（月）	研究発表会
73	東陽中	道徳	1月18日（水）	
74	皆川中	小中合同研修会	5月25日（水）	研究校訪問
75	皆川中	特別支援（新任）	6月7日（火）	特別支援訪問
76	皆川中	理科(皆城小)	6月29日（水）	研究校訪問
77	皆川中	社会(皆城小)	10月5日（水）	研究校訪問
78	皆川中	国語(皆城小)	11月2日（水）	研究校訪問
79	皆川中	道徳	11月28日(月)	研究校訪問
80	皆川中	小中合同研修会	2月1日（水）	研究校訪問
81	吹上中	保体	9月9日（金）	
82	吹上中	家庭	11月22日(火)	
83	吹上中	英語	11月22日(火)	
84	吹上中	理科	11月22日(火)	3年目研修
85	寺尾中	保体・道徳	6月7日（火）	
86	大平中	道徳	9月27日（火）	研究校訪問
87	大平中	社会	9月27日（火）	研究校訪問
88	大平中	特別支援　生活	10月24日(月)	特別支援訪問
89	大平南中	保体	10月4日（火）	
90	大平南中	国語	11月28日(月)	3年目研修
91	大平南中	道徳	11月18日(金)	
92	藤岡一中	保体	9月20日（火）	3年目研修

93	藤岡二中	国語	6 月 20 日（月）	
94	藤岡二中	数学	11 月 21 日(月)	
95	都賀中	数学	6 月 13 日（月）	
96	都賀中	音楽	6 月 15 日（水）	
97	都賀中	理科	10 月 12 日（水）	
98	都賀中	特別支援	10 月 19 日（水）	特別支援訪問
99	都賀中	道徳・学活	11 月 17 日（木）	
100	西方中	数学	11 月 30 日（水）	
101	栃木中央小	各教科・領域	10 月 17 日（月）	共同訪問
101	吹上小	各教科・領域	5 月 30 日（月）	共同訪問
102	家中小	各教科・領域	11 月 30 日（水）	共同訪問
103	吹上中	各教科・領域	6 月 29 日（水）	共同訪問
104	藤岡一中	各教科・領域	11 月 16 日（水）	共同訪問

・その他学校課題等に関しての訪問

学校課題　【別表１】　平成２３年度　学校課題・研究主題一覧表参照

(2)　教育研究発表会

教職員を対象に、日頃の教育実践研究の成果を発表し、資質の向上を図り、指導法の改善に努めた。

・実　施　日　１月２４日（火）

・口頭発表者　７件

（小学校４件、中学校区１件、高等学校１件、栃木特別支援学校１件）

・紙上発表者　７件

（小学校３件、中学校１件、高等学校１件、適応指導教室１件，栃木市教育研究所１件）

・参　加　者　市内小･中･高等学校の教員　１０６人

(3)　人権教育研修

ア　第１回栃木市人権教育研修会

・開 催日　８月１０日（水）

・講　話　「人権教育に望むこと」

・講　師　部落解放同盟栃木県連合会事務局長　戸田　眞氏

・参 加者　各小・中学校の人権教育主任

イ　第２回栃木市人権教育研修会

・開 催日　８月１２日（金）

・講　話　「各教科等における直接的指導のタイプの授業の実際について」

・班別研修　「授業づくりを通した研修」

・参 加者　各小・中学校１人

(4)　外国語指導助手学校派遣

外国語指導助手１６人（西方合併後は１７人)を各学校へ派遣した。小中の学校種ご

とに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日のほぼ毎日訪問した。

延べ訪問日数

中学校	1,182日
小学校	1,980日
西方地区(合併後)	109日
小中学校合計	3,271日

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法を習得するため、研修会等を開催した。

ア 特別支援教育研修会

・実施回数 ２回

・対　　象 特別支援教育コーディネーター ３７人

特別支援学級担任等希望者 ４４人

イ 学校生活支援員研修会

・実施回数 ３回

・対　　象 全支援員

ウ ゆっくり学習会

・実施回数 ４回

・対　　象 幼稚園・保育園 ２６人

小学校・中学校 ２８人

エ 特別支援教育新任担当教員研修

オ 特別支援学級教室訪問支援

カ 臨床心理士等による巡回訪問支援等

(6) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務 (単位：冊)

区　分		冊　数
小学校	前期用	49,061
	前期転学用	104
	後期用	19,877
	後期転学用	149
中学校	前期用	35,994
	前期転学用	48
	後期用	―
	後期転学用	65
合　計		105,298

(7)　教師用教科書及び指導書購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書の購入事務

区　分		冊数（冊）	費用（円）
小学校	教師用教科書　前後期用	795冊	272,758
	教師用指導書　前後期用	646冊	5,605,635
中学校	教師用教科書　前後期用	800冊	384,233
	教師用指導書　前後期用	808冊	14,934,570
	合　計	3,049冊	21,197,196

(8)　立志式

１４歳を迎える生徒たちは精神的にも肉体的にも、子どもから大人へ移り変わる時期である。この青春期にさしかかろうとする少年少女に対し、皆でその成長を祝い、併せて生徒一人一人に自立への自覚を促し、理想に向かって確かな歩みをさせる契機とするものとして、「立志式」を開催した。

学 校 名	実施日	該当者数(人)
栃 木 東 中	1月22日（日）	106
栃 木 西 中	2月3日（金）	145
栃 木 南 中	1月26日（木）	121
東　陽　中	1月26日（木）	162
皆　川　中	1月25日（水）	42
吹　上　中	2月5日（日）	94
寺　尾　中	2月9日（木）	19
大　平　中	1月29日（日）	113
大 平 南 中	1月20日（金）	167
藤岡第一中	2月3日（金）	96
藤岡第二中	1月25日（水）	24
都　賀　中	2月12日（日）	101
西　方　中	2月8日（水）	59
計		1,249

(9) 幼･保･小連絡協議会

ア　代表者会議

イ　全体研修会（講話）

・参加者　幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校　　計８４人

ウ　幼保小教職員相互職場体験研修

区　　分	参加者（人）	期間（日）
幼稚園・保育園から小学校へ	15	21
小学校から幼稚園・保育園へ	17	22

エ　その他　地域ごと

・授業参観と授業研究会及び保育参観と意見交換

・教職員・子ども同士の交流　など

(10) 地域ぐるみ児童生徒指導

ア　１２中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校地区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

・実施期間　６月～２月

イ　栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換やスクールガードリーダー・人権擁護委員並びに保護司との合同研究会を開催

・実施期間　４月～３月

ウ　各部会

中学校部会	毎月１回
小・中部会	5月26日（木）、7月5日（火）
小・中・高部会	12月5日（月）

(11) 適応指導教室運営に関する事務

学校教育指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

・適応指導教室通級人数　２２人（学校復帰人数１８人）

来所相談	541件
電話相談	729件
学校訪問	246件
家庭訪問	276件
合　　計	1792件

保健給食担当

1　学校保健管理

(1)　結核健康診断（学校保健法施行規則に基づき４月～６月実施）

ア　小中学校　（単位：人）

区分	検診対象者	検診者数	検討対象者数	精密検査不要者	要精検
小学校	7,519	7,516	11	11	0
中学校	3,886	3,870	0	0	0
合計	11,405	11,386	11	11	0

※中学校には国学院中学も含む。

イ　教職員(全教職員　胸部レントゲン間接撮影)　　(単位：人)

区分	教職員数	受診者	未受診者	未受診者理由	結核有所見者
小学校	614	602	12	妊娠中・妊娠疑い　12	—
中学校	351	343	8	傷病休暇（育休・休職含む）8	
計	965	945	20	20	—

(2)　小中学校腎臓検診（４月～６月）

一次・二次検査結果及び三次検査対象者　　(単位：人)

区分	検査対象者	検査実施者	一次検査	二次検査	三次検査		
			有所見者	要精検者	新規対象者	継続管理者	計
小　学　校	7,523	7,514	264	131	131	75	206
中　学　校	3,711	3,691	230	99	99	69	168
合　　計	11,234	11,205	494	230	230	144	374

※三次検査　要精検率　3.3%

(3)　学校心臓検診（検診５月～６月、４年生のみ９月）　　(単位：人)

区分	在籍者数	一次検診		二次検診		二次検診省略者数	精密検査
		受診者数	一次有所見者	二次受診者数	要精検者数		精検受診者数
小学校一年生	1,141	1,141	76（6.7%）	36	35（3.1%）	40	32（2.8%）
中学校一年生	1,266	1,265	123（9.7%）	89	42（3.3%）	34	38（3.0%）
合　　計	2,407	2,406	199（8.3%）	125	77（3.2%）	74	70（2.9%）
小学校四年生	1,277	1,274	37（2.9%）				37（2.9%）

※（　）は有所見率

(4)　むし歯ゼロ学校事業「学校巡回指導」

・実 施 日　６月２日（木）～７月１４日（木）までの１１日間

・実 施 校　市内小学２０校

・参 加 者　児童９０８人

保護者多数（自由参加）

・実施内容　児童指導　歯科衛生士による講話、染めだし、歯みがき指導

保護者指導　児童指導の参観、学校歯科医・歯科衛生士による講話

(5)　定期健康診断（生活習慣病検診）

・実施時期　８月～１０月

・対　　象　学校教職員（県職）

	受診者数　（人）	要精検者数(人)	要精検率（%）
小　学　校	213（61）	46（5）	21.6（8.2）
中　学　校	125（40）	30（4）	24.0（10.0）
合　　計	338（101）	76（9）	22.5（8.9）

※（　）内は胃部Ｘ線検査受診者再掲

※血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象

(6)　就学時健康診断

・実施時期　９月～１０月

・対　　象　平成１７年４月２日～平成１８年４月１日生の児童

・被検査者数　1,204人（男子630人、女子574人）

・検査状況　（単位：人）

項目＼性別		男　子	女　子	合　計
栄養状態	栄養不良	－	－	－
	肥満傾向	－	－	－
脊椎異常のある者		1	－	1
胸郭異常のある者		1	－	1
視力0.7未満		64	74	138
眼疾患	結膜炎	7	9	16
	その他	13	7	20
耳鼻咽頭疾患	中耳炎	3	1	4
	扁桃腺肥大	2	3	5
	その他	15	9	24
皮膚疾患	伝染性	－	－	－
	その他	11	6	17
歯	むし歯なし	296	264	560
	〃　処置者	122	123	245
	〃　未処置者	220	190	410
その他歯疾病		7	9	16
口腔疾病及び異常		15	15	30
その他疾病及び異常	ぜんそく	90	41	131
	アレルギー	39	24	63
	心臓疾患	5	7	12
	腎臓疾患	2	－	2
	川崎病既往	9	4	13
	てんかん	3	4	7
	その他	53	32	85

(7)　出席停止

伝染病及び感染症による欠席児童生徒　（単位：人）

学校＼月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	119	230	163	90	28	60	48	6	440	1,749	676	3,609
中学校	6	11	4	6	1	5	5	0	70	336	238	682
合　計	125	241	167	96	29	65	53	6	510	2,085	914	4,291

※８月は夏休みのため実績なし

(8)　日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童・生徒数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
栃木中央小	542	53	29	207,386
栃木第三小	457	23	20	141,126
栃木第四小	193	25	16	213,054
栃木第五小	599	42	25	242,460
南　　小	341	19	13	93,680
大宮南小	66	5	2	15,564
大宮北小	839	37	18	168,402
皆川城東小	194	9	8	42,284
吹　上　小	363	14	12	98,968
千　塚　小	197	22	15	99,180
寺尾中央小	92	12	8	177,185
寺尾南小	28	5	5	29,780
国府南小	57	13	8	40,444
国府北小	294	12	7	35,662
大平東小	321	13	8	44,480
大平南小	357	37	20	241,278
大平西小	367	30	23	269,064
大平中央小	685	53	30	410,802
藤　岡　小	264	15	11	66,836
部　屋　小	142	17	8	83,508
赤　麻　小	189	14	10	82,084
三　鴨　小	198	8	5	37,140
合戦場小	331	21	14	94,984
家　中　小	231	24	15	185,614
赤　津　小	172	16	11	64,228
西　方　小	304	13	7	49,932
真名子小	62	5	4	16,684
小学校計	7,885	557	352	3,251,809
栃木東中	317	41	19	175,948
栃木西中	478	54	37	284,010
栃木南中	305	55	29	585,936
東　陽　中	554	121	72	723,947
皆　川　中	129	23	13	111,158
吹　上　中	265	57	37	285,744
寺　尾　中	84	4	4	15,772

大　平　中	334	118	52	1,041,499
大平南中	491	182	88	1,485,674
藤岡第一中	338	66	37	339,568
藤岡第二中	72	21	11	202,020
都　賀　中	343	118	72	672,694
西　方　中	186	19	12	90,849
中学校計	3,896	879	483	6,014,819
合　　計	11,781	1,436	835	9,266,628

2　学校環境衛生管理

区　分	検査日	検査項目	備　　考
飲料水 水質検査	5月10日（火）	理化学・細菌検査10項目	水道水、地下水
	12月13日(火)	理化学･細菌・重金属等 検査51項目	地下水 (地下水使用校５校)
飲料水 放射能検査	10月3日（月）	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム3項目	地下水 (地下水使用校５校)
プール水水質検査 プール施設調査	6月15日（水）	水質6項目、施設安全管理調査	2点測定
	6月21日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月4日（月）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月12日（火）	水質6項目、施設安全管理調査	〃
	7月27日（水）	水質6項目、施設安全管理調査	〃（再検査）
プール水 放射能検査	5月27日（金） 5月30日（月）	放射性ヨウ素1項目、 放射性セシウム3項目	小学校2校
照度検査	11月~12月	照度測定	
一･二酸化炭素検査	1月~3月	一・二酸化炭素濃度検査	

※ 地下水使用校の飲料水水質検査は毎月１回実施

3　学校給食実施状況

(1)　栃木地域

ア　学校給食栄養摂取状況

小学校はほぼ基準どおりであるが、中学校のカルシウム・鉄の摂取量に若干不足が見られるので、今後これらの点を考慮して献立を作成し、基準量の摂取に努めたい。

区　　分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂　肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B_1 (mg)	B_2 (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	649	25.8	21.6	353	2.9	313	0.64	0.61	33
中学校平均摂取栄養量	804	30.9	25.4	386	4.0	376	0.79	0.69	36

※小学校１４校、中学校７校の平均摂取栄養量

イ　学校給食実施人員及び施設状況（５月１日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積（㎡）
1	栃木中央小学校	栃木中央小	542	21	栄養職員1 (1)	4(1)	鉄筋コンクリート造	217
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	457	15	栄養職員1	委託	〃	195
		栃木東中	317	13				
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	193	7	栄養職員1	4(1)	〃	331
		栃木南中	305	11				
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	600	21	栄養職員1	委託	〃	349
		栃木西中	478	17				
5	南小学校 給食共同調理場	南小	341	12	栄養職員1	委託	鉄骨造	145
		大宮南小	66	5				
6	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	839	26	栄養職員1	委託	〃	175
		国府南小	57	6				
7	吹上小学校 給食共同調理場	吹上小	363	12	栄養職員１	委託	〃	155
		吹上中	264	10				
8	千塚小学校 給食共同調理場	千塚小	197	8	栄養教諭1	5(1)	鉄筋コンクリート造	310
		皆川城東小	197	8				
		皆川中	129	7				
9	寺尾中央小学校 給食共同調理場	寺尾中央小	92	6	栄養職員1	3(1)	〃	252
		寺尾南小	28	3				
		寺尾中	84	3				
10	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	294	13	栄養職員1	委託	〃	194
		東陽中	554	19				
計	10調理場	21校	6,397	243	10(1)	16(4)		

※(　)は臨時職員の内数

ウ　各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
栃木中央小	583	67	38,522	73	42,113	50	27,851	190	108,486
栃木第三小	496	65	31,920	74	36,326	50	23,114	189	91,360
栃木第四小	216	67	14,388	72	15,393	50	10,675	189	40,456
栃木第五小	642	67	42,373	72	45,647	50	31,449	189	119,469
南小	373	66	24,543	73	27,005	50	17,479	189	69,027
大宮南小	80	66	5,231	72	5,607	48	3,641	186	14,479
大宮北小	895	66	57,721	74	65,113	50	42,432	190	165,266

皆川城東小	210	67	13,932	73	15,115	51	10,335	191	39,382
吹　上　小	395	67	26,213	72	29,101	50	18,909	189	74,223
千　塚　小	221	65	14,284	73	15,719	51	10,761	189	40,764
寺尾中央小	112	66	7,335	73	8,007	50	5,584	189	20,926
寺尾南小	40	65	2,628	72	2,918	50	1,978	187	7,524
国府南小	73	67	4,815	73	5,211	50	3,490	190	13,516
国府北小	326	67	21,686	74	23,759	51	15,748	192	61,193
栃木東中	346	65	22,114	71	24,034	50	15,277	186	61,425
栃木西中	510	65	32,336	71	35,480	50	24,157	186	91,973
栃木南中	332	64	21,036	72	23,843	50	14,896	186	59,775
東　陽　中	584	66	37,296	72	41,839	50	27,560	188	106,695
皆　川　中	147	65	9,396	72	10,512	51	6,835	188	26,743
吹　上　中	395	63	18,224	72	20,698	50	13,074	185	51,996
寺　尾　中	100	66	6,422	72	7,188	50	4,624	188	18,234
合　　計	6,971		452,415		500,628		329,869		1,282,912

(2)　大平地域

ア　平成２３年度学校給食栄養摂取状況

小・中学校ともほぼ基準どおりであるが、中学校でカルシウム・鉄の摂取不足が懸念されるので、これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区　　分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂　肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B_1 (mg)	B_2 (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	635	26.4	21.8	376	3.2	275	0.63	0.60	30
中学校平均摂取栄養量	838	31.4	25.9	401	3.9	310	0.76	0.67	35

※小学校４校、中学校２校の平均摂取栄養量

イ　学校給食実施人員及び施設状況（５月１日現在）

番号	共同調理場名	供　給　学　校			調理従事者(人)		施　設　構　造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	大平学校給食センター	大平東小	321	13	栄養職員1 栄養教諭1 (1)	委託	鉄骨造	989
		大平南小	357	14				
		大平西小	367	14				
		大平中央小	685	22				
		大　平　中	334	13				
		大平南中	492	17				
計	1調理場	6校	2,556	93	2 (1)			

※(　)は臨時職員の内数

ウ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
大平東小	346	68	23,256	75	25,347	51	17,198	194	65,801
大平南小	383	68	25,925	74	28,000	51	18,819	193	72,744
大平西小	392	68	26,311	75	29,537	51	19,771	194	75,619
大平中央小	726	68	48,755	75	53,654	50	34,599	193	137,013
大平中	363	65	23,168	94	26,463	51	17,512	190	67,143
大平南中	524	66	34,061	74	38,276	51	24,904	191	97,241
センター	22	68	1,481	76	1,675	52	1,146	196	4,302
合計	2,756		182,957		202,957		133,949		519,563

(3)　藤岡地域

ア　学校給食栄養摂取状況

小学校はほぼ基準どおりであるが、中学校のエネルギーとカルシウム・鉄が基準量をみたしていないので、今後不足しないよう献立を作成する際に十分考慮する。

区分	エネルギー(kcal)	蛋白質(g)	脂肪(g)	カルシウム(mg)	鉄(mg)	ビタミン			
						A(μg)	B_1(mg)	B_2(mg)	C(mg)
小学校平均摂取栄養量	622	24.8	20.4	333	2.9	166	0.48	0.58	30
中学校平均摂取栄養量	803	30.5	24.6	373	3.7	210	0.60	0.66	36

※小学校４校、中学校２校の平均摂取栄養量

イ　学校給食実施人員及び施設状況（５月１日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数(人)	学級数(学級)	栄養教諭栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	藤岡学校給食センター	三鴨小	198	7	栄養職員2(1)	11(9)	鉄骨造	961
		赤麻小	186	6				
		藤岡小	260	9				
		部屋小	144	6				
		藤岡第一中	303	10				
		藤岡第二中	70	3				
計	1調理場	6校	1161	41	2(1)	11(9)		

ウ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
三鴨小	217	69	15,048	74	15,978	51	10,520	194	41,546
赤麻小	208	69	14,365	75	15,181	51	10,142	195	39,688
藤岡小	287	69	19,885	75	21,182	51	14,034	195	55,101
部屋小	158	69	10,714	74	11,493	51	7,902	194	30,109
藤岡第一中	364	66	23,905	75	26,912	51	17,531	192	68,348

藤岡第二中	87	68	5,915	73	6,342	51	4,078	192	16,335
センター	16	69	1,121	76	1,226	52	832	197	3,179
合　　計	1,337		90,953		98,314		65,039		254,306

(4)　都賀地域

ア　学校給食栄養摂取状況

今後とも、児童生徒の健康状態を考慮しながら、献立を作成し、対象児童生徒にとって望ましい栄養量の摂取ができるように努めたい。

区　　分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂　肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B_1 (mg)	B_2 (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	698	26.8	23.2	336	2.5	358	0.75	0.58	33
中学校平均摂取栄養量	868	32.5	27.5	367	3.2	459	0.98	0.65	40

※小学校３校、中学校１校の平均摂取栄養量

イ　学校給食実施人員及び施設状況（５月１日現在）

番号	共同調理場名	供　給　学　校			調理従事者(人)		施　設　構　造	
		学校名	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積 (㎡)
1	都賀学校給食センター	合戦場小	331	12	栄養職員1 栄養教諭1 (1)	14 委託	鉄骨造	1046
		家　中　小	231	8				
		赤　津　小	171	6				
		都　賀　中	342	11				
計	1調理場	4校	1075	37	2(1)	14		

ウ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
合戦場小	356	68	24,106	74	26,082	51	18,234	193	68,422
家　中　小	250	67	16,550	74	18,494	51	12,523	192	47,567
赤　津　小	187	67	12,801	74	13,899	50	9,381	192	36,081
都　賀　中	371	68	24,036	75	27,593	50	17,782	193	69,411
センター	18	69	1,232	79	1,432	52	956	200	3,620
合　　計	1,182		78,725		87,500		58,876		225,101

(5)　西方地域

ア　学校給食栄養摂取状況

小・中学校ともほぼ基準どおりであるが、カルシウム・鉄の摂取不足が懸念されるので、これらの点に十分考慮し、引き続き基準量の摂取に努めたい。

区　　分	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂　肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
						A (μg)	B_1 (mg)	B_2 (mg)	C (mg)
小学校平均摂取栄養量	665	26.0	21.5	338	3.1	158	0.67	0.59	36
中学校平均摂取栄養量	830	32.0	25.4	383	3.8	204	0.85	0.66	43

※小学校２校、中学校１校の平均摂取栄養量

イ　学校給食実施人員及び施設状況（１０月１日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積（㎡）
1	西方小学校給食共同調理場	西方小	303	11	栄養教諭1	委託	鉄骨造	569
		真名子小	62	6				
		西方中	185	6				
計	1調理場	3校	550	23	1	14		

ウ　各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数
西方小	338			56	18,798	51	16,839	107	35,637
真名子小	74			56	4,136	51	3,798	107	7,934
西方中	202			55	11,311	51	9,893	106	21,204
合計	614			167	34,245	153	30,530	320	64,775

(6)　共同調理場運営協議会の開催

共同調理場運営協議会

・開催日　１２月９日（金）

・場　所　国府公民館

・参加者　委員他　２３人

(7)　食育研究会の開催

栃木市食育研究会

・開催日　５月１７日(火)、６月１６日（木）、１０月１７日（月）、２月１０日(金)

・場　所　第2会議室他

・参加者　栄養職員他　６９人

(8)　食に関する指導計画作成関係会議の開催

NO	期間	開催回数（回）	事業名	場所	参加者
1	7月11日(月)～12月26日(月)	7	食に関する指導作成検討会	ALT室他	栄養職員他述べ　48人
2	8月17日(水)～1月6日(金)	3	食に関する指導計画作成部会	吹上公民館	給食主任・栄養職員他述べ45人

(9)　献立作成会議の開催

NO	期間	開催回数（回）	事業名	場所	参加者
1	4月28日(木)～2月10日(金)	10	食育研究会（栃木地域）	第2会議室他	栄養職員他　述べ137人
2	4月14日(木)～3月6日(火)	11	献立作成会議（大平地域）	大平学校給食センター	栄養職員他　述べ77人

3	4月6日(木)～ 3月8日(木)	11	献立作成会議 (都賀地域)	都賀学校 給食センター	栄養職員他　述べ66人
4	10月13日(木)～ 2月29日(月)	6	献立作成会議 (西方地域)	西方小学校	栄養職員他　述べ34人

(10) 学校給食関係職員研修事業

NO	期　　日	事　業　名	場　　所	参加者
1	4月26日(火)	給食主任・栄養教諭等研修会	寺尾公民館	給食主任他 49人
2	7月21日(木)	学校給食調理員研修会(衛生講話・調理実習)	千塚小学校	調理員他　33人
3	7月27日(水)	給食主任・栄養教諭等研修会	国府公民館	給食主任他 48人
4	1月26日(木)	給食主任・栄養教諭等研修会	〃	給食主任他 50人
5	3月26日(月)	学校給食調理員研修会(衛生講話)	大宮公民館	調理員他　16人

【別表１】　平成２３年度　学校課題・研究主題一覧表

学校名	研究主任名	学　校　課　題　・　研　究　主　題	教科等	備　　考
栃木中央小	山田　治子	かかわり合いの中で，自ら学ぶ子供の育成 ～かかわり合い学び合う授業の工夫～	全教科 全領域	環境教育推進学校
栃木第三小	生澤　通孝	表現力を豊かにする学習指導法の在り方 ～コミュニケーション能力を高めるための指導法の工夫～	国語科	
栃木第四小	関口　睦	自分の思いや考えを互いに伝え合える子どもの育成 ―豊かな思考力・表現力を育む学習指導の在り方―	全教科	
栃木第五小	金子　一男	互いに認め合い，生き生きと伝え合う児童の育成 ～豊かな人間関係を築く表現力の育成をとおして～	道徳・社会 総合的な学習	市指定 人権教育研究学校
南　　小	江連　昌子	一人一人を生かし、「伝え合う力」を高める指導法の研究 ―豊かな表現力の育成をめざして―	国語科	
大宮南小	石川　幸子	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して ―主体的なコミュニケーション活動を通して―	外国語活動 （英語）	文科省指定 教育研究開発事業
大宮北小	星野　全代	国際社会にたくましく生きる栃木っ子の育成を目指して ―主体的なコミュニケーション活動を通して―	外国語活動 （英語）	文科省指定 教育研究開発事業
皆川城東小	高木　紀之	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした、小中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続：第７年次） ―言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に―	全教科及び総合的な学習の時間 (ことのは，　生き方) 外国語活動	市指定 小中一貫教育研究学校
吹　上　小	清水　文枝	思考力・表現力をはぐくむ算数的活動の工夫 ～伝え合う活動の充実を目指して～	算数科	市指定 姉妹校化推進学校
千　塚　小	平宇　清子	言葉の力を高め，思いを伝え合える児童の育成 ～国語科を中心に～	国語科 全領域	市指定 姉妹校化推進学校 市指定 放課後教室研究学校

寺尾中央小	佐山　良江	言語活動を重視した授業展開の工夫 ～各教科等における実践～	各教科等	市指定 感性を育む教育研究校
寺尾南小	村井　一郎	自分の思いや考えを生き生きと伝え合えることができる子どもの育成 ―国語科における言語活動の充実を中心に―	国語科	市指定 感性を育む教育研究校
国府南小	橋本　圭子	国際社会にたくましく生きる栃木っこの育成を目指して ―主体的なコミュニケーション活動を通して―	外国語活動 （英語）	文科省指定 教育研究開発事業
国府北小	上田　好重	国際社会にたくましく生きる栃木っこの育成を目指して ―主体的なコミュニケーション活動を通して―	外国語活動 （英語）	文科省指定 教育研究開発事業 セカンドステップ研究校
大平東小	金山　ひとみ	ともに学び，考えを深め，互いに高め合おうとする子どもの育成 ～伝え合う場の設定の工夫を通して～	国語科算数科	市指定　学力向上研究学校
大平南小	田上　茂喜	学び考える意欲を高めるための算数的な思考力や表現力の育成 ～基礎・基本の定着をふまえた算数的活動の工夫～	算数	市指定 姉妹校化推進学校 市指定 放課後教室研究学校
大平西小	海老沼　修	自分の思いや考えを表現できる児童の育成 ～言語能力の習得とその活用を図って～	全教科領域 （国語科を中心として）	市指定 学力向上研究学校
大平中央小	阿部　信太郎	自ら考え，友達とかかわりながら共に学び合う授業創り ～国語科・算数科での言語活動を通して～	国語科 算数科	市指定 姉妹校化推進学校
部屋小	杉森　貴子	確かな学力を身につけさせる指導の工夫 ～生活科・総合的な学習の時間を中心に～	生活科総合的な 学習の時間	市指定 姉妹校化推進学校
藤岡小	勝井　英之	「生き生きと伝え合う力の育成」 ～豊かな言語活動を通して～	全教科全領域	
赤麻小	青木　恭子	自分の思いや考えを、自分の言葉で表現する児童の育成 ～言語活動の充実をとおして～	国語科 算数科	

三　鴨　小	椿　和子	主体的に学習に取り組む子の育成 ～算数科における指導法の工夫・改善を通して～	算数科	市指定 放課後教室研究学校
合戦場小	琴寄　とも子	自分の思いや考えを表現できる子どもの育成 ～書く活動を効果的に取り入れて～	全教科全領域	
家　中　小	柳　裕司	「自ら学び生き生きと活動できる児童の育成」 ～言語活動の充実をめざして～	国語科	
赤　津　小	布川　英子	算数好きな子どもを育てる算数科学習 ～算数的活動における言語活動の充実を通して～	算数科	市指定 放課後教室研究学校
西　方　小	飯塚　圭子	国語の好きな子が増えることをめざして ～国語科における「正しく読み取る力」を高めるための指導を通して～	国語科	
真名子小	田中　偉子	基礎的・基本的事項を活用した「思考力」の育成 ～国語科における言語育成を目指して（「読むこと」の指導を通して）～	国語科	
栃木東中	湯本　康弘	学ぶ喜びを実感して，学び合いを大切にする生徒の育成 ～学び合う力の向上を図る指導の具現化～	全教科 道徳・学級活動 特別支援	
栃木西中	篠原　義雄	自他の人権・生命を尊重し，共に学び共に伸びる生徒の育成	全教科 全領域	市指定 人権教育研究学校
栃木南中	江田　訓子	学ぶ意欲を高める指導法の工夫 ―生徒も教師も満足感のある授業を目指して―	全教科 全領域	
東　陽　中	鈴木　龍一	相手意識を持って自分の思いを表現できるコミュニケーション力を身に付けた生徒の育成 ―生徒の関心・意欲に基づく言語活動の在り方を求めて―	全教科	文科省指定 教育研究開発事業
皆　川　中	砂川　博史	豊かな人間性と的確なコミュニケーション能力の育成を目的とした，小中一貫教育の教育課程の編成の在り方について（継続：第７年次） ―言語活動の充実を中核とした「生きる力」の育成を視野に―	全教科及び総合的な学習の時間 (生き方系列･ことのは系列)	市指定 小中一貫教育研究学校

吹　上　中	齊藤　雄輔	言語活動の充実に向けた指導方法について ～自己の考えを積極的に伝え合える生徒を目指して～	各教科	市指定 姉妹校化推進学校
寺　尾　中	石田　幸子	基礎学力の定着と向上を目指した指導法の工夫 ～学業指導の徹底と学習習慣の確立を基本として～	全教科	市指定 感性を育む教育研究校
大　平　中	小松原　唯弘	「基礎的・基本的な内容の定着を図るための指導法の工夫」 ～学習の約束の徹底と意欲的に取り組ませるための工夫～	全教科	市指定 学力向上研究学校
大平南中	藤間　亮子	表現力を高める指導法の工夫 ～主体的に考え表現できる生徒の育成をめざして～	全教科	市指定 姉妹校化推進学校
藤岡第一中	羽鳥　広康	協働的な学びの創造 ～教師の授業改革、学びあう授業づくり～	全教科	
藤岡第二中	川村　道子	「確かな学力の向上を図るための指導法の工夫～言語活動を通して～」	全教科 （美・技・家除く）	市指定 姉妹校化推進学校
都　賀　中	有澤　弘登	共に高め合い，主体的に学習に取り組む生徒の育成 ―基礎基本の習得により、確かな学力を身に付けさせる指導及び評価の工夫―	全教科・領域	
西　方　中	小柳　ひろみ	確かな学力を付ける学習指導の工夫・改善 ―言語活動を通して表現力を高める授業の充実をめざして―	全教科	

※表記については、各学校から報告された文言で示してある。

第３節　生涯学習課

〔総括概要〕

少子高齢化、国際化や情報化、環境問題、エネルギー問題など、今日の急激な社会状況の変化の中で、人々がこころ豊かで充実した人生を生きるためには、生涯の各時期に様々な学習内容や方法等を、自らの意思で選択して学習することが必要とされている。

また、年々市民活動が活発になっており、市民と行政のお互いの距離をより縮めた協働による「まちづくり」をさらに推進していくことが求められている。

本年度は、「とちぎ市民学舎発見の森セミナー」「市職員出前講座」「市民講師主催の自主講座」を実施し、市民の学習機会の提供に努めた。

また、栃木市が開催している講座情報を分野別、開催日別にホームページに掲載し、より多くの人に栃木市が開催している講座情報の周知を図った。

また一方では、各種社会教育関係団体の育成・支援、国際理解教育・青少年教育の充実、コミュニティ活動の推進等に努めた。

とちぎ未来アシストネット事業は、次年度の市全域での事業開始に向けて、学校とボランティアを結ぶ地域コーディネーターの育成に努めるとともに、中学校区を単位とした地域の情報交換の場となる地域教育協議会の設立、並びに市全体の事業を協議する推進委員会の発足準備に努めた。

家庭教育学級開設事業においては、親の子育ての力量や家庭教育力の向上を目指し、就学前及び主として小学校における家庭教育学級を実施した。

人権教育事業としては、すべての人々の基本的人権が尊重される社会の実現を目指して、あらゆる場を通じて、教育、研修、情報提供を積極的に推進した。

集会所における人権同和教育事業としては、「求めよう生きがい・高めよう人権意識・広げよう人間関係」を合言葉に、皆川城内集会所、新栃木コミュニティ会館、栃木第四地区コミュニティセンターを拠点として、各種学習活動や交流学習会、学習成果の発表会等を実施した。

公民館は、地域における生涯学習の拠点施設として、住民のニーズを捉え地域の実情に応じた各種講座等を開設することによる学習の場の提供や教育、文化、スポーツ等の活動を行い、生涯学習の振興に努めた。

大宮、皆川、吹上、寺尾及び国府の５つの公民館においては、支所・出張所としての事務を行い、行政サービスの向上に努めた。

生涯学習担当

1　生涯学習推進事業

(1)　生涯学習市民講師

専門的または多様な人生経験から得た知識や技能等を持ち、自ら市民のために、学習ボランティアとして生涯学習の推進に貢献しようとしている人を『生涯学習市民講師』として登録した。また、市民の要望に応えていただくほか、自主的に講座を開講していただき、市民に対する学習の機会を提供した。

・登録者数　４２人

・登録分野４４分野

活動分野	登録数(人)	活動分野	登録数(人)
語学	1	工芸	9
絵画	4	諸芸	8
音楽	8	室内レクリエーション	2
体操	1	料理	1
パソコン	4	その他	5
育成・サポート	1	合　　計	44

・自主講座開催数　５８講座開講

（４月募集１９講座、８月募集２２講座、１２月募集１７講座）

開講講座（分野）	開講数	開講講座（分野）	開講数
語学	3	工芸	11
絵画	1	諸芸	8
音楽	12	室内レクリエーション	3
体操	2	料理	1
パソコン	11	その他	4
育成・サポート	2	合　　計	58

(2)　生涯学習情報提供

栃木市における生涯学習情報の周知のため、次のとおりホームページへの掲載及び広報とちぎへの折込みをした。

項　　目	掲載日	内　　容	備　　考
栃木市講座情報	4月1日 随時更新	栃木市及び栃木市教育委員会が主催する講座	ホームページ
市職員出前講座のご案内	5月号	市職員出前講座の紹介、申込方法、メニュー一覧	広報とちぎ折込み

(3)　市職員出前講座

市民に市の仕事や仕組み・制度などを理解していただく機会を提供するため、また市民と職員のパートナーシップを築くことを目的として、市の職員を講師として派遣

する市職員出前講座を各課において開設した。

・メニュー数　５３講座

・開催件数　８１件（２９講座）

・受講者数　2,801人

・講師となった職員数　延べ９５人

(4)　学校開放

栃木南中学校の特別教室を地域に開放してグループ活動を支援した。

・利用状況

利用団体数	利用回数	利用人数		
		児童生徒	一般	合計
8団体	235回	401人	4,679人	5,080人

(5)　とちぎ市民学舎発見の森セミナー

市民のニーズや時代に合ったテーマを複数回開催することでより深く学べるとちぎ市民学舎発見の森セミナーを実施した。

コース	セミナー数	回　数	平均定員充足率	平均出席率	受講者数
知識発見コース	10セミナー	40回	86.2%	80.4%	194人
自分発見コース	4セミナー	16回	97.5%	89.7%	78人
地域発見コース	3セミナー	13回	96.9%	83.5%	63人
合　　計	17セミナー	69回	90.5%	83.2%	335人

社会教育担当

1　社会教育委員関係

(1)　委員の任命

栃木市社会教育委員の定数及び任期に関する条例に基づき、下記の者に社会教育委員を委嘱した。（期間　平成２４年３月３１日まで）

氏　　名	選出区分	委嘱年月日
山田　裕之	学校教育	平成 23 年 4 月 1 日
鈴木　正俊	〃	平成 22 年 5 月 28 日
重原　純一	社会教育・家庭教育	〃
中村　絹江	〃	〃
川井　正枝	〃	〃
清水　泰子	〃	〃
海老沼光雄	〃	〃
田中ひろみ	〃	〃
大橋　　智	〃	〃

荒川　里子	〃	平成 23 年 11 月 18 日
佐山　正樹	学識経験者	平成 22 年 5 月 28 日
寺内　みつ	〃	〃
赤坂　敏雄	〃	〃
赤井　栄子	〃	〃
早乙女良一	〃	平成 23 年 11 月 18 日

(2)　会議

次年度から市内の全小中学校で実施する「とちぎ未来アシストネット事業」や「栃木市生涯学習計画の構想」を議題として、社会教育委員会議を行った。

期　　日	会　議　名　等	場　　所
11月18日(金)	社会教育委員会議	栃木市吹上公民館
12月17日(土)	社会教育委員会議	栃木市寺尾公民館
1月17日(火)	社会教育委員会議	栃木市西方公民館
2月17日(金)	社会教育委員会議	栃木市国府公民館

2　とちぎ未来アシストネット

(1)　研修会

市内小中学校及び地域コーディネーターを対象に研修会を開催し、事業への理解促進やコーディネーターとしての基礎能力の向上に努めた。

実施日	会　場	研修内容等	出席者数（人）
9月27日(火)	国府公民館	学校支援ボランティアについて	50
10月 7 日(金)	赤麻小学校	学校支援ボランティア活動見学	48
11月14日(月)	吹上公民館	人間関係のスキルアップについて	22
12月17日(土)	寺尾公民館	学校支援コーディネーターについて	50
2月2日(木)	皆川公民館	研修のまとめと今後にむけて	44

(2)　地域教育協議会及び推進委員会

市内を中学校単位に９つのエリア（中央、東陽、皆川、吹上、寺尾、大平、藤岡、都賀、西方）にわけ、ボランティアやコーディネーターの交流・連絡調整の場として、各地域の公民館が事務局となり、事業運営を行う地域教育協議会と市内全体のアシストネットの方針を協議する推進委員会の発足準備を行った。

3　成人教育関係

平成２４年成人式（栃木会場）

実施日	会　場	会　議　名　等	出席者数（人）
8月5日(金)	栃木市栃木文化会館	第1回 新成人代表者会議	30
9月25日(日)	栃木市栃木文化会館	第2回 新成人代表者会議	29
1月8日(日)	栃木市栃木文化会館	平成24年成人式	824

4　家庭教育

(1)　家庭教育

家庭教育についての事業を展開するため、栃木県主催の家庭教育オピニオンリーダー研修修了者による『家庭教育オピニオンリーダー会』が組織され、事業実施についての助言及び協力を行った。

(2)　家庭教育学級

就学前における家庭教育学級として、栃木地域では幼稚園の保護者を対象に、藤岡及び都賀地域では就学時健康診断時に小学校新入学児童の保護者を対象に、親学習プログラムを活用した親学習会に関する事業を下記のとおり開催した。また、大平地域では、小学校１年生保護者を対象として、食育をテーマにした家庭教育学級を開催した。

小学校における家庭教育学級として、市内各小学校において１回ずつ家庭教育学級を開催した。

県教育委員会関係者や市及び市教育委員会関係者、また各地域のオピニオンリーダー会や親学習プログラム研修修了者が講師となり、一定の成果を収めることができた。

ア　幼稚園における家庭教育学級

実施日	テーマ	講師	場所	参加人数(人)
9月12日(月)	大切な朝ごはん（食育）	栃木地域オピニオンリーダー会	アルス幼稚園	24
9月16日(金)	しつけってどうするの？	栃木地域オピニオンリーダー会	吹上幼稚園	35
10月18日(日)	大切な朝ごはん（食育）	栃木地域オピニオンリーダー会	平川幼稚園	22
10月26日(月)	大切な朝ごはん（食育）	栃木地域オピニオンリーダー会	栃木二杉幼稚園	60
11月1日(火)	しつけってどうするの？	栃木地域オピニオンリーダー会	栃木・若葉幼稚園	112
11月15日(火)	しつけってどうするの？	栃木地域オピニオンリーダー会	アルス南幼稚園	20
11月30日(水)	しつけってどうするの？	栃木地域オピニオンリーダー会	栃木みどり幼稚園	16
12月9日(金)	しつけってどうするの？	栃木地域オピニオンリーダー会	おおみや幼稚園	25

イ　就学時健康診断時における家庭教育学級

実施日	テーマ	講師	場所	参加人数(人)
9月29日(木)	子どもの生活リズムを考えていますか？	栃木地域オピニオンリーダー会	合戦場小学校	51
10月5日(水)		栃木地域オピニオンリーダー会	部屋小学校	27
10月11日(火)		栃木地域オピニオンリーダー会	赤津小学校	24
10月14日(金)		栃木地域オピニオンリーダー会	赤麻小学校	27
10月25日(火)		栃木地域オピニオンリーダー会	藤岡小学校	17
10月26日(水)		栃木地域オピニオンリーダー会	三鴨小学校	28

ウ　栃木地域小学校における家庭教育学級

実施日	テーマ	講師（敬称略）	場所	参加人数(人)
6月10日(金)	あなたの子どもにとっての「携帯電話」どう考えますか	秋山　貴子	南小学校	35
9月21日(水)	心がホッとする親子のかかわり	佐藤　秋子	栃木第三小学校	22

10月8日(土)	これからの時代に必要な力を育てる家庭の在り方	松本 敏	千塚小学校	31
10月21日(金)	ペアレントトレーニングを活かした子育て	松澤 健司	国府北小学校	45
10月24日(月)	子どもと心を結ぶ話の聴き方・伝え方	小菅 孝一	吹上小学校	30
10月28日(金)	親の役割は何か	小菅 孝一	栃木中央小学校	93
11月16日(水)	あなたの子どもにとっての「携帯電話」どう考えますか	秋山 貴子	栃木第四小学校	17
11月19日(土)	家庭でのコミュニケーションの在り方	佐藤 秋子	栃木第五小学校	64
11月25日(金)	ペアレントトレーニングを活かした子育て	松澤 健司	大宮南小学校	60
11月29日(火)	子どもと心を結ぶ話の聴き方・伝え方	小菅 孝一	国府南小学校	16
12月1日(木)	子どもと心を結ぶ話の聴き方・伝え方	小菅 孝一	大宮北小学校	95
12月7日(水)	思春期の子どもの接し方	大谷木貴代美	寺尾中央小学校	27
2月15日(水)	子どものよいところを伸ばそう	秋山 貴子	皆川城東小学校	65

エ　大平地域における家庭教育学級

(ｱ)　大平東小学校

実施日	内　　容	参加人数(人)
6月8日(水)	親子ふれあい集会・給食試食会	26
7月1日(金)	現地学習	37
10月3日(月)	食育「食事って大切だよ」	20
11月21日(月)	食育講座・おやつ作り	17
12月13日(火)	合同閉級式・講話研修	15

(ｲ)　大平南小学校

実施日	内　　容	参加人数(人)
5月18日(水)	講話研修（学校長）	21
6月15日(水)	現地学習	29
6月23日(木)	食育講話・寸劇・給食試食会	51
10月12日(水)	子育て講話	9
12月13日(火)	合同閉級式・講話研修	9

(ｳ)　大平西小学校

実施日	内　　容	参加人数(人)
6月23日(木)	子育て講座「虫歯ゼロを目指して」	63
7月7日(木)	現地学習	36
7月21日(木)	食育「太巻きずしに挑戦しよう」	23
10月7日(金)	思春期講座	14
12月13日(火)	合同閉級式・講話研修	16

(ｴ)　大平中央小学校

実　施　日	内　　容	参加人数(人)
5月25日(水)	親学習プログラム「お母さんの子育て井戸端会議」	31

6月16日(木)	現地学習	31
10月21日(金)	講話「食育について」	107
11月8日(火)	講話「みんなで軽スポーツを楽しもう」	20
12月13日(火)	合同閉級式・講話研修	16

(ｵ) 大平中学校

実 施 日	内 容	参加人数(人)
5月26日(木)	講話研修「子どものケータイ利用を考える」	14
6月24日(金)	現地学習	35
10月7日(金)	思春期講演「みつめよう思春期のこころとからだ」	25
11月18日(金)	食育講座	14
12月13日(火)	合同閉級式・講話研修	11

(ｶ) 大平南中学校

実 施 日	内 容	参加人数(人)
5月26日(木)	講話研修「子どものケータイ利用を考える」	12
6月30日(木)	現地学習	30
9月26日(月)	薬物乱用防止教室	17
10月7日(金)	思春期講演「みつめよう思春期のこころとからだ」	24
12月13日(火)	合同閉級式・講話研修	17

(3) 家庭教育講演会

主に幼稚園及び小学校の保護者を対象とした家庭教育講演会を男女共生大学と共催で下記の通り開催した。

演 題	期 日	対象者	参加人数(人)	講師（敬省略)
感情はコントロールできる ～自信を育てる心理学入門	7月16日(土)	幼稚園・小学校保護者、 一般市民	90	鈴木 稔

5 国際理解教育

栃木ユネスコ協会の実施する事業に対し協力するとともに、会の運営について指導助言を行った。なお、子ども学校を下記のとおり開催した。

実 施 日	内 容	場 所	講師(敬称略)	備 考
7月27日(水)	仲間づくり	栃木南中学校	寺尾中央小教諭 宍戸美都子	共催
	国際交流 「フィリピンについてのお話とゲーム」		ＡＬＴ フクダ・ジェラル ディン・パルバ	
7月28日(木)	バス研修	筑波宇宙センター	ユネスコ協会会員	〃
7月29日(金)	おいしいものをつくろう（料理)	栃木南中学校	ユネスコ協会会員	〃
	栃木の焼き物「平井焼」		田部井 茂	

6　青少年教育関係

(1)　放課後子ども教室

子どもたちが地域社会の中で、こころ豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するため、地域の方々の協力を得て、放課後子ども教室を開催した。

ア　栃木第五小学校区児童を対象とした放課後子ども教室

会　場	内　容	延べ回数（回）	在籍児童数（人）	延べ参加児童数（人）
栃木第六地区コミュニティセンター等	学習、ものづくり、昔遊び、茶道等	104	18	1,314

イ　南小学校区児童を対象とした放課後子ども教室

会　場	内　容	延べ回数（回）	在籍児童数（人）	延べ参加児童数（人）
南小学校	ものづくり、昔遊び等	12	16	138

(2)　サイエンススクール

子どもたちが身近な科学に接することで、その原理を理解しようと自ら考える力を養い、科学技術に対する関心を喚起することを目的として、サイエンススクールを実施した。学校の授業ではなかなか扱うことのできない、日常生活における不思議を科学し、観察や体験活動を通して、子どもたちの科学する心を育むため、小学４年生から６年生を対象（一部親子対象）として、下記の６回の事業を実施した。

実　施　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)
7月24日(日)～25日(月) (1泊2日)	自然科学のサイエンススクール 7月編	なかがわ水遊園、寺尾中学校	24
8月20日(土)～21日(日) (1泊2日)	自然科学のサイエンススクール 8月編	群馬県神流町恐竜センター等	23
9月10日(土)	サイエンススクール in 栃農	栃木県立栃木農業高等学校	16
10月22日(土)	サイエンススクール in 栃工	栃木県立栃木工業高等学校	20
11月19日(土)	サイエンススクール in 日本工業大学	日本工業大学	38
12月3日(土)～4日(日) (1泊2日)	サイエンススクール in 太平少年自然の家	栃木県立太平少年自然の家	30

7　社会教育関係団体育成

(1)　コミュニティ活動の推進

栃木第三地区、栃木第四地区、栃木第五地区及び栃木第六地区の各コミュニティ推進協議会育成のため補助金を交付し、事業実施について援助、協力した。

(2)　ＰＴＡ・子ども会育成会・女性会の育成

各団体の事業計画から実施について助言や援助を行い、各団体の自主的活動に協力するとともに補助金等を交付した。

８　視聴覚ライブラリー

(1)　財産の取得状況及び保有状況

ア　平成２３年度購入視聴覚教材

No.	タイトル	種類	映写時間（分）
1	サル太郎はとびださない！	D	15
2	あなたの街を襲う大地震	D	22
3	やめて！ライターあそび	D	14
4	ボクとガク	D	42
5	クリームパン	D	36
6	一つの花	D	23
7	戦場で傷ついた子どもたち～ドイツ国際平和村の10年～	D	97
8	みんな友だち	D	15
9	私の中の差別意識	D	24
10	フランダースの犬	D	35
11	ねぎぼうずのあさたろう　巻之一	D	51
12	サヨナラ、みどりが池	D	33
13	しあわせの王子	D	19
14	ミッキーマウス　ミッキーの誕生日	D	60
15	ミッキーマウス　ミッキーのお化け退治	D	69

種類：D･･･ＤＶＤ

イ　視聴覚教材保有状況

・１６ミリフィルム　４８１作品

・ビデオテープ　７４５作品

・ＤＶＤ　８１作品

(2)　教材作品利用状況

ア　視聴者層別人数

種別＼対象	成人（男）	成人（女）	青年	高校生	小中学校	ＰＴＡ	高齢者	その他	計
16ミリフィルム	123	540	－	2	891	23	304	1,966	3,849
ビデオテープ	499	671	－	92	8,307	214	1,051	304	11,138
ＤＶＤ	550	851	－	15	3,381	176	215	595	5,783
計	1,172	2,062	－	109	12,579	413	1,570	2,865	20,770

イ　団体別利用回数

団体種別	小学校	中学校	高等学校	養護学校等	幼稚園・保育所	子ども会・育成会	児童施設	ボランティア	ＰＴＡ	家庭教育学級	婦人団体・婦人学級	集会所	高齢者	病院施設等	企業等	計
16ミリフィルム	3	－	－	－	30	1	3	－	－	－	－	11	－	－	28	76
ビデオテープ	61	4	1	3	5	2	－	－	－	－	－	56	－	－	21	153
ＤＶＤ	30	8	－	－	9	3	－	－	－	－	－	30	－	－	23	103
計	94	12	1	3	44	6	3	－	－	－	－	97	－	－	72	332

(3)　その他

下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会の事務局として、１６ミリ映写機技術者養成講習会を下記のとおり実施した。

期　　日	会　　場	修了者数（人）
7月13日(水)	岩舟町中央公民館	9
8月28日(日)	大平公民館	10

9　人権教育

(1)　研修

ア　高齢者教室　　（敬称略）

地区名	期　　日	参加人数(人)	講　師　名
吹上地区	9月13日(火)	64	九輪草の会（女性学級と合同）
国府地区	9月28日(水)	32	竹　内　伸　幸
寺尾地区	12月2日(金)	45	手　塚　愛一郎
皆川地区	2月15日(水)	17	滝　口　佳　宏
大宮地区	2月9日(木)	36	豊　田　智　士
計		194	

イ　女性学級　　（敬称略）

地区名	期　　日	参加人数(人)	講　師　名
大宮地区	6月28日(火)	29	滝　口　佳　宏
栃木地区	7月7日(木)	62	滝　口　佳　宏
皆川地区	7月22日(金)	6	滝　口　佳　宏
寺尾地区	7月29日(金)	33	秋　山　やす子
吹上地区	9月13日(火)	64	九輪草の会(高齢者教室と合同)
国府地区	11月29日(火)	25	益　田　佳　子
計		219	

ウ　その他(講演会 等)　　(敬称略)

事　業　名	期　　日	対象者	参加人数(人)	講　　師
人権を考える市民の集い	12月10日(土)	一般市民	500	江　川　紹　子

(2)　集会所指導事業

ア　皆川城内集会所指導事業　　(敬称略)

領　　域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講　　師
子ども教室	20	40	461	大塚　幸一　ほか
成人教室	97	194	877	小島　久重　ほか
高齢者教室	1	6	11	関口　喜市　ほか
ふれあい人権行事	1	3	20	滝口　佳宏　ほか
その他(学習発表会)	1	12	80	小島　久重　ほか
計	120	255	1449	

イ　新栃木コミュニティ会館指導事業　　(敬称略)

領　　域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講　　師
子ども教室	20	40	570	新田　陽子　ほか
成人教室	104	208	1,090	森戸　松枝　ほか
高齢者教室	32	64	544	関口　喜市　ほか
ふれあい人権行事	1	2	20	滝口　佳宏　ほか
その他 (学習発表会)	1	12	150	廣田ミチ子　ほか
計	158	326	2,374	

ウ　栃木第四地区コミュニティセンター指導事業　　(敬称略)

領　　域	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	講　　師
子ども教室	20	40	683	杉山　真理　ほか
成人教室	151	302	1,842	大関　雅香　ほか
ふれあい人権行事	1	3	42	滝口　佳宏　ほか
その他 (学習発表会)	1	12	150	小川　浅一　ほか
計	173	357	2,717	

エ　集会所運営委員会　　(敬称略)

会　議　名	延べ回数(回)	延べ時間(時間)	延べ参加人数(人)	委員名
栃木市栃木集会所運営委員会	2	4	38	関口　輝雄　ほか

公民館担当

1　栃木市公民館運営審議会

市内公民館における事業等について審議した。

期日	議　　題	会　　場	参加人数(人)
6月22日(水)	平成22年度栃木市公民館利用状況について 平成23年度公民館予算について 平成22年度公民館事業の成果及び平成23年度公民館事業計画について	大平公民館	17
11月22日(火)	西方公民館の概要について 平成22年度西方公民館事業の成果及び平成23年度西方公民館事業の計画について	吹上公民館	15
3月26日(日)	栃木図書館西方分館の設置について 平成24年度栃木市公民館の予算について	国府公民館	14

2　公民館業務

(1)　公民館別使用状況

施　設　名	使用件数(件)	使用人数(人)	使　用　料(円)
栃木公民館	1,609	31,599	1,205,175
大宮公民館	1,464	22,907	857,650
皆川公民館	599	14,627	297,200
吹上公民館	1,283	20,141	644,450
寺尾公民館	363	10,341	62,000
国府公民館	887	19,392	475,100
計	6,205	119,007	3,541,575

(2)　栃木公民館

ア　カルチャースクール事業　　(敬称略)

期　日		場　所	参加人数(人)	内　容	講　師　等	備考
春期	5月12日(木)～ 6月30日(月)	講堂	延べ288	健康ストレッチ教室	健康運動指導士 原 美穂子	8回
春期	5月17日(火)～ 7月21日(木)	大会議室	224	さわやかコーラス教室	コーラス講師 日影 浩美	8回
秋期	10月3日(月)～ 11月28日(月)	講堂	321	リズム体操教室	リズム体操講師 山下 節子	8回
秋期	10月4日(火)～ 11月22(火)	大会議室	207	カラオケ教室	日本大衆歌謡指導協会 講師　舘野 和己	8回

イ　成人教育関係（高齢者学級・蔵の街シルバー楽習塾事業)　　(敬称略)

回	期日	場　所	参加人数(人)	内　容	講　師　等	備考
1	6月30日(木)	文化会館	290	講話「介護サービスと介護の実情」	栃木市栃木地域包括支援センター職員	
2	7月21日(木)	文化会館	276	楽しい音楽会	日影 浩美 中田 道子	
3	9月29日(木)	文化会館	282	講話「苗字と家紋」	下野姓氏家紋研究家　遅沢 俊郎	

4	10月12日(水)	東京都港区他	160	現地学習	公民館職員 社会教育指導員	
5	11月17日(木)	文化会館	279	映画鑑賞「米百俵」	公民館職員	

ウ　女性教育関係　（敬称略）

回	期日	場所	参加人数(人)	内容	講師等	備考
1	6月8日(水)	講堂	64	健康講和＆リズム体操	リズム体操講師 山下 節子	
2	7月7日(木)	児童室	62	人権研修	生涯学習課 社会教育主事	
3	9月27日(火)	群馬県伊香保方面	58	現地学習	公民館職員 社会教育指導員	
4	10月20日(木)	市内	43	芸術の秋 「蔵の街散策」	各施設職員	
5	11月10日(木)	講堂	45	ガーデニング講座	フラワーコーディネーター 大塚 文子	
6	12月8日(木)	児童室	49	防災講座	栃木市消防署職員	

エ　青少年教育関係　（敬称略）

回	期日	場所	参加人数(人)	内容	講師等	備考
1	7月2日(土)	講堂	39	友だちづくり	家庭教育オピニオンリーダー会カルパ	
2	7月9日(土)	児童室	36	おもしろ科学実験	都賀公民館職員	
3	7月16日(土)	講堂	36	バルーンアート	バルーンパフォーマー 板子 誠	
4	7月22日(金)	グランディ科学館	38	現地学習	公民館職員 社会教育指導員	
5	7月30日(土)	講堂	29	ビデオ鑑賞	公民館職員	

(3)　大宮公民館

ア　成人教育関係　（敬称略）

期日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月8日(水)～ 2月9日(木)	大宮地区シルバー教室	大宮公民館ほか	延べ448	講師 益子　敏 ほか (8回)
7月8日(金)～ 10月12日(水)	教養講座「教えて大宮地区包括支援センター」	大宮公民館ほか	延べ 56	講師 白澤由美 ほか (3回)
12月28日(水)	教養講座「お正月の生け花」	大宮公民館	11	講師 大島つや子

イ　女性教育関係　（敬称略）

期日	事業名	会場	参加人数(人)	備考
6月28日(火)～ 1月19日(木)	さわやかレディース学級	大宮公民館 ほか	延べ179	講師　石井　享 ほか（7回）

ウ　青少年教育関係　　（敬称略）

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
4月17日(日)	東部地区春季 フットベースボール大会	大塚運動広場	4チーム	
6月12日(日)	大宮地区春季 フットベースボール大会	大宮北小校庭	3チーム	
10月23日(日)	東部地区秋季 フットベースボール大会	大塚運動広場	4チーム	
10月30日(日)	大宮地区秋季 フットベースボール大会	大宮北小校庭	3チーム	
11月　13日(日)	大宮地区子どもマラソン大会	地　区　内	145	
1月15日(日)	大宮地区なわとび大会	大宮北小体育館	98	
2月12日(日)	大宮地区スキー教室	日光湯元スキー場	101	
6月11日(土) ～2月4日(土)	のびのび体験ひろば	大宮公民館ほか	延べ582	講師 佐藤義美 ほか (15回)

エ　社会体育関係

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
9月16日(金)	大宮地区ゲートボール大会	ＪＡしもつけ 藤田倉庫	2チーム	
5月20日(金)	大宮地区 春季グラウンド・ゴルフ大会	大宮運動広場	68	
6月13日(月)	大宮地区ソフトボール大会	大宮運動広場	5チーム	
6月25日(土)	大宮地区ソフトバレーボール大会	大宮北小体育館	5チーム	
9月18日(日)	大宮地区体育祭	大宮運動広場	11チーム	
10月28日(金)	大宮地区 秋季グラウンド・ゴルフ大会	大宮運動広場	65	
2月19日(日)	大宮地区輪投げ大会	大宮公民館	84	
2月26日(日)	大宮地区ボーリング大会	ラウンドワン 栃木樋ノ口店	68	

オ　諸会議開催状況

名　称	回数	名　称	回数
大宮地区自治会連合会	6	交通安全協会大宮支部高齢者部会	4
大宮地区公民館連絡協議会	5	大宮地区女性会	14
保健委員連合会大宮支部	11	大宮地区体育部	8
交通安全協会大宮支部	7	大宮地区百寿会	12
交通安全協会大宮支部女性部会	14	大宮地区子ども会育成会	5
		合　計	86

カ　その他

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
11月13日(日)	大宮地区まつり	大宮公民館	約1,800	

・年１２回公民館だよりを発行し、班内回覧した。

(4)　皆川公民館

ア　成人教育関係　（敬称略）

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
8月10(水) ～2月15(水)	高齢者教室(８回)	皆川公民館ほか	延べ143	講師 川島　妙　ほか
8月15日(月)	ふれあいふるさとまつり	皆川城東小学校	約600	
11月6日(日)	第３１回文化祭	皆川公民館	約800	
9月27日(火) 10月25日(火) 11月29日(火)	教養講座「ストレッチ運動教室」	皆川公民館	延べ51	講師 原　美穂子

イ　女性教育関係　（敬称略）

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
6月28日(火)～ 12月16日(金)	リフレッシュ学級(８回)	皆川公民館ほか	延べ164	講師 原　美穂子　ほか
7月17日(日)	女性会視察研修会	東京都方面	32	
7月16日(土)、 23日(土)	よさこい音頭講習会協力	皆川城東小学校	延べ400	
8月15日(月)	ふれあいふるさとまつり協力	皆川城東小学校	約600	
9月19日(月)	敬老祝賀会協力	皆川中学校	約500	
10月9日(日)	皆川地区体育祭協力	皆川城東小学校	約500	
11月6日(日)	第３１回文化祭協力	皆川公民館	約800	
3月4日(土)	花いっぱい運動	皆川地区内	45	

ウ　青少年教育関係　（敬称略）

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
6月4日(土) ～3月3日(金)	地域少年少女サークル活動 『チャレンジキッズ』（７回）	皆川公民館ほか	延べ227	
7月16日(土)、 23日(土)	よさこい音頭講習会(２回)	皆川城東小学校	延べ400	
7月31日(日)	子どもリーダー研修会	皆川公民館	63	
8月15日(月)	ふれあいふるさとまつり協力	皆川城東小学校	約600	
8月21日(日) ～28日(日)	第26回栃木市栃木地区 スポーツ大会参加	栃木市総合運動公園	約100	第９支部
10月9日(日)	皆川地区体育祭協力	皆川城東小学校	約500	
11月6日(日)	第３１回文化祭協力	皆川公民館	約800	
2月26日(日)	子ども･高齢者フェスティバル	皆川公民館	約300	

エ　社会体育関係

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
5月15日(日)	第33回ソフトボール大会	皆川城東小学校ほか	10チーム	
6月26日(日)	第35回野球大会	皆川城東小学校ほか	8チーム	
6月26日(日)	第13回ソフトバレーボール大会	皆川中学校	7チーム	
8月15日(日)	ふれあいふるさとまつり協力	皆川城東小学校	約600	
8月21日(日) ～28日(日)	第26回栃木市栃木地区 スポーツ大会参加	栃木市総合運動公園	約100	第９支部
10月9日(日)	皆川地区体育祭	皆川城東小学校	約500	

オ　諸会議開催状況

名　称	回数	名　称	回数
皆川地区自治会連合会	17	皆川地区体育協会	8
皆川地区公民館連絡協議会	10	民児委員協議会	15
保健委員連合会皆川支部	4	皆川地区子ども会育成会	9
皆川地区交通安全協会	4	皆川地区遺族会	3
皆川地区交通安全協会女性部	6	街づくり協議会	37
皆川地区交通安全協会高齢者部会	3	地域安全防犯パトロール隊	5
皆川地区女性会	10	農政協力員協議会	3
		合　計	134

カ　その他

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
8月23日(火)	まちづくり懇談会ふれあいトーク	皆川公民館	48	
9月19日(水)	敬老祝賀会	皆川中学校	約500	
9月24日(土)	皆川城址まつり	皆川城址公園	約2,000	
10月16日(日)	皆川柏倉の里 コスモスまつり	柏倉町地内	約500	

(5)　吹上公民館

ア　成人教育関係　（敬称略）

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
6月11日(土) 12月17日(土)	シニアライフアップ講座	吹上公民館ほか	延べ98	講師　中村奉子ほか （４回）
6月17日(金) ～12月7日(水)	高齢者教室	吹上公民館ほか	延べ426	講師　平本久美子 ほか（７回）
7月　9日(土)～ 12月24日(土)	教養講座 「吹上を知ろう！」	吹上公民館ほか	延べ69	講師　吹上地区まちづくり協議会委員 ほか（２回）
11月6日(日)	吹上地区文化祭	吹上小学校	約500	

イ　女性教育関係　（敬称略）

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
6月29日(水)～ 12月16日(金)	ひまわり学級	吹上公民館ほか	延べ161	講師　原美穂子 ほか（11回）

10月25(火) ～26日(水)	女性会研修	山梨県	21	富士レーダードーム ほか

ウ　青少年教育関係

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
5月28日(土)	少年野球春季大会	雨天中止		
5月28日(土)	フットベース春季大会	雨天中止		
6月25日(土) ～12月10日(土)	わくわく教室いぶき	吹上公民館ほか	延べ286	7回
11月5日(土)	少年野球秋季大会	総合運動公園	8チーム	
11月5日(土)	フットベース秋季大会	総合運動公園	9チーム	
11月27日(日)	吹上地区一周駅伝大会	地区内一周	16チーム	
2月4日(土)	吹子連年度事業	吹上公民館	295	

エ　社会体育関係

期　日	事　業　名	会　場	参加人数(人)	備　考
4月 3日(日) 4月 10日(日)	吹上地区春季ソフトボール大会	総合運動公園	160	
4月 7日(木)	第19回吹上地区 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	43	
4月 7日(木)	第16回吹上地区 女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	75	
5月 12日(木)	第20回吹上地区 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	48	
5月 12日(木)	第17回吹上地区 女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	69	
5月 22日(日)	第15回吹上地区春季 ソフトバレーボール大会	総合体育館	41	
6月 5日(日)	吹上地区春季オープン卓球大会	吹上公民館	20	
6月 16日(木)	第29回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	108	
6月 19日(日)	吹上地区春季自治会対抗野球大会	総合運動公園	30	
7月 7日(木)	第7回市民スポーツ大会 選抜グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	113	
8月 4日(木)	第30回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	102	
8月 21日(日) 8月 27日(土) 8月 28日(日)	第26回市民スポーツ大会	総合運動公園	219	
9月 4日(日)	第53回吹上地区体育祭	吹上中学校	4,500	
9月 15日(木)	第21回吹上地区グラウンゴルフ大会	総合運動公園	43	
9月 15日(木)	第18回吹上地区女性グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	70	
10月 9日(日)	吹上地区秋季オープン卓球大会	吹上公民館	21	
10月 9日(日)	第1回吹上地区秋季自治会 対抗ソフトバレーボール大会	総合運動公園	21	
10月 9日(日)	第16回吹上地区秋季ソフトバレーボール大会	総合運動公園	22	

10月13日(木)	第31回吹上地区オープン(第2回ペア) グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	92	
10月16日(日)	吹上地区秋季野球大会	総合運動公園	40	
11月 6日(日) 11月13日(日)	吹上地区秋季ソフトボール大会	総合運動公園	220	
11月10日(木)	第6回吹上地区自治会対抗 グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	122	
11月27日(日)	第48回吹上地区一周駅伝大会	地区内主要道路	約450	
12月15日(木)	第32回吹上地区オープン(第3回年忘れ) グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	102	
2月16日(木)	第33回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	103	
3月15日(水)	第34回吹上地区オープン グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	105	
毎月第2土曜	卓球教室	吹上公民館	延べ95	

オ　諸会議開催状況

名　　称	回数	名　　称	回数
吹上地区自治会連合会	11	吹上地区女性会	13
吹上地区公民館連絡協議会	8	吹上地区体育協会	18
保健委員会連合会吹上支部	5	吹上地区子ども会育成会連絡協議会	11
交通安全協会吹上支部	7	吹上地区遺族会	4
交通安全協会吹上支部女性部会	7	吹上地区長寿会	8
交通安全協会吹上支部高齢者部会	3	吹上安全・安心な街パトロール隊	9
吹上地区社会福祉協議会	6	文化同好会連絡協議会	4
吹上地区まちづくり協議会	7	合　　計	121

カ　その他

期　日	事　業　名	会　　場	参加人数	備　　考
11月22日(火)	まちづくり視察研修	新潟県見附市	14人	

・7月号広報に折り込み、全世帯を対象に公民館だよりを発行した。

(6)　寺尾公民館

ア　成人教育関係　　(敬称略)

期　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)	備　　考
7月8日(金) ～12月2日(金)	高齢者教室	寺尾公民館	延べ510	栗田礼子ほか (7回)
11月5日(土) ～11月6日(日)	寺尾地区文化祭	寺尾公民館	延べ600	美術展 芸能発表
2月9日(木) 3月8日(水)	寺尾地区教養講座	寺尾公民館	13	料理教室

イ　女性教育関係　　（敬称略）

期　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)	備　　考
7月29日(金) ～12月6日(火)	女性学級	寺尾公民館	延べ171	永嶋貴子ほか (6回)
10月17日(月)	女性会視察研修会	神奈川県横浜市	40	

ウ　青少年教育関係

期　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)	備　　考
8月6日(土)	子どもフェスティバル	寺尾公民館	206	ゲーム、競技等

エ　社会体育関係

期　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)	備　　考
5月15日(日) 5月22日(日)	野球大会	寺尾中学校校庭	10チーム	
5月15日(日)	卓球大会	寺尾中学校体育館	9チーム	
5月15日(日)	女子ソフトバレーボール大会	寺尾中央小体育館	8チーム	
6月19日(日)	ゲートボール大会	寺尾公民館	6チーム	
6月19日(日)	バレーボール大会	寺尾中央小体育館 寺尾中学校体育館	10チーム	
7月3日(日)	婦人ミニバレーボール大会	寺尾中学校体育館	6チーム	
7月10日(日)	ソフトボール大会	坂本産業グランド 寺尾中学校校庭	10チーム	
7月10日(日)	ソフトテニス大会	寺尾公民館	10チーム	
7月29日(金)	輪投げ大会	寺尾公民館	10チーム	
10月2日(日)	地区民体育祭	寺尾中学校校庭	延べ1,993	20種目

オ　諸会議開催状況

名　　称	回数	名　　称	回数
財産区議会	4	寺尾地区体育協会	6
寺尾協議会まちづくり協議会	5	寺尾地区子ども会育成会	5
寺尾地区自治会連合会	13	消防団	3
保健委員会連合会寺尾支部	5	寺尾地区遺族会	2
寺尾地区交通安全協会	6	寿クラブ連絡協議会	8
寺尾地区社会福祉協議会	4	文化協会	4
民児委員協議会	13	ゲートボール協会	4
寺尾地区女性会	22	いきいきスポーツクラブ	5
グリーンツーリズム	5	寺尾地区農産物供給会	12
		合　　計	126

カ　その他

期　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)	備　　考
8月14日(日)	サマーフェスティバルイン寺尾	寺尾中学校校庭	1,000	盆踊り

・6月、10月、11月に全世帯を対象に公民館だよりを発行

(7)　国府公民館

ア　成人教育関係

期　日	事　業　名	場　所	参加人数(人)	備　考
6月29日(水) ～11月30日(水)	高齢者教室	国府公民館ほか	延べ217	8回
7月29日(金) 8月6日(土)	教養講座 「和菓子づくり入門」	国府公民館	延べ 32	2回
2月14日(火) ～3月6日(月)	教養講座 「男の料理教室」	国府公民館	延べ 73	4回

イ　女性教育関係

期　日	事　業　名	場　所	参加人数(人)	備　考
6月29日(水) ～1月20日(金)	女性学級	国府公民館ほか	延べ190	8回

ウ　青少年教育関係

期　日	事　業　名	場　所	参加人数(人)	備　考
4月17日(日)	東部地区女子フット ベースボール大会（春）	大塚運動広場	4チーム	
7月23日(土)	夏休み親子お楽しみ会	国府北小体育館	約200	
12月24日(土)	学童野球大会	大塚運動広場	2チーム	
6月18日(土) ～2月4日(土)	学校週５日制対応事業	国府公民館	延べ165	8回

エ　社会体育関係

期　日	事　業　名	場　所	参加人数(人)	備　考
6月5日(日)	フットベースボール大会	大塚運動広場	125	
6月5日(日)	ソフトボール大会	大光寺グランド	159	
7月7日(木)	体協グランドゴルフ大会	大塚運動広場	26	
7月10日(日)	体協ターゲットバードゴルフ大会	大皆川ニュースポーツ広場	8	
8月21日(日)、 27日(土)、 28日(日)	市民スポーツ大会	総合運動公園ほか	225	
9月4日(日)	地区民体育祭	大塚運動広場	2,000	
10月2日(日)	ウォーキング大会	岩舟町	40	
10月13日(木)	体協ゲートボール大会	大塚運動広場	4チーム	
11月6日(日)	大なわとび大会	国府公民館	11チーム	
2月19日(日)	地区民ソフトバレーボール大会	国府北小学校ほか	16チーム	
3月11日(土)	国庁まつりドッヂボール大会	下野国庁跡広場	14チーム	

オ　諸会議開催状況

名　　称	回数	名　　称	回数
国府地区自治会連合会	13	国府地区体育協会	5
保健委員会連合会国府支部	12	国府地区子ども会育成会	5
国府地区交通安全協会	9	国府地区子どもを守る会	5
国府地区交通安全協会女性部会	12	国府地区消防協力会	1
国府地区交通安全協会高齢者部会	5	国府地区遺族会	15
国府地区社会福祉協議会	7	国府地区長寿会	15
国府地区まちづくり協議会	7	合　　計	111

カ　その他

期　日	事　業　名	場　所	参加人数(人)	備　考
6月9日(木)、 8月28日(日)	大塚運動広場運営委員会	大塚運動広場	約 600	運動広場除草
9月11日(日)	地区敬老会	国府北小学校	約 350	
11月6日(日)	公民館まつり	国府公民館	約1,500	ふるさとまつり
4月～3月	下野国庁跡･地区文化財整備委員会活動	国府公民館	延べ9	

・公民館だよりを発行し、班内に回覧した。

3　支所・出張所業務

(1)　大宮出張所

ア　原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区　　分		件　　数(件)
原動機付自転車	第１種	4
	第２種　(甲)	－
	第２種　(乙)	－
小型特殊（農耕用）		1
廃　車　届		16
名義・車体変更届		0
計		21

イ　出納事務取扱状況

区　　分	件　　数(件)	金　　額(円)
市　　税	2,997	74,655,571
そ の 他	403	2,864,377
計	3,400	77,519,948

ウ　戸籍関係取扱状況

(ｱ)　戸籍届出受付

区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)
出 生 届	1	死　亡　届	－	転 籍 届	－
婚 姻 届	－	養子縁組届	－	そ の 他	－
				計	1

(ｲ)　戸籍謄抄本等交付件数　　５０２件　　276,000円

エ　住民基本台帳関係事務取扱状況

(ｱ)　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)
転　入　届	11	婚　姻　届	0
転　居　届	13	離　婚　届	0
転　出　届	19	転　籍　届	0
世帯主変更届	0	錯　誤	0
世帯分離届	0	国保得喪届	35
世帯合併届	0	国年得喪届	0
出　生　届	1	そ　の　他	0
死　亡　届	0	合　計	79

(ｲ)　住民票写し等交付件数　　1,263件　　252,600円

(ｳ)　印鑑証明関係

区　　分	件　数(件)	金　額(円)
印　鑑　登　録	67	13,400
印　鑑　証　明	1,234	246,800
印　鑑　廃　止　届	22	―
計	1,323	260,200

(ｴ)　身分証明交付件数　　１５件　　3,000円

(ｵ)　諸証明交付件数　　１件　　200円

オ　税務諸証明交付件数　５８６件　60,200円

（このうち、車検用納税証明　２８５件）

(2)　皆川出張所

ア　原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区　　分		件　数(件)
原動機付自転車	第１種	1
	第２種　（甲）	－
	第２種　（乙）	－

小型特殊（農耕用）	－
廃　車　届	6
名義・車体変更届	－
計	7

イ　出納事務取扱状況

区　　分	件　　数(件)	金　　額(円)
市　　税	1,757	36,843,600
そ の 他	106	542,878
計	1,863	37,386,478

ウ　戸籍関係取扱状況

(ｱ)　戸籍届出受付

区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)
出 生 届	－	死　亡　届	－	転 籍 届	1
婚 姻 届	－	養子縁組届	－	そ の 他	－
				計	1

(ｲ)　戸籍謄抄本等交付件数　　２０４件　　116,600円

エ　住民基本台帳関係事務取扱状況

(ｱ)　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)
転　入　届	1	婚　姻　届	－
転　居　届	2	離　婚　届	－
転　出　届	7	転　籍　届	1
世帯主変更届	－	錯　　誤	－
世帯分離届	－	国保得喪届	9
世帯合併届	－	国年得喪届	－
出　生　届	－	そ　の　他	9
死　亡　届	－	合　　計	29

(ｲ)　住民票写し等交付件数　３５２件　　70,400円

(ｳ)　印鑑証明関係

区　　分	件　　数(件)	金　　額(円)
印　鑑　登　録	11	2,200
印　鑑　証　明	404	80,800
印　鑑　廃　止　届	－	―
計	415	83,000

(ｴ)　身分証明交付件数　　６件　　1,200円

(ｵ)　諸証明交付件数　　０件

オ　税務諸証明交付件数　１７４件　16,600円（このうち、車検用納税証明　８６件）

(3)　吹上出張所

ア　原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区分		件数（件）
原動機付自転車	第１種	1
	第２種　（甲）	－
	第２種　（乙）	－
小型特殊（農耕用）		－
廃車届		2
名義・車体変更届		－
計		3

イ　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	3,628	98,084,380
その他	769	5,522,727
計	4,397	103,607,107

ウ　戸籍関係取扱状況

(ｱ)　戸籍届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）	区分	件数（件）
出生届	－	死亡届	－	転籍届	2
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
				計	2

(ｲ)　戸籍謄抄本等交付件数　　４４３件　　240,450円

エ　住民基本台帳関係事務取扱状況

(ｱ)　住民基本台帳届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）
転入届	5	婚姻届	－
転居届	6	離婚届	－
転出届	14	転籍届	2
世帯主変更届	2	錯誤	－
世帯分離届	－	国保得喪届	22
世帯合併届	－	国年得喪届	16
出生届	－	その他	－
死亡届	－	合計	67

(ｲ) 住民票写し等交付件数　　９３９件　　187,800円

(ｳ) 印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	46	9,200
印　鑑　証　明	995	199,000
印　鑑　廃　止　届	23	―
計	1,064	208,200

(ｴ) 身分証明交付件数　　２０件　　4,000円

(ｵ) 諸証明交付件数　　６件　　2,100円

オ　税務諸証明交付件数　３３７件　38,100円

（このうち、車検用納税証明　１５２件）

(4) 寺尾支所

ア　原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区　　分	件　数（件）
原動機付自転車　第１種	22
原動機付自転車　第２種　（甲）	1
原動機付自転車　第３種　（乙）	4
小　型　特　殊　（農耕用）	3
廃　車　届	30
名　義　車　体　変　更	9
合　　計	69

イ　出納事務取扱状況

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市　　税	2,653	55,896,480
そ　の　他	77	404,050
合　　計	2,730	56,300,530

ウ　戸籍関係事務取扱状況

(ｱ) 戸籍届出受付

区　　分	件　数(件)
出　生　届	2
死　亡　届	－
婚　姻　届	－
離　婚　届	－
転　籍　届	－
養子縁組届	－
合　　計	2

(ｲ)　戸籍謄抄本等交付件数　　５６６件　　３２４，０００円

エ　住民基本台帳関係事務取扱状況

(ｱ)　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　　数（件）	区　　分	件　　数（件）
転　入　届	4	婚　姻　届	－
転　居　届	3	離　婚　届	－
転　出　届	10	転　籍　届	－
世帯主変更届	3	錯　　誤	1
世帯分離届	1	国保得喪届	13
世帯合併届	1	国年得喪届	4
出　生　届	2	そ　の　他	－
死　亡　届	－	合　　計	42

(ｲ)　住民票写し等交付件数　　６４９件　　129,800円

(ｳ)　印鑑証明関係

区　　分	件　　数（件）	金　　額（円）
印鑑登録届	33	6,600
印鑑証明	580	116,000
印鑑廃止届	16	0
合　　計	629	122,600

(ｴ)　身分証明書交付件数　２１件　4,200円

(ｵ)　転出証明書交付件数　１０件

オ　税務諸証明交付件数　１６４件　35,000円

(5)　国府支所

ア　原動機付自転車等標識交付及び廃車状況

区　　分		件　　数（件）
原動機付自転車	第１種	15
	第２種　（甲）	1
	第２種　（乙）	1
小型特殊（農耕用）		8
廃　車　届		48
名義・車体変更届		1
計		74

イ　出納事務取扱状況

区　　分	件　　数（件）	金　　額（円）
市　　税	4,103	94,860,500
そ の 他	352	4,358,066
計	4,455	99,218,566

ウ　戸籍関係取扱状況

(ｱ)　戸籍届出受付

区　　分	件数（件）	区　分	件数（件）	区　分	件数（件）
出 生 届	5	死　亡　届	0	転 籍 届	5
婚 姻 届	1	養子縁組届	0	計	11

(ｲ)　戸籍謄抄本等交付件数　　７５９件　　417,850円

エ　住民基本台帳関係事務取扱状況

(ｱ)　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　数（件）	区　　分	件　数（件）
転　入　届	58	婚　姻　届	0
転　居　届	7	離　婚　届	0
転　出　届	52	転　籍　届	4
世帯主変更届	4	錯　　誤	0
世 帯 分 離 届	0	国保得喪届	82
世 帯 合 併 届	0	国年得喪届	15
出　生　届	5	そ　の　他	1
死　亡　届	0	合　　計	228

(ｲ)　住民票写し等交付件数　　1,225件　　245,000円

(ｳ)　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	93	18,600
印　鑑　証　明	1,232	246,400
印　鑑　廃　止　届	46	－
計	1,371	265,000

(ｴ)　身分証明交付件数　　３４件　6,800円

オ　税務諸証明交付件数　５３２件　67,000円

（このうち、車検用納税証明　２２２件）

第４節　スポーツ振興課

〔総括概要〕

スポーツ振興課の主な分掌事務は、社会体育施設（総合運動公園施設を除く）の設置計画及び管理運営、社会体育学校施設の開放、スポーツ振興基金の管理、生涯スポーツの普及振興､生涯スポーツ関係団体の育成及び支援､スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員及び全国スポレク祭に関することである。

社会体育学校施設の開放については、夜間照明施設の電球交換、配電盤等の改修を行い、利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営に努めた。

生涯スポーツの普及振興については、中高年者が健康で活力に満ちた有意義な日々が送れるように各種大会を開催し、「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に参加できるグラウンドゴルフやターゲットバードゴルフ等の普及推進を図った｡また、小・中学生の健全育成を図るため、少年スキー教室等の開催と、スポーツ少年団活動の普及推進に努めた。

生涯スポーツ関係団体の育成及び支援については、「市民ひとり１スポーツ・スポーツで築く、健康で明るい家庭」を目指す体育協会（４地区３７専門部）が実施する事業及び指導者育成を支援､推進することにより市民の競技力の向上を図った。

また、第２４回全国スポーツレクリエーション祭「スポレク“エコとちぎ”２０１１」が、１１月５日（土）から８日（火）までの４日間、県内２１市町で都道府県代表参加種目１８種目とフリー参加種目１０種目が開催され、栃木市では都道府県参加種目の「年齢別ソフトテニス」と「トランポリン」の２種目を開催した。

スポーツ振興担当

1　社会体育施設

(1)　施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
市剣道場	明治４４年	437.25	163.70	木造瓦葺平屋
市弓道場	昭和２８年	102.47	76.00	木造亜鉛葺平屋
皆川東宮運動場	昭和４６年	14,889.23	6.00	
柳原河川敷運動場	昭和５２年	12,608.00	6.23	ブロック造ＷＣ
大光寺河川敷運動場	昭和５２年	13,028.00	6.23	ブロック造ＷＣ
尻内河川敷運動場	昭和５４年	5,950.00	9.91	木造平屋ＷＣ
大塚運動広場	平成　２年	15,942.90	7.69	木造平屋ＷＣ
大宮運動広場	平成　５年	15,257.00	21.00	木造平屋ＷＣ
大皆川ニュースポーツ広場	平成１６年	11,367.00	－	
城内ニュースポーツ広場	平成１８年	7,200.00	－	
栃木市屋内運動場	平成　４年	3,724.23	1,062.80	鉄骨造鋼板葺平屋

(2)　利用状況　　（単位：人）

施設名／月	市剣道場	市弓道場	大光寺河川敷運動場	柳原河川敷運動場	大塚運動広場	大宮運動広場	大皆川ニュースポーツ広場	城内ニュースポーツ広場	栃木市屋内運動場	合計
4月	321	646	730	500	590	2,635	323	875	443	7,063
5月	318	511	900	500	864	2,823	329	960	650	7,855
6月	386	610	600	400	556	2,840	325	970	746	7,433
7月	321	465	825	550	1,007	3,183	277	865	902	8,395
8月	255	301	520	480	676	2,985	428	789	698	7,132
9月	283	529	720	540	2,948	3,724	309	740	999	10,792
10月	244	492	847	660	806	2,663	232	750	798	7,492
11月	240	485	792	600	750	4,064	296	830	742	8,799
12月	257	482	715	600	714	1,923	290	665	556	6,202
1月	246	463	692	660	655	1,348	245	510	697	5,516
2月	227	427	616	280	600	2,197	181	790	813	6,131
3月	232	438	725	350	725	2,810	261	860	628	7,029
合計	3,330	5,849	8,682	6,120	10,891	33,195	3,496	9,604	8,672	89,839
平均	278	487	724	510	908	2,766	291	800	723	7,487

2　学校屋外運動場夜間照明施設関係

(1)　利用状況

学校名／月	中央小	第三小	第五小	南小	皆川城東小	東中	東陽中	吹上中	寺尾中	栃商高	栃高	合計
4月	－	7	5	4	1	3	3	1	－	－	1	25
5月	－	15	10	11	3	8	7	2	－	4	1	61
6月	－	19	17	16	3	13	12	3	－	4	－	87
7月	－	13	8	16	5	7	8	8	2	5	2	74
8月	－	19	7	16	2	5	11	5	－	4	－	69
9月	－	13	11	21	2	5	12	8	2	5	－	79

10月	－	18	11	19	－	10	11	2	－	6	6	83
11月	－	8	11	22	－	12	7	2	－	5	2	69
12月	－	6	7	21	－	9	5	－	－	－	3	51
1月	－	7	8	18	－	10	6	－	－	1	3	53
2月	－	7	8	20	－	10	4	－	－	4	2	55
3月	－	10	8	20	－	6	6	2	－	3	3	58
合計	－	142	111	204	16	98	92	33	4	41	23	764
平均		11.8	9.2	17.0	1.3	8.1	7.6	2.7	0.3	3.4	1.9	63.6

※中央小の夜間照明施設は、校舎立替工事のため貸し出しせず。

(2)　施設

種別／学校名	被照明面積（㎡）	平均照度（ルクス）	照　明　柱		完成年度
中央小	－	－	－		－
第三小	4,556	159	6基	6灯－2基 8灯－4基	昭和57年６月
第五小	4,500	107.6	5基	6灯－2基 4灯－3基	昭和55年10月
南　小	5,142.5	228	7基	6灯－3基 8灯－4基	昭和59年８月
皆川城東小	6,375	138	8基	7灯－4基 6灯－4基	昭和57年６月
東　中	8,500	115	7基	7灯－2基 6灯－5基	昭和56年10月
東陽中	9,100	120	7基	7灯－7基	昭和56年10月
吹上中	4,900	210	6基	6灯－2基 8灯－4基	昭和56年 8月
寺尾中	3,724	108.3	6基	4灯－6基	昭和55年10月

３　県民スポーツ大会中央大会関係

平成２３年度栃木県民スポーツ大会

・開催日　１０月１６(日)、２３日(日)、２月１２日(日)

・参加者　２８７人

・会　場　県総合運動公園ほか１７会場

4　県南五市大会関係

開催日	事業名	参加者(人)	会場
6月26日(日) 7月3日(日)	第65回県南五市対抗親善総合競技大会	338	ニッコー射撃場 真岡市
1月9日(月)	第62回県南五市対抗親善駅伝競走大会	100	足利→小山
2月20日(月)	第59回県南四市対抗親善スキー大会	25	オグナほたかスキー場

5　国民体育大会

(1)　第６６回国民体育大会本大会

・実施期間　１０月１日～１１日

・開 催 地　山口県

・参加者

No.	種目	氏名	備考
1	陸上	伊藤哲二	少年男子監督
2	陸上	栃木渡	少年男子Ｂ選手
3	陸上	中島大輔	少年男子共通選手
4	陸上	塩谷澪	少年女子Ａ選手
5	ボート	五月女尚宏	成年男子選手
6	ボクシング	小松雅彦	成年男子選手
7	レスリング	杉田一男	成年男子監督
8	ウエイトリフティング	須田俊幸	成年男子監督兼選手
9	自転車競技	福富義雄	成年男子選手
10	フェンシング	星野貴智	成年男子監督兼選手
11	フェンシング	飯塚友亮	成年男子選手
12	柔道	新井隆義	成年男子監督
13	柔道	佐藤允啓	少年男子選手
14	ラグビーフットボール	古庄史和	少年男子監督
15	ラグビーフットボール	大栗松長	少年男子選手
16	ラグビーフットボール	野﨑伊織	少年男子選手
17	ラグビーフットボール	尾又寛汰	少年男子選手
18	ラグビーフットボール	吉岡征太郎	少年男子選手
19	ラグビーフットボール	森田健仁	少年男子選手
20	ラグビーフットボール	田村熙	少年男子選手
21	ラグビーフットボール	海老沼孝育	少年男子選手
22	ラグビーフットボール	小藤真輝	少年男子選手
23	ラグビーフットボール	吉岡航太郎	少年男子選手
24	ラグビーフットボール	井出三四郎	少年男子選手
25	ラグビーフットボール	高橋昴大	少年男子選手
26	クレー射撃	味村貴行	トラップ選手

6　栃木地区市民スポーツ大会

「市民ひとり１スポーツ」の推進とともに、市民の健康の増進と体力の向上を図り、連帯感あふれる「活力のあるまち「とちぎ」」を作ることを目的に大会を開催した。

・開 催 日　８月２０日(土)、２１日（日）、２７日（土）、２８日（日）

・競技種目　陸上、フットベースボール、卓球、ラージボール卓球、バレーボール、ソフトバレーボール（オープン競技）

以下の競技は雨天のため中止

（軟式野球、ソフトボール、ゲートボール、テニス、ソフトテニス、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ）

・参 加 者　1,517人

・会　　場　総合運動公園各競技場

7　生涯スポーツ推進事業

小中学生の健全な育成を図ることを目的とした「少年スポーツ振興事業」と、中高年が健康で豊かな生活を確保することを目的とした「中高年スポーツ振興事業」の２つを生涯スポーツ推進事業として、下記の各種スポーツ教室等を開催した。

(1)　少年スポーツ振興事業

教室名	開　催　期　日	会　場	受講者数(人)
サッカー	4月9日、16日、11月19日、26日　各日（土）	総合運動公園他	延べ280
陸上競技	4月～3月(土曜日,8,9月を除く)	陸上競技場	延べ300
ラグビー	11月5日(土)～12月10日(土)	永野川緑地公園	延べ240
スキー	1月14日(土)～15日(日)	たかつえスキー場	57

(2)　中高年スポーツ振興事業

行　事　名	開　催　期　日	会　場	参加者数
第32回栃木市ゲートボール大会	5月17日（火）	総合運動公園	144人

8　栃木市スポーツリーダーバンク

市民の健康づくり、体力づくりに対する関心の高まりとともに、増大する地域や職域からの指導養成に対応して適切なスポーツ活動指導者を派遣し、「市民の体力増進と地域の連帯感あふれる明るく健康なまちづくり」を推進するため設置されたスポーツリーダーバンクの業務として、指導者の登録と派遣の業務を行った。

スポーツリーダーバンク登録種目及び登録者数　（単位：人）

種　目	人数	種　目	人数	種　目	人数
バレーボール	3	剣道	1	グラウンドゴルフ	8
バスケットボール	2	空手道	4	水泳	3
スキー	2	テニス	4	ターゲットバードゴルフ	1
弓道	2	太極拳	7	山岳	1
ゲートボール	1	陸上競技	4	野外活動	1
サッカー	3	フォークダンス	6	ボールルームダンス	1

9　栃木市体育協会事業

(1)　総合大会

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
6月26日(日) 7月3日(日)	第65回県南五市対抗親善総合競技大会	338	真岡市
10月16日、23日 2月12日　各日(日)	平成23年度栃木県民スポーツ大会	287	宇都宮市 栃木市

(2)　支部体育祭

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
9月4日(日)	平成23年度国府地区体育祭	2,000	大塚運動広場
9月4日(日)	第53回吹上地区体育祭	4,500	吹上中学校
9月18日(日)	平成23年度大宮地区体育祭	1,000	大宮運動広場
9月18日(日)	平成23年度部屋地区民体育祭	1,000	部屋小学校
10月1日(土)	平成23年度赤麻地区民体育祭	500	赤麻小学校
10月1日(土)	平成 23 年度三鴨地区民体育祭	500	三鴨小学校
10月2日(日)	第 62 回寺尾地区体育祭	700	寺尾中学校
10月9日(日)	平成 23 年度皆川地区体育祭	1,000	皆川城東小学校
10月9日(日)	第 42 回第二支部体育祭	120	栃木中央小学校
10月9日(日)	第 54 回大平地区体育祭	2,600	大平運動公園

(3)　野球

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
4月2日(土) ～10日(日)	第1回栃木市春季学童軟式野球大会	580	総合運動公園 大平運動公園 つがスポーツ公園 藤岡渡良瀬運動公園
4月3日(日) ～5月8日(日)	第1回春季栃木市長杯争奪 軟式野球大会	2,300	
5月1日(日) ～22日(日)	第1回栃木市春季壮年軟式野球大会	220	
5月7日(土) ～21日(土)	第55回高松宮賜杯全日本軟式野球大会2部	1,020	
5月22日(日) ～7月17日(日)	第1回栃木市体育協会長旗争奪 軟式野球大会	2,000	
6月18日(土) ～7月3日(日)	第1回栃木市学童軟式野球大会	520	
7月10日(日) ～8月7日(日)	第8回栃木県議会議長杯軟式野球大会	1,080	
8月13日(土) ～17日(水)	第28回県下町内選抜学童軟式野球大会	1,100	
9月3日(土) ～11日(日)	第1回栃木市新人学童軟式野球大会	540	

9月4日(日) ～11月13日(日)	第1回秋季栃木市軟式野球選手権大会	1,920	
10月2日(日) ～3日(月)	第1回栃木市秋季壮年軟式野球大会	260	
10月29日(土) ～11月5日(土)	第8回蔵の街学童(６年生)軟式野球大会	720	
10月2日(日) ～30日(日)	第1回栃木市秋季壮年軟式野球大会	260	

(4)　剣道

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
8月28日(日)	第31回栃木地区少年剣道錬成大会	200	大平体育館
9月25日(日)	第58回近県剣道大会	1,200	総合体育館
12月11日(日)	第55回東武日光沿線三市親善剣道大会	90	國學院記念館
1月29日(日)	栃木市民剣道選手権大会	180	國學院記念館

(5)　柔道

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
10月23日(日)	第2回わたらせ錬成柔道大会	70	藤岡第二中学校
10月30日(日)	第31回大平町少年柔道クラブ柔道大会	62	大平武道館
11月23日(水)	第27回栃木市少年柔道大会	83	國學院栃木高
3月25日(土)	第11回都賀町少年少女柔道大会	90	大柿コミュニティセンター

(6)　バスケットボール

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
8月28日(日) ～9月25日(日)	第13回栃木市バスケットボールリーグ	120	栃南中・木コミ
1月22日(日)	第37回栃木市民 バスケットボール選手権大会	135	藤岡体育館
2月22日(水) ～3月25日(土)	第13回栃木市オープンリーグ戦	135	栃南中・木コミ

(7)　陸上

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
1月1日(日)	第36回栃木市元旦マラソン大会	400	陸上競技場
1月9日(月)	第62回県南五市対抗親善駅伝競走大会	100	足利→小山
1月29日(日)	第53回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会	30	宇都宮⇔栃木
2月11日(土)	第56回太平山廻遊駅伝競走大会	400	太平山

(8)　卓球

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
5月21日(土)	第54回栃木市卓球選手権大会（小・中学生）	中止	総合体育館
5月22日(日)	第54回栃木市卓球選手権大会（一般）	中止	
7月16日(土)	栃木卓球リーグ（前期）	450	
7月31日(日)	第10回とちぎ蔵の街オープンラージボール卓球大会	300	

9月24日(土)	第25回あすなろ卓球大会（個人）	800	
10月1日(土)	第13回ラージボール愛好者フェスティバル	130	
3月24日(金)	第33回栃木市小中学生卓球大会	350	
3月24日(金)	第7回川越市・栃木市友好卓球大会	100	
3月31日(金)	第18回栃木オープンラージボール卓球大会	441	

(9) ソフトテニス

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
5月8日(日) 29日(日)	市民ソフトテニス選手権大会	312	総合運動公園
6月16日(木)	第32回家庭婦人ソフトテニス大会	20	総合運動公園
6月19日(日)	ハイカラソフトテニス大会	38	大平運動公園
9月11日(日)	第4回栃木市ミックスソフトテニス大会	18	総合運動公園
10月8日(土)	第37回栃木地区中学ソフトテニス新人大会	334	総合運動公園
11月3日(木) 20日(日)	第61回近県高校ソフトテニス大会 （個人戦）	1,036	総合運動公園
3月17日(金) 18日(土)	近県高校ソフトテニス大会（団体戦）	300	総合運動公園

(10) 射撃

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
10月29日(土)	栃木市射撃選手権大会	25	ニッコー射撃場

(11) テニス

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
4月3日(日)	栃木市テニス大会（春季シングルス）	55	総合運動公園
5月15日(日)	栃木市テニス大会（春季ダブルス）	82	
6月2日(木)	あじさい杯テニス大会	74	
7月10日(日)	第2回つがオープン	32	つがスポーツ公園
10月9日(日) 10日(月)	栃木市オープンシングルステニス大会	85	総合運動公園
11月9日(水)	もみじ杯テニス大会	90	
1月8日(日) 9日(月)	栃木市テニス大会（クラブ対抗）	78	
12月10日(土) 11日(日)	第15回栃木市藤岡渡良瀬近県 テニストーナメント	75	藤岡渡良瀬運動公園
2月12日(日) 19日(日)	栃木市オープンダブルステニス大会	172	総合運動公園

(12) バレーボール

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
5月15日(日)	第33回栃木市春季家庭婦人バレーボール大会	中止	総合体育館
6月5日(日)	栃木市春季ソフトバレーボール大会	246	大平南・大平体育館

6月12日(日)	第41回栃木市長杯争奪バレーボール大会	75	都賀南部コミュニティーセンター
6月26日(日)	栃木市家庭婦人バレーボール大会	105	大平体育館
9月11日(日)	第41回栃木市秋季家庭婦人バレーボール大会	135	総合体育館
9月25日(日)	大平地域自治会対抗バレーボール大会	170	大平体育館
10月9日(日)	第30回栃木市6人制バレーボール大会	105	総合体育館
10月16日(日)	第18回栃木市秋季ソフトバレーボール大会	216	総合体育館
10月30日(日)	栃木市選手権婦人バレーボール大会	135	大平体育館
11月3日(木)	第45回栃木市バレーボール選手権大会	105	総合体育館
12月11日(日)	第4回わたらせ招待小学生女子バレーボール大会	200	藤岡体育館

(13) 相撲

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
6月5日(日)	第44回青少年相撲大会	192	栃木東中
10月9日(日)	第19回ちびっこ相撲大会	166	

(14) 弓道

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
7月17日(日)	第30回市民弓道大会	93	総合運動公園
10月10日(日)	第19回栃木蔵の街県下弓道大会	136	総合運動公園
10月30日(日)	第12回わたらせ遊水地弓道大会	90	藤岡弓道場
12月11日(日)	納射会	32	総合運動公園
1月8日(日)	初射会	65	総合運動公園

(15) 山岳

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
7月24日(日)	第101回市民ハイキング	29	長野県車山高原

(16) 水泳

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
9月4日(日)	第29回栃木市民水泳大会	230	総合運動公園

(17) スキー

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
2月4日(土) 5日(日)	市民スキー祭	20	エーデルワイススキー場
2月20日(月)	第59回県南四市対抗親善スキー大会	25	ほたかスキー場
3月3日(金)	大平スキー祭	154	だいくらスキー場

(18) サッカー

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
3月～11月	社会人サッカーリーグ	165	総合運動公園
7月23日(土) ～31日(日)	蔵の街サッカーフェスティバル	240	
10月23日(日)	第8回ＪＣカップ	80	

11月13日(日) ～12月18日(日)	栃木市社会人サッカー選手権大会	145	
12月4日(日)	栃木市サッカーフェスティバル	75	
12月24日(土) ～28日(水)	蔵の街高校サッカーフェスティバル	800	
1月8日(日) 15日(日)	交流大会	約200	つがスポーツ公園
1月8日(日) ～2月26日(日)	栃木市社会人サッカートーナメント	165	総合運動公園
2月25日(土) ～3月4日(土)	ライオンズ杯（各小学校会場）	約200	各小学校
3月3日(金) 4日(土)	第24回中学生サッカー大会	280	総合運動公園

(19)　ハンドボール

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
12月10日(土) 11日(日)	第41回栃木市ハンドボール選手権大会	250	日立体育館
2月18日(土) 19日(日)	第33回栃木市小・中学校ハンドボール大会	400	國學院栃木高校体育館

(20)　フットベースボール

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
5月1日(日)	第12回栃木市春季学童フットベースボール大会	120	総合運動公園
7月3日(日) 10日(日) 17日(日)	第56回栃木市学童フットベースボール大会	210	
9月11日(日)	第15回セントラルライオンズ杯フットベースボール大会	210	
9月18日(日)	第22回栃木市一般女子フットベースボール大会	120	
11月2日(水) 6日(日)	第27回栃木市学童 フットベースボール新人大会	165	
11月13日(日)	第10回関東フットベースボール大会	310	

(21)　バドミントン

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
4月17日(日)	第36回春季バドミントン選手権大会	中止	総合体育館
8月14日(日)	第36回秋季バドミントン選手権大会	128	
8月23日(火)	平成23年度秋季バドミントン選手権大会	116	

(22)　ゴルフ

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
5月5日(木)	栃木市大平地区ゴルフ大会	124	栃木ＣＣ

7月17日(日)	第2回市民ゴルフ大会	255	都賀ＣＣ

(23)　空手

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
6月26日(日)	第33回栃木市民空手道選手権大会	70	総合体育館

(24)　ラグビーフットボール

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
7月2日(土) 9日(土)	第19回栃木市ラグビー祭	500	総合運動公園

(25)　ソフトボール

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
4月3日(日) ～17日(日)	春季ソフトボール大会	約100	都賀市民運動場
4月24日(日) ～6月12日(日)	第29回会長杯ソフトボール大会	1,275	総合運動公園
4月17日(日)	第33回藤岡地区春季ソフトボール大会	105	藤岡渡良瀬運動公園
5月1日(日) 8日(日)	第27回大平地区壮年ソフトボール大会	155	大平運動公園
5月8日(日)	シニアソフトボール大会	約120	都賀市民運動場
5月22日(日)	栃木、大平、藤岡、都賀代表チームトーナメント	100	総合運動公園
6月4日(土) ～7月31日(日)	ナイターソフトボール大会	約110	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ他
6月5日(日)	都賀地区春季大会	400	都賀市民運動場他
6月5日(日)	平成23年度明和町予選会（藤岡地区）	105	藤岡渡良瀬運動公園
6月5日(日) 12日(日)	第2回大平地区会長杯ソフトボール大会	245	大平運動公園
6月26日(日)	第12回大平地区実年ソフトボール大会	35	大平運動公園
7月4日(月) ～8月8日(月)	第27回ナイター杯ソフトボール大会	800	南小・城東小
9月4日(日) ～25日(日)	都賀地区自治会対抗大会	420	
9月4日(日) ～10月2日(日)	第30回市長杯大会ソフトボール大会	1,275	総合運動公園
10月2日(日)	第2回合併記念大会	105	藤岡渡良瀬運動公園
10月　2日(日) 16日(日)	第2回大平地区ソフトボール選手権大会	235	地域のひろば・大平運動公園
10月16日(日) ～31日(日)	都賀地区秋季大会	280	市運動場・他
10月23日(日)	第33回藤岡地区秋季ソフトボール大会	120	藤岡渡良瀬運動公園

10月30日(日)	第27回大平シリーズ大会	250	地域のひろば・大平運動公園
11月5日(土) 6日(日)	第19回わたらせソフトボール大会	200	藤岡渡良瀬運動公園

(26) ゲートボール

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
3月31日(木)	春季ゲートボール大会	約80	つがスポーツ公園
4月12日(火) ～14日(木)	第16回両毛地区ゲートボール大会	中止	足利市
4月26日(火)	第28回春のオープンゲートボール大会	130	総合運動公園
5月27日(金)	第44回栃木支部親善ゲートボール大会	126	
6月13日(月)	夏季ゲートボール大会	約80	つがスポーツ公園
7月17日(日)	第28回栃木市少年ゲートボール大会	中止	栃木市屋内運動場
10月4日(日)	年金友の会県大会	約120	宇都宮屋板グラウンド
10月17日(月)	栃木市合併記念大会	約100	つがスポーツ公園
10月18日(火)	第27回秋のオープンゲートボール大会	120	総合運動公園
10月25日(火)	第45回栃木支部親善ゲートボール大会	120	大平運動公園
11月24日(木)	霜月ゲートボール大会	約70	つがスポーツ公園
12月20日(火)	年末ゲートボール大会	約70	
2月23日(木)	早春ゲートボール大会	約80	

(27) 太極拳

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
6月11日(土)	第12回栃木市武術太極拳交流大会	244	総合体育館

(28) サイクリング

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
5月～9月	おはようサイクリング	395	市内
6月～10月	遠乗りサイクリング	54	壬生町他

(29) グラウンドゴルフ

開催期日	行事名	参加数(人)	場所
4月6日(水)	親善交流大会	162	大平運動公園
5月19日(木)	第11回大平町ペアー大会	212	大平運動公園
6月1日(水)	第36回大平町交歓会	242	大平運動公園
6月20日(月)	栃木市グラウンド・G協会設立交流会	343	大平専用ＧＧ場
9月9日(金)	第6回大平町レディース大会	100	
10月14日(金)	第1回栃木市レディース交歓会	200	大平専用ＧＧ場
10月25日(火)	第37回大平町交歓会	234	
11月9日(水)	第1回栃木市長杯大会	483	総合運動公園
11月24日(木)	栃木市ペアー大会	348	大平運動公園

12月6日(火)	地域の広場主催ＧＧ大会	298	

(30)　ターゲットバードゴルフ

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
8月27日(土)	第12回都賀地区ＴＢＧ大会	79	つがスポーツ公園

(31)　レクリエーション

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
4月29日(金)	太平山周辺ハイキング	85	大中寺～晃石山
1月21日(土)	小学生ドッチボール大会	38	大平体育館
1月24日(火)	小学生ドッジボール大会	38	大平体育館

(32)　その他

開　催　期　日	行　　事　　名	参加数(人)	場　　所
7月17日(日)	第1回3県親善ターゲットバードゴルフ大会	216	つがスポーツ公園
9月27日(火)	都賀地区ＴＢＧ大会	120	つがスポーツ公園
2月19日(日)	第11回都賀地区綱引き大会	100	都賀体育センター

10　栃木市スポーツ少年団関係

(1)　事業報告

開　催　期　日	事　　業　　名	会　　場	備　　考
5月8日(日) 15日(日) 22日(日)	第28回栃木市スポーツ少年団 フットベースボール大会	総合運動公園	8団体参加
6月14日(火)	栃木市スポーツ少年団本部委員会	栃木文化会館	
9月19日(月)	第28回栃木市スポーツ少年団 フットベースボール新人大会	総合運動公園	8団体参加

(2)　登録人数表

種　　目	団数(団体)	指導者数(人)	団員数(人)		
			男　子	女　子	合　計
フットベースボール	8	22	0	141	141
剣　道	4	20	34	16	50
空手道	4	12	61	26	87
卓　球	1	3	12	8	20
バレーボール	2	5	0	21	21
柔　道	3	10	28	6	34
野　球	4	22	68	0	68
サッカー	1	8	33	1	34
バスケットボール	1	2	12	0	12
合　　計	28	104	248	219	467

全国スポレク担当

1　全国スポレク祭

(1)　開催種目

種　　目	開催期日	会　　場	参加人数(人)
年齢別ソフトテニス	11月5日(土)～8日(火)	総合運動公園	293
トランポリン	11月5日(土)～7日(月)	総合体育館	252

(2)　歓迎レセプション

種　　目	期日	内　　容	会場	参加人数(人)
年齢別ソフトテニス	11月5日(土)	ぴあにこ　ほか	サンプラザ	176
トランポリン	11月6日(日)	蔵の街船頭隊バンド　ほか		165

(3)　広報事業

・栃木駅、新栃木駅へ歓迎看板の設置

・蔵の街大通りへの歓迎フラッグの設置

・本庁舎への懸垂幕の設置

・市内の商店、宿舎へポスターの掲示、チラシの配布

・スポレクキャラバン隊によるＰＲ（栃木地区市民スポーツ大会、大平地区体育祭）

・のぼり旗の設置、公用車へＰＲマグネットの貼付

第５節　文化課

〔総括概要〕

文化課の主な分掌事務は、文化振興関係事業、文化財保護関係事業及び学芸推進関係事業である。

文化振興関係では、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰するとともに、少年少女の情操教育に資することを目的として、栃木市俳句協会及び山本有三記念会との共催により、第２１回山本有三記念「路傍の石」俳句大会を実施した。また、音楽を通した官民一体の協働事業として、国際交流を目指したチェンバロ演奏会及びフルート・ピアノリサイタルを開催した。さらに、各種文化団体が開催する展覧会・演奏会の後援等を行い、その活動を支援した。

文化財保護関係では、文化財の保護及び啓発のため、文化財施設を活用した企画展示やイベントの開催、歴史資料の調査収集、指定文化財の保存修理補助を実施するとともに、国指定史跡である下野国庁跡、市指定文化財である星野遺跡・荒宿Ｂ古墳群、栃木市郷土参考館などの管理運営等を行った。また、伝統的建造物群保存地区の指定を目指して伝健推進室と連携し、関係機関と協議を行った。

学芸推進関係では、平成２１年４月から指定管理者制度を導入したとちぎ蔵の街美術館、栃木図書館、栃木文化会館については、民間事業者の能力を活用して地域住民に対するサービス向上に努めるとともに、各種企画展、展覧会や講演会等の付帯催事、公演、イベント等の事業を開催して市民の知識及び教養の向上に努めた。

また､市の芸術文化を市民に紹介するため､市ゆかりの美術工芸作品を購入した。レオナルド・ダ・ヴィンチ関係では、栃木図書館・栃木文化会館・大平図書館にレオナルドが考案した「はばたき飛行機」などの再現模型を展示するとともに、小・中学生を対象としたワーク・ショップを開催した。

喜多川歌麿関係では、市所蔵の肉筆画「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」3点を特別公開した。また、平成２３年１０月から平成２４年３月まで浮世絵専門学芸員を配置し歌麿の調査研究を行った。

大平文化会館では､文化振興関係事業において伝統文化の継承に努めるとともに、文化祭や納涼あじ祭等を開催して芸術・文化活動の推進を図り、文化会館の独自の自主事業を展開し、文化振興に努めた。

藤岡文化会館では、東日本大震災により、舞台天井ぶどう棚、客席天井、ホール内壁等に被害を受けたため、８月まで臨時休館し、補修工事を実施した。広域的な被害による資材や人手不足が心配されたが、無事終了し９月より開館することができ、貸館事業や自主事業を実施し、地域住民に対するサービスも復活した。また文化振興関係事業では、文化祭を開催して芸術・文化活動の推進を図った。

都賀文化会館では、文化振興関係事業において伝統文化の継承に努めるとともに、文化フェスティバル等を開催して芸術・文化活動の推進を図り、文化会館の独自性をもった事業を展開し、新たな文化芸術の創造及び振興に努めた。

文化振興担当

1　文化振興関係

(1)　栃木市ふるさと文化振興基金

本市の美しく豊かな自然環境と優れた多くの文化遺産を保護し、豊かな芸術文化を育てるため、栃木市ふるさと文化振興基金を設置し、市民からの協力をお願いしている。

栃木市ふるさと文化振興基金状況

個人からの寄附　　3人	寄附金額	330,000円
団体からの寄附　　5団体	寄附金額	2,186,683円
	計（A）	2,516,683円
	基金利子	102,897円
	繰 出 金	△3,000,000円
	計（B）	△2,897,103円
	小計（A＋B）	△380,420円
	前年度基金額（C）	58,233,524円
	基金合計　（A＋B＋C）	57,853,104円

(2)　第２１回山本有三記念「路傍の石」俳句大会

本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰するとともに、俳句を通して少年少女の情操教育に資することを目的として、栃木県内及び友好親善都市である北海道滝川市の小中学校の児童生徒を対象に実施した。

栃木市俳句協会及び特定非営利活動法人山本有三記念会との共催。

・応募総数15,028句

期　日	場　所	事　務　事　業　内　容
6月上旬~9月上旬	―	作品募集
8月1日（月）	第2会議室	審査員打合せ会
9月上旬～11月上旬	第2会議室	32人の審査員による審査（第1次、第2次、本選）
11月20日（日）	栃木文化会館 リハーサル室	俳句大会表彰式、こども俳句教室

(3)　その他の芸術・文化振興関係事業

ア　後援関係

各種文化団体の開催する展覧会､演奏会､発表会等を後援した。

イ　県立博物館等の宣伝等

県立博物館その他の施設からの催物パンフレット・ポスター等の配布・掲示、及び広報紙への掲載を行った。

ウ　栃木文化祭

・実施期間　９月～１２月

・場　　所　栃木文化会館他

・内　　容　９月２２日のオープニングの集いを皮切りに、２８の催しが栃木市

栃木文化会館を主会場に盛大に行われた。

エ　第３６回栃木県文化振興大会

第３６回栃木県文化振興大会に参加した。

・開催日　２月３日（金）

・場　所　栃木文化会館(大ホール・展示室・リハーサル室)

・内　容　「地域文化の振興を目指して」のテーマのもと、県文化協会や県とともに本市教育委員会及び担当地域の文化協会等が主催者の一員となり、ウェルカムコンサート、記念式典、アトラクション、作品展及び呈茶等を行った。大会は県民・文化行政関係者・各市町文化協会員、出演者・スタッフ等、総勢約1,300名が参加・関与して、盛大に行われた。

(4)　音楽演奏会（栃木［蔵の街］音楽祭実行委員会と共催）

ア　会議関係

・総会　１回

・運営委員会　４回

イ　ギエドレー・ルクシャイテー・ムラースコヴァー　チェンバロ演奏会

バッハ、モーツァルトとその周りの魅力溢れるチェコ作曲家たちの曲を、チェンバロにて演奏。

・開催日　６月３日（金）

・会　場　栃木文化会館　小ホール

・入場者　１７３人

イ　～ワルター・アウアー　フルートリサイタル～　With　クリストファー・ヒンターフーバー

ウィーンフィルハーモニー管弦楽団の首席ソロ・フルート奏者、ウィーン最注目のピアニスト、市内の高校生との組み合わせによる貴重な演奏会。

・開催日　８月２６日（金）

・場　所　栃木文化会館　大ホール

・入場者　約３００人

2　文化財保護関係

(1)　市文化財保護審議会関係

開催日	場　所	事務事業内容
11月15日（火）	市役所　正庁	市指定文化財の指定について ・大神神社境内所在の広葉杉 ・都賀町華厳寺旧蔵の阿弥陀如来立像 ・岡田嘉右衛門家の古文書 喜多川歌麿肉筆画の文化財指定申請について
1月10日（火）	栃木文化会館中会議室	市指定文化財「皆川城址」の現状変更について
3月23日（金）	栃木文化会館リハーサル室	文化財保護関連補助金･交付金の見直しについて

(2)　下都賀地区文化財保護審議会連絡協議会関係

開催日	場　　所	事　務　事　業　内　容
7月7日（木）	野木町	役員会・総会 研修会（現地視察　国指定文化財「旧下野煉化製造会社煉瓦窯」）
1月20日（金）	岩舟町 栃木市	研修会（講演会　「岩舟町寂光沢窯跡の調査成果」） 研修会（現地視察　岩舟町畳岡所在の甲塚古墳発掘調査） 研修会（おおひら歴史民俗資料館下野七廻り鏡塚古墳出土遺物見学）

(3)　栃木市郷土参考館関係

郷土の産業・教育・日常生活資料、文化財等を無料公開した。

・開館日数　３１０日

・入館者数　9,217人

(4)　下野国庁跡資料館関係

発掘された実物の瓦・漆紙文書、下野国印（推定）、木簡のレプリカ、下野国庁復元模型ほか槍鉋等の古代の大工道具等を無料公開した。

・開館日数　２５２日

・入館者数　1,846人

(5)　星野遺跡地層たんけん館・憩の森関係

星野遺跡のＥトレンチの地層を展示しているほか､出土した石器等を無料公開した。

・開館日数　３０６日

・入館者数　5,510人

(6)　その他の企画等

ア　都賀三十三箇所観音霊場めぐり（栃木市・岩舟町・小山市）

・実施日　９月１０日（土）、２４日（土）、１０月１日（土）、８日（土）、１１月３日（木）

・参加者数　２０人

イ　文化財保護関連事業の支援

市指定無形民俗文化財「百八灯流し」御神船の修理

ウ　東北太平洋沖地震に伴う文化財修理費補助

・指定及び登録の文化財建造物　１２件

・補助総額　6,331,000円

エ　資料整理

郷土資料画像データ資料の作成

(7)　その他

文化財等の調査､埋蔵文化財と開発計画との調整､郷土資料の収集管理等を行った。

学芸推進担当

1　とちぎ蔵の街美術館関係

(1)　とちぎ蔵の街美術館入館状況

平成２１年４月１日から指定管理者制度を導入した。各展覧会ごとにギャラリートークと小学生を対象としたワーク・ショップを開催し、それぞれ２３４人、１７４人の参加があった。

また、「歌麿まつり」の一環として開催した「歌麿と栃木展」では、市所蔵で喜多川歌麿の肉筆画「女達磨図」「鍾馗図」「三福神の相撲図」を展覧し、3,064 人の入館があった。

・開館期間　４月５日～３月２５日

・展覧会別入館状況

展覧会名	開館日数（日）	観覧者総数（人）	有料観覧者（人）				無料観覧者（人）	
			一　般	小中学生	ﾁﾗｼ割引等	共通券	招　待	減免等
東北地方支援企画 「東北の原風景―金山平三の世界」	59	4,061	1,179	111	291	728	513	1,239
企画展 魯山人の宇宙展	30	1,898	715	11	218	361	513	80
企画展 レトロの中に斬新なアートがあった 楽しい昭和のレトロアート展	44	2,927	1,106	86	262	729	552	192
企画展 レオナルド・ダ・ヴィンチのもう一つの遺産 栃木市所蔵レオナルドの手稿のすべて展	24	1,481	447	36	155	385	361	97
特別展 歌麿と栃木展	14	3,046	1,361	18	145	605	799	118
企画展 ポーラ文化研究所コレクション 絵双六と女性のおしゃれ展	49	1,812	524	27	76	274	484	427
収蔵品展 水滴の世界	31	1,338	665	17	89	249	239	79
総開館日数	251	16,563	5,997	306	1,236	3,331	3,461	2,232

・月別観覧者内訳

月	開館日数（日）	観覧者総数（人）	有料観覧者（人）				無料観覧者（人）	
			一　般	小中学生	ﾁﾗｼ割引等	共通券	招　待	減免等
4	23	845	324	9	108	187	122	95
5	25	1,641	699	68	135	429	244	66
6	20	2,050	360	35	103	248	218	1,086

7	21	1,423	511	10	163	225	442	72
8	22	1,282	456	53	151	326	186	110
9	22	1,645	650	33	111	403	366	82
10	19	1,066	305	32	130	325	187	87
11	19	3,461	1,503	22	170	665	973	128
12	20	440	198	3	16	103	104	16
1	24	735	251	20	46	135	238	45
2	15	1,043	298	8	39	105	205	388
3	21	932	442	13	64	180	176	57
	251	16,563	5,997	306	1,236	3,331	3,461	2,232

(2)　とちぎ蔵の街美術館運営協議会

美術館の運営を円滑に図るため運営協議会を開催した。

開　催　日	内　　容
8月22日（月）	平成23年度の展覧会について
3月16日（金）	平成24年度の展覧会について

(3)　とちぎ蔵の街美術館美術資料評価委員会

美術作品購入にあたっての評価委員会を開催した。

・開催日　３月１５日（木）

・内　容

狂歌版本１冊	『春の色』
摺物４枚	岳亭春信≪栃木連十番の内　傾城見立列仙伝≫４枚
彩画２点	清水登之≪キャンプ風景≫
	橋本邦助≪富士山≫
工芸３点	二代飯塚鳳斎≪花籃≫
	飯塚琅玕斎≪文筥≫
	斎藤文石≪花籃　銘　慈光≫

・場　所　（株）高崎倉庫

(4)　市所蔵・喜多川歌麿肉筆画の特別公開展

江戸時代の浮世絵師・喜多川歌麿の肉筆画で、市所蔵の「女達磨図」「鍾馗(しょうき)図」と「三福神の相撲図」を東日本大震災チャリティーイベントの一環として無料公開し関連資料等も展示した。

・開催日　５月３日（火）～５日（木）

2　文化会館関係

(1)　栃木市栃木文化会館

ア　栃木文化会館施設別利用状況(月別)　　(単位：人)

区分	大ホール	小ホール	展示室(屋外展示場)	リハーサル室	会議室	和室	第一練習室	第二練習室	合計
4	1,560	1,331	2,224	838	333	315	449	28	7,078
5	2,515	3,022	3,030	919	427	318	760	98	11,089
6	5,924	3,015	555	1,352	664	400	502	115	12,527
7	3,686	2,891	2,324	944	449	127	625	126	11,172
8	2,875	2,733	699	1,018	304	235	712	145	8,721
9	8,946	1,791	2,147	1,334	343	172	566	138	15,437
10	9,014	1,919	2,218	1,380	667	617	803	119	16,737
11	6,894	3,065	2,014	1,753	649	310	526	123	15,334
12	4,833	2,793	500	1,281	385	412	599	179	10,982
1	2,582	1,762	2,412	859	346	291	574	168	8,994
2	5,025	1,923	3,615	970	517	193	499	111	12,853
3	4,195	2,583	2,218	1,273	436	259	936	233	12,133
合計	58,049	28,828	23,956	13,921	5,520	3,649	7,557	1,583	143,057
月平均	4,837	2,402	1,996	1,160	460	304	629	132	11,921

イ　自主事業

(ｱ)　鑑賞型事業

事業名	開催日等	場　所	入場料	入場者数(人)
米村でんじろう サイエンスショー	9月11日（土） 1回目午後1時30分開演 2回目午後4時開演	大ホール （全席指定）	一般2000円 中学生以下 1500円	1,701
栃木市合併記念事業 仲道郁代 ピアノ・リサイタル	10月23日（日） 午後2時開演	大ホール （全席指定）	一般1000円 小中高500円 2階500円	1,021
ロビークリスマス コンサート	12月24日(土) 午後2時開演	エントランス ロビー	無料	163
音楽のおくりもの	12月25日（日） 1回目午前11時開演 2回目午後2時開演	小ホール （全席指定）	一般1000円 こども500円	689
優秀映画鑑賞推進事業 おもいで映画祭	2月25日(土) 26日(日) 午後2時開演	大ホール	1回券500円 １日券1000円 (どちらか1日) 2日間フリーパス 1300円	365

(ｲ)　参加型事業

事業名	開催日等	場　所	参加者数(人)	備　考
ホールの舞台で 演奏してみませんか	5月1日(日)、 3日(火)、4日(水) 午前10時開演	大ホール	45	1時間 3,000円
夏休みのマラソンピアノ	7月30日（土） 午前10時開演	大ホール	292	
春休みのマラソンピアノ	3月31日(土) 午前10時開演	小ホール	225	

(ｳ)　展示事業（自由参加）

事業名	開催日等	場　所	備　考
ステップアート 歌麿まつりに合わせて実施	10月12日（水）設置	エントランス大階段	
文化会館七夕飾り	6月末～7月7日	エントランスロビー	午前9時～ 午後9時30分
クリスマスツリー デコレーション	11月5日(金)～ 12月25日(日)	エントランスロビー	

(ｴ)　体験型事業

ほうぼう堂@栃木

・出演者　ほうぼう堂

・内　容

事　業　内　容	開　催　日	場　所	参加者数(人)
アウトリーチ （施設を訪問してみんなにダンスを体験してもらう）	1月17日(火) ～19日(木)	赤津小学校、部屋小学校、寺尾小学校、おおひらふじ幼稚園	168
ワークショップ （参加者と一緒にダンス体験をする）	1月16日(月) 22日(日)	大ホール	36
公　演 （会館内の全部の場所を使ったダンスを動きながら鑑賞する）	1月21日(土)	全　館	96

ウ　文化会館運営委員会会議

実　施　日	審　議　事　項
8月2日（火）	・平成22年度実績報告 ・平成23年度自主事業計画について ・栃木市文化会館条例及び施行規則の見直しについて
3月2日（木）	・平成24年度の事業計画について ・栃木市文化会館条例及び施行規則の見直しについて

(2)　大平文化会館関係

ア　文化振興関係

(ｱ)　栃木市納涼あじ祭

お囃子や盆踊り等の郷土伝統芸能の発表をメインに、ゲームコーナー等も設置し幼児から高齢者まで多くの市民に夏の夜のひと時を楽しんでもらい、ふるさとの連帯感を深めることを目的に開催した。

また祭りの名称を、従来の納涼祭に旧大平町の町花“あじさい”を加え地域性を出し、７月開催の季節感を織り込みＨ２３年度から「納涼あじ祭」とした。

・開催日　７月１６日（土）
・会　場　大平運動公園（第二多目的広場）
・運　営　栃木市大平文化協会
・参加者　約1,000人

(ｲ)　栃木市大平文化祭

広く文化への意識の高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的に各種文化団体作品展示、芸能発表、菊花展等を開催した。

・開催日　１０月２９日～１１月１９日
・会　場　大平公民館、大平文化会館、大平体育館他
・運　営　栃木市大平文化祭実行委員会
・参加者　約4,000人

イ　自主事業関係

自主事業のチケット収入として3,182千円の収入があった。

平成２２年度から、文化会館になかなか来ることのできない市民を対象に、一流の音楽家を派遣し、ふれあいと音楽の楽しさを知ってもらい、新たな客層の掘り起しを図るとともに、音楽芸術に触れる機会を提供することを目的に「音楽活性化事業」を展開しており、平成２３年度も市内各地域４か所（大平東小学校、障がい者施設もくせいの里、大平南小学校、臼井産婦人科）においてピアノリサイタルを開催し、最後に大平文化会館において有料公演を実施した。

また、大平地域をロケ地にした映画「禅・ＺＥＮ」の上映を行った。

催物名	会場	開催年月日	入場料金 高～低（円）	入場者数(人)	公演回数又は日数
（共催）ふるさとふれあい五月の風コンサート	ロビーホール	5月15日(日)	一般　500 ペア　800	200	1回公演
円楽・たい平　二人会	メインホール	6月4日(土)	一般2,500 学生1,500	480	1回公演
（共催）チェコフィルハーモニー・ゾリステン＆岩下淳子	メインホール	6月12日(日)	一律3,000	612	1回公演
親子のためのクラシックコンサート「音楽の絵本」	メインホール	7月23日(土)	大人1,300 こども800	466	2回公演

ベーゼンドルファー 演奏会ＶＯＬ.３６	メイン ホール	8月6日(土)	無料	92	1日 25組出場
（共催）宝くじ文化公演熱帯 Jazz楽団コンサート	メイン ホール	9月25日(日)	一般2,000 高校生以下 1,000	481	1回公演
（共催）NHK・Eテレ公開録画 福祉ネットワーク・公開 すこやか長寿	メイン ホール	10月1日(土)	無料	552	1回公演
（共催）公共ホール音楽活性化事業 「奈良希愛ピアノリサイタル」	メイン ホール	10月27日(木) ～29日(土)	ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ4か所 無料 本公演500	522	3日間 4+1公演
幸せを売る男 沢木　順 ～僕のミュージカル修行～	メイン ホール	12月11日(日)	一般　2,000 高校生以下 1,000	134	1回公演
ベーゼンドルファー 演奏会ＶＯＬ.３７	メイン ホール	1月29日(日)	無料	332	1日 83組出場
ハートフルシネマ 「禅・ZEN」	メイン ホール	2月11日(土)	500	580	1回上映
(共催)ふるさとふれあい和太鼓 コンサート	ロビー ホール	3月18日(日)	一般500 ペア800	152	1回公演

ウ　貸館事業

貸館事業としては、使用料として1,996千円の収入があった。

区分 (月)	施設全体の利用状況			
	使用件数(件)	使用日数(日)	使用可能日数(日)	稼働率(%)
4	16	13	25	52.0
5	20	15	26	57.7
6	33	20	25	80.0
7	42	23	24	95.8
8	27	19	26	73.1
9	32	22	25	88.0
10	51	22	25	88.0
11	28	20	26	76.9
12	31	19	21	90.5
1	25	20	23	87.0
2	36	21	22	95.5
3	31	22	26	84.6
合計	372	236	294	80.3

(3)　藤岡文化会館関係

ア　文化振興事業関係

栃木市藤岡文化祭

広く文化への意識の高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的に開催した。

また、「体験コーナー」や「みんなの美術館」のコーナーを設置し、一般参加者を募り、芸術・文化活動の裾野の広がりを期待した。

・開催日　１０月２９日（土）～１１月６日（日）

・運　営　栃木市藤岡文化団体連絡協議会

・参加者　約2,000人

イ　自主事業関係

藤岡文化会館の自主事業は、東日本大震災の被災による休館のため下半期のみの実施となった。

陸上自衛隊音楽隊によるコンサートは、立ち見が出るほど盛況で、迫力ある生演奏が披露された。ファミリー映画会では、子供達を中心に家族で楽しんでもらうため、「カーズ２」を上映した。ツートン青木をメインにした「ものまねスター大行進」では、本人にも劣らない歌唱力を持つ４人がものまねの数々を披露し、場内は熱気に包まれた。「ピアノ開放デー」は、事前に申し込んでいただいた方に、会館のピアノとステージを無料開放し、思い思いの使い方でピアノに親しんでもらった。以上のように、各世代に生の音楽芸術に触れる機会を提供した。

年間の自主事業入場者数は2,222人で、チケット収入として1,323千円の収入があった。

開催日	事　業　名	区分	入場料	内　容	入場者(人)
11月27日(日)	自衛隊音楽隊コンサート	コンサート	無料	1回公演、全席自由 陸上自衛隊第12音楽隊によるコンサート	970
1月21日(土)	ファミリー映画会 「カーズ２」	映画	無料	1回上映、全席自由	725
3月11日(日)	ツートン青木と仲間たち 「ものまねスター大行進」	コンサート	3,000円	1回公演、全席指定 ツートン青木、歌真呂、藤川なお美、たっつうんによるものまねショー	441
3月27日(火) 3月28日(水)	ピアノ開放デー	住民参加	無料	会館のピアノで練習やミニコンサートに利用、ピアノに親しんでいただく企画	86

ウ　貸館事業関係

東日本大震災の被災による休館のため、９月１日から再開した。年間利用者は12,917人で、使用料として626千円の収入があった。

月	利用者数（人）	月	利用者数（人）
9月	491	1月	1,666
10月	3,589	2月	24
11月	2,762	3月	2,589
12月	1,796	計	12,917

(4)　都賀文化会館関係

ア　文化振興関係

第３５回　栃木市都賀町文化フェスティバル

都賀町地域内で芸術・文化活動を行っている人々が一堂に会し、作品の発表と交流の場を設け、文化・芸術への意識の高揚及び情報の交換を図ることを目的として開催した。

・開催日　１０月２２日（土）～１１月１０日（月）

・運　営　文化フェスティバル実行委員会

・参加者　約 3,000 人

イ　自主事業関係

自主事業のチケット収入としては、1,404 千円の収入があった。

地域性や嗜好を生かし、音楽芸術にふれる機会を提供することを目的に事業を開催した。震災後の自粛ムードもあり、自主事業の入場者数も低調な結果であった。

開催日	事業名	区分	入場料	内容	入場者(人)
6 月 18 日（土） 19 日（日）	ピアノ・ステージの開放	市民参加型	無料	会館のステージやピアノを開放し市民にレッスンや演奏を楽しんでいただきステージの気分を味わってもらう目的で実施	63
9 月 23 日（金）	アラウンド 40 メモリーコンサート	コンサート	4,000 円	中高年層向けコンサート 杉山清貴・沢田知可子・辛島美登里・中西保志が出演	351
11 月 23 日（水）	歌謡ウェイ・スター・ショー	コンサート	前売 2,000 円 当日 2,500 円	地域歌謡団体との共催により三部構成で実施 一部　カラオケのど自慢 二部　近隣歌手による歌謡ショー 三部　歌とトークショー（佳山明生出演）	376

ウ　貸館事業

貸館事業としては、年間使用料 1,787 千円の収入があった。

東日本大震災により、ホール天井の一部損壊があり、２週間ほど修理期間を要したが、前年と比較して約 1.87 倍の会館使用料の伸びとなった。　　（単位：人）

区分（月）	ホール	舞台のみ	楽屋	リハーサル室	会議室	ギャラリー
	入場者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	入場者数
4	1,886	72	20	20	24	60
5	950	10	70	170	130	25
6	354	80	30	66	90	20
7	565	178	30	82	85	50
8	40	74	60	119	101	30
9	861	196	8	46	106	120
10	2,876	210	279	346	320	1,320
11	2,766	15	218	219	263	334
12	1,640	190	80	110	138	90
1	253	45	3	3	48	38
2	430	0	90	70	76	36
3	880	28	32	43	69	30
合　計	13,501	1,098	920	1,294	1,450	2,153
月平均	1,125	92	77	108	121	179

3　図書館関係

(1)　栃木市内全図書館共通事項

図書館協議会

	月　日	協議内容
第1回	9月28日（水）	平成22年度管理運営状況等実績報告について 平成23年度事業計画等（中間報告）について
第2回	2月29日（水）	平成24年度事業計画等について 図書館基本計画について

(2)　栃木市栃木図書館

ア　自主事業

(ｱ)　幼児・児童向け事業

a　おはなし広場

・開催日　毎月第２・第４土曜日　午前１０時３０分～

・出　演　りんごの会

・参加者　２７８人（大人１１３人、子ども１６５人）

・よみきかせ　「語り　栃木の昔ばなし」ほか

b　特版おはなし広場　映画「おこりじぞう」

・開催日　８月６日（土）

・参加者　１３人

c　特版おはなし広場　春一番・むかしばなしの花咲いて

・開催日　３月２５日（日）

・参加者　３０人

d　えほんデビュー

・開催日　毎月第３土曜日　午前１１時～

・出　演　図書館職員

・参加者　合計　９２人

e　親子で楽しむ映画とおはなしの会

・実施期間　７月３０日～１２月３日

・公　演　図書館職員、下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会

・参加者　合計　８４人

・内　容

7月30日（土）	第１回「チョッとこわ～い話」
8月21日（日）	第２回「戦争と平和のはなし」
10月29日（土）	第３回「大切なことってなあに？」
12月3日（土）	第４回「心あたたまる話」

f　その他の幼児・児童向け事業

(a)　工作教室「ブックバックを作ろう」

・開催日　４月２日（土）

・参加者　１９人

(b)　こども読書週間しおりプレゼント（手作りしおり）

・開催日　４月２３日（土）

・参加者　２００人

(c)　多読賞表彰

昨年度の貸出点数上位２０人に賞状とメダルを贈呈

・参加者　２０人

(d)　子ども映画会「ちびまる子ちゃん恐怖のニワトリ小屋そうじ」

・開催日　６月４日（土）

・参加者　５３人

(e)　全国訪問おはなし隊（キャラバンカー）

・公　演　講談社おはなし隊

・実施日　６月１１日（土）

・参加者　３９人

(f)　幼児読書感想画展

未就学児童の感想画を読書週間期間内に展示

・期　間　１０月２９日（土）～１１月３日（木）

・参加者　２７６人ほか

(ｲ)　講座・講演会

a　「語りの午後」

・開催日　７月２４日（日）

・講　師　下野民話館とちぎ　山野上　美代子氏

・参加数　２０人

b　「言葉の力・書の力」

・開催日　８月２７日（土）

・講　師　相田みつを美術館長　相田　一人氏

・参加者　８０人

c　講座　「栃木の歴史再発見」

区　分	内　容	開催日	講　師	参加数(人)
第1回	中世の鍋山衆	11月6日（日）	栃木県立博物館 特別研究員 江田 郁夫氏	28
第2回	野州麻と栃木	11月13日（日）	栃木県立博物館 主任研究員 篠﨑 茂雄氏	22

d　狂歌関連展示会及び講演会

(a)　栃木の狂歌を読み解く　下皆川太平連太平山神社奉額２００年記念展

・開催日　１１月１９日（土）、２０日（日）

・作成者　ザ・とちぎ

(b)　講演会　「栃木の狂歌師」

・開催日　１１月２０日（日）

・講　師　栃木県立矢板東高等学校教諭　竹末　広美氏

・参加数　３０人

e　文楽鑑賞講座　「文楽へのいざない」

・開催日　１１月２６日（土）

・講　師　元栃木市教育長　有澤　弘一氏

・参加数　６５人

f　朗読会「版画の向こう側の物語」

・開催日　１２月１１日（日）

・出演者　青木　ひろこ氏　早乙女　はるみ氏

・参加数　３０人

g　図書館朗読サロン　「冬・オカリナの音色にのせて太宰治を読む」

・出演者　朗読を楽しむ会メンバー

・参加数　４５人

(ｳ)　図書館祭り

・開催日　１０月３０日（日）

・内　容　雑誌および寄贈本のリサイクル

企　　画	参加者（人）
子ども語り部「防災の伝え」	24
「エコクラルト小物」	12

イ　その他の事業

(ｱ)　館内展示企画

「装丁のヒミツ」「戦国時代を生きた女性たち」ほか

(ｲ)　選書ツアー

・選書会場　紀伊國屋書店新宿南店

・実施状況

実施日	参加者（人）
10月1日（土）	9
2月21日（木）	7

(ｳ)　広報活動

・栃木市栃木図書館通信　紫陽花

・キッズとしょかんだより

・イベント広報配布（市内幼稚園・保育園の全園児）

・ケーブルテレビ静止画面広告

・ホームページによる広報

・広報とちぎへの記事掲載「栃木市図書館お知らせ」（通年）

(ｴ)　施設見学

国府北小３年生	56人
寺尾中央小	17人
国府南小・大宮南小３年生	19人
栃木第三小３年生	76人
真名子小４年生	12人
栃木中央小２年生	91人
合計　６件	271人

(ｵ)　職場体験学習

栃木南中２年生	5人
皆川中２年生	3人
栃木東中２年生	3人
東陽中２年生	3人
吹上中２年生	3人
寺尾中２年生	3人
青藍泰斗高２年生	4人
合計　７件	24人

(ｶ)　移動図書館

・巡回ステーション　２４か所

(ｷ)　宅配の実施

・利用者　６人

ウ　資料の状況

(ｱ)　図書資料　（単位：点）

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
増加数	331	290	735	995	679	851
除籍数	2	1	16	5	3	7
総数	11,485	9,700	26,108	33,461	16,158	17,239
構成比	4.0%	3.4%	9.1%	11.6%	5.6%	6.0%

分類	産業	芸術	言語	文学	郷土資料	その他	合計
増加数	279	789	168	2865	417	905	9,304
除籍数	11	9	1	44	0	8	107
総数	7,465	21,281	5,179	110,714	12,165	16,744	287,699
構成比	2.6%	7.4%	1.8%	38.5%	4.2%	5.8%	100.0%

(ｲ)　視聴覚資料　（単位：点）

分類	レコード	カセットテープ	ＣＤ	ＣＤ－ＲＯＭ
増加数	－	－	461	5
総数	510	2,312	7,289	77
構成比	3.5%	15.8%	49.9%	0.5%

分類	ＤＶＤ	ＤＶＤ－ＲＯＭ	ビデオ	合計
増加数	434	13	－	913
総数	1,774	48	2,617	14,627
構成比	12.1%	0.3%	17.9%	100.0%

(ｳ)　逐次刊行物　（単位：種）

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
10	8	130	90	238

エ　貸出状況

(ｱ)　貸出人数　（単位：人）

月	図書館			うち移動図書館				
	開館日数	貸出人数	一日平均	巡回日数	巡回回数	貸出人数	一日平均	一回平均
4	26	7,160	275	16	92	188	12	2
5	27	7,681	284	15	87	235	16	3
6	26	7,603	292	18	103	281	16	3
7	25	7,721	309	14	80	173	12	3
8	27	8,681	136	19	110	238	13	2

9	20	5,984	299	12	66	205	17	3
10	27	7,892	292	16	92	353	22	4
11	26	7,595	292	16	93	316	20	3
12	26	7,045	270	17	95	295	17	3
1	24	7,275	303	15	85	285	19	3
2	25	7,326	293	17	98	359	21	4
3	23	7,356	320	13	73	170	13	2
計	302	89,319	296	188	1,074	3,098	16	3

(ｲ) 貸出点数 (単位：点)

月	図書館			うち移動図書館				
	開館日数	貸出点数	一日平均	巡回日数	巡回回数	貸出点数	一日平均	一回平均
4	26	31,969	1,230	16	92	774	48	8
5	27	33,897	1,255	15	87	784	52	9
6	26	32,495	1,250	18	103	835	46	8
7	25	34,448	1,378	14	80	684	49	9
8	27	38,732	1,435	19	110	1,120	59	10
9	20	27,671	1,384	12	66	656	55	10
10	27	36,127	1,338	16	92	1,116	70	12
11	26	34,413	1,324	16	93	1,068	67	11
12	26	33,086	1,273	17	95	1,187	70	12
1	24	34,129	1,422	15	85	1,094	73	13
2	25	33,976	1,359	17	98	1,377	81	14
3	23	34,769	1,512	13	73	713	55	10
計	302	405,712	1,343	188	1,074	11,408	61	11

(ｳ) 分類別貸出点数 (単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	1,963	675	1,927	1,425	1,220	2,979	662	1,399	252	11,791	7,676	31,969
5	2,226	759	2,182	1,524	1,282	3,082	792	1,588	301	11,842	8,319	33,897
6	2,208	706	2,100	1,426	1,190	2,936	721	1,563	289	11,376	7,980	32,495
7	2,172	719	2,286	1,661	1,508	2,861	613	1,514	286	12,192	8,636	34,448
8	2,370	773	2,616	1,713	1,673	3,106	726	1,721	308	13,862	9,864	38,732
9	1,868	639	1,723	1,294	1,032	2,399	501	1,141	232	10,039	6,803	27,671
10	2,425	696	2,179	1,536	1,328	3,288	640	1,425	265	12,851	9,494	36,127

11	2,241	714	2,038	1,397	1,395	3,073	717	1,402	317	12,379	8,740	34,413
12	2,139	706	1,862	1,436	1,321	2,994	642	1,352	268	12,006	8,360	33,086
1	2,360	786	1,959	1,578	1,265	3,135	630	1,450	270	12,199	8,497	34,129
2	2,411	704	1,943	1,522	1,322	3,205	655	1,467	297	11,869	8,581	33,976
3	2,410	749	2,091	1,456	1,325	3,109	623	1,392	243	12,447	8,924	34,769
計	26,793	8,626	24,906	17,968	15,861	36,167	7,922	17,414	3,328	144,853	101,874	405,712

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ　利用者登録状況

(ｱ)　新規登録状況　（単位：人）

月	新規登録者数	うち移動図書館車	登録削除	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	137	11	33	63,995	－	153	64,148
5	95	3	26	64,064	－	153	64,217
6	119	3	27	64,156	2	☆153	64,309
7	148	2	65	64,239	－	153	64,392
8	154	2	38	64,355	－	153	64,508
9	116	57	28	64,443	2	155	64,598
10	78	6	12	64,509	1	156	64,665
11	67	4	13	64,563	1	157	64,720
12	59	1	6	64,616	1	158	64,774
1	62	3	6	64,672	－	158	64,830
2	66	2	19	64,719	－	158	64,877
3	72	1	17	64,774	－	158	64,932
計	1,173	95	290	64,774	7	158	64,932

※貸出カード統一化による利用者統合のため、登録の削除が実施されている

☆２団体登録削除のため団体合計としては増減なし

(ｲ)　年齢別利用者登録状況　（単位：人）

年齢	新規登録者数		総数	
	図書館	うち移動図書館車	図書館	うち移動図書館車
～　６	95	0	321	3
７～１２	318	64	1,891	94
１３～１５	78	5	1,361	65
１６～１８	36	0	1,773	58
１９～２２	68	0	3,057	92
２３～２９	97	3	7,597	326
３０～３９	164	4	17,868	662

４０～４９	97	2	11,743	183
５０～５９	78	1	7,215	331
６０～	142	16	11,946	658
合計	1,173	95	64,774	2,472

(ｳ) 予約・リクエスト件数 （単位：件）

月	予約件数			リクエスト件数		合計
	図書館	うち移動図書館車	うちｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	図書館	うち移動図書館車	
4	2,173	93	1,426	177	7	2,350
5	2,508	138	1,698	141	6	2,649
6	2,801	240	1,797	162	14	2,963
7	2,560	72	1,567	209	8	2,769
8	2,642	144	1,605	173	7	2,815
9	2,379	207	1,504	127	8	2,506
10	2,545	120	1,643	183	3	2,728
11	2,564	154	1,671	125	10	2,689
12	2,511	114	1,695	217	14	2,728
1	2,815	104	1,844	153	6	2,968
2	3,082	121	2,193	190	10	3,272
3	3,155	99	2,129	175	13	3,330
計	31,735	1,606	20,772	2,032	106	33,767

(ｴ) レファレンス件数（レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援）

（単位：件）

月	口頭	電話	文書	計
4	321	7	0	328
5	438	6	0	444
6	419	3	0	422
7	326	15	0	341
8	593	12	0	605
9	423	12	0	435
10	377	7	0	384
11	296	23	0	319
12	315	11	0	326
1	326	20	0	346
2	253	12	0	265
3	371	6	0	377
計	4,458	134	0	4,592

(ｵ)　読書室・キャレルデスク・コピー件数（キャレルデスク＝調査研究用個人机）

（単位：件）

月	読書室	キャレルデスク	コピー件数	
			件数	枚数
4	726	446	96	484
5	1,228	562	129	585
6	1,288	686	129	502
7	1,462	673	133	616
8	1,845	690	131	806
9	945	476	102	379
10	1,548	619	126	553
11	1,507	558	137	694
12	1,359	496	131	1,568
1	1,367	657	134	750
2	1,526	652	112	677
3	677	524	131	532
計	15,478	7,039	1,491	8,146

(ｶ)　相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	1,691
借受数	1,626

第６節　伝建推進室

〔総括概要〕

「蔵の街」の特色ある歴史的町並みを、良好な状態で次世代に引き継いでいくとともに、魅力ある商業地と住み続けられる環境を造るため、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区の指定と、その周辺について景観法に基づく景観に配慮したまちづくりを行うという基本方針により、地区の指定の取り組みを進めている。

伝建推進担当

1　伝統的建造物群保存事業に関すること

(1)　栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の決定について

・都市計画決定　平成２４年３月２３日告示（都市計画課）

・保存計画決定　平成２４年３月２３日告示

(2)　栃木市伝統的建造物群保存事業補助金交付要綱制定　平成２４年３月２３日告示

(3)　栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会について

市長からの諮問に対し、「栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会」を開催した。

開催日	審　議　案　件
2月2日(木) (第3回)	栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区の保存計画（案）について 審議の結果、保存計画（案）について、意見を付し異存ないことを答申

(4)　栃木市伝統的建造物群保存地区指定推進協議会について

伝統的建造物群保存地区の区域や基準等の作成にあたり、学識経験者や地元の関係者による栃木市伝統的建造物群保存地区指定推進協議会を開催し、案を策定した。

・栃木市伝建地区指定推進協議会　　１回

・栃木市伝建地区指定推進協議会専門部会　　２回

(5)　指定に向けた説明会等について

伝統的建造物群保存地区の指定に向けて、地元に対して制度の概要や今後の手続き等についての説明会を開催した。

ア　嘉右衛門町地区説明会

実施日	場　所	内　容
12月2日(金)	神明神社社務所	伝建制度について 都市計画決定手続きについて

イ　広報とちぎの掲載

５月号掲載

ウ　伝建かわら版の配布

伝建かわら版３号（栃木町地区、嘉右衛門町地区）	６月配布
伝建かわら版４号（嘉右衛門町地区）	１１月配布
伝建かわら版５号（嘉右衛門町地区）	１２月配布

伝建かわら版６号（嘉右衛門町地区）	１月配布
伝建かわら版７号（嘉右衛門町地区）	３月配布

(6)　東日本大震災による歴史的な建物等の被害調査

小山工業高等専門学校、東京都市大学と合同で実施

・実施時期　６月～９月

第７節　大平教育支所

〔総括概要〕

教育総務担当において、児童生徒、教職員等の安心・安全な学校づくりのため、学校施設の耐震化や施設の延命化を図るための改修工事を実施した。

また、各小中学校における特色ある学校づくりの支援をするための各種事業を実施した。

まず、学校施設の耐震化としては、大平東小学校及び大平南小学校の屋内運動場の耐震診断、設計業務を実施し、大平中央小学校については屋内運動場耐震診断業務を実施した。中学校においては、大平中学校校舎等の耐震診断業務を実施した。

次に、学校施設の整備事業として、大平東小学校の家庭科室及び理科室改修工事を実施した。また、平成２４年度大平中央小学校でのクラス数増加に対応するため、相談室・日本語教室移設改修工事を実施した。

学校の管理運営面については、小学校４校、中学校２校計６校の各種保守点検及び施設の維持補修を行った。また、各種教材・教具・備品等の整備充実を図った。

平成２３年度で５年目となった「子どもの安全を守る活動強化事業」については、地域で活躍する児童の登下校時の見守りボランティアに対し、その組織を充実させるために奨励費を支給したほか各学校ＰＴＡで実施しているスクールガードについてスクールガードリーダーによる防犯指導等を実施した。

また、不登校児童生徒の解消を目指し、教育相談員４名を配置した「適応指導教室（あじさい教室）」の運営では、電話相談等への対応も行った。

中学校においては、各校に心の教室相談員を各１名ずつ配置し、生徒の悩み相談や個別学習指導に対応することにより不登校生徒の減少を目指した。

生涯学習担当は、個人や仲間と楽しく学びながら自分の考え方や生き方を変えるきっかけをつかむことを支援するため、様々な学習機会を提供した。

また、子どもたちが地域における学習に積極的に参加し、のびのびと個性にあふれ、豊かな心を育むことができるよう努めた。

さらに、地域の教育力向上のために、学校・家庭・地域の連携強化を図りながらふれあいの学習を推進するとともに、青少年リーダーの計画的な養成や青少年への体験活動機会の提供を行いながら、青少年の健全育成に努めた。

スポーツ推進については、社会体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保に努めるとともに、大平地区体育祭や地区体育協会の協力を得てスポーツ教室を開催し、市民ひとり1スポーツの推進を図るとともに生涯スポーツの普及に努めた。

教育総務担当

1　学校施設の整備状況

小中学校施設整備工事費	（　２件）	9,156,000円
小中学校維持補修費	（　５２件）	4,906,698円
小学校耐震補強事業費	（　３棟）	10,830,750円
中学校耐震補強事業費	（　５棟）	9,019,500円
小中学校設備保守点検等委託料	（　４４件）	8,327,907円

（手数料含む）

(1)　主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工　事　概　要	工事費(円)
施設整備工事	校舎	大平東小	建築工事　管理棟内部改修工事（家庭科室床及び職員室天井） 機械設備工事　家庭科室配管改修工事 理科室ガス配管改修工事 電気設備工事　職員室照明改修工事 理科室電源改修工事	6,478,500
		大平中央小	建築工事　直接仮設工事 内部改修工事 建具工事 解体処分工事 機械設備工事　空調設備設置工事 電気設備工事　空調電源工事	2,677,500
維持補修工事	校舎・校庭等	大平東小	プール濾過設備修繕、体育館天井補修工事、プール用シャワーバルブ修繕、給食用コンテナホール排水ポンプ修繕、体育小屋シャッター修理　等	1,188,398
		大平南小	防犯灯修繕、浄化槽ブロワー修繕、ネットチェーン修繕、受水槽(高架水槽)漏水修繕、暖房機排気筒補修、小便器用給水栓修繕　等	711,375
		大平西小	体育館電灯盤内ブレーカー不良修繕、体育館天井補修工事、プール濾過設備修繕、配膳室扉錠修理等	772,380
		大平中央小	水銀灯用自動点滅器修繕、プール用給水仕切弁修繕、トイレ給水金具修繕、大便器用給水栓修繕高架タンクドレン配管修繕、校舎北外灯修理　等	250,835
		大平中	男子トイレブース改修、貯水槽給水管漏水修繕、プールトイレ浄化槽修繕、トイレドア交換、廊下壁点検修理、教室黒板修繕　等	1,275,955
		大平南中	部室棟錠交換、プール棟給水管漏水修繕、蛍光灯不良交換、弓道場オーバースライダー修理、物置雨樋架け替え工事、揚水配管漏水修繕　等	707,755

(2)　耐震補強事業

業務名称	対象施設	学校名	業　務　概　要	委託費(円)
耐震診断及び耐震補強設計業務	屋内運動場	大平東小	屋内運動場（552 ㎡）　1 棟 耐震診断業務及び耐震補強基本計画策定業務　2,257,500 円 耐震補強実施設計業務　2,047,500 円	4,305,000
		大平南小	屋内運動場（621 ㎡）　1 棟 耐震診断業務及び耐震補強基本計画策定業務　2,315,250 円 耐震補強実施設計業務　2,205,000 円	4,520,250
		大平中央小	屋内運動場（813 ㎡）　1 棟 耐震診断業務　2,005,500 円	2,005,500
	校舎等	大平中	教室棟西　（2,049 ㎡） 教室棟東　（1,696 ㎡） 管理棟　（1,599 ㎡） 屋内運動場（1,184 ㎡） 技術棟　（　340 ㎡）　計５棟 耐震診断業務　9,019,500 円	9,019,500

(3)　主な学校設備保守点検業務委託　（単位：校）

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	4	2
消防設備保守点検委託	4	2
給食用ダムウェーター保守管理委託	3	1
機械警備委託	4	2
し尿浄化槽水質検査委託	2	2
し尿浄化槽維持管理委託	2	2
し尿浄化槽清掃委託	2	2
プール循環浄化装置保守委託	4	1
受水槽高架水槽清掃業務委託	4	2

2　コンピュータ整備状況　（単位：台）

学校名	パソコン教室	校務用	合　計
大平東小学校	41	19	60
大平南小学校	41	21	62
大平西小学校	41	20	61
大平中央小学校	41	27	68
大平中学校	41	29	70
大平南中学校	41	29	70
合　計	246	145	391

3　学校教育に関する事業

(1)　要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

実施状況

小学校	47人	2,671,016円
中学校	30人	2,631,630円
計	74人	5,302,646円

(2)　特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

小学校	12人	391,479円
中学校	8人	421,426円
計	20人	812,905円

生涯学習担当

1　大平公民館関係

(1)　公民館別使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
大　平　公　民　館	1,615	36,174	98,880
大平西地区公民館	380	3,725	7,350
大平南地区公民館	335	3,150	2,940
大平東地区公民館	232	2,540	117,600
計	2,562	45,589	226,770

(2)　生涯学習推進関係

ア　部活動指導充実事業

放課後の課外活動（スポーツや文化活動）に専門的技術を要した指導者を配置することで、児童生徒の能力の向上及び地域人材の活用を図った。

・実績

実　施　校	指導者数（人）	指導日数（日）
大平中学校ハンドボール部	1	131
大平東小学校バレーボール部	1	242

イ　とちぎ未来アシストネット事業

地域と学校を結ぶ地域コーディネーターを配置し、登録した学校支援ボランティアを活用し、地域の教育力の向上と教員のきめ細やかな指導を行う時間の確保を目指した。

・ボランティアが学校で活動した日数　　延べ４１９日

(3)　成人教育関係

ア　成人式関係

実施日	会　　場	会　議　名　等	出席者数（人）
8月25日（木）	大平公民館	第1回 成人式実行委員会	10
9月28日（水）	大平公民館	第2回 成人式実行委員会	10
10月19日（水）	大平公民館	第3回 成人式実行委員会	10
11月16日（水）	大平公民館	第4回 成人式実行委員会	10
1月7日（土）	大平文化会館	成人式リハーサル	10
1月8日（日）	大平文化会館	平成24年成人式	235

イ　公民館講座

事　業　名	場　　所	参加者(人)	講師(敬称略)	回数(回)
パソコン入門コース	大平公民館	15	おおひらパソコンクラブ	10
パソコンデジタル写真コース	大平公民館	15	おおひらパソコンクラブ	10
健康ウォーキング教室	大平公民館	16	小宮　剛	5
庭木の剪定教室	大平中学校	20	富山　博	6
パン作り教室	大平公民館	16	岡　俊恵	5
フォークダンス教室	大平公民館	15	外塚　裕子	5
家庭菜園教室	大平公民館	14	猿山　泰男	6
男の料理教室	大平公民館	11	杉山　敦子	5
陶芸教室	西地区公民館	7	大森　博視	10
ビーズ教室	大平公民館	7	松尾　俊江	5
親子クッキング教室	大平公民館	4	隅田　栄子	1
さわやかシルバーセミナー	東地区公民館	21	若菜　まつ　他	6
麺つくーる	大平公民館	8	軽部　静雄	5
ちょっぴりスキルアップ講座	大平公民館	20	生澤　渉　他	5
勇気をだしてハロー	大平公民館	8	椎名　澄江	6
色えんぴつ画入門	大平公民館	20	金　　将平	6
家族が喜ぶ洋菓子	大平公民館	19	鈴木　常敏	3
パソコン入門	大平公民館	15	おおひらパソコンクラブ	10

(4)　青少年教育関係

ア　放課後子ども教室

放課後や週末などの子供たちの安全な・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て子供たちが勉強、スポーツ、文化、地域住民との交流活動を実施することにより、心豊かに育まれる環境づくりを推進するため、シルバー大学校卒業生で構成するネットワークみなみ大平に委託し、年間１１回放課後子ども教室を開催した。

イ　わくわく野外体験事業

自然とのふれあいの中で､学校･年齢の違う仲間と集団生活を過ごすことにより、協調性や積極性を養うことを目的に、小学校４～６年生を対象に藤岡地域内にある渡良瀬遊水地を会場に日帰りで野外体験、レクリエーションなどを行った。

ウ　リーダー研修の実施

同じ地域に住んでいる高校生及び中学生が、その地域を活動の場として有益な奉仕活動を行うことで、自己発見・課題解決能力及び社会的行動力を習得することを目的としたジュニアリーダーを養成するため、研修会を実施した。

・日　　時　８月５日（金）、６日（土）

・場　　所　栃木県なす高原自然の家

・参加人数　１０９人

エ　冒険遊び場の設置

「自分の責任で自由に遊ぶ」をテーマに、公民館の西側にプレイパークを整備し様々な活動を行った。

実　施　日	事　　業　　名	参加数(人)
6月11日（土）	さつまいも苗を植えよう・ホットケーキ作り	30
7月23日（土）	藍の葉染め体験・太陽光でゆで卵つくり	30
8月27日（土）	夏休みイベント	80
9月24日（土）	ネイチャーゲームをやろう	20
10月8日（土）	木の実のクラフトやベーゴマ体験	30
11月5日（土）	遊ぼうパン作り・木工工作体験	30
11月26日（土）	木工工作「昆虫を作ろう」	30
12月10日（土）	焼き芋大会・芋版の年賀状つくり	20
12月24日（土）	アウトドアクッキング（バームクーヘン作り）	20
1月7日（土）	餅つき大会・昔あそび	30
2月25日（土）	キーマカレーと石窯でナン作り	20
3月24日（土）	バルーンで巨大オブジェ作り	30

(5)　社会教育関係団体育成

子ども会育成会・女性会等の育成

各団体の事業計画から実施について助言、援助を行い、各団体の自主的活動に協力するとともに補助金等を交付した。

(6)　おおひら歴史民俗資料館関係

平成２２年度より指定管理者制度を導入し、一年目の本年度は利用者の安全確保と居心地の良い空間づくりを目指し、施設整備を重点的に行った。また、入館者の増加を図るため、長屋門を活用しワークショップ等を行った。

発掘された出土遺物や古代から近代にかけての生活用具等を公開した。

・開館日数　２８０日

・入館者数　3,590人

(7)　栃木市大平図書館

ア　自主事業

(ｱ)　幼児・児童向け事業

a　おはなししゃぼんだまの絵本の読み聞かせ

・開催日　毎月第１土曜日、毎月第２・第４金曜日

・出　演　おはなししゃぼんだま

・参加者　５９７人（子ども３２２人、おとな２７５人）

b　読書大好きおおひらっ子“たくさん読んだで賞”

・期　間　４月２３日（土）～５月１５日（日）

・参加者　２５９人

c　全国訪問おはなし隊＆おはなししゃぼんだま

・開催日　６月４日（土）

・参加者　６４人

d　こわい絵本の読み聞かせ

・開催日　７月３１日（日）、８月７日(日)、１３日(土)、１４日(日)、
２０日（土）、２１日（日）、２９日（日）

・出　演　図書館長・図書館スタッフ

・参加者　合計　９１人

（７月２９日（金）の「こわい本棚落成竣工式」の参加人数を含む）

e　クリスマスの催し物

事業名	実施期間	参加者(人)
みんなで飾ろうクリスマス	12月6日（木）～18日（火）	260
ちっちゃいツリーを作ろう	12月13日（木）～24日（月）	98
サンタさんと記念撮影	12月23日（金）～25日（月）	47

f　おしゃべりはうすのおはなし会

・開催日　３月２４日（土）

・参加者　３４人

(ｲ)　講座・講演会

a　図書館職員がおススメする絵本講座

・開催日　５月１９日（木）、２２日（日）
９月２８日（水）、１０月２日（日）

・出　演　図書館スタッフ

・参加者　合計　５３人

b　チャリティー寄席

・開催日　６月１８日（土）

・出　演　真岡落語研究会

・参加者　５４人

c　はなみずきのおはなし教室

・開催日　６月２５日（土）、２月２５日（土）

・出　演　はなみずき

・参加者　合計　３８人

d　宇都宮気象台出前講座「栃木の災害事情と予防策」

・開催日　７月２８日（土）

・講　師　藤崎　健一氏

・参加者　２６人

e　ぼらいや一日本横断写真展報告会「豊かな旅をするために」

・開催日　１１月６日（日）、１２日（土）

・講　師　永島　智男氏

・参加者　合計　１４人

f　ロビーコンサート“夢歌２１”

・開催日　１１月１２日（土）

・参加者　７５人

g　児童文学作家上條さなえ氏講演会

・開催日　１２月１０日（土）

・参加者　４８人

h　新春特別企画　和太鼓“鼓響”公園

・開催日　１月１５日（日）

・出　演　鼓響

・参加者　１１１人

(ｳ)　雑誌リサイクル市

・開催日　１１月５日（土）～６日（日）

・参加者　３２７人

(ｴ)　展示・ミニミニ市民ギャラリー

・４月企画展示「親子で学ぼう　ENGLISH」ほか

・きせつの本「はる」「おでかけ」「あめ」ほか

・ミニミニ市民ギャラリー「歌川広重『東海道五十三次』額縁展」

イ　その他の事業

(ｱ)　広報活動

・大平図書館だより　奇数月発行

・ホームページによる広報

・広報とちぎへの記事掲載「栃木市図書館お知らせ」（通年）

(ｲ)　施設見学

大平東小２年生「まちたんけん」	12人
大平南小３年生	34人
大平南小３年生	33人
大平西小３年生	56人
大平西小２年生「まちたんけん」	16人
大平南小６年生	9人
部屋小２年生	22人
大平南小３年生	15人
大平南中１年生	5人
合計　９件	202人

(ｳ)　職場体験学習

小山市立豊田中	3人
大平南中２年生	4人

大平中２年生	6人
大平中２年生	6人
青藍泰斗高	4人
栃木西中２年生	2人
合計　６件	25人

(ｴ)　本の宅配収集事業

図書館の利用が困難な高齢者、障がい者、妊婦等に対し図書資料等の宅配・収集を行った。また、地域内６か所の公共施設に返却ポストを設置し、利用促進を図った。

・宅配登録者数　１７人
・宅　配　件　数　３４１件
・貸　出　冊　数　2,536冊
・返却本回収数　4,874冊

ウ　資料の状況

(ｱ)　図書資料　（単位：点）

分　類	総　記	哲　学	歴　史	社会科学	自然科学	技　術
増加数	99	99	462	744	418	458
除籍数	186	257	166	1,217	270	215
総　数	3,555	6,288	12,722	19,089	10,939	10,643
構成比	2.4%	4.3%	8.7%	13.0%	7.5%	7.3%

分　類	産　業	芸　術	言　語	文　学	郷土資料	その他	合　計
増加数	186	391	70	1,382	156	673	5,138
除籍数	184	449	128	2,387	2	389	5,850
総　数	5,115	15,190	3,706	42,877	4,613	11,661	146,398
構成比	3.5%	10.4%	2.5%	29.3%	3.1%	8.0%	100.0%

(ｲ)　視聴覚資料　（単位：点）

分　類	レコード	カセットテープ	ＣＤ	ＣＤ－ＲＯＭ
増加数	0	0	109	0
総　数	942	2,967	13,407	28
構成比	4.7%	14.9%	67.1%	0.2%

分　類	ＤＶＤ	ＤＶＤ－ＲＯＭ	ビデオ	合　計
増加数	109	0	0	218
総　数	707	0	1,921	19,972
構成比	3.5%	0.0%	9.6%	100.0%

(ｳ)　逐次刊行物　（単位：種）

新　聞		雑　誌		合　計
購　入	寄　贈	購　入	寄　贈	
8	2	106	4	120

エ　貸出状況

(ｱ)　貸出人数

月	開館日数(日)	貸出人数(人)	一日平均(人)
4	26	4,103	158
5	26	4,466	172
6	26	4,386	169
7	28	4,905	175
8	26	5,192	200
9	27	4,491	166
10	23	4,158	181
11	26	4,463	172
12	24	3,602	150
1	25	4,025	161
2	25	4,405	176
3	27	4,664	173
計	309	52,860	171

(ｲ)　貸出点数

月	開館日数(日)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	26	18,221	701
5	26	20,332	782
6	26	18,693	719
7	28	21,488	767
8	26	22,041	848
9	27	19,382	718
10	23	18,328	797
11	26	19,558	752
12	24	16,279	678
1	25	18,176	727
2	25	19,435	777
3	27	20,600	763
計	309	232,533	753

(ｳ)　分類別貸出点数　　(単位：点)

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	97	363	797	705	768	1,407	482	1,983	249	4,350	7,020	18,221
5	109	330	814	795	801	1,663	700	2,098	200	4,229	8,593	20,332
6	83	334	822	790	748	1,387	546	2,187	155	3,941	7,700	18,693
7	124	437	1,063	807	1,136	1,604	498	2,322	250	4,948	8,299	21,488
8	138	381	1,095	743	1,257	1,557	497	2,351	235	5,305	8,482	22,041

9	127	361	965	820	813	1,367	386	1,792	168	4,515	8,068	19,382
10	111	337	832	695	702	1,536	469	1,840	154	4,297	7,355	18,328
11	122	411	826	730	764	1,615	381	1,917	177	4,288	8,327	19,558
12	82	305	624	702	572	1,428	298	1,597	144	3,693	6,834	16,279
1	95	364	636	749	754	1,526	310	1,765	152	4,112	7,713	18,176
2	102	397	808	657	753	1,556	397	1,872	211	4,487	8,195	19,435
3	159	386	882	781	872	1,546	442	2,161	208	4,713	8,450	20,600
計	1,349	4,406	10,164	8,974	9,940	18,192	5,406	23,885	2,303	52,878	95,036	232,533

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

オ　利用者登録状況

(ｱ)　新規登録状況　（単位：人）

月	新規登録者数	登録削除	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	37	0	18,548	1	51	18,600
5	36	0	18,576	1	51	18,627
6	52	0	18,622	0	51	18,673
7	233	0	18,849	0	51	18,900
8	85	0	18,917	0	51	18,968
9	35	0	18,946	0	51	18,997
10	36	0	18,973	0	51	19,024
11	33	0	18,996	0	51	19,047
12	24	0	19,012	0	51	19,063
1	29	0	19,036	0	51	19,087
2	40	0	19,072	1	52	19,124
3	41	0	19,111	0	52	19,163
計	683	0	19,111	3	52	19,163

(ｲ)　年齢別利用者登録状況　（単位：人）

年齢	新規登録者数	総　数
～ 6	37	142
7～12	254	1,451
13～15	15	763
16～18	10	782
19～22	23	1,141
23～29	54	2,485
30～39	114	3,973
40～49	64	2,825
50～59	35	2,155
60～	77	3,394
合計	683	19,111

カ　各種利用状況

(ｱ)　予約・リクエスト件数　　（単位：件）

月	予約件数			リクエスト件数	合計
	図書館	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	合計		
4	463	1,455	1,918	19	1,937
5	411	1,733	2,144	9	2,153
6	464	1,837	2,301	14	2,315
7	477	1,590	2,067	15	2,082
8	432	1,631	2,063	3	2,066
9	486	1,515	2,001	28	2,029
10	455	1,675	2,130	17	2,147
11	370	1,702	2,072	17	2,089
12	315	1,719	2,034	22	2,056
1	344	1,874	2,218	17	2,235
2	450	2,225	2,675	14	2,689
3	464	2,154	2,618	18	2,636
計	5131	21,110	26,241	193	26,434

(ｲ)　レファレンス件数とコピー枚数（レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援）

月	レファレンス件数（件）	コピー枚数（枚）
4	134	79
5	222	64
6	226	147
7	200	76
8	319	105
9	345	173
10	315	92
11	279	128
12	201	163
1	234	73
2	238	80
3	282	160
計	2,995	1,340

(ｳ)　相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書資料数（件）
貸出数	634
借受数	505

2　スポーツ振興関係

(1)　社会体育施設

ア　施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
大平体育館	昭和49年	7,180.04	1,779.46	鉄筋コンクリート造 ※敷地は公民館等含む
大平南体育館	昭和59年	7,300.14	1,162.31	鉄筋コンクリート造
大平武道館	昭和55年	1,698.97	842.00	鉄筋造(平成元年増築)
大平運動公園野球場	平成5年	40,000	285.05	鉄筋コンクリート造
大平運動公園多目的運動広場	平成7年	48,000		
大平運動公園第２多目的広場	平成3年	8,600		
大平運動公園テニスコート	平成9年	7,000		

イ　利用状況　（単位:人）

施設名／月	大平体育館	大平南体育館	大平武道館	大平運動公園野球場	大平運動公園多目的広場	大平運動公園第２多目的広場	大平運動公園テニスコート	合計
４月	628	819	250	1,080	81	400	2,127	5,385
５月	671	1,383	200	180	230	435	1,955	5,054
６月	1,247	1,397	207	1,260	870	460	2,157	7,598
７月	729	1,065	200	448	462	400	2,288	5,592
８月	671	1,027	200	250	140	400	2,973	5,661
９月	740	1,228	200	380	100	436	3,065	6,149
10月	1,001	1,211	200	60	2,600	410	2,948	8,430
11月	689	1,165	200	60	490	410	2,993	6,007
12月	1,072	886	200	225	60	410	2,455	5,308
１月	667	1,071	200	70	60	420	2,100	4,588
２月	671	1,073	200	210	90	440	2,306	4,990
３月	979	1,126	200	175	188	400	2,107	5,175
合計	9,765	13,451	2,457	4,398	5,371	5,021	29,474	69,937
平均	813	1,121	205	367	448	418	2,456	5,828

(2)　学校開放施設関係

ア　利用状況

学校名／月	大平東小	大平南小	大平西小	大平中央小	大平中	大平南中	合計
4月	－	11	－	4	10	12	37
5月	14	38	6	16	27	31	132
6月	12	41	9	18	29	35	144

7月	13	42	9	17	28	34	143
8月	14	36	7	17	28	33	135
9月	12	37	8	17	29	33	136
10月	5	18	7	12	23	32	97
11月	4	22	8	11	25	32	102
12月	5	20	7	10	22	27	91
1月	4	14	3	9	23	24	77
2月	4	18	4	13	24	32	95
3月	5	11	7	14	26	35	98
合計	92	308	75	158	294	360	1287
平均	7.6	26.6	6.3	13.2	24.5	30	107.3

(3)　大平地区体育祭

「市民ひとり１スポーツ」の推進とともに、市民の健康の増進と体力の増強を図り、心身ともに健やかで明るい家庭を築くことを目的に開催した。

・開催日　１０月９日（日）

・参加者　2,600人

・会　場　大平運動公園、多目的広場、グラウンド・ゴルフ場

・競技種目　①ザ・障害物リレー
②花咲け三色すみれ
③パスして集中！メディシンボールⅡ
④大平地区記録挑戦
⑤大平ダービー
⑥じゃんけん☆百足大行進♪
⑦綱引き
⑧○・×クイズ！
⑨目指せ！ホールインワン
⑩ゲッター・ムカデⅡ
⑪少年少女混合リレー
⑫一般男女混合リレー

(4)　生涯スポーツ推進事業

ア　年間各種教室

専門部実施教室	開催曜日	会　場	参加者(人)	備　　考
剣道教室	月・水・金・日	大平武道館	1,980	日曜日は第１・３
柔道教室	水・金・土	大平武道館	2,520	土曜日は第２・４
空手教室	火・木・日	大平武道館	2,700	
弓道教室	土・日	大平武道館	810	土･日曜日は昼の部、土曜日は夜の部
サッカー教室	水・土・日	大平運動公園	4,896	水曜日は夜の部、土・日曜日は昼の部
ソフトテニス教室	火・木・金	大平体育館	248	火･木曜日は昼の部、金曜日は夜の部

卓球教室	水	大平体育館	750	
バドミントン教室	木・土	大平体育館	500	
ウエイトリフティング教室	月～土	大平運動公園	200	

イ　期間限定各種教室（寒さに負けない体力づくり）

専門部実施教室		開催日	時間	会場	参加者(人)
卓球教室		2月1日、8日、15日、22日、29日、3月7日　各日(水)	午後7時30分～9時	大平体育館	16
バドミントン教室		2月4日、11日、18日、25日、3月3日、10日　各日（土）	午後7時30分～9時	大平体育館	15
テニス教室		1月29日、2月5日、12日、19日、26日、3月4日　各日（日）	午後1時～3時	大平運動公園	13
ソフトテニス	成人	2月3日、10日、17日、24日、3月2日、9日　各日（金）	午後7時30分～9時	大平体育館	7
	小学生	1月29日、2月5日、12日、26日、3月4日、11日　各日（日）	午前10時～正午	大平運動公園	7

(5)　栃木市大平地区体育協会事業

総合大会

開催日	行事名	参加数	場所
10月9日（日）	第54回大平地区体育祭	2,600	大平運動公園
11月20日（日）	第30回大平地区マラソン大会	452	大平運動公園

第８節　藤岡教育支所

〔総括概要〕

藤岡教育支所は藤岡地区小中学校の教育環境の整備や特色ある学校づくりを支援するため、各種事務事業実施を主な分掌事務とする教育総務担当と、藤岡公民館チーム、図書館チーム、スポーツ振興チームの３チームに分かれ、それぞれ社会教育施設として公民館・歴史民俗資料館・図書館・体育館・運動公園の管理運営を行い、利用者が安全で快適に利用できる環境づくりを行う生涯学習担当で、学校教育の充実と地域住民に対するサービスの向上に努めた。

教育総務担当においては、学校の管理運営面について、将来を担う児童・生徒が高度情報化社会に的確に対応できるようにするため、教育用コンピュータの配置・整備及びインターネット接続・利用などを推進した。また、各種教材・教具・備品等の整備充実を図った。学校の施設整備については、大地震などによる学校施設の倒壊被害を未然に防止し、児童・生徒をはじめとする施設利用者の安全と災害発生時の避難場所を確保するため、校舎２棟の耐震補強工事設計業務を行った。また、児童の健康を守るため、アスベスト除去工事を実施した。

その他、安全で快適かつゆとりのある教育環境の整備のために、遊具の設置や補修、給水設備・消防用設備など老朽化した学校施設の改修･修繕などを実施するとともに、小学校４校、中学校２校計６校の施設の保守点検および維持補修を行った。

運用面では、教育環境の公平性と充実を図るため、就学援助事務等を行った。また、不登校又は不登校傾向及び学校不適応の児童生徒を対象とした栃木市不登校児童生徒適応指導教室「わたらせ教室」を運営し、児童生徒の適応指導と保護者等への教育相談及び個に応じた多様な学習の場を提供し、学校復帰に向けた手厚い指導ならびに支援を行った。また、不登校児童生徒を抱える保護者や教員を支援するため不登校児支援専門員を配置し、学校現場での対策会議や家庭訪問を行うことにより、不登校児を家庭から適応指導教室への通級に導くなど、不登校児童生徒対策に大きく寄与できた。

生涯学習担当については、公民館チームにおいて生涯学習の企画、生涯学習事業の連携・協力、情報提供及び学習相談事業、公民館、成人教育・家庭教育及び国際理解教育、社会教育団体の指導助言、視聴覚教育、文化財、歴史民俗資料館に関することを行った。図書館においては、地域住民に対するサービスの向上に努めた。

スポーツ振興については、アンケート調査の中でウォーキングへの需要が非常に高かった結果を受け、スポーツ推進委員の協力を得ながら渡良瀬遊水地、三毳山でウォーキング事業を行い、また、講師を招いてノルディック・ウォーキングの事業も行った。また、渡良瀬遊水地の水と自然に親しむ体験学習をＰＲする目的で、５月に地区体育協会と共催の形で「ウォータースポーツ・フェスタ」を開催した。

社会体育施設の管理運営については、藤岡総合体育館、藤岡弓道場、三鴨スポーツ広場の管理運営を行った。藤岡総合体育館については竣工より２０年以上が経っている為、施設の営繕を目的に平成２４年度の屋根改修工事に向けて設計業務を行った。その他、各々の施設で適宜必要な改修を行い、利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営に

努めた。社会体育学校施設の開放については、備品の修理を行い、利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営に努めた。

また、公園内にある藤岡スポーツふれあいセンターについては、情報発信基地としての機能充実を図るため、２階に展示スペースを設置した。

教育総務担当

1　学校施設の整備状況

小中学校各校アスベスト撤去工事費　（　３校）　28,570,500円

小中学校各校施設整備工事費　（　９３件）　12,389,516円

小中学校設備保守点検等委託料　（　１９件）　8,152,867円

(1)　主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工　事　概　要	工事費(円)
アスベスト撤去工事	校舎	部屋小	アスベスト撤去工事 鉄筋コンクリート造３階建 校舎東・西階段 107.4 ㎡ 鉄骨造２階建校舎トイレ 181.2 ㎡	14,490,000
		藤岡小	アスベスト撤去工事 鉄筋コンクリート造３階建 校舎東・西階段 159.8 ㎡	7,780,500
		赤麻小	アスベスト撤去工事 校舎東・西階段 80.8 ㎡	6,300,000
災害復旧工事	校舎等	藤岡小	エキスパンション改修工事	1,296,750
		三鴨小	特別教室棟トイレ修繕工事	1,291,500
		藤岡一中	エキスパンション修繕工事 クラック修繕工事 放送ケーブル修繕工事 屋外階段改修工事	5,413,800
		藤岡二中	音楽室天井修繕工事 エアコン修繕工事	1,239,000
	体育館等	藤岡小	体育館天井等修繕工事	499,800
		赤麻小	体育館玄関パラペット修繕工事 物置屋根修繕工事	787,500
		藤岡一中	武道館天井・体育館壁修繕工事 自転車置き場壁修繕工事	337,050
		藤岡二中	体育館等天井修繕工事	882,000

施設整備工事	校庭等	部屋小	山型雲梯設置工事	525,000
		全校	遊具類、藤棚、駐車場、塁ベース、自転車置き場等の修繕・改修	1,622,460
	校舎等	藤岡小	自動火災報知設備受信機修繕工事 受信機 30 回線、発信器･音響装置（ベル）・表示灯（LED）各 6 個、光電式スポット型感知器 15 個	1,155,000
		三鴨小	体育館バレーボール支柱基礎工事 ベベルギア式　床下 300 ㎜　外支柱 φ 76.3 ㎜	997,500
			新校舎ベランダ屋根張替工事 ポリカーボ板　T＝3 ㎜	461,580
		全校	誘導灯、消防用設備、給水施設、照明器具、電気系統、体育館設備等の修繕･改修	7,627,976

(2)　主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	対象施設	学校名	業　務　概　要	委託費(円)
アスベスト撤去工事監理業務委託	校舎	部屋小	アスベスト撤去工事監理業務の委託 鉄筋コンクリート造 3 階建 校舎東・西階段 107.4 ㎡ 鉄骨造 2 階建校舎トイレ 181.2 ㎡	472,500
		藤岡小	アスベスト撤去工事監理業務の委託 鉄筋コンクリート造 3 階建 校舎東・西階段 159.8 ㎡	336,000
		赤麻小	アスベスト撤去工事監理業務の委託 鉄筋コンクリート造 3 階建 校舎東・西階段 80.8 ㎡	294,000
災害復旧工事業務委託	校舎	藤岡一中	屋外階段改修工事設計業務委託	325,500
			屋外階段改修工事監理業務委託	157,500

(3)　主な学校設備保守点検業務委託　　(単位：校)

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	4	2
非常通報装置保守委託	4	2
消防設備等保守点検委託	4	2
浄化槽保守管理委託	3	－
浄化槽清掃業務委託	3	－
警備委託	4	2

簡易専用水道検査業務委託	4	2
受水槽及び高架水槽清掃業務委託	4	2
プール循環浄化装置保守点検業務委託	4	2
空調機器保守点検整備業務委託	－	1
エレベータ保守点検業務委託	－	1

2　コンピュータ整備状況　（単位：台）

学校名	パソコン教室	校務用	合　計
藤岡小学校	41	34	75
部屋小学校	41	23	64
赤麻小学校	41	25	66
三鴨小学校	41	27	68
藤岡第一中学校	41	44	85
藤岡第二中学校	41	20	61
合　計	246	173	419

3　学校教育に関する事業

(1)　要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

実施状況

小学校	21人	1,222,635円
中学校	15人	1,402,681円
計	36人	2,625,316円

(2)　特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

小学校	6人	197,369円
中学校	5人	267,955円
計	11人	465,324円

(3)　地域ぐるみ児童生徒指導

２中学校区ごとのスクールガードリーダーを中心に、学校安全ボランティアと連携し児童生徒の安全を確保した。

研修、会議等	4月13日（水）、5月11日（水）、6月15日（水）、7月5日（火）、9月29日（木）、10月21日（金）、11月7日（月）
通学路の木障切作業	9月14日（水）、15日（木）

下校見守り	328回

(4)　適応指導教室運営に関する事務

学校教育指導員(２人)が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

・適応指導教室通級人数　５人（学校復帰人数４人）

来所相談	24件
電話相談	306件
学校訪問	71件
家庭訪問	55件
合　　計	456件

(5)　不登校児支援専門員配置

不登校児支援専門員(１人)が、経験と専門知識を活かし、学校や保護者への支援を行った。

研究・研修会等	17回
保護者・学校等の相談	291回
市教委等との連携	160回
不登校児童・生徒支援	164回
学校訪問等	98回
計	730回

生涯学習担当

1　生涯学習推進関係

生涯学習市民参加型事業

(1)　発見の森セミナー（共催）

幅広い市民・年齢層の方々に参加を募り、本庁生涯学習課との共催で発見の森セミナーの一部を担当した。

・テーマ　　田中正造ゆかりの地を訪ねて

・内　容　　田中正造ゆかりの地を歩いて訪ね、田中正造の生涯やその地域の歴史を４回に分けて楽しく学ぶ

7月17日（土）	佐野市内（佐野市郷土博物館・惣宗寺等）
7月30日（土）	佐野市内（田中正造生家、浄蓮寺等）
8月20日（土）	佐野市・館林市内（雲龍寺・田中正造記念館等）
9月3日（土）	栃木市・加須市内（田中霊祠・銅像・分骨地等）

・参加者　　延べ　８０人

(2)　再発見の森セミナー

発見の森セミナーで訪ねていなかった旧谷中村について、時間をかけて詳細に訪ねることができた。

・実施日　１１月１３日（日）

・参加者　１１人

2　成人教育関係

成人式（藤岡会場）

実施日	会場	会議名等	出席者数(人)
11月30日（水）	藤岡公民館	成人式実行委員会	8
12月13日（火）	藤岡公民館	成人式実行委員会	10
12月21日（水）	藤岡公民館	成人式実行委員会	9
1月7日（土）	藤岡文化会館	成人式リハーサル	14
1月8日（日）	藤岡文化会館	平成２４年栃木市成人式(藤岡会場)	157

3　家庭教育関係

家庭教育学級

小学校の就学時健康診断時に小学校新入学の保護者を対象に親学習プログラムを活用して実施した。指導者はどーなつクラブ（家庭教育オピニオンリーダー)。

実施日	テーマ	場所	出席者数（人）
10月5日（水）	子どもの生活リズムを考えていますか？	部屋小学校	２７
10月14日（金）	子どものいいところを伸ばそう	赤麻小学校	２５
10月25日（火）	子どものいいところを伸ばそう	藤岡小学校	３９
10月26日（水）	子どものいいところを伸ばそう	三鴨小学校	２８

4　青少年教育関係

みんなのつどい

子育てについての研鑽を深め、ＰＴＡ活動および子ども会育成会活動の充実を図るため「みんなのつどい」と題した講演会を開催した。テーマは～教科書とマスコミのことば遣いと子育て～。

・開催日　２月１８日（土）

・運　営　藤岡町ＰＴＡ連合会・藤岡町子ども会育成会連絡協議会

・参加者　約８０人

5　社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、各団体の自主的活動の促進、育成のために援助、協力を行った。

・ＰＴＡ連合会

・家庭教育オピニオンリーダー会
・子ども会育成会連絡協議会
・その他、社会教育関係団体登録　５４団体　８７１人

6　公民館関係

公民館別使用状況

施　設　名	使用件数(件)	使用人数(人)	使　用　料(円)
藤岡公民館	1,102	17,613	42,080
藤岡地区公民館	188	1,867	500
三鴨地区公民館	211	3,873	1,210
部屋地区公民館	319	5,143	3,370
赤麻地区公民館	198	2,966	1,600
計	2,018	31,462	48,760

7　歴史民俗資料館関係

(1)　文化財保護事業

ア　指定文化財の保護

山王寺大桝塚古墳・赤麻古墳の草刈り

イ　埋蔵文化財

・遺跡所在確認照会　１３件

(2)　藤岡歴史民俗資料館

・開館日数　３０５日
・入 館 者　2,943 人

ア　資料収集

・役所内廃棄文書収集
・その他の資料収集

イ　レファレンス

資料館へのレファレンスは減少傾向にある。

種　別	件数(件)	種　別	件数(件)
取　材	3	団体案内	22
照　会	94	資料閲覧	3
依　頼	15	資料借用	4
案　内	6	資料調査	－
講話・講演	－	資料請求	17

ウ　公文書整理事業

平成１３年度から旧藤岡町役場にて文書管理が始まり、その規定に基づき廃棄さ

れた公文書は数多い。資料館では廃棄された公文書で特に重要と思われる公文書を多数収集してきた。

昨年度に引き続き公文書の整理事業を行い、各簿冊を整理・分類し、各簿冊の文書目次を作成した。整理された文書群は郷土資料として保存し、将来的に市民の閲覧に供する。

年　度	整理簿冊数（簿冊）
平成 22 年度	212
平成 23 年度	232

8　栃木市藤岡図書館

(1)　自主事業

ア　幼児・児童向け事業（親子向けを含む）

(ｱ)　おはなし会

紙芝居、絵本の読み聞かせ

・実施日　毎月第１・３土曜日午後２時から

・回　数２３回

・参加者１４０人

・協　力コロポックル

(ｲ)　「クリスマスリース」つくり

・実施日　１２月１７日（土）

・参加者２０人

・協　力　コロポックル

(ｳ)　クリスマスコンサート

フルートとアコーディオンのデュオ、人形劇

・実施日　１２月２３日（金）

・参加者３０人

・協　力コロポックル

イ　講座・講演会

絵本パフォーマー岸田典大「絵本ライブ」

・実施日　１月２９日（日）

・内　容　音楽にあわせた絵本の読み聞かせ

・参加者　５０人

・協　力　コロポックル、ハードル会

(2)　その他の事業

ア　巡回貸出事業

自動車文庫

地域内幼稚園２箇所、市立保育園４箇所を巡回し、本の貸出しを行なった。

・実施日　６月～２月（８月は除く）

・回　数　１２回

・貸出実績　3,800 冊

イ　子どもの読書活動推進のための支援事業

(ｱ)　読み聞かせボランティア

藤岡地域内の４小学校において、各学年向けの本を選定し、読み聞かせを行った。

・登録者数　４団体３４人

・実施期間　４月～２月

・実　　績

小学校	団　体	回数(回)
藤岡小学校	藤	１７
部屋小学校	スマイル	８
赤麻小学校	そよかぜ	８
三鴨小学校	かたくり	８

(ｲ)　ブックスタート事業

月１回、９ヶ月児の乳児検診の際に、母親が子どもに絵本を読んであげることの大切さを教えながら、子どもたちに読み聞かせを行った。

(3)　資料の状況

ア　図書資料　（単位：点）

分　類	総　記	哲　学	歴　史	社会科学	自然科学	技　術
増加数	107	58	204	155	133	187
除籍数	217	260	530	1,593	1,073	703
総　数	1,637	1,694	4,886	4,623	3,623	2,840
構成比	2.9%	3.0%	8.8%	8.3%	6.5%	5.1%

分　類	産　業	芸　術	言　語	文　学	郷土資料	その他	合　計
増加数	64	205	9	618	107	473	2,207
除籍数	264	825	39	5,178	0	671	11,353
総　数	1,339	5,800	1,032	19,618	2,194	6,479	55,765
構成比	2.4%	10.4%	1.9%	35.2%	3.9%	11.6%	100.0%

イ　視聴覚資料　（単位：点）

分　類	ＣＤ	ＤＶＤ	ビデオ	合　計
増加数	186	－	－	186
総　数	3,353	35	7	3,395
構成比	98.8%	1.0%	0.2%	100.0%

ウ　逐次刊行物　（単位：種）

新　聞		雑　誌		合　計
購　入	寄　贈	購　入	寄　贈	
6	―	18	1	25

(4)　貸出状況

ア　貸出人数・貸出点数　　（単位：点）

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	8	142	18	614	77
5	24	414	17	2,129	92
6	25	579	23	3,034	121
7	26	646	25	3,712	143
8	25	661	26	3,068	123
9	25	563	23	3,416	137
10	25	322	13	1,984	79
11	23	266	12	1,276	55
12	23	740	32	4,262	185
1	23	878	38	4,749	206
2	24	822	34	3,989	166
3	25	868	35	4,352	174
計	276	6,901	25	36,585	133

イ　分類別貸出点数　　（単位：点）

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	8	15	24	24	17	60	5	81	4	139	237	614
5	25	21	63	64	113	204	70	293	12	488	776	2,129
6	17	62	111	75	159	219	87	378	10	601	1,315	3,034
7	45	79	145	102	217	273	66	459	26	853	1,447	3,712
8	22	72	158	113	172	194	46	549	28	760	954	3,068
9	31	79	143	84	181	227	69	484	18	666	1,434	3,416
10	21	39	93	51	116	114	29	310	12	432	767	1,984
11	12	12	42	28	38	124	18	256	9	219	518	1,276
12	25	46	124	61	144	300	48	586	16	838	2,074	4,262
1	26	55	172	101	129	273	70	650	24	752	2,497	4,749
2	22	68	133	94	88	293	76	654	18	871	1,672	3,989
3	46	71	155	120	102	321	69	819	26	898	1,725	4,352
計	300	619	1,363	917	1,476	2,602	653	5,519	203	7,517	15,416	36,585

※その他（絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料）

(5)　利用者登録状況

新規登録状況　　（単位：人）

月	新規登録者数	登録削除	総登録者数	新規団体	団体合計	総計
4	1	－	6,726	－	64	6,790
5	5	－	6,731	1	65	6,796
6	26	－	6,757	－	65	6,622
7	8	－	6,765	－	65	6,830
8	16	－	6,781	－	65	6,846
9	14	－	6,795	－	65	6,860
10	3	－	6,798	－	65	6,863
11	20	－	6,818	－	65	6,883
12	55	－	6,873	－	65	6,938
1	16	－	6,889	－	65	6,954
2	6	－	6,895	－	65	6,960
3	7	－	6,902	1	66	6,968
計	177	－	6,902	2	66	6,968

(6)　各種利用状況

ア　予約・リクエスト件数

資料予約件数	2,516 件	1 日平均 9.1 件
インターネット予約件数	3,397 件	1 日平均 12.3 件

イ　レファレンス件数（利用者からの相談や、調査の支援）

月	口頭	電話	文書	計
4	4	－	－	4
5	58	5	－	63
6	40	－	－	40
7	57	1	－	58
8	55	1	－	56
9	9	－	－	9
10	13	－	－	13
11	14	1	－	15
12	43	3	－	46
1	62	4	－	66
2	44	3	－	47
3	52	－	－	52
計	451	18	－	469

ウ　相互貸借（図書館間相互協力業務）

区分	図書等資料数（点）
貸出数	51
借受数	39

9　スポーツ振興関係

(1)　社会体育施設

ア　施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
藤岡渡良瀬運動公園	昭和55年	283,249		
藤岡総合体育館	昭和61年	29,149	3,334	
藤岡弓道場	平成 6年	256	236	
三鴨スポーツ広場	平成14年	5,319		

イ　利用状況　（単位:人）

施設名／月	藤岡渡良瀬運動公園	藤岡総合体育館	藤岡弓道場	三鴨スポーツ広場	合計
4月	6,544	2,299	103	-	8,946
5月	5,327	2,515	163	76	8,081
6月	5,625	2,542	145	95	8,407
7月	6,011	2,791	103	76	8,981
8月	3,514	1,287	70	76	4947
9月	4,091	1,845	93	95	6,124
10月	7,329	3,802	192	96	11,419
11月	4,389	2,619	64	76	7,148
12月	3,833	2,035	37	76	5,981
1月	1,899	2,082	80	-	4,061
2月	3,812	2,092	64	72	6,040
3月	2,991	2,541	99	90	5,721
合計	55,365	28,450	1,213	828	85,856
平均	4,614	2,371	101	69	7,155

(2)　学校屋外運動場夜間照明施設関係

ア　利用状況

学校名／月	部屋小	三鴨小	藤一中	合計
4月	12	11	-	23
5月	11	11	7	29
6月	18	13	7	38
7月	12	10	7	29
8月	10	18	8	36
9月	8	18	15	41
10月	9	17	13	39
11月	9	7	11	27
12月	10	5	7	22
1月	9	6	5	20
2月	8	5	5	18
3月	9	13	10	32
合計	125	134	95	354
平均	10.4	11.2	7.9	29.5

イ　施設

種別／学校名	照明
部屋小	4基
三鴨小	4基
藤一中	4基

(3)　生涯スポーツ推進事業

藤岡地域では、①谷中湖の自然を活用したウォータースポーツ事業、②渡良瀬遊水地や三毳山の自然を活用したウォーキング事業の２つを積極的に活動している。

その他、小中学生の健全な育成を図ることを目的とした「少年スポーツ育成事業」と、中高年が健康で豊かな生活を確保することを目的とした「中高年スポーツ普及促進事業」も含め生涯スポーツ推進事業として、下記の各種スポーツ教室等を開催した。

ア　ウォータースポーツ事業

教室名	開催日	会　場	受講者数(人)
ウォータースポーツ・フェスタ	5月3日（火）	谷中湖	92

イ　ウォーキング事業

教室名	開催日	会　場	受講者数(人)
渡良瀬遊水地ウォーキング	4月10日（日）	渡良瀬遊水地	31

市民ハイキング	9月4日（日）	茶臼岳	中止
ノルディックウォーキング	10月16日、23日、30日　各日（日）	渡良瀬運動公園 三毳山	31
三毳山ウォーキング	10月30日（日）	三毳山	20

ウ　少年スポーツ育成事業

教室名	開催日	会　　場	受講者数(人)
キッズビクス教室	10月15日、22日、29日 11月5日、12日　各日（土）	藤岡総合 体育館	延べ33
スキー教室	1月28日（土）、29日（日）	苗場スキー場	中止

エ　中高年スポーツ普及促進事業

教室名	開催日	会　　場	参加者数(人)
スポーツひろば	11月12日、19日 12月3日　各日（土）	藤岡総合体育館	延べ43

第９節　都賀教育支所

〔総括概要〕

学校の管理運営面については、小学校３校、中学校１校の各種保守点検及び施設の維持補修を行った。また、各種教材・教具・備品等の整備充実を図った。さらに、将来を担う児童・生徒が高度情報化社会に的確に対応できるようにするため、教育用コンピュータの配置・整備及びインターネット接続・利用などを推進した。

一日の大半を過ごす児童・生徒の安全と災害発生時の地域住民の避難場所を確保するため、学校施設の耐震化率 100％を目標に施設整備を実施した。

耐震力不足の他、老朽化が著しかった合戦場小学校屋内運動場については、地域の要望も強く改築工事を実施した。また、翌年度から予定している校庭や駐車場整備のため外構工事の測量設計業務も実施した。

前年度に危険改築した都賀中学校については、校庭等の外構工事に着手し平成２４年度に完了する予定である。

旧耐震基準の学校施設４棟について耐震二次診断業務を実施した。校舎の Is 値では合戦場小学校が 0.52、赤津小学校が 0.65 となり、屋内運動場の Is 値では家中小 0.17、赤津小 0.55 という結果になった。なお、赤津小学校校舎については耐震補強実施設計業務も行った。さらに、赤津小学校校舎耐震補強工事の国庫補助については、文科省の前倒し要請により、平成２３年度中に採択が決定し、３月補正予算にて補強工事に要する経費を計上し平成２４年度に繰越明許費とした。

公民館チームでは、生きがいとうるおいに満ちた生涯学習社会の実現に向けて、一人ひとりが自由に、自らテーマを選び、自分にあった手段・方法によって、年齢に関係なく生涯にわたり、必要なことや興味関心のあることを必要なときに学び、個人であるいは仲間とともに、楽しく学びながら自分の考え方や生き方を変えるきっかけをつかむことを支援するため、様々な学習機会を提供した。

さらに、生涯学習社会の構築に向けて、住民の自主的な学習活動を支援する指導者の養成・資質向上や社会教育関係団体・サークル活動の充実を図った。

また、子育て支援を充実するとともに、地域の教育力向上のために、学校・家庭・地域社会の連携強化を図りながらふれあいの学習を推進するとともに、青少年リーダーの計画的な養成や青少年への体験活動機会の提供を行いながら、青少年の健全育成に努めた。

図書館においては、地域住民に対するサービスの向上に努めた。

スポーツ振興チームでは、社会体育施設（市民運動場、体育センター、スポーツ公園、コミュニティセンター）の管理運営、地域運動広場の管理、小中学校体育施設の開放を行い、市民の健康保持増進並びにスポーツの普及振興を図った。

生涯スポーツの普及振興については、第２回都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバルを開催し、市民が一堂に会し、スポーツを通して健康づくり、全体の融和と親睦を深めた。さらに、総合型地域スポーツクラブあいあいクラブの協力を得て、軽スポーツ体験イベント「かがやけふれあいフェスティバル」を実施し、ス

ポーツの普及に努めた。

生涯スポーツ関係団体の育成及び支援については、体育協会が実施する事業への支援、都賀地区で開催されるイベント会場において、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブあいあいクラブが中心となってカヌー教室を実施し、スポーツの普及推進を図った。

スポーツ指導者養成及び派遣については、小学校内で実施している課外スポーツ活動に、専門的な外部指導者を派遣し、スポーツ活動を通し、児童の健全育成、競技力の向上を図った。

教育総務担当

1　学校施設の整備状況

(1)　主な工事

区分	学校名	工事概要	工事費(円)
改築工事	合戦場小	合戦場小学校旧屋内運動場解体工事 合戦場小学校屋内運動場改築工事 合戦場小学校屋内運動場改築電気設備工事 合戦場小学校屋内運動場改築機械設備工事	8,489,250 204,225,000 35,175,000 18,333,000
	都賀中	都賀中学校外構工事	26,670,000
整備工事（修繕含む）	合戦場小	書庫照明器具改修、誘導灯交換、ポンプ室漏電ブレーカー修理、外トイレバルブ凍結修理	464,604
	家中小	プール塗装修繕、トイレブース修理、物置ガラス修理、カーテン改修、図書室床張替え、教室床張替え、天井修繕、カーテンレール改修、煙感知器交換、外灯タイマー改修、教室ガラス修理、プログラムタイマー入替、廊下エキスパンジョイント修理、体育館照明改修工事、浄化槽配電盤電磁開閉器交換、浄化槽配電盤リレー交換	2,239,325
	赤津小	水外手洗い場修繕、屋内消火栓修繕、プールフェンス修繕、スクールバス車庫シャッター修理、チャイム修理、体育館照明改修工事、職員室照明器具絶縁不良改修、火災報知器修繕、職員室照明器具絶縁不良改修、給水管漏水修理、マンホール修理、体育館換気扇修理、教室照明器具修理	693,677
	都賀中	金工室排水パイプ修理、体育館防球ネットからみ修理、清心館ガラス修理、体育館防球ネットからみ修理、消火栓配水管漏水修繕、清心館屋根修理、外トイレ洗浄管修理	387,751

(2)　主な業務委託

区分	学校名	業務概要	委託費(円)
測量設計	合戦場小	合戦場小学校屋内運動場改築工事監理業務委託	5,512,500
		合戦場小学校外構工事測量設計業務委託	5,250,000
		合戦場小学校校舎耐震二次診断業務委託	5,565,000
	家中小	家中小学校屋内運動場耐震二次診断業務委託	2,940,000
	赤津小	赤津小学校校舎耐震二次診断業務委託	4,777,500
		赤津小学校校舎耐震補強実施設計業務委託	3,549,000
	都賀中	都賀中学校外構工事測量設計業務委託	8,715,000

(3)　主な学校設備保守点検業務委託　　(単位：校)

委託業務名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	3	1
給食用ダムウェーター保守管理委託	3	-
消防用設備等定期点検委託	3	1
し尿汲取業務委託	1	-
警備委託	3	1
し尿浄化槽水質検査委託	1	-
し尿浄化槽維持管理委託	1	-
し尿浄化槽清掃委託	1	-
水泳プール循環浄化装置保守委託	3	1
受水槽清掃業務委託	3	-
簡易専用水道管理検査委託	3	-

2　コンピュータ整備状況　　(単位：台)

学校名	パソコン教室	校内ＬＡＮ	校務用	合　計
合戦場小学校	41	35	28	76
家中小学校	41	22	23	63
赤津小学校	41	23	19	64
都賀中学校	41	57	36	98
合　計	164	137	106	301

3　学校教育に関する事業

(1)　要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

実施状況

小学校	32人	2,008,650円
中学校	19人	1,970,420円
計	51人	3,979,070円

(2)　特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

小学校	13人	402,755円
中学校	4人	228,720円
計	17人	631,475円

(3)　遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学生徒の保護者の経済的負担を軽減するため補助金を交付した。

中学校　６㎞以上

都賀中	5人	16,600円

(4)　スクールガードリーダー配置事業

各小学校にスクールガードリーダーを配置し、学校安全ボランティアと連携し児童生徒の安全を確保した。また、ボランティア活動を後押しするため、学校安全ボランティア補助金を交付した。

・下校時安全対策　２０３日
・ボランティア募集　３回
・ボランティア活動保険加入　１９６人
・通学路の危険個所調査　３回
・交通安全・防犯感謝の会　３回
・補助金　500,000円

生涯学習担当

1　生涯学習推進関係

(1)　生涯学習市民参加型事業

ア　都賀音楽フェスティバル

幅広い市民・年齢層の方々に参加を募り、音楽を通じて、地域・世代間交流を深めるとともに、地域に根ざした生涯学習を行った。

・テーマ　～みんなで「第九」を楽しもう！～
・開催日　１１月３日(木)
・内　容　地域内小中学校と連携しての合唱
　　オペラハイライト「カルメン」
　　一般公募により結成した混声合唱団による「第九」合唱
・構　成　生涯学習市民参加型実行委員　１１人
　　企画運営員　１２人

混声合唱団　８６人

・参加者　６０８人

イ　都賀体験講座

地域住民をはじめ市民の方々が様々な講座を受講する機会と、市民講師や地元サークルが自らの活動を紹介・ピーアールする機会を提供する。また、受講生が興味関心を高め、地域内外の方々と交流を深めることにより、サークル活動等を始める契機とするために実施した。

・実施期間　９月１７日(土)～１０月１９日(水)

・時　　間　午前の部　午前１０時～１２時
　　午後の部　午後１時３０分～３時３０分
　　夜 の 部　午後７時～９時

・会　　場　都賀公民館及び大柿コミュニティセンター

・講　　師　市民講師　６人
　　地元サークル　５サークル
　　地元団体等　２団体

・講 座 数　１７講座３８回

・参 加 者　延べ３０４人

(2)　地産地消・食育推進事業

ア　食育体験学習

食育の一環として、給食に納入される野菜を小学校の生活科の授業において、児童の手で収穫することによって、地域の豊かな自然や農業を理解する。また、収穫した野菜を給食に使用し、児童と生産者の交流給食を実施することにより、感謝の気持ちを育てるとともに地産地消の理解を深めるために援助、協力を行った。

・実施内容　野菜収穫体験、生産者との交流給食

・収穫野菜　じゃがいも

・対　　象　都賀地域各小学校２年生

・実施場所　各小学校区内地元協力者所有の畑及び各小学校

実施校	実施内容	実施日	実施場所	参加人数(人)
合戦場小学校	野菜収穫体験	11 月 22 日（火）	都賀町大柿	55
	交流給食	12 月 6 日（火）	合戦場小学校	
家中小学校	野菜収穫体験	11 月 16 日（水）	都賀町大橋	41
	交流給食	12 月 9 日（金）	家中小学校	
赤津小学校	野菜収穫体験	11 月 24 日（木）	都賀町大橋	22
	交流給食	12 月 2 日（金）	赤津小学校	

イ　親子手づくりケーキ教室

地元の特産物である苺を使って親子でクリスマスケーキをつくることにより、地産地消の普及と食育を考える契機とするために実施した。

・開催日　１２月２３日(金)

・内　容　親子でのケーキづくりとプチクリスマスコンサート

・参加者　親子３９家族（１１３人）

ウ　食育フェスティバル

地元で生産された安全安心な農作物・農産物加工品を地元で消費する機会を提供し地産地消の普及を図るとともに、都賀地域全体の食育に関する意識の向上を図った。

・開催日　２月５日(日)

・内　容　講話「学校給食の地産地消にみる『切り身』の食から『生身』の食への道のり」

食育体験学習発表「オリジナル弁当をつくろう」(合戦場小学校児童)

アイデアお菓子開発披露、試食会、食育関係の寸劇と歌、食育カルタ

・参加者　３３５人

2　地域教育関係

(1)　とちぎアシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を組織し地域の教育力を高めるため実施した。

・コーディネーター及び地域教育協議会委員候補者の検討会議　３回

・コーディネーターの選出、研修会への参加

・地域教育協議会設立準備会　２月２１日(火)

(2)　地域学習事業

地域での自主的活動としての生涯学習を推進することにより、地域の教育力の充実を図るため、自治会や学校などで開催する地域学習に対して支援をした。

地域学習事業	対　象
地域学習文化、スポーツレクリエーション大会	4 自治会（1,304 人）
自治会公民館子ども育成活動	5 自治会（279 人）
地域学習講師報償関係	12 自治会（72 人）
学校支援ボランティア関係	69 人

(3)　放課後子ども教室事業（地域ふれあい交流事業）

各小学校において、地域住民と児童との交流活動を昼休みに実施し、心のふれあいから児童への心の教育と地域教育力の向上を図った。

実施校	実施期間	実施回数(回)	内　　容	参加者数(人)
合戦場小学校	5月18日（水） ～12月7日（水）	12	高齢者との交流活動 (輪投げ)	332
家中小学校	1月18日（水） ～2月22日（水）	5	高齢者との交流活動 (輪投げ・ペタンク)	202
赤津小学校	9月28日（水） ～11月2日（水）	6	高齢者との交流活動 (輪投げ・グラウンドゴルフ)	173

3　成人教育関係

成人式（都賀会場）

実施日	会　場	会議名等	出席者数(人)
9月9日（金）	都賀公民館	成人式実行委員会	25
10月19日（水）	都賀公民館	成人式イベント作成	7
12月14日（水）	都賀公民館	成人式イベント作成	7
12月17日（土）	都賀公民館	合同クラス会打合せ会	5
12月21日（水）	都賀公民館	成人式イベント作成	7
1月6日（金）	都賀文化会館 （ハートホール）	成人式実行委員会 成人式リハーサル	20
1月8日（日）	都賀文化会館 （ハートホール）	平成24年栃木市成人式	112

4　子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用して講座を開催する。

実施日	内容	会場	参加者数
8月25日（木）	親子おりがみ工場見学＆親学習	(株)トーヨー 都賀公民館	親子19家族 （44人）
9月24日､10月 8日、 15日　各日（土）	親子で伝承食を楽しもう	都賀公民館	親子15家族 （34人）
12月23日(金)	親子クリスマスケーキづくり	都賀公民館	親子39家族 （113人）
2月11日(土)	親子手づくりチョコレート教室	都賀公民館	親子10家族 （28人）

5　社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、各団体の自主的活動の促進、育成のために援助、協力を行った。

・対象団体　地域女性会、家庭教育オピニオンリーダー会、子ども会育成会連絡協議会
ジュニアリーダースクラブ、青年団

6　公民館関係

(1)　使用状況

施　設　名	使用件数(件)	使用人数(人)	使　用　料(円)
都賀公民館	739	15,682	151,200

(2)　成人教育

期　　日	事　　業　　名	会　　場	参加人数(人)	備　考
5月12日（木） ～12月15日（木）	ふれあい大学 （高齢者教室）	都賀公民館ほか	延べ519	8回
6月8日（水） ～12月15日（木）	ふれあい大学サークル （カラオケ）	都賀公民館ほか	延べ135	7回
6月8日（水） ～12月15日（木）	ふれあい大学サークル （フォークダンス）	都賀公民館ほか	延べ113	7回
12月24日（土）	サンタの宅配サービス	都賀地域全域	38	

(3)　女性教育関係

期　　日	事　　業　　名	会　　場	参加人数(人)	備　考
5月12日（木） ～12月15日（木）	女性セミナー	都賀公民館ほか	延べ326	8回
6月20日（月） ～12月15日（木）	女性セミナーサークル(コーラス)	都賀公民館ほか	延べ105	7回
5月18日（水）	女性会視察研修会	埼玉県川越市	25	女性会主催
8月6日（土）	つが盆踊り大会協力	都賀運動場	女性会協力人数 54	
2月5日（日）	食育フェスティバル協力	都賀公民館	女性会協力人数 10	
2月26日（日）	福祉ふれあいのつどい協力	都賀文化会館	女性会協力人数 29	
随時	公民館除草作業	都賀公民館	40～50	女性会主催

(4)　青少年教育関係

期　　日	事　　業　　名	会　　場	参加人数(人)	備　　考
6月12日（日） ～1月28日（土）	子どもふれあい 楽習教室	都賀公民館ほか	延べ397	16回
5月28日（土）	レクリエーション大会	合戦場小・家中小	約560	子ども会育成会主催
7月23日（土） ～31日（日）	つが子ども会 リーダー研修会	大柿コミュニティ センター	89	子ども会育成会 への委託事業
1月21日（土）	カルタ大会	都賀中学校	インフルエンザ 流行のため中止	子ども会育成会主催

(5)　その他

期　　日	事　　業　　名	会　　場	参加人数(人)	備　　考
8月6日（土）	つが盆踊り大会	都賀運動場	約4,000	

7　図書館関係

(1)　自主事業

ア　おはなし会

・実施回数　９回（１年間）

・実施場所　都賀図書館視聴覚室
・講　　師　おはなしボランティア「たんぽぽ」
・参 加 者　３４０人

イ　リサイクル市
・実 施 日　１０月１８日(火)～１２月１１日(日)
・実施場所　都賀図書館ロビー
・展示冊数　約 15,000 冊
・売上冊数　約 9,000 冊

(2)　広報活動
・図書館だより
・イベント広報配布（都賀地域内幼稚園・保育園の子ども全員）
・ホームページによる広報
・広報とちぎに「図書館お知らせ」

(3)　視察等の来館者

合戦場小３年生	62人
家中小３年生	34人
赤津小３年生	24人
合　計　３件	120人

(4)　資料の状況

ア　図書資料　（単位：点）

分　類	郷土資料	総　記	哲　学	歴　史	社会科学	自然科学
増加数	138	825	27	80	214	278
除籍数		798	15	28	522	211
総　数	2,946	1,906	1,488	4,247	6,862	4,737
構成比	3.5%	2.2%	1.8%	5.0%	8.1%	5.6%

分　類	技　術	産　業	芸　術	言　語	文　学	その他	合　計
増加数	225	62	110	24	465	269	2,717
除籍数	179	140	90	33	133	352	2,501
総　数	4,045	1,483	4,808	1,051	42,256	9,006	84,835
構成比	4.8%	1.7%	5.7%	1.2%	49.8%	10.6	100%

イ　視聴覚資料　（単位：点）

分　類	ＣＤ	ビデオ	ＤＶＤ	合　計
増加数	41	－	35	76
総　数	1,890	1,083	199	3,172
構成比	59.6%	34.1%	6.3%	100%

ウ　逐次刊行物　（単位：種）

新聞		雑誌		合計
購入	寄贈	購入	寄贈	
6	－	44	4	54

(5)　貸出状況

ア　貸出人数・貸出点数

月	開館日数	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
4	23	876	38.1	4,064	177
5	21	817	38.9	3,742	179
6	24	802	33.4	3,714	155
7	24	1,024	42.7	4,911	205
8	24	1,196	49.8	5,537	231
9	22	821	37.3	3,875	177
10	23	876	38.1	4,143	181
11	22	917	41.7	4,029	184
12	21	734	35.0	3,653	174
1	21	780	37.1	3,970	190
2	22	817	37.1	3,880	177
3	22	959	43.6	4,712	215
計	269	10,619	39.5	50,230	187

イ　分類別貸出点数　（単位：点）

月	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
4	89	36	90	88	135	301	47	200	35	1,482	1,561	4,064
5	92	34	59	110	116	265	74	218	32	1,410	1,332	3,742
6	93	29	61	102	119	245	58	267	20	1,348	1,372	3,714
7	123	33	72	111	225	345	60	401	51	1,752	1,738	4,911
8	114	36	104	134	295	404	64	494	55	1,975	1,862	5,537
9	92	39	63	92	111	334	72	249	21	1,384	1,418	3,875
10	122	37	49	125	122	348	33	226	19	1,515	1,547	4,143
11	115	34	53	105	143	346	48	289	22	1,334	1,540	4,029
12	110	27	45	112	81	284	36	234	17	1,284	1,423	3,653
1	142	40	50	124	102	296	36	232	14	1,426	1,508	3,970

2	131	38	90	114	131	264	36	192	23	1,329	1,532	3,880
3	140	56	86	139	159	346	54	263	28	1638	1,803	4,712
計	1,363	439	822	1356	1739	3778	618	3265	337	17877	18,636	50,230

※その他(絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料)

(6) 利用者登録状況

ア 新規登録状況 (単位：人)

月	新規 登録者数	登録 削除	総登録 者数	新規団体	団体 合計	総計
4	17	−	5,788	−	27	5,815
5	13	5	5,796	−	27	5,823
6	7	25	5,778	−	27	5,805
7	29	−	5,807	−	27	5,834
8	21	11	5,816	−	28	5,844
9	12	14	5,814	−	28	5,842
10	28	5	5,837	−	28	5,865
11	29	9	5,857	−	28	5,885
12	4	7	5,854	−	28	5,882
1	7	11	5,851	−	27	5,878
2	6	−	5,857	−	27	5,884
3	10	−	5,866	1	28	5,894
計	183	87	5,866	1	28	5,894

※１０月以降は新システム導入により市内４図書館共通の登録証を発行するようになり、再登録した場合、その館で新規登録となってしまうため登録削除件数が増加した。

(7) 各種利用件数

ア レファレンス件数（レファレンス 利用者からの相談や、調査の支援）

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	計
4	25	−	−	25
5	26	−	−	26
6	31	4	−	35
7	25	1	−	26
8	26	7	−	33
9	27	2	−	29
10	33	3	−	36
11	48	−	−	48
12	22	2	−	24

1	37	－	－	37
2	35	1	－	36
3	32	－	－	32
計	367	20	－	387

イ　読書室・キャレルデスク・コピー件数（キャレルデスク　調査研究用個人机）

月	読書室（件）	コピー	
		件数(件)	枚数(枚)
4	91	2	3
5	93	3	4
6	126	1	2
7	229	－	－
8	429	3	10
9	120	4	30
10	130	1	1
11	88	9	58
12	77	2	38
1	74	8	26
2	112	5	30
3	82	3	4
計	1,651	41	206

8　社会体育施設関係

(1)　施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
都賀市民運動場	平成11年	15,537.06		
都賀体育センター	昭和50年	2,413	999.91	鉄骨平屋、瓦棒葺
つがスポーツ公園 多目的広場	平成11年	48,500		
つがスポーツ公園 テニスコート	平成4年	4,017		
都賀南部コミュニティセンター	平成8年	9064.86	935.11	鉄骨造
木コミュニティセンター	平成5年	7677.31	821.4	鉄骨造
大柿コミュニティセンター	昭和63年	4,013	517.63	鉄骨造

(2)　利用状況　　（単位:人）

施設名／月	都賀市民運動場	都賀体育センター	つがスポーツ公園多目的広場	つがスポーツ公園テニスコート	都賀南部コミュニティセンター	木コミュニティセンター	大柿コミュニティセンター	合計
4月	80	141	200	2,424	260	100	37	3,242
5月	1,898	804	453	509	1,377	1,320	394	6,755
6月	2,142	1,735	816	630	1,618	2,202	420	9,563
7月	1,778	1,448	439	2,206	1,771	1,980	390	10,012
8月	1,537	950	2,166	871	1,770	1,652	412	9,358
9月	2,676	1,201	1,297	1,182	1,766	1,492	188	9,802
10月	2,968	1,200	360	1,652	2,627	1,949	457	11,213
11月	1,931	1,458	1014	1,178	2,481	2,104	309	10,475
12月	1,069	2,063	816	812	2,470	1,665	441	9,336
1月	1,424	1,451	287	864	1,824	1,387	303	7,540
2月	1,471	1,717	1051	854	1,798	981	356	8,128
3月	2,053	1,647	678	996	1,889	1,012	411	8.686
合計	21,027	15,815	9,577	14,178	21,651	17,844	4,018	104,110
平均	1,752	1,318	798	1,182	1,804	1,487	335	8,676

9　学校開放施設関係

利用状況

学校名／月	合戦場小	家中小	赤津小	都賀中	合計
4月	2	4	－	7	13
5月	30	4	8	40	82
6月	11	30	10	42	93
7月	11	33	23	40	107
8月	8	29	8	38	83
9月	8	18	24	42	92
10月	11	26	33	40	110
11月	10	27	22	42	101
12月	9	18	13	46	86
1月	8	20	12	36	76
2月	8	8	15	38	69
3月	21	15	－	59	95
合計	137	232	168	470	1,007
平均	11.4	19.3	14.0	39.1	21.0

10　第２回都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバル

市民が一堂に会し、スポーツを通して健康づくり、全体の融和と親睦を深め「あたたかく思いやりのある都賀地区づくり」を目的に実施した。

・開催日　１０月２日（日）
・会　場　つがスポーツ公園
・競技種目　①ぶっ玉げた！！
②十時のおやつ
③綱引き
④今昔玉手カゴ
⑤縄跳び競争
⑥子ども綱引き
⑦そんなの白根マラソン
⑧大玉RUNNER
・体験種目　①ターゲットバードゴルフ
②カヌー
③グランドゴルフ

11　生涯スポーツ推進事業

(1)　年間各種教室

専門部実施教室	開催日	会　場	備　考
剣道教室	水・土	都賀中学校　清心館	
柔道教室	金	大柿コミュニティセンター	
空手教室	火・木・金	都賀中学校　清心館	
健康ダイエット教室	土	西方総合文化体育館	

(2)　親子スポーツ教室

実施教室	開催期日	会　場	備　考
親子スキー教室	1月5日（木）	ハンターマウンテンスキー場	

(3)　総合型地域スポーツクラブ主催教室

実施教室	開催日	時間	会　場
カヌー体験教室	4月～8月の土・日	午前 10 時～午後 2 時	つがの里
バランスボール教室	毎週金曜日	午後 8 時～9 時	木コミュニティセンター
ジュニアバスケ教室	毎週火曜日	午後 5 時 30 分～7 時	南部コミュニティセンター
ダイエット教室	毎週土曜日	午後 7 時 30 分～8 時 45 分	西方総合文化体育館

第10節　西方教育支所

〔総括概要〕

西方地区における幼稚園教育、小中学校の学校教育及び生涯学習の振興を図るため、各種事務事業を実施した。

学校教育関係事務事業における学校の管理運営面では、教育環境保持のため、施設の保守点検および維持補修を行った。

学校情報化への対応では、将来を担う児童・生徒の高度情報化社会への的確な対応能力の養成と教職員の効率的な教育活動に資するネットワーク運用を図るため、教育用コンピュータの配置・整備、及びインターネット接続・利用などを推進した。

学校の施設整備では、児童生徒が１日の大半を過ごす場所、災害発生時の地域住民の応急避難場所として安全性を確保するため、真名子小学校校舎の耐震補強工事を実施し、また耐力度調査の結果を踏まえ、構造的に危険な状態にあった西方中学校校舎の改築を２カ年の継続事業として工事に着手した。

また、中学校校舎に地球温暖化対策の推進、環境教育に活用するため太陽光発電設備を設置するための工事費財源を平成２３年度中に確保するため３月補正予算にて工事に要する経費を計上し、事業は平成２４年度に実施するので全額繰越とした。

学校教育支援では、教育環境の公平性と充実を図るため、就学援助事務を行うとともに、小・中学校における支援を必要とする児童生徒への対応、学級担任の学習指導補助を行う非常勤講師を配置した。また教育相談員を設置し、児童生徒の適応指導と保護者等への教育相談等の支援を行った。

さらに、小中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手を各学校等に派遣し、ネイティブな英語での教育によるコミュニケーション力の育成に努めた。

生涯学習分野事務事業については、「いつでも、どこでも、だれとでも」学習の機会を自由に選択して学びに参加し、いきいきと自分自身を輝かせ、夢を実現していって欲しいとの願いを基本理念に、大学制の「ふるさとゼミナール」を開講し、①心豊かな生きがいづくり(ひとりいち学習)②心のふれあう人間関係づくり(ひとりいち活動)③いきいき健康体力づくり(ひとりいちスポーツ)を目指した各種学習を推進した。

学習の機会と場の提供については、「ふるさとゼミナール」に、知識・趣味・教養・芸術文化などの「いきがいコース」、福祉・奉仕・人権・青少年の育成などの「ふれあいコース」、スポーツ・レクリェーション・健康などの「いきいきコース」と目的別に３つのコースを設け各種講座を開催するとともに家庭教育オピニオンリーダーなどの子育て支援グループ及び子ども会育成会と連携する講座を開設した。

生涯学習の支援については、地区コミュニティ推進協議会の文化・書道・子ども部による文化等の各活動、文化協会を中心とした実行委員会による「文化祭」、青少年育成を推進する組織（市民会議）による「子ども夏まつり」など、各社会教育団体が自主的・主体的に実施する活動を積極的に支援した。

文化財保護については、郷土の歴史を正確に記録・保存し後世に伝えるため「西

方町史」を刊行した。また、西方地区の戦国時代末期の最高レベルと云われる山城「西方城址」において文化財ボランティアの活用による城址関連講座の開催・城址整備活動（篠竹刈）や、継続した民俗資料の調査・収集・台帳整備により急速な近現代化に伴い失われつつある貴重な文化財の保護・保全活動を実施し、これをわが町自慢事業として市内外に発信した。この他、民俗芸能を伝承保護するための助成事業を実施した。

社会教育施設の管理運営については、公民館、コミュニティセンターの維持補修・保守点検などの施設管理と総合公園野球場夜間照明の全灯交換とバックネット塗装、スポーツ管理棟の塗装などの施設整備により利用者の安全・利便性の確保に努めた。特に公民館の会議室エアコン改修・調理室の床の張替・音響設備の入替等の施設改善整備、従来の講堂を栃木図書館西方分館に目的変更したことにより公民館機能が低下しないよう旧図書室を他目的会議室に転用し整備するなど改善を図った。

スポーツ関係団体の支援については、体育協会及び体育協会が実施する事業への支援を行い、スポーツの普及推進を図った。

西方総合文化体育館の運営については、施設の維持管理等を実施し利用者への安全・利便性の確保に努めた。

教育総務担当

1　学校施設の整備状況

耐震補強工事及び大規模改修工事	（　２棟）	263,375,000円
小中学校維持補修費	（　５件）	324,870円
小中学校設備保守点検等委託料	（１０件）	795,588円

(1)　主な工事

業務名称	対象施設	学校名	工　事　概　要	工事費(円)
耐震補強工事（大規模改修工事含）	校舎等	真名子小	耐震補強工事（合併前に完了） １棟　1,380 ㎡ 補強ブレース　　４箇所設置 耐震スリット　　１箇所設置 大規模改修工事 屋上防水 北側冊子改修 職員室床改修等	51,975,000
		西方中	校舎建築工事（平成２３年～２４年継続事業） 鉄筋コンクリート造３階建　１棟　3,465 ㎡	211,400,000 (1,013,250,000)
施設整備工事（修繕含む）	校舎・校庭等	西方小	遊具修繕、ベルタイマー修繕	200,340
		真名子小	体育館ガラス修繕、屋外男子トイレ修繕、自動火災報知器修繕	124,530
		西方中	部室ガラス修繕、校舎１階踊場手洗い改修、屋外男子トイレ修繕、体育館水銀灯取替工事、屋上防水補修工事	324,240

(2)　主な業務委託(学校施設整備関係)

業務名称	対象施設	学校名	業　務　概　要	委託費(円)
施工監理委託	校舎・校庭等	真名子小	(合併前に完了) 耐震補強及び大規模改修工事施行監理業務の委託 《着工から完成までの工事監理業務》	2,877,00
		西方中	校舎建築工事の施工監理業務の委託 (平成２３年～２４年継続事業) 《着工から完成までの工事監理業務》	2,300,000 (19,740,000)
測量設計業務委託	校舎・校庭等	西方中	校舎外構工事実施設計業務の委託 テニスコート実施設計業務の委託	2,520,000 2,362,500

(3)　主な学校設備保守点検業務委託　　(単位：校)

委託名	小学校	中学校
自家用電気工作物保守管理業務委託	1	1
給食用ダムウェーター保守管理委託	1	1
自動火災報知等消防設備保守点検委託	2	1
警備委託	2	1
浄化槽保守点検業務委託	1	－
水泳プール循環浄化装置保守委託	2	－
水道貯水槽清掃業務委託	2	1
簡易専用水道管理検査委託	1	1

2　コンピュータ整備状況　　(単位：台)

学校名	パソコン教室	校務用	合　計
西方小	36	38	74
真名子小	17	21	38
西方中	37	30	67
合　計	90	89	179

3　学校教育関係事業

(1)　要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。

実施状況

小学校	8人	533,696円
中学校	7人	515,730円
計	15人	1,049,426円

(2)　特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

小学校	4人	132,835円
中学校	1人	65,925円
計	20人	198,760円

4　幼児教育

(1)　幼稚園就園奨励費補助金交付事業

公立幼稚園、私立幼稚園に就園する満３歳児、３歳児、４歳児及び５歳児の保護者を対象に経済的負担軽減を目的として保育料や入園料の減免措置を行った。

ア　国庫補助事業交付額

・交付人数　公立　５人　私立　１１人

・交付金額　公立　130,000円　私立　1,009,200円

イ　県補助事業交付額

・交付人数　私立　１人

・交付金額　私立　141,100円

5　西方幼稚園関係

(1)　年齢別園児数　（単位：人）

年齢	3歳	4歳	5歳	計
人数	18	18	25	61

(2)　保健管理（１０月から３月分）

ア　出席停止（伝染病及び感染症による欠席児童生徒）（単位：人）

月／学校	10	11	12	1	2	3	計
幼稚園	1	2	1	1	34	1	40

イ　日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

区分	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
幼稚園	－	－	－

(3)　年間行事実施状況

区　分	主　な　行　事
１０月	運動会、
１１月	保育参観
１２月	なかよし発表会、クリスマスの集い
１月	―
２月	まめまき
３月	防犯教室、お別れ会、卒園式

※　その他、毎月誕生児の誕生会を催す。

(4)　特別支援児保育の状況

・特別支援児入園数　０人

(5)　防災対策状況

・設備、遊具等の整備点検　８月実施

・避難訓練　年１１回実施

・安全のための実施訓練　年２回実施

(6)　給食実施状況

ア　予定献立の作成

献立は、栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定する。

イ　給食構成

・主食、副食（完全給食）

ウ　１日当たり平均栄養摂取量状況

区　　分	エネルギー（kcal）	蛋白質（g）	脂　肪（g）	カルシウム（mg）	鉄（mg）	ビタミン				食塩相当量（g）
						A（μg）	B_1（mg）	B_2（mg）	C（mg）	
園児栄養摂取値	411	16.0	13.4	191	1.9	425	0.24	0.33	23	1.7
栄養摂取目標値	450	17.0	12.0	210	2	160	0.3	0.3	16	－

(7)　特別保育科目設定実施事業

世代間の交流を目的に季節的行事（クリスマス会）に地域の高齢者等を招待し、園児とのふれあいを行った。

生涯学習担当

1　社会教育関係（１０月から３月分）

(1)　とちぎアシストネット事業

地域教育協議会を組織し地域の教育力を高めるため、各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成した。

・コーディネーター及び地域教育協議会委員候補者の検討会議　１回実施

・学校・地域のコーディネーターとの打ち合わせ会議　各校１回実施

・地域教育協議会設立準備会　２月１４日(火)

(2)　成人教育

成人式

実 施 日	会　場	会議名等	出席者数(人)
11月6日（日）	西方公民館	成人式実行委員会	5
11月下旬 12月下旬	西方公民館	成人式イベント企画	10
1月6日(金)､7日(土)	西方総合文化体育館	会場準備 成人式リハーサル	10
1月8日（日）	西方総合文化体育館	平成24年栃木市成人式(西方会場)	72

(3)　家庭教育

家庭教育学級

子育て講座Ⅰ（ふれあいコース）

小学校の就学時健康診断時に小学校新入学の保護者を対象に親学習プログラ　ム指導者である「親学習の会にしかた」を活用して実施した。

実 施 日	内　　容	場　　所	出席者数(人)
10月11日(火)	親学習プログラム 保護者どうしのあったかこみゅにけーしょん	真名子小学校	8
10月18日(火)	親学習プログラム 「しつけは子どもへの大切な贈り物」 ～小学校生活のよりよいスタートのために～	西方小学校	44

(5)　社会教育関係団体育成

各団体の事業計画から実施について助言等を行い、各団体の自主的活動の促進、育成のために援助、協力を行った。

・対象団体　小中学校ＰＴＡ連絡協議会、地域婦人会、
家庭教育オピニオンリーダー会、親学習プログラムの会
子供会育成会連絡協議会、文化協会、にしかた子どもネットワーク

2　公民館関係（１０月から３月分）

(1)　使用状況

施　　設　　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
西方公民館	313	4,573	35,500

(2)　成人教育

ア　教養講座（いきがいコース）

期　　日	事　　業　　名	場　所	人 数(人)
10 月 20 日（木）	寅さんが愛した街－柴又旅情－	東京都方面他	25
11 月 3 日（火）	西方教育新事情「西方中学校祭」	西方中学校	16

イ　うきうき元気クラブ―高齢者教室―（いきがいコース）

期　　日	事　　業　　名	場　所	人 数(人)
10 月 25 日（火）	お芝居を楽しむ(芳賀上延生劇場)	芳賀町方面	15
12 月 16 日（金）	なかよしこども園児との交流	なかよしこども園	23

(3)　青少年教育関係

ア　ワクワク親子塾（ふれあいコース）

期　　日	事　　業　　名	場　所	人 数(人)
10 月 22 日（土）	ハイキングを楽しむ (スポーツハイキング教室との合同)	群馬県方面 （赤城山）	雨天のため中止
10 月 29 日（土）	農業体験②大豆の収穫	西方地区圃場	１８

12 月 10 日（土）	グランドゴルフ体験	西方総合運動公園	１１
1 月 14 日 （土）	豆腐作り体験	日光市方面	１４

4　文化振興関係

(1)　文化祭

芸術・文化活動を行っている方々の発表の場と交流の場を設けるために開催した。

・開催日　１１月５日～１２日

・運　営　文化祭実行委員会

・参加者　約 1,000 人

(2)　文化財保護関係

文化財の保護活動・文化財理解のための普及活動を実施し、文化の振興を図った。

ア　町史編さん事業

・町史編さん委員会等の編成

・専門家による計画的な調査研究執筆活動の推進

・町史の刊行

通史編１巻・Ｂ５版・カラー

総頁　６１８頁

刊行部数　2,500 部

イ　城址保存事業

・西方、真名子城址の調査・整備

・城址講座の開催

・文化財ボランティアの支援・活用

ウ　民俗資料保存事業

・文化財の調査

・民俗資料の調査・収集・台帳整理及び民俗資料室の管理

・文化財ボランティアの支援・活用

エ　郷土芸能保存事業

民俗芸能伝承保護に要する活動経費の一部を助成

・対象芸能　田谷大杉ばやし、水木はやし、大沢田代々神楽保存会、
柴西辻若連、大沢田大杉ばやし

5　図書室関係

(1)　施設の利用状況

ア　図書資料　（単位：点）

分　類	総　記	哲　学	歴　史	社会科学	自然科学	技　術
増加数	－	－	－	－	－	－
除籍数	－	－	－	－	－	－
総　数	248	357	779	704	348	411
構成比	2.2	3.2	6.9	6.3	3.1	3.7

分　類	産　業	芸　術	言　語	文　学	児　童	合　計
増加数	－	－	－	－	－	－
除籍数	－	－	－	－	－	－
総　数	132	530	114	4,354	3,261	11,238
構成比	1.2	4.7	1.0	38.7	29.0	100

(2)　貸出状況（１０月から３月分）

ア　貸出人数・貸出点数

月	開館日数（日）	貸出人数		貸出点数	
		貸出人数(人)	一日平均(人)	貸出点数(点)	一日平均(点)
10	29	8	0.2	17	0.6
11	27	23	0.9	55	2.0
12	26	45	1.7	113	4.3
1	26	40	1.5	101	3.9
2	27	39	1.4	90	3.3
3	29	21	0.7	55	1.9
計	164	176	1.0	431	2.6

イ　分類別貸出点数　（単位：点）

月	合計	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	児童
10	17	－	－	2	－	－	4	－	－	－	8	3
11	55	－	－	－	1	5	2	1	3	－	20	23
12	113	－	1	2	4	－	4	1	2	－	49	50
1	101	－	－	2	1	1	－	－	1	－	42	54
2	90	－	－	1	－	－	3	－	2	－	21	63
3	55	－	－	－	－	－	－	－	－	－	12	43
計	431		1	7	6	6	13	2	8		152	236

※その他(絵本、紙芝居、郷土資料、視聴覚資料)

6　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　設　名	建　設　年	面　積　(㎡)		備　考
		敷　地	建　物	
西方総合文化体育館	平成15年	13,374.52	3,868.65	
西方総合公園運動場	昭和59年	20,068		
西方北グランド	平成6年	14,878		
西方南グランド	昭和58年	11,250		
桜グランド	昭和40年	8,636		
真名子運動	平成1年	11,700		

(2) 利用状況 (単位:人)

施設名 / 月	西方総合文化体育館	西方総合公園運動場	西方北グランド	西方南グランド	西方桜グランド	西方真名子運動場	合計
10月	3,893	393	199	58	92	22	4,657
11月	3,222	575	180	55	90	12	4,134
12月	5,920	346	175	58	120	130	6,749
1月	4,001	298	10	60	110	70	4,549
2月	4,778	242	347	60	130	90	5,647
3月	3,339	566	319	52	130	100	4,506
合計	25,153	2,420	1,230	343	672	424	30,242
平均	4,192	403	205	57	112	70	5,040

7 学校開放施設関係

利用状況

学校名 / 月	西方小	真名子小	西方中	合計
10月	349	230	409	988
11月	260	60	359	679
12月	280	150	208	638
1月	381	319	242	942
2月	439	125	145	709
3月	418	70	171	659
合計	2,127	954	1,534	4,615
平均	354.5	159	255.7	769.2

8 生涯スポーツ推進事業

健康講座(いきいきコース)

専門部実施教室	開催曜日	会場	備考
健康教室	週木曜日	西方総合文化体育館	

9 栃木市西方地区体育協会事業

(1) 剣道

開催期日	行事名	場所
10月16日(日)	県民スポーツ中央大会	県警察学校

11月3日(祝・木)	近津神社	近津神社境内
12月17日(水)	剣道教室定期大会	西方総合文化体育館
3月17日(土)	西方剣道教室定期大会	西方総合文化体育館

(2) ソフトテニス

開催期日	行事名	場所
10月16日(日)	県民スポーツ大会	県総合運動公園

(3) バトミントン

開催期日	行事名	場所
10月16日(日)	県民スポーツ大会中央大会	県警察学校

(4) テニス

開催期日	行事名	場所
10月23日(日)	県民スポーツ大会	県総合運動場
11月6日(日)	秋季テニス大会	西方総合公園

(5) バレーボール

開催期日	行事名	場所
10月23日(日)	県民スポーツ大会	田沼アリーナ
11月20日(日)	婦人バレーボール秋季大会	西方中学校

(6) 空手

開催期日	行事名	場所
10月16日(日)	県民スポーツ大会	フォレストアリーナ
11月13日(日)	会派7審査会	西方総合文化体育館
3月25日(日)	西方体協空手道部競技会	都賀スポーツセンター

(7) ゲートボール

開催期日	行事名	場所
10月13日(木)	部長杯	桜グランド
11月10日(木)	秋季大会	桜グランド
3月8日(木)	西方地区審判研修会	桜グランド

(8) グランドゴルフ

開催期日	行事名	場所
10月16日(日)	県民スポーツ大会	市貝運動場

(9) ソフトボール

開催期日	行事名	場所
10月16日(日)	県民スポーツ大会	宇都宮市
10月30日(日)	秋季大会	西方総合公園

第１６章　選挙管理委員会事務局

〔総括概要〕

選挙管理委員会事務局の主な分掌事務は、選挙管理委員会の会議に関すること、各種選挙の執行管理、直接請求及び選挙の啓発に関すること等である。

選挙は、国民が政治に参加する最も基本的な機会であって、積極的な投票への参加は、民主主義の発展のために欠かすことのできないものである。また、明るく適正な選挙の推進については､国民一人ひとりが政治の基本となる選挙に関心を持ち、有権者としての自覚を持つことが必要である。

この趣旨を踏まえ、小・中学校の児童生徒を対象に明るい選挙啓発ポスターの募集・入選作品展を行い、また、新有権者に対し選挙啓発資料を配付する等、選挙の常時啓発を推進した。

また、本年度は栃木県議会議員選挙、大美間土地改良区総代選挙、栃木市議会議員増員選挙、小倉堰土地改良区総代選挙及び藤岡土地改良区総代選挙を執行した。

選挙担当

1　選挙管理委員会の状況

(1)　委員及び補充員

職　　名	氏　　名	就 任 年 月 日
委　員　長	相　田　　政　郎	平成22年6月4日
職務代理者	平　戸　　和　夫	〃
委　　員	川　田　　祐　章	〃
〃	若　林　　祐　市	〃
補　充　員	中　田　　芳　宏	〃
〃	熊　倉　　通　也	〃
〃	川　島　　文　雄	〃
〃	飯　島　　茂　雄	〃

(2)　委員会開催

・委員会開催数　１５回

・議決事件数　　７６件

2　選挙人名簿登録者数

３月２日現在　　（単位：人）

投　票　区　名	男	女	計
栃木第 1投票区	482	530	1,012
栃木第 2投票区	584	662	1,246
栃木第 3投票区	749	809	1,558
栃木第 4投票区	607	677	1,284

栃木第 5投票区	1,127	1,178	2,305
栃木第 6投票区	882	1,013	1,895
栃木第 7投票区	637	718	1,355
栃木第 8投票区	1,875	1,941	3,816
栃木第 9投票区	1,470	1,476	2,946
栃木第10投票区	2,098	2,266	4,364
栃木第11投票区	878	942	1,820
栃木第12投票区	1,733	1,872	3,605
栃木第13投票区	1,236	1,356	2,592
栃木第14投票区	1,058	1,053	2,111
栃木第15投票区	623	706	1,329
栃木第16投票区	1,321	1,361	2,682
栃木第17投票区	686	700	1,386
栃木第18投票区	686	737	1,423
栃木第19投票区	199	205	404
栃木第20投票区	435	462	897
栃木第21投票区	569	559	1,128
栃木第22投票区	1,787	1,887	3,674
栃木第23投票区	1,114	1,089	2,203
栃木第24投票区	1,110	1,166	2,276
栃木第25投票区	440	465	905
栃木第26投票区	374	427	801
栃木第27投票区	491	520	1,011
栃木第28投票区	62	58	120
栃木第29投票区	621	723	1,344
栃木第30投票区	678	728	1,406
栃木第31投票区	1,131	1,158	2,289
栃木第32投票区	1,904	2,032	3,936
栃木第33投票区	1,392	1,502	2,894
栃木第34投票区	1,023	1,117	2,140
小　　計	32,062	34,095	66,157
大平第 1投票区	1,578	1,643	3,221
大平第 2投票区	491	468	959
大平第 3投票区	447	432	879
大平第 4投票区	961	992	1,953
大平第 5投票区	869	920	1,789
大平第 6投票区	379	382	761
大平第 7投票区	678	688	1,366

大平第 8投票区	197	205	402
大平第 9投票区	651	675	1,326
大平第10投票区	1,944	1,841	3,785
大平第11投票区	1,204	1,166	2,370
大平第12投票区	325	350	675
大平第13投票区	1,681	1,664	3,345
大平第14投票区	478	416	894
小　　計	11,883	11,842	23,725
藤岡第 1投票区	471	476	947
藤岡第 2投票区	200	200	400
藤岡第 3投票区	275	284	559
藤岡第 4投票区	465	514	979
藤岡第 5投票区	1,036	1,077	2,113
藤岡第 6投票区	1,210	1,263	2,473
藤岡第 7投票区	307	336	643
藤岡第 8投票区	13	16	29
藤岡第 9投票区	750	770	1,520
藤岡第10投票区	838	859	1,697
藤岡第11投票区	650	685	1,335
藤岡第12投票区	513	487	1,000
藤岡第13投票区	415	418	833
小　　計	7,143	7,385	14,528
都賀第 1投票区	2,042	2,109	4,151
都賀第 2投票区	1,190	1,253	2,443
都賀第 3投票区	512	525	1,037
都賀第 4投票区	537	543	1,080
都賀第 5投票区	774	839	1,613
都賀第 6投票区	374	377	751
小　　計	5,429	5,646	11,075
西方第 1投票区	655	736	1,391
西方第 2 投票区	287	286	573
西方第 3 投票区	355	401	756
西方第 4 投票区	558	540	1,098
西方第 5 投票区	314	333	647
西方第 6 投票区	469	498	967
西方第 7 投票区	26	22	48
小　　計	2,664	2,816	5,480
総　合　計	59,181	61,784	120,965

3　平成２４年３月２日現在選挙権を有する者の総数の５０分の１、６分の１及び３分１の数

(1)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の５０分の１　　2,420人

(2)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の６分の１　　20,161人

(3)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の３分の１　　40,322人

4　在外選挙人名簿登録者数（３月２日現在）　　（単位：人）

指定在外選挙投票区名	男	女	計
栃木第2投票区	12	18	30
大平第1投票区	13	10	23
西方第1投票区	－	1	1
合　　計	25	29	54

5　啓発事業

(1)　明るい選挙啓発ポスター募集

小学校　　出品総数　　２４７点　　うち市入選　　２９点

中学校　　出品総数　　２９０点　　うち市入選　　２１点

市入選作品５０点のうち３０点を県に出品し、優秀賞に３点、入選に１４点、佳作に９点が選ばれた。

今回は、県の優秀賞を受賞した三鴨小学校の一条聖樹さんの作品が、国の中央審査における小学校４年生の部で、財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞を受賞した。

(2)　明るい選挙啓発ポスター入選作品展

・展示期間　３月１日(木)～３月１５日(水)

・展示場所　市役所玄関ロビー

・展示方法　入選作品　小学校３０点、中学校２３点、計５３点を展示

(3)　新有権者あて啓発資料を配付

新成人者　　1,471人（３月）

6　選挙結果

(1)　平成２３年４月１０日執行　栃木県議会議員選挙

候補者氏名	党　派	市得票数	選挙区得票数	当落の別
平池秀光	自由民主党	14,482	15,952	当
角田まさのぶ	みんなの党	10,761	12,225	当
保母欽一郎	民主党	8,854	11,622	当
ことより昌男	無所属	9,847	10,832	当
くしぶち忠男	自由民主党	9,811	10,144	落

(2)　平成２３年１０月５日執行　大美間土地改良区総代選挙　定数４４

ア　（第１選挙区）　定数３２

候補者氏名	得　票　数	当落の別
籠　谷　義　廣	無投票	当
新　村　悦　夫		
狐　塚　英　幸		
熊　倉　一　好		
田　中　良　司		
大　杉　　茂		
中　島　征　紀		
金　澤　和　信		
國　分　　博		
國　分　正　昭		
田　熊　誠　之		
熊　倉　　薫		
大　出　英　夫		
若　菜　　明		
五　十　畑　喜　市		
田　中　憲　一		
川　合　守　男		
熊　倉　康　雄		
増　山　　隆		
福　富　正　浩		
吉　澤　富　二　夫		
豆　生　田　光　一		
河　田　　勇		
新　井　　栄		
河　田　　烈		
熊　倉　英　雄		
大豆生田　春男		
大　出　憲　一		
菅　沼　安　隆		
代　田　勝　男		
天　谷　房　男		
生　澤　欣　一		

イ　（第２選挙区）　定数１２

候補者氏名	得　票　数	当落の別
神　山　和　男	無投票	当
大　出　康　昭		
岸　　康　孝		
中　見　川　進		
松　本　和　己		
渡　辺　秀　雄		
小　川　政　喜		
小　川　富　成		
神　山　国　雄		
松　沼　敏　雄		
大　久　保　誠		
海　老　沼　一　夫		

(3)　平成２３年１０月３０日執行　栃木市議会議員増員選挙　定数３

候補者氏名	党　　派	得　票　数	当落の別
はりがい正夫	無　所　属	1,718	当
あゆた栄一	無　所　属	1,039.173	当
鮎田ひろし	無　所　属	731.826	当
やまのいかずお	無　所　属	300	落
大　森　　豊	無　所　属	40	落

(4)　平成２４年１月２４日執行　小倉堰土地改良区総代選挙　定数３２

ア　（第１選挙区）　定数５

候補者氏名	得　票　数	当落の別
関　口　宣　男	無投票	当
大　森　政　美		
山　中　　昭		
川　津　　博		
小　倉　啓　一		

イ　（第２選挙区）　定数６

候補者氏名	得　票　数	当落の別
田　谷　敏　雄	無投票	当
古　澤　良　一		
天　海　栄　市		
川　嶋　　榮		
早　乙　女　　栄		
栗　山　　宏		

ウ　（第３選挙区）　定数６

候補者氏名	得　票　数	当落の別
山ノ井　亮　司	無投票	当
會　田　正　治		
川　島　正　治		
福　田　和　成		
日下田　清　一		
増　山　盛　勝		

エ　（第４選挙区）　定数６

候補者氏名	得　票　数	当落の別
早乙女　晴　夫	無投票	当
渡　邉　安　治		
石　塚　幸　男		
間　下　康　之		
鮎　田　　均		
古　平　和　夫		

オ　（第５選挙区）　定数５

候補者氏名	得　票　数	当落の別
小　花　育　弘	無投票	当
和　賀　井　猛		
小　林　祥　男		
越　路　源　一		
牧　野　藤　一		

カ　（第６選挙区）　定数４

候補者氏名	得　票　数	当落の別
若　林　武　雄	無投票	当
大　塚　秀　夫		
粂　谷　一　郎		
鳩　山　明　男		

(5)　平成２４年２月２７日執行　藤岡土地改良区総代選挙　定数６０

候補者氏名	得　票　数	当落の別
池　田　　昇	無投票	当
船　田　一　利		
海老沼　幸一郎		
関　根　克　己		
上　岡　隆　士		
渡　辺　　登		
山士家　芳　光		

海老沼　義　男	無投票	当
阿　部　康　夫		
関　口　昌　男		
田名網　眞　一		
大　澤　國　男		
福　地　勝　雄		
坂　本　春　雄		
柿　沼　泰　雄		
田　口　　進		
山　本　勝　己		
赤　坂　栄　男		
茂　呂　重　吉		
石　山　一　男		
荒　井　利　明		
松　本　　隆		
植　木　　豊		
田　熊　光　雄		
田　熊　和　浩		
谷　内　　猛		
毛　塚　　渡		
谷　内　祥　郎		
猪　瀬　一　男		
櫻　井　康　夫		
長谷川　　浩		
荒　川　利　雄		
葛　生　哲　夫		
青　木　みどり		
佐　山　光　司		
佐　山　光　男		
坂　本　一　吉		
稲　葉　義　明		
町　田　耕　一		
五百部　俊　雄		
早乙女　和　夫		
荒　川　雅　義		
荒　井　久　雄		
石　川　　悟		
大　橋　正　枝		

大　木　俊　雄	無投票	当
小　澤　和　行		
田　沼　　博		
田　村　一　二		
福　富　義　雄		
石　塚　昭　市		
川　島　房　雄		
関　根　忠　重		
関　根　　栄		
小　野　光　男		
町　田　仁　一		
大　島　　肇		
横　田　晴　史		
青　木　　功		
山　田　　広		

第１７章　監査委員事務局

〔総括概要〕

監査等については、平成２３年度監査計画に基づいて、定例監査、例月現金出納検査、決算審査・基金運用状況審査、貯蔵品たな卸検査(立会い)、財政援助団体監査、指定管理者監査、行政監査及び要求監査を実施した。

監査に当たっては、法令により定められた権限に基づいて、公正で合理的かつ能率的な市の行財政運営確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて実施した。

なお、監査等の結果については、報告を決定し、市議会及び市長等に提出するとともに公表するなどにより、民主的かつ効率的な行財政の執行に資し、もって市民福祉の増進と地方自治の本旨の実現の寄与に努めた。

監査担当

1　監査委員の状況

・識見を有する者　板 倉 安 秀　平成22年5月18日就任
・議 員 選 出 者　大 武 眞 一　平成22年5月18日就任

2　監査等の実施状況

平成２３年度監査計画により、次のとおり実施した。

(1)　定例監査

監査結果の報告については、地方自治法第１９９条第９項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対　　象	実　施　期　日
財産区　（管財課） 会計課 議会事務局　（議事課） 選挙管理委員会（選挙管理委員会事務局）	8月22日(月)
保健福祉部　〔社会福祉課・生活福祉課・こども課 高齢福祉課・介護保険課・健康増進課〕 総合政策部　（地域医療対策室）	9月21日(水) 9月22日(木)
総務部　〔総務課・職員課・情報推進課 契約検査課・消防防災課〕	10月24日(月)
理財部　〔市民税課・資産税課・収税課〕	10月26日(水)
生活環境部　〔市民生活課・交通防犯課・保険医療課 環境課・女性青少年課〕	11月21日(月)

西方総合支所（地域まちづくり課・生活環境課 健康福祉課・産業建設課） 教育委員会　（西方教育支所）	12月21日(水) 12月22日(木)
消防本部（総務課・予防課・警防課 通信指令第１課・通信指令第２課） 消防署（消防第１課・消防第２課）	12月22日(木)
教育委員会（教育総務課・学校教育課・生涯学習課 スポーツ振興課・文化課・伝建推進室 大平教育支所・藤岡教育支所・ 都賀教育支所）	1月25日(水) 1月26日(木)
学校監査（藤岡小学校・赤麻小学校・三鴨小学校・ 藤岡第一中学校・西方小学校・真名子小学校・ 西方中学校）	2月8日(水) 2月9日(木)
産業振興部（商工観光課・農林課・産業基盤整備課） 農業委員会　（農業委員会事務局）	2月22日(水)

(2)　例月現金出納検査

検査結果の報告については、地方自治法第２３５条の２第３項の規定により、市議会及び市長に提出した。

対　　象	実　施　期　日	対　　象	実　施　期　日
平成22年度 3月分	4月25日(月)	平成23年度 8月分	9月22日(木)
平成22年度 4月分 平成23年度 4月分	5月26日(木)	〃 9月分	10月26日(水)
		〃 10月分	11月21日(月)
平成22年度 5月分 平成23年度 5月分	6月27日(月)	〃 11月分	12月22日(木)
		〃 12月分	1月25日(水)
平成23年度 6月分	7月25日(月)	〃 1月分	2月22日(水)
〃 7月分	8月22日(月)	〃 2月分	3月26日(月)

(3)　決算審査・基金運用状況審査

市長から審査依頼のあった平成２２年度の決算及び基金運用状況について審査を行い、意見書を提出した。

対　　象	実 施 期 日
水道事業会計	6月22日(水)～8月19日(金)
一般会計 国民健康保険特別会計 老人保健特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計(保険事業勘定) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	7月11日(月)～8月19日(金)

下水道特別会計 農業集落排水特別会計 地域改善対策住宅新築資金等貸付特別会計 ＪＲ大平下駅前土地区画整理特別会計 医療福祉モール特別会計	7月11日(月)～8月19日(金)
寺尾財産区特別会計	7月 6日(水)～8月19日(金)
土地開発基金 印紙等購買基金 保護費即時払基金 奨学基金	7月11日(月)～8月19日(金)

(4)　健全化判断比率及び資金不足比率審査

市長から審査依頼のあった平成２２年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について審査を行い、意見書を提出した。

(5)　工事監査

平成２３年度は対象となる工事がなかったため、実施していない。

(6)　貯蔵品たな卸検査（立会い）

対　　象	実 施 期 日
水道事業貯蔵品たな卸検査(立会い)	5月 9日(月)
〃	10月31日(月)

(7)　財政援助団体等監査

平成２２年度財政援助団体等監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第１９９条第９項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対　　象　（抽出）	実 施 期 日
栃木市消防団互助会	11月 4日(金)
栃木市体育協会	
社会福祉法人　鐘の鳴る丘友の会 さくら保育園・さくら第２保育園	
社会福祉法人　大平愛育会 大平中央保育園	

(8)　指定管理者監査

平成２２年度指定管理者監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第１９９条第９項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対象	公の施設	実施期日
ＮＰＯ法人アートビオ・トープ	とちぎ蔵の街美術館	10月5日(水)
㈱プラッツおおひら	大平町まちづくり交流センター	
㈱図書館流通センター	栃木市大平図書館	

社会福祉法人都賀の里	都賀町老人デイサービスセンター 藤糸荘 都賀町住宅介護支援センター 藤糸荘	

(9)　行政監査

定例監査では判断を確定するには至らなかった案件について、地方自治法第１９９条第２項の規定により、行政監査を次のとおり実施し、監査結果については、同条第９項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対　　象		実 施 期 間
西方町単独農道整備事業	西方総合支所産業建設課	1月31日(火)～3月23日(木)

(10) 要求監査

市長の要求の基づく監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第１９９条第９項の規定により、市議会、市長及び関係者に提出し、かつ、これを公表した。

対　　象		実 施 期 間
建設工事に係る 契約事務について	栃木市公正入札調査委員会	8月19日(金)～9月21日(水)
	総務部契約検査課	
	各総合支所地域まちづくり課	

3　会議、研修会等（委員）

期　　日	会 議 、 研 修 会 等	開催地	参加者数(人)
5月24日(火)	平成23年度栃木県都市監査委員会総会	那須烏山市	2
7月12日(火)	平成23年度関東都市監査委員会総会	宇都宮市	2
8月25日(木)	平成23年度全国都市監査委員会総会	横浜市	1
11月10日(木)	(財)栃木県市町村振興協会主催研修会	宇都宮市	2
1月13日(金)	第85回栃木県都市監査委員会定例会	大田原市	2

第１８章　公平委員会

〔総括概要〕

公平委員会に係る事務を次のとおり処理した。
なお、本年度は、特に審査すべき事件はなかった。

１　公平委員の状況

職名	氏　　名	生年月日	就任年月日	職　業	備　　考
委員	矢尾板　充	昭和30年 8月10日	平成22年5月18日	司法書士	委員長
〃	羽根田克子	昭和15年 7月 3日	平成22年5月18日	非常勤講師	委員長の職務代理者
〃	佐山　　潔	昭和22年 7月 2日	平成22年5月18日	保護司	

２　職員団体の登録・抹消

受　　付	届　　出　　者	内　　容	登録・抹消年月日
5月 6日（金）	栃木市教職員協議会会長	役員の変更	平成23年 5月10日登録
6月 8日（水）	栃木市職員労働組合執行委員長	役員の変更	平成23年 6月 8日登録
9月 2日（金）	栃木市職員労働組合執行委員長	役員の変更	平成23年 9月 5日登録

３　会議、研修会等（委員）

期　　日	会 議 、 研 修 会 等	開催地	参加者数(人)
4月26日(火)	平成22年度栃木県公平委員会連合会総会	日光市	1
7月 7日(木)	平成22年度全国公平委員会連合会本部研究会	東京都	1
10月20日(木)	平成23年度全国公平委員会連合会関東支部 第2回研究会	千葉県	1

第１９章　農業委員会事務局

〔総括概要〕

農業委員会は、農業委員会法の制定以来、農業者の利益代表機関として、「優良農地の確保と有効利用」、「担い手の確保と育成」を重要な使命として、農地法の適正な執行や地域の世話役活動に取り組んできた。

平成２１年１２月の農地法改正により、農地行政を担う農業委員会の役割が、これまで以上に重要になっており、農地の権利移動の許可等の適正事務執行はもとより、定期的な農地の利用状況調査の実施や遊休農地解消の制度的措置など新たな役割を担うこととなった。

こうした中で、農地と担い手を守り活かす取り組みとして、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した遊休農地解消、中核農家への農地集積の促進や新規就農者の就農に対して適正な助言・指導を行うなど地域農業振興の推進を図った。

また、西方町との合併により、さらに件数を増した農地法に基づく許認可事務を始め、農業者年金事業の推進、各地域での農業青色簿記指導会の開催、国有農地の管理など主要事業の推進に努めたほか、認定農業者等との意見交換会や農業委員の研修会など農業委員会活動の充実を図った。

農地振興担当

1　農業委員会の構成

(1)　農業委員

・定数　３４人

・現員　３４人

（公選２５人（旧栃木市８人、旧大平町５人、旧藤岡町６人、旧都賀町４人、旧西方町２人）
農協・共済４人（下都賀・上都賀より各１人)、土地改良１人、学識経験(議会推薦)４人）

議席番号	選出区分	氏　　名
1	公　　選	大橋　　重
2	〃	影山　和夫
3	〃	大島　公一
4	〃	前田　克己
5	〃	髙岩　富夫
6	〃	出井　邦治
7	〃	大出　陽子
8	〃	長　　幸雄
9	〃	渡辺　　茂
１０	〃	金子　忠雄
１１	〃	黒川　昌宏

１２	〃	板橋　喜市
１３	〃	荒川　昭夫
１４	〃	須藤　法男
１５	〃	川俣　光司
１６	〃	柴　賢一郎
１７	〃	赤坂　敏雄
１８	〃	稲田　邦雄
１９	〃	大沢　茂雄
２０	〃	町田　　勇
２１	〃	太田　勲夫
２２	〃	茅島　淳二
２３	〃	海老沼秀夫
２４	農協（下都賀）	森戸　照夫
２５	共済（下都賀）	大塚　秀夫
２６	土　地　改　良	篠﨑　通男
２７	議　会　推　薦	渡邉　保江
２８	〃	毛塚　玲子
２９	〃	石塚　久子
３０	〃	手塚　政子
３１	公　　選	中野　林蔵
３２	〃	中田　益實
３３	農協（上都賀）	中新井　明
３４	共済（上都賀）	福田　精機

(2)　農業委員会補助員

補助員は、各農家集落から推薦があった者を、農業委員会会長が委嘱する。任期は１年とし、農業委員会活動を補助する。（再任は妨げない）

地区名	栃木	大宮	皆川	吹上	寺尾	国府	大平	
人員(人)	22	18	20	24	15	21	35	
地区名	部屋	藤岡	赤麻	三鴨	赤津	家中	西方	合計
人員(人)	29	25	31	22	22	22	33	339

２　会議開催状況

(1)　総会

開　催　日	場　　所	付議事件数(件)
4月27日(水)	吹上公民館	6
5月31日(火)	国府公民館	6

6月30日(木)	〃	5
7月28日(木)	正　　庁	7
8月30日(火)	国府公民館	5
9月30日(金)	正　　庁	8
10月31日(月)	吹上公民館	7
11月30日(水)	大宮公民館	6
12月27日(火)	国府公民館	6
1月31日(火)	吹上公民館	6
2月28日(火)	〃	7
3月30日(金)	国府公民館	7

(2)　役員会

開　催　日	場　　所	付議事件数(件)
4月27日(水)	吹上公民館	4
8月30日(火)	国府公民館	5
2月28日(火)	吹上公民館	4
3月30日(金)	国府公民館	3

3　農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の確認状況

選挙区	基準農業者(人)	男(人)	女(人)	計(人)	面積(ha)
第1（栃木）	2,730	2,802	1,609	4,411	2,949
第2（大平）	1,208	1,451	1,107	2,558	1,905
第3（藤岡）	1,809	1,862	1,060	2,922	2,130
第4（都賀）	1,076	1,249	774	2,023	1,211
第5（西方）	666	700	363	1,063	751
合　計	7,489	8,064	4,913	12,977	8,946

4　証明書等の発行状況

種　　別	件　数（件）
耕 作 証 明 書	374
農家資格証明書	92
諸　証　明　等	267
計	733

5　委員研修・視察

県農業会議等主催で開催される研修会に参加し、委員の資質の向上を図った。

先進地の視察訪問や、他市町農業委員会の視察を受け入れ、情報交換の中で見聞を広めた。

・実施状況

実施日	研　修　名	参加人数(人)
8月4日(木)	家族経営協定指導者研修会	5
10月6日(木)	農業者年金加入推進特別研修会	5
11月8日(火)	第２回栃木県農業委員研修会	26
11月25日(金)、26日(土)	先進地視察研修（高崎市・嬬恋村）	31
12月1日(木)	栃木県女性農業委員の会総会・研修会	5
1月16日(月)	関東ブロック活き活き女性交流会	5
2月24日(金)	農村女性トップリーダー懇談会	5

・行政視察に来局した農業委員会

実施日	内容	来局者
11月16日（水）	女性農業委員の活動について、本市の事例発表と相互の意見交換	茨城県行方市32人

6　農業者と農業委員との意見交換会

「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の一環として、農業者から意見・要望を汲み上げ、農業委員会の持つ「意見の公表」「建議」の機能に基づき、実のある施策として実現させていくため、農業者との意見交換会を開催している。

今年度は県農業会議会長を迎え、「ＴＰＰをはじめとする今後の農政状況について」と題しての講演後、実際に直面している問題など率直な意見が述べられた。

・実施日　１２月２７日（火）

・参加者　８４人（うち、認定農業者３３人）

7　農業青色簿記記帳指導会

栃木市農業青色申告会を組織し、合併前の旧市・町単位で支部として活動している。自立経営農家を志向する経営主に対し、企業的農業経営の確立と、簿記記帳による適正納税が図られるよう、簿記記帳指導会を開催。また、農業経営の改善、合理化を図るため、パソコン簿記の研修会を開催している。(西方支部は２４年度より編入予定)

(1)　農業青色申告会加入者　　（単位：人）

区　分	２２年度末	２３年度中増減	現加入者数
栃木支部	146	▲ 2	144
大平支部	129	▲ 1	128

藤岡支部	62	▲ 1	61
都賀支部	89	▲ 6	83
合　計	426	▲10	416

(2)　簿記記帳指導会開催状況

区　分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講　　師
栃木支部	8	213	県農業会議指導協力員 島田喜一、長幸雄、谷中克己、大山久雄、 松本トミ、本澤敏江
大平支部	5	367	県農業会議指導協力員 中島英明、山中繁章、杉田禎子、中島宣子 青色申告指導員補助 生澤幸雄
藤岡支部	7	193	県農業会議指導協力員 渡辺正行、飯塚豊、田沼正能
都賀支部	4	156	県農業会議指導協力員 渡辺繁、石川明、大栗君子 青色申告指導員補助 茅島美季
合　計	24	929	県農業会議指導協力員 16 人 青色申告指導員補助　　2 人

(3)　パソコン簿記研修会開催状況

区　分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講　　師
栃木支部	9	63	ソリマチ農業ソフト認定インストラクター 根本壽一
大平支部	4	22	
藤岡支部	8	43	田沼正能
都賀支部	14	194	ソリマチ農業ソフト認定インストラクター 根本壽一
合　計	35	322	

8　標準農作業料金の設定

兼業農家における、専業農家や農業協同組合等への農作業の部分又は全面委託等受委託関係が、適正かつ円滑に推進されるよう、農作業の目安となるべき標準料金を作成し、参考としている。

(1)　水稲作業

作　業　区　分		単 位	料金　(円)
トラクター作業	ロータリー耕起	10a当たり	4,000～5,250
	ロータリー代かき	〃	8,000～10,500

施肥（堆肥代別途）	〃	1,600
稚苗費（種子代別途）	〃	12,800～15,750
田植（機械植、補植別）	〃	6,000～6,825
除草剤散布（薬剤費別）	〃	1,500
防除（空散別途）	〃	1,500
刈取・脱穀	〃	15,000～17,850
乾燥・調整（袋代別途）	60kg当たり	1,500～1,785
畦畔つくり	1m当たり	50～52

(2) 麦作業

作業区分		単位	料金（円）
ドリル播	トラクター作業（耕起･施肥･播種･鎮圧）	10a当たり	4,200～6,300
除草		〃	800～2,000
麦踏		〃	600～1,600
刈取・脱穀		〃	12,800～13,000
乾燥・調整（袋代別途）	小麦	60kg当たり	1,500～1,955
	ビール麦	50kg当たり	1,300～1,955

(3) 労務費 （１日当たり８時間）

作業名	料金（円）
一般農作業	6,640（１時間当たり830）

9 農業者年金事業

担い手の確保、育成、農業経営資源の継承という農業の持続発展に寄与することを目的として、農業者年金事業の推進を図った。

(1) 農業者年金加入推進市内担当者研修会

県農業会議から講師を招き、農業者年金についての講義の後グループに分かれ、農業者年金加入推進についての事例や意見を述べ合い理解を深めた。

開催日	場所	参加者
10月31日(月)	吹上公民館	46人

・参加者内訳 農業委員３４人、ＪＡ担当者７人、事務局職員５人

(2) 加入状況（３月１日現在）

通常加入	政策支援加入
66 人	18 人

(3) 年金受給者数（６月末現在）

1,269人

10　農地の権利設定、移転及び転用関係処理状況

(1)　農地法第３条関係

ア　法第３条許可（所有権の移転関係）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	11	9,753.00	127.00	9,880.00
5	2	2,628.00	578.00	3,206.00
6	5	19,163.00	469.00	19,632.00
7	12	30,610.06	2,193.00	32,803.06
8	12	36,230.00	3,129.00	39,359.00
9	10	20,897.00	6,175.00	27,072.00
10	6	10,407.00	－	10,407.00
11	9	18,082.00	3,917.00	21,999.00
12	6	10,497.00	－	10,497.00
1	8	101,406.10	69.00	101,475.10
2	5	9,435.00	2,709.00	12,144.00
3	4	5,511.00	468.00	5,979.00
計	90	274,619.16	19,834.00	294,453.16

イ　法第３条許可（賃借権、使用貸借権、区分地上権の設定・移転関係）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	2	3,902.00	－	3,902.00
5	－	－	－	－
6	1	1,900.00	－	1,900.00
7	1	3,622.00	－	3,622.00
8	1	－	469.00	469.00
9	2	24,741.00	－	24,741.00
10	3	37,296.00	5,595.00	42,891.00
11	9	54,059.51	1,205.00	55,264.51
12	－	－	－	－
1	1	9,453.00	－	9,453.00
2	3	1,246.00	－	1,246.00
3	3	16,313.00	10,776.00	27,089.00
計	26	152,532.51	18,045.00	170,577.51

(2)　農地法第４・５条許可

ア　法第４条許可（調整区域内、自己転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	3	－	1,276.00	1,276.00
5	－	－	－	－

6	1	1,383.00	－	1,383.00
7	2	1,383.00	32.00	1,415.00
8	1	1,383.00	－	1,383.00
9	2	2,943.00	－	2,943.00
10	3	28.00	523.00	551.00
11	4	634.00	743.00	1,377.00
12	－	－	－	－
1	－	－	－	－
2	3	－	2,060.00	2,060.00
3	2	－	277.00	277.00
計	21	7,754.00	4,911.00	12,665.00

イ　法第５条許可（調整区域内の権利の設定・移転を伴う転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	4	338.00	1,094.00	1,432.00
5	4	795.00	2,406.00	3,201.00
6	3	2,031.00	303.00	2,334.00
7	4	－	1,510.00	1,510.00
8	5	1,617.00	998.00	2,615.00
9	5	766.00	1,817.00	2,583.00
10	10	41,721.00	620.00	42,341.00
11	2	－	880.00	880.00
12	5	8,312.41	1,318.00	9,630.41
1	7	387.00	1,978.51	2,365.51
2	8	2,179.00	1,702.93	3,881.93
3	2	7,772.00	－	7,772.00
計	59	65,918.41	14,627.44	80,545.85

(3)　農地法第４・５条届出

ア　法第４条届出（市街化区域内、自己転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	5	88.00	2,048.36	2,136.36
5	2	2,123.00	583.00	2,706.00
6	2	3,416.00	－	3,416.00
7	2	334.00	646.00	980.00
8	－	－	－	－
9	6	1,691.00	2,032.42	3,723.42
10	2	1,957.00	712.00	2,669.00
11	8	4,885.00	5,199.00	10,084.00

12	7	2,106.06	1,902.00	4,008.06
1	4	2,243.00	3,378.00	5,621.00
2	9	3,087.00	916.79	4,003.79
3	4	623.00	1,300.00	1,923.00
計	51	22,553.06	18,717.57	41,270.63

イ　法第５条届出（市街化区域内の権利の設定・移転を伴う転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	14	6,375.00	1,963.00	8,338.00
5	12	2,882.00	2,771.00	5,653.00
6	12	2,359.00	1,943.00	4,302.00
7	13	8,692.00	885.13	9,577.13
8	19	12,448.00	3,515.00	15,963.00
9	11	4,410.00	2,612.00	7,022.00
10	5	4,427.00	348.82	4,775.82
11	13	2,866.73	5,275.00	8,141.73
12	16	5,650.00	1,065.00	6,715.00
1	10	2,252.27	11,553.59	13,805.86
2	9	2,024.98	213.28	2,238.26
3	13	1,706.00	6,492.02	8,198.02
計	147	56,092.98	38,636.84	94,729.82

(4)　農地法第１８条関係（合意解約通知）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	21	6,375.00	1,963.00	8,338.00
5	8	16,667.00	266.00	16,933.00
6	3	4,437.00	－	4,437.00
7	8	42,365.00	879.00	43,244.00
8	10	29,886.00	2,665.00	32,551.00
9	7	12,301.00	813.00	13,114.00
10	19	44,245.00	413.00	38,446.00
11	17	38,033.00	3,909.13	57,452.13
12	37	61,991.00	2,236.00	64,227.00
1	20	22,188.00	980.00	23,168.00
2	24	89,711.00	2,146.00	91,857.00
3	16	52,620.00	2,001.00	54,621.00
計	190	420,819.00	18,271.13	448,388.13

(5)　各種証明関係

ア　非農地証明

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	2	－	865.00	865.00
5	5	486.00	3,635.00	4,121.00
6	8	466.14	566.99	1,033.13
7	4	505.00	898.27	1,403.00
8	3	－	485.08	485.08
9	6	－	2,853.00	2,853.00
10	4	1,120.00	763.00	1,883.00
11	12	2,280.00	10,909.91	13,189.91
12	4	12.00	1,153.00	1,165.00
1	5	－	2,788.00	2,788.00
2	5	1,050.96	1,899.00	2,949.96
3	2	303.00	244.00	547.00
計	60	6,223.10	27,060.25	33,283.08

イ　相続税の納税猶予に関する適格者証明

件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
3	9,742.00	504.17	10,246.17

ウ　買受適格者証明

件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
2	2,125.00	407.00	2,532.00

(6)　農業振興地域整備計画の変更協議

件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
―	(平成２３年度は凍結中につき該当なし)		

11　農業経営基盤強化促進法に基づく事務処理状況

利用権設定等促進事業に係る農用地利用集積計画を総会で決定し、市に要請した。

(1)　利用権の設定関係

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	98	395,288.00	8,833.00	404,121.00
5	98	356,622.00	7,965.00	364,587.00
6	36	120,288.00	5,522.00	125,810.00
7	43	184,080.00	7,279.00	191,359.00
8	19	82,164.00	5,667.00	87,831.00
9	52	306,015.57	19,931.00	325,946.57

10	79	271,728.00	30,444.00	302,172.00
11	111	469,975.85	20,220.00	490,195.85
12	175	696,544.76	25,290.00	721,834.76
1	105	451,905.00	10,666.00	462,571.00
2	127	496,642.00	12,915.00	509,557.00
3	135	595,157.00	7,521.00	602,678.00
計	1078	4,426,410.18	162,253.00	4,588,663.18

(2) 所有権の移転関係

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	−	−	−	−
5	2	4,720.00	−	4,720.00
6	−	−	−	−
7	3	8,706.00	−	8,706.00
8	−	−	−	−
9	2	9,584.00	−	9,584.00
10	3	6,292.00	338.00	6,630.00
11	4	11,820.00	3,307.00	15,127.00
12	5	17,751.00	−	17,751.00
1	6	18,725.00	338.00	19,063.00
2	10	6,288.00	4,070.00	10,358.00
3	3	24,779.00	−	24,779.00
計	38	108,665.00	8,053.00	116,718.00

12 国有農地の管理事務

国有農地の管理、処分、対価の徴収及び登記事務の推進に努めた。

区　　分	件数(件)	筆数(筆)	面積 (㎡)
農耕貸付	10	13	4,705
転用貸付	2	5	2,147
未 貸 付	17	17	4,245
合　計	29	35	11,097

13 農地銀行活動事業

効率的かつ安定的な「育成すべき農業経営体」への農用地の利用集積を促進するため、農用地の有効利用と流動化等の調整を行った。（通年）

・利用権設定に結びつけたもの　1,078件　4,588,663.18㎡

14　耕作放棄地解消対策事業

耕作放棄地解消対策のため、耕作放棄地の実態把握と解消促進に努めた。

(1)　栃木市耕作放棄地対策協議会総会

・実施日　６月２７日（月）

・場　所　栃木市役所

(2)　農業委員の担当地区ごとに、耕作放棄地実態調査を実施

・実施時期　１２月

・耕作放棄地面積　６９ｈａ

(3)　耕作放棄地再生利用緊急対策活用事業

・２地区　１３８ａ

第２０章　固定資産評価審査委員会

〔総括概要〕

固定資産の価格等は、毎年３月末日までに決定され、固定資産課税台帳に登録され、その後一定期間閲覧・縦覧に供される。

固定資産評価審査委員会は、納税義務者からの不服申出に基づき、固定資産課税台帳に登録されている価格について審査決定している。また、公平・適正な審査を期するため独立した中立的な機関であり、委員定数５名、任期３年により運営している。

審査委員会においては、委員長の選任、評価の概要等の報告を行った。

1　固定資産評価審査委員

職　名	氏　　名	生年月日	選任年月日	備　　考
委　員　長	諏　訪　　晃	昭和19年1月3日	平成 22 年　5 月 18 日	
委　　員	町　田　郁　夫	昭和26年11月5日	平成 22 年　5 月 18 日	
委　　員	三　柴　力　夫	昭和16年7月17日	平成 22 年　5 月 18 日	
委　　員	松　本　　格	昭和19年9月18日	平成 22 年　5 月 18 日	
委　　員	天　海　達　雄	昭和24年7月4日	平成 23 年 11 月 25 日	

2　会議開催状況

期　日	内　　容	場　所	備　考
6月30日（木）	・委員長選出 ・平成23年度固定資産評価の概要について ・平成23年度固定資産評価資産課税台帳の縦覧・閲覧結果について	第5会議室	

第２１章　消防本部

第１節　総務課

〔総括概要〕

平成２３年１０月１日、西方町との合併に伴い、管轄区域が全て栃木市となったことにより、栃木地区広域行政事務組合消防本部から栃木市消防本部となった。

総務課の主な事務分掌は、消防職員の人事関係、職員研修関係、広報広聴関係、消防事務の企画及び調整関係、消防施設の整備及び維持管理関係等である。

消防職員の人事については、限られた人員と財源の中で効果的、効率的な組織運営を展開するとともに、高度化・多様化する市民のニーズに的確に対応するため、「適材適所の職員配置」、「組織の活性化」、「業務の継続性」等に配慮し、異動等を実施した。

職員研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるよう各種研修に積極的に参加し、職員の知識及び技能の向上に努めた。

広報業務については、市民に消防行政への理解と関心を高めてもらうため、ホームページの活用、報道機関への情報提供等、きめ細やかな広報活動を展開した。

消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに消防本部、消防署及び各消防分署の相互間の連絡調整等を行い、消防行政の統一的、効率的な運営を図るため、定期的に定例幹部会議を開催した。

また、災害時の活動拠点としての役割を果たすため、消防本部、消防署及び各消防分署庁舎等の消防施設を適正に管理するとともに修繕工事等を行った。

庶務係

1　消防職員数

(1)　階級別職員数（１０月１日現在）　（単位：人）

区分＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
定員	階級別定員なし							170
実員	1	9	14	60	18	13	47	162

(2)　所属別職員数　（単位：人）

所属＼階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計	摘要
消防本部	消防長	1	－	－	－	－	－	－	1	
	次長	－	1	－	－	－	－	－	1	
	総務課	－	1	1	6	2	－	1	11	県消防広域化へ派遣1 市消防防災課併任1 県消防防災航空隊へ派遣1
	予防課	－	1	1	6	－	－	1	9	
	警防課	－	1	2(1)	1	－	1	－	5(1)	県消防学校へ派遣1
	通信指令第1課	－	1	－	3	1	－	－	5	
	通信指令第2課	－	1	－	3	1	－	－	5	
	計	1	6	4(1)	19	4	1	2	37(1)	
消防署	署長	－	1	－	－	－	－	－	1	
	副署長	－	1(1)	－	－	－	－	－	1(1)	
	消防第１課	－	1	1	8	4	4	8	26	
	消防第２課	－	(1)	1	9	2	3	10	25(1)	
	大平分署	－	－	2	7	3	1	5	18	
	藤岡分署	－	－	2	7	1	3	5	18	
	都賀分署	－	－	2	6	1	1	4	14	
	西方分署	－	－	2	4	3	－	5	14	
	計	－	3(2)	10	41	14	12	37	117(2)	
研修職員		－	－	－	－	－	－	8	8	県消防学校へ入校8
合計		1	9(2)	14(1)	60	18	13	47	162(3)	

※（　）内数字は兼務者数

(3)　級別職員数（１０月１日現在）　　（単位：人）

区分	８級	７級	６級	５級	４級	３級	２級	１級	小計
男	1	9	9	5	60	18	29	31	162
女	－	－	－	－	－	－	－	－	－
計	1	9	9	5	60	18	29	31	162

２　人事

(1)　職員の採用（４月１日～３月３１日採用分）　　（単位：人）

職　種	人　員	男	女
消　防	9	9	－

(2)　職員の退職（４月１日～３月３１日退職分）　　（単位：人）

消防職	6

(3)　消防職員採用試験の実施状況

・試験実施状況

実施日	内　容
9月18日(日)	第一次試験（筆記試験）実施
10月20日(木)	第二次試験（面接試験）実施
10月26日(水)	第二次試験（体力測定）実施

・受験状況

区　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
消　防	47	36	11	1	12	3.0

３　消防職員研修（１０月１日以降に実施したものを掲載）

(1)　研修実施者（栃木県消防学校）

期　日	研　修　科　目	参加者数（人）
4月11日(月)～10月18日(火)［119日］	初任教育（第59期）	8
12月 5日(月)～12月16日(金)［10日］	専科教育警防科	2
2月 2日(木)～ 2月10日(金)［7日］	専科教育特殊災害科	2
1月16日(月)～ 1月20日(金)［5日］	専科教育危険物科	2
10月19日(水)～12月20日(火)［43日］	専科教育救急科	6
10月24日(月)～11月22日(火)［21日］	専科教育救助科	2
1月23日(月)～ 2月 3日(金)［10日］	幹部教育初級幹部科	2
2月 6日(月)～ 2月10日(金)［5日］	幹部教育中級幹部科	1

11 月 28 日(月)～11 月 30 日(水)　［3 日］	幹部教育上級幹部科	1

(2)　研修実施者（消防大学校）

期　　日	研　修　科　目	参加者数（人）
1 月 16 日(月)～2 月 29 日(水)　［33 日］	総合教育幹部科（第 28 期）	1

4　職員厚生（１０月１日以降に実施したものを掲載）

健康診断の実施状況

検　　診　　名	対　象　者	受診者数（人）
一般健康診断	全職員	119
胃がん検診	〃	74
肺がん検診（胸部Ｘ線撮影）	〃	87
大腸がん検診	〃	83
前立腺がん検診	５０歳以上	7
人間（脳）ドック	３５歳以上	14

5　広報関係

(1)　ホームページ

インターネットを利用してホームページを開設し、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急処置方法等、消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知を図り、広報活動のより一層の充実に努めた。

(2)　報道機関等への情報提供

人命救助者に対する感謝状贈呈の情報提供を行った。

6　定例幹部会（１０月１日以降に実施したものを掲載）

消防長が主宰し、消防施策の意思決定、その他重要な案件の審議並びに組織内の連絡調整等を行った。

開　催　日	案件数（件）
10月3日(月)	4
11月1日(火)	3
12月1日(木)	3
1月4日(水)	4
2月1日(水)	2
3月1日(木)	3

企画係

1　消防施設の概要　（単位：㎡）

区　分	所　在　地	敷地面積	構　　造	1　階床面積	2　階床面積	3　階床面積	延面積
消防本部	栃木市平柳町1-34-5	1,725	鉄骨造陸屋根3階建	467	437	22	926
栃木消防署	栃木市平柳町1-34-5	2,722	鉄筋コンクリート造3階建	641	330	315	1,286
大平分署	栃木市大平町蔵井2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造2階建	228	65		293
藤岡分署	栃木市藤岡町藤岡81-2	1,312	鉄筋コンクリート造2階建	266	104		370
都賀分署	栃木市都賀町大柿1529	1,286	鉄筋コンクリート造2階建	225	65		290
西方分署	栃木市西方町金井293	1,371	鉄筋コンクリート造2階建	226	63		289

2　消防施設の整備状況（※１０月１日以降に実施したものを掲載）

(1)　主な改修工事

工　　事　　名	金　額（円）
西方分署汚物洗場改修工事	459,900

(2)　主な維持補修工事

工　　事　　名	金　額（円）
栃木消防署洗面器排水修繕工事	12,600
消防本部別館照明器具修繕工事	21,840
消防本部別館冷房器具修繕工事	21,000
消防本部1階便所自動水栓修繕工事	22,575

(3)　主な業務委託

業　務　内　容	金　額（円）
消防本部・消防署・分署パソコン保守運用管理業務	265,734
消防本部自家用電気工作物保安管理業務	71,820
栃木消防署自家用電気工作物保安管理業務	98,154
消防本部・消防署・分署消防設備保守点検業務	26,208

第２節　予防課

〔総括概要〕

予防課の主な分掌事務は、火災予防、危険物規制、防火対象物指導事務等である。

火災予防事務については、全国統一の火災予防運動・防火ポスターの展示および住宅用火災警報器設置の推進を実施し、市民の防災意識の高揚を図った。

危険物規制事務については、全国統一の危険物安全週間等による危険物施設等の立入検査を実施し、危険物施設の保安管理の充実を図った。

防火対象物指導事務については、全国統一の火災予防運動等による防火対象物等への立入検査を実施し、関係者に火災予防の周知を図った。

予防係

1　火災原因及び件数（１０月～３月分）　　（単位：件）

原因	件数	原因	件数
コンロ	2	灯火	－
たき火	9	マッチ・ライター	1
放火	2	こたつ	－
放火の疑い	1	ボイラー	－
たばこ	2	電灯電話等の配線	1
煙突・煙道	－	内燃機関	－
電気機器	1	火あそび	－
ストーブ	－	火入れ	－
配線器具	－	その他	8
溶接機・切断機	－	不明、調査中	4
合計			31

2　消防関係

(1) 予防関係（１０月～３月分）

区分／行事	期日	内容
危険物安全週間	－	消防訓練 製造所取扱所の立入検査
危険物取扱者保安講習会	－	－
秋季全国火災予防運動	11月9日(水)～11月15日(火)	防火対象物立入検査
春季全国火災予防運動	3月1日(木)～3月7日(火)	防火対象物立入検査

(2) 災害関係（１０月～３月分）

区分	件数	焼損棟数（類焼含）		世帯数（類焼含）		焼失（床）面積（㎡）	死傷者（人）		損害額（千円）	
							死亡	負傷		
建物火災	9	全焼	4	全損	1	601	1	－	建物	29,886
		半焼	－	半損	－		－	－		
		部分焼	4	小損	4		1	1		
		ぼや	3				－	－		
林野火災	－					－	－	－		－
車両火災	4						－	－		316
その他の火災	18						－	－		474

指導係

1　消防同意処理状況（１５０㎡以上）　　（単位：件）

用途別			10月～3月
1	イ	劇場等	－
	ロ	公会堂等	－
2	イ	キャバレー等	－
	ロ	遊技場等	－
	ハ	性風俗施設	－
	ニ	カラオケボックス等	－
3	イ	料理店等	－
	ロ	飲食店	1
4		物品販売店舗等	3
5	イ	旅館・ホテル等	－
	ロ	共同住宅	1
6	イ	病院等	3
	ロ	老人短期入所施設等	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	2
	ニ	幼稚園等	－
7		学校	2
8		図書館等	－
9	イ	特殊浴場	－
	ロ	公衆浴場	－
10		停車場等	－
11		神社・寺院等	－
12	イ	工場・作業場	－
	ロ	スタジオ	－

13	イ	駐車場等	－
	ロ	航空機格納庫	－
14		倉庫	6
15		事務所等	4
16	イ	特定複合用途	2
	ロ	非特定複合用途	－
17		文化財	－
計			25

その他の消防同意処理状況	住宅	23
	その他	52
計		75

2　防火対象物別立入検査実施状況調（１０月～３月分）　（単位：件）

用途別＼地域別			栃木市					計
			栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	
1	イ	劇場等	－	－	－	－	－	－
	ロ	公会堂等	3	2	2	－	1	8
2	イ	キャバレー等	－	－	－	－	－	－
	ロ	遊技場等	4	－	－	－	－	4
	ハ	性風俗施設	－	－	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	－	－	－	－	－	－
3	イ	料理店等	－	－	－	－	－	－
	ロ	飲食店	－	2	－	－	2	4
4		物品販売店舗等	13	8	1	－	1	23
5	イ	旅館・ホテル等	4	－	－	－	－	4
	ロ	共同住宅	－	－	－	－	－	－
6	イ	病院等	－	－	3	1	－	4
	ロ	老人短期入所施設等	12	1	2	1	3	19
	ハ	老人デイサービスセンター等	3	3	－	1	－	7
	ニ	幼稚園等	－	3	1	－	－	4
7		学校	3	－	6	－	4	13
8		図書館等	－	－	1	1	－	2
9	イ	特殊浴場	1	－	－	－	－	1
	ロ	公衆浴場	－	－	－	－	－	－
10		停車場等	－	－	－	－	－	－

11		神社・寺院等	1	1	−	−	−	2
12	イ	工場・作業場	3	1	3	1	10	18
	ロ	スタジオ	−	−	−	−	−	−
13	イ	駐車場等	−	−	−	−	−	−
	ロ	航空機格納庫	−	−	−	−	7	7
14		倉庫	−	1	2	−	−	3
15		事務所等	1	−	1	2	4	8
16	イ	特定複合用途	6	3	−	−	1	10
	ロ	非特定複合用途	2	−	−	−	−	2
17		文化財	4	1	7	1	1	14
独居老人宅防火診断			−	−	−	−	−	−
合　　計			60	26	29	8	34	157

危険物係

1　危険物製造所等調　　（単位：件）

施設区分	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
施設数	716	2	70	43	13	158	2	142	8	140	5	1	132

2　市町別危険物施設調　　（単位：件）

区分＼地域別		栃木市					計
		栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	
製造所		−	1	−	−	1	2
貯蔵所	屋内貯蔵所	33	15	12	5	5	70
	屋外タンク貯蔵所	25	9	2	3	4	43
	屋内タンク貯蔵所	6	4	1	2	−	13
	地下タンク貯蔵所	94	19	15	13	17	158
	簡易タンク貯蔵所	1	−	1	−	−	2
	移動タンク貯蔵所	76	32	15	11	8	142
	屋外貯蔵所	3	4	1	−	−	8

	計	238	84	47	34	35	438
取扱所	給油取扱所	74	20	24	14	8	140
	第１種販売取扱所	5	－	－	－	－	5
	第２種販売取扱所	－	－	－	1	－	1
	一般取扱所	60	31	20	11	10	132
	計	139	51	44	26	18	278
合計		377	135	91	60	53	716
事業所数		213	36	34	26	20	329

3　製造所等立入検査実施数（平成２３年１０月～平成２４年３月分）　（単位：件）

区分＼地域別	栃木市					計
	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	
立入検査実施数	7	－	－	－	－	7

4　製造所等別指定数量の倍数調（平成２４年３月３１日現在）　（単位：件）

区分＼倍数別		合計	5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下
総計		716	320	144	134	56	25	14	23
製造所		2	1	－	－	－	1	－	－
貯蔵所	屋内貯蔵所	70	43	15	9	－	1	2	－
	屋外タンク貯蔵所	43	10	11	14	7	1	－	－
	屋内タンク貯蔵所	13	11	2	－	－	－	－	－
	地下タンク貯蔵所	158	67	44	32	8	4	1	2
	簡易タンク貯蔵所	2	2	－	－	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	142	104	4	14	16	4	－	－
	屋外貯蔵所	8	3	3	2	－	－	－	－
	小計	436	240	79	71	31	10	3	2
取扱所	給油取扱所	140	30	9	37	21	13	11	19
	第１種販売取扱所	5	5	－	－	－	－	－	－
	第２種販売取扱所	1	－	－	1	－	－	－	－
	一般取扱所	132	44	56	25	4	1	－	2
	小計	278	79	65	63	25	14	11	21

第３節　警防課

〔総括概要〕

警防課の主な事務分掌は、火災を警戒、鎮圧し排除するための警防対策、消防計画関係、他の消防機関との相互応援協定関係、消防車両の整備・配置管理関係、消防水利関係、水防関係、安全運転管理関係、救急事務関係、救急医療情報関係、救急救命士の養成教育関係、メディカルコントロール事務関係、救急車両及び救急資器材の整備・配置管理関係等である。

複雑多様化する各種災害発生時における市民の生命・身体・財産を守るための消防計画の策定、高度で有効な消防活動が展開できるよう消防車両・消防資機材の維持管理及び更新等を行った。また、栃木市消防本部が発足したことに伴う大規模火災・特殊災害及び高速道路での災害発生時における他の消防本部との消防相互応援協定の締結の見直しを行った。

救急管理業務では、増加傾向にある救急事案に対応するため、プレホスピタルケア（病院前救護）体制の構築、メディカルコントロール（医学的観点から救急隊員が行う応急措置等の質を保証）での事後検証及び救急救命士の養成・教育を行っているほか高規格救急自動車及び救急資器材の整備等を行った。また、救急出動時において、適切な病院選定が可能となる救急医療情報端末を救急車に整備し、積極的な救急対応に努めた。

警防係

1　消防車両現勢（１０月１日現在）

署・種別＼区分		車　名	年　式	備　　考
消防本部	庁　用　車	ニッサン	平成　7	
	指　令　車	〃	平成　9	
	総務連絡車	トヨタ	平成１０	
	査察広報車	〃	平成２０	
	予防広報車	ニッサン	平成１１	
	防　火　号	トヨタ	平成　4	
	予防連絡車	スズキ	平成２０	
	物資搬送車	マツダ	平成２１	
栃木市消防署	普通ポンプ車	三　菱	平成　4	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成１０	水槽　2,500 ℓ
	化　学　車	日　野	平成１９	水槽　1,500 ℓ　薬液 500 ℓ
	梯　子　車	〃	平成　5	30m級
	救助工作車	いすゞ	平成　9	クレーン、ウインチ、照明装置付
	災害支援車	三　菱	昭和６２	
	救　急　車	ニッサン	平成１５	高規格
	〃	トヨタ	平成１９	〃
	〃	〃	平成２２	〃
	栃木広報車	〃	平成１５	
大平分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成１０	
	化　学　車	日　野	平成２２	
	救　急　車	トヨタ	平成２１	高規格
	大平広報車	〃	平成２１	
藤岡分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成２０	
	水槽付ポンプ車	〃	平成１１	
	救　急　車	ニッサン	平成１５	高規格
	藤岡広報車	トヨタ	平成２０	
都賀分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成１１	
	水槽付ポンプ車	〃	平成　2	
	救　急　車	トヨタ	平成１８	高規格
	都賀広報車	トヨタ	平成２３	

西方分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成２２	
	水槽付ポンプ車	〃	平成１２	
	救急車	トヨタ	平成２０	高規格
	西方広報車	ニッサン	平成　３	

２　地域別消防水利設置状況（１０月１日現在）

	栃木市					計
	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	
消火栓	1,399	428	370	291	136	2,624
防火井戸	245	107	43	4	－	399
防火水槽	560	168	235	102	40	1,105
プール	23	6	6	4	3	42
計	2,227	709	654	401	179	4,170

３　消防資機材（１０月１日現在）

種別 ＼ 所属別		合計	消防本部	栃木市消防署				
				本署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
救助器具	救命索発射銃	3	－	3	－	－	－	－
	油圧式救助器具	5	－	3	－	2	－	－
	ワイヤーはしご	1	－	1	－	－	－	－
	可搬式ウインチ	4	－	3	－	1	－	－
	救助マット	3	－	3	－	－	－	－
	排煙機	2	－	1	1	－	－	－
	自動ポンプ式油圧救助器具	2	－	1	－	1	－	－
	マット型空気ジャッキ	1	－	1	－	－	－	－
	耐熱防護服	6	－	6	－	－	－	－
	化学防護服（防毒衣）	11	－	7	2	－	2	－
	放射線防護服	3	－	3	－	－	－	－
	放射線測定器	1	－	1	－	－	－	－
	可燃・有毒ガス測定器	6	－	2	1	1	1	1
	耐電用防護服	3	－	3	－	－	－	－
	潜水器具一式	3	－	3	－	－	－	－
	救命ボート	4	－	2	－	1	－	1
	船外機	1	－	－	－	1	－	－
	エアーテント	1	－	1	－	－	－	－

救急用器具	人工呼吸器	7	－	3	1	1	1	1
	陰圧式固定具	7	－	3	1	1	1	1
	バックボード一式	13	－	6	2	2	1	2
	血圧計	15	－	6	2	2	3	2
	血中酸素飽和濃度測定器	13	－	5	2	2	2	2
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器	2	－	2	－	－	－	－
	吸引器	10	－	4	2	1	1	2
	喉頭鏡	9	－	3	2	2	1	1
	半自動体外式除細動器	7	－	3	1	1	1	1
	自動体外式除細動器（AED）	3	－	1	1	1	－	－
	ベットサイドモニター	7	－	3	1	1	1	1
	輸液用資機材	6	－	2	1	1	1	1
破壊器具	エンジンカッター	5	－	1	1	1	1	1
	エアツール	2	－	1	1	－	－	－
	ガス熔断器	2	－	2	－	－	－	－
	チェーンソー	2	－	2	－	－	－	－
	削岩器	1	－	1	－	－	－	－
	万能斧	10	－	6	2	－	1	1
呼吸保護具	空気充填設備	1	－	1	－	－	－	－
	空気呼吸器	54	－	28	7	7	6	6
	空気ボンベ	162	－	85	22	20	17	18
	酸素呼吸器	5	－	5	－	－	－	－
	簡易呼吸器	3	－	3	－	－	－	－
作業用器具	ホースカー	8	－	2	1	2	1	2
	連梯子	12	－	4	2	2	2	2
	かぎ付梯子	2	－	2	－	－	－	－
	照明発電機	15	1	6	2	3	1	2
	拡声装置	29	3	11	4	4	3	4
放水・発砲器具	簡易発泡器	5	－	2	1	1	1	－
	エアフォームノズル	9	－	5	4	－	－	－
	ピックアップノズル	4	－	1	1	－	－	－
	ラインプロポーショナー	4	－	1	1	1	1	－
	消火栓用スタンドパイプ	13	－	5	2	2	2	2
	分岐金具	21	－	9	3	3	3	3
	ホースブリッジ	11	－	3	2	2	2	2
	ロータリー管鎗	3	－	1	－	1	1	－
	フォグガン	13	－	5	2	2	2	2
	山林火災用手動ポンプ	57	－	28	5	10	5	9

	山林火災用可搬式送水装置	6	－	2	1	1	1	1
	ウォーターチャージャー	6	－	2	1	2	－	1
	界面活性剤原液(ℓ)	2600	－	1340	380	340	280	260
その他の器具	超音波厚さ計	1	1	－	－	－	－	－
	ピンホール探知機	1	1	－	－	－	－	－
	膜厚計	1	1	－	－	－	－	－
	非接触温度計	3	－	－	1	1	－	1

4　消防相互応援協定関係

(1)　東北自動車道消防相互応援協定

(2)　特殊災害消防対策相互応援協定

(3)　特殊災害消防相互応援協定

(4)　消防相互応援協定

救急管理係

1　救急救命士養成

救急救命士は国家資格であり、救急救命処置は、医師の具体的指示の基に行われている。現在３３人が救急救命士として認定されている。

救命率の向上、高度化する救急業務に対応するため、毎年１～２人の救急救命士を養成している。

(1)　救急救命士の編成状況（１０月１日現在）　（単位:人）

消防本部	栃　木　市　消　防　署					
	消防第１課	消防第２課	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署
1	6	6	7	4	4	5

(2)　救急救命士資格状況（１０月１日現在）　（単位：人）

救急救命士資格別＼試験別		合格者数（平成18年以前）	新試験合格者（平成18年以降）	認定者・合格者数合計
救急救命士認定		22	11	33
資格内訳	薬剤投与実施救命士認定	9		9
	薬剤投与連携確認試験合格者	9	9	18
	気管挿管実施救命士認定	17	2	19

2　事後検証会

毎月救急救命士は、地域メディカルコントロール（ＭＣ）の基に、心肺停止等救急事案の事後検証を行うことによりプロトコール(確実に救命処置を行うための手順)厳守の重要性、ＭＣ体制の必要性など、救急救命士としての資質向上を図っている。

第４節　通信指令課

〔総括概要〕

通信指令課は第１課と第２課で組織されており２４時間勤務の２交代制で業務を行っている。

通信指令課の主な事務分掌は、災害通報の受付及び出動指令関係、非常召集及び応援要請関係、通信施設の整備及び維持管理関係、気象観測及び気象通報関係、通信技術の指導関係等である。

災害通報の受付及び出動指令については、高機能消防指令センターで１１９番を受信し、同時に発信地表示装置により、住所と付近地図が自動的（一部を除く）に表示され車両の台数を決定し出動させた。

非常召集及び応援要請については、災害規模状況等により部隊を編成させ実施した。

通信技術の指導については、若手職員に対して知識技能伝承研修会を実施した。

指令係

1　災害等受付回数　（単位：回）

種別／月	火災		救急・救助		その他の災害		通報訓練		問い合わせ		まちがいいたずら		合計	
10月	3	(1)	415	(97)	37	(6)	49	(0)	52	(26)	52	(25)	608	(155)
11月	3	(0)	414	(110)	38	(3)	68	(2)	43	(16)	53	(27)	619	(158)
12月	4	(3)	466	(103)	24	(3)	41	(1)	55	(23)	63	(33)	653	(166)
1月	8	(6)	458	(78)	30	(3)	29	(0)	75	(31)	59	(25)	659	(143)
2月	6	(5)	417	(93)	28	(1)	38	(0)	54	(20)	61	(23)	604	(142)
3月	8	(2)	422	(61)	33	(3)	48	(0)	67	(24)	68	(28)	646	(118)
合計	32	(17)	2,592	(542)	190	(19)	273	(3)	346	(140)	356	(161)	3,789	(882)

※（）内は携帯電話からの受付で内数

2　システム主要機器

機　器　名		数量	概　略　仕　様
通信指令課	自動出動指定装置 地図検索装置	３席	Ⅱ型　補助受付機能３席
	音声合成装置	１台	
	指令伝送装置	１台	
	非常用指令設備	１台	
	車両運用表示盤	１面	プロジェクタ７０インチ
	支援情報表示盤	１面	
	多目的情報表示盤	１面	プロジェクタ７０インチ
	無線統制台	１台	市町村波・県内共通波・救急波・全国共通３
	気象情報収集装置	１式	波
	災害状況等自動案内装置	１式	栃木署・藤岡分署（藤岡分署は風向風速のみ）
	順次指令装置	１式	
	発信地表示装置	１式	
	携帯・ＩＰ位置情報システム	１式	
	映像伝送装置	１式	
	聴覚障害者用パソコン	１台	メール１１９
	聴覚障害者用ＦＡＸ	１台	ＦＡＸ１１９
	サイレン吹鳴装置	１式	
署・分署	署所端末装置	各署１台	
	指令情報出力装置	各署１台	
	監視カメラ	各署２台	
	駈け付け通報装置	各分署２台	

3　無線機台数　（単位：台）

所　　属	種別	所有台数	周波数内訳台数			
			市町村波	県内共通波	救急波	全国共通３波
消防本部	基　地　局	1	1	1	1	1
	陸上移動局	5	5	5	0	1
栃 木 署	陸上移動局	22	22	22	3	14
藤岡分署	陸上移動局	11	11	11	1	5
大平分署	陸上移動局	11	11	11	1	6
都賀分署	陸上移動局	9	9	9	1	5
西方分署	陸上移動局	9	8	8	1	3

4　気象関係

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均気温（℃）	17.1	11.7	4.4	1.7	2.8	6.7
最高気温（℃）	27.3	22.5	15.8	11.3	14.2	19.6
最低気温（℃）	5.6	0.3	-4.8	-6.4	-7.3	-2.7
降水量（ｍｍ）	98.0	63.0	17.5	15.5	52.5	95.5
1日最高 降水量（ｍｍ）	55.5	27.5	14.0	20.0	17.5	28.5
1時間最長 降水量（ｍｍ）	7.0	5.0	3.0	2.5	3.5	5.5
降水日数（日）	8	6	3	4	7	10
平均風速（ｍ）	1.3	1.1	1.7	1.6	1.7	1.9
最大瞬間風速（ｍ）	16.1	14.4	17.1	18.9	19.4	19.2
平均湿度（％）	71.4	73.3	61.1	55.9	56.0	60.1
最高湿度（％）	97.5	98.1	97.3	96.4	96.0	97.0
最低湿度（％）	19.4	19.8	16.8	14.6	13.9	11.7

第５節　消防署

〔総括概要〕

消防署の主な分掌事務は、火災、救急、救助、並びにその他の災害の防除活動等であり、市民の安全・安心な暮らしの確保のため、１署４分署、計１１６人の職員が２４時間体制で勤務している。

出動件数については、火災３２件、救急 2,623 件、救助５９件、その他の災害２４２件であった。

消防署の庁舎見学及び体験学習受入件数については２２件、消防訓練出動件数は４７件、救命講習会５７件を実施した。また、これらの講習会に併せ、火災予防及び、救急車の適正利用についての啓発活動を実施した。

消防係

1　救助事故関係

(1)　事故種別救助出動件数及び救助人員　（１０月～３月）

種別／件数及び人員	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	破裂事故	その他	合計
出動件数(件)	10	25	3	－	1	－	－	－	19	58
活動件数(件)	－	6	2	－	1	－	－	－	10	19
救助人員(人)	－	7	2	－	1	－	－	－	10	20

(2)　地域別救助出動、活動件数（１０月～年３月）　（単位：件）

地域／件数	栃木市					管外	合計
	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域		
出動件数	25	11	8	6	3	5	58
活動件数	16	2	1	－	－	－	19

※　活動件数とは、出動した件数の中で実際に救助活動を行った件数

2　その他の事故関係

(1)　その他の出動件数（１０月～３月）　（単位:件）

災害区分	内訳	活動内容	件数
危険排除	漏洩	事故等により、事故車両から少量の危険物が流れたもの	33
	流出	事故等により、多量の危険物が流出し、緊急を要するもの	2
	倒木	道路等への倒木の排除	－

	土砂崩れ	土砂の排除等	－
特別危険排除	Ｎ災害	核臨界事故等の核汚染による災害	－
	Ｂ災害	炭素菌等の生物汚染による災害	－
	Ｃ災害	サリン等の化学物質汚染による災害	－
	ガス臭	明らかにＬＰＧ臭とわかるもの	－
	異臭	その他の異臭	－
緊急確認	ベル鳴動	自火報、住警器の異常発報で出動したもの	6
	焚火	火災、怪煙等の通報で緊急出動したが焚火だったもの	8
	誤報	火災、怪煙等の通報で緊急出動し、事実が無かったもの	3
調査	焚火	緊急性を要しない焚火指導	15
	落雷	緊急性を要しない落雷調査	－
	電線のショート	送電線の火花	－
	流出	河川への油膜等の浮遊による調査	－
水防活動	工法	水防工法活動を行ったのもの	－
	巡回	河川増水等の巡回広報活動等を行ったもの	－
支援	救急支援	主に救急活動の支援を行ったもの	21
	高速支援	高速道路に出動した救急支援活動	12
	搬出困難	主に傷病者の搬出活動を行ったもの	40
	航空支援	防災ヘリ、ドクターヘリ要請に伴う出動	74
	ＰＡ連携	直近救急隊出動時に消防隊が出動したもの	15
その他	施錠	屋内、車両等の施錠	－
	捜索	行方不明者又は、救急現場等が不明確な場合の捜索活動	－
	動物等	人以外の救出活動等	－
	怪煙等	雲、水蒸気等を煙と錯覚したもの	1
	悪戯	事実がなく、明らかに通報が悪戯ととれるもの	－
	誤報	事実のないもの	2
	その他	上記に掲げる以外の活動	10
合　計			242

(2)　署別その他の出動件数（１０月～３月）　（単位：件）

		栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	合計
危険排除	漏洩	11	14	3	－	5	33
	流出	1	－	－	1	－	2
	倒木	－	－	－	－	－	－

	土砂崩れ	－	－	－	－	－	－
特別危険排除	Ｎ災害	－	－	－	－	－	－
	Ｂ災害	－	－	－	－	－	－
	Ｃ災害	－	－	－	－	－	－
	ガス臭	－	－	－	－	－	－
	異臭	－	－	－	－	－	－
緊急確認	ベル鳴動	4	1	－	－	1	6
	焚火	4	1	3	－	－	8
	誤報	－	2	1	－	－	3
調査	焚火	3	7	3	－	2	15
	落雷	－	－	－	－	－	－
	電線のショート	－	－	－	－	－	－
	流出	－	－	－	－	－	－
支援	救急支援	12	3	3	0	3	21
	高速支援	9	－	－	1	2	12
	搬出困難	34	1	4	1	0	40
	航空支援	50	6	8	3	7	74
	ＰＡ連携	6	6	3	－	－	15
その他	施錠	－	－	－	－	－	－
	捜索	－	－	－	－	－	－
	動物等	－	－	－	－	－	－
	怪煙等	－	－	－	1	－	1
	悪戯	－	－	－	－	－	－
	誤報	－	1	－	－	1	2
	その他	6	1	3	－	－	10
合　計							242

予防係

1　火災予防条例の受付状況　（１０月～３月）　（単位：件）

署別 / 条例別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	合計
消防訓練実施計画書	202	58	40	37	18	355
消防訓練結果報告書	189	62	35	38	18	342
火災とまぎらわしい煙または、火災を発するおそれのある行為の届出書	21	12	8	5	1	47
煙火の届出書	30	1	10	5	－	46
催物開催届出書	11	5	3	1	1	21
水素ガスを充てんする気球の設置届	-	-	-	-	-	-
合計	453	138	96	86	38	811

2　予防査察の実施状況

(1)　防火対象物　（１０月～３月）　（単位：件）

条例別		署別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	合計
1	イ	劇場等	-	-	-	-	-	-
	ロ	公会堂等	1	2	2	1	1	7
2	イ	キャバレー等	-	-	-	-	-	-
	ロ	遊技場等	-	-	-	-	-	-
	ハ	性風俗施設	-	-	-	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	-	-	-	-	-	-
3	イ	料理店等	-	-	-	-	-	-
	ロ	飲食店	-	2	-	-	2	4
4		物品販売店舗等	12	8	1	-	1	22
5	イ	旅館・ホテル等	-	-	-	-	-	-
	ロ	共同住宅	-	1	-	-	-	1
6	イ	病院等	-	3	3	1	-	7
	ロ	社会福祉施設等	11	3	2	2	3	21

	ハ	保育園等	3	-	-	1	-	4
	ニ	幼稚園・特別支援学校	-	-	1	-	-	1
7		学校	1	-	6	-	6	13
8		図書館等	-	-	1	1	-	2
9	イ	特殊浴場	-	-	-	-	-	-
	ロ	公衆浴場	-	-	-	-	-	-
10		停車場等	-	-	-	-	-	-
11		神社・寺院等	1	2	-	-	-	3
12	イ	工場・作業場	−	1	2	6	6	15
	ロ	スタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ	駐車場等	-	-	-	-	-	-
	ロ	航空機格納庫	-	-	-	-	-	-
14		倉庫	-	1	2	-	7	10
15		事務所等	-	-	1	4	2	7
16	イ	特定複合用途	5	3	-	-	2	10
	ロ	非特定複合用途	-	-	-	-	-	-
17		文化財	2	1	-	-	-	3
合計			36	27	21	16	30	130

(2)　危険物施設

なし

※査察実施期間は平成２３年１０月～平成２４年３月まで

(3)　一人暮らし老人宅防火診断

なし

※査察実施期間は平成２３年１０月～平成２４年３月まで

救急係

1　署別・月別救急活動状況　（１０月～３月）

署別 ＼ 月別	栃木市消防署		大平分署		藤岡分署		都賀分署		西方分署		合計	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
10月	237	216	83	81	35	34	26	24	41	37	422	392
11月	242	206	71	66	46	45	34	33	33	32	426	382
12月	256	234	95	86	41	38	40	39	39	36	471	433
1月	253	217	96	86	47	42	31	27	35	34	462	406

2月	241	211	72	63	36	32	29	27	35	36	413	369
3月	236	205	86	71	54	52	26	21	27	26	429	375
合計	1,465	1,289	503	453	259	243	186	171	210	201	2,623	2,357

2　地域別・事故種別救急活動状況　（１０月～３月）

地域別 / 事故種別	栃木地域		大平地域		藤岡地域		都賀地域		西方地域		管　外	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
火　災	3	1	3	－	3	－	－	－	2	－	－	－
自然災害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水　難	1	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
交通事故	168	164	57	59	32	33	25	22	12	12	15	15
労働災害	41	40	6	6	4	4	2	2	2	2	－	－
運動競技	4	5	2	2	2	3	－	－	1	1	－	－
一般負傷	176	165	54	49	40	37	25	24	12	11	－	－
加　害	7	7	3	2	1	1	2	1	－	－	－	－
自損行為	26	22	4	4	6	4	1	1	1	－	－	－
急　病	965	832	282	241	197	183	127	119	68	62	2	2
その他	154	143	45	41	11	10	5	4	20	20	3	－
合　計	1,545	1,380	456	404	297	275	187	173	118	108	20	17

3　事故種別・月別救急活動状況　（１０月～３月）　（単位：件）

区分 / 月別	出動件数	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
10月	422	1	－	－	51	15	5	56	2	5	246	41
11月	426	2	－	1	71	8	2	57	3	10	233	39
12月	471	1	－	1	58	12	1	67	2	6	280	43
1月	462	4	－	－	37	9	－	48	3	4	313	44
2月	413	1	－	－	44	6	－	37	2	7	284	32
3月	429	2	－	－	48	5	1	42	1	6	285	39
合計	2,623	11	－	2	309	55	9	307	13	38	1,641	238

4　事故種別・曜日別搬送人員状況　（１０月～３月）　（単位：件）

事故種別／曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月	－	－	－	52	6	－	39	1	5	202	36	341
火	－	－	－	54	13	2	36	2	6	196	34	343
水	－	－	－	45	7	－	48	3	4	206	34	347
木	－	－	－	43	8	－	51	－	1	206	27	336
金	－	－	－	41	11	－	37	－	1	216	44	350
土	1	－	1	43	6	3	42	1	8	206	28	339
日	－	－	－	27	3	6	33	4	6	207	15	301
合計	1	－	1	305	54	11	286	11	31	1,439	218	2,357

5　月別高速道路救急活動状況　（１０月～３月）

区分／月別	東北縦貫自動車道						北関東自動車道						合計	
	交通事故				その他		交通事故				その他			
	上り		下り				東行き		西行き					
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
10月	3	5	2	－	2	1	－	－	－	－	－	－	7	6
11月	4	3	1	1	1	－	3	2	1	1	－	－	10	7
12月	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	2
1月	2	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	3	2
2月	7	8	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	8	8
3月	2	1	3	3	－	－	1	1	－	－	－	－	6	5
合計	19	20	7	5	4	1	4	3	1	1	－	－	35	30

6　事故種別・年齢別・程度別搬送人員状況　（１０月～３月）　（単位：人）

年齢程度＼事故種別			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	生後28日以内	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		重	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2
		中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	5
		軽	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	7	8
乳幼児	28日から6歳	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		重	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1
		中	－	－	－	2	－	－	2	－	－	9	1	14
		軽	－	－	－	7	－	－	19	－	－	49	2	77
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	10	－	－	21	－	－	58	3	92
少年	7歳から17歳	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1
		重	－	－	－	2	－	－	－	－	－	2	－	4
		中	－	－	－	7	1	1	－	－	1	4	4	18
		軽	－	－	－	21	－	5	5	－	－	26	－	57
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	30	1	6	5	－	1	33	4	80
成人	18歳から64歳	死	－	－	－	－	－	－	1	－	4	14	－	19
		重	－	－	1	9	11	－	8	－	3	49	27	108
		中	－	－	－	32	11	1	20	－	8	127	35	234
		軽	－	－	－	162	20	4	46	9	11	196	4	452
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	1	203	42	5	75	9	26	386	66	813
老	65歳	死	－	－	－	－	－	－	5	－	2	65	－	72
		重	－	－	－	8	3	－	31	－	1	134	48	225
		中	－	－	－	15	3	－	78	－	1	413	80	590

	以上	軽	1	－	－	39	5	－	71	2	－	349	10	477
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	1	－	－	62	11	－	185	2	4	961	138	1,364

※程度（死重中軽他）について

略語の意味　　内容説明（初診医による重症度評価より）

(1)　死は死亡を示す　：初診時において、死亡が確認されたもの

(2)　重は重症を示す　：傷病の程度が３週間以上の入院加療を必要とするもの

(3)　中は中等症を示す：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

(4)　軽は軽症を示す　：傷病の程度が入院を必要としないもの

(5)　他はその他を示す：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの